

平成21年度 保育園サービス第三者評価事業  
報告書

平成22年3月

杉並区

# 目次

はじめに

## 第1部 利用者調査

I 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査対象者.....	1
3 調査方法.....	1
4 調査期間.....	1
5 利用者調査の配布・回収状況.....	1
6 調査項目の構成.....	3
7 報告書の見方.....	3
II 全体の調査結果.....	4
1 回答者の属性.....	4
2 総合的な満足度.....	6
3 毎日の保育サービスについて.....	8
4 お子さんや保護者の尊重について.....	10
5 要望・意見やトラブルへの対応について.....	12
6 利用(入園)前の保育園の対応について.....	13
7 クロス集計.....	14
8 自由意見(保育園に対して日頃感じていること・要望).....	16
III 各保育園の利用者調査結果.....	17

## 第2部 事業評価

I 評価の概要.....	83
1 評価の概要.....	83
2 評点のつけ方.....	83
3 訪問調査とフィードバック.....	84
II 各保育園の評価結果報告書.....	85

### 【巻末】

付属資料1: 杉並区立保育園 利用者調査 調査票

付属資料2: 経営層合議用シート(事業プロフィール・組織マネジメント・サービス分析)

付属資料3: 職員用シート(組織マネジメント・サービス分析)

## はじめに

保育園サービス第三者評価は、第三者から見た保育園サービスの評価結果を幅広く利用者や保育園に情報提供することにより、サービス内容を利用者にも明らかにし、保育園におけるサービスの質の向上に向けた取り組みを促すことにより、利用者本位のサービスシステムの構築を行うことを目的とするものである。

■**評価対象**： 杉並区立の次の16保育園を対象としている。

保育園名	利用世帯数	備考
1 井荻保育園	84	9週・延長
2 中瀬保育園	89	9週・延長
3 下高井戸保育園	62	1歳・延長
4 西田保育園	68	1歳
5 荻窪保育園	60	8ヶ月・延長
6 四宮保育園	65	1歳・延長
7 和泉保育園	62	1歳・延長
8 上井草保育園	91	8ヶ月・延長
9 堀ノ内東保育園	83	9週・延長
10 西荻北保育園	80	8ヶ月・延長
11 上荻保育園	92	8ヶ月・延長
12 井草保育園	89	8ヶ月・延長
13 善福寺保育園	82	8ヶ月・延長
14 永福北保育園	86	9週・延長
15 高円寺東保育園	92	9週・延長
16 荻窪東保育園	65	9週・延長
合計	1250	

※備考欄の9…9週目以上の園、8…8か月以上の園、1…1歳以上の園、延…延長保育実施園

■**評価機関**： 株式会社 にほんの福祉ネット

(東京都福祉サービス第三者評価機関 認証番号:機構06-168)

■**評価者**： 評価者4名の修了番号は以下の通りである。

H0302015、H0802010、H0802022、H0802030

### ■評価の流れ

内容	時期・期間
1 関係者説明会	平成21年9月
2 利用者調査票配布(利用者調査)	平成21年9月
3 経営層自己評価票作成(事業評価)	平成21年9月～10月
4 職員自己評価票作成(事業評価)	平成21年9月～10月
5 訪問調査利用者調査・事業評価結果報告	平成21年10月～12月
6 評価結果のフィードバック	平成22年2月

# 第1部 利用者調査

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

実際に杉並区立保育園を利用されている保護者の方が、日常の保育サービスに対して感じていること、また意見や要望について把握することを目的とする。

## 2 調査対象者

16保育園の利用者(保護者)を対象とした。複数のお子さんを預けている場合は、一番年齢の低いお子さんのことについて回答。

## 3 調査方法

無記名のアンケート方式で実施した。園より保護者全員にアンケート票を手渡しで配布し、回収については、園を介さず直接評価機関へ郵送する方法で行った。

## 4 調査期間

平成21年9月16日～9月30日

## 5 利用者調査票の配布・回収状況

全世帯に配布し、16園の回収率は55.4%～79.0%、平均有効回収率は64.6%である。

	保育園名	利用者		
		配布数	回収数	回収率
1	井荻保育園	84	58	69.0%
2	中瀬保育園	89	59	66.3%
3	下高井戸保育園	62	40	64.5%
4	西田保育園	68	42	61.8%
5	荻窪保育園	60	41	68.3%
6	四宮保育園	65	40	61.5%
7	和泉保育園	62	49	79.0%
8	上井草保育園	91	54	59.3%
9	堀ノ内東保育園	83	54	65.1%
10	西荻北保育園	80	57	71.3%
11	上荻保育園	92	51	55.4%
12	井草保育園	89	50	56.2%
13	善福寺保育園	82	52	63.4%
14	永福北保育園	86	63	73.3%
15	高円寺東保育園	92	53	57.6%
16	荻窪東保育園	65	45	69.2%
	合計	1250	808	64.6%

## (参考:根本誤差)

調査結果の比率から母集団(対象世帯全体)の傾向を推測するには、統計上の誤差(根本誤差)を考慮する必要がある。N(母集団)に1250、n(回答者数)に808人をあてはめて算出すると、以下の表の通りである。知りたい設問の回答率に誤差(±1.2~2.1)をあてはめて母集団の傾向を推測することになる。

回答率	根本誤差
10%	±1.2
20%	±1.6
30%	±1.9
40%	±2.0
50%	±2.1
60%	±2.0
70%	±1.9
80%	±1.6
90%	±1.2

$$\text{根本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

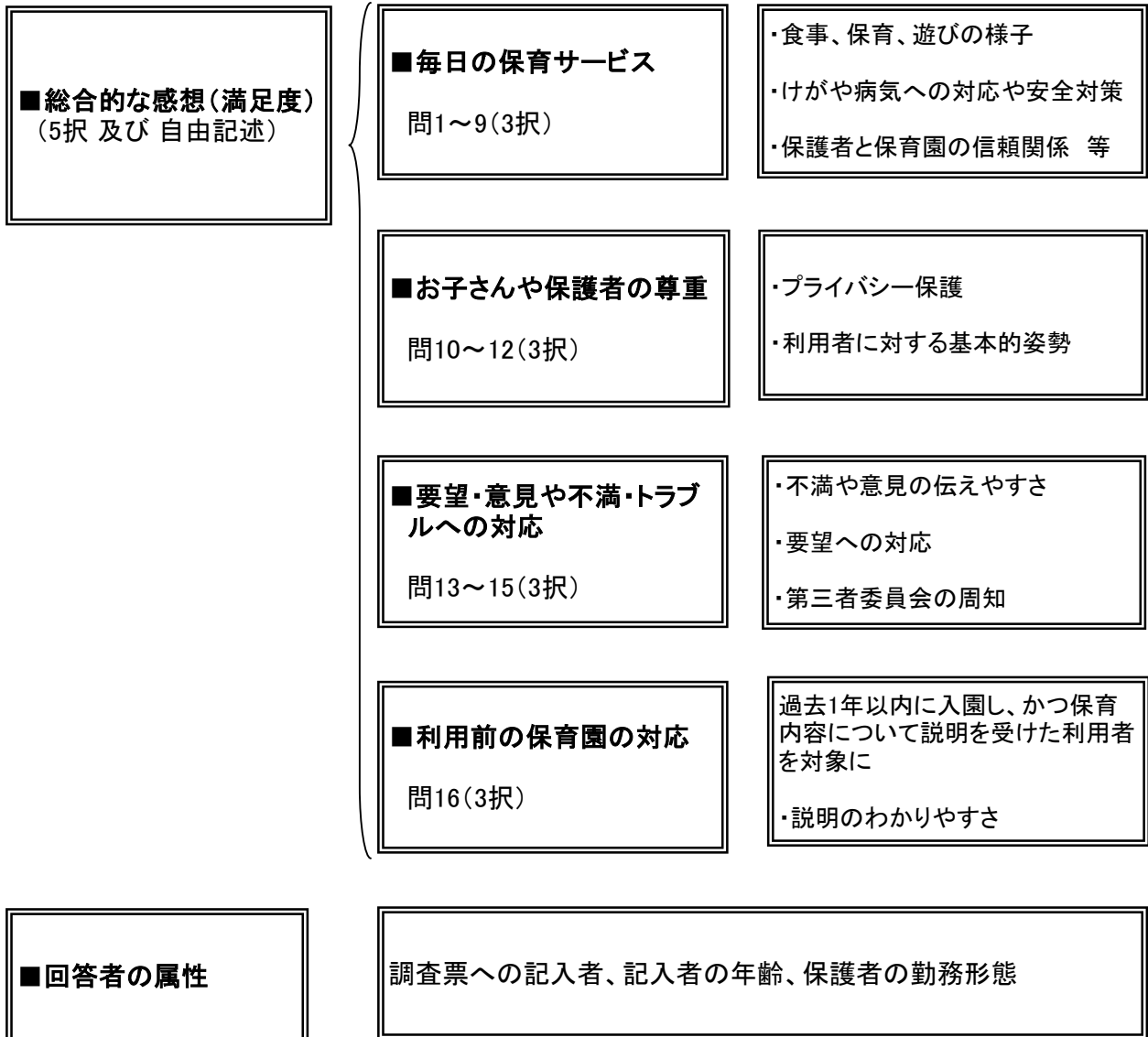
信頼度95%

N=母集団数(対象人口)  
n=比率算出の基数(回答者数)  
P=回答の比率

「根本誤差」とは、全体(母集団)から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。本調査は標本調査ではないが、全体と回答者数に差が生じているため、参考誤差を算出した。信頼度95%の計算式を今回の調査にあてはめて算出したのが、上記の表である。例えば、ある設問の選択肢の回答比率が60%であった場合、「全体からの回収があったとしても、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.0%以内(58.0~62.0%)である」と見ることができる。

## 6 調査項目の構成

調査票は、回答者の属性のほかに、園の様子について(16問)と、総合的な感想(1問)で構成されている。(調査票は巻末資料1を参照)



今年度は、第三者評価の標準的な調査項目に杉並区独自の項目を加えている。追加した項目は以下の通りである。

問9 友達とのふれあいなど、人とのかかわり方の基礎が育てられていると思いますか。

## 7 報告書の見方

- ①回答は、各質問の回答者数を基数とした百分率(%)で表示してある。
- ②百分率は小数第二位を四捨五入してあるため、比率の合計が100%にならない場合がある。
- ③作図・表の都合上、設問や回答の選択肢を要約してる場合がある。

## II 全体の調査結果

### 1 回答者の属性

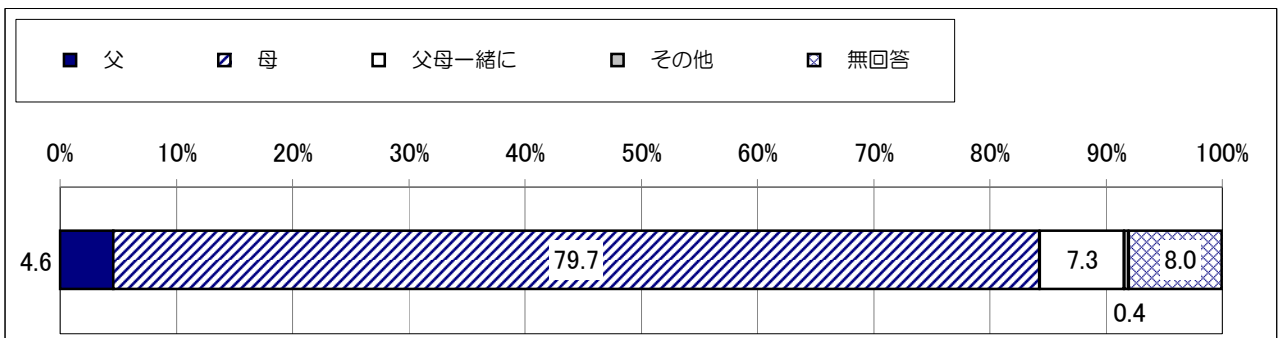
調査票の記入者808人の約8割は、母親である。

回答者の年齢構成を見ると、35～39歳が3割強(33.3%)、30～34歳が3割弱(28.6%)となっており、30代が全体の約6割を占めている。40代は2割強(23.1%)、20代は6.1%という結果である。

勤務形態を見ると、父親の74.1%、母親の71.3%がフルタイム(常勤)である。なお、母親の11.4%はパート、アルバイト勤務である。

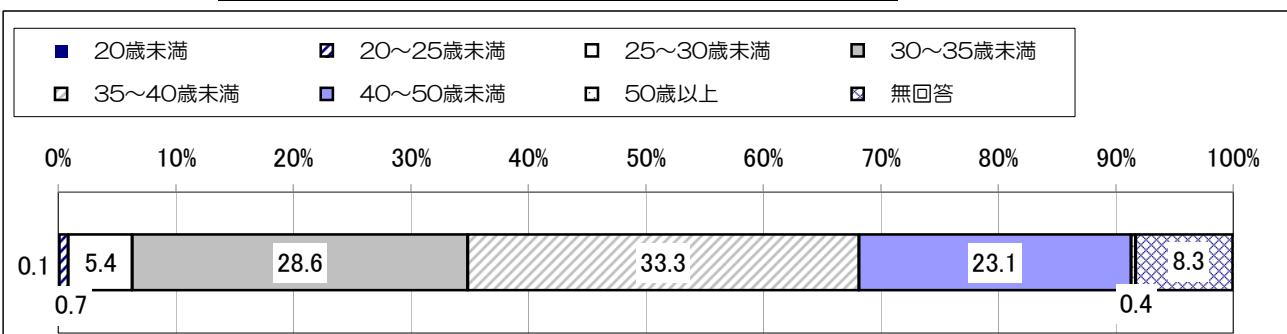
調査票の記入者属性

項	選択肢	%	回答者計
1	父	4.6	37
2	母	79.7	644
3	父母一緒に	7.3	59
4	その他	0.4	3
5	無回答	8.0	65
	全体	100.0	808



記入者の年齢

項	選択肢	%	回答者計
1	20歳未満	0.1	1
2	20～25歳未満	0.7	6
3	25～30歳未満	5.4	44
4	30～35歳未満	28.6	231
5	35～40歳未満	33.3	269
6	40～50歳未満	23.1	187
7	50歳以上	0.4	3
8	無回答	8.3	67
	全体	100.0	808



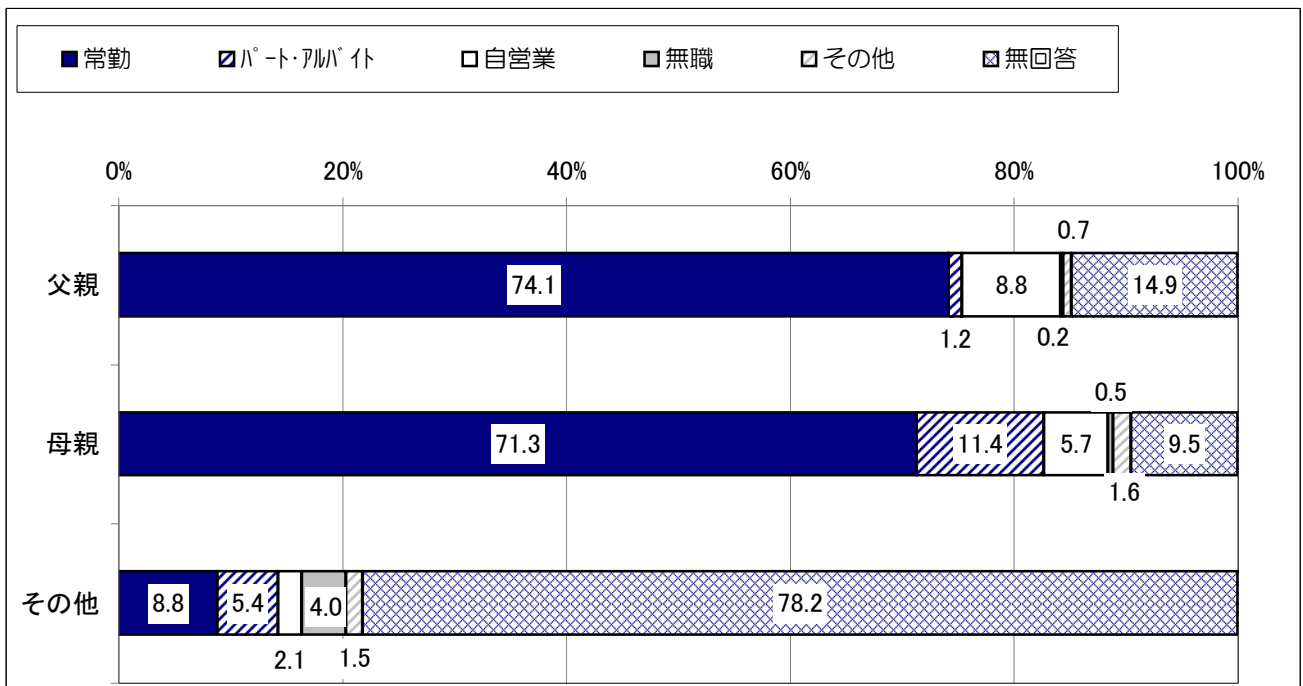


保護者の勤務形態

父親	選択肢	%	回答者計
1	常勤	74.1	599
2	パート・アルバイト	1.2	10
3	自営業	8.8	71
4	無職	0.2	2
5	その他	0.7	6
6	無回答	14.9	120
全体		100.0	808

母親	選択肢	%	回答者計
1	常勤	71.3	576
2	パート・アルバイト	11.4	92
3	自営業	5.7	46
4	無職	0.5	4
5	その他	1.6	13
6	無回答	9.5	77
全体		100.0	808

その他	選択肢	%	回答者計
1	常勤	8.8	71
2	パート・アルバイト	5.4	44
3	自営業	2.1	17
4	無職	4.0	32
5	その他	1.5	12
6	無回答	78.2	632
全体		100.0	808



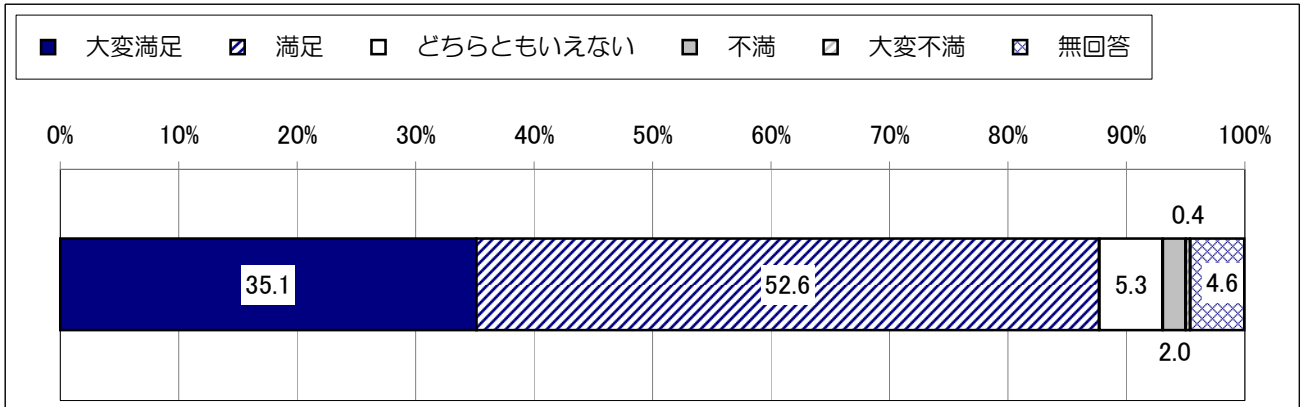
## 2. 総合的な満足度

現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか。(一つに〇)

「大変満足」が4割弱(35.1%)、「満足」が5割強(52.6%)となっており、これらを合計した”園に概ね満足している”と感じている人は、回答者の約9割を占めている。

一方、「不満」「大変不満」は、約2.4%を占め、「どちらとも言えない」と合わせても1割に達せず、総合的にみて満足度は高い傾向を示していることがうかがえる。

調査票の総合的な感想(満足度)



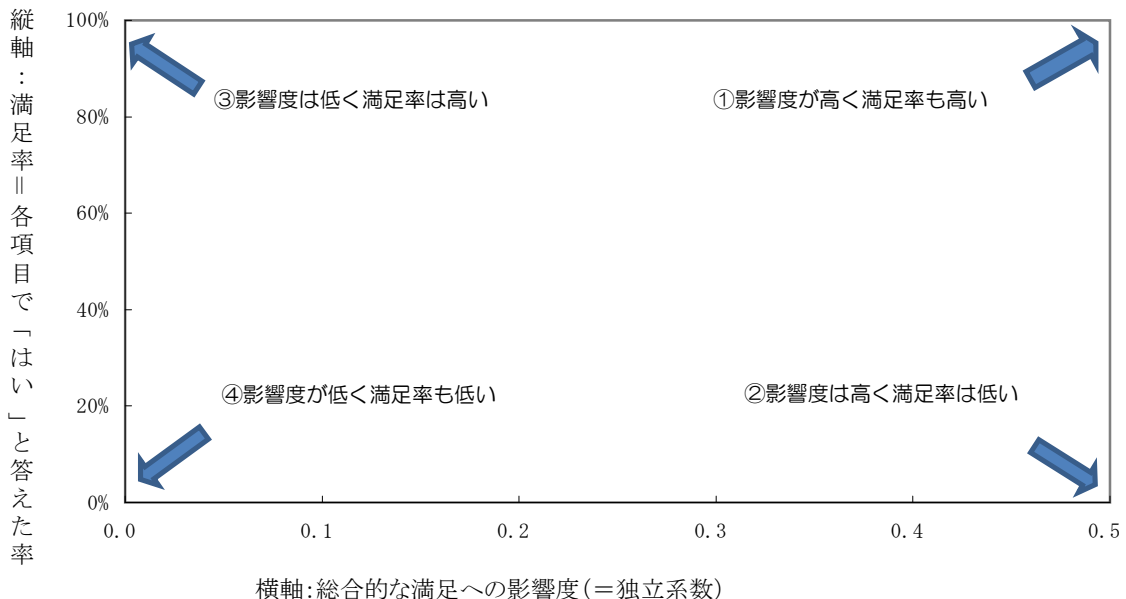
### (満足影響度について)

満足影響度とは、総合的な満足度(1 大変満足、2 満足、3 どちらともいえない、4 不満、5 大変不満)と1～16の各項目(1 はい、2 どちらともいえない、3 いいえ)との相対的な関係を表したものである。

各項目が園の総合的な満足度とどのような関係(影響が強いのか弱いのか)にあるのかがわかり、満足度をあげるために取り組むべきことについて、優先順位付けを検討する際の手がかりとなるものである。影響度は、最小0.0～最大1.0の独立係数で表わされ、0.3以上は「影響がある」、0.4以上は「強い影響がある」、0.6以上は「非常に強い影響がある」という整理をしている。

毎日の保育サービス、お子さんや保護者の尊重、要望・意見・トラブルへの対応、利用前の保育園の対応などの分野ごとに、満足率(各項目に「はい」と答えた率)とあわせて独立係数(影響度)を掲載した。各項目の分布する位置による満足率と影響度の考え方は、以下の通りとなっている。

満足影響度グラフの見方



## (満足率・独立系数一覧)

分野	項目名	満足率	独立系数
■毎日の保育サービス	1. 食事(給食)・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか	88.5	0.206
	2. 戸外遊びの機会は十分ですか	87.1	0.222
	3. 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか	75.9	0.195
	4. 保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変化への対応は十分ですか	88.4	0.252
	5. 安全対策が十分に取られていると思いますか	71.4	0.301
	6. 保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか	62.9	0.193
	7. お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができますか	82.2	0.375
	8. 保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか	80.9	0.382
	9. 友だちとのふれあいなど、人との関わり方の基礎が育てられていると思いますか	87.7	0.239
	平均	80.6	0.263
■お子さんや保護者の尊重	10. 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー(秘密)を守っていますか	82.7	0.295
	11. お子さんは保育所で大切にされていると思いますか	89.4	0.353
	12. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか	85.0	0.261
	平均	85.7	0.303
■要望・意見や不満・トラブルへの対応	13. 要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか	56.3	0.316
	14. 保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか	66.1	0.377
	15. 要望や不満があったとき、第三者委員(保育所以外の苦情解決相談員)などにも相談できることを知っていますか	34.2	0.088
	平均	52.2	0.26
■利用前の保育園の対応	16. 保育園から受けた説明はわかりやすかったですか	81.6	0.258
	全平均	76.3	0.251

### 3. 毎日の保育サービスについて

保育や遊び、病気やケガへの対応、保護者と保育園との信頼関係など、“毎日の保育サービス”について保護者が感じていることは次の通りである。

「1. 食事(給食)・おやつなど」、「4. 発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等」、「9. 友達とのふれあいなど、人のかかわり方の基礎が育てられている」、「2. 戸外遊びの機会」など、日常の保育に関する主な項目において 9割弱の回答者が満足していることがうかがえる結果となった。また、「7. お子さんについて職員と相談できる」、「8. 職員の話を聞く姿勢」、「3. 保護者の急な残業などによる利用時間の変更への柔軟な対応」といった保護者対応に関わる項目についても、8割前後の回答者が満足していることがうかがえる結果となった。さらに、「5. 安全対策」についても、約7割の回答者が満足を示している。保育内容全般については、概ね高い支持を得ていることがうかがえる。

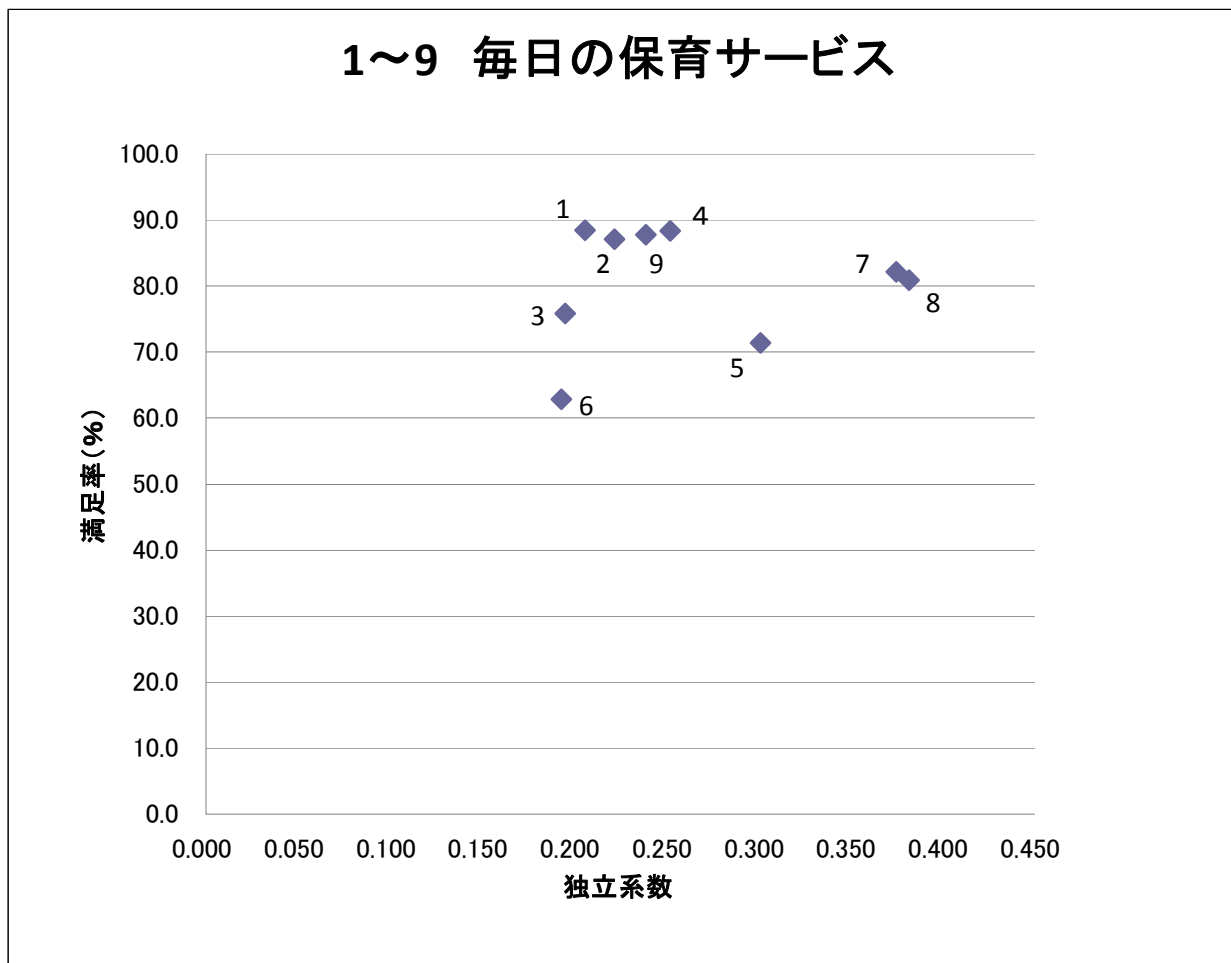
一方、唯一、「6. 保護者が参加しやすいように行事日程」については、満足度は7割を下回っている。保護者の多様な就業状況の中、全ての保護者の意向に沿う日程設定の難しさがうかがえる。

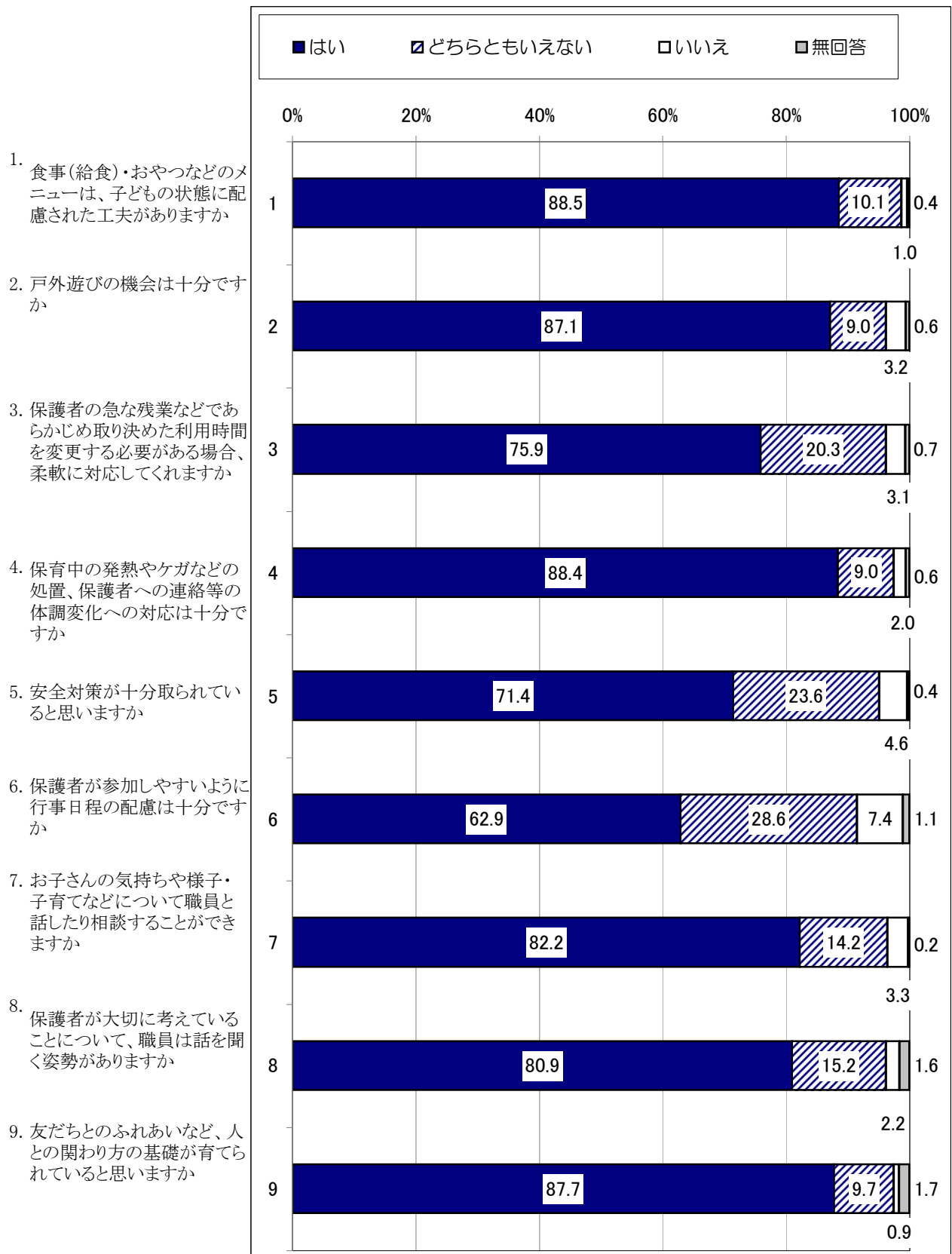
#### 【満足影響度】

園の総合的な満足度には、項目8, 7, 5(影響の強い順)が影響を与えている。保護者と園との信頼関係や安全対策に満足している人は、園の総合的な満足度も高いことがうかがえる。

満足率: 80.6 %

独立系数: 0.263





#### 4. お子さんや保護者の尊重について

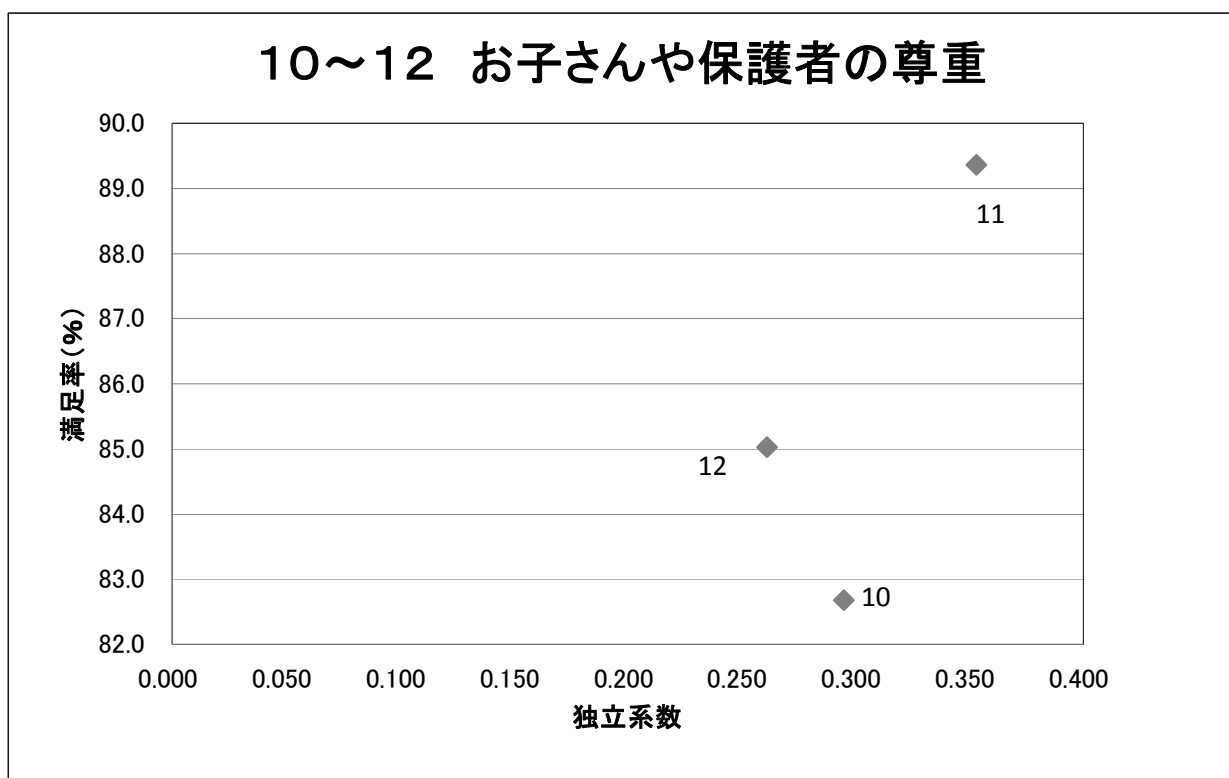
利用者のプライバシー保護や職員の礼儀正しさなど、“お子さんや保護者の尊重”について保護者が感じていることは次の通りである。

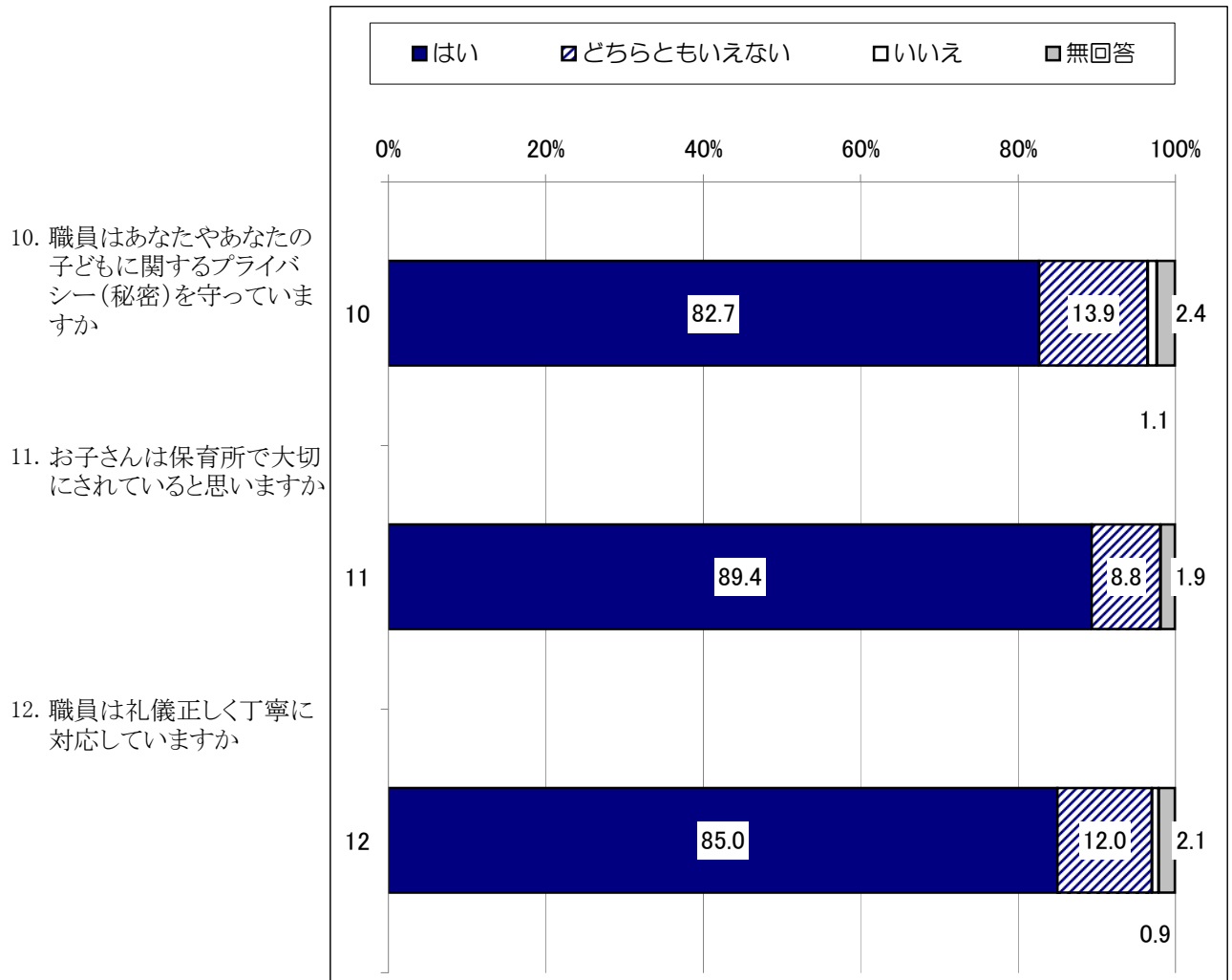
回答者の9割弱が、「11.おさんは保育所で大切にされている」点について肯定的な回答を寄せている。また、「12. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していること」や「10. 職員はプライバシー（秘密）を守っている」点についても、8割強の回答者が満足感を示している。個人の尊重という点では、概ね満足していることがうかがえる。

##### 【満足影響度】

園の総合的な満足度には、項目11が影響を与えている。

満足率:  %  
独立系数: 0.303





## 5. 要望・意見やトラブルへの対応について

要望や不満などを言いやすい雰囲気、意見を聞き入れる園の体制、トラブルが起きた際の対応など”要望・意見や不満・トラブルへの対応”について保護者が感じていることは次の通りである。

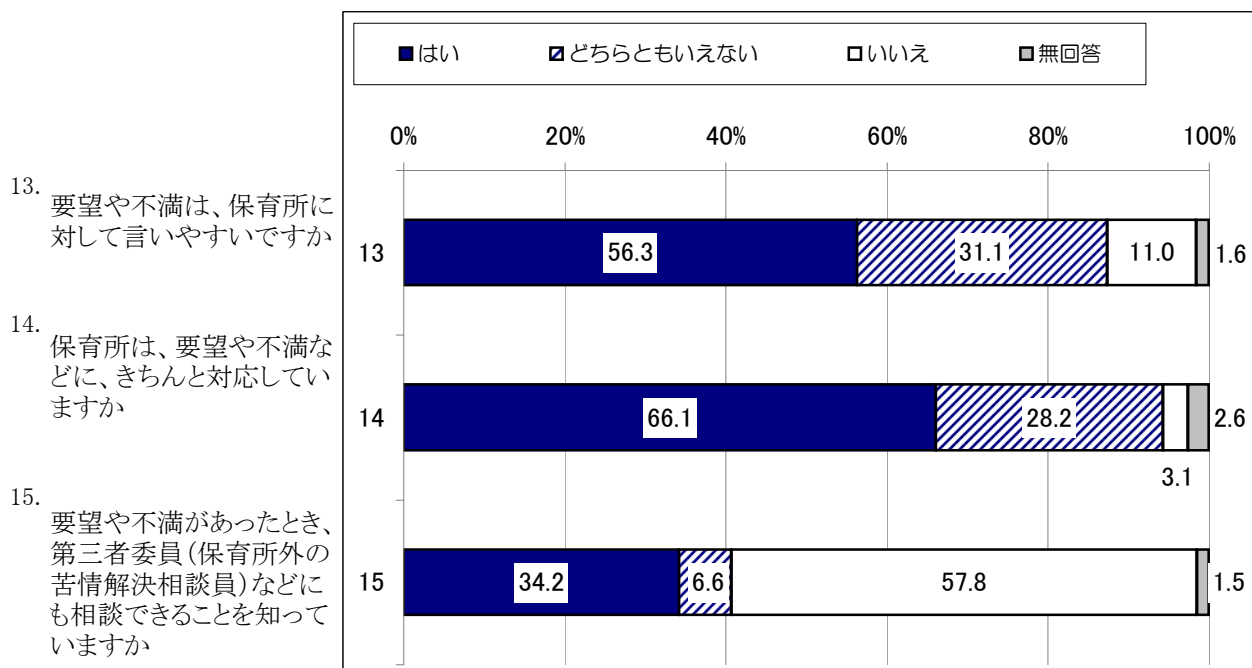
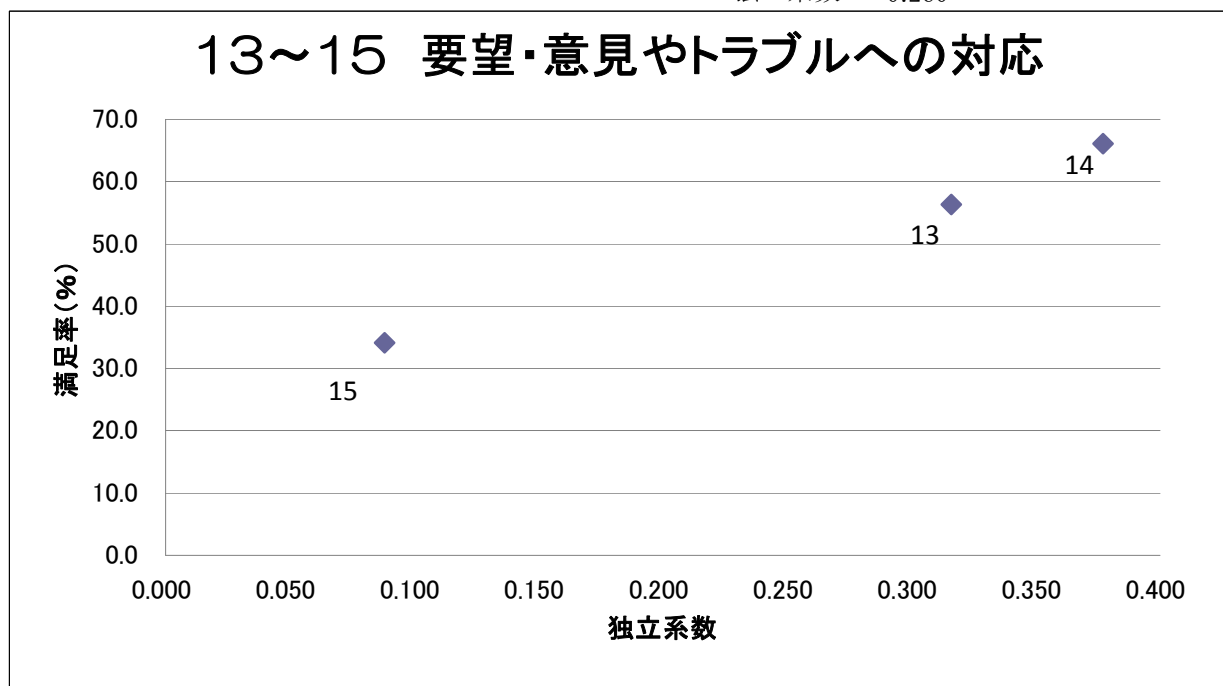
肯定的な回答の占める割合を見ると、「14. 要望や不満などにきちんと対応している」は7割弱、「13. 要望や不満は言いやすい」は6割弱にとどまっている。毎日の保育や個人の尊重などと比較すると、肯定的な回答の占める割合が低くとどまる傾向にある。

「15. 第三者委員にも相談できること」を知っていると回答した割合は3割強にとどまっている。利用開始時の説明を忘れていている方が多いことがうかがえる。

### 【満足影響度】

園の総合的な満足度には、項目14が影響を与えている。

満足率: 52.2%  
独立系数: 0.260





## 6. 利用(入園)前の保育園の対応について

入園に際しての保育園から受けた説明については以下の通りである。

(利用開始が1年以内かつ説明を受けた方が回答)

1年以内に利用を開始したと回答した348名のうち、園から受けた説明が分かりやすかったと回答したのは、全体の8割強である。一層詳細な説明を求める声も見受けられたが、ここで示された高い満足度から、利用前の不安の解消については、概ね満足していることがうかがえる。

### 16. 入園の際に保育園から受けた説明はわかりやすかったですか。

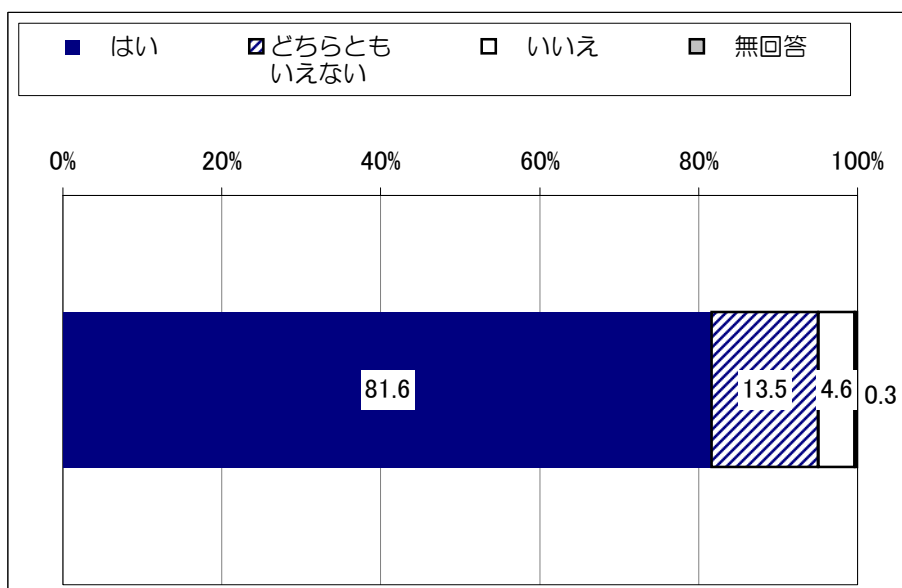
	%	回答者数
はい	81.6	284
どちらとも いえない	13.5	47
いいえ	4.6	16
無回答	0.3	1
全 体	100.0	348

利用(入園)前の保育園の対応について

満足率: 81.6 %

独立係数: 0.258

16. 入園の際に保育園から受けた説明はわかりやすかったですか



## 7. クロス集計結果

回答者の属性別にみた総合的な満足度は以下の通りである。

“園に概ね満足している”率は、父親は8割強、母親は9割弱と、いずれも高い水準を示している。「大変満足」と強い満足を感じる率は、母親(34.5%)よりも父親(48.6%)のほうが高い。

年齢別で“園に概ね満足している”率を見ると、25～30歳未満が90.9%、30～35歳未満が90.0%、35～40歳未満が87.0%、40～50歳未満が86.1%という結果を示している。その他の年齢構成については、回答者が一桁のため特筆しない。

勤務形態別では、“園に概ね満足している”率は、父親の場合は、自営業、常勤、パート・アルバイトの順に高い。母親の場合は、常勤、自営業、パート・アルバイトの順に高い。

① 調査記入者と現在利用の保育園の総合的満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
父	回答者数(人)	37	18	13	2	0	0	4
	(%)	100.0	48.6	35.1	5.4	0.0	0.0	10.8
母	回答者数(人)	644	222	347	34	11	3	27
	(%)	100.0	34.5	53.9	5.3	1.7	0.5	4.2
父母一緒に	回答者数(人)	59	17	35	2	4	0	1
	(%)	100.0	28.8	59.3	3.4	6.8	0.0	1.7
その他	回答者数(人)	2	0	2	0	0	0	0
	(%)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	回答者数(人)	66	27	28	5	1	0	5
	(%)	100.0	40.9	42.4	7.6	1.5	0.0	7.6
全体(人)		808	284	425	43	16	3	37

② 調査記入者の年齢と現在利用の保育園の総合的満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
20歳未満	回答者数(人)	1	1	0	0	0	0	0
	(%)	100	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～25歳未満	回答者数(人)	6	2	4	0	0	0	0
	(%)	100	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
25～30歳未満	回答者数(人)	44	21	19	3	0	0	1
	(%)	100	47.7	43.2	6.8	0.0	0.0	2.3
30～35歳未満	回答者数(人)	231	79	129	9	2	1	11
	(%)	100	34.2	55.8	3.9	0.9	0.4	4.8
35～40歳未満	回答者数(人)	269	86	148	16	8	0	11
	(%)	100	32.0	55.0	5.9	3.0	0.0	4.1
40～50歳未満	回答者数(人)	187	68	93	10	5	2	9
	(%)	100	36.4	49.7	5.3	2.7	1.1	4.8
50歳以上	回答者数(人)	3	1	2	0	0	0	0
	(%)	100	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	回答者数(人)	67	26	30	5	1	0	5
	(%)	100	38.8	44.8	7.5	1.5	0.0	7.5
全体(人)		808	284	425	43	16	3	37

保護者の勤務形態

③-1 父親の勤務形態と現在利用の保育園の総合的満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
常勤	回答者数(人)	599	209	322	30	12	3	23
	(%)	100	34.9	53.8	5.0	2.0	0.5	3.8
パート・アルバイト	回答者数(人)	10	5	3	1	0	0	1
	(%)	100	50.0	30.0	10.0	0.0	0.0	10.0
自営業	回答者数(人)	71	25	39	4	1	0	2
	(%)	100	35.2	54.9	5.6	1.4	0.0	2.8
無職	回答者数(人)	2	0	2	0	0	0	0
	(%)	100	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	回答者数(人)	6	1	3	1	0	0	1
	(%)	100	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7
無回答	回答者数(人)	120	44	56	7	3	0	10
	(%)	100	36.7	46.7	5.8	2.5	0.0	8.3
全体(人)		808	284	425	43	16	3	37

③-2 母親の勤務形態と現在利用の保育園の総合的満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
常勤	回答者数(人)	576	198	314	28	12	3	21
	(%)	100	34.4	54.5	4.9	2.1	0.5	3.6
パート・アルバイト	回答者数(人)	92	28	49	8	1	0	6
	(%)	100	30.4	53.3	8.7	1.1	0.0	6.5
自営業	回答者数(人)	46	21	20	2	1	0	2
	(%)	100	45.7	43.5	4.3	2.2	0.0	4.3
無職	回答者数(人)	4	2	1	0	0	0	1
	(%)	100	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
その他	回答者数(人)	13	6	6	0	0	0	1
	(%)	100	46.2	46.2	0.0	0.0	0.0	7.7
無回答	回答者数(人)	77	29	35	5	2	0	6
	(%)	100	37.7	45.5	6.5	2.6	0.0	7.8
全体(人)		808	284	425	43	16	3	37

③-3 その他でお迎えに行く方の勤務形態と現在利用の保育園の総合的満足度のクロス集計表

		合計	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無回答
常勤	回答者数(人)	71	25	39	4	0	1	2
	(%)	100	35.2	54.9	5.6	0.0	1.4	2.8
パート・アルバイト	回答者数(人)	44	21	16	4	0	0	3
	(%)	100	47.7	36.4	9.1	0.0	0.0	6.8
自営業	回答者数(人)	17	4	11	1	0	0	1
	(%)	100	23.5	64.7	5.9	0.0	0.0	5.9
無職	回答者数(人)	32	10	19	1	0	0	2
	(%)	100	31.3	59.4	3.1	0.0	0.0	6.3
その他	回答者数(人)	12	4	5	0	0	0	3
	(%)	100	33.3	41.7	0.0	0.0	0.0	25.0
無回答	回答者数(人)	632	220	335	33	16	2	26
	(%)	100	34.8	53.0	5.2	2.5	0.3	4.1
全体(人)		808	284	425	43	16	3	37

## 8. 自由意見(保育園に対して日頃感じていること・要望)

調査票の自由意見欄および質問別記述欄に寄せられた意見を、内容によって分類すると次の通りとなる。

大分類	中分類	件数	内容
1 毎日の保育  ( 1410件 )	1 保育内容	70	遊びや活動・おもちゃや絵本・表現活動・昼寝
	2 散歩、園外活動	177	頻度や場所、自然との関わり
	3 不定時保育	185	登園・降園時間の融通・延長保育・保護者の都合による保育への対応
	4 食事・おやつ	159	メニューや量
	5 保健・衛生 (病気・けが・健康)	146	発熱等への対応・与薬・けがへの対応・健康管理や病気予防
	6 安全性・園舎・園庭・周辺環境	184	安全対策・園や周辺の環境
	7 行事の内容や日程・保護者会	180	行事や保護者会の内容や参加しやすさ・父母会について
	8 毎日の連絡	218	子どもの気持ちや様子についての連絡(主に送迎時)・写真やビデオ
	9 個別相談・園からのお知らせ	91	相談のしやすさ、相談ごとへの対応・おたより
2 子ども・保護者の尊重  ( 542件 )	1 プライバシー保護	47	プライバシー保護
	2 子ども・保護者の気持ちの尊重	241	気持ちに配慮した言葉遣いや態度
	3 友達・人とのかかわり方	76	友達・人とのふれあいなど、人とのかかわり方の基礎作り
	4 保育士・園	178	保育士・園の対応
3 不満・要望・トラブルへの対応  ( 251件 )	1 不満・要望の言いやすさ	112	言いやすい雰囲気・聞く姿勢
	2 不満・トラブル対応	92	不満やトラブルへの対応の的確さ
	3 第三者委員・苦情窓口	47	第三者委員など外部窓口の周知
4 利用前の対応  ( 27件 )	1 入園時説明	27	利用前の保育内容の説明
5 保育行政・保育事業・待機児童対策  ( 61件 )	1 区への意見・要望	53	保育園事務・兄弟姉妹の入園、民営化について
	2 子どもを生き育てること	8	児童福祉行政・子育て支援・子育てしやすい社会

### Ⅲ 各保育園の利用者調査結果

園ごとの利用者調査結果は、それぞれ次の通りである。

1	井 荻 保 育 園	19
2	中 瀬 保 育 園	23
3	下 高 井 戸 保 育 園	27
4	西 田 保 育 園	31
5	荻 窪 保 育 園	35
6	四 宮 保 育 園	39
7	和 泉 保 育 園	43
8	上 井 草 保 育 園	47
9	堀ノ内東保 育 園	51
10	西 荻 北 保 育 園	55
11	上 荻 保 育 園	59
12	井 草 保 育 園	63
13	善 福 寺 保 育 園	67
14	永 福 北 保 育 園	71
15	高 円 寺 東 保 育 園	75
16	荻 窪 東 保 育 園	79

井  
荻  
保  
育  
園

中  
瀬  
保  
育  
園

下  
高  
井  
戸  
保  
育  
園

西  
田  
保  
育  
園

荻  
窪  
保  
育  
園

四  
宮  
保  
育  
園

和  
泉  
保  
育  
園

上  
井  
草  
保  
育  
園

堀ノ内東  
保  
育  
園

西  
荻  
北  
保  
育  
園

上  
荻  
保  
育  
園

井  
草  
保  
育  
園

善  
福  
寺  
保  
育  
園

永  
福  
北  
保  
育  
園

高  
円  
寺  
東  
保  
育  
園

荻  
窪  
東  
保  
育  
園

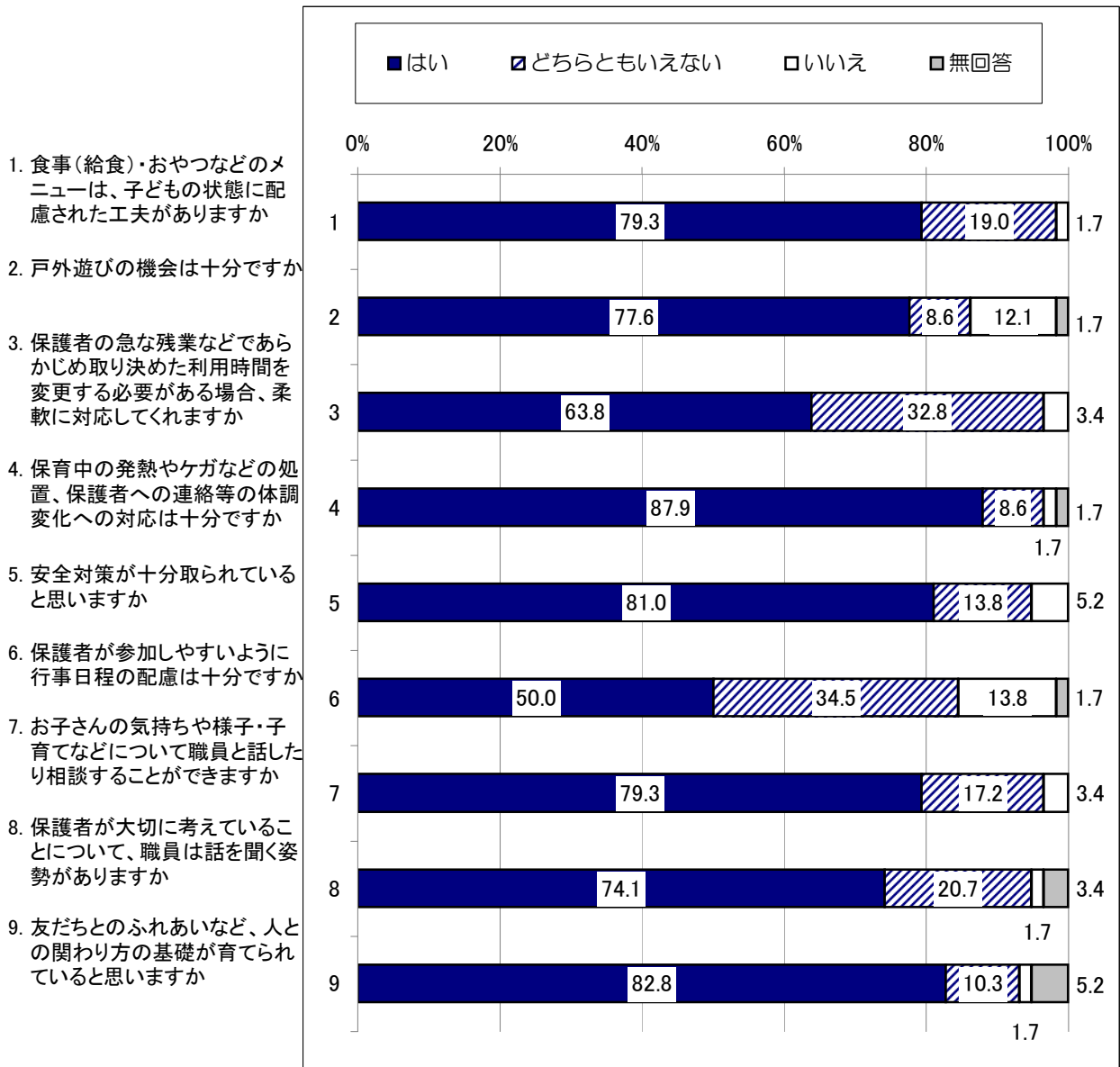
# 井 荻 保 育 園

---

# 井萩保育園

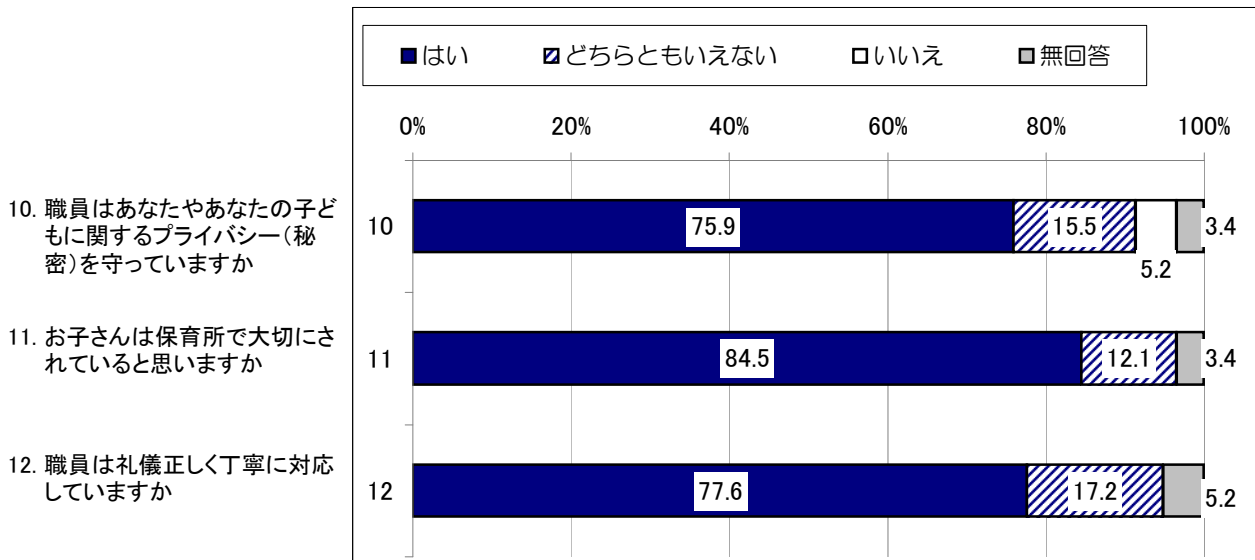
## 《毎日の保育サービスについてお聞きします》

回答者数= 58



## 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

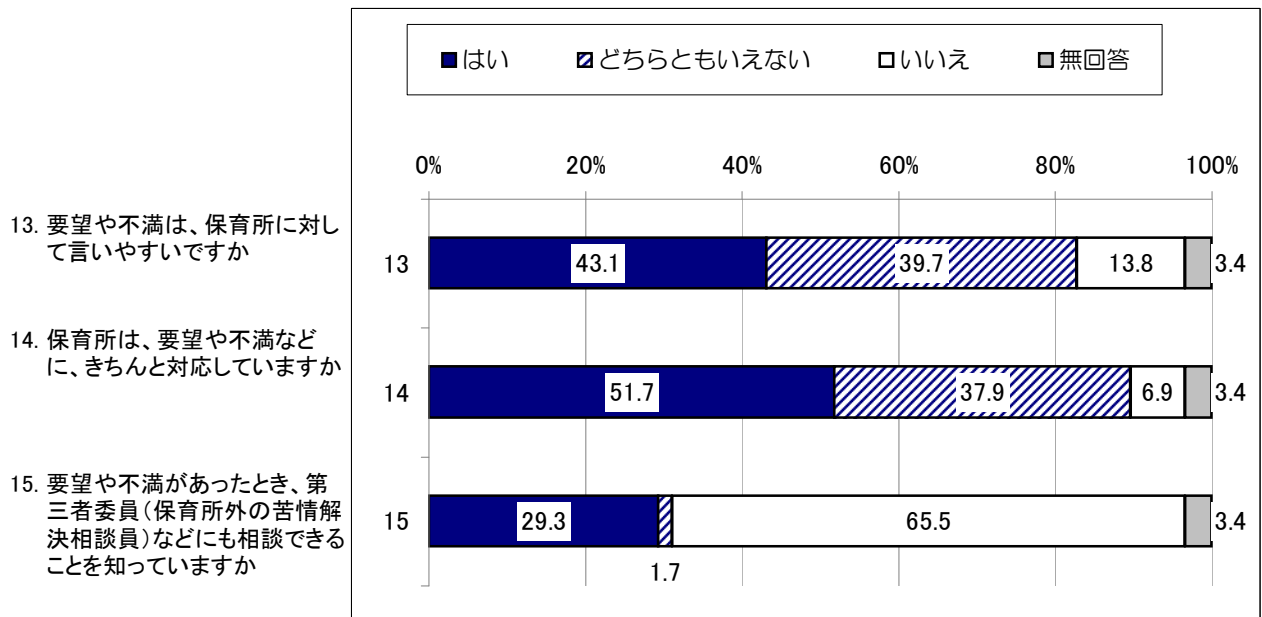
回答者数= 58



## 井萩保育園

《要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします》

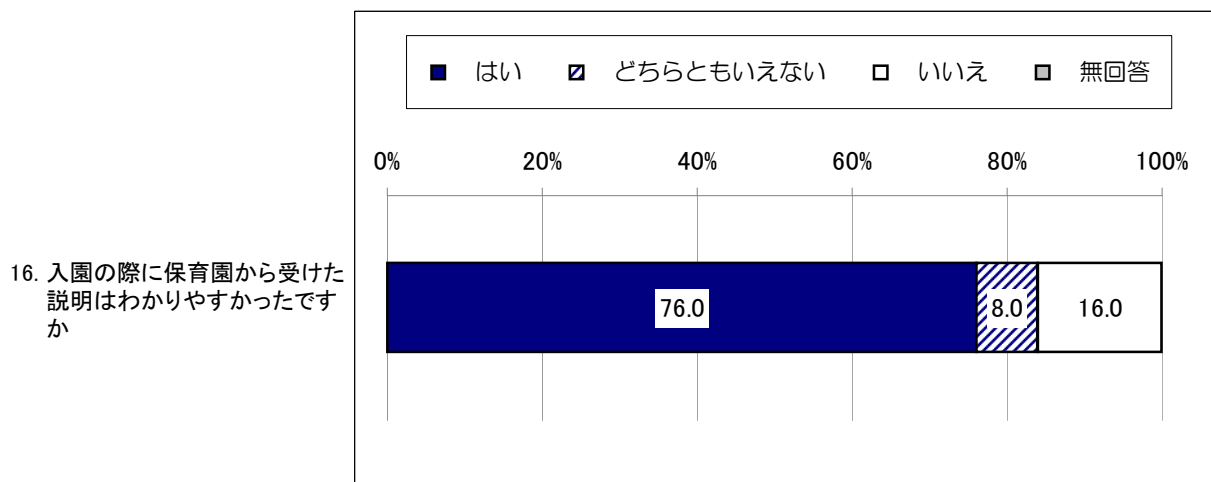
回答者数= 58



【利用開始後1年以内の方へ】

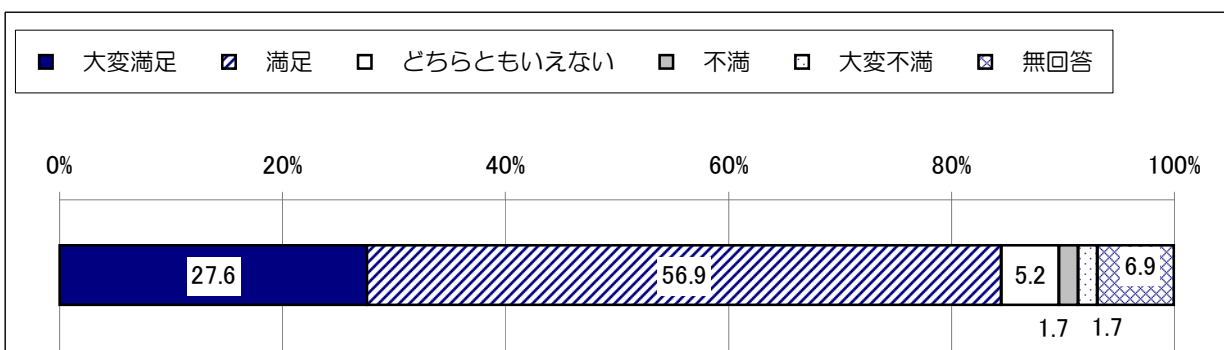
回答者数= 25

《利用前の保育園の対応についてお聞きします》



《総合的な満足度についてお聞きします》

回答者数= 58

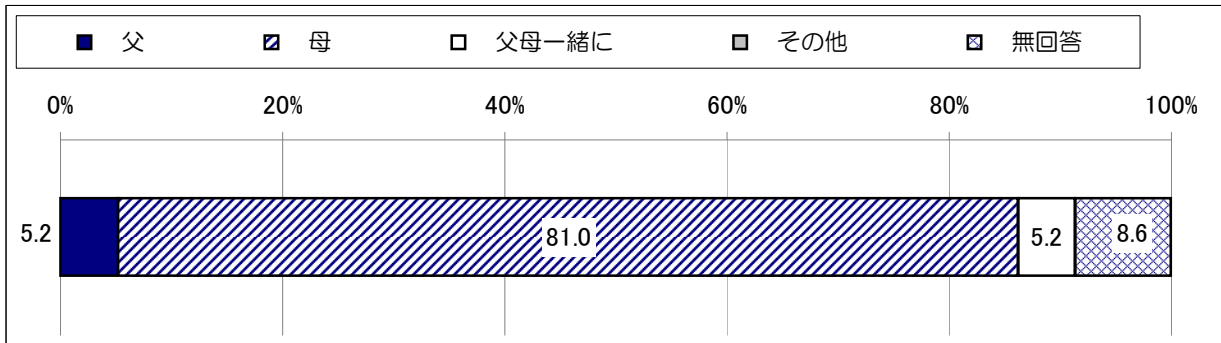




## 井萩保育園

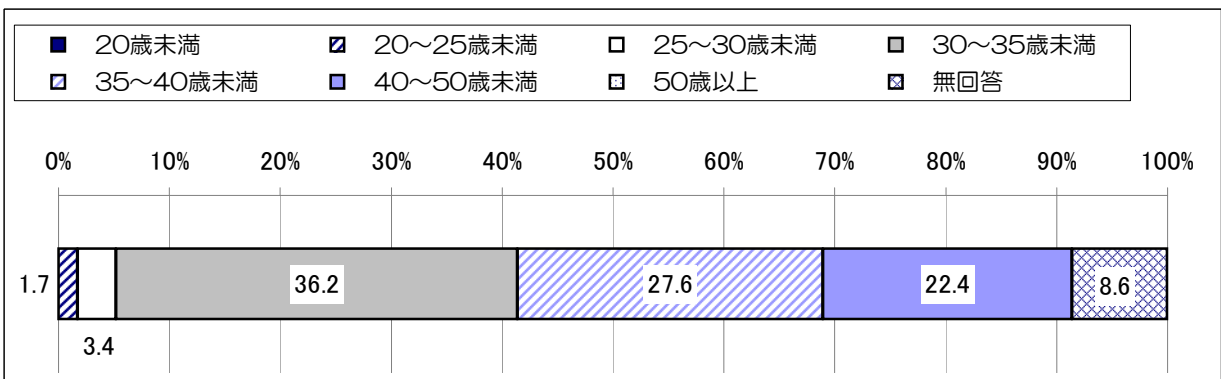
### <調査票記入者について>

回答者数= 58



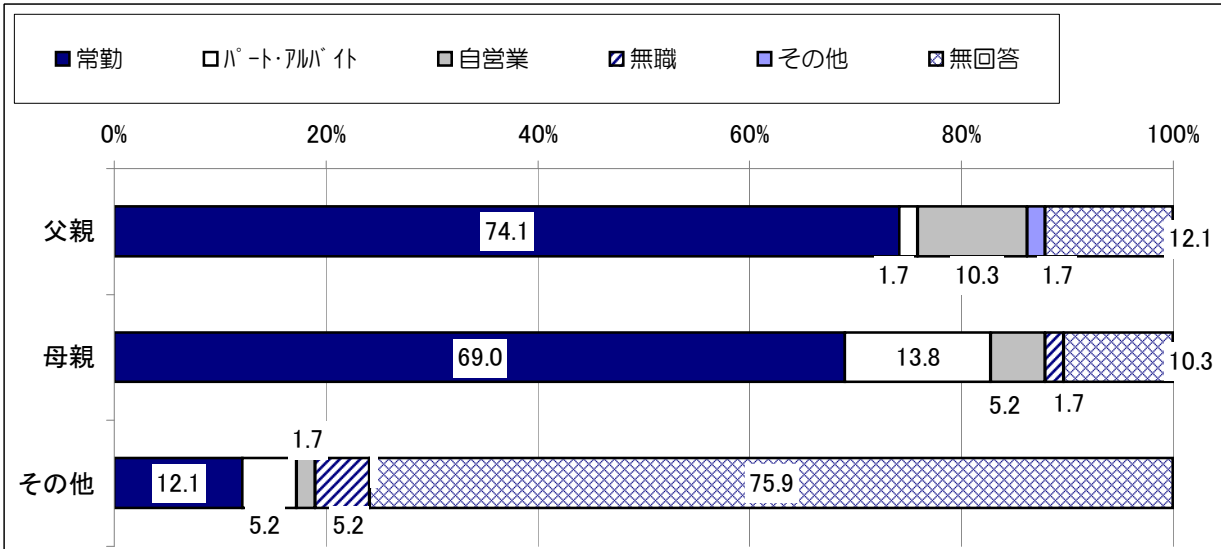
### <調査票記入者の年齢>

回答者数= 58



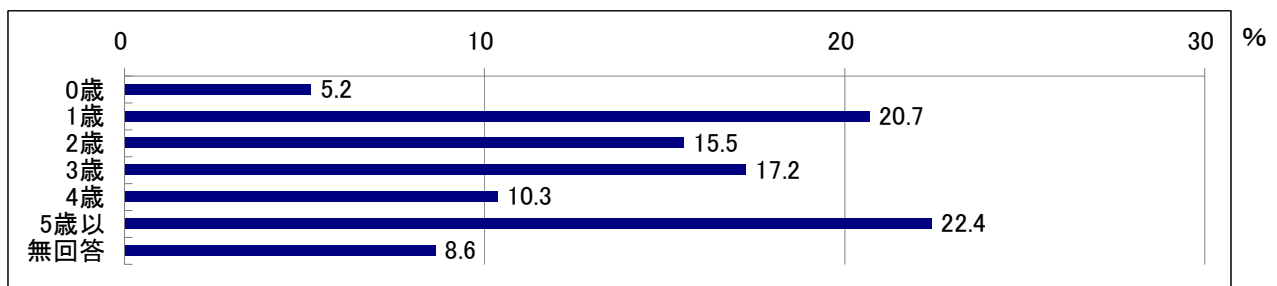
### <保護者の勤務形態>

回答者数= 58



### <お子さんの年齢(複数のお子さんがいらっしゃる場合は、複数に○)>

回答者数= 58



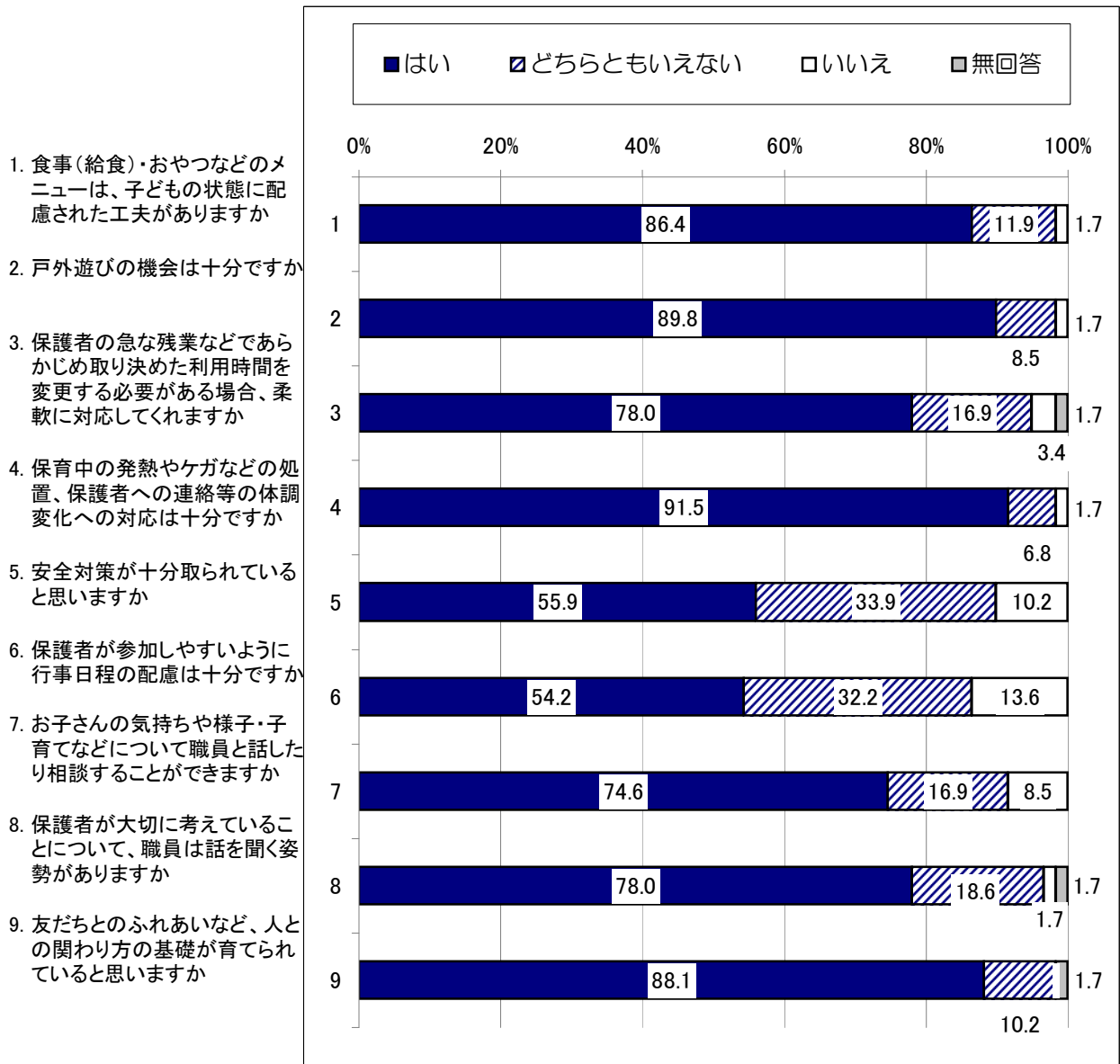
# 中瀨保育園

---

## 中瀬保育園

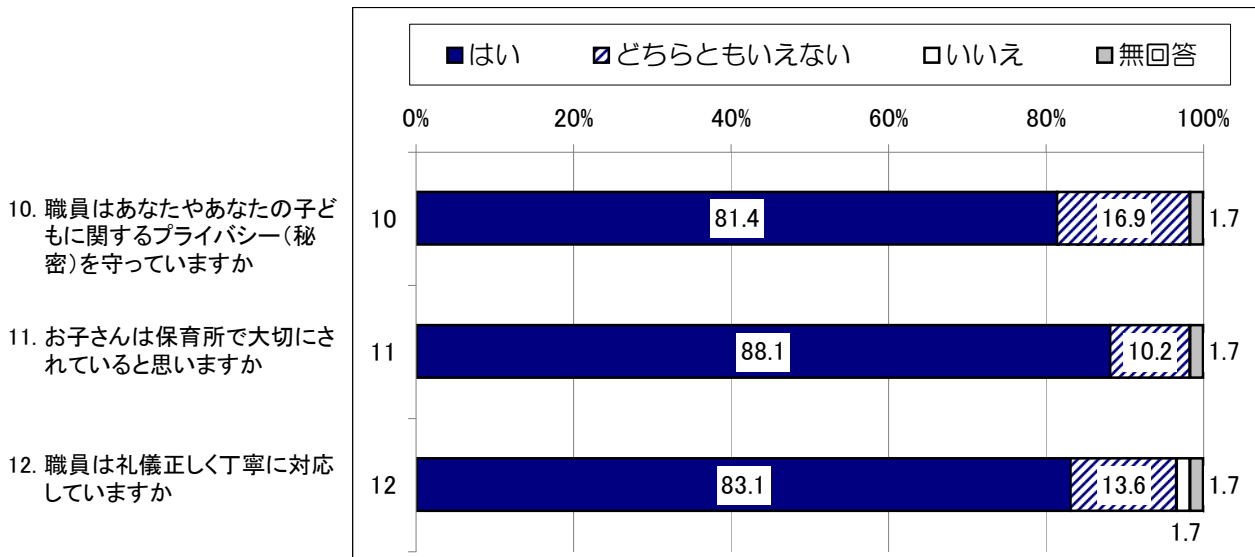
### 《毎日の保育サービスについてお聞きします》

回答者数= 59



### 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

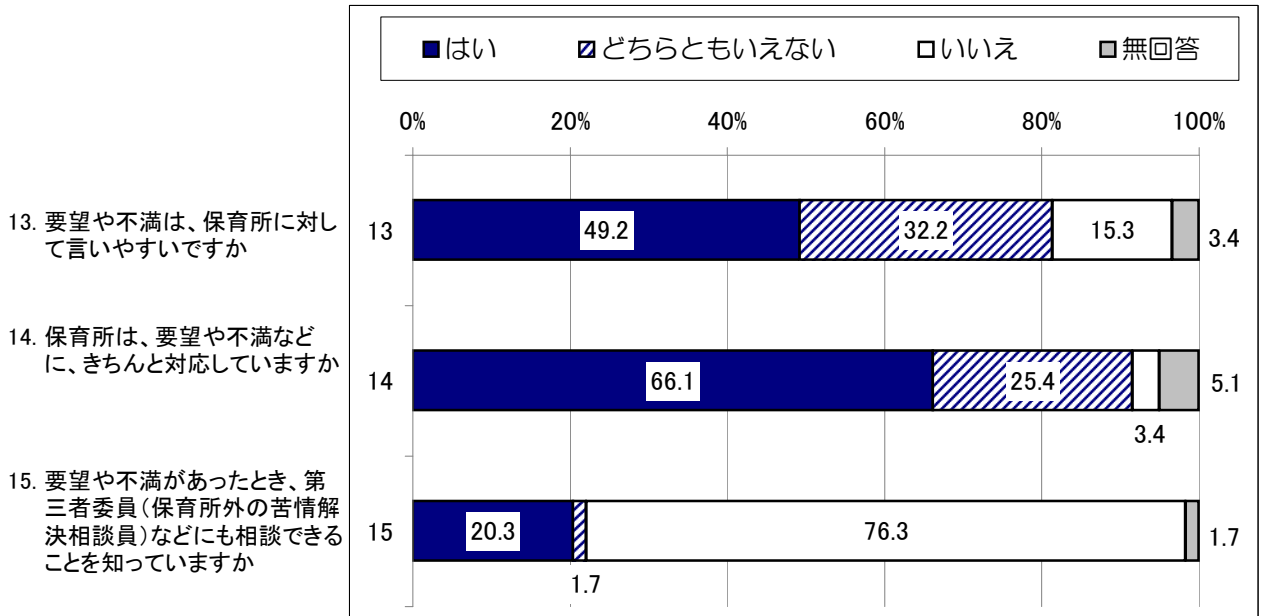
回答者数= 59



## 中瀬保育園

《要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします》

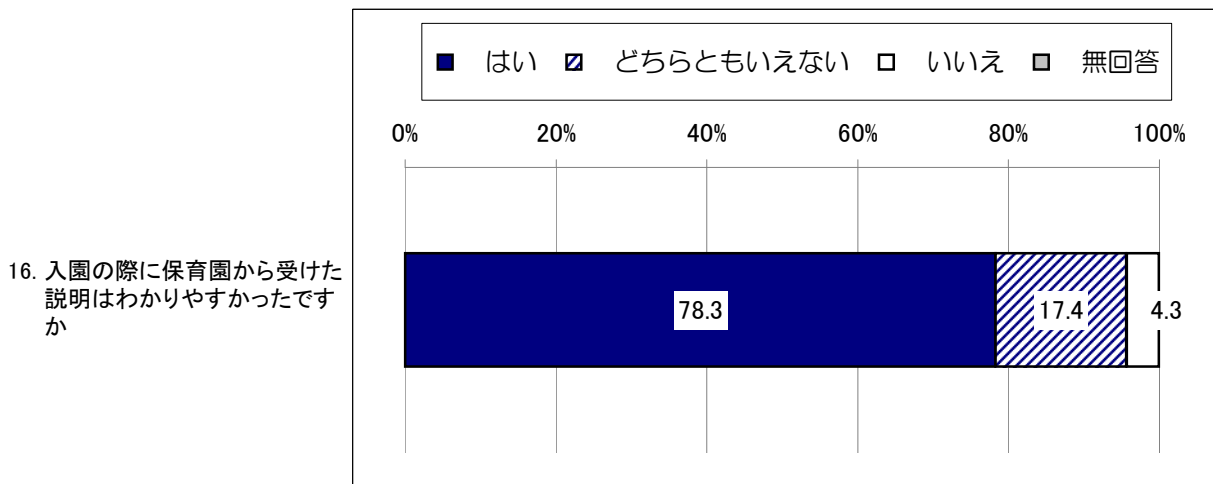
回答者数= 59



【利用開始後1年以内の方へ】

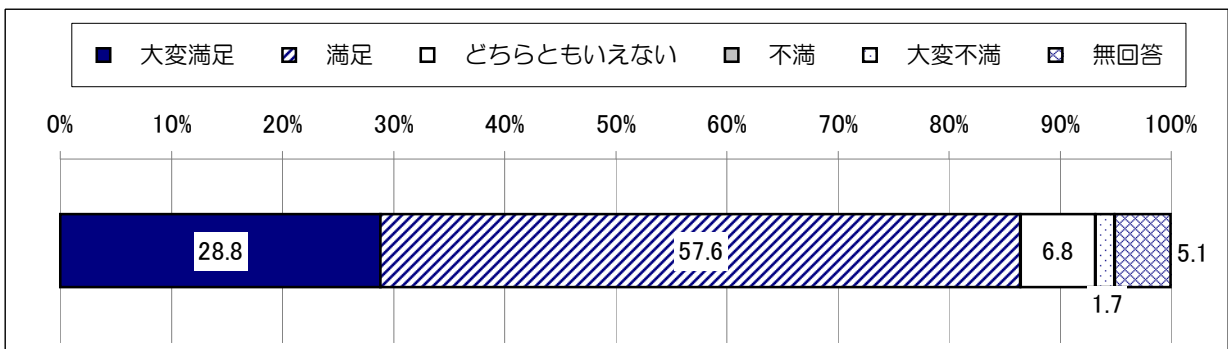
回答者数= 23

《利用前の保育園の対応についてお聞きします》



《総合的な満足度についてお聞きします》

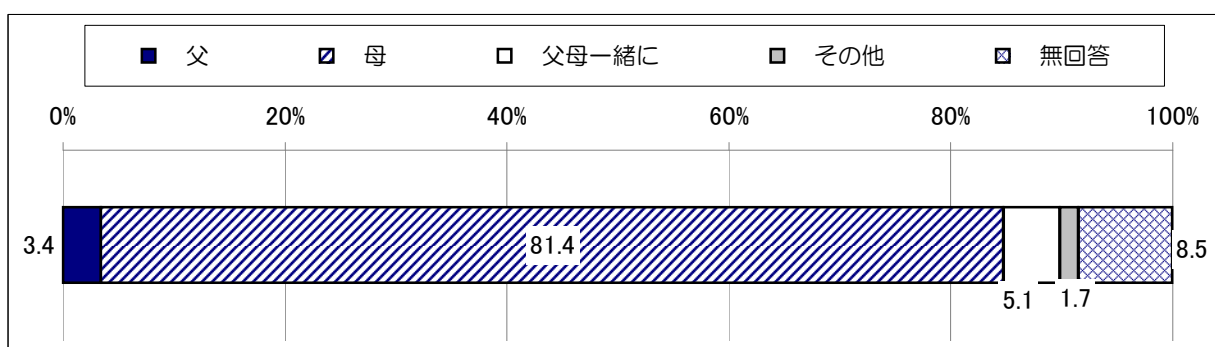
回答者数= 59



## 中瀬保育園

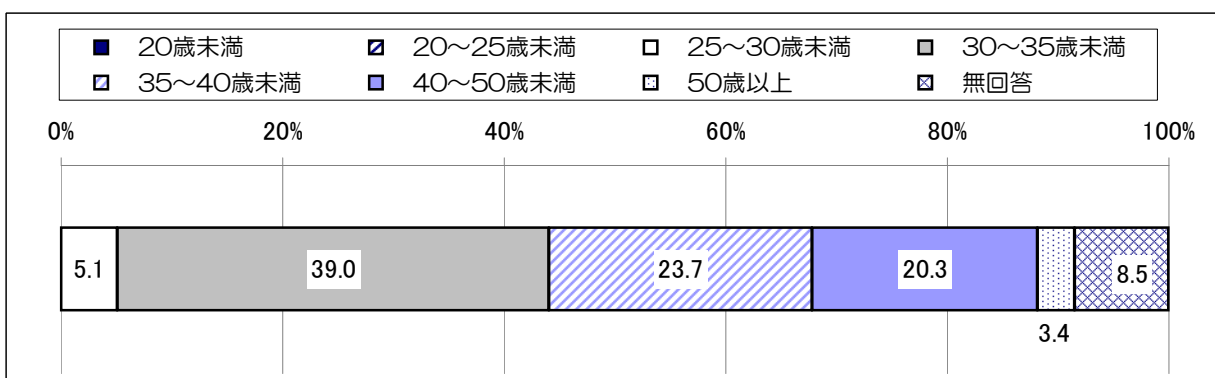
### <調査票記入者について>

回答者数= 59



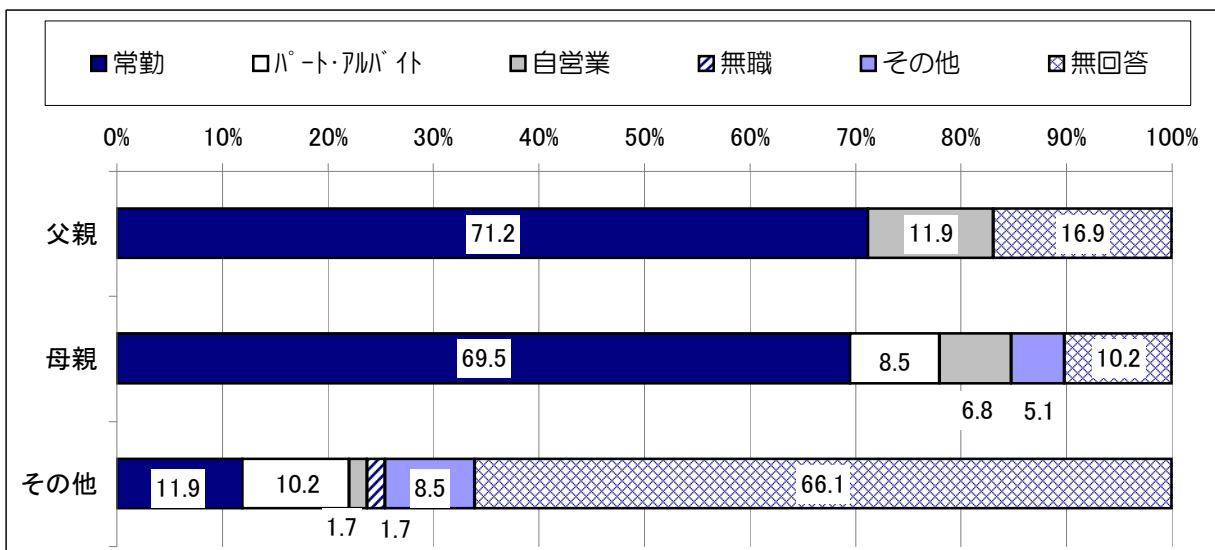
### <調査票記入者の年齢>

回答者数= 59



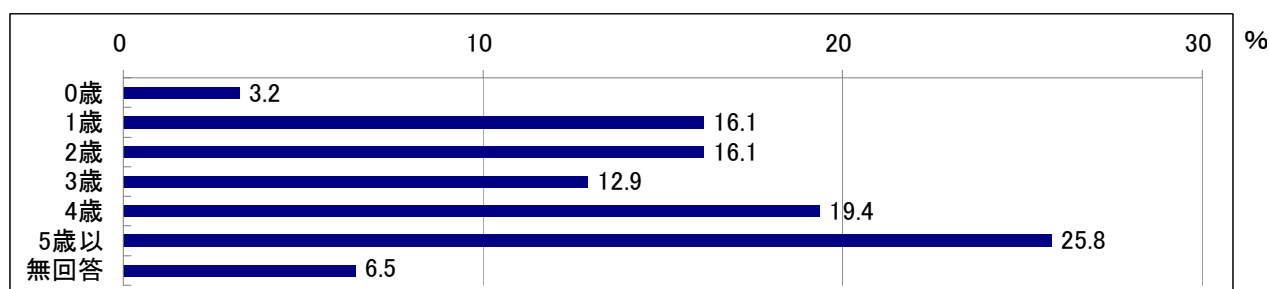
### <保護者の勤務形態>

回答者数= 59



### <お子さんの年齢(複数のお子さんがいらっしゃる場合は、複数に○)>

回答者数= 59



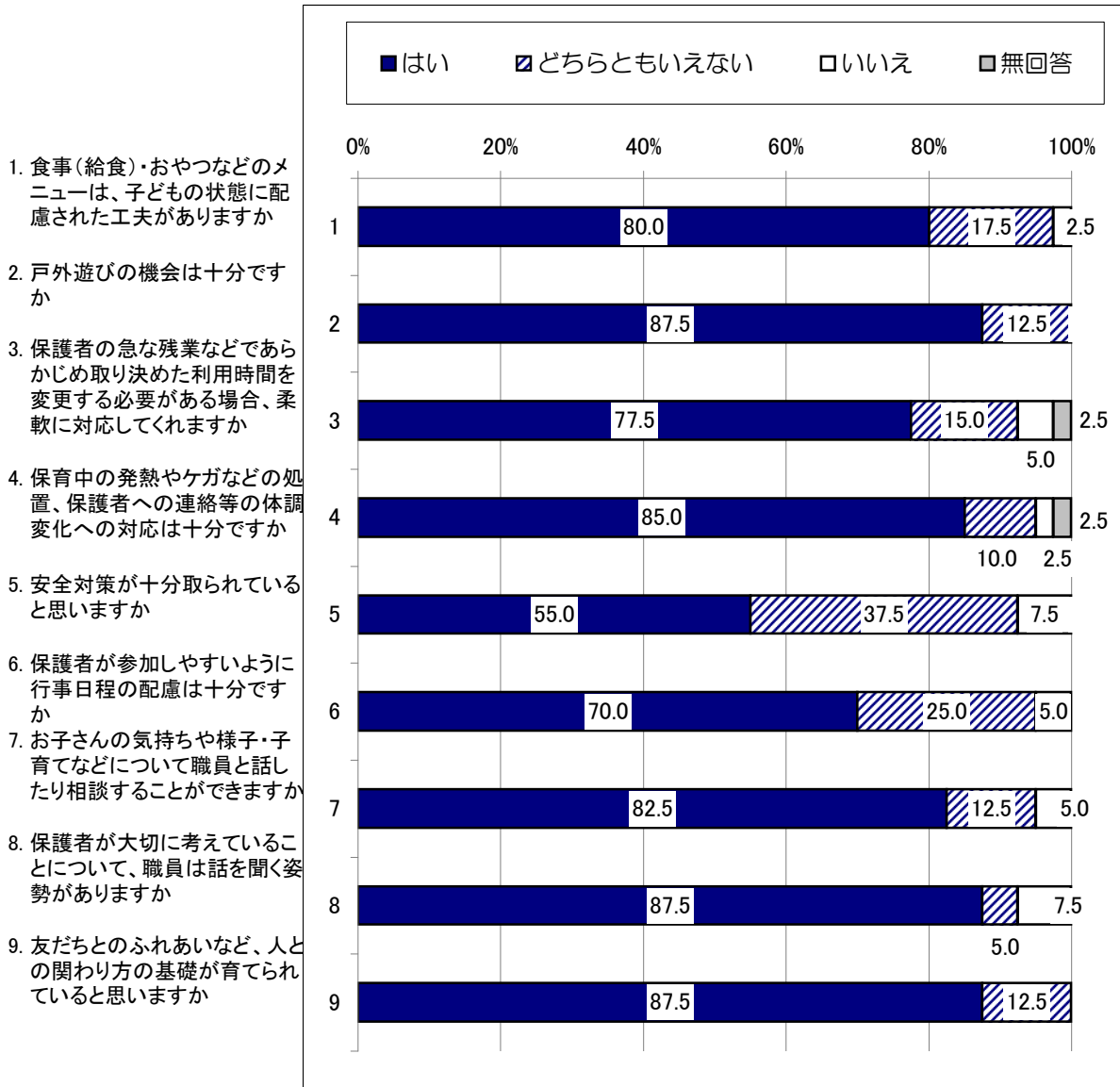
# 下高井戸保育園

---

## 下高井戸保育園

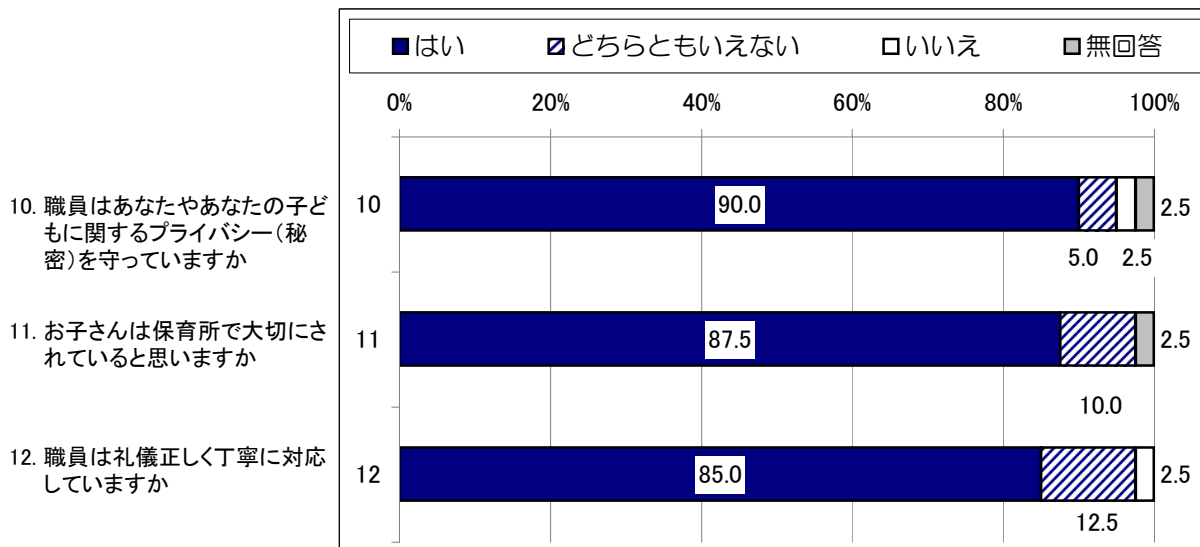
### 《毎日の保育サービスについてお聞きします》

回答者数= 40



### 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

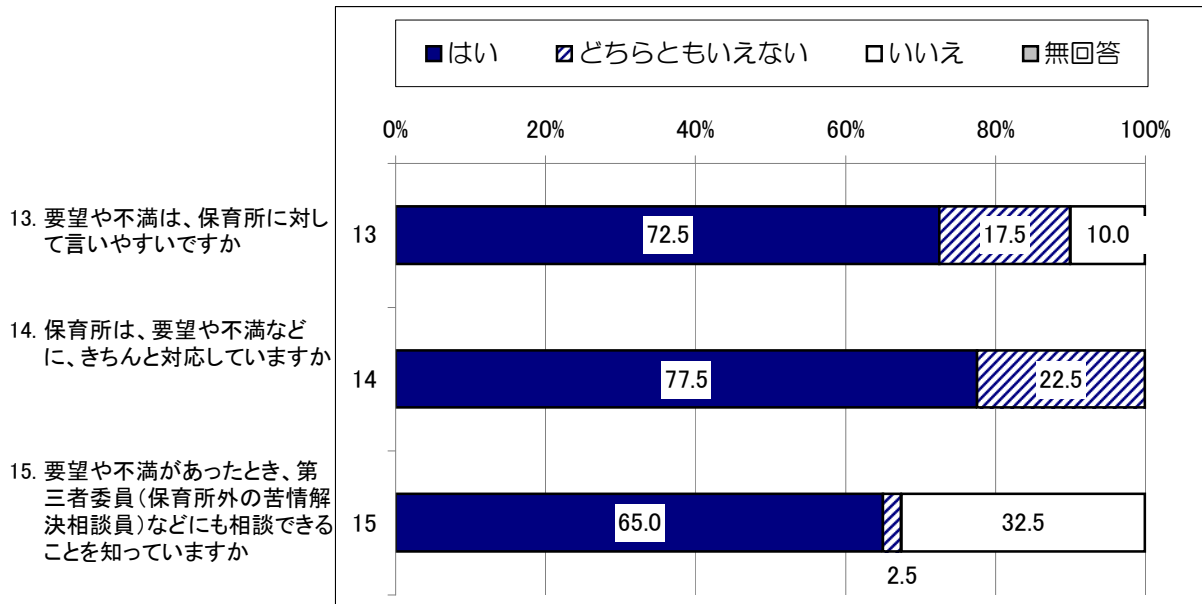
回答者数= 40



## 下高井戸保育園

《要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします》

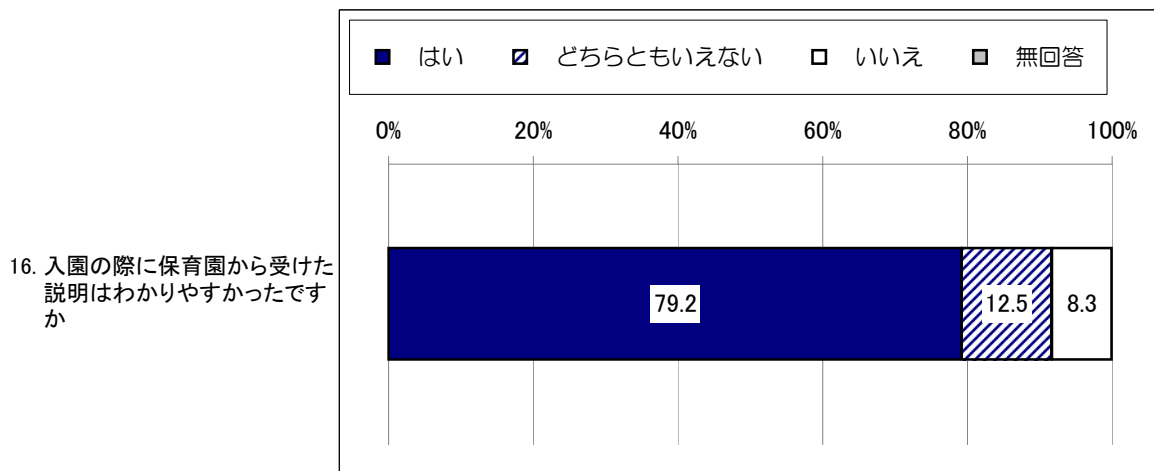
回答者数= 40



【利用開始後1年以内の方へ】

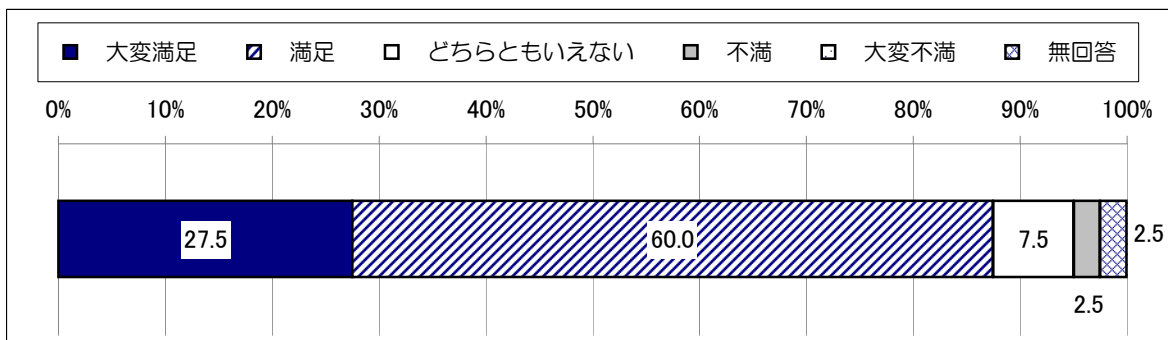
回答者数= 24

《利用前の保育園の対応についてお聞きします》



《総合的な満足度についてお聞きします》

回答者数= 40

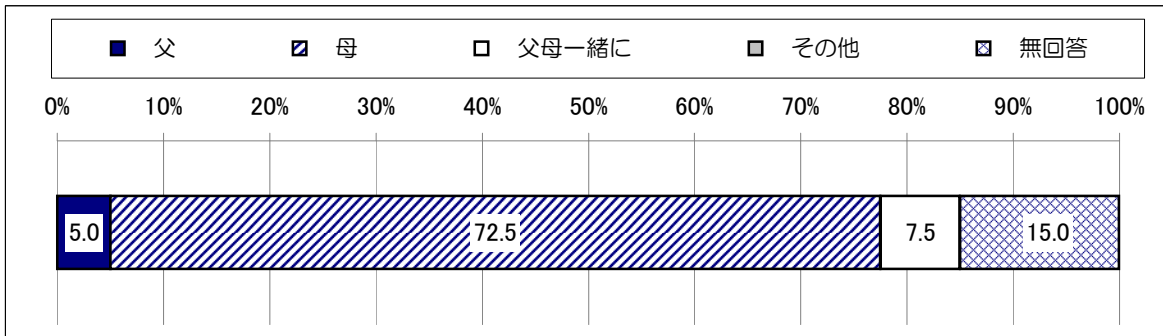


## 下高井戸保育園



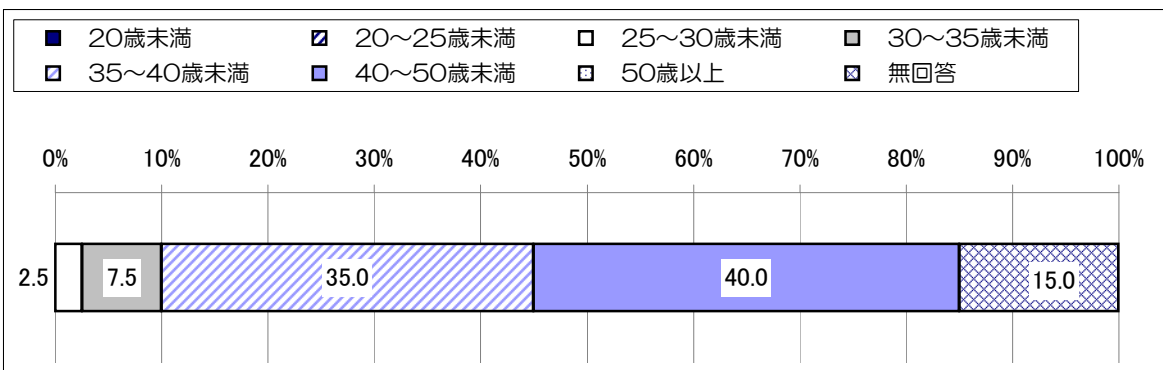
<調査票記入者について>

回答者数= 40



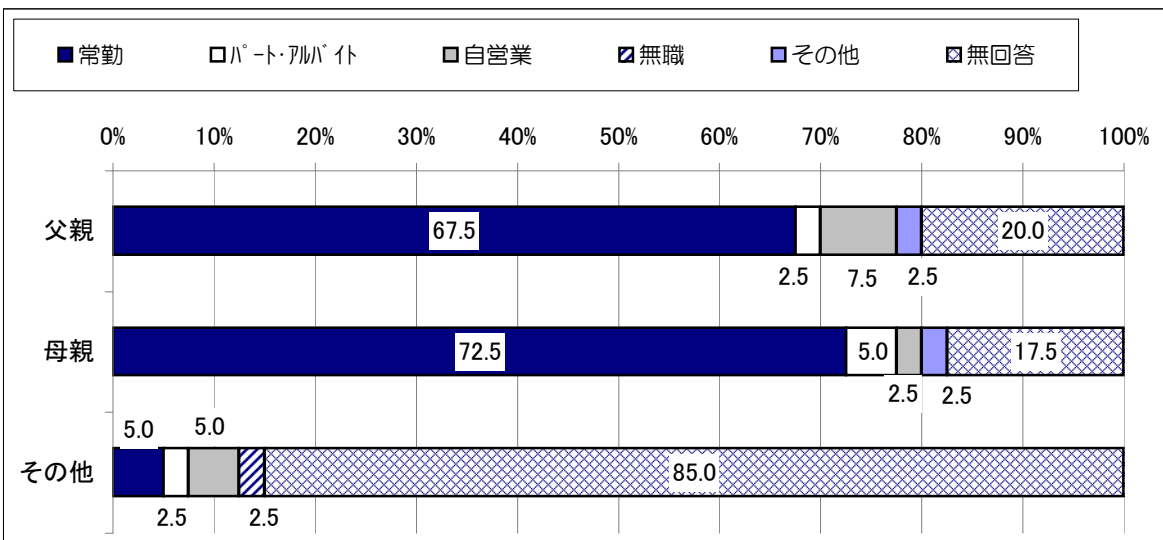
<調査票記入者の年齢>

回答者数= 40



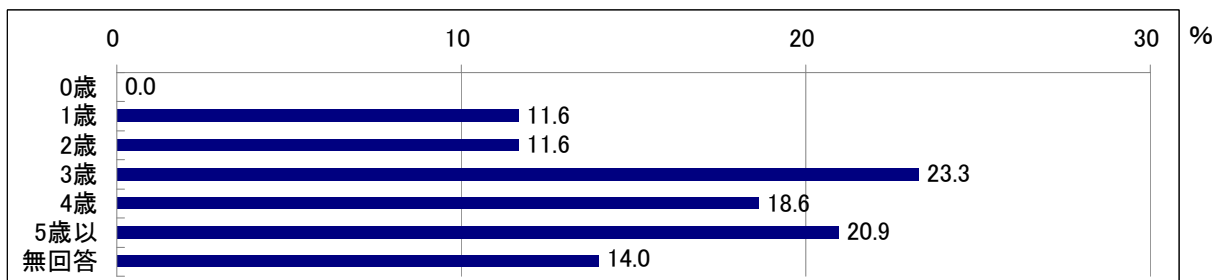
<保護者の勤務形態>

回答者数= 40



<お子さんの年齢(複数のお子さんがいらっしゃる場合は、複数に○)>

回答者数= 40



# 西田保育園

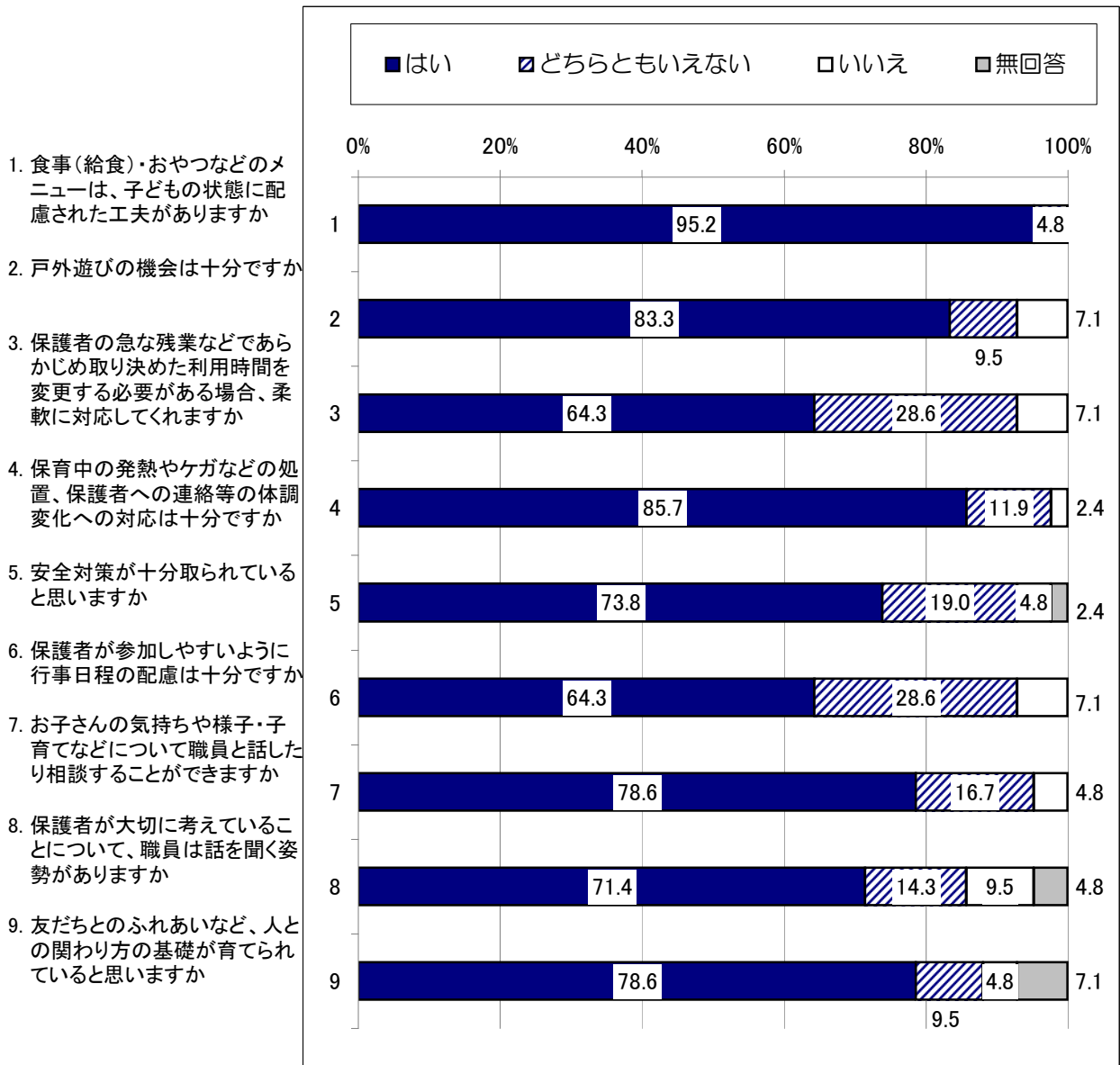
---

西  
田  
保  
育  
園

# 西田保育園

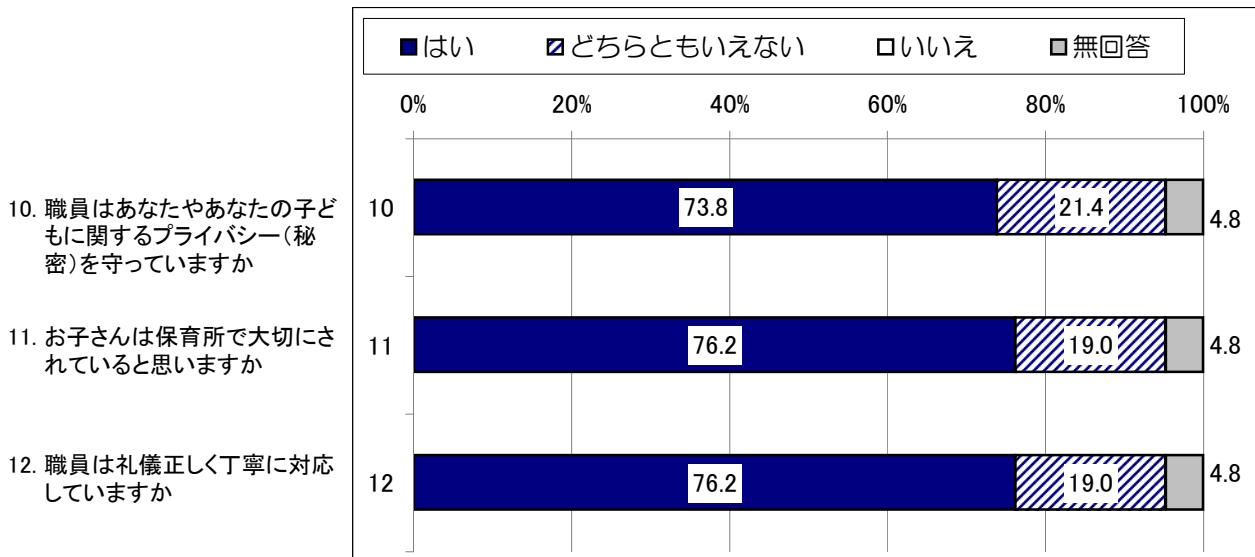
## 《毎日の保育サービスについてお聞きします》

回答者数= 42



## 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

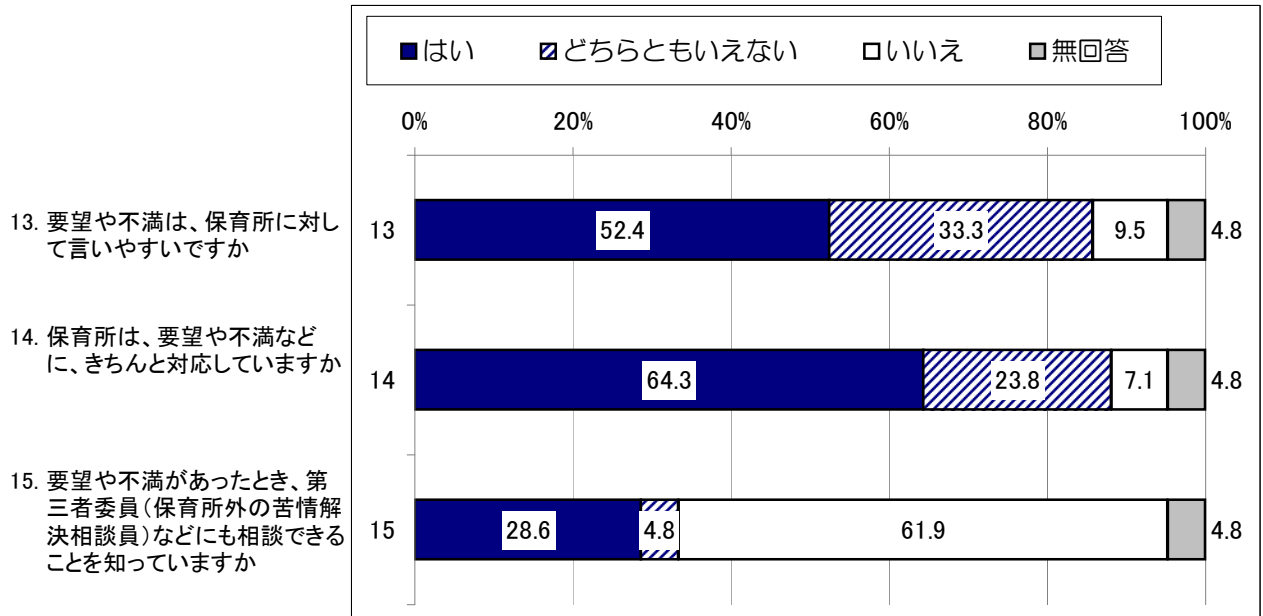
回答者数= 42



## 西田保育園

《要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします》

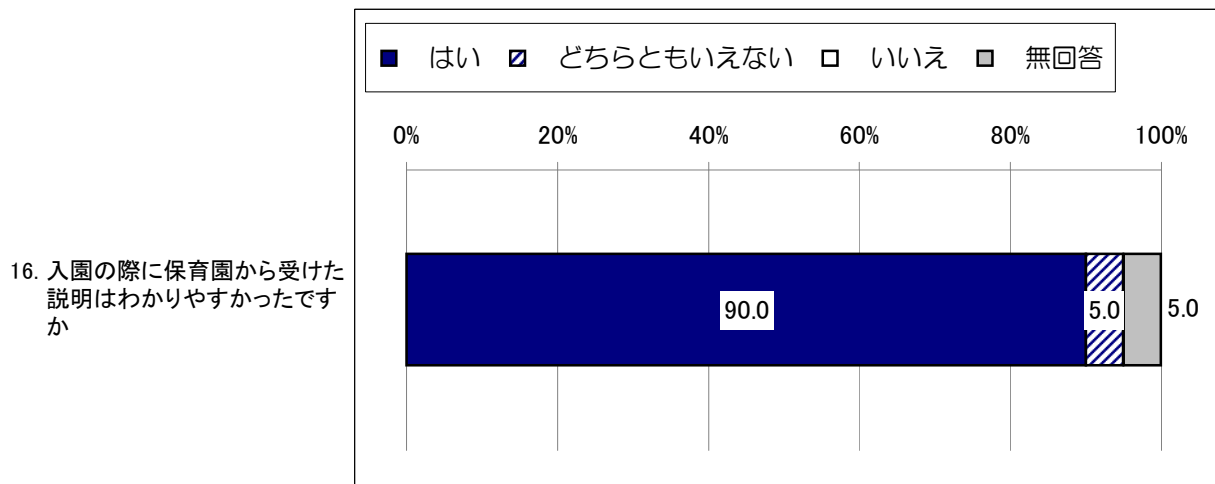
回答者数= 42



【利用開始後1年以内の方へ】

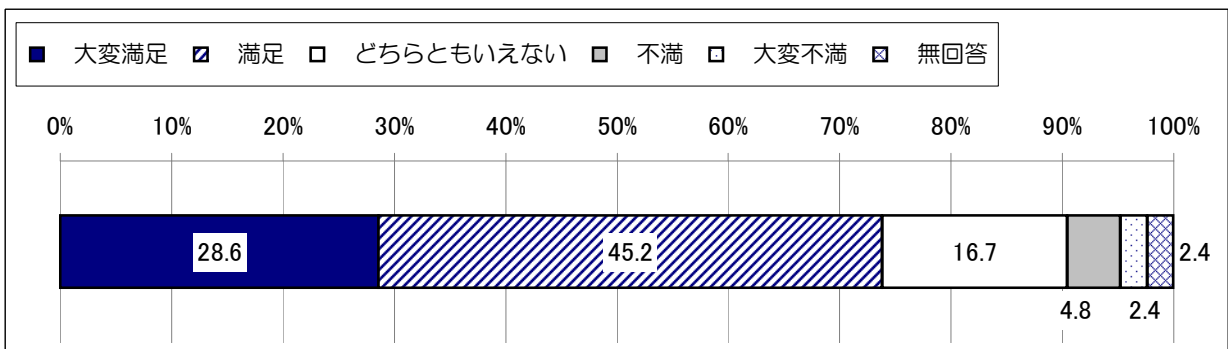
回答者数= 20

《利用前の保育園の対応についてお聞きします》



《総合的な満足度についてお聞きします》

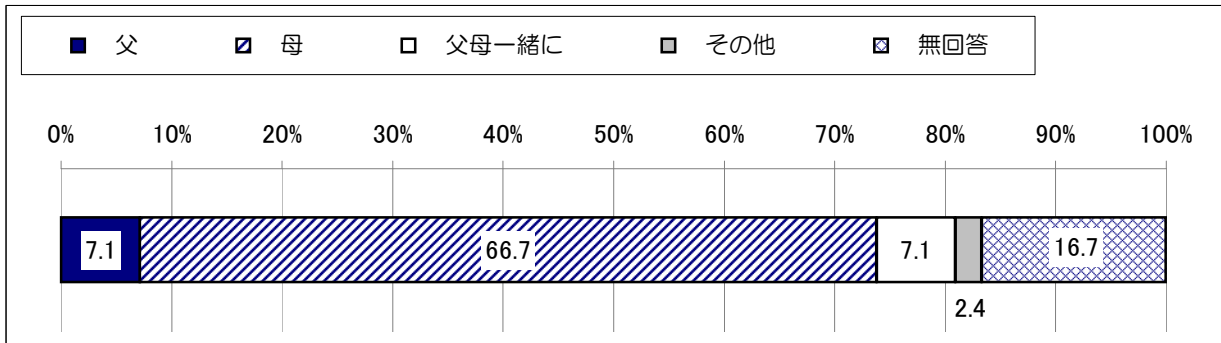
回答者数= 42



# 西田保育園

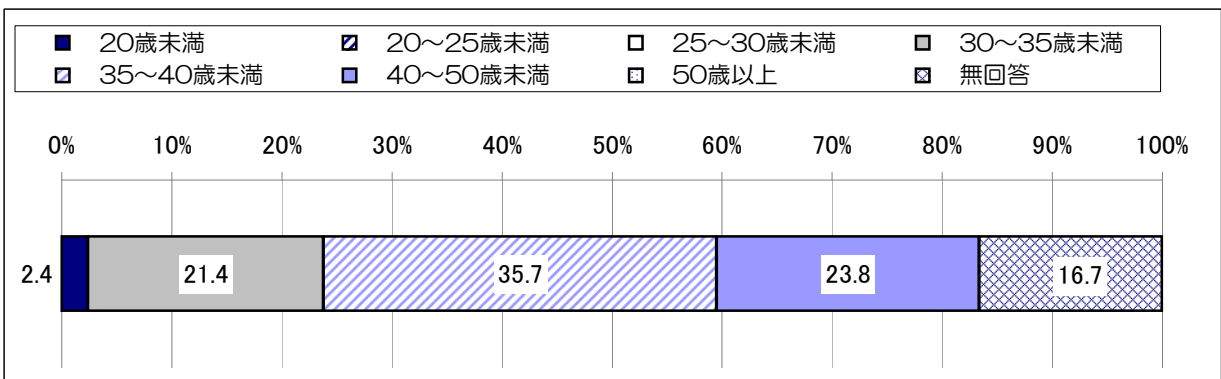
## <調査票記入者について>

回答者数= 42



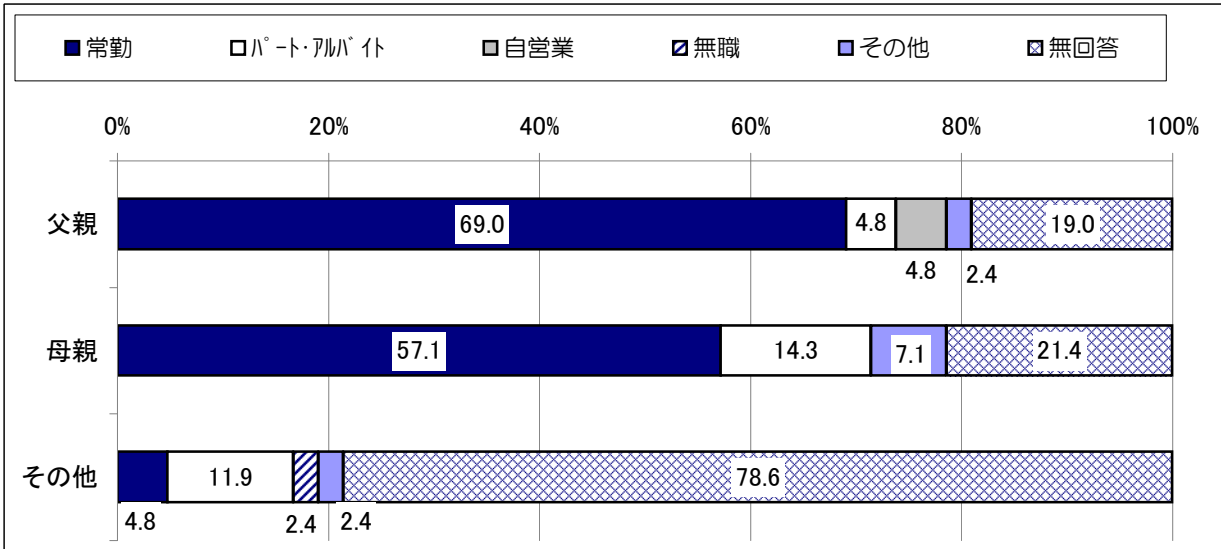
## <調査票記入者の年齢>

回答者数= 42



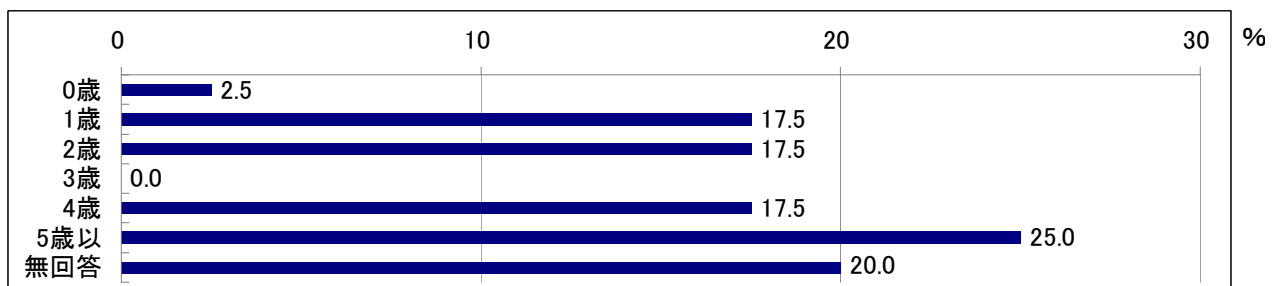
## <保護者の勤務形態>

回答者数= 42



## <お子さんの年齢(複数のお子さんがいらっしゃる場合は、複数に〇)>

回答者数= 42



# 荻窪保育園

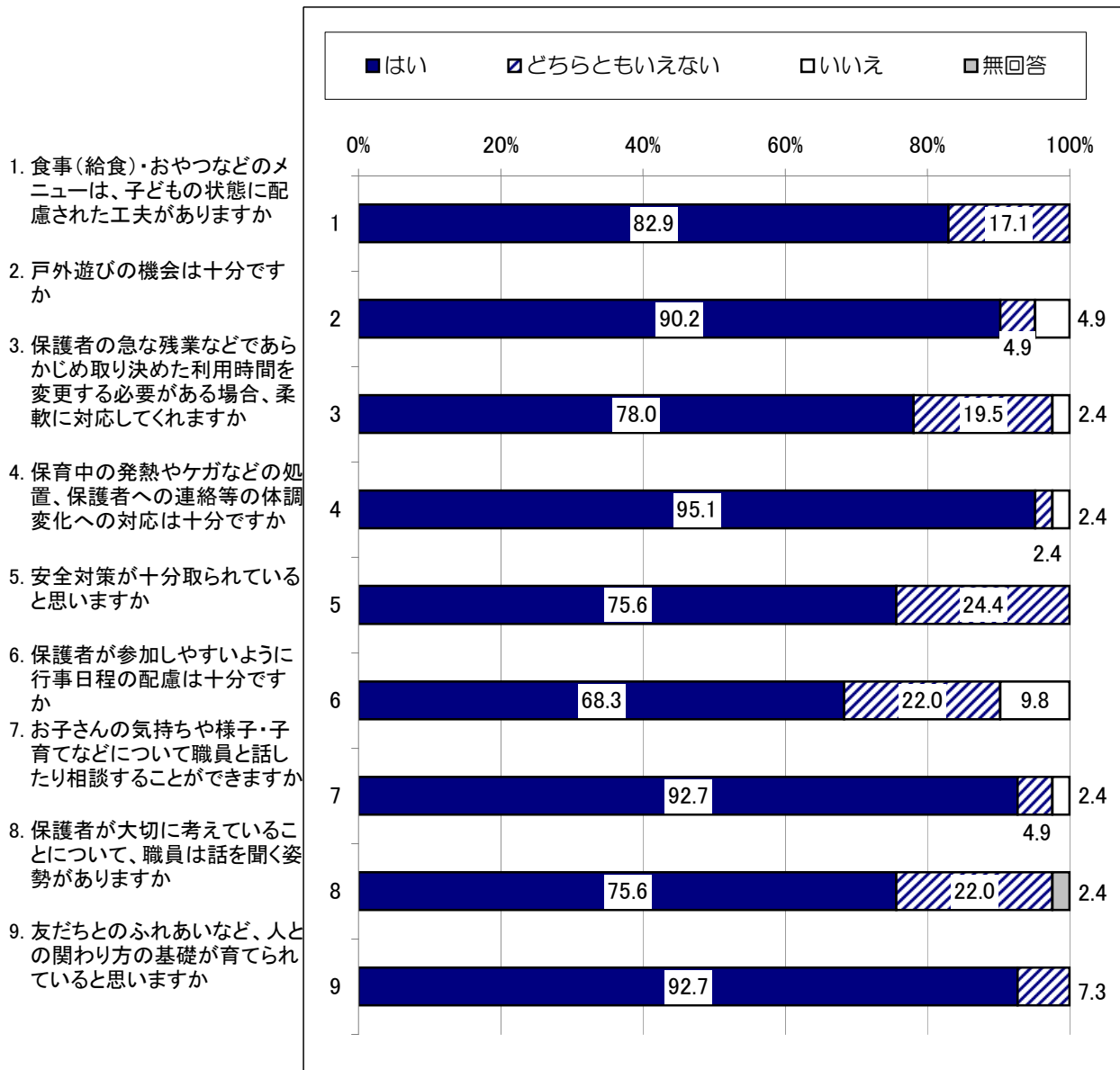
---

荻窪  
保育園

## 荻窪保育園

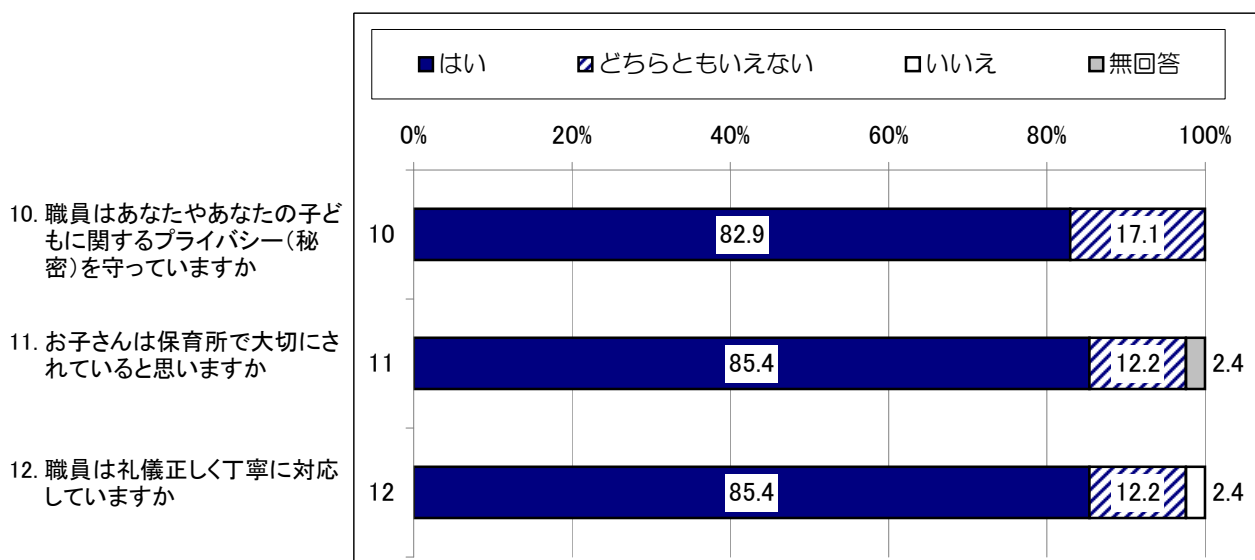
### 《毎日の保育サービスについてお聞きします》

回答者数= 41



### 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

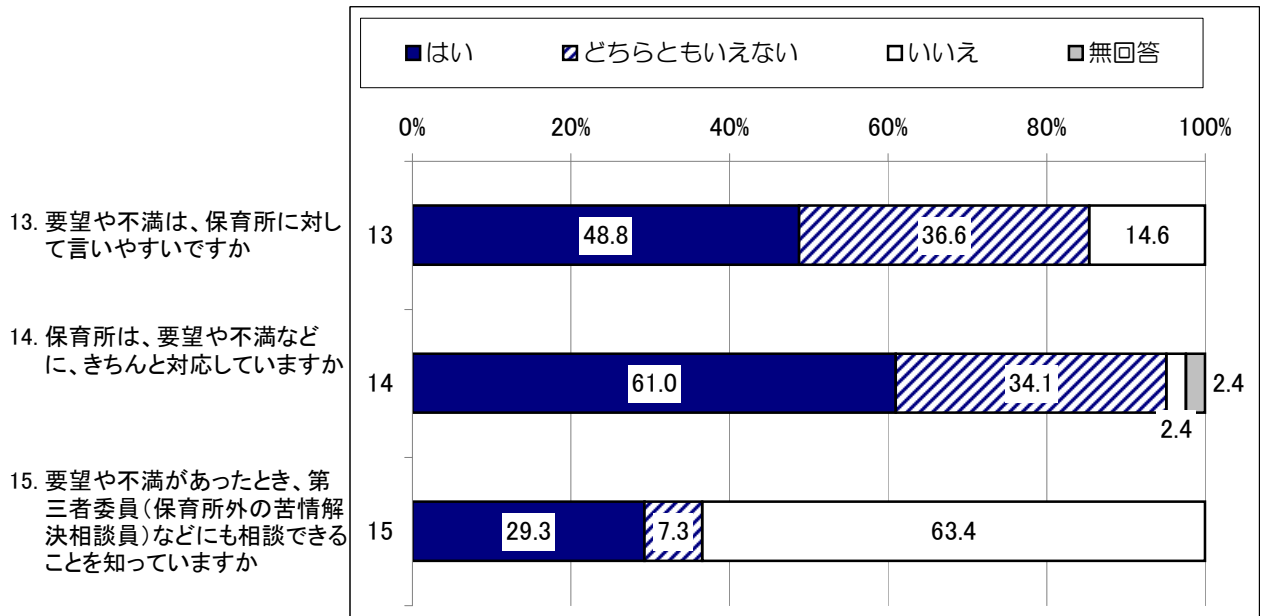
回答者数= 41



## 荻窪保育園

《要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします》

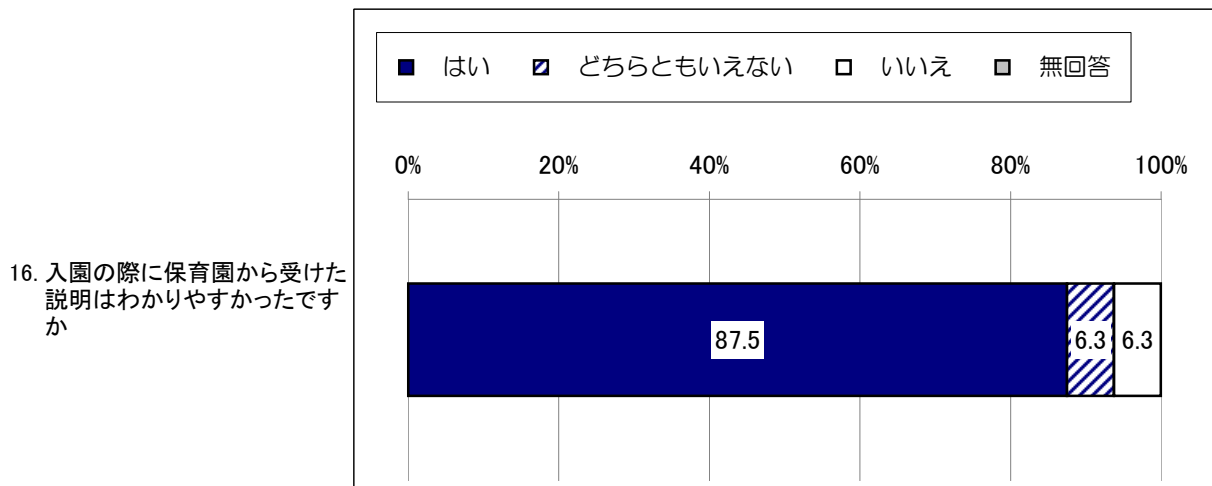
回答者数= 41



【利用開始後1年以内の方へ】

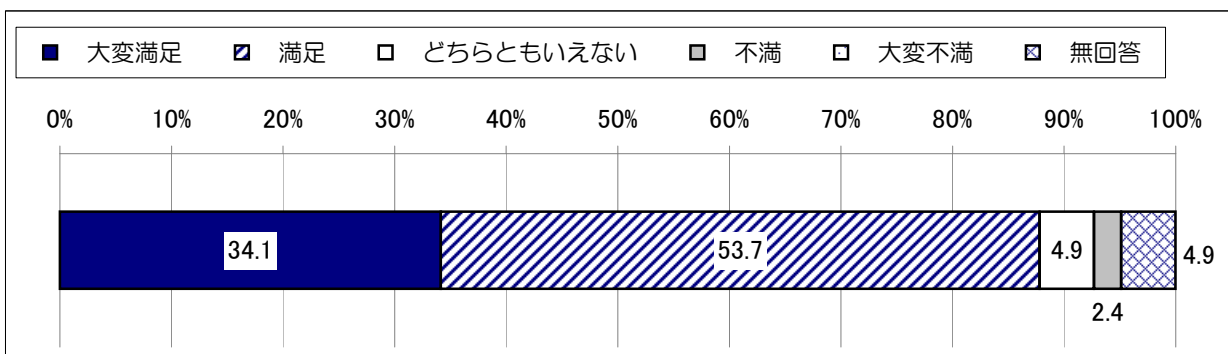
回答者数= 16

《利用前の保育園の対応についてお聞きします》



《総合的な満足度についてお聞きします》

回答者数= 41

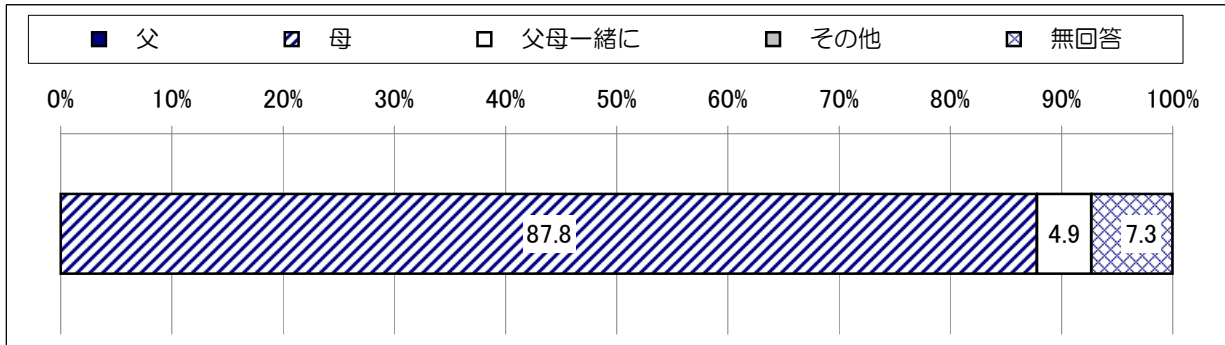




# 荻窪保育園

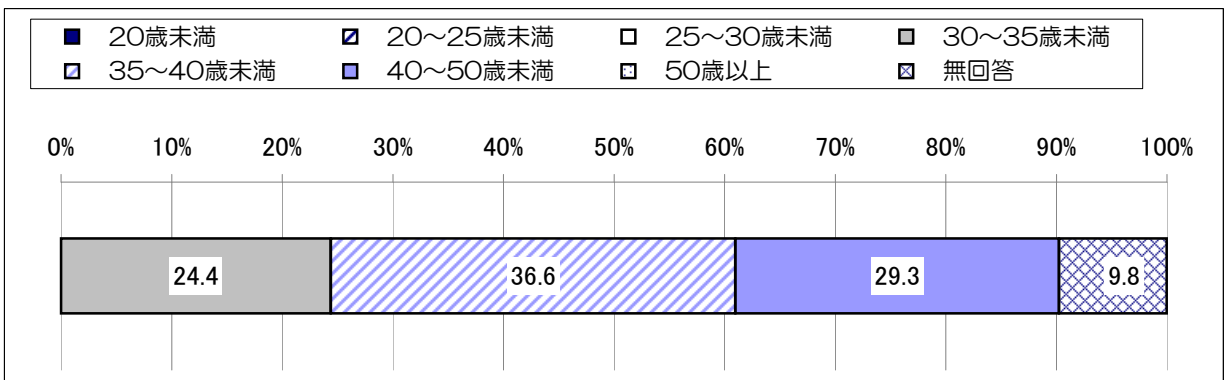
## <調査票記入者について>

回答者数= 41



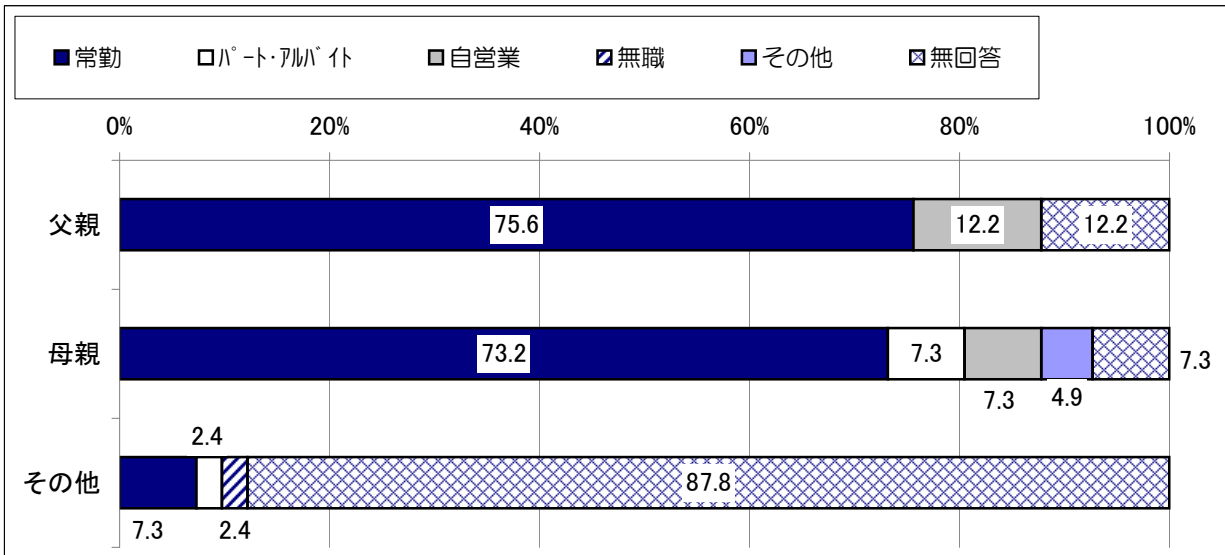
## <調査票記入者の年齢>

回答者数= 41



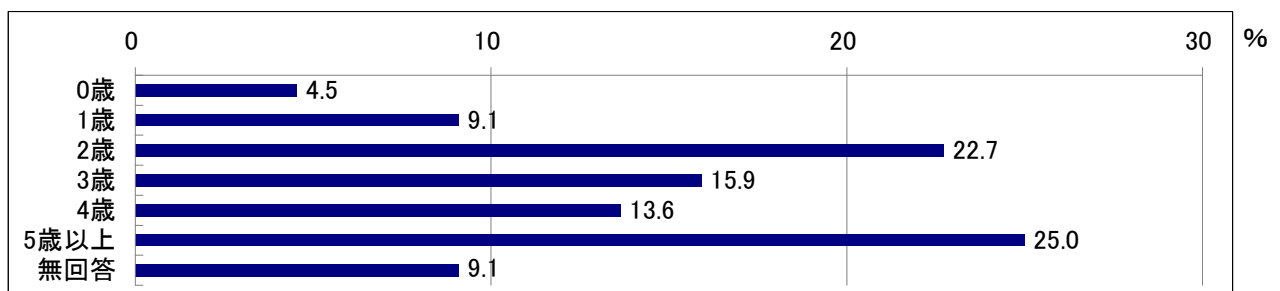
## <保護者の勤務形態>

回答者数= 41



## <お子さんの年齢(複数のお子さんがいらっしゃる場合は、複数に○)>

回答者数= 41



# 四宮保育園

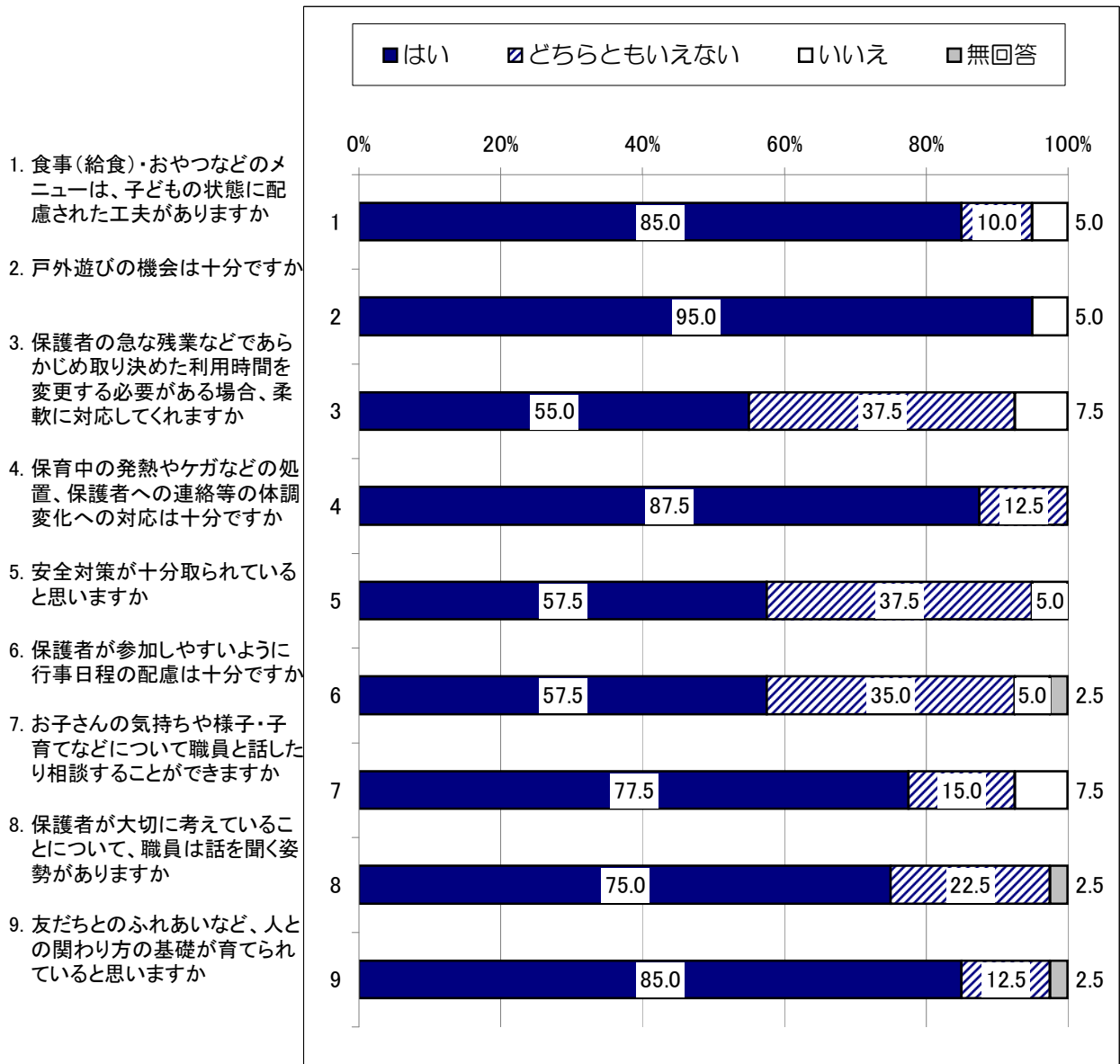
---

四宮  
保育園

## 四宮保育園

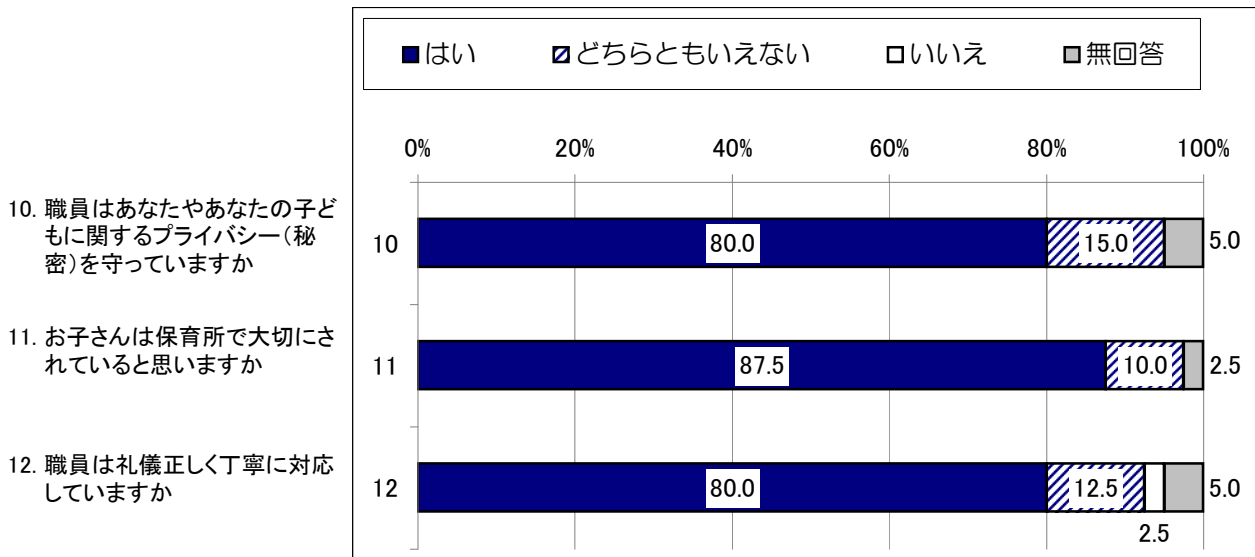
### 《毎日の保育サービスについてお聞きします》

回答者数= 40



### 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

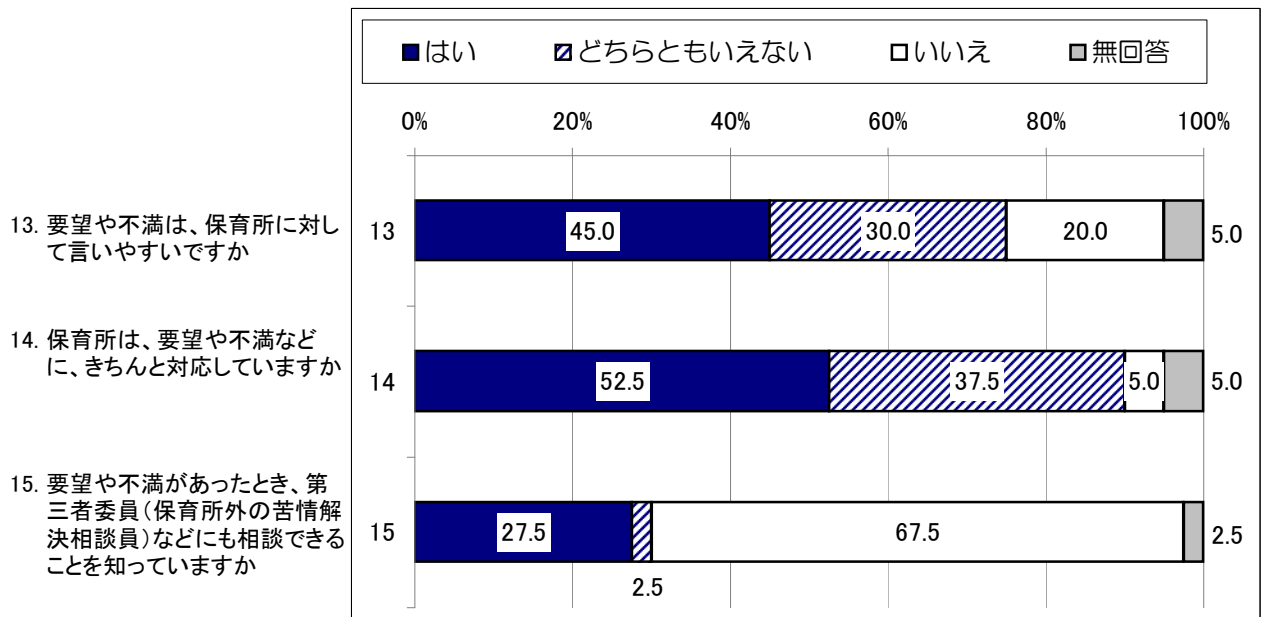
回答者数= 40



## 四宮保育園

《要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします》

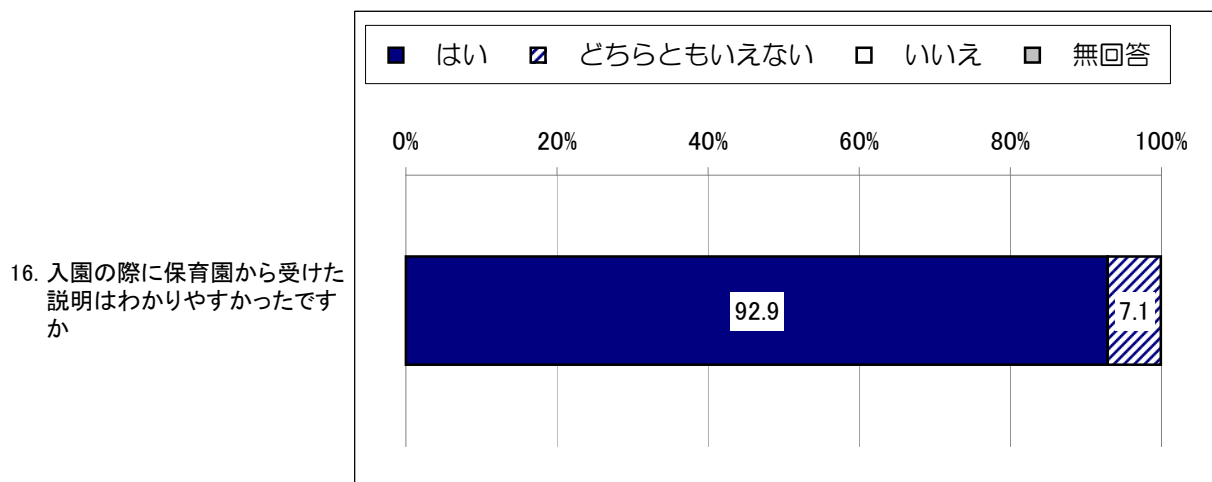
回答者数= 40



【利用開始後1年以内の方へ】

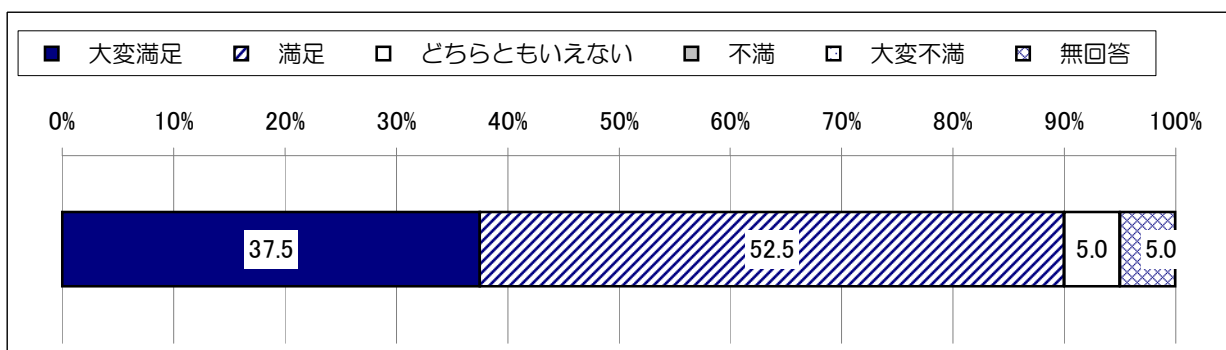
回答者数= 14

《利用前の保育園の対応についてお聞きします》



《総合的な満足度についてお聞きします》

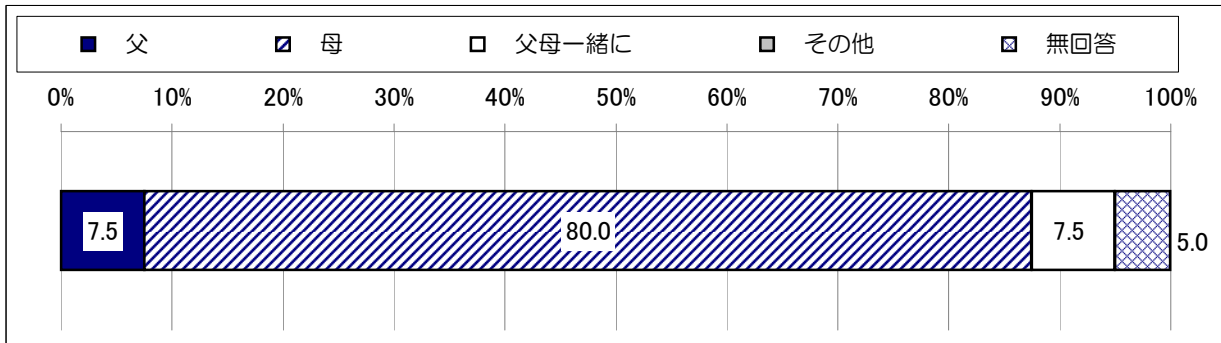
回答者数= 40



## 四宮保育園

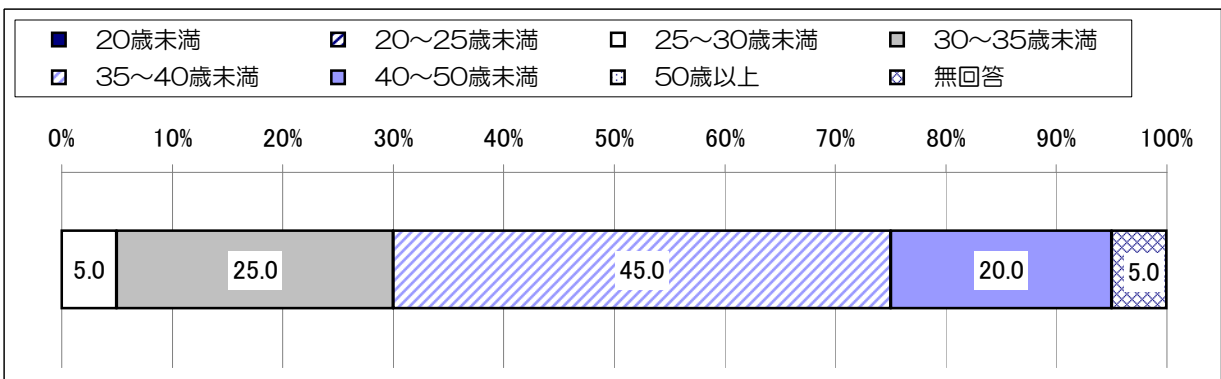
### <調査票記入者について>

回答者数= 40



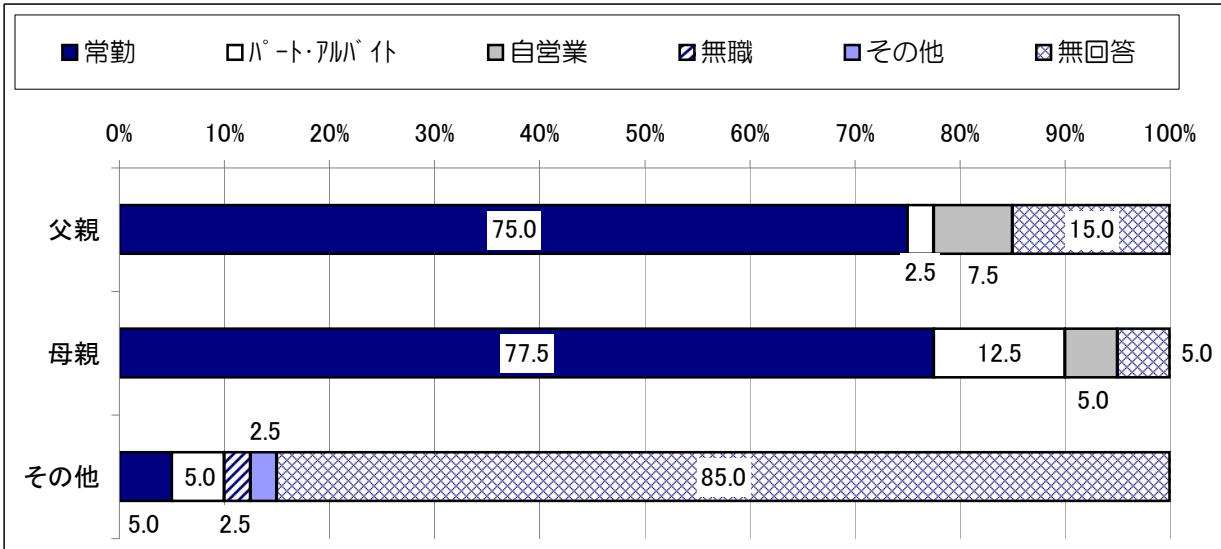
### <調査票記入者の年齢>

回答者数= 40



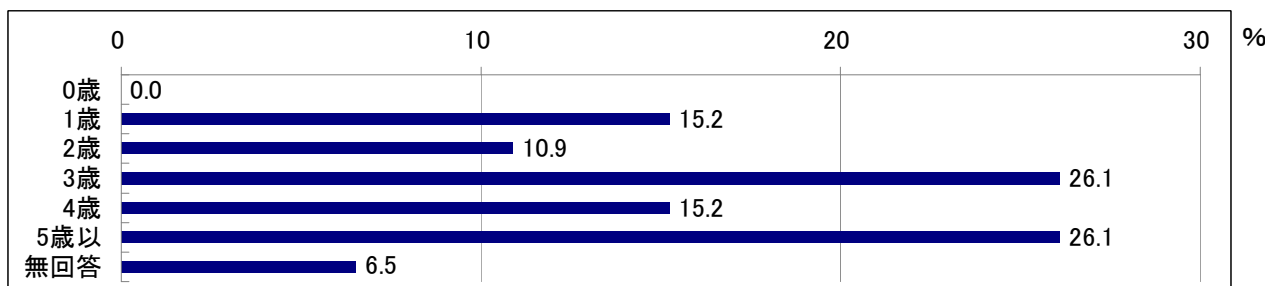
### <保護者の勤務形態>

回答者数= 40



### <お子さんの年齢(複数のお子さんがいらっしゃる場合は、複数に○)>

回答者数= 40



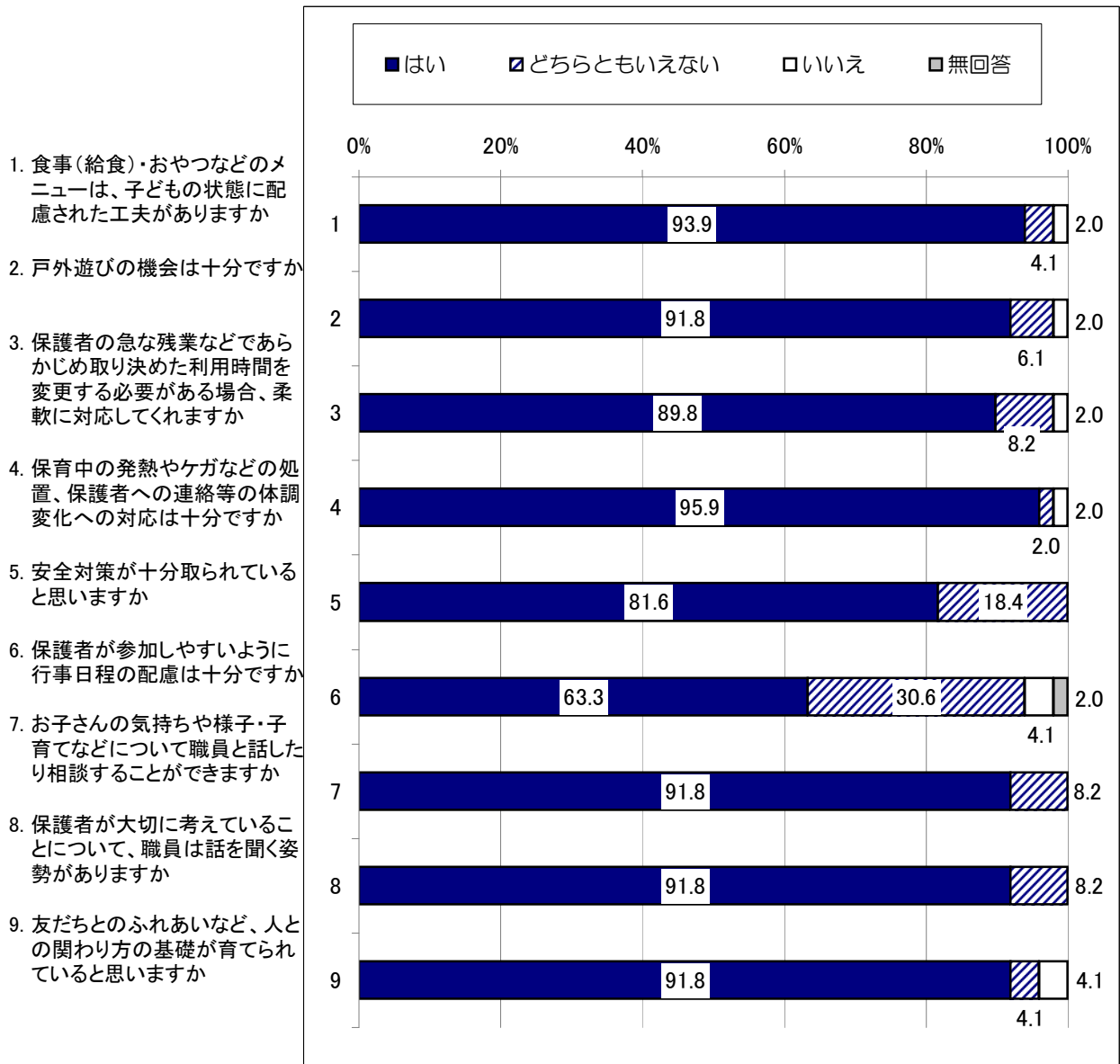
# 和泉保育園

---

# 和泉保育園

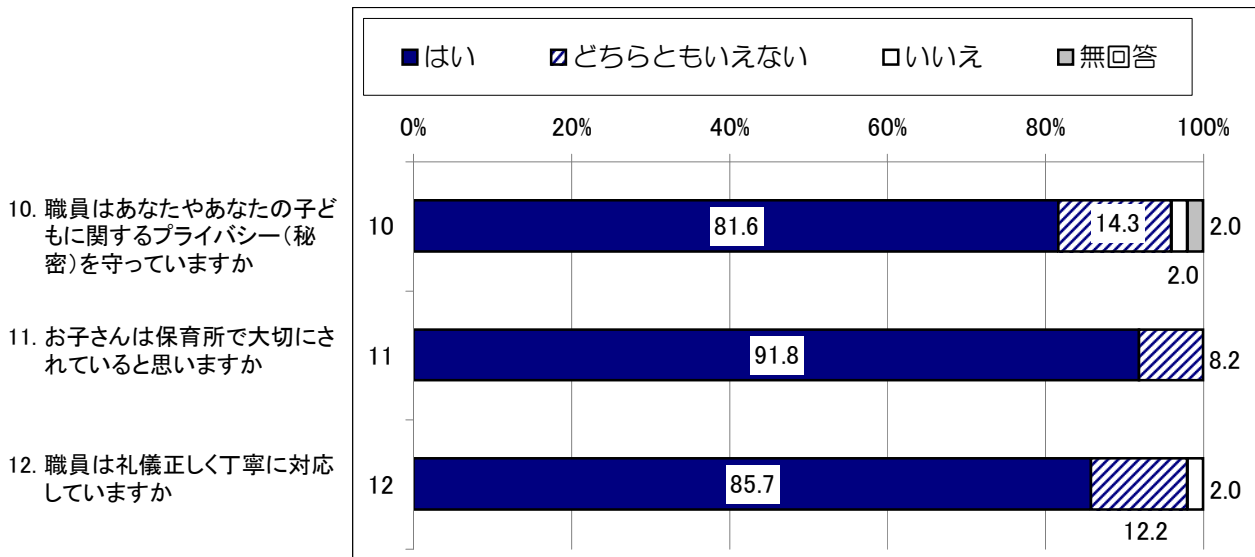
## 《毎日の保育サービスについてお聞きします》

回答者数= 49



## 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

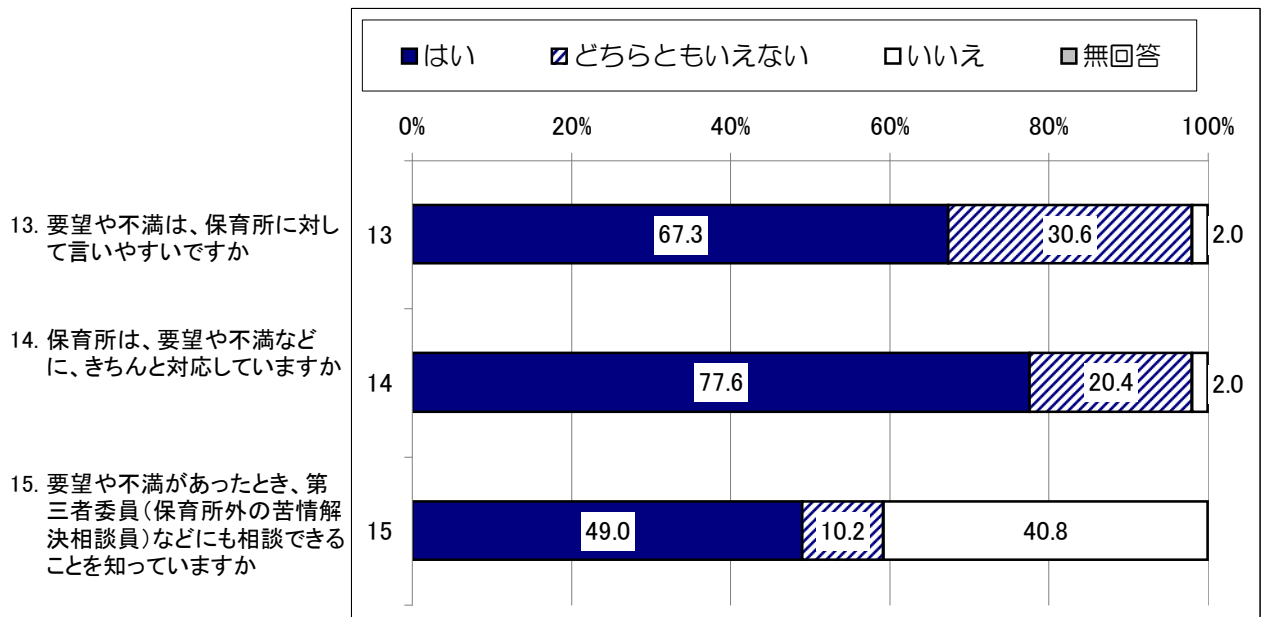
回答者数= 49



## 和泉保育園

《要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします》

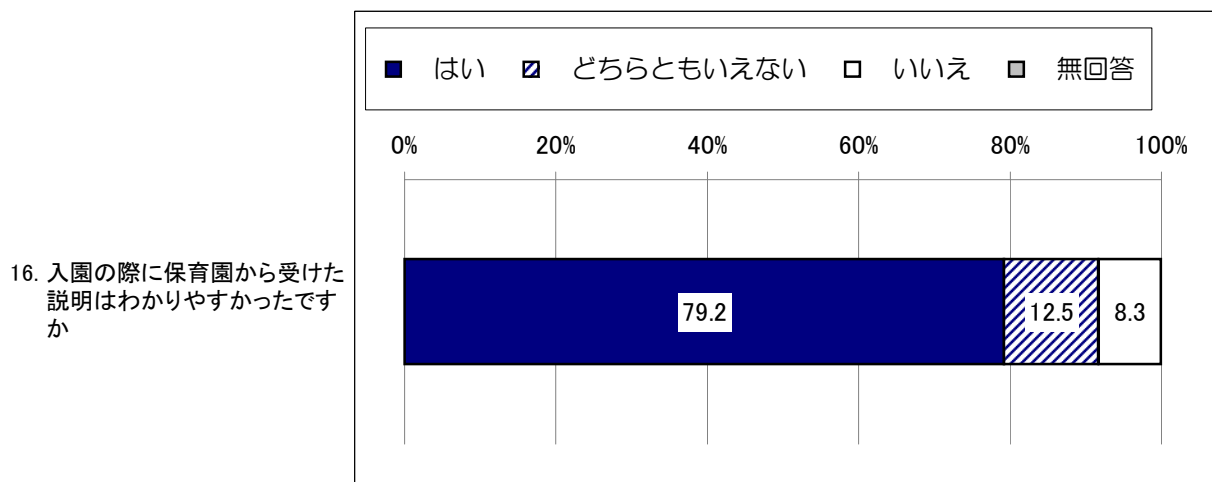
回答者数= 49



【利用開始後1年以内の方へ】

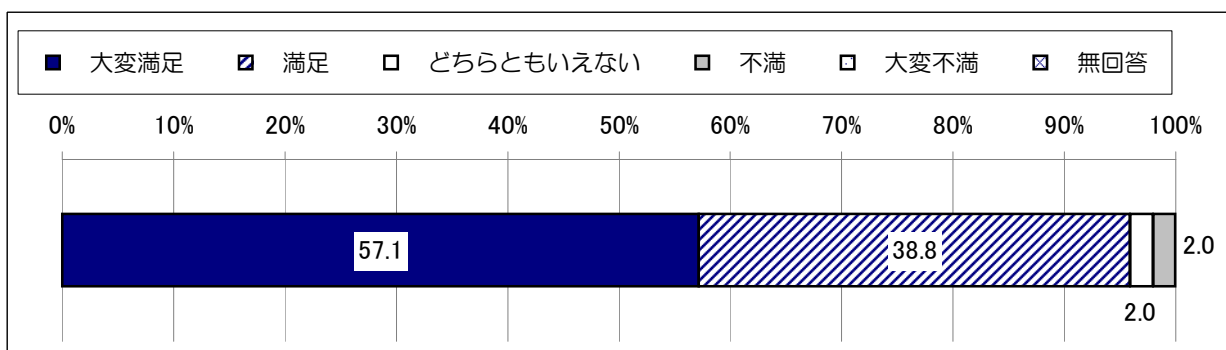
回答者数= 24

《利用前の保育園の対応についてお聞きします》



《総合的な満足度についてお聞きします》

回答者数= 49

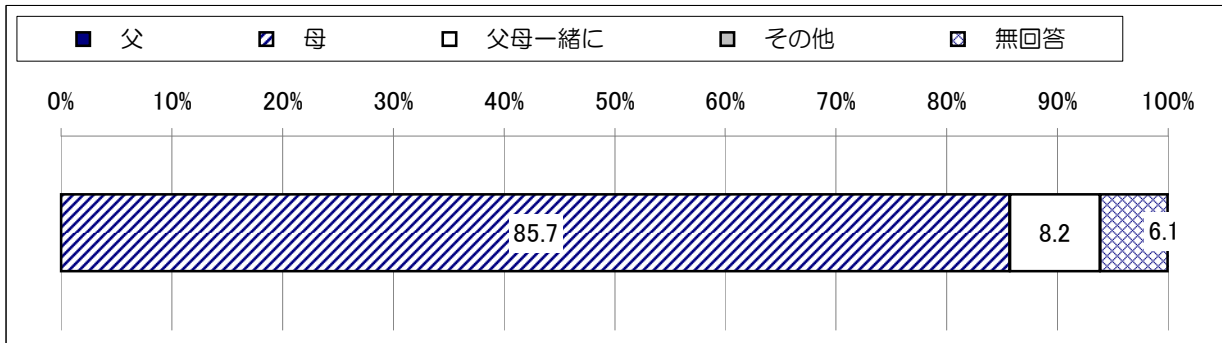




# 和泉保育園

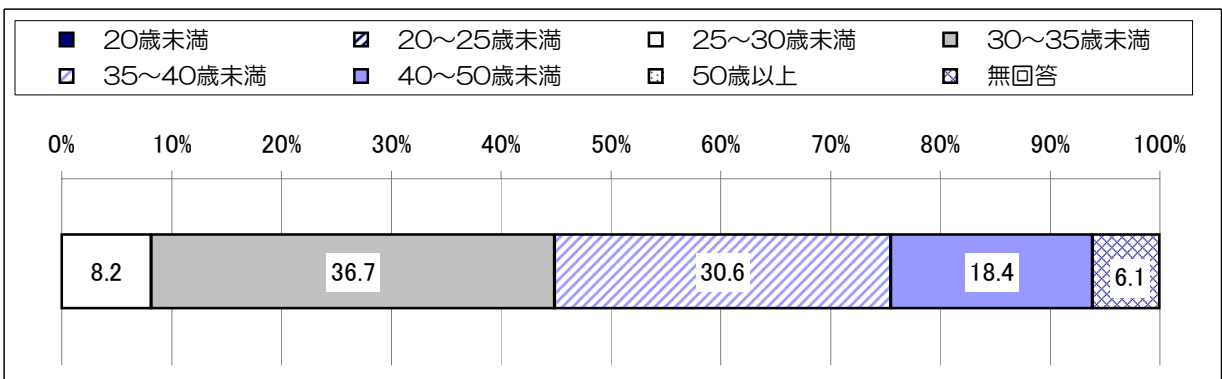
## <調査票記入者について>

回答者数= 49



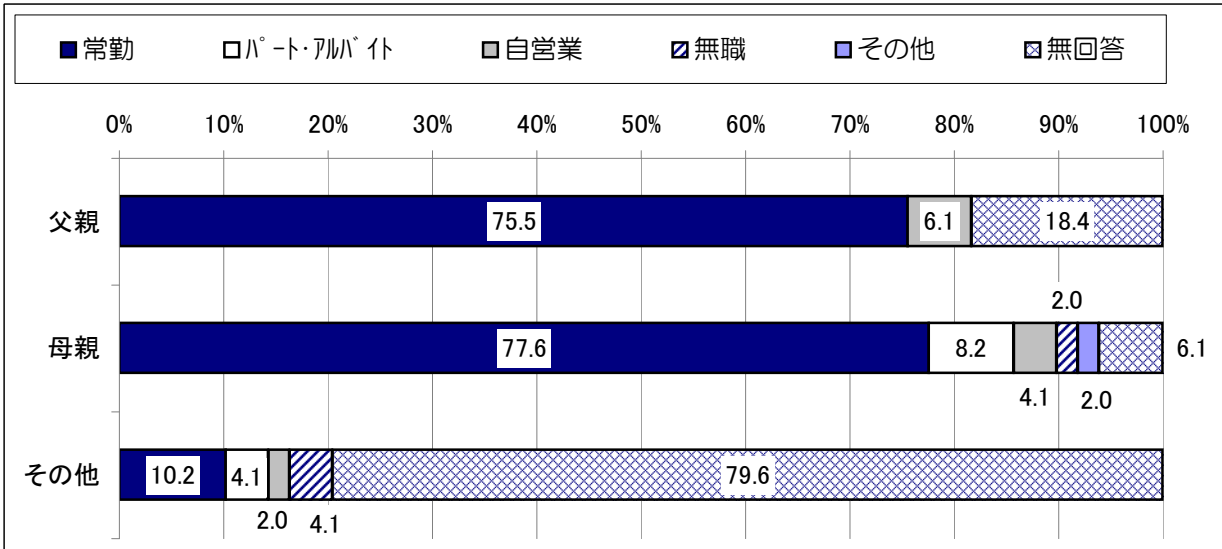
## <調査票記入者の年齢>

回答者数= 49



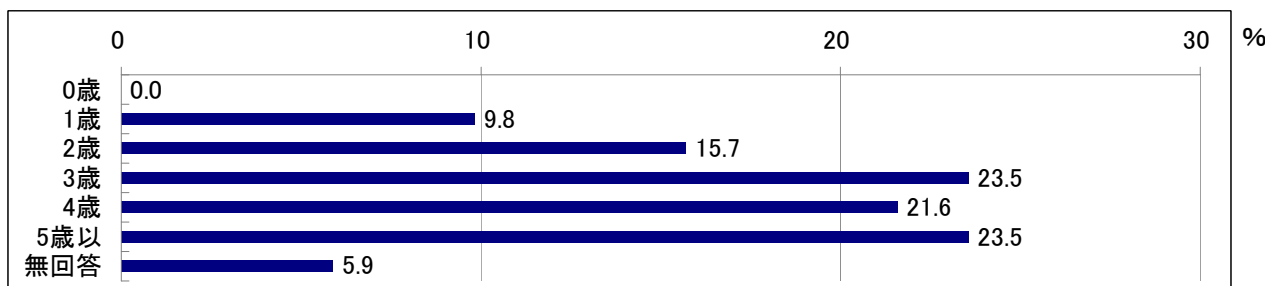
## <保護者の勤務形態>

回答者数= 49



## <お子さんの年齢(複数のお子さんがいらっしゃる場合は、複数に○)>

回答者数= 49



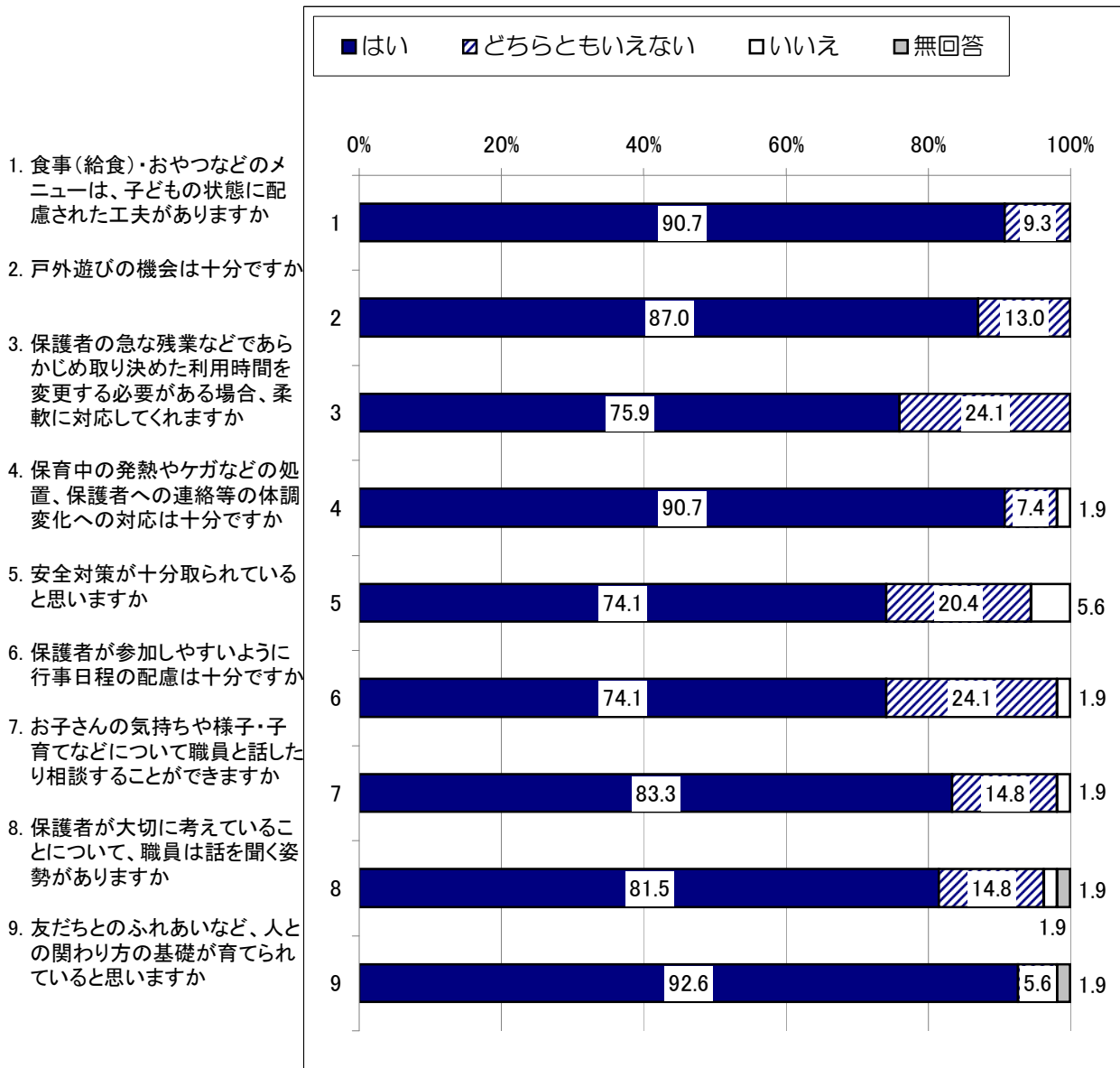
# 上井草保育園

---

# 上井草保育園

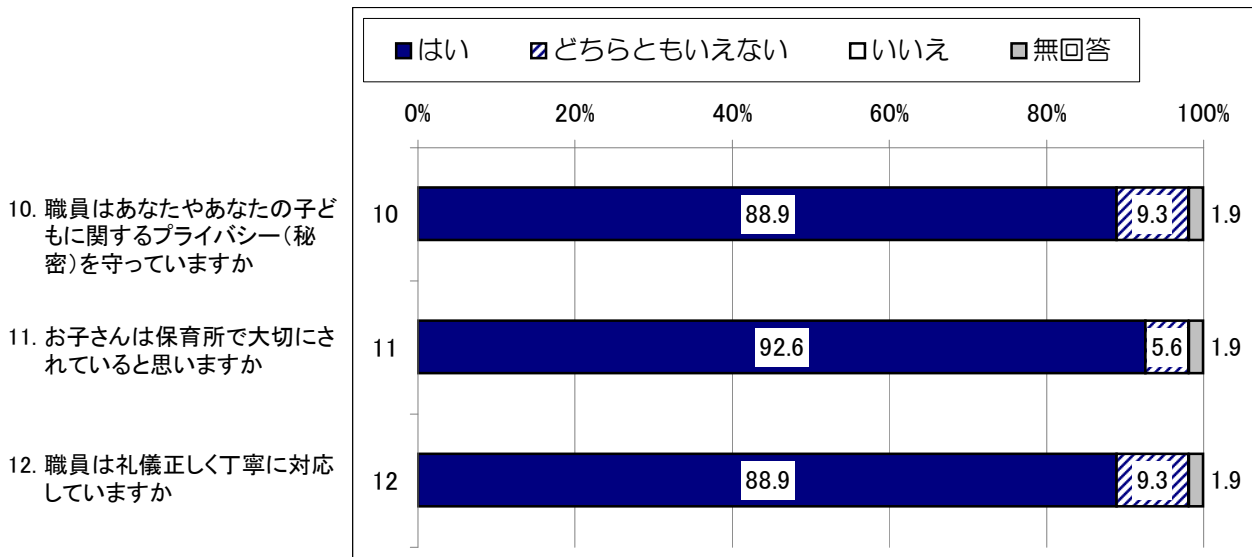
## 《毎日の保育サービスについてお聞きします》

回答者数= 54



## 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

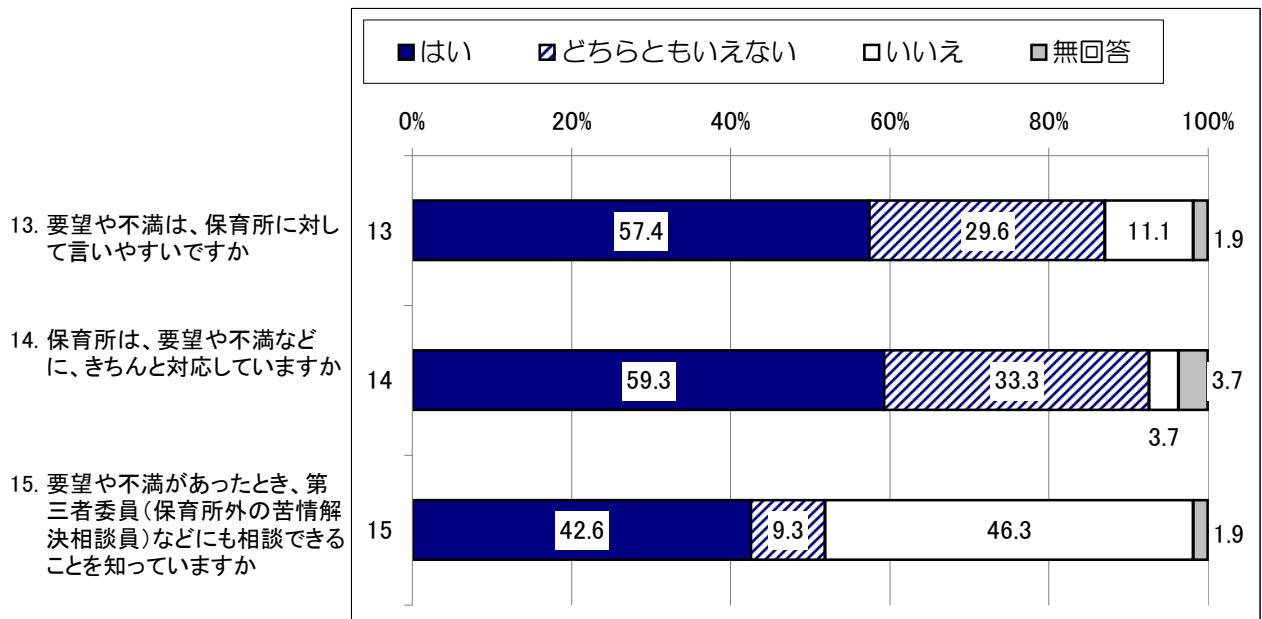
回答者数= 54



## 上井草保育園

《要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします》

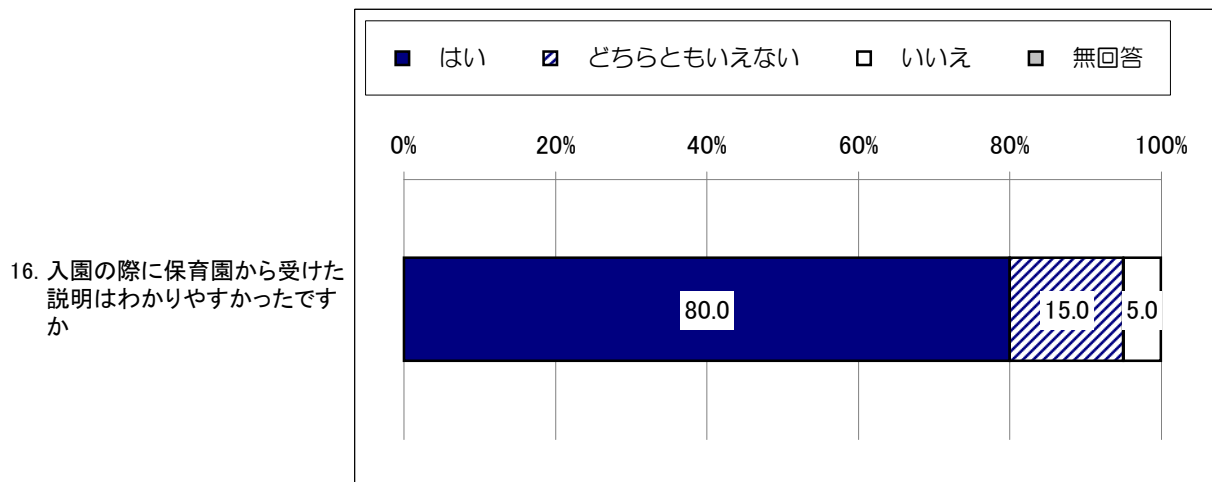
回答者数= 54



【利用開始後1年以内の方へ】

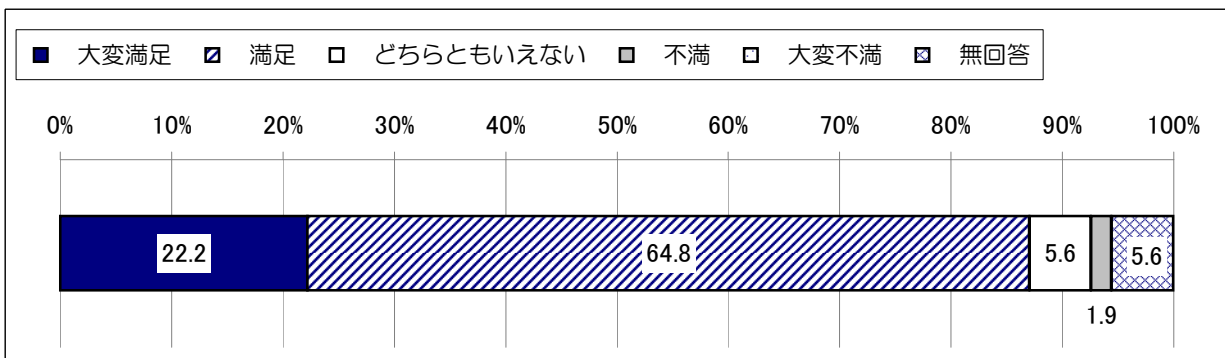
回答者数= 20

《利用前の保育園の対応についてお聞きします》



《総合的な満足度についてお聞きします》

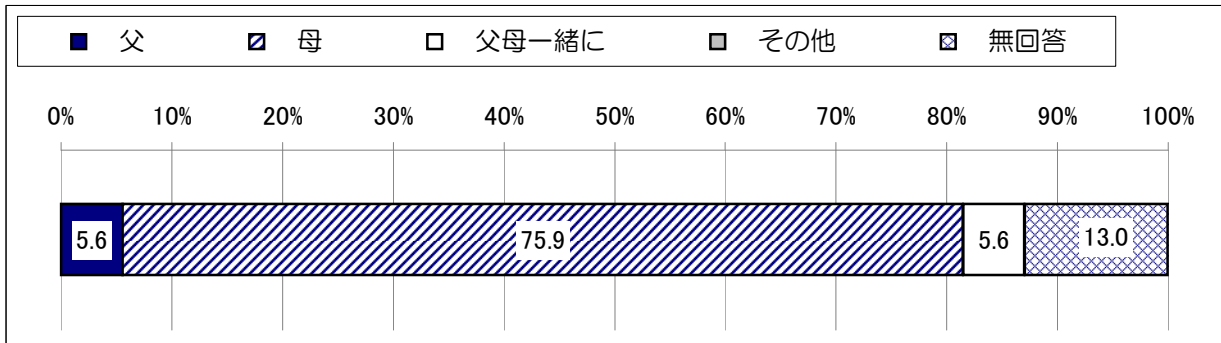
回答者数= 54



# 上井草保育園

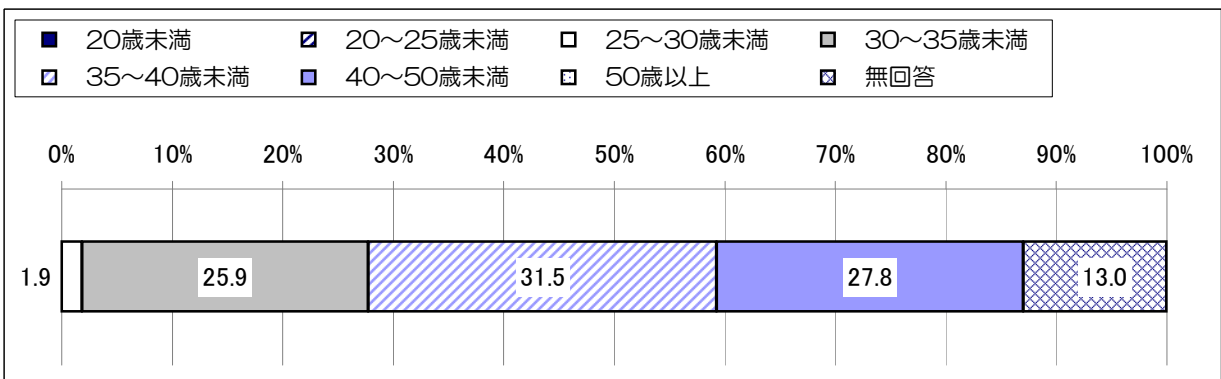
## <調査票記入者について>

回答者数= 54



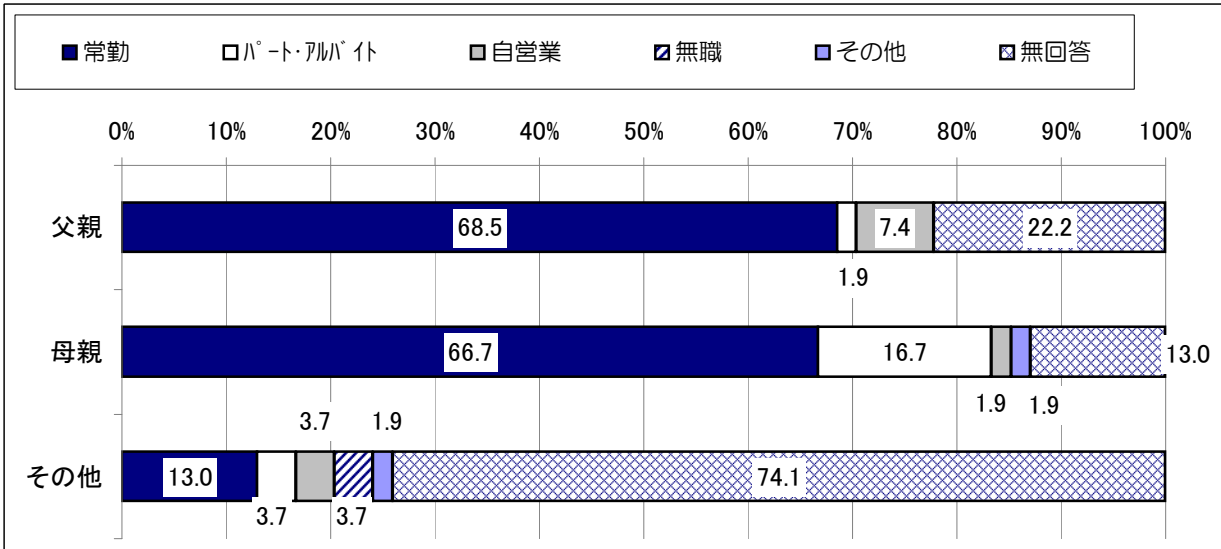
## <調査票記入者の年齢>

回答者数= 54



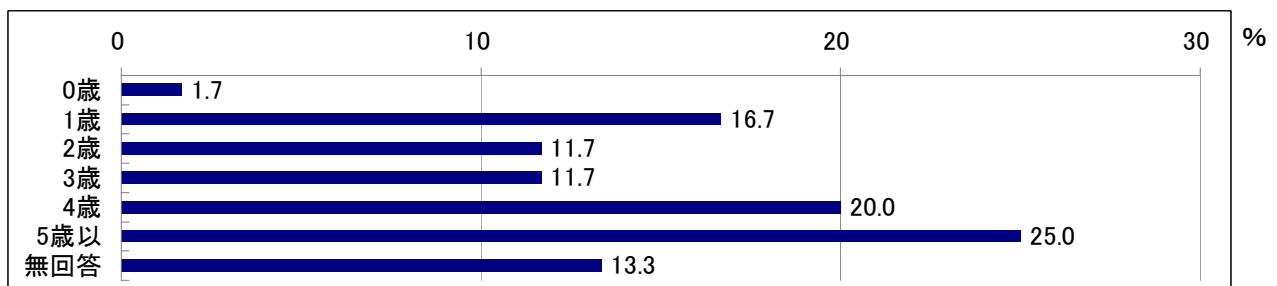
## <保護者の勤務形態>

回答者数= 54



## <お子さんの年齢(複数のお子さんがいらっしゃる場合は、複数に○)>

回答者数= 54

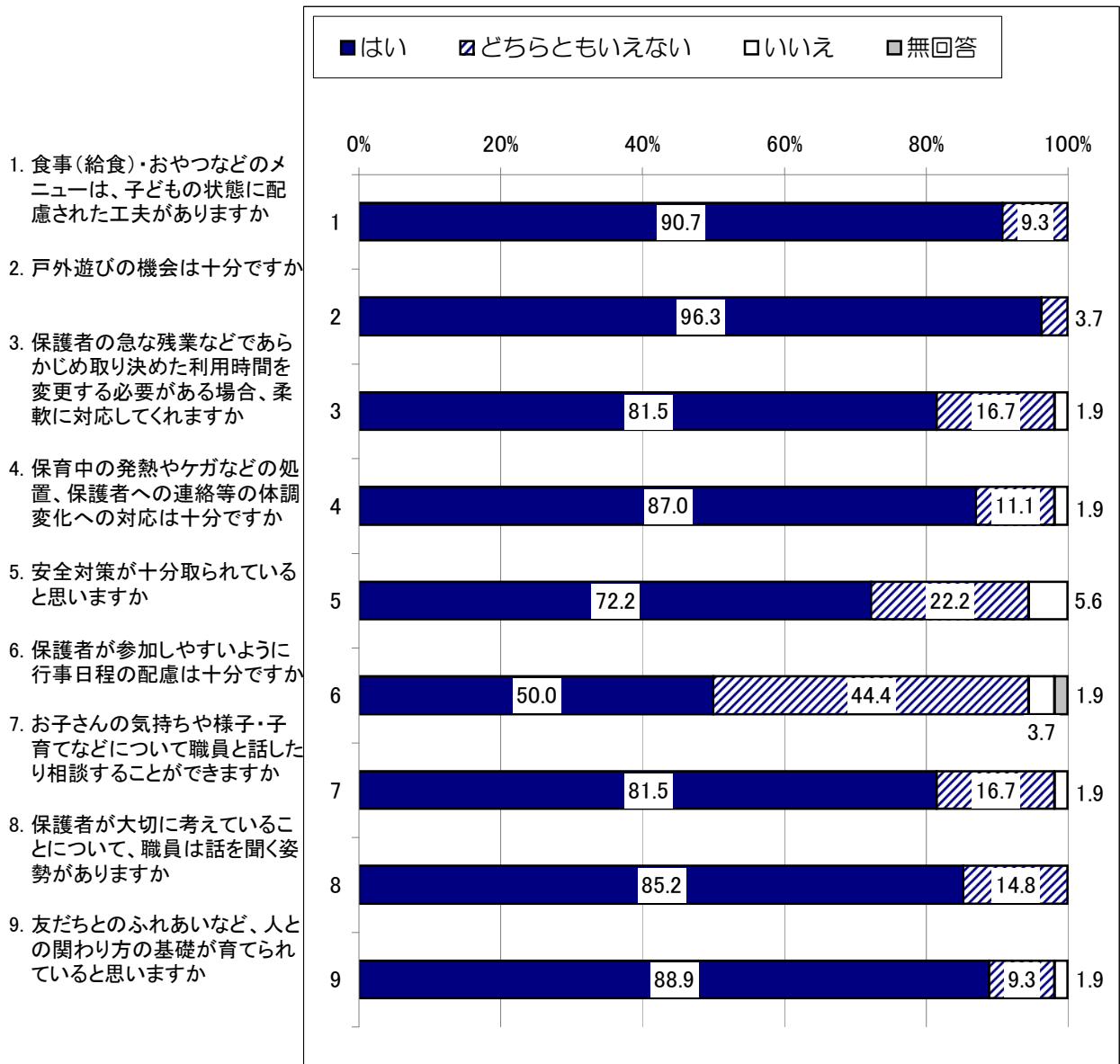


# 堀ノ内東保育園

## 堀ノ内東保育園

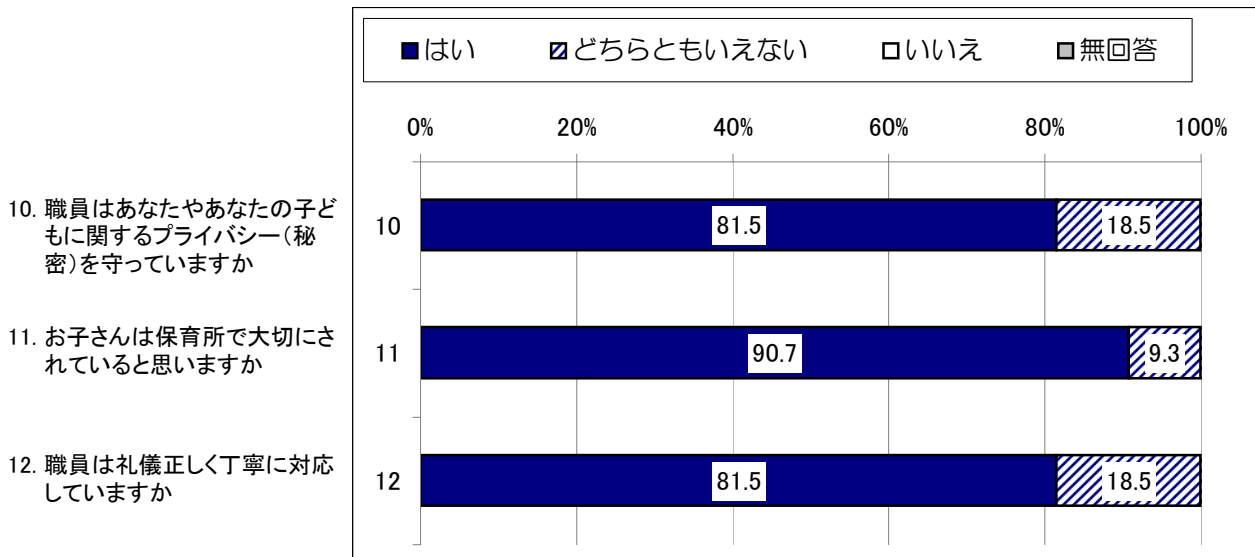
### 《毎日の保育サービスについてお聞きします》

回答者数= 54



### 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

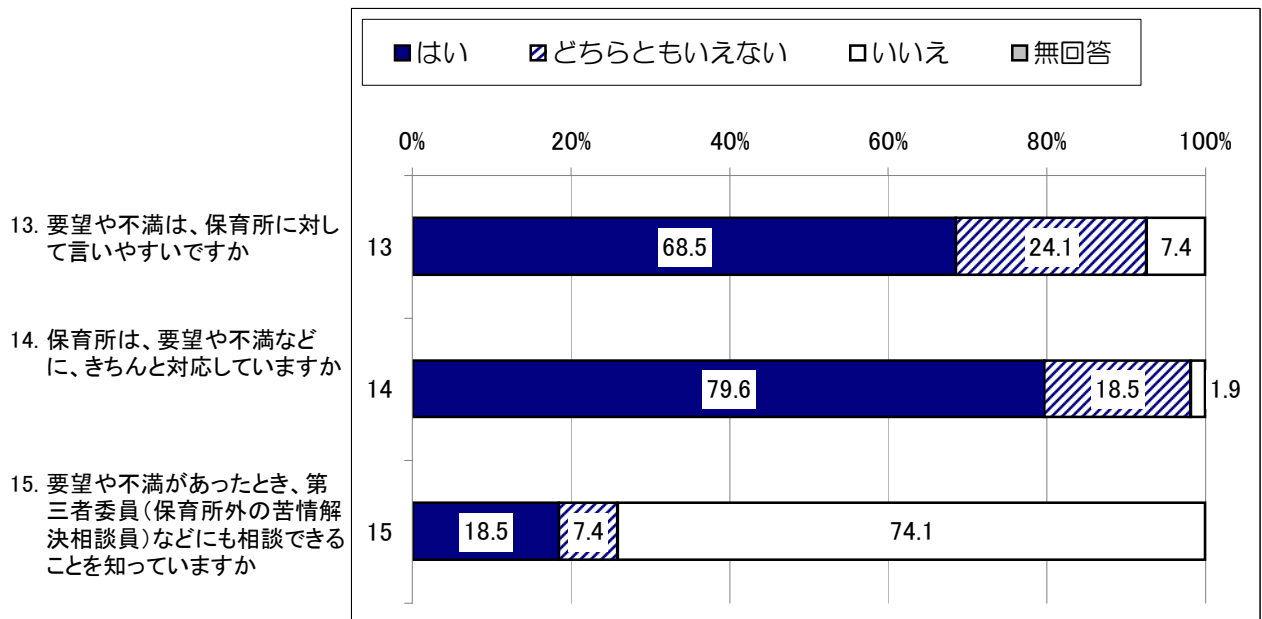
回答者数= 54



## 堀ノ内東保育園

《要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします》

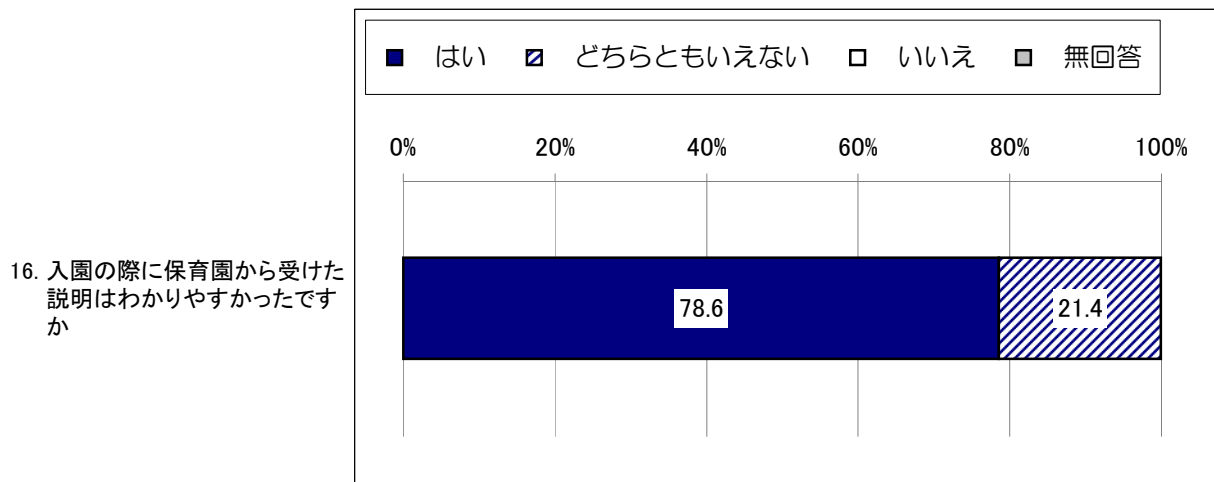
回答者数= 54



【利用開始後1年以内の方へ】

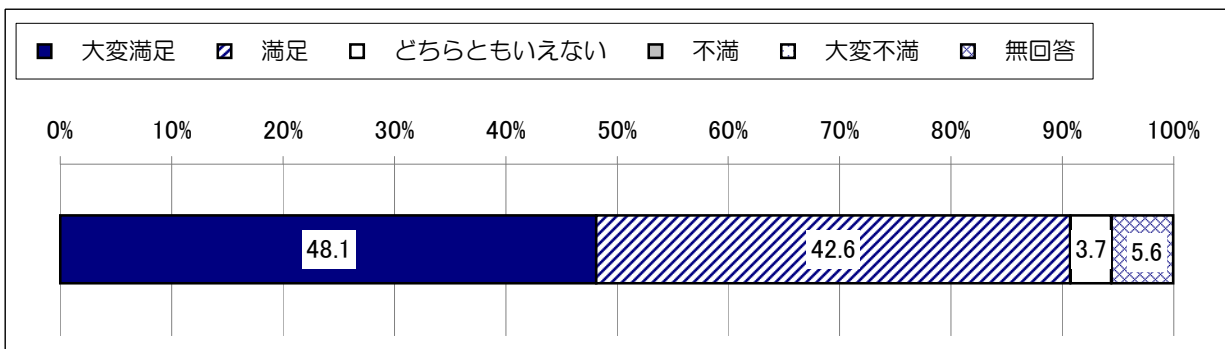
回答者数= 28

《利用前の保育園の対応についてお聞きします》



《総合的な満足度についてお聞きします》

回答者数= 54

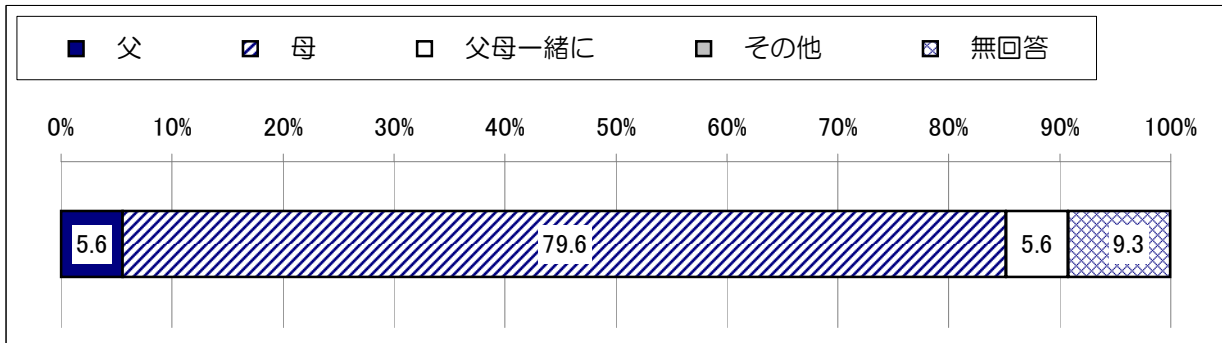




# 堀ノ内東保育園

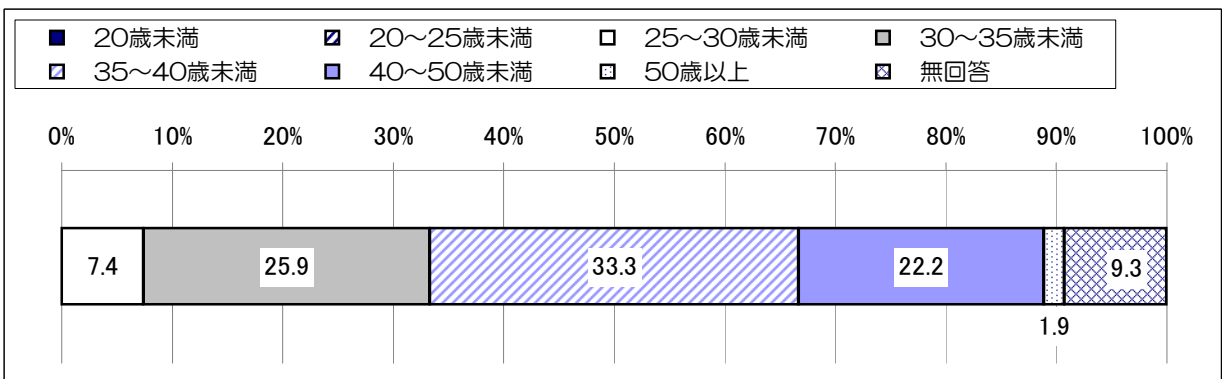
## <調査票記入者について>

回答者数= 54



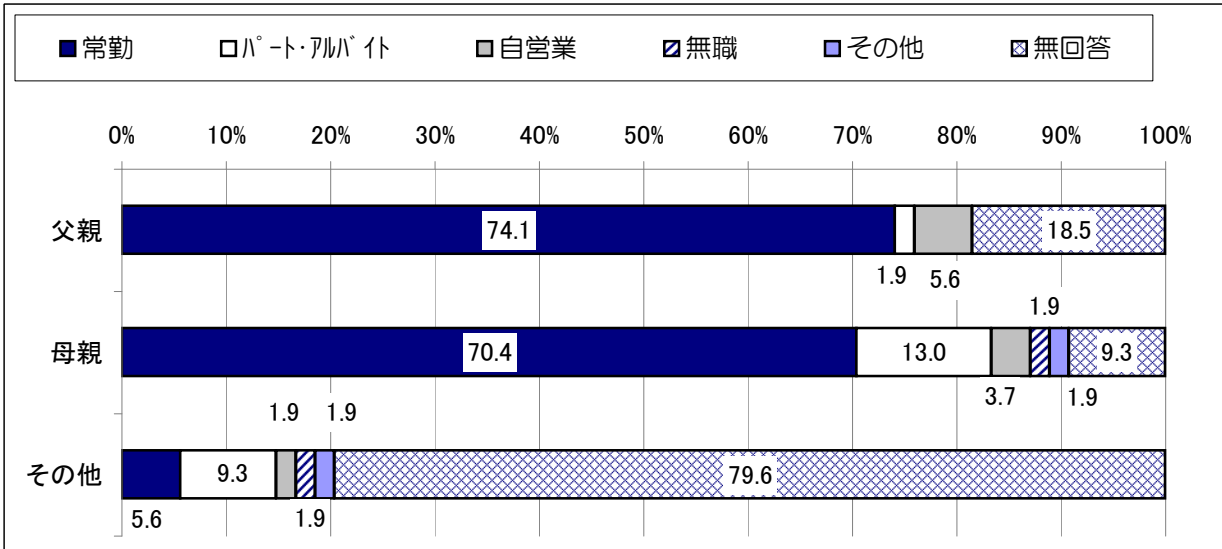
## <調査票記入者の年齢>

回答者数= 54



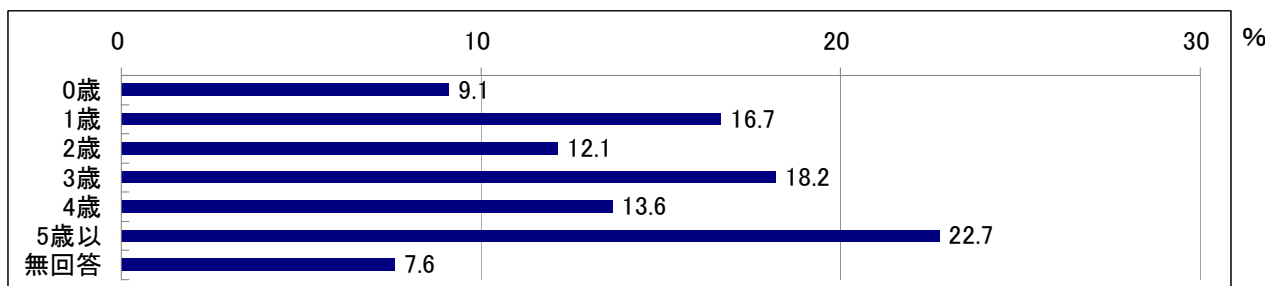
## <保護者の勤務形態>

回答者数= 54



## <お子さんの年齢(複数のお子さんがいらっしゃる場合は、複数に○)>

回答者数= 54



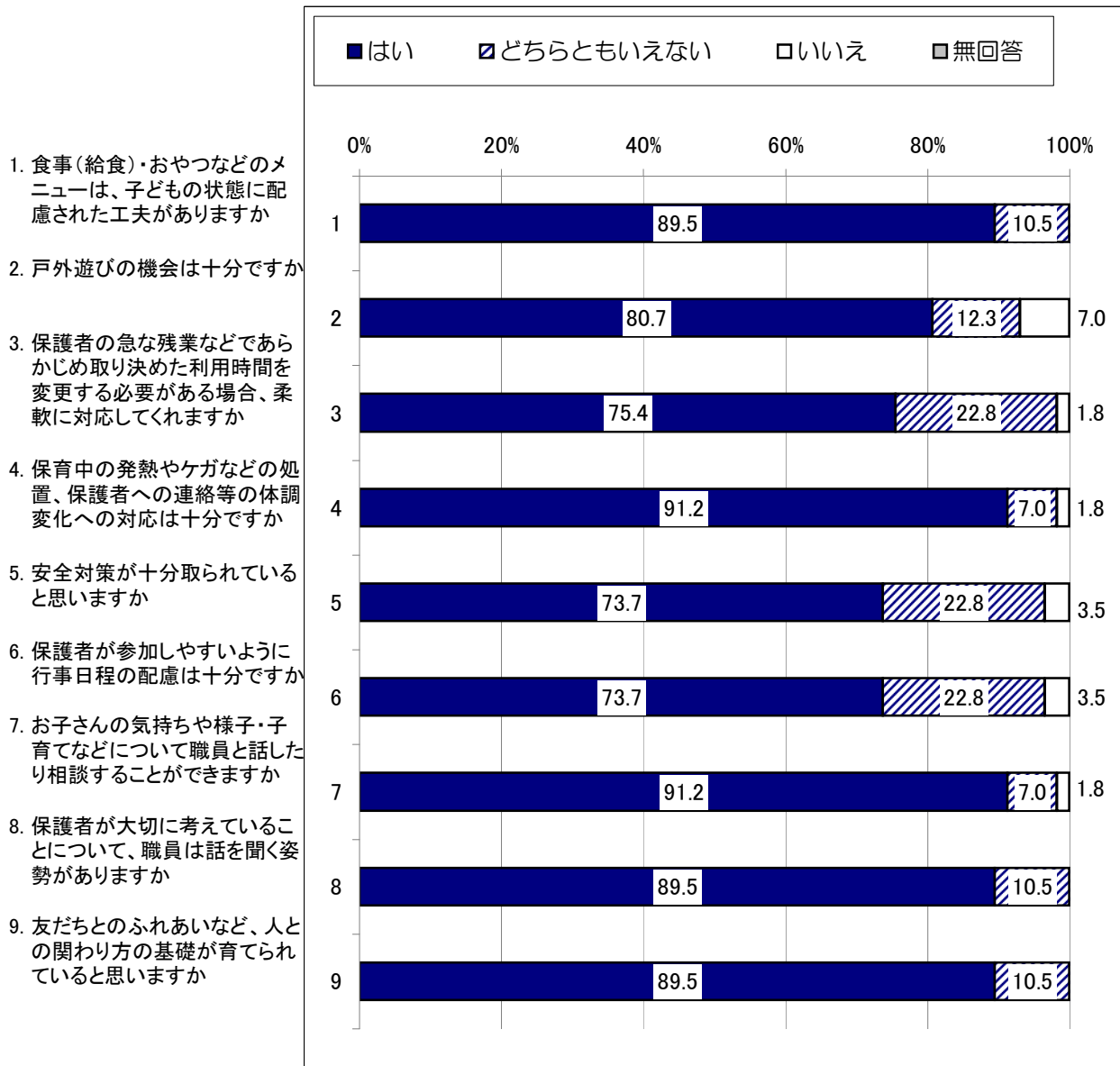
# 西 荻 北 保 育 園

---

## 西荻北保育園

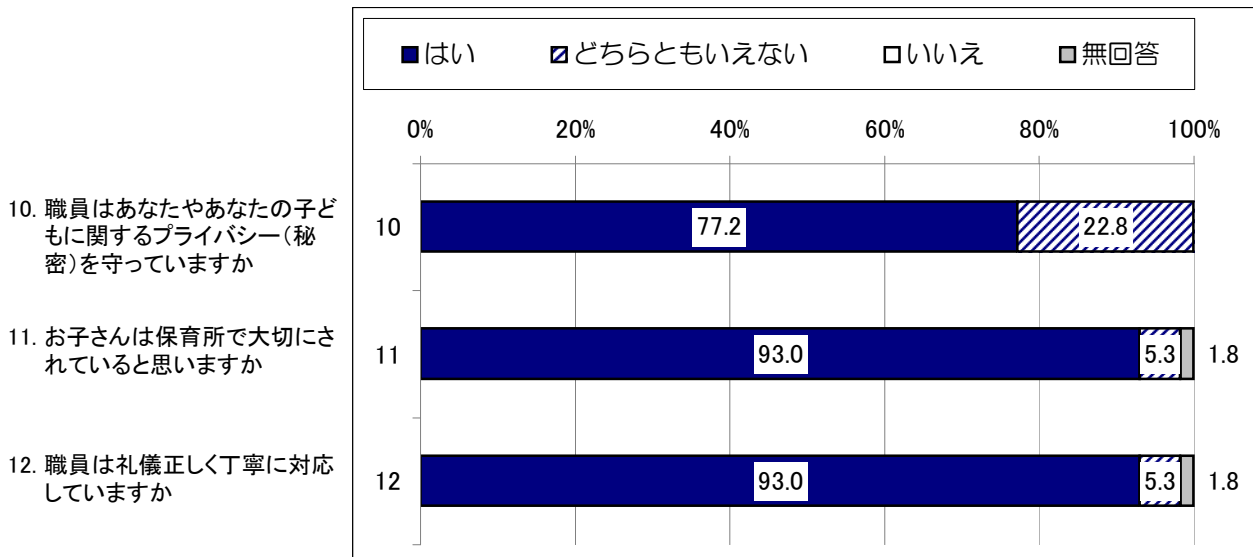
### 《毎日の保育サービスについてお聞きします》

回答者数= 57



### 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

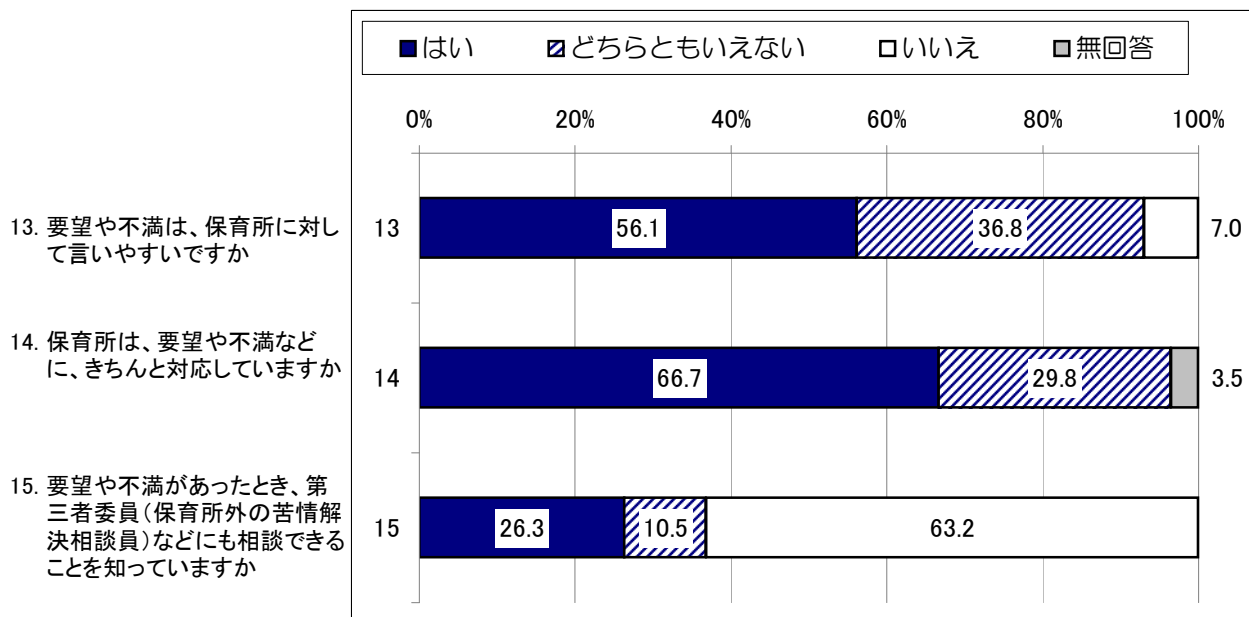
回答者数= 57



## 西荻北保育園

《要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします》

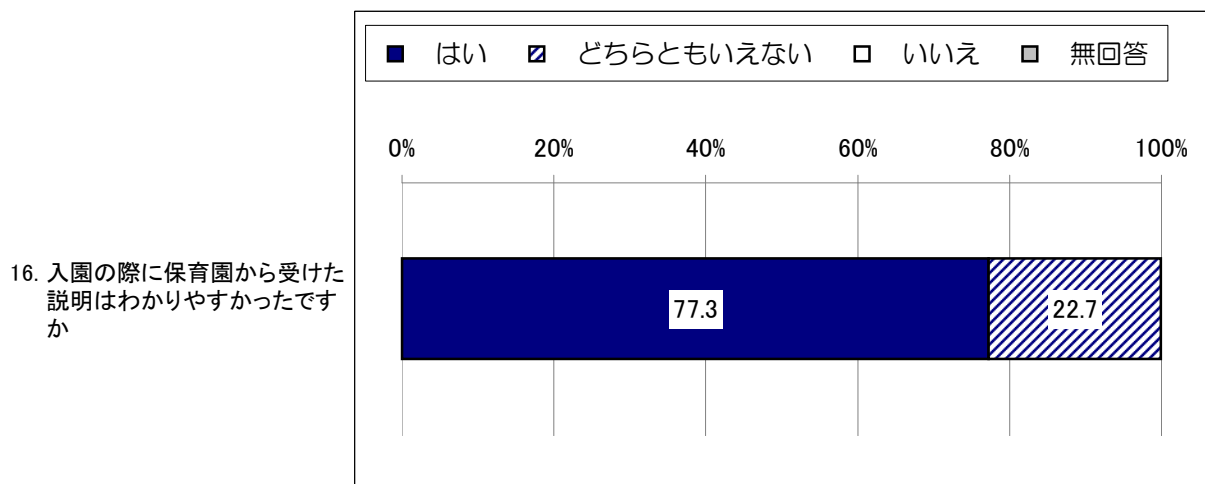
回答者数= 57



【利用開始後1年以内の方へ】

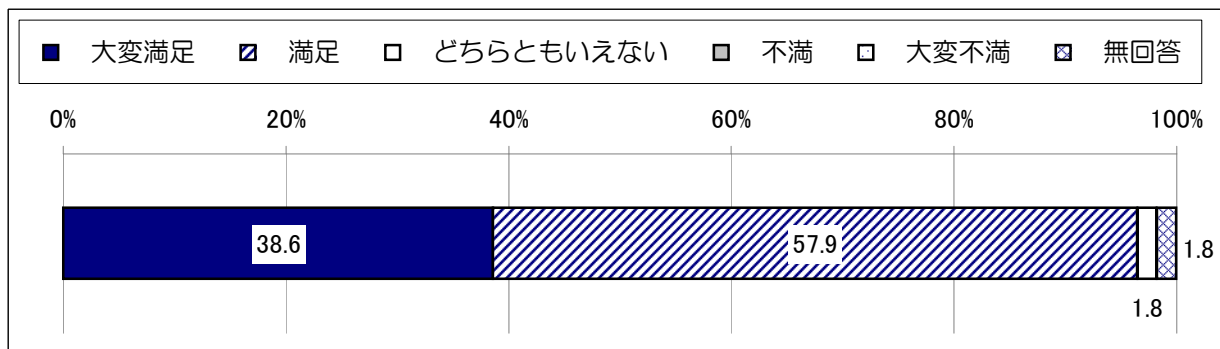
回答者数= 22

《利用前の保育園の対応についてお聞きします》



《総合的な満足度についてお聞きします》

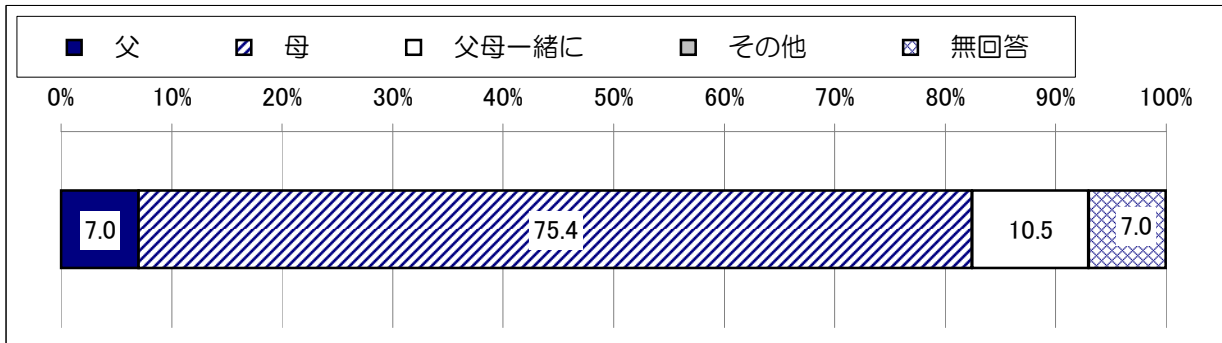
回答者数= 57



# 西荻北保育園

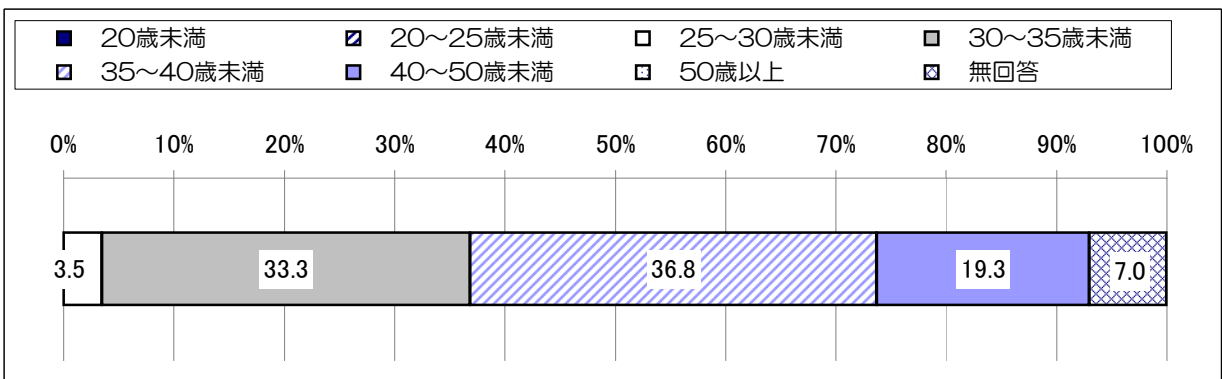
## <調査票記入者について>

回答者数= 57



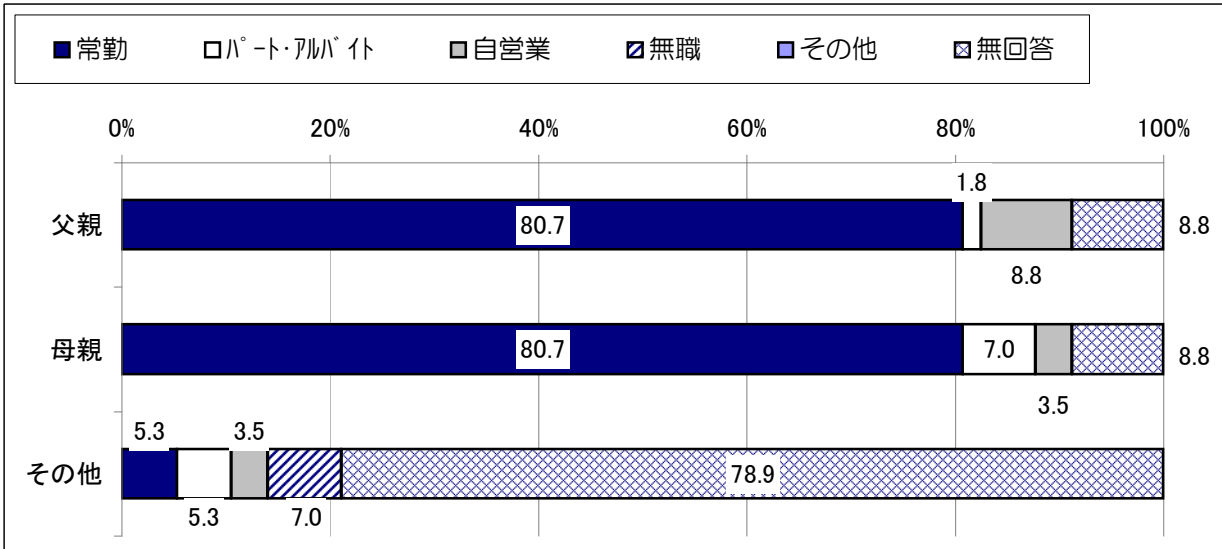
## <調査票記入者の年齢>

回答者数= 57



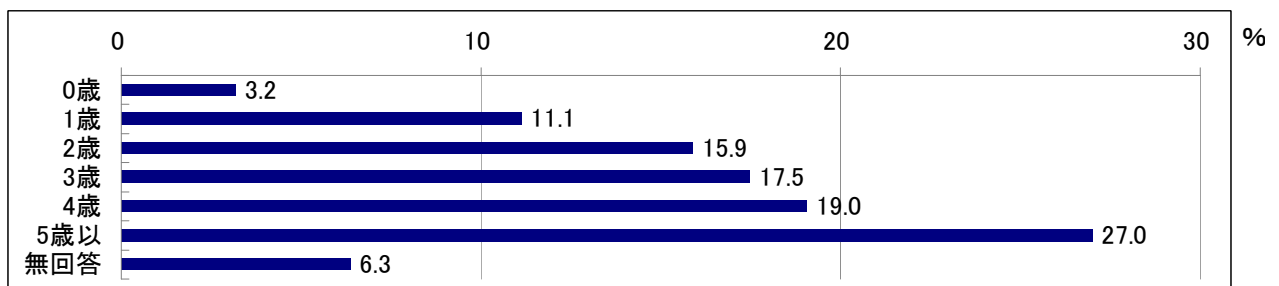
## <保護者の勤務形態>

回答者数= 57



## <お子さんの年齢(複数のお子さんがいらっしゃる場合は、複数に○)>

回答者数= 57



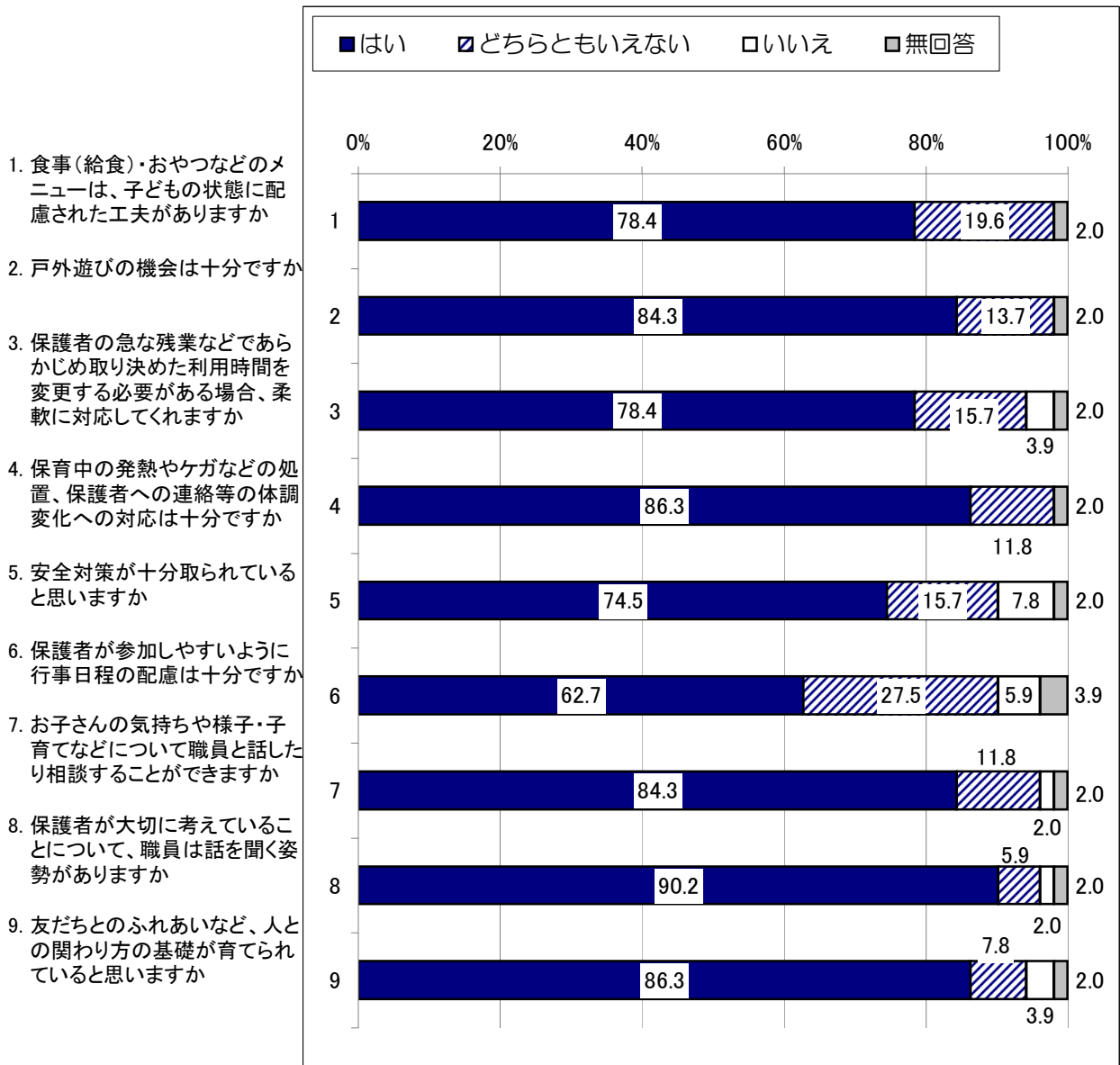
# 上 荻 保 育 園

---

# 上荻保育園

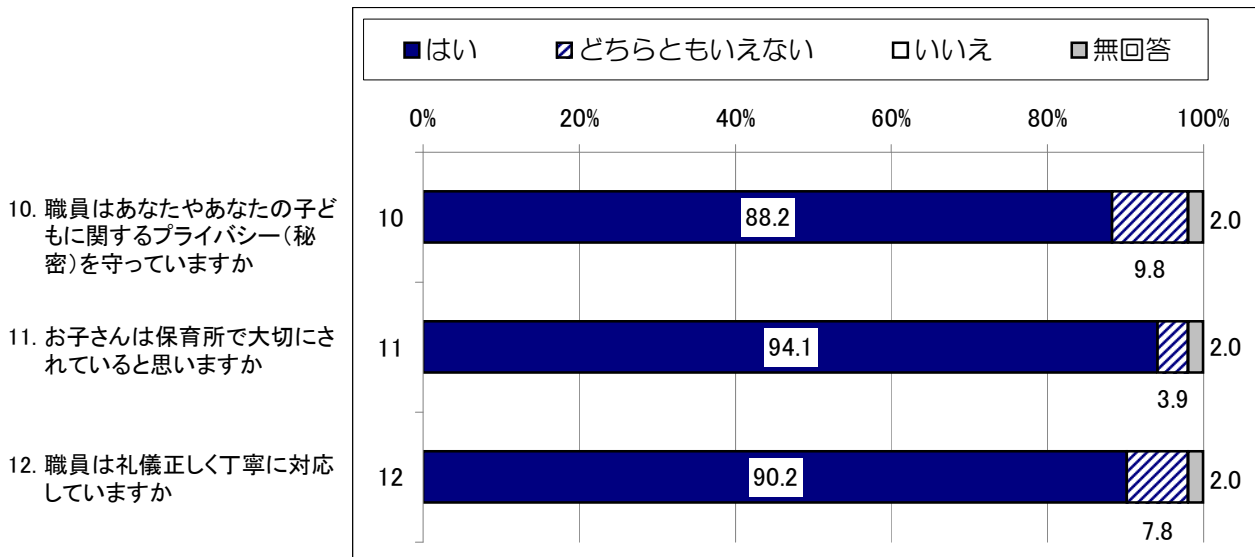
## 《毎日の保育サービスについてお聞きします》

回答者数= 51



## 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

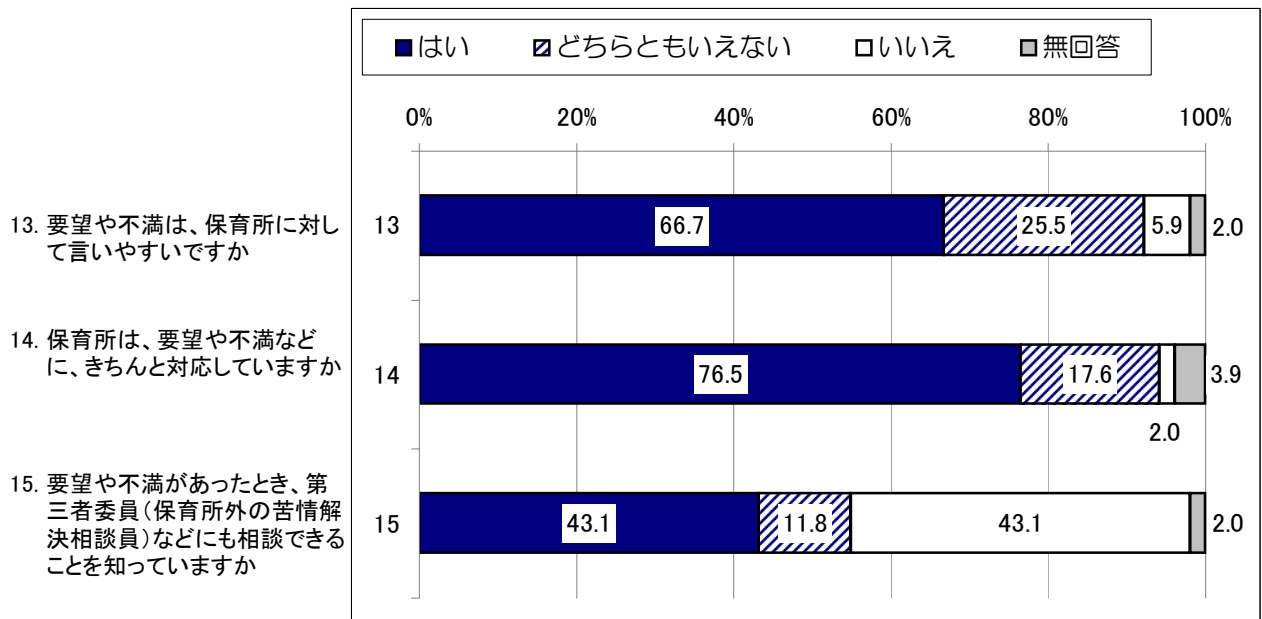
回答者数= 51



## 上荻保育園

《要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします》

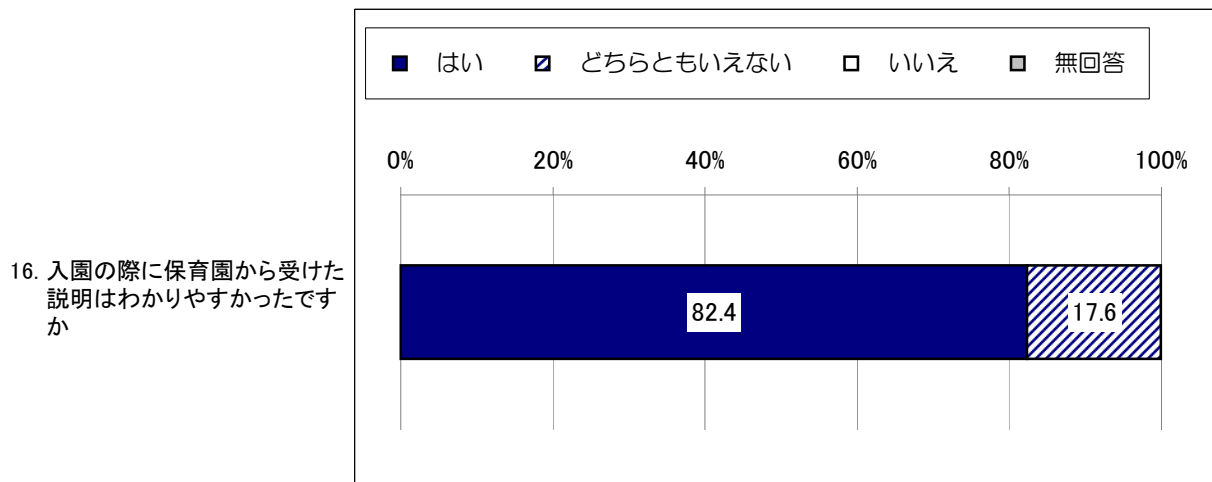
回答者数= 51



【利用開始後1年以内の方へ】

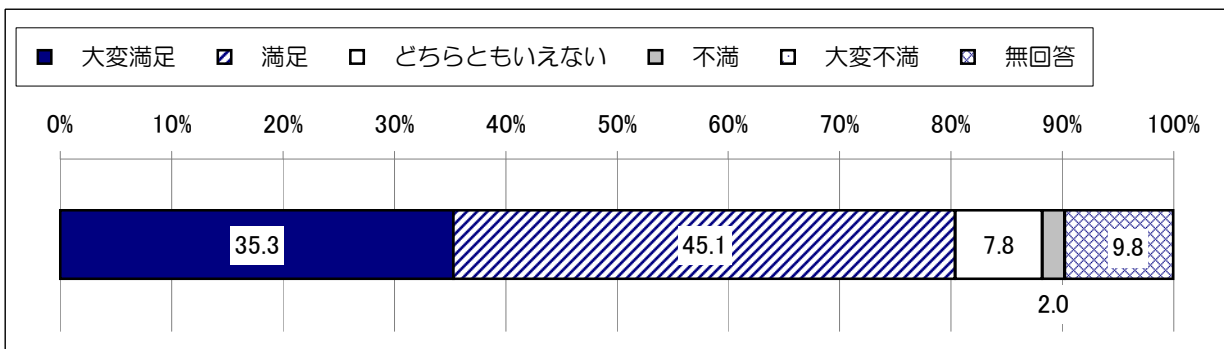
回答者数= 17

《利用前の保育園の対応についてお聞きします》



《総合的な満足度についてお聞きします》

回答者数= 51

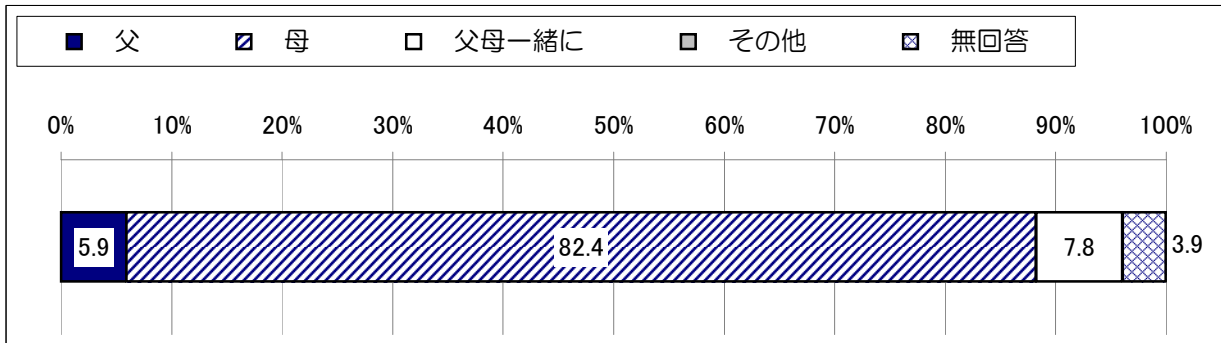




# 上荻保育園

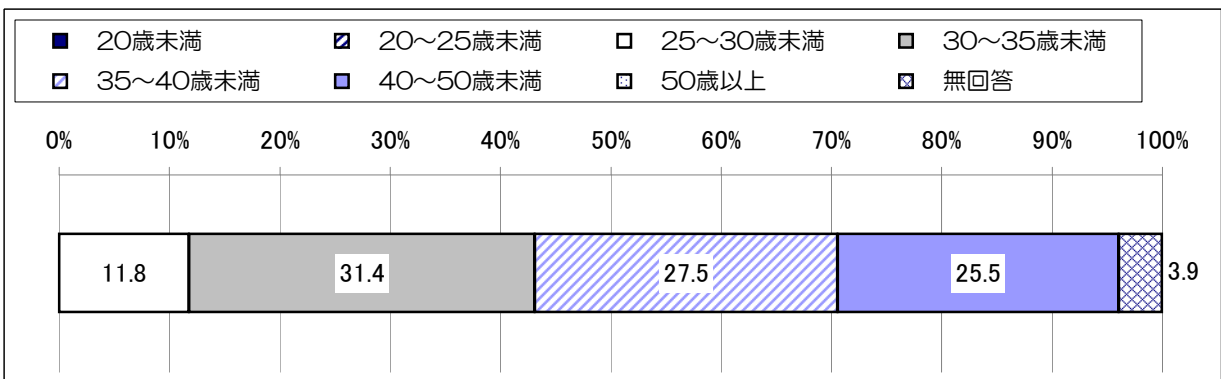
## <調査票記入者について>

回答者数= 51



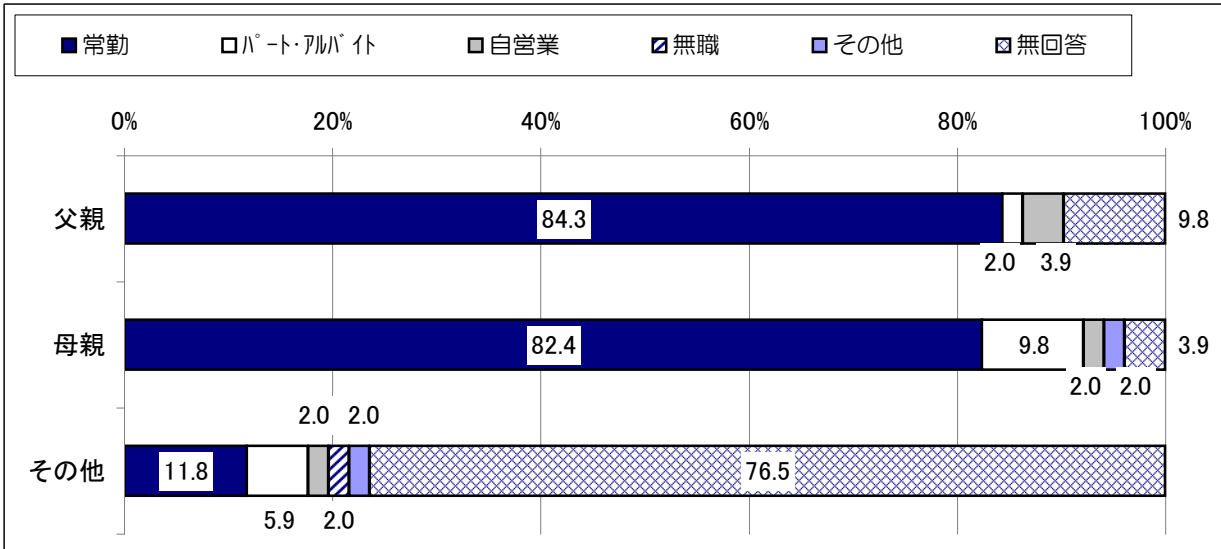
## <調査票記入者の年齢>

回答者数= 51



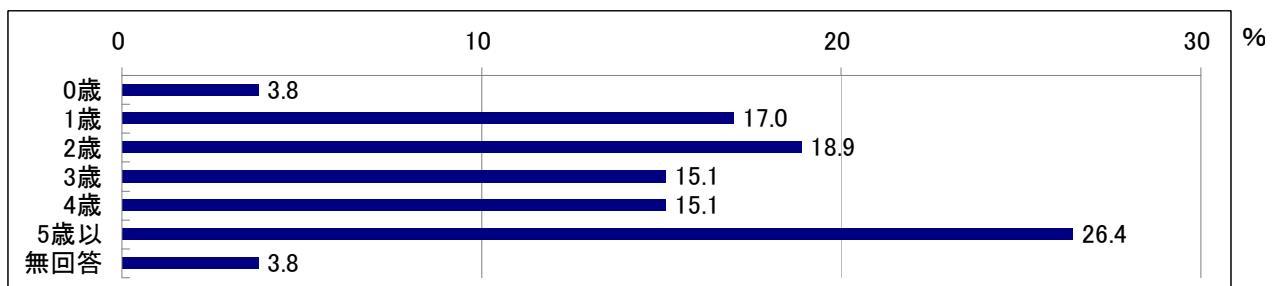
## <保護者の勤務形態>

回答者数= 51



## <お子さんの年齢(複数のお子さんがいらっしゃる場合は、複数に○)>

回答者数= 51



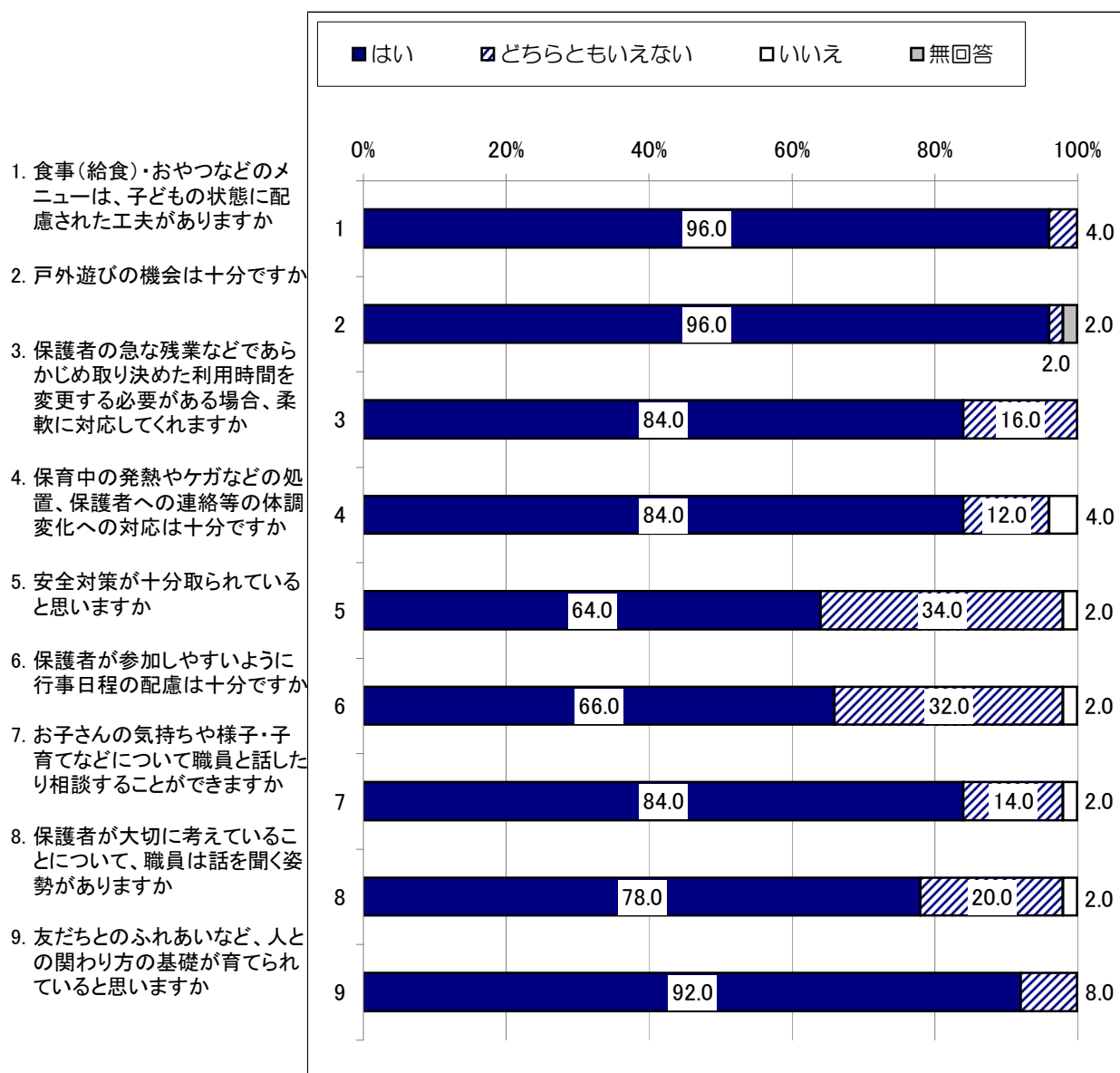
# 井草保育園

---

## 井草保育園

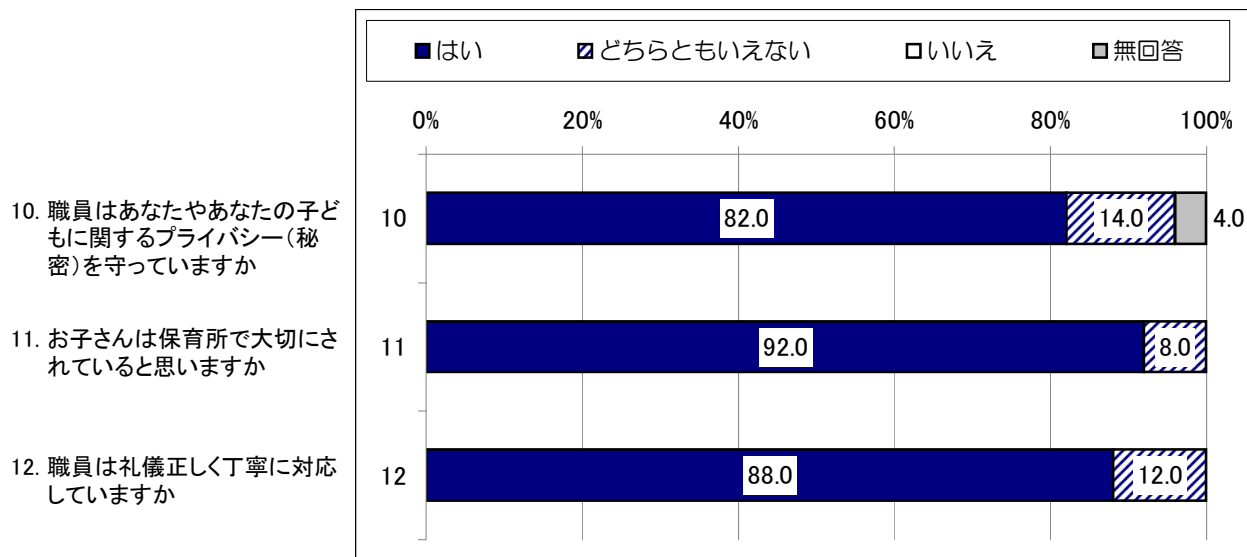
### 《毎日の保育サービスについてお聞きします》

回答者数= 50



### 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

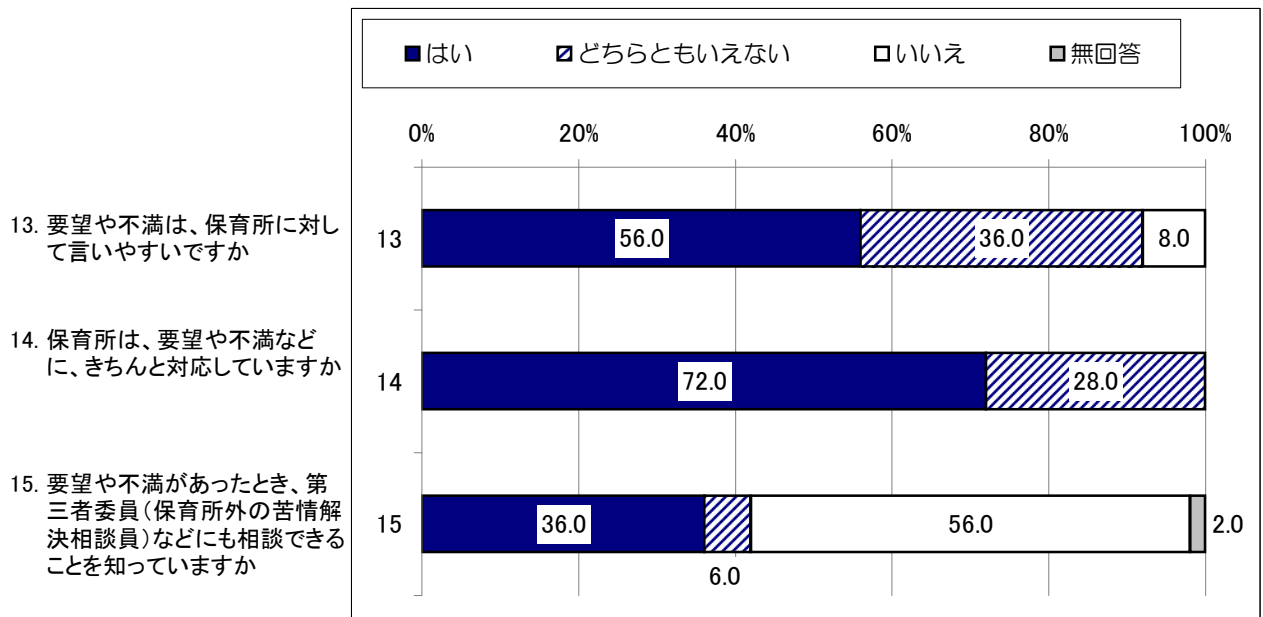
回答者数= 50



## 井草保育園

《要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします》

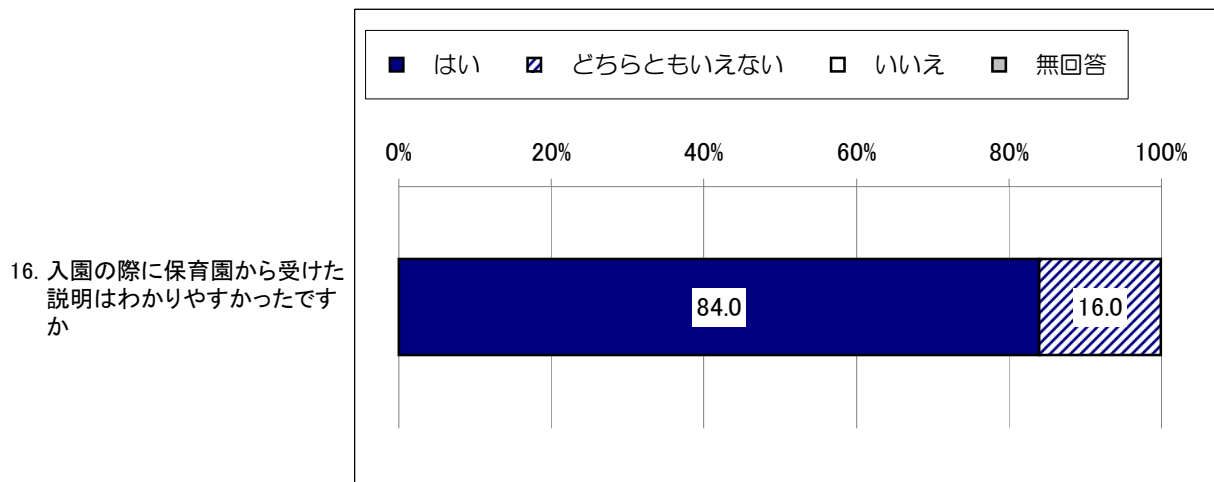
回答者数= 50



【利用開始後1年以内の方へ】

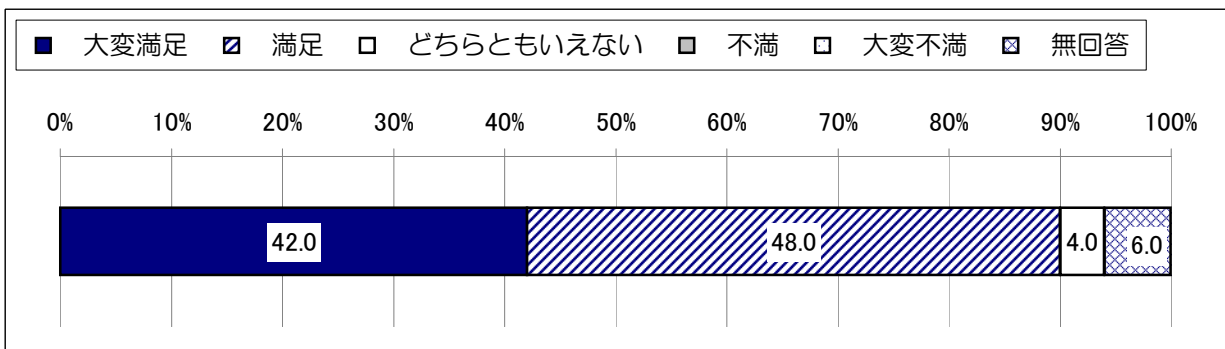
回答者数= 25

《利用前の保育園の対応についてお聞きします》



《総合的な満足度についてお聞きします》

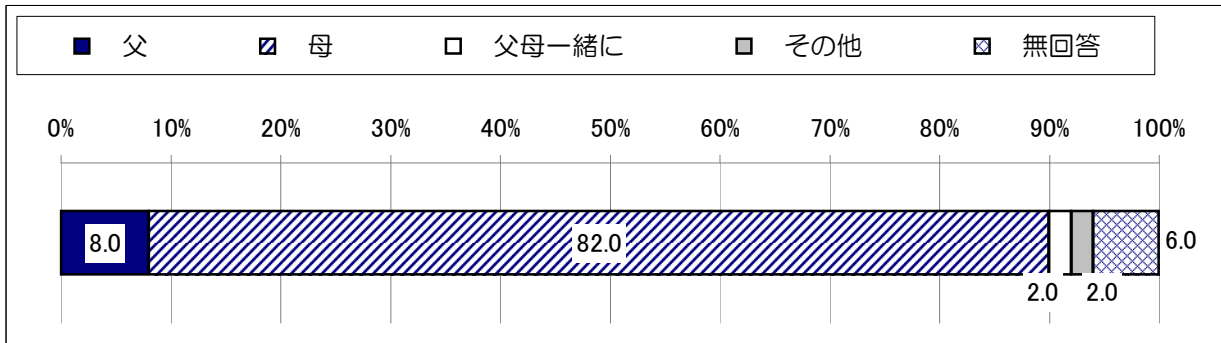
回答者数= 50



# 井草保育園

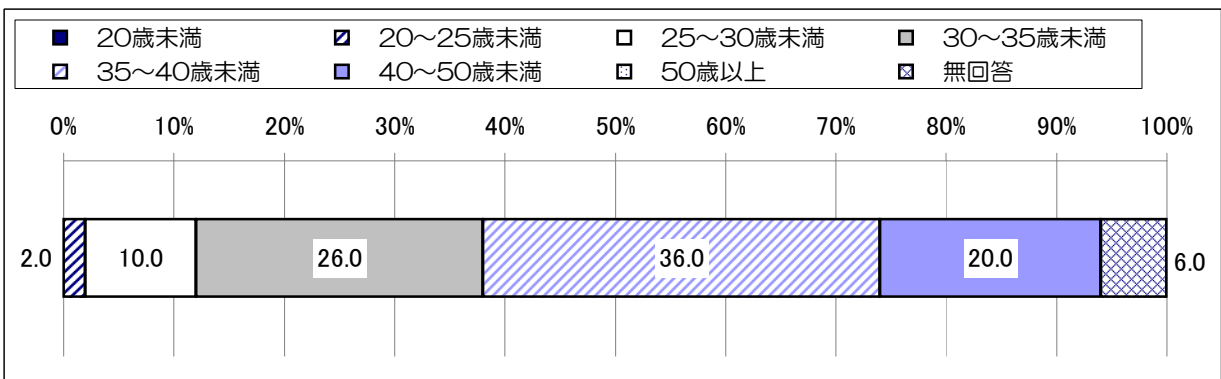
## <調査票記入者について>

回答者数= 50



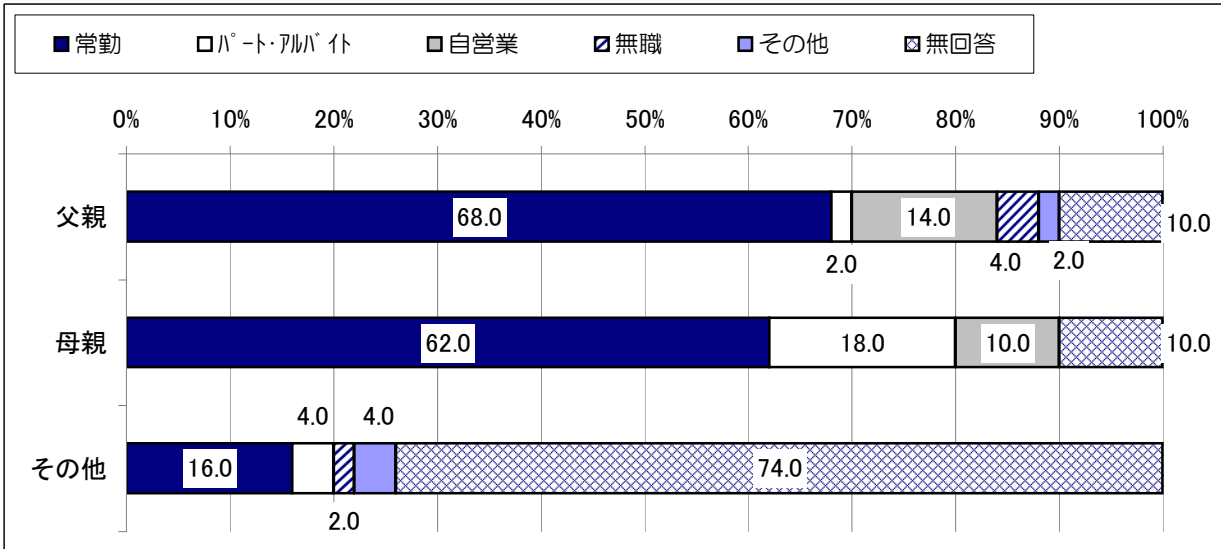
## <調査票記入者の年齢>

回答者数= 50



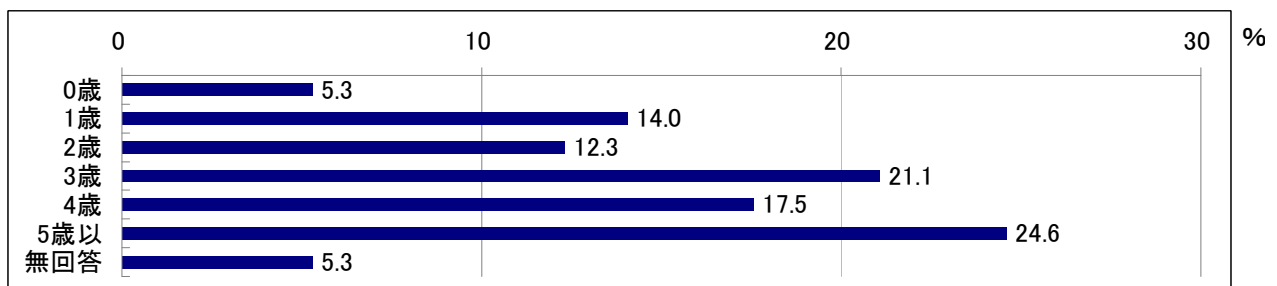
## <保護者の勤務形態>

回答者数= 50



## <お子さんの年齢(複数のお子さんがいらっしゃる場合は、複数に〇)>

回答者数= 50



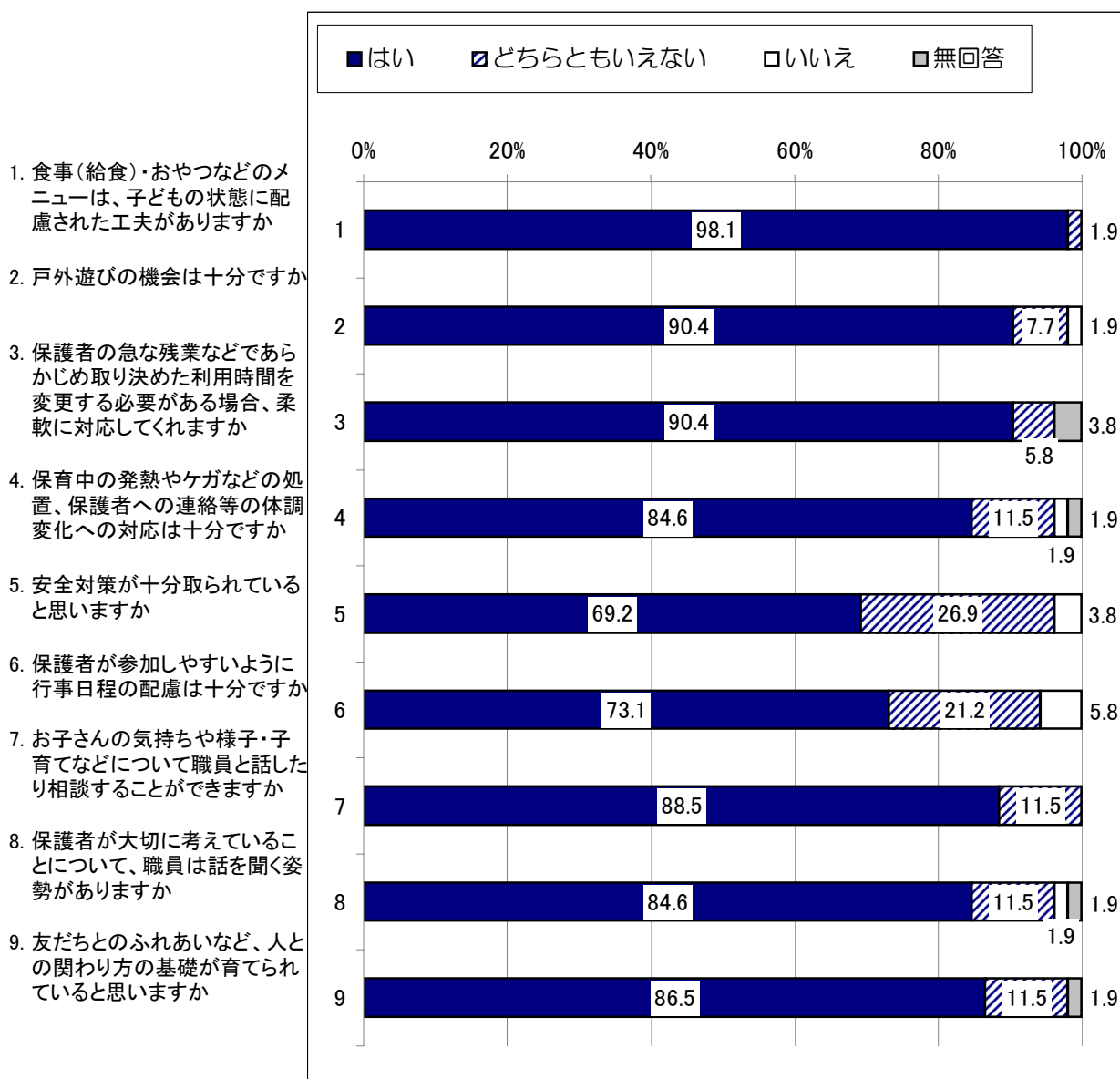
# 善福寺保育園

---

## 善福寺保育園

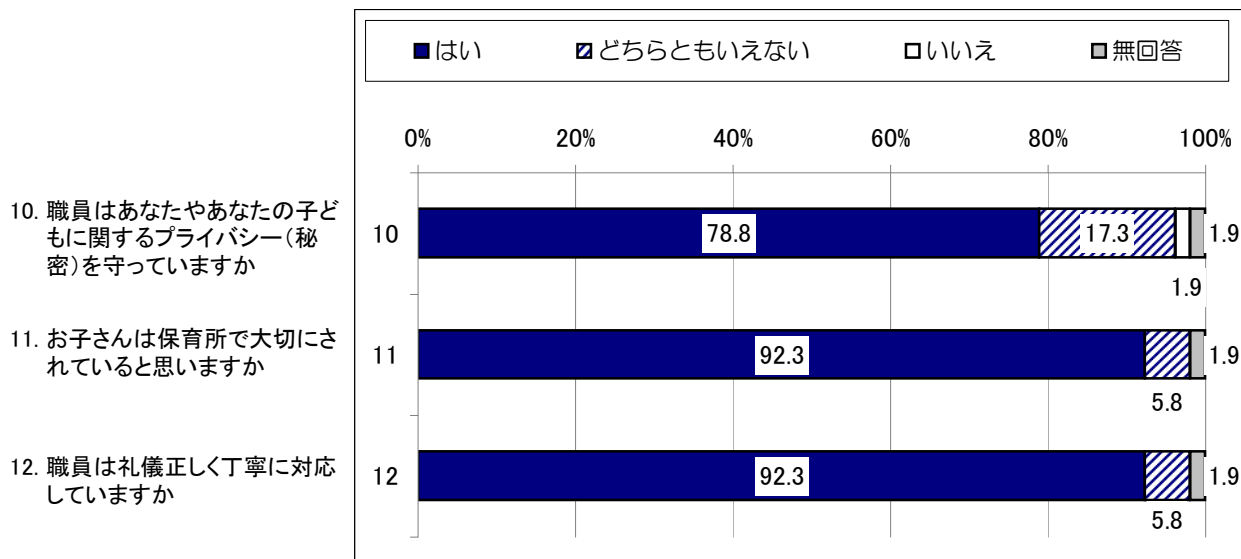
### 《毎日の保育サービスについてお聞きします》

回答者数= 52



### 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

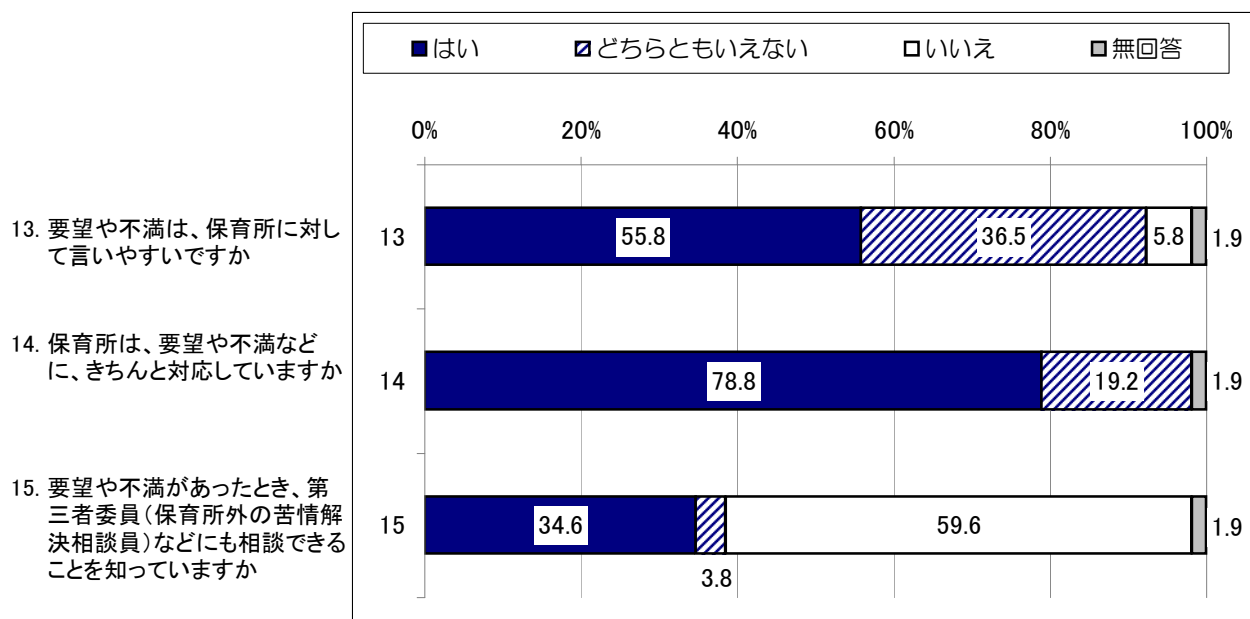
回答者数= 52



## 善福寺保育園

《要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします》

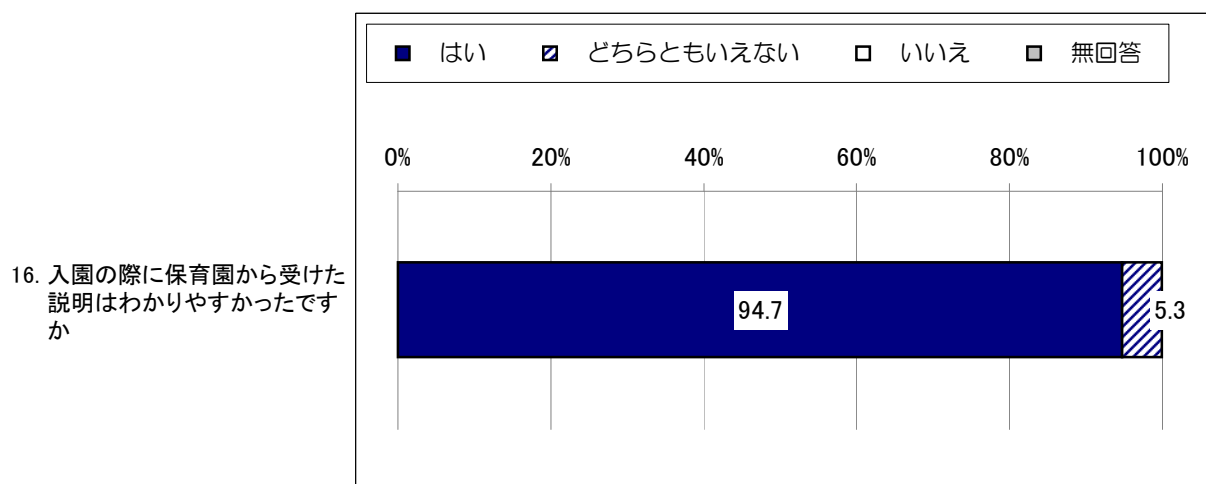
回答者数= 52



【利用開始後1年以内の方へ】

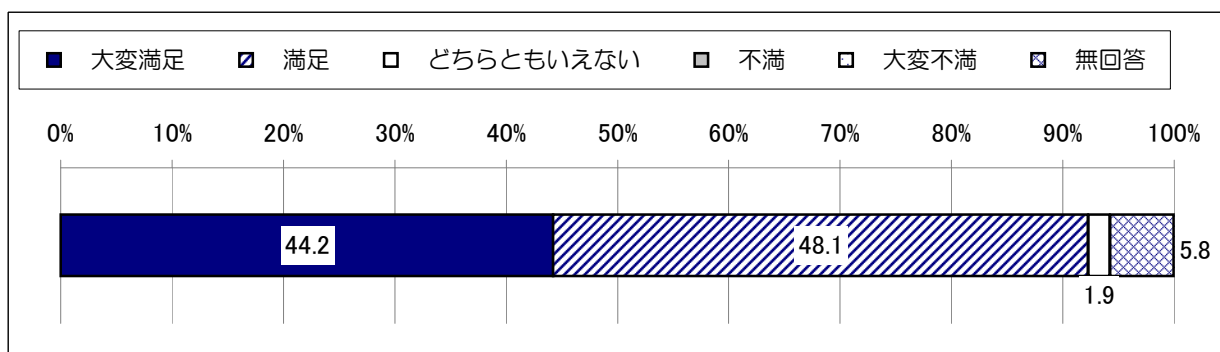
回答者数= 19

《利用前の保育園の対応についてお聞きします》



《総合的な満足度についてお聞きします》

回答者数= 52

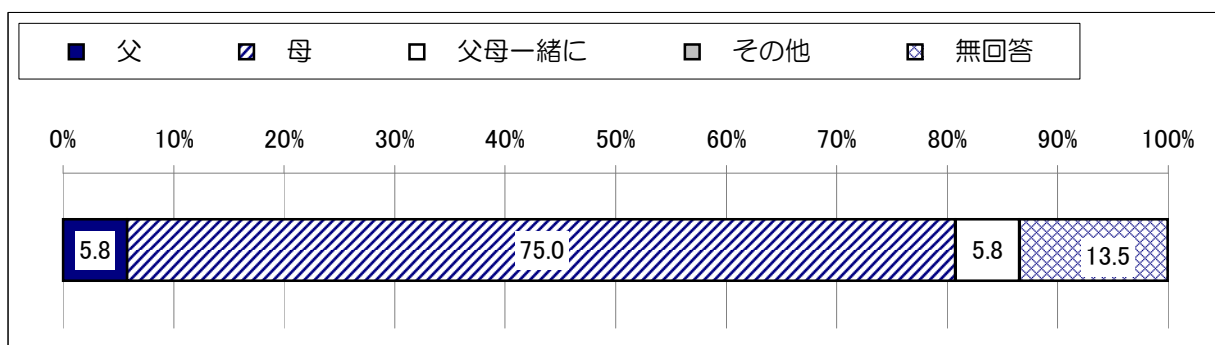




## 善福寺保育園

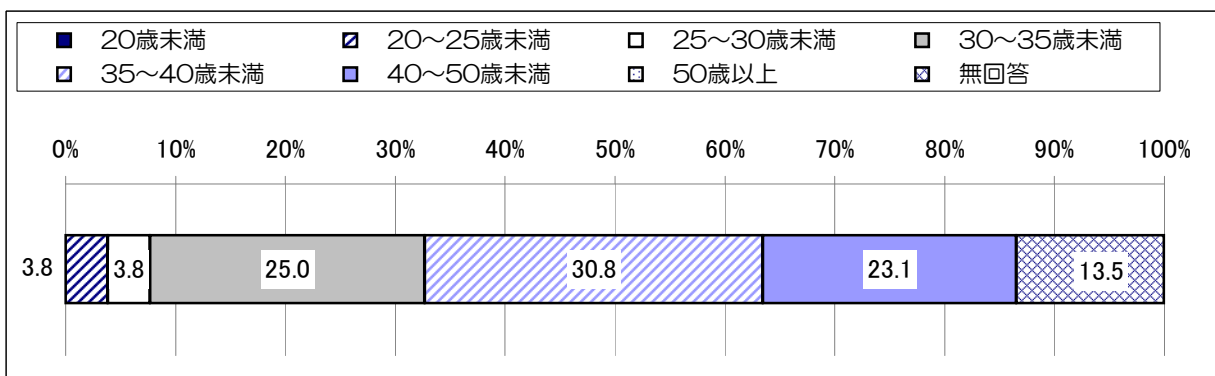
### <調査票記入者について>

回答者数= 52



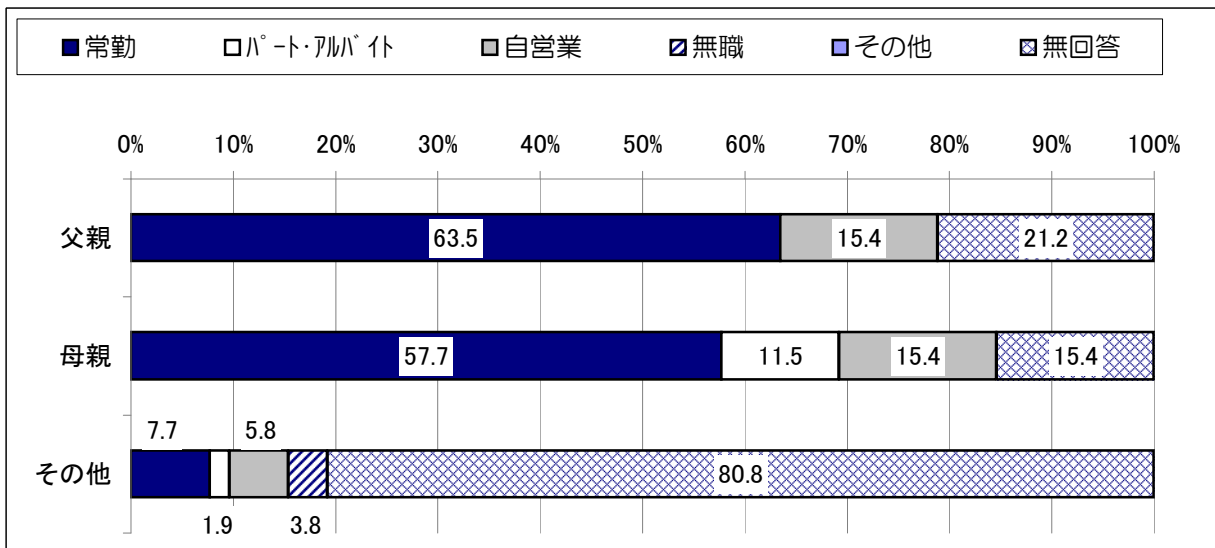
### <調査票記入者の年齢>

回答者数= 52



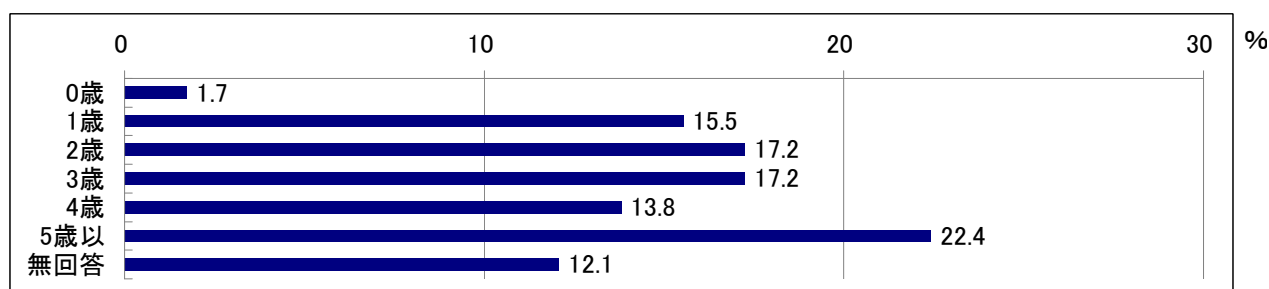
### <保護者の勤務形態>

回答者数= 52



### <お子さんの年齢(複数のお子さんがいらっしゃる場合は、複数に〇)>

回答者数= 52



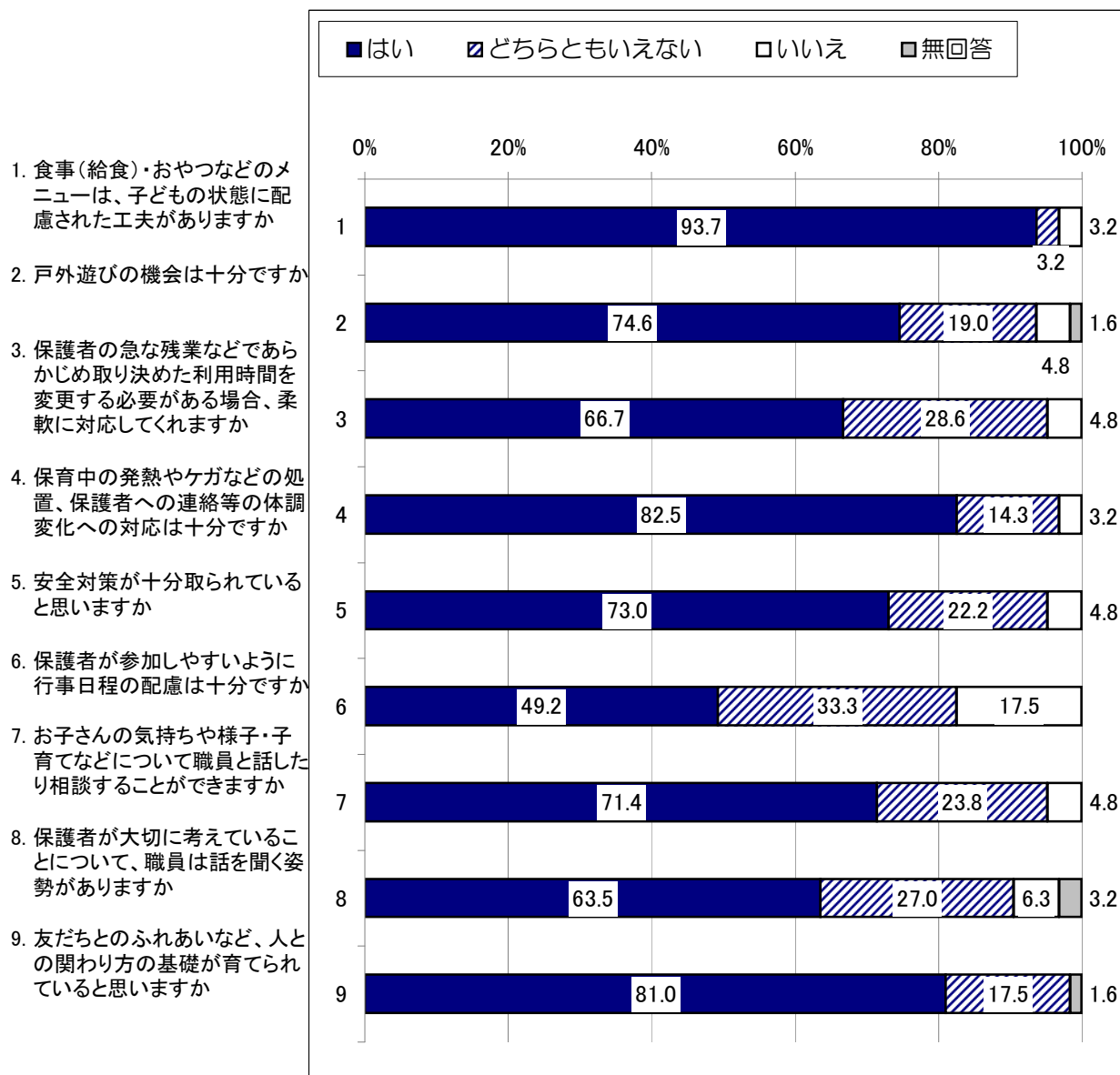
# 永福北保育園

---

# 永福北保育園

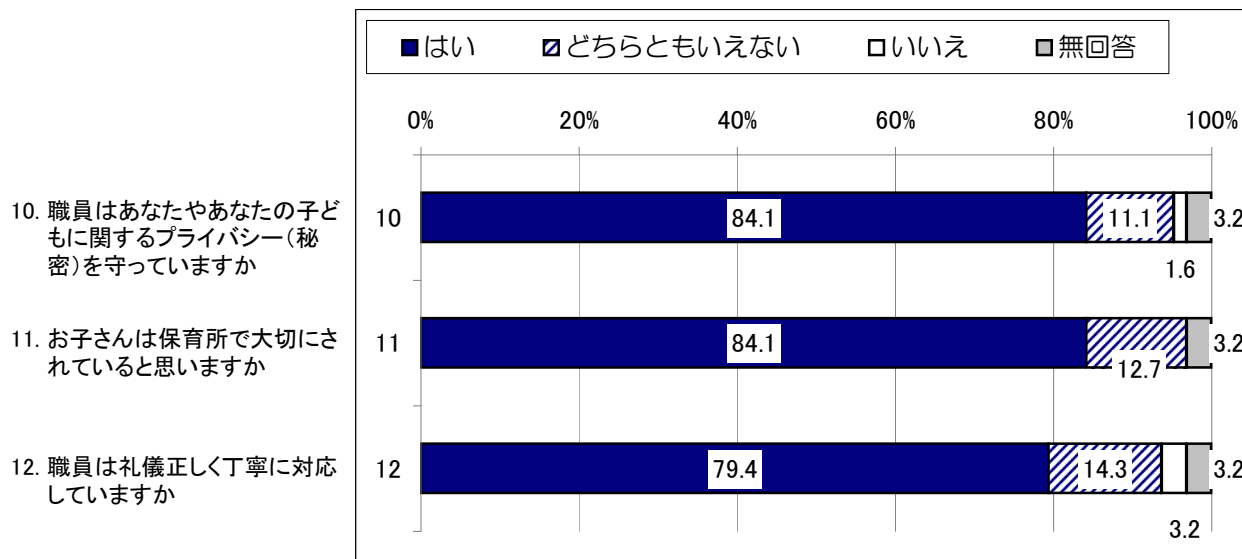
## 《毎日の保育サービスについてお聞きします》

回答者数= 63



## 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

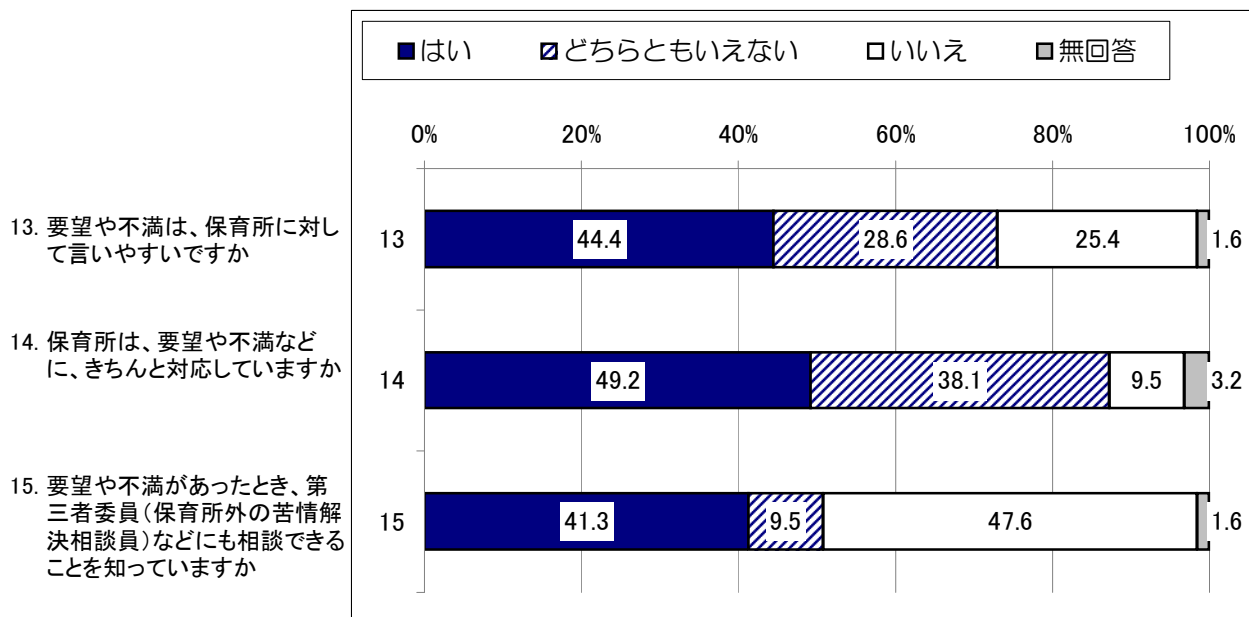
回答者数= 63



## 永福北保育園

《要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします》

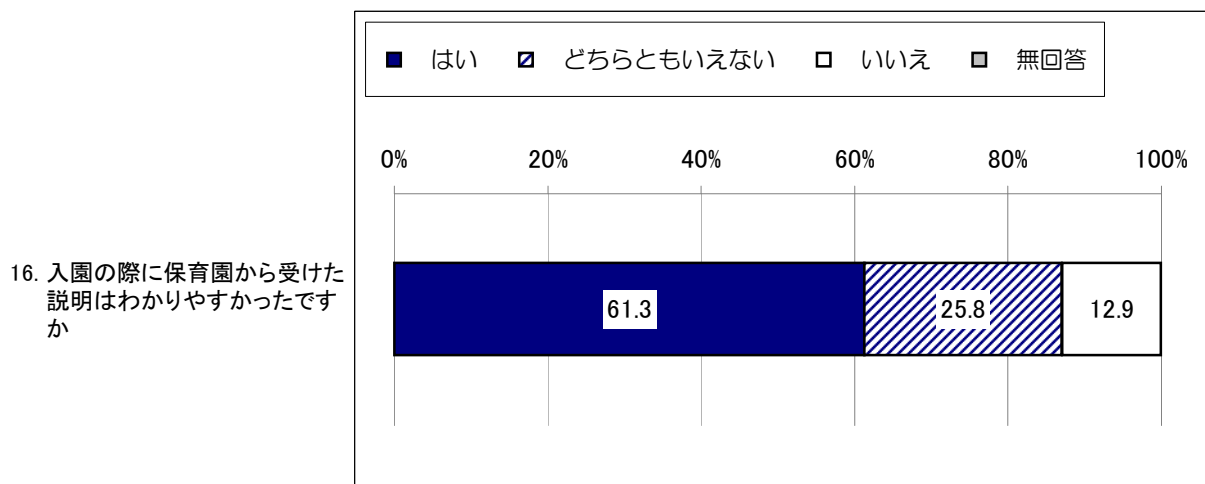
回答者数= 63



【利用開始後1年以内の方へ】

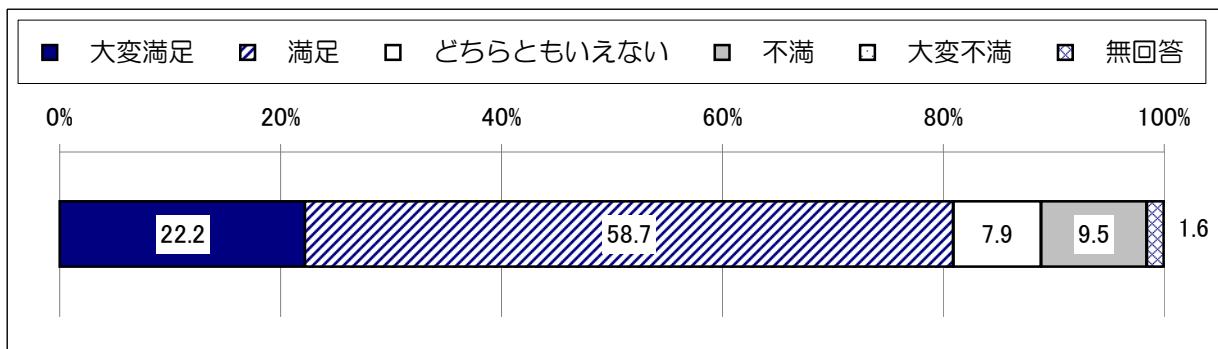
回答者数= 31

《利用前の保育園の対応についてお聞きします》



《総合的な満足度についてお聞きします》

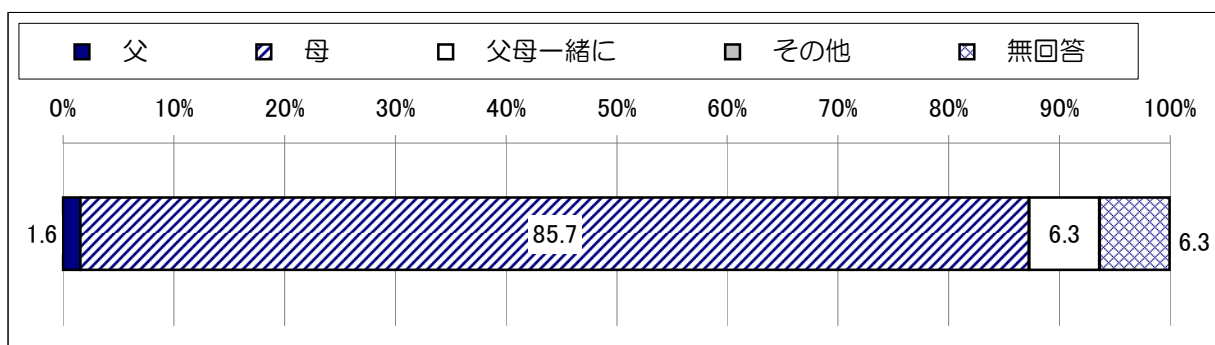
回答者数= 63



# 永福北保育園

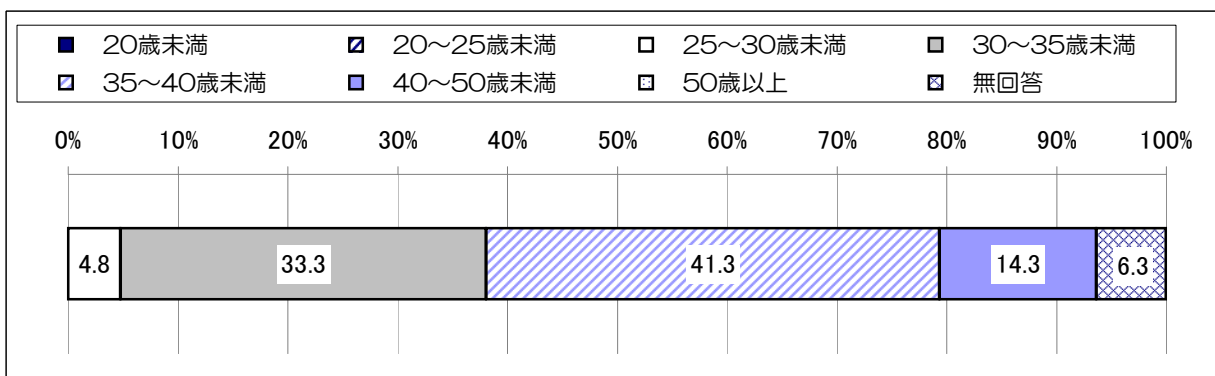
## <調査票記入者について>

回答者数= 63



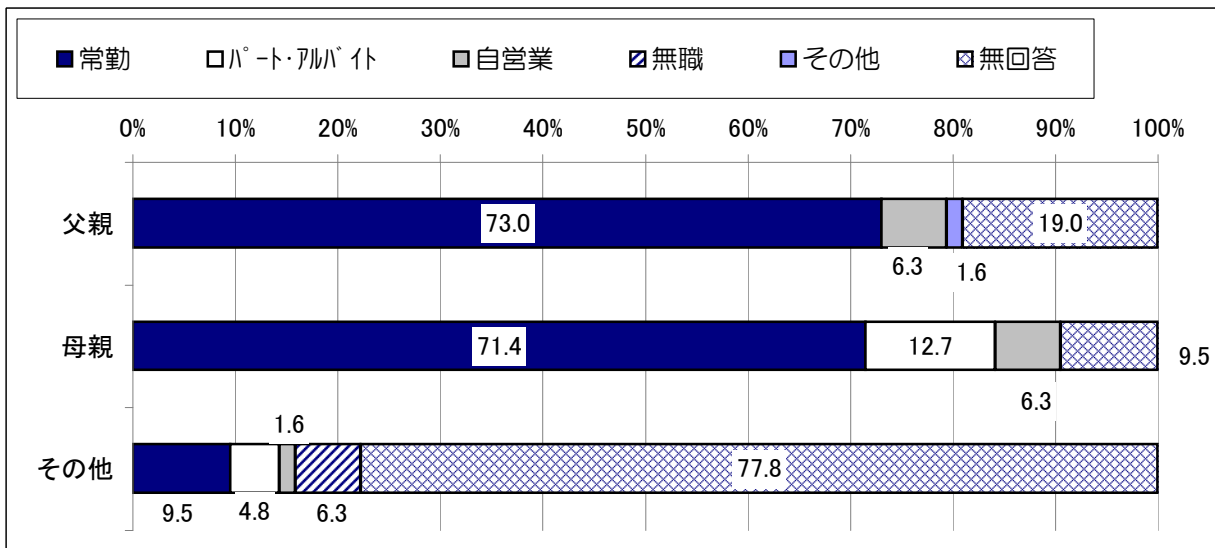
## <調査票記入者の年齢>

回答者数= 63



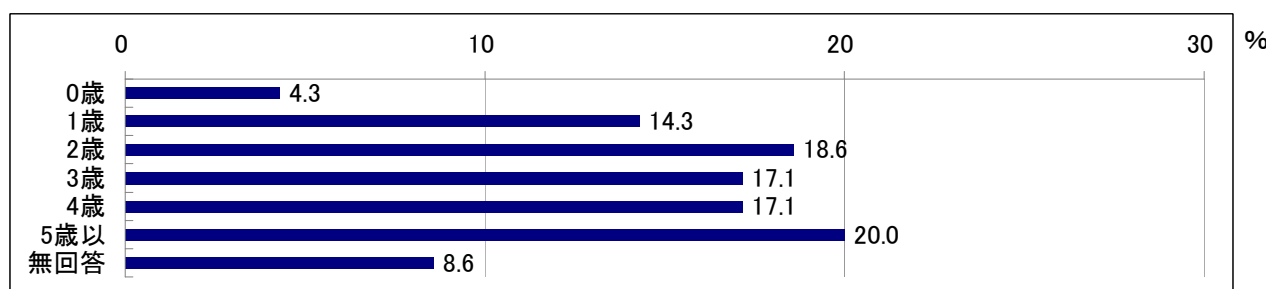
## <保護者の勤務形態>

回答者数= 63



## <お子さんの年齢(複数のお子さんがいらっしゃる場合は、複数に○)>

回答者数= 63



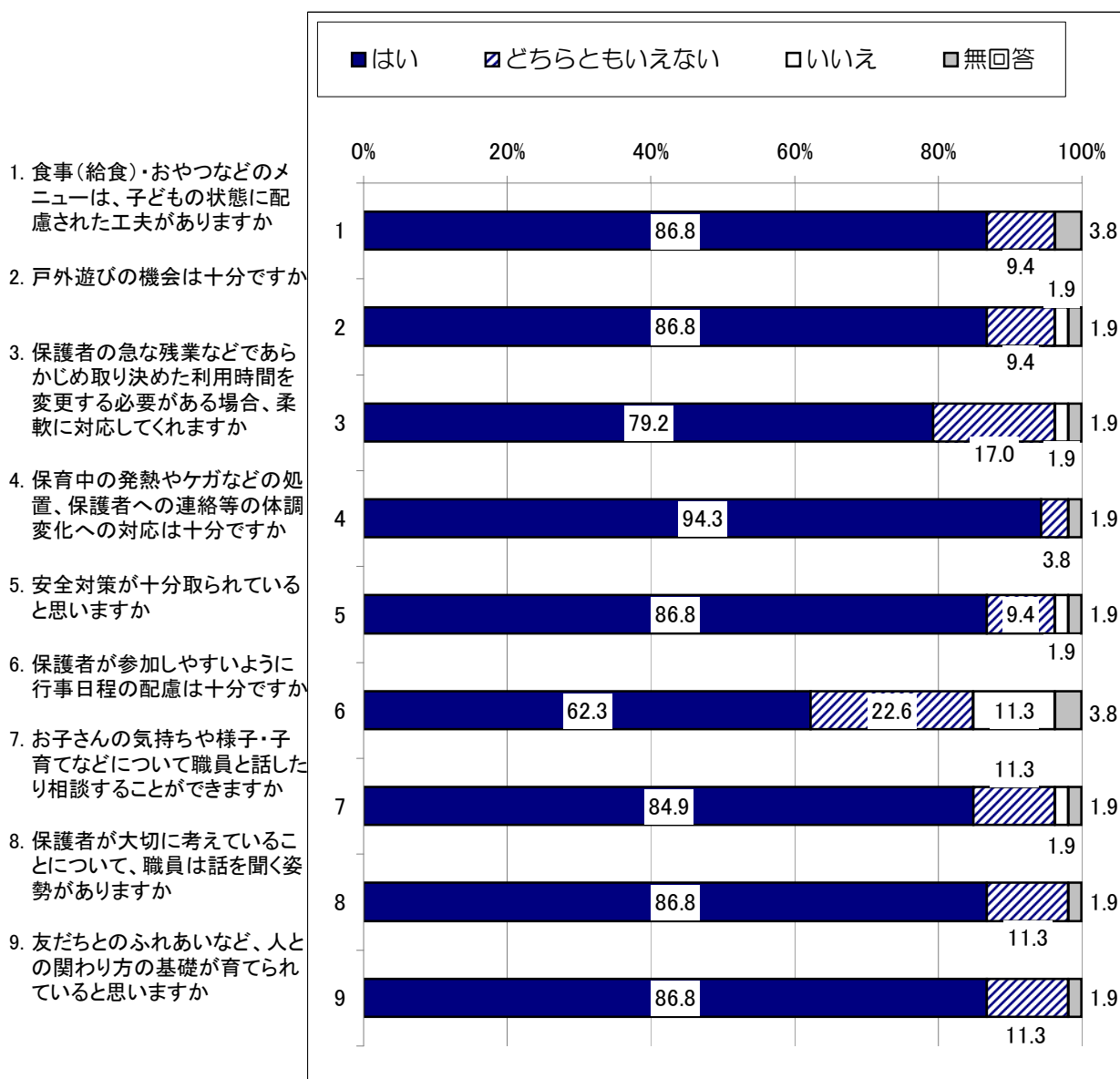
# 高円寺東保育園

---

## 高円寺東保育園

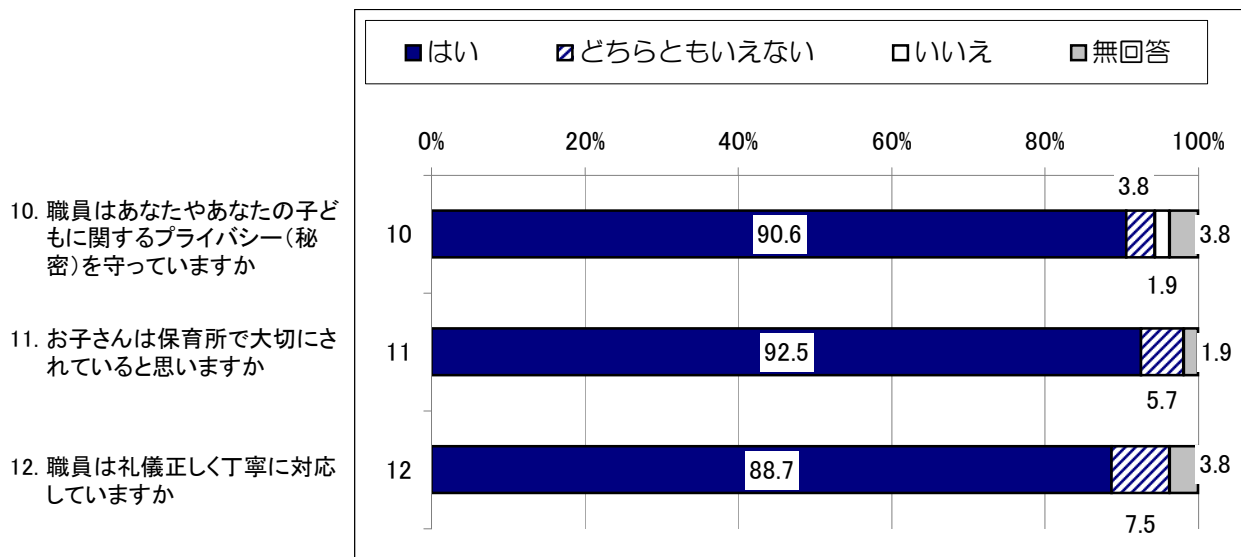
### 《毎日の保育サービスについてお聞きします》

回答者数= 53



### 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

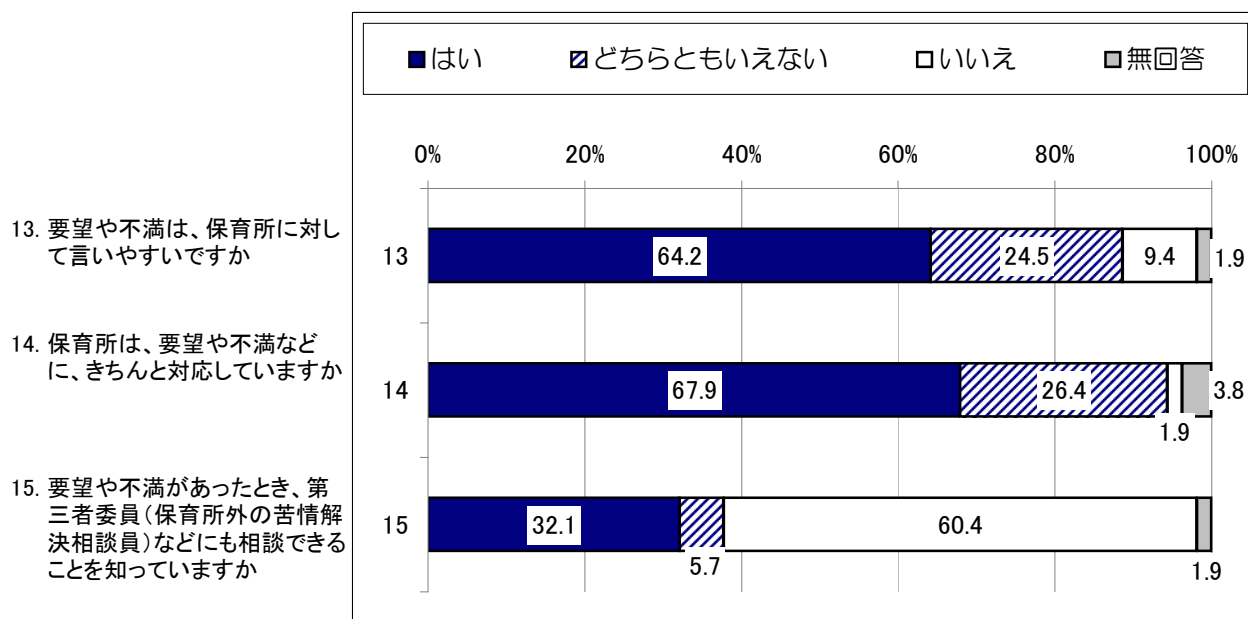
回答者数= 53



## 高円寺東保育園

《要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします》

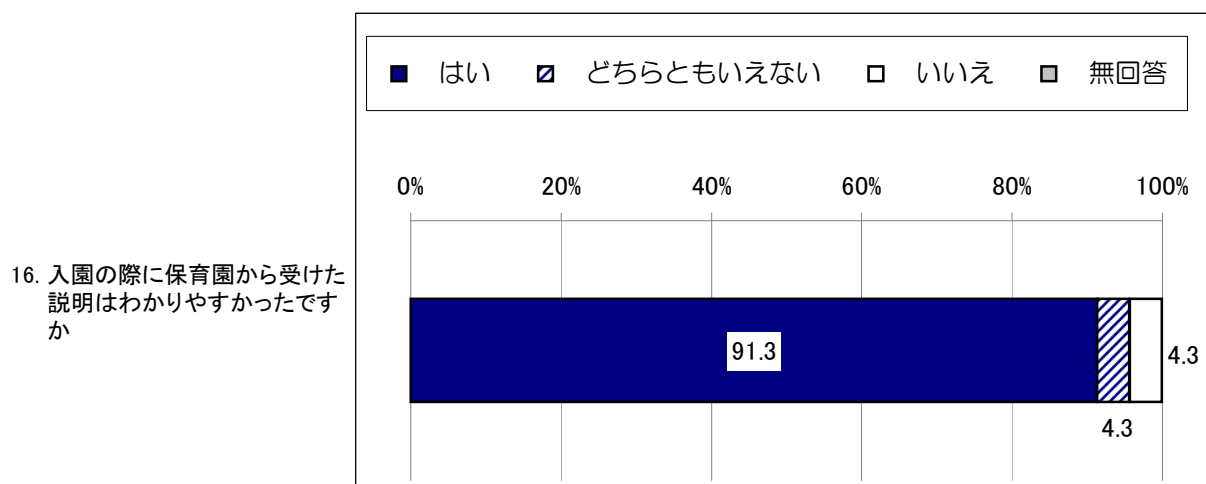
回答者数= 53



【利用開始後1年以内の方へ】

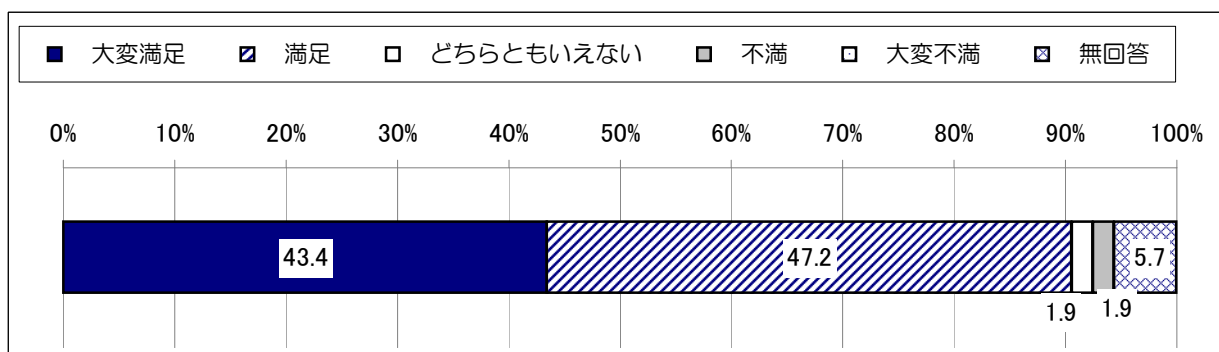
回答者数= 23

《利用前の保育園の対応についてお聞きします》



《総合的な満足度についてお聞きします》

回答者数= 53

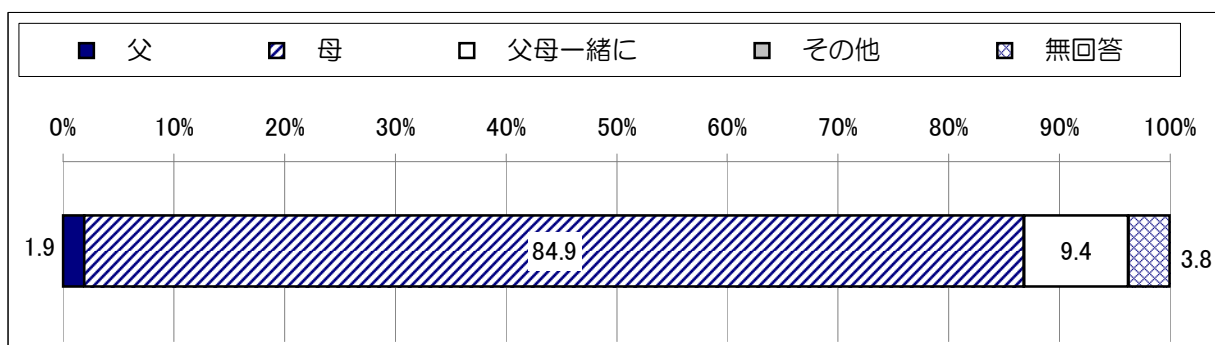




# 高円寺東保育園

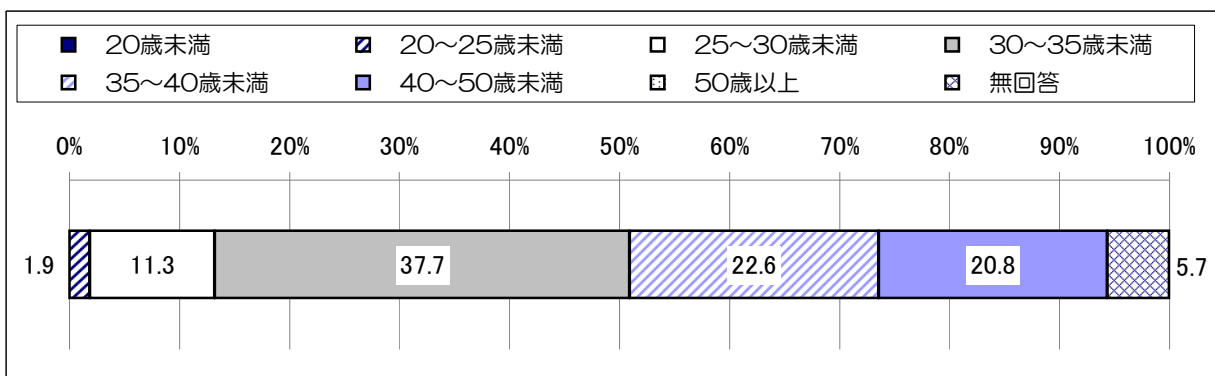
## <調査票記入者について>

回答者数= 53



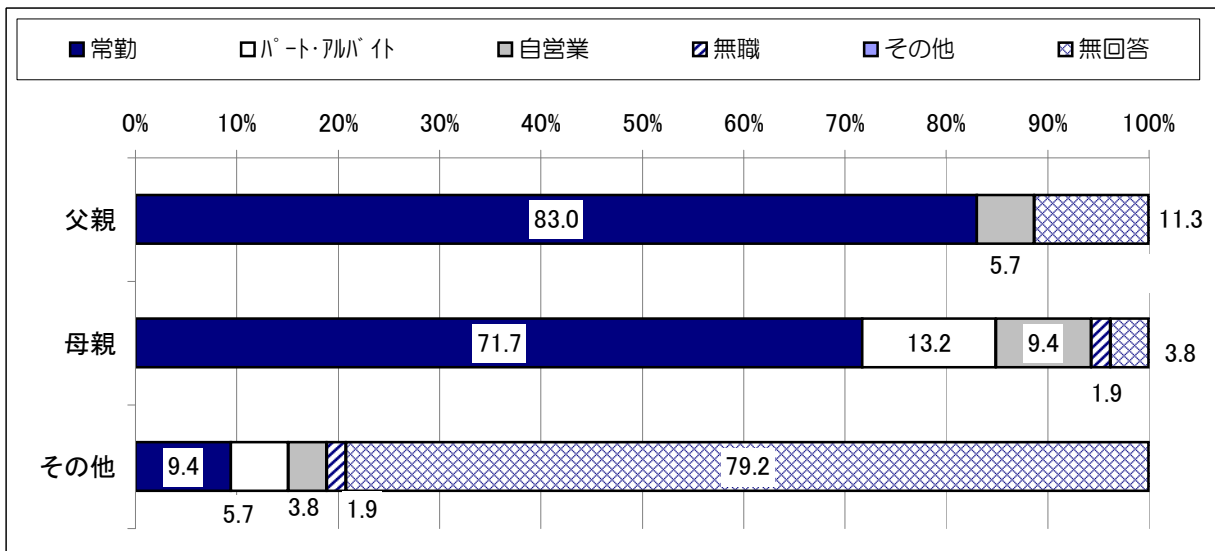
## <調査票記入者の年齢>

回答者数= 53



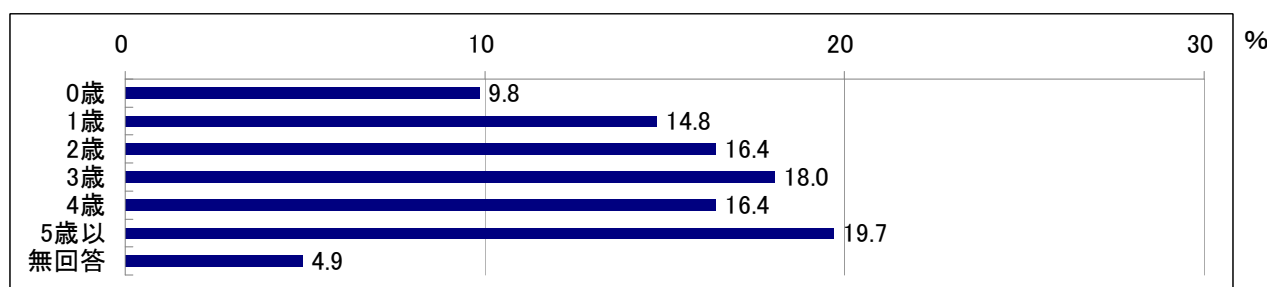
## <保護者の勤務形態>

回答者数= 53



## <お子さんの年齢(複数のお子さんがいらっしゃる場合は、複数に○)>

回答者数= 53



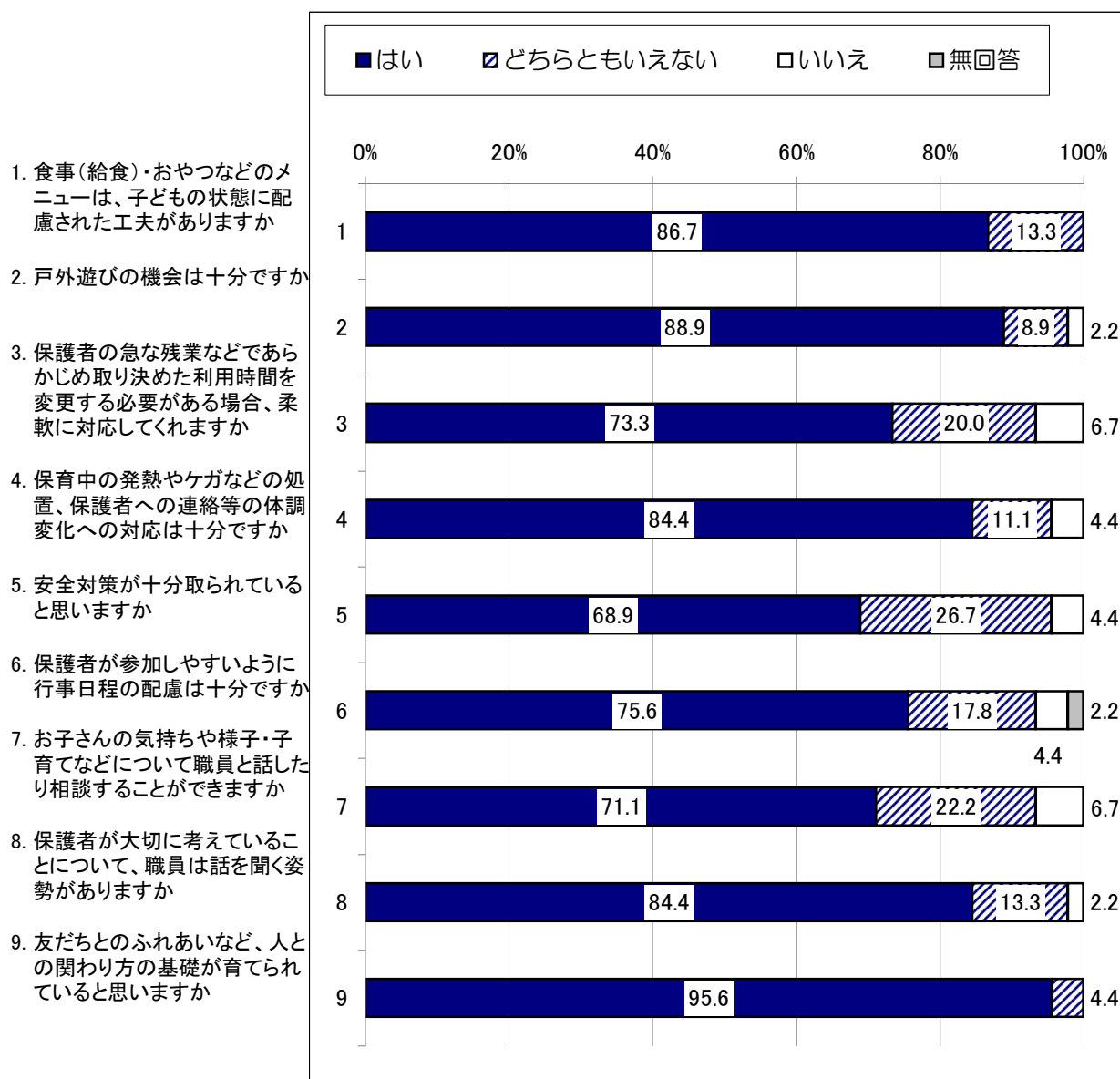
# 荻窪東保育園

---

## 荻窪東保育園

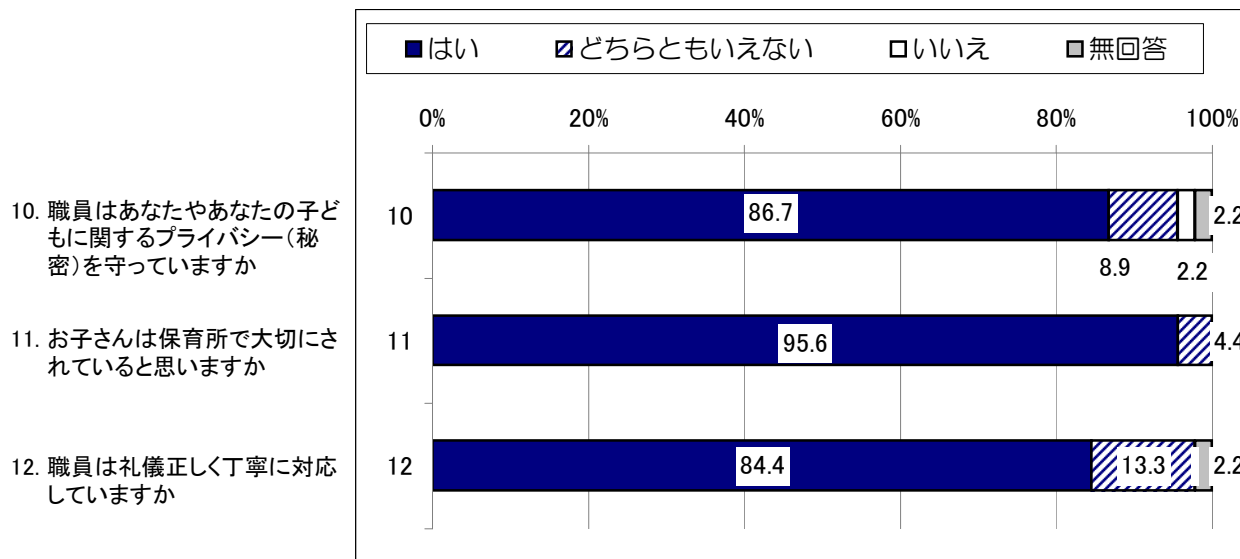
### 《毎日の保育サービスについてお聞きします》

回答者数= 45



### 《お子さんや保護者の尊重についてお聞きします》

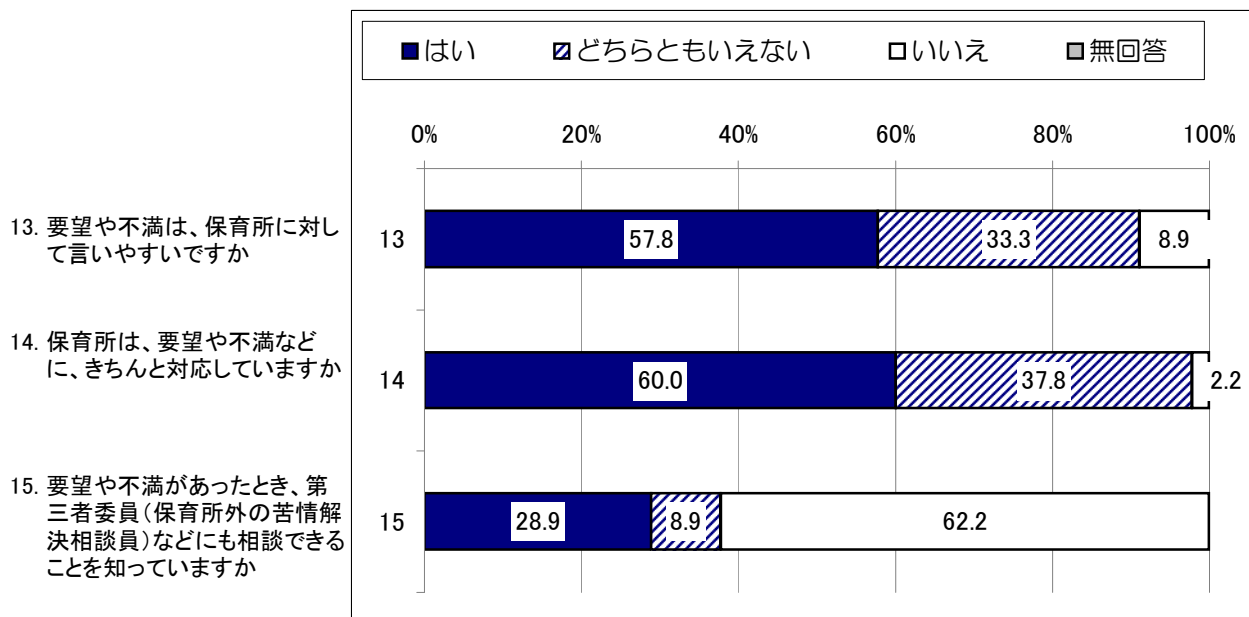
回答者数= 45



## 荻窪東保育園

《要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします》

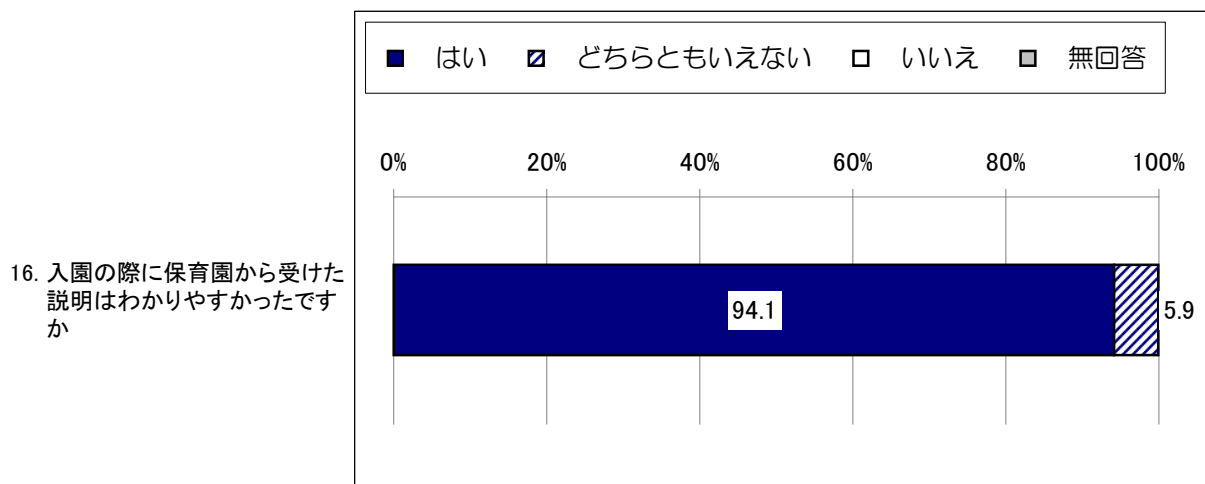
回答者数= 45



【利用開始後1年以内の方へ】

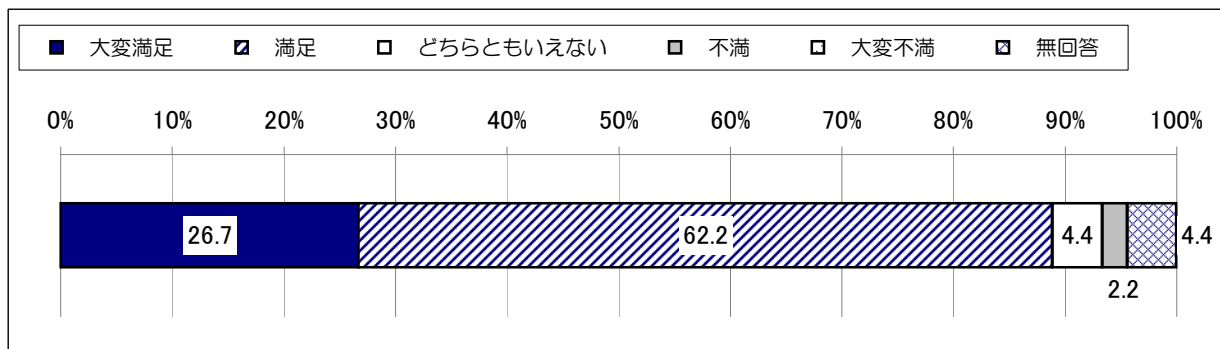
回答者数= 17

《利用前の保育園の対応についてお聞きします》



《総合的な満足度についてお聞きします》

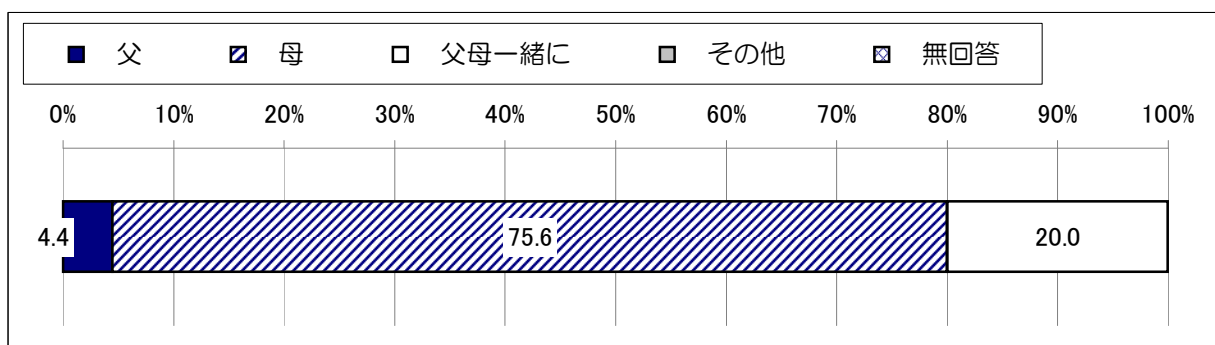
回答者数= 45



# 荻窪東保育園

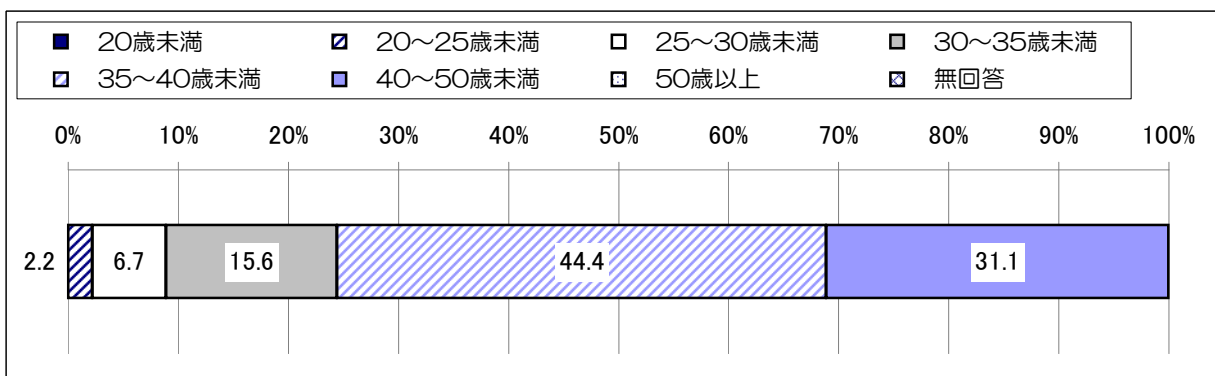
## <調査票記入者について>

回答者数= 45



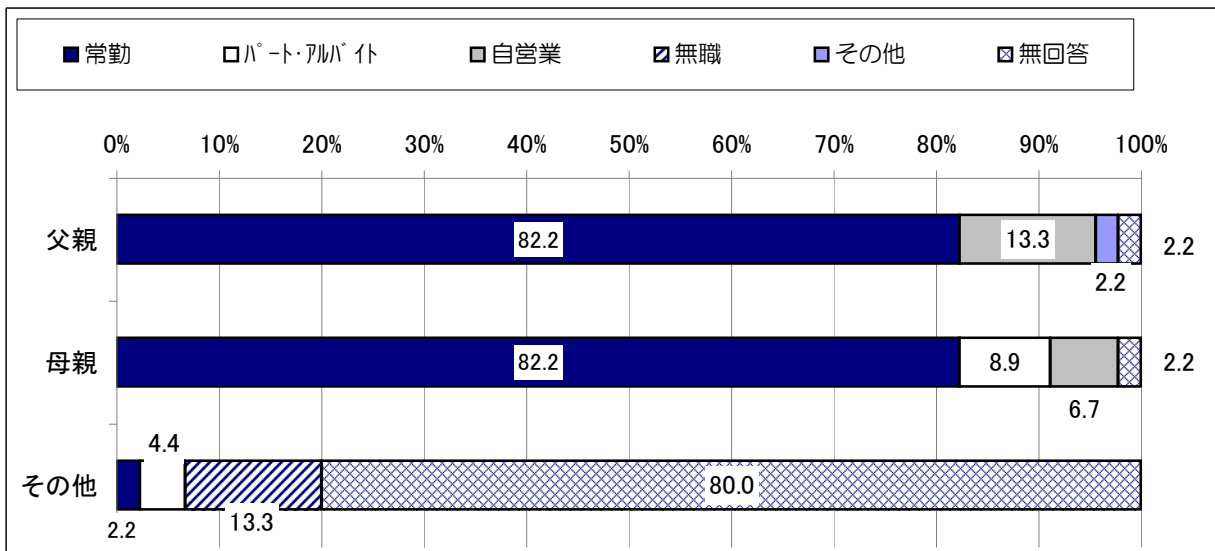
## <調査票記入者の年齢>

回答者数= 45



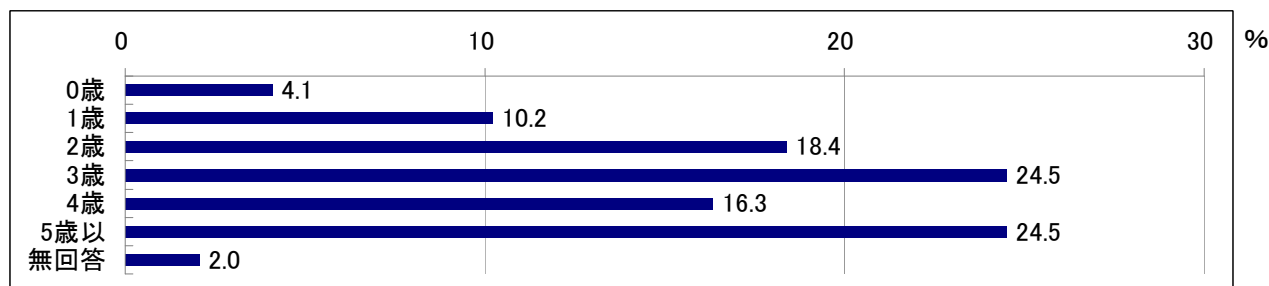
## <保護者の勤務形態>

回答者数= 45



## <お子さんの年齢(複数のお子さんがいらっしゃる場合は、複数に○)>

回答者数= 45



## 第2部 事業評価

# I 評価の概要

## 1 評価の目的

組織としてのマネジメント力がどのような状況にあるか、また現在提供されているサービスの質がどのような状況であるかについて、第三者評価機関が経営層及び職員の自己評価を事前に分析し、訪問調査を実施した上で合議により評価を決定した。（※巻末の付属資料2、巻末の付属資料3）

主な評価項目は以下の通りである。

- カテゴリー1 : リーダーシップと意思決定
- カテゴリー2 : 経営における社会的責任
- カテゴリー3 : 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
- カテゴリー4 : 計画の策定と着実な実行
- カテゴリー5 : 職員と組織の能力向上
- カテゴリー6 : サービス提供のプロセス
- カテゴリー7 : 情報の保護・共有
- カテゴリー8 : カテゴリー1～7に関する活動成果(前年度比)

## 2 評点のつけ方

上記カテゴリー1～7(活動状況:今年度)の評点は評価項目ごとに4段階でつける。

「A+」… 標準項目をすべて満たした上で、A+の取り組みがある状態
「A」…… 標準項目をすべて満たした状態
「B」…… 標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態
「C」…… 標準項目をひとつも満たしていない状態

「標準項目」を満たしていると確認するための要件は、次の①～③すべてを満たした場合である。

① 保育園が当該事項を実施していること
② その実施が継続的(必要性を認識し、計画的)であること
③ その根拠が示せること

「A+」とは、標準項目をすべて満たしたうえで、下記のすべてを満たした取り組みである。

ア 当該評価項目のねらいに合致していること
イ 事業者の理念・方針に合致していること
ウ 事業者の独自性または現状を改善するためのプロセスが認められること

なお、カテゴリー8(活動成果:前年度比)の評点は評価項目ごとに4段階でつける。

「A+」… 計画的な取り組みによる改善傾向が確認できる状態
「A」…… 改善傾向が確認できる状態
「B」…… 取り組んでいるが改善傾向は確認できない状態
「C」…… 取り組んでいない状態

### 3 訪問調査とフィードバック

評価者による訪問調査及び評価結果のフィードバックは、以下の日程で行った。

	保育園名	訪問調査日	フィードバック訪問日
1	井荻保育園	平成21年11月11日	平成22年2月8日
2	中瀬保育園	平成21年12月2日	平成22年2月8日
3	下高井戸保育園	平成21年11月2日	平成22年2月10日
4	西田保育園	平成21年11月5日	平成22年2月8日
5	荻窪保育園	平成21年12月1日	平成22年2月12日
6	四宮保育園	平成21年11月12日	平成22年2月12日
7	和泉保育園	平成21年11月27日	平成22年2月8日
8	上井草保育園	平成21年11月4日	平成22年2月8日
9	堀ノ内東保育園	平成21年11月30日	平成22年2月12日
10	西荻北保育園	平成21年11月9日	平成22年2月12日
11	上荻保育園	平成21年11月26日	平成22年2月10日
12	井草保育園	平成21年11月24日	平成22年2月8日
13	善福寺保育園	平成21年10月30日	平成22年2月12日
14	永福北保育園	平成21年11月18日	平成22年2月15日
15	高円寺東保育園	平成21年11月17日	平成22年2月12日
16	荻窪東保育園	平成21年11月20日	平成22年2月15日



## Ⅱ 各保育園の評価結果報告書

園ごとの評価結果報告書は、それぞれ次の通りである。

1	井 荻 保 育 園	87
2	中 瀬 保 育 園	117
3	下 高 井 戸 保 育 園	147
4	西 田 保 育 園	177
5	荻 窪 保 育 園	207
6	四 宮 保 育 園	237
7	和 泉 保 育 園	267
8	上 井 草 保 育 園	297
9	堀ノ内東保 育 園	327
10	西 荻 北 保 育 園	357
11	上 荻 保 育 園	387
12	井 草 保 育 園	417
13	善 福 寺 保 育 園	447
14	永 福 北 保 育 園	477
15	高 円 寺 東 保 育 園	507
16	荻 窪 東 保 育 園	537

井  
荻  
保  
育  
園

中  
瀬  
保  
育  
園

下  
高  
井  
戸  
保  
育  
園

西  
田  
保  
育  
園

荻  
窪  
保  
育  
園

四  
宮  
保  
育  
園

和  
泉  
保  
育  
園

上  
井  
草  
保  
育  
園

堀ノ内東  
保  
育  
園

西  
荻  
北  
保  
育  
園

上  
荻  
保  
育  
園

井  
草  
保  
育  
園

善  
福  
寺  
保  
育  
園

永  
福  
北  
保  
育  
園

高  
円  
寺  
東  
保  
育  
園

荻  
窪  
東  
保  
育  
園

# 井 荻 保 育 園

---

調査対象

複数児利用世帯は最低年齢児1人を対象として実施世帯数を絞り、58世帯から有効回答を得た。

調査方法

アンケート調査票の配付は保育園を通じて保護者へ手渡し、回収は保護者から評価機関へ直接郵送する方法を採用した。

利用者総数

84

共通評価項目による調査対象者数

84

共通評価項目による調査の有効回答者数

58

利用者総数に対する回答者割合(%)

69.0

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想として、「大変満足」が28%、「満足」が56%、合わせて84%という結果となった。最も高い満足度が示されたのは「一人ひとりの子どもは大切にされているか」についてで、85%の方が「はい」と回答した。これに対し、「外部の相談窓口にも相談できることを知っているか」については、「はい」は29%にとどまり、「いいえ」との回答が66%となった。

## 利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	46	11	1	0
回答者の約79%が「はい」と回答した。アレルギー対応に感謝する声のほか、見た目や味に一層の工夫を期待する声も寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	45	5	7	1
回答者の約77%が「はい」と回答した。園外活動に対する感謝の声のほか、より一層の活動を期待する声も寄せられた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	37	19	2	0
回答者の約64%が「はい」と回答した。延長保育の利用に関し、利用方法に理解を示す声のほか、申込み時の対応に一層の向上を期待する声も寄せられた。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	51	5	1	1
回答者の約87%が「はい」と回答した。迅速な連絡、十分な連絡に感謝する声が寄せられた。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	47	8	3	0
回答者の約81%が「はい」と回答した。通用門に鍵が設置されたことに対し、安心できるという声のほか、なお一層厳重な防犯対策を期待する声も寄せられた。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	29	20	8	1
回答者の約50%が「はい」と回答した。実施前にアンケートを通じて意向を把握してくれることや土曜日に行事を開催することなどに対する感謝の声が寄せられた。保護者会や個人面談の日時については、多様なニーズがうかがえる声が寄せられた。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	46	10	2	0
回答者の約80%が「はい」と回答した。相談・コミュニケーションについては、「担任とはよく話ができる」、「毎日話が出来て安心」、「登降園時は慌しくなかなか話ができない」、などといった声が寄せられた。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	43	12	1	2
回答者の約74%が「はい」と回答した。職員による対応の統一化やを期待する声のほか、職員側の忙しさに理解を示す声も寄せられた。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	44	9	3	2
回答者の約76%が「はい」と回答した。一層の配慮を期待する声も寄せられた。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	49	7	0	2
回答者の約85%が「はい」と回答した。職員へなついている様子や楽しみに通園する様子から、安心している旨の声が寄せられた。				

11. 職員の対応は丁寧か	45	10	0	3
回答者の約78%が「はい」と回答した。挨拶や笑顔に好印象を受けている旨の声のほか、接遇については一層の徹底を期待する声も寄せられた。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	25	23	8	2
回答者の43%が「はい」と回答した。不満はないとの声のほか、預けていることによる遠慮をうかがわせる声や思いを伝える機会を求める声も寄せられた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	30	22	4	2
回答者の約52%が「はい」と回答した。不満はないとの声のほか、一層の対応を期待する声も寄せられた。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	17	1	38	2
回答者の約29%が「はい」と回答した。明確に「知らない」との声が寄せられるなど、利用開始時の説明を忘れている方が多いことがうかがえる結果となった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	19	2	4	0
回答者の約76%が「はい」と回答した。一層詳細な説明を期待する声が寄せられた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	

評価項目3

重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点（ A ）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし

カテゴリ1の講評

保育理念と方針

園の理念を具体化すべく、保育目標を定めて取り組んでいる。また、理念を念頭に置きながらチャレンジプランの目標を設定し、この目標を職員とともに達成すべく、職員会議等の打ち合わせ等を行い、職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行っている。

指導層の役割の明確化と前期終了後評価、反省、後期の見直しの流れ

指導層の立場を園運営マニュアルの「分担表」に明示している。その上で、園長・主査の指導層は計画的に行動している。毎日の「事務連絡会」、週一回の「定例会議」などの会議を始め、プロジェクトチームのメンバー編成を決定して園運営を行っている。さらに、目標を実現するために、「前期終了後評価→反省、後期の見直し」という流れを確立し、園長が中心となり園運営に取り組んでいる。

「打ち合わせ・職員会議議題」を事務所に設置

「打ち合わせ・職員会議議題」を事務所に設置することにより、議題の提案は自由に職員ができるようになっている。毎日の「事務連絡会」、週一回の「定例会議」などの会議にて定期的に話し合う機会をあらかじめ定めている。園長を中心とした報告、相談、決定のシステムが定着している。

2 カテゴリー2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点( A )		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点( A )		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
サブカテゴリー2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点( A )		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		



評価項目2

ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○非該当
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3

地域の関係機関との連携を図っている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリ2の講評

ふれあい保育等を通じた保育所機能の還元

ふれあい保育とは、区立保育園で保育園生活を体験する中で、保育士や看護師、調理職員のアドバイスを受けながら、保護者の子育てに対する悩みや不安を解消し、子どもの健やかな成長を支援する制度で、杉並区全体で取り組んでいる。また、園庭開放も積極的に行っている。

地域子育てネットワークを通じた地域との協働

地域子育てネットワーク(保育園・児童館・保健センターなど)に参加し、定期的な行政連絡会への参加やネットワーク通信の作成を行うとともに、防災・防犯に関する情報交換、交流事業を、園長・主査等が中心となって園として地域での共通課題の解決に協働している。

区の担当課と連携したボランティアの受け入れ体制の確立

ボランティアや実習生の受け入れについては、「保育実習に関する留意事項」「杉並区における実習生の受入れ手順」など、区の担当課との連携のもと受け入れ体制を確立している。また、園独自で「保育で大切にしたいこと」を作成し、開始前のオリエンテーションにて園としてのボランティア受け入れの考え方をはっきりと明示している。

カテゴリー3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリー1

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

### カテゴリー3の講評

#### 苦情相談員制度の保護者への周知と、保育課との連携

杉並区保育事業全体として、保健福祉サービスの利用者が提供されるサービスに不満があるとき保健福祉サービス苦情調整委員が、申立者とサービス提供事業者の双方から事情を聴き、公正・中立な立場から問題の解決を図る苦情相談員制度があり、周知している。また、区の保育課へ問い合わせ等があった段階で、三日以内に返答するよう迅速な対応ができるよう心がけている。区の担当者と園長の連携により、迅速かつ的確な対応をするよう体制が構築されている。

#### 保護者の意向を踏まえた園運営

運動会に関するアンケートを実施し、この結果を元に、今年度より近隣小学校の校庭を借りて運動会を行うことになった。開催後の感想は好意的なものが多かった。また、「おおきくなった会」の開催では、一日かかっていた行事を半日で行うことで保護者の反応も良いものになっている。園長としても、直接的な保護者との対話の積み重ねから意向の把握を日常的に行うとともに、今後とも保護者の要望・意向の把握をより一層積極的に行い、サービスの向上につなげたいと考えている。

#### 地域関係機関を通じた情報収集

子育て支援に関する地域の協議会（地域子育てネットワーク等）、園長会などを通じて地域の福祉ニーズ、福祉事業全体の動向を把握するとともに、区の担当者と連携して情報の整理・分析を行っている。

4 カテゴリー4		
計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリー1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3  
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1  
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-4の講評

区と連携した計画策定

区レベルとして「長期計画」「実施計画」「保健福祉計画」を策定し、担当課レベルでは「杉並区の保育実践方針」を策定中である。同方針については、研修等を通じて多くの職員が学んでいる。園としてもチャレンジプランを通じて実践的な計画策定を行い、課題の明確化や手順が職員に周知されている。

チャレンジプランをもとにした計画の効果的実行

チャレンジプランでは「目標→取組計画→評価(中間・年度末)」という流れのもとに計画が効果的に実行できるよう工夫がなされている。この目標のもと取組計画が作成されている。政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の分野ごとに園の目標を掲げ、取組計画が詳細に記載され目標に対し、着実に成果を上げられるような仕組みになっている。

危機管理における区との密接な連携と、園独自のマニュアルによる対応

杉並区の庁内LANによる「ヒヤリハット」の共有があり、他施設の状態も含めて共有できるようになっている。危機管理マニュアルは区保育園全体のものが用意されており、これに加えて、園独自で園運営マニュアルの中に様々な状況に対応したマニュアルが用意してある。事故報告書の書式も整備しており、区の担当課による確認も行われている。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点( B )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

区との連携による人材の確保と人員配置

区の保育担当部署と連携して人事制度に関する方針を明示している。組織目標・チャレンジプランにより、部・課の目標にあわせて、係の課題・取組計画を明示し、個人のチャレンジプランを作成している。採用については、正規職員は区が採用し、非常勤等職員については、保育課が必要に応じ採用している。各クラス担当の職員配置は、職員会議等により決定している。

各職員の役割の明示と、意思形成過程のボトムアップ化

職員の役割は園運営マニュアルに係り分担当が状況ごとに細かく定めている。また、いくつかの行事の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性の向上に努めている。昨年度、主査がいない中、園運営を行っていた経験により職員が自発的に積極的に行動できる風土があり、この特性と相まって職員と組織の能力向上がバランスよく進行している。

区の人材マネジメントシステムを中心とした体制

「職員人材育成事業実施計画」をもとにした、職員の育成・評価・報酬が連動した人材マネジメントを行っている。これに合わせ、「私のチャレンジプラン」をもとに各職員の就業状況のヒアリングを行っている。

7 カテゴリー7		
情報の保護・共有		
サブカテゴリー1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1		
事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2		
個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		



#### カテゴリ7の講評

##### 区による情報の保護・共有の管理と園の情報管理の工夫

区による情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ対策基準によりアクセス権等の設定をしている。また、保管は区のファイリングシステムに従って分類・整理している。園としても、情報の整理とファイルなど文章を使いやすくする工夫をしている。

##### 杉並区個人情報保護条例による情報の保護・共有

杉並区個人情報保護条例により個人情報の利用目的を明示するとともに、個人情報の保護に関する規程を明示している。また、園独自の個人情報マニュアルも整備し、個人情報の適切な利用・保護を図っている。

##### 写真・ビデオ撮影に際しての同意

写真やビデオ映像の撮影に際しては、保護者に対し説明の上、理解を得ている。それらの利用については、区で定めた「画像データ提供申請書」により使用用途を限定し、撮影された園児の保護者の同意を得た上で対応している。

カテゴリー8	
8 カテゴリー1～7に関する活動成果	
サブカテゴリー1	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>グループ会議の開催と計画の実行</b> 区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。	
サブカテゴリー2	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>チャレンジプランの活用</b> 園のチャレンジプランと職員のチャレンジプランを有効にリンクさせることにより、効果的に職員と組織の能力向上ができるようになってきた。職員のチャレンジプランでは、園長とのヒアリングで確認、個人の意識が高まるとともに、園のチャレンジプランとリンクさせることにより、園全体の意識が高まるようなシステムが出来ている。	
サブカテゴリー3	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>「朝夕保育ノート」の活用による情報共有の強化</b> これまで使用してきた朝夕別のノートでは、一日を通しての流れや情報が見つみにくい面があった。そこで、職員の提案を基に、今年度より一日の連絡事項を記録する「朝夕保育ノート」の使用を開始した。これにより、一日の連絡事項が漏れなく伝えられるようになり、保護者への連絡漏れの件数も減少した。	

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善に向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+  A  B  C

改善の成果

行政改革の実行による取り組み

区では行財政改革である「スマートすぎなみ計画」により、計画的に取り組みを進めている。平成20年度から平成22年度の目標としては、①区の事業の6割を共同化・民営化・委託化する、②経常収支比率を80%以下とする、③職員定数を330人削減する、となっている。保育分野に関しては、給食調理・用務の委託や指定管理制度の導入などによるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率向上などの取り組みを進めている。これまでに保育園の指定管理制度を4園に導入、調理・用務業務の委託についても21年度現在で12園で実施している。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+  A  B  C

改善の成果

保護者意向の把握と活用

運動会に関するアンケートを実施し、この結果を基に、今年度より近隣小学校の校庭を借りて運動会を行うことになった。開催後の感想は好意的なものが多かった。また、「おおきくなった会」の開催では、一日かかっていた行事を半日で行うことで保護者の反応も良いものになっている。園長としても、直接的な保護者との対話の積み重ねから意向の把握を日常的に行うとともに、今後とも保護者の要望・意向の把握をより一層積極的に行い、サービスの向上につなげたいと考えている。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している <div style="text-align: right;">評点( A )</div>		
評価		標準項目
●あり ○なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
サブカテゴリー1の講評		
<b>区ホームページによる園概要の紹介</b> 区ホームページの「施設案内」により、園の概要について網羅的に紹介している。所在地などの基本情報のほか、最寄の駅からの道順案内、園の見取り図(写真入り)、保育目標、対象年齢や職員体制、主な行事などについて、簡潔に説明している。紹介する項目自体は各園共通であるが、特に「保育園の特色」については、環境や活動の様子など、当園らしさについて具体的に分かりやすく紹介している。		
<b>園としての情報の発信</b> 園のしおりは、人員体制や保育時間、園目標、見取り図などの概要のほか、保育内容を知りたいという保護者のニーズを踏まえ、各クラスの目標や大事にしていることなどについても掲載するなど、園の特徴を簡潔に伝える内容となっている。しおり自体は、入園内定者のみに渡すこととしているが、その他の見学や園庭開放の際の訪問者に対しては、しおりの内容を要約した施設概要を渡している。		
<b>見学・相談への対応</b> 問い合わせや見学の要望については、土曜日を含め希望日を聞いた上で、園長および主査を対応者として随時応じている。寄せられた見学・問い合わせの要望については、園では「子育て支援記録」にまとめた上で、保育課でも相談項目・年齢別に集計・把握されている。		

サブカテゴリ-2

2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリ-2の講評

入園前の説明

入園児健康診断・面接の機会や入園説明会の場において、園での生活に関する基本事項を説明している。保育理念や園生活の概要、必要な持ち物などについては「しおり」を中心に、災害時の対応や保険制度などについては区発行の各種文書により、説明している。説明に際しては、園生活がスムーズに始められるよう、疑問や不安の払拭に努めている。

個別事情や要望の把握

入園前の面接では、保育時間に関する意向や保育上の留意事項などのほか、健康上の留意事項、慢性疾患、離乳食進度、アレルギー等食物除去などについて、各専門職種の立場から情報を収集・確認し、児童票を中心とする個人記録にまとめている。

入園直後の緊張への対応

「入園までの生活状況」(児童票)で把握した遊び、食事、睡眠、排泄、着脱、清潔(歯磨き・入浴)、養育態度などに関する情報を基に、集団生活の開始という環境変化に馴染めるよう配慮している。特に0歳児や保育園が初めての方の場合は保護者も緊張しがちなので、保育の状況を細かに説明している。また、保護者の勤務都合を踏まえて慣らし保育を実施している。布団で寝ない子どもは抱っこするなど、家庭での習慣やその子の特性を踏まえて、徐々に通常の保育に慣れることができるよう取り組んでいる。

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしきみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している			<b>評点( A )</b>
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	
【A+の取り組み】			○あり ●なし

サブカテゴリー3の講評

**新たな児童票の活用**  
 子どもの心身状況や発達状況・家庭状況などは、児童票に記録している。同票については、区内全園にて今年度から書式の見直しが行われ、子どもの成長過程に対する「評価」ではなく、保護者とともに内容を共有し、方向を探っていくためのものに変更された。

**計画の作成と保護者への説明**  
 クラスごとに年間の指導計画を作成し、それを基に月の指導計画(月案)や週案を立案している。計画は、月・期・年ごとに見直しを行っている。年間計画については保護者会で説明し、その他の計画については、クラスだよりでねらいやポイントについて説明している。

**子どもに関する情報の共有**  
 毎月の指導計画の検討・反省を通じて、計画の内容や子どもに関する記録について、職員間で共有している。毎日の事務連絡会では、翌日の体制に加え、各クラスからの連絡事項についても皆で共有している。申し送り・引き継ぎの際には、「朝夕保育ノート」を活用して伝えるとともに、口頭でも周知している。「朝夕保育ノート」については今年度より作成・使用しており、一日の連絡事項が漏れなく伝えられるようになり、保護者への連絡漏れの件数も減少した。

サブカテゴリー5

**5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重**

<b>評価項目1</b> 子どものプライバシー保護を徹底している			<b>評点( A )</b>
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	○非該当	
【A+の取り組み】			○あり ●なし

<b>評価項目2</b> サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している			<b>評点( A )</b>
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている		○非該当
【A+の取り組み】			○あり ●なし

サブカテゴリー5の講評

**プライバシーへの配慮**  
 プールやシャワーの際は、布などを設置して、外部の目から保護している。また、乳児のおむつ交換や幼児のお漏らしへの対応などの際は、衝立などにより、他者の目に触れないようにしている。

**日常的な振り返り**  
 子ども一人ひとりの言葉や思いに耳を傾け、寄り添うことを実践している。また、保育の振り返りなどの機会を通じて、言動などについて職員相互に意識向上を図っている。今後は、日常の言動の振り返りについて、より意識的に行っていきたいと考えている。

サブカテゴリー6

**6 事業所業務の標準化**

<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている			<b>評点( A )</b>
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		○非該当
●あり ○なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている		○非該当
●あり ○なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している		○非該当
●あり ○なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		○非該当
【A+の取り組み】			○あり ●なし



<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
<b>評価項目3</b> さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリ6の講評		
<b>各種マニュアルの活用</b> 区で定めた「危機管理マニュアル」を中心に、一般的な業務内容のほか、散歩などの園外活動、感染症対策、災害時の対応などについて、その手順を明らかにしている。また、各係や業務の内容についても、別途定めている。		
<b>職員や保護者の提案・意向を踏まえた業務内容や手順の見直し</b> 業務内容や手順については、年に2回の反省の際に見直しを行っている。見直しにあたっては、ヒアリングなどで吸い上げた職員の声を会議で検討し、反映させている。今年度の例では、職員の提案を基に、一日の連絡事項を記録する「朝夕保育ノート」の使用を開始した。保護者との関係では、保護者会での質疑応答や連絡帳のやり取り、日々の会話を通じて得た意見や要望を検討し、見直しに反映している。		
<b>研修機会の提供および各種プロジェクトの活動</b> 東京都社会福祉協議会や特別区、母子保健センターなどの関係機関が主催する研修については、随時案内し職員に周知している。また、子どもの発達に関連した専門知識の向上や人材育成を図るための保育課実務研修が位置付けられている。園内では、保育課程や防犯などのテーマでプロジェクトを組織し、個々の専門性の向上を通じた組織としての業務水準の向上を図っている。		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	○非該当
	●あり ○なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	○非該当
	●あり ○なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 150px;">○あり</span> <span style="margin-left: 20px;">●なし</span>			
評価項目1の講評			
<p><b>自主性・自発性の促進</b>          指導計画の検討の際に、集団生活に支障のない範囲で、自主性や自発性の発揮を促す環境設定や保育の進め方を検討している。子どもが遊びこめるよう、クラス活動以外に自由な時間を設定している。室内では、コーナーの設定を工夫し、一人ひとりの遊びを保障している。園庭には、鉄棒、太鼓橋、砂場、マルチパーツなどを配置し、これらを活用した保育を行っている。</p> <p><b>発達過程を踏まえた保育の実践</b>          子どもの運動機能の低下という現状を踏まえて、リズム遊びを通じた敏捷性の涵養に力を入れている。そのほか、各発達段階に応じた遊びを取り入れるなど、子どもの発達過程を踏まえた上での保育のあり方を検討し実践している。</p> <p><b>特性を踏まえた保育実践への取り組み</b>          一人ひとりの特性を踏まえた保育を一層充実させていくために、心理職の巡回相談を活用している。保育者は、日頃の観察に基づく気づきや対応方法について相談し、それを踏まえて一人ひとりの発達過程にあった関わり方を実践している。</p>			

2	<b>評価項目2</b> 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		評点( <b>A</b> )
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input type="radio"/> 非該当	
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
<b>評価項目2の講評</b>			
<b>食事を楽しむ工夫</b> 区立保育園共通の献立表に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供できる体制にある。行事の際は、保育士の意見を取り入れ、通常の献立を基本としつつ、見た目にもより楽しめるものとなるよう工夫している。ベランダやホールで食べたりするなど、様々な食事の場を設定することもある。個々の摂食状況に合わせて盛り付け量を調整し、完食する喜びを味わえるような工夫も行っている。			
<b>アレルギーへの配慮</b> 食物アレルギーのある子どもに対しては、提供する食事内容について個別に配慮している。事前に除去用献立表を保護者に配布し、それを基に担任・栄養士・調理師で検討・確認し、食事提供時は別トレーで配食している。要所要所で職員が声に出して確認し連携を取り、誤食の発生を防止している。			
<b>食育活動</b> 食育という観点から、ミニトマトやきゅうり、えだまめ、などをプランタで栽培し、味わう機会を設けている。また、5歳児には調理室で焼いた秋刀魚を提供し、箸の使い方を含めて正しい食事マナーを伝えたりするなど、子どもが食材に触れ、理解する体験ができるようにしている。秋刀魚の食べ方やソラマメの皮むきなど、活動の実施状況については、壁新聞により保護者にも見える形で伝えている。			
3	<b>評価項目3</b> 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		評点( <b>A</b> )
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	

評価項目3の講評

定期健診の実施

毎日の視診による健康状態の把握のほか、毎月の身体測定、年2回の健康診断、歯科・眼科・耳鼻科の各健診、ぎょう虫卵検査などの結果を、各園共通の児童票や健康カードに記録している。週に1度は、園医の巡回による健康診断も行われている。

健康・衛生管理

乳児クラスについては、乳幼児突然死症候群の発生防止のために、午睡チェック表により定期的に呼吸などの確認を行っている。感染症予防の見地から、感染性胃腸炎や新型インフルエンザへの対応マニュアル(保育課作成)を整備している。薬の処置が必要な子どもに対しては、与薬申込み書の手順に従って対応している。

保護者に対する情報提供

区役所や保健所などの関係機関から提供されるポスターやチラシ、園の保健だよりなどの掲示・配布などにより、感染症に関する情報を保護者に伝達している。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4の講評

年間計画に基づく多彩な行事の実施

年間行事計画に基づき、多彩な行事を実施している。じゃが芋掘り(5歳児)、七夕会食、笹送り、交通安全教室、芋ほり(4歳児、5歳児)、幼児交流会(お店屋さんごっこ)、ひな祭り会など、季節や目的に応じて子どもが楽しめる場面を設定している。各行事は、「公共の場でのマナーを知り守る」(プラネタリウム)、「節分の意味を知る」(節分集会)、「収穫の喜び、秋の味覚を味わう」(準備を力を合わせて行う)(焼き芋会)など、ねらいを明確にした上で実施している。

清潔で快適な保育環境の維持

子どもにとってより快適で過ごしやすい環境を実現するべく、日常的に検討を重ねている。季節を感じられるような草花を飾ったり、子どもの作品を展示したり、園内の清掃を徹底するなど、快適な環境の整備に取り組んでいる。職員による検討をもとにパーテーションを設置し、各クラスの生活により一層の落ち着きもたらされた。

個別状況に応じた午睡時間の設定

クラスごとに午睡の時間帯を設定しつつも、子どもの年齢や体調、前日の睡眠状況などに応じて柔軟に対応している。乳児については個々の健康状態や発達状況に合わせて、必要な睡眠時間を確保できるようにしている。幼児については、眠れない子どもについては休息の時間としたり、時間を短縮したりするなど、個々に合わせた睡眠や休息を取れるようにしている。

評価項目5  
 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている

評点( A )

5

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	○非該当
●あり ○なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目5の講評

日常的な情報提供

園だより、クラスだより、貼り出し日誌などにより、園での子どもの生活の様子や成長ぶりについて保護者に情報を提供している。園だよりについては、「私の保育園・幼稚園時代」「ストレス発散法」「(子どもを)かわいいと感じたとき」など3項目を設定し、1年を通じて全保護者に原稿を書いてもらえるようにしている。クラス別保護者会では、ビデオ映像や写真を活用して、視覚的にも伝わりやすい形で現在の子どもの状況について伝えている。

壁新聞の掲示

日頃の子どもの様子をより一層見える形で伝えるために、「壁新聞」を作成し掲示している。写真を取り入れ、コメントを書き込み、活動の様子とともに子どもの姿も伝わるよう工夫している。秋刀魚の食べ方やソラマメの皮むきなど、食育活動の実施状況についても紹介している。

意見や相談への対応

保護者との関係では、日頃からコミュニケーションを大切に、職員からも積極的に声をかけ、保護者が話しやすいいつでも相談できるような雰囲気作りに努めている。保護者会では、「園での生活を知ってもらいながら、保護者同士の親睦を深めてもらう」を目的に、子どもの様子や姿の報告、保護者の疑問に対する応答や助言などを行った。保護者からは、「普段なかなか他の保護者と会う機会ないのでよかった」といった声や、次回開催に向けた積極的な提案なども寄せられた。

評価項目6  
 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている

評点( A )

6

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目6の講評		
<p><b>虐待に関する意識の涵養</b> 職員は、区主催のもののほか、虐待防止を含む様々なテーマの各種研修に参加している。園内では、研修受講者による報告を通して、職員への意識付けや浸透を図っている。</p>		
<p><b>虐待対応のしくみ</b> 虐待の疑い、あるいは、虐待の事実を把握をした際の対応手順は、区の危機管理マニュアルにより明確に定められている。情報を得た際は、主管課である保育課を通じて子ども家庭支援センターや児童相談所などと連携して対処する体制にある。</p>		
<p><b>評価項目7</b> 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている <span style="float: right;">評点( A )</span></p>		
7	評価	標準項目
●あり ○なし	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	○非該当
●あり ○なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人への参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目7の講評		
<p><b>保護者への地域情報の提供</b> 玄関には各種パンフレットを設置するほか、人形劇や影絵、親子教室など、地域で行われている様々なイベントの情報を保護者に提供している。</p>		
<p><b>子どもと他者とのつながりの創出</b> 園庭開放を始め、運動会や農芸高校でのじゃが芋掘り、高校生・中学生の体験学習の受け入れ、児童館との合同行事の実施、ボランティアによる絵本の読み聞かせや歌遊び、お話語り、腹話術、父母会主催の人形劇などの機会を利用して、子どもが園外の方々と触れ合うことができるようにしている。</p>		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	壁新聞を中心とした保護者への情報提供
	内容	園だより、クラスだより、公開日誌などの配布・掲示などにより、園での子どもの生活の様子や成長の姿について保護者に情報を提供している。クラス別保護者会では、ビデオ映像や写真を活用して、視覚的にも伝わりやすい形で現在の子どもの状況について伝えている。さらに、日頃の子どもの様子をより一層見える形で伝えるために、「壁新聞」を作成し掲示している。写真を取り入れ、コメントを書き込み、活動の様子とともに子どもの姿も伝わるよう工夫している。
2	タイトル	職員集団の問題解決に対する理解と意欲
	内容	区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。また、経験豊富な職員が多いためバランスの良い園運営が出来ている。
3	タイトル	保護者支援への姿勢
	内容	新保育指針を踏まえ、迅速に対応している。特に、各書式の見直しにも取り組み、現場での実践に結び付けている。単なる連絡や情報提供に留まらず、保護者とともに子育てを共有すべく、また、保育園での時間と家庭での時間をぶつ切りにせず、24時間の子どもの姿を把握し、子どもの成長につなげていく姿勢を明確にしている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	各プロジェクト実行のための園内研修の計画策定
	内容	児童票の意義やかみつき・ひっかきへの対応をテーマに、職員の意識調査を行った。また、「リズムと体のバランスの発達」などについても、園独自で取り組みたいと園長は積極的に動いている。今後は、実行予定であるプロジェクトを職員が中心となって実行できるよう、園内研修の計画策定を行いたいと考えている。また、プロジェクトのねらいを有効に達成できるよう、研修を充実したいと考えている。
2	タイトル	パート職員を含めた全職員の資質向上のための取り組み
	内容	よりよい保育内容や対応方法について自分の姿を振り返るとともに職員やパート職員の資質向上をしていきたいと考えている。保護者・園児にとっては、正規職員もパート職員も同じように保育者であり、安定的で、的確な対応を全職員で意識しながら行わなければならないと考えている。今後は、話し合いや打ち合わせの場をもって、出勤時間の限られているパート職員とともに資質向上のための取り組みを行いたいと考えている。
3	タイトル	家庭との一層の連携
	内容	クラスごとに年間の保育計画を作成し、それを基に月の指導計画(月案)や週案を立案している。年間計画については保護者会で説明し、その他の計画についてはクラスだよりでねらいやポイントについて説明している。今後は、目標(ねらい)に対する達成状況についても、何らかの形で保護者に情報提供するなど、家庭と連携した子育てのための一層の取り組みを検討していく方針である。

# 中瀨保育園

---



調査対象

複数児利用世帯は最低年齢児1人を対象として実施世帯数を絞り、59世帯から有効回答を得た。

調査方法

アンケート調査票の配付は保育園を通じて保護者へ手渡し、回収は保護者から評価機関へ直接郵送する方法を採用した。

利用者総数

89

共通評価項目による調査対象者数

89

共通評価項目による調査の有効回答者数

59

利用者総数に対する回答者割合(%)

66.3

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想として、「大変満足」が29%、「満足」が57%、合わせて86%という結果となった。最も高い満足度が示されたのは「子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分であるか」についてで、91%の方が「はい」と回答した。これに対し、「外部の相談窓口にも相談できることを知っているか」については、「はい」は20%にとどまり、「いいえ」との回答が76%となった。

## 利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	51	7	1	0
回答者の約86%が「はい」と回答した。食材の豊富さや充実したメニュー、手作りのおやつ、アレルギーへの配慮などに感謝する声が寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	53	5	1	0
回答者の約90%が「はい」と回答した。広い園庭や公園を活用した充実した遊びに感謝する声のほか、一層の期待をうかがわせる声も寄せられた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	46	10	2	1
回答者の約78%が「はい」と回答した。気持ちの良い対応に感謝する声のほか、一層の利用のしやすさを期待する声も寄せられた。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	54	4	1	0
回答者の約91%が「はい」と回答した。迅速で詳細な連絡に感謝する声のほか、一層の配慮や対応の充実を期待する声も寄せられた。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	33	20	6	0
回答者の約56%が「はい」と回答した。門の施錠や老朽化した施設、災害時の対応方法の周知などを念頭に、安全対策の一層の充実を期待する声が寄せられた。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	32	19	8	0
回答者の約54%が「はい」と回答した。保護者会や個人面談の日時については、多様なニーズがうかがえる声が寄せられた。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	44	10	5	0
回答者の約75%が「はい」と回答した。保育の専門家としての職員からの助言や連絡帳を通じた細かなやり取りに感謝する声のほか、対応の一層の標準化や直接担任と話すことができる機会の充実を期待する声も寄せられた。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	46	11	1	1
回答者の約77%が「はい」と回答した。より一層のコミュニケーションを期待する声が寄せられた。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	48	10	0	1
回答者の約81%が「はい」と回答した。質問内容の趣旨(判断する基準)に対する戸惑いをうかがわせる声が寄せられた。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	52	6	0	1
回答者の約88%が「はい」と回答した。楽しく通園する子ども様子をもとに感謝する声などが寄せられた。				

11. 職員の対応は丁寧か	49	8	1	1
回答者の約82%が「はい」と回答した。きちんとしているとの声のほか、接遇の一層の標準化を期待する声も寄せられた。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	29	19	9	2
回答者の約50%が「はい」と回答した。子どもを預けていることによる遠慮をうかがわせる声が寄せられた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	39	15	2	3
回答者の約67%が「はい」と回答した。明確な対応に感謝する声のほか、区や予算に関する要望が寄せられた。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	12	1	45	1
回答者の約20%が「はい」と回答した。「初めて知りました」との声が寄せられるなど、利用開始時の説明を忘れている方が多いことがうかがえる結果となった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	18	4	1	0
回答者の約79%が「はい」と回答した。入園決定後の対応に感謝する声が寄せられた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	

<b>評価項目3</b> 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している			評点（ <b>A</b> ）
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝える	<input type="radio"/> 非該当	
<b>【A+の取り組み】</b>			<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
<b>カテゴリ1の講評</b>			
<b>杉並区の保育理念と園独自の方針</b> 杉並区の保育理念のほかに園独自で定めた園目標があり、杉並区の保育理念を効果的に具体化できるよう取り組んでいる。また、理念を念頭に置きながらチャレンジプランの目標を設定し、この目標を職員とともに達成すべく、職員会議等の打ち合わせ等を行い、職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行っている。			
<b>指導層の役割の明確化と前期終了後評価、反省、後期の見直しの流れ</b> 指導層の立場を園運営マニュアルの分担表に視覚的に明示している。その上で、園長・主査の指導層は計画的に行動している。毎月の保育計画と反省を行ったり、プロジェクトチームのメンバー編成を決定して園運営を行っている。さらに、目標を実現するために、「前期終了後評価→反省、後期の見直し」という流れを確立し、指導層が中心となり園運営に取り組んでいる。			
<b>各会議仕様と意思決定手順の明確化</b> 各種会議の参加職員、基本日時、内容を園運営マニュアルに明示していて、意思決定の手順を定めている。保護者に対しては重要案件について、文章や掲示等で周知している。議題についても、職員が事前に自由に書き込める書式が事務室に常時設置しており、職員に意思決定の過程の透明性の確保を図っている。			

カテゴリ-2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリ-2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

評価項目2

ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○非該当
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3

地域の関係機関との連携を図っている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリ2の講評

ふれあい保育等を通じた保育所機能の還元

ふれあい保育とは、区立保育園で保育園生活を体験する中で、保育士や看護師、調理職員のアドバイスを受けながら、保護者の子育てに対する悩みや不安を解消し、子どもの健やかな成長を支援する制度で、杉並区全体で取り組んでいる。また、園庭開放を積極的に行っている。この園庭開放の機会を利用、園の概要のチラシ等を配布し、地域への透明性を高めている。

地域子育てネットワークを通じた地域との協働

地域子育てネットワーク(保育園・児童館・保健センターなど)に参加している。また、行政連絡会へも定期的に参加している。近隣の小学校とは、6年生のクラスへの講師派遣や年長クラスによる学校見学などを行っている。中学校とは、ピオトープの見学に参加している。

区の担当課と連携したボランティアの受け入れ体制の確立

ボランティアや実習生の受け入れについては、「保育実習に関する留意事項」「杉並区における実習生の受け入れ手順」など、区の担当課との連携のもと受け入れ体制を確立している。園としても独自に実習生やボランティア受け入れのしおりがあり、活用している。

3 カテゴリー3		
利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリー1		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		



### カテゴリ-3の講評

#### 苦情相談員制度の保護者への周知と、保育課との連携

杉並区保育事業全体として、保健福祉サービスの利用者が提供されるサービスに不満があるとき保健福祉サービス苦情調整委員が、申立者とサービス提供事業者の双方から事情を聴き、公正・中立な立場から問題の解決を図る苦情相談員制度があり、周知している。また、区の保育課へ問い合わせ等があった段階で、三日以内に返答するよう迅速な対応ができるよう心がけている。区の担当者と園長の連携により、迅速かつ的確な対応をするよう体制が構築されている。

#### 保護者の意向を踏まえた園運営

各職員がきめ細やかに保護者の要望等を吸い上げ、問題に対して、職員会議等で把握し、対応している。このほか、運動会や保護者会などに関するアンケートを行い、結果を受けて行事の内容等検討し、アンケートの結果報告をしている。日程についても諸関係機関との日程調整をもとに、最大限、保護者の意向を斟酌し、開催の日程を調整した。「声(苦情・要望)を吸い上げるシステム作り」プロジェクトについても活動が始まり、保護者意向の集約・分析に努めている。

#### 地域関係機関を通じた情報収集

子育て支援に関する地域の協議会(地域子育てネットワーク等)、園長会などを通じて地域の福祉ニーズ、福祉事業全体の動向を把握するとともに、区の担当者と連携して情報の整理・分析を行っている。

カテゴリ4		
4 計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリ1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3  
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1  
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-4の講評

区と連携した計画策定

区レベルとして「長期計画」「実施計画」「保健福祉計画」を策定し、担当課レベルでは「杉並区の保育実践方針」を策定中である。同方針については、研修等を通じて多くの職員が学んでいる。園としてもチャレンジプランを通じて実践的な計画策定を行い、課題の明確化や手順が職員に周知されている。

チャレンジプランをもとにした計画の効果的実行

チャレンジプランでは「目標→取組計画→評価(中間・年度末)」という流れのもとに計画が効果的に実行できるよう工夫がなされている。この目標のもと取組計画が作成されている。政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の分野ごとに園の目標を掲げ、取組計画が詳細に記載され目標に対し、着実に成果を上げられるような仕組みになっている。園独自の工夫としては各プロジェクトを2人から3人の構成にし、プロジェクトにおける役割分担が身近になるように工夫し、プロジェクト実行が1人ではないことによる相乗効果も出てきている。

危機管理における区との密接な連携と、園独自のマニュアルによる対応

杉並区の庁内LANによる「ヒヤリハット」の共有があり、他施設の状態も含めて共有できるようになっている。危機管理マニュアルは区保育園全体のものが用意されており、これに加えて、園独自で園運営マニュアルの中に様々な状況に対応したマニュアルが用意してある。事故報告書の書式も整備しており、区の担当課による確認も行われている。また、危機管理プロジェクトも動き出し、ヒヤリハットの作成も着実に実行されている。

カテゴリ5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点( B )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

区との連携による人材の確保と人員配置

区の保育担当部署と連携して人事制度に関する方針を明示している。組織目標・チャレンジプランにより、部・課の目標にあわせて、係の課題・取組計画を明示し、個人のチャレンジプランを作成している。採用については、正規職員は区が採用し、非常勤等職員については、保育課が必要に応じ採用している。各歳児担当の職員配置は、職員会議等により決定している。

「保育の向上を考えるリーダー」の選出と職員の能力向上

区全体の取組目として「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行うとともに、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。また、各プロジェクトを2人から3人の構成にし、プロジェクトにおける役割分担が身近になるように工夫し、プロジェクト実行が一人ではないことによる相乗効果も出てきている。園運営の流れの合理化と役割分担も機能し、経営層の意思の浸透と職場全体の意思統一の強化もなされてきている。個々の職員の能力や得意分野を活かしながらバランスの良い園運営が出来つつある。

区の人材マネジメントシステムを中心とした体制

「職員人材育成事業実施計画」をもとにした、職員の育成・評価・報酬が連動した人材マネジメントを行っている。これに合わせ、「私のチャレンジプラン」をもとに各職員の就業状況のヒアリングを行っている。日常的な園運営の中において、ハード的な部分で休憩室・多目的室の利用により、職員が休憩を取りやすい環境になっている。

7 カテゴリー7		
情報の保護・共有		
サブカテゴリー1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし
評価項目2 個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし

#### カテゴリ7の講評

##### 区による情報の保護・共有の管理と園の情報管理の工夫

区による情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ対策基準によりアクセス権等の設定をしている。また、保管は区のファイリングシステムに従って分類・整理している。園としても、情報の整理とファイルなど文章を使いやすくする工夫をしている。

##### 杉並区個人情報保護条例による情報の保護・共有

杉並区個人情報保護条例により個人情報の利用目的を明示するとともに、個人情報の保護に関する規程を明示している。また、園独自の個人情報マニュアルも整備し、個人情報の適切な利用・保護を図っている。

##### 写真・ビデオ撮影に際しての同意

写真やビデオ映像の撮影に際しては、保護者に対し説明の上、理解を得ている。それらの利用については、区で定めた「画像データ提供申請書」により使用用途を限定し、撮影された園児の保護者の同意を得た上で対応している。

カテゴリー8	
8 カテゴリー1～7に関する活動成果	
サブカテゴリー1	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<p><b>チャレンジプランを基礎にしたプロジェクトの開催と計画の実行</b></p> <p>チャレンジプランでは「目標→取組計画→評価(中間・年度末)」という流れのもとに計画が効果的に実行できるよう工夫がなされている。この目標のもと取組計画が作成されている。政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の分野ごとに園の目標を掲げ、取組計画が詳細に記載され目標に対し、着実に成果を上げられるような仕組みになっている。園独自の工夫としては各プロジェクトを2人から3人の構成にし、プロジェクトにおける役割分担が身近になるように工夫し、プロジェクト実行が1人ではないことによる相乗効果も出てきて、計画に基づき効果的に理念の実現ができています。</p>	
サブカテゴリー2	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<p><b>「保育の向上を考えるリーダー」の選出と職員の能力向上</b></p> <p>区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行うとともに、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。保育課程を作成するにあたり、園長、主査、リーダーが中心となってたたき台を作り、各園の情報を踏まえつつ各々が勉強し、当園の基本案を完成させた。この作業を通じて、相互の学び合いが深まり、子どもの発達について再確認し、共通認識を一層養うことができた。</p>	
サブカテゴリー3	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<p><b>食育への取り組み</b></p> <p>幼児クラスでは、野菜を栽培したり、そらまめの皮むきなど給食のお手伝いをし、「生活の中の食事」という位置づけを念頭におきながら食育について取り組むことができた。特に今年度は、広いベランダで食事をしたり、栽培したさつまいもを焼き芋にして食べたり、年長クラスについてはおやつクッキーを作り保護者会後に保護者と共に食べるなど、様々な取り組みを行うことが出来た。</p>	



サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善に向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+  A  B  C

改善の成果

行政改革の実行による取り組み

区では行財政改革である「スマートすぎなみ計画」により、計画的に取り組みを進めている。平成20年度から平成22年度の目標としては、①区の事業の6割を共同化・民営化・委託化する、②経常収支比率を80%以下とする、③職員定数を330人削減する、となっている。保育分野に関しては、給食調理・用務の委託や指定管理制度の導入などによるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率向上などの取り組みを進めている。これまでに保育園の指定管理制度を4園に導入、調理・用務業務の委託についても21年度現在で12園で実施している。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+  A  B  C

改善の成果

保護者意向の把握と活用

各職員がきめ細やかに保護者の要望等を吸い上げ、問題に対して、職員会議等で把握し、対応している。このほか、運動会や保護者会などに関するアンケートを行い、結果を受けて行事の内容等検討し、アンケートの結果報告をしている。日程についても諸関係機関との日程調整をもとに、最大限、保護者の意向を斟酌し、開催の日程を調整した。「声(苦情・要望)を吸い上げるシステム作り」プロジェクトについても活動が始まり、保護者意向の集約・分析に努めている。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している		評点( A )
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
サブカテゴリ1の講評		
<p><b>区ホームページによる園概要の紹介</b></p> <p>区ホームページの「施設案内」により、園の概要について網羅的に紹介している。所在地などの基本情報のほか、最寄の駅からの道順案内、園の見取り図(写真入り)、保育目標、対象年齢や職員体制、主な行事などについて、簡潔に説明している。紹介する項目自体は各園共通であるが、特に「保育園の特色」については、環境や活動の様子など、当園らしさについて具体的に分かりやすく紹介している。</p>		
<p><b>園としての情報の発信</b></p> <p>園のしおりは、人員体制や保育時間、保育目標、見取り図などの概要のほか、ボランティアの受け入れや地域の方々との交流など園独自の活動紹介を織り交ぜ、園の特徴を簡潔に伝える内容となっている。しおり自体は、入園内定者のみに渡すこととしているが、そのほかの見学や園庭開放の際の訪問者、児童館、小中学校、地域区民センターへは、個人情報、プライバシーに配慮した地域版を作成し配布している。遊歩道に接している園庭の掲示板にも園だよりを掲示し、園の近くを通る人々にも広く情報を提供している。</p>		
<p><b>見学・相談への対応</b></p> <p>問い合わせや見学の要望については、インフルエンザ等の状況を考慮しつつ、園長および主査を対応者として随時応じている。できるだけ園長、主査のいる平日に誘導しているが、一般職員も対応できるようにしているので土曜日の見学も可能である。見学時の会話の中で、育児相談等についても随時対応している。寄せられた見学・問い合わせの要望については、保育課では相談項目・年齢別に集計・把握されている。</p>		

サブカテゴリー2		
2 サービスの開始・終了時の対応		
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリー2の講評		
<b>入園前の説明</b> 入園児健康診断・面接の機会や入園説明会の場において、園での生活に関する基本事項を説明している。保育理念や園生活の概要、必要な持ち物などについては「しおり」を中心に、災害時の対応や保険制度などについては区発行の各種文書により、説明している。また、園生活の様子を音楽つきのスライドショーで紹介し、行事の様子について写真を多く用いて説明している。		
<b>個別事情や要望の把握</b> 入園前の面接では、保育時間に関する意向や保育上の留意事項などのほか、健康上の留意事項、慢性疾患、離乳食進度、アレルギー等食物除去などについて、各専門職種の立場から情報を収集・確認し、児童票を中心とする個人記録にまとめている。		
<b>入園直後の緊張への対応</b> 「入園までの生活状況」(児童票)で把握した運動遊び、食事、睡眠、排泄、着脱、清潔(歯磨き・入浴)、養育態度などに関する情報を基に、集団生活の開始という環境変化に馴染めるよう配慮している。入園初日は保護者と一緒に過ごすよう配慮したり、二日目以降は子どもの様子と保護者の要望に合わせ慣れ保育をしている。食事、午睡などできるだけ家庭と同じように過ごせるように配慮している。		

## サブカテゴリ-3

## 3 個別状況に応じた計画策定・記録

## 評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

## 評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

## 評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

**サブカテゴリー3の講評**

**新たな児童票の活用**

子どもの心身状況や発達状況・家庭状況などは、児童票に記録している。同票については、区内全園にて今年度から書式の見直しが行われ、子どもの成長過程に対する「評価」ではなく、保護者とともに内容を共有し、方向を探っていくためのものに変更された。

**計画の作成と保護者への説明**

クラスごとに年間の指導計画を作成し、それを基に月の指導計画(月案)や週案を立案している。計画は、月・期・年ごとに見直しを行っている。年間計画については、保育課程をより詳しくしたものを保護者会で説明・配布している。その他の計画については、園だよりやクラスだよりでねらいやポイントについて説明している。

**子どもに関する情報の共有**

日常的な保育に関する園児の個別の事情については体制表に記載し、職員が確認・把握できるようにしている。この体制表は、申し送りや引継ぎの時にも活用し、さらに、昼の打ち合わせでも報告している。クラスからの連絡はすぐに報告し解決している。

**サブカテゴリー5**

**5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重**

**評価項目1**

子どものプライバシー保護を徹底している

**評点( A )**

<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

<b>評価項目2</b> サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している			<b>評点 ( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
<b>サブカテゴリー5の講評</b>			
<b>プライバシーへの配慮</b> オムツ替えやお漏らし、プール遊びの着替えの際、ついたてやかこい等で目隠しをしている。また、ハード面での羞恥心への配慮のみならず、職員が子どもの羞恥心を配慮するよう研修、職員会議で共有している。			
<b>日常的な振り返り</b> 児童憲章や保育理念を事務所と各クラスに掲示している。子どもの人権を尊重する保育の確認と保護者の多様な価値観の受容を新年度のメンバーで確認を行い、共有認識のもと進めている。また、職員が気をつけていくことをまとめた「チェックリスト」を活用して、子どもの呼び方や人権への配慮について毎月記入し、振り返りを行っている。			
<b>サブカテゴリー6</b>			
<b>6</b>	<b>事業所業務の標準化</b>		
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている			<b>評点 ( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリ6の講評

各種マニュアルの活用

区で定めた「危機管理マニュアル」のほか、園独自で策定してあり「食育」「安全」「衛生」、保育と保護者対応を網羅する各分野のマニュアルを作成し、事務所に設置して、職員が自由に見られるようになっている。また、各クラスにも日々の仕事に直結した要約版のマニュアルをファイリングしてあり、実際に活用している。内容については職員会議、保護者アンケート、職員の個人面談など現場に直結した意見に基づいて作成してあり、分かりやすく、実際に現場で参照され仕事に活かされることを目的に編集されている。

業務内容や手順の見直し

業務内容や手順については、年度末に見直しを行っている。見直しにあたっては、各種会議における職員の提案や、メッセージボックス、クラス懇談会、連絡帳、日々の会話を通じて収集した保護者の要望など踏まえ、会議で検討し反映させている。

研修機会の提供

東京都社会福祉協議会や特別区、母子保健センターなどの関係機関が主催する研修については、随時案内し職員に周知している。区の主催する研修については、杉並の保育実践方針(案)を始め、子どもの発達に関連した研修が開かれており、園としても参加を奨励し個々のスキルアップを図っている。園内では、「職員の対応見直しチェックリスト」プロジェクトでは職員の技術レベルを確認できるチェックリストを作成し、「環境設定」プロジェクトでは、子どもの安全に配慮した支援ができるような取り組みを検討している。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	○非該当
	●あり ○なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	○非該当
	●あり ○なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	○非該当
【A+の取り組み】			○あり ●なし
評価項目1の講評			
<p><b>自主性・自発性の促進</b> 各保育室にコーナーを設け、子どもが自分の好きな遊びを見つけ遊びに熱中できるように配慮している。定期的に環境を見直し、遊びを提供している。廊下は広く、雨の日も充分活動できるよう、園内コンビカーなども用意しており、多目的室を利用しても遊べるようにしている。園庭には、滑り台、鉄棒、吊り輪、砂場などを配置し、これらを活用した保育を行っている。広い園庭の使用日を曜日で分け、幼児クラスの場合は、野球やサッカー、鬼ごっこ等を通して、集団遊びのルールや勝つ喜び、負けた悔しさなど、社会性や情操面の涵養を図っている。</p> <p><b>表現活動・園外活動の実施</b> 個々の発達に合わせて歌を歌ったり、体操したりするなどの表現活動や、遊びや生活の中で経験したことを描いてみたり、作ったりしている。保護者が演じた劇をまねしてごっこ遊びに展開したり、保護者会で見せたクラスもあった。また、散歩については、ねらいを設定した上で日常的に実施している。</p> <p><b>特性を踏まえた保育実践への取り組み</b> 一人ひとりの特性を踏まえた保育を一層充実させていくために、心理職の巡回相談を活用している。保育者は、日頃の観察に基づく気づきや対応方法について相談し、それを踏まえて一人ひとりの発達過程にあった関わり方を実践している。</p>			



2	<b>評価項目2</b> 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input type="radio"/> 非該当	
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
<b>評価項目2の講評</b>			
<b>食事を楽しむ工夫</b> 区立保育園共通の献立表に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供できる体制にある。行事やお楽しみ献立の時はより楽しいものになるように献立を基本にしながらか見た目にもより楽しいものになるように工夫している。保育園で栽培した野菜も給食に出すなど、食事に工夫を凝らしている。また、テーブルには花を飾ったり、テーブルクロスやランチョンマットを使うなど遊びの時間とは気分の違う食卓の雰囲気を演出している。			
<b>アレルギーへの配慮</b> 食物アレルギーのある子どもに対しては、提供する食事内容について個別に配慮している。事前に除去用献立表を保護者に配布し、それを基に担任・栄養士・調理師・看護師で検討・確認し、食事提供時は別トレーで配食している。要所所で職員が声に出して確認し連携を取り、誤食の発生を防止している。なお、0歳児のアレルギー対応や母親に対する指導に力を入れている。月1回のアレルギー会議には保護者も参加し、代用食や除去食について検討し、家庭でも活かせるようにしている。			
<b>快適な食事時間</b> 子どもが食事がしやすい環境を創出するために、椅子・テーブルに工夫がなされている。サイズの異なるテーブルや椅子を用意し、また子どもの体格に応じて椅子に足台や背当てを使い、安定した姿勢で食事できるようにしている。特に年齢が低いほど、子どもの体格が異なるため、きめ細やかな工夫をしている。			
3	<b>評価項目3</b> 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	

評価項目3の講評

定期健診の実施

毎日の視診による健康状態の把握のほか、毎月の身体測定、年2回の健康診断、歯科・眼科・耳鼻科の各健診、ぎょう虫卵検査などの結果を、各園共通の児童票や健康カードに記録している。

健康・衛生管理

乳児クラスについては、乳幼児突然死症候群の発生防止のために、午睡チェック表により定期的に呼吸の確認を行っている。独自の項目により、呼吸状態、体動、胸、鼻を、ただ目視するだけではなく、体に触れて反応等を確認するなど、より丁寧な対応をしている。感染症予防の見地から、感染性胃腸炎や新型インフルエンザへの対応マニュアル(保育課作成)を整備している。熱性けいれん等の対応については、独自のマニュアルを備えている。薬の保管場所を職員間で確認するなどして間違いのないよう対応している。

保護者に対する情報提供

区役所や保健所などの関係機関から提供されるポスターやチラシ、園の保健だよりなどの掲示・配布などにより、インフルエンザを含む感染症に関する情報を保護者に伝達している。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点( A )

4

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4の講評

年間計画に基づく多彩な行事の実施

年間行事計画に基づき、多彩な行事を実施している。こどもの日集会・会食、親子であそぼう会、プール開き、お楽しみ会、七夕、運動会、園外保育、冬の贈り物・会食、新年子ども会、節分、ひな祭りのお茶会と会食、ハッピーバースデー集会など、季節や目的に応じて子どもが楽しめる場面を設定している。

清潔で快適な保育環境の維持

チャレンジプランに向けての取り組みプロジェクトの一つに環境設定プロジェクトがあり、屋内と屋外に分けて快適で落ち着いて過ごせる環境作りを行っている。常に清潔を保ち、毎月玄関や各クラスで子どもの作品の展示や、季節の飾りつけをしている。芋ほりで採取した芋づるを用いて作成したリースを園内に飾るなど、子どもたちにとって楽しく快適な空間を創出しようと工夫している。

午睡時間の設定

長時間保育の子どもが多いので、その子に合わせた休息を十分にとっている。また、園舎がスペース的に余裕があるため、廊下や多目的室などを用いて眠れない子どもの保育を行うなど、ハードにおける利点を活用し、柔軟な対応をしている。

5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目5の講評			
<p><b>保護者への情報提供</b>          保育参観・参加は、基本的にいつでも可能としている。たんに「いつでも」という発信だけでなく、保護者の要望から保育参加の日程をせっていしたり、個人面談と組み合わせることにより、保育参加を積極的に促している。また、毎月の園だよりや必要に応じてクラス便り、園長が発行する「なかせつこだより」、食事や行事など子どもが活動している写真を保護者に積極的に見てもらい、様々な形で園から発信をしている。</p> <p><b>保護者との交流</b>          幼児は親子で近隣の公園に出かけ、リレー遊びやゲーム遊びをして、お弁当と一緒に食べる「親子散歩」を実施している。参加率は、保護者は忙しいにもかかわらず、大変高かった。また、4、5歳児クラスは、親子散歩の後、保護者会を行いグループに分かれて懇談会を行うなど、保護者との交流・連携を緊密にするための取り組みを行っている。このほかにも、保護者との信頼関係を築くための取り組みを様々に行い、保護者との連携を高めるよう努力している。</p> <p><b>意見や相談への対応</b>          保護者会や個人面談などの場での話し合いや、送迎時の会話などを通じて、育児に悩みを持つ親の相談を受け止め助言を行っている。また、個人面談時には発達の目安を示しながら、親の悩みなどスムーズに聞きだせるよう工夫し、積極的に支援を行っている。</p>			
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
	●あり ○なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目6の講評		
<p><b>虐待に関する意識の涵養</b> 職員は、区主催のもののほか、虐待防止を含む様々なテーマの各種研修に参加している。園内では、研修受講者による報告を通して、職員への意識付けや浸透を図っている。</p>		
<p><b>虐待対応のしくみ</b> もし子どもの身体にアザがあれば、身体測定や着替えなどの折に子どもに不安を与えないように、身体に傷がついていないか確認するなど、具体的な方策を決めておき、すぐに適切な対応ができるようにしている。情報を得た際は、主管課である保育課を通じて子ども家庭支援センターや児童相談所などと連携して対処する体制にある。</p>		
7	<p>評価項目7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている</p>	
	<p>評点( A )</p>	
	<p>評価</p>	<p>標準項目</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している</p>
	<p>○非該当</p>	<p>2. 保育所の活動や行事に地域の人参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している</p>
<p>●あり ○なし</p>	<p>○非該当</p>	
<p>【A+の取り組み】 ○あり ●なし</p>		
評価項目7の講評		
<p><b>保護者への地域情報の提供</b> 小学校の行事や児童館のお知らせほか、ポスターや広報誌を掲示したり、パンフレットを設置するなどにより、地域の様々な情報を保護者に提供している。</p>		
<p><b>子どもと他者とのつながりの創出</b> 園庭が広く、いつでも自由に近隣の子どもたちが遊びにきて園児と交流したりしている。また、園庭開放や運動会への地域の子どもの参加、児童館との交流、年長クラスによる小学校見学、中学校でのピオトープの見学など、地域との連携を活かした取り組みにより、子どもの活動の幅を広げている。</p>		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	広い園舎・園庭を利用し、子どもが自由に遊べるスペースを確保
	内容	各保育室にコーナーを設け、子どもが自分の好きな遊びを見つけ遊びに熱中できるように配慮している。また、広い園庭を利用してサッカーや野球、鬼ごっこ等、身体を使った集団遊びを積極的に取り入れている。集団遊びを通して、約束やルールを守るといった社会性を身につけるなど、保育園で多くのことを学ぶことができる。広い園庭や園舎など、子どもにとって望ましい環境が整備されている。
2	タイトル	チャレンジプランに基づいた各種プロジェクトの活動
	内容	チャレンジプランでは「目標→取組計画→評価(中間・年度末)」という流れのもとに計画が効果的に実行できるよう工夫がなされている。この目標のもと取組計画が作成されている。政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の分野ごとに園の目標を掲げ、取組計画が詳細に記載され目標に対し、着実に成果を上げられるような仕組みになっている。さらに、園独自の工夫として各プロジェクトを2人から3人の構成にし、プロジェクトにおける役割分担が身近になるように工夫し、各職員による園運営の参加の意識も高まってきている。
3	タイトル	保護者と協力してできる園運営
	内容	年1回の父母会総会の事前アンケートに基づいて職員会議を開き、話し合い、当日は園長・主査・看護師が参加し、分野ごとの質問など応答した。また、父母会主催の夏まつりに場所の提供だけでなく、職員が全員参加し、全面協力して好評であった。さらに、保護者会を行いグループに分かれて懇談会を行うなど、保護者との交流・連携を緊密にするための取り組みを行っている。このほかにも、保護者との信頼構築のための様々な取り組みを行っている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	子どもたちの地域交流の機会をより多くしたい
	内容	他の近隣小学校との交流を充実させることにより、特に年長園児には小学校へスムーズに移行するべく、園児の生活の幅を広げるよう工夫はしている。園庭が広く、いつでも自由に近隣の子どもたちが遊びきて園児と交流したりすることはできているが、さらに、地域の人、地域の小中学校や児童館とも交流できる機会をより一層増やし、子どもたちに良好な交流ができる場を設けたいと考えている。
2	タイトル	保育の質向上のための時間を確保するための工夫
	内容	園内での勉強会の充実、打ち合わせ時間の捻出と計画の実行のための職員の就業環境づくりの工夫を進めている。保育内容について、十分に話し合える時間を持つことにより、真の保育の質向上のための、職員の理解がより深まる取り組みを行いたいと考えている。また、保育内容について十分に話し合えるよう昼会議や夜会議を設定し、より多くの職員が参加出来る形をとっているが、さらに内容や時間帯等の工夫が必要であると考える。
3	タイトル	チャレンジプランをもとにした各プロジェクトにおける情報共有のより一層の徹底
	内容	チャレンジプランをもとにした各プロジェクトでは、構成を2人から3人にし、プロジェクトにおける役割分担が身近になるように工夫し、各職員による園運営の参加の意識も高まってきている。この点、各プロジェクトの内容を報告しあいながら、全職員が把握できるように徹底したい。共有することにより、各プロジェクトがより一層相乗的にうまく機能すると考えている。

# 下高井戸保育園

---

調査対象

複数児利用世帯は最低年齢児1人を対象として実施世帯数を絞り、40世帯から有効回答を得た。

調査方法

アンケート調査票の配付は保育園を通じて保護者へ手渡し、回収は保護者から評価機関へ直接郵送する方法を採用した。

利用者総数

62

共通評価項目による調査対象者数

62

共通評価項目による調査の有効回答者数

40

利用者総数に対する回答者割合(%)

64.5

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想として、「大変満足」が27%、「満足」が60%、合わせて87%という結果となった。最も高い満足度が示されたのは「サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか」についてで、89%の方が「はい」と回答した。これに対し、「安全対策が十分取られていると思うか」については、「はい」は54%にとどまり、「どちらともいえない」が38%、「いいえ」が8%となった。

## 利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	32	7	1	0
回答者の約79%が「はい」と回答した。栄養や見た目の工夫、手作りのおやつなどに感謝する声が寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	35	5	0	0
回答者の約87%が「はい」と回答した。園庭を利用した遊びや公園への散歩などに感謝する声が寄せられた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	31	6	2	1
回答者の約77%が「はい」と回答した。丁寧で快い対応に感謝する声が寄せられた。「どちらとも言えない」については、延長保育の利用がないことによる。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	34	4	1	1
回答者の約84%が「はい」と回答した。連絡・報告に感謝する声のほか、処置については具体的なニーズがうかがえる声が寄せられた。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	22	15	3	0
回答者の約54%が「はい」と回答した。老朽化した施設自体に対する要望をうかがわせる声が寄せられた。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	28	10	2	0
回答者の約70%が「はい」と回答した。行事の開催数や日時に関する多様なニーズをうかがわせる声が寄せられた。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	33	5	2	0
回答者の約82%が「はい」と回答した。話しやすい、相談しやすいといった声のほか、遠慮をうかがわせる声も寄せられた。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	35	2	3	0
回答者の約87%が「はい」と回答した。日常的なやり取りに感謝する声のほか、一層のコミュニケーションを期待する声も寄せられた。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	36	2	1	1
回答者の約89%が「はい」と回答した。質問内容の趣旨(判断する基準)に対する戸惑いをうかがわせる声が寄せられた。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	35	4	0	1
回答者の約87%が「はい」と回答した。個性の尊重や平等な関わりに感謝する声が寄せられた。				



11. 職員の対応は丁寧か	34	5	1	0
回答者の約84%が「はい」と回答した。一層の徹底を期待する声が寄せられた。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	29	7	4	0
回答者の約72%が「はい」と回答した。要望・不満がないとの声のほか、話す機会が欲しい旨の声も寄せられた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	31	9	0	0
回答者の約77%が「はい」と回答した。改善への取り組みの早さやその都度の工夫・対処に感謝する声が寄せられた。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	26	1	13	0
回答者の約64%が「はい」と回答した。利用開始時の説明を忘れている方が多いことがうかがえる結果となった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	19	3	2	0
回答者の約79%が「はい」と回答した。丁寧に説明する姿勢に感謝しつつも、一層詳細な説明を期待する声が寄せられた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	

<b>評価項目3</b> 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="checked" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="checked" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="checked" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝える	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b> <input type="radio"/> あり <input checked="checked" type="radio"/> なし		

カテゴリ1の講評

**杉並区の保育理念と園独自の方針**

杉並区の保育理念のほかに園独自で定めた「いきいきと遊び生活できる」「自分も仲間も大切にしたい」という園目標があり、杉並区の保育理念を効果的に具体化できるよう取り組んでいる。また、理念を念頭に置きながらチャレンジプランの目標を設定し、この目標を職員とともに達成すべく、月1回の職員会議、週1回の保育打ち合わせ等を行い、職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行っている。

**指導層の役割の明確化と前期終了後評価、反省、後期の見直しの流れ**

指導層の役割を園運営マニュアルに「指示・連絡・報告系統」として視覚的に明示している。この上で、園長・主査の指導層の役割と責任を分かりやすく明示している。さらに、目標を実現するために、「前期終了後評価→反省、後期の見直し」という流れを確立し、園長が中心となり園運営に取り組んでいる。

**各会議仕様と意思決定手順の明確化**

「定例打ち合わせ」「職員会議」等各種会議の参加職員、基本日時、内容を園運営マニュアルに明示していて、意思決定の手順を定めている。保護者に対しては重要案件について、文章や掲示等で周知している。

2 カテゴリー2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
<b>評価項目1</b> 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
<b>評価項目2</b> 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリー2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
<b>評価項目1</b> 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

<b>評価項目2</b> ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○非該当
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

<b>評価項目3</b> 地域の関係機関との連携を図っている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

**カテゴリ2の講評**

**ふれあい保育等を通じた保育所機能の還元**  
 ふれあい保育とは、区立保育園で保育園生活を体験する中で、保育士や看護師、調理職員のアドバイスを受けながら、保護者の子育てに対する悩みや不安を解消し、子どもの健やかな成長を支援する制度で、杉並区全体で取り組んでいる。また、園庭が広いことを活かし、園庭開放を積極的に行っている。この園庭開放の機会を利用して、園の概要のチラシ等を配布し、地域への透明性を高めている。さらに、「お楽しみ広場」では泥団子作りを保育士が指導し、夏祭りでは地域の方にも参加してもらい、手作りのおもちゃ作りの指導をしている。

**地域子育てネットワークを通じた地域との協働**  
 地域子育てネットワーク(保育園・児童館・小学校・保健センターなど)に参加し、行政連絡会への定期的な参加やネットワーク通信の作成を行うとともに、防災・防犯に関する情報交換、交流事業を、園長・主査等が中心となって園として地域での共通課題の解決に協働している。

**区の担当課と連携したボランティアの受け入れ体制の確立**  
 ボランティアや実習生の受け入れについては、「保育実習に関する留意事項」「杉並区における実習生の受入れ手順」など、区の担当課との連携のもと受け入れ体制を確立している。

3 カテゴリー3		
利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリー1		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

### カテゴリー3の講評

#### 苦情相談員制度の保護者への周知と、保育課との連携

杉並区保育事業全体として、保健福祉サービスの利用者が提供されるサービスに不満があるとき保健福祉サービス苦情調整委員が、申立者とサービス提供事業者の双方から事情を聴き、公正・中立な立場から問題の解決を図る苦情相談員制度があり周知している。また、区の保育課へ問い合わせ等があった段階で、三日以内に返答するよう迅速な対応ができるよう心がけている。区の担当者と園長の連携により、迅速かつ的確な対応をするよう体制が構築されている。

#### 保護者の意向を踏まえた園運営

「じむしょだより」「クラスだより」などを通じてこまめにアンケートを実施している。例えば、「絵本の貸し出しについて」や日頃の子どもたちの様子を聞いたアンケートなど、より良いサービスを提供をする上で必要な情報を収集している。また、アンケート結果を検討した内容を各種便りに載せ要望の把握とともに、要望の解決に取り組んでいる。

#### 地域関係機関を通じた情報収集

子育て支援に関する地域の協議会（地域子育てネットワーク等）、園長会などを通じて地域の福祉ニーズ、福祉事業全体の動向を把握するとともに、区の担当者と連携して情報の整理・分析を行っている。

カテゴリ4		
4 計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリ1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		



評価項目3  
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしているなどの取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1  
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-4の講評

区と連携した計画策定

区レベルとして「長期計画」「実施計画」「保健福祉計画」を策定し、担当課レベルでは「杉並区の保育実践方針」を策定中である。同方針については、研修等を通じて多くの職員が学んでいる。園としてもチャレンジプランを通じて実践的な計画策定を行い、課題の明確化や手順が職員に周知されている。

チャレンジプランをもとにした計画の効果的実行

チャレンジプランでは「目標→取組計画→評価(中間・年度末)」という流れのもとに計画が効果的に実行できるよう工夫がなされている。この目標のもと取組計画が作成されている。園の目標としては「地域への子育て支援のあり方を見直し検討していく」「保育園全体の環境を子どもに、適した環境にするために検討し整えていく」「保護者と職員が子育ての仲間となる様な関係づくりをしていく」「保育の中で子ども達に何が必要か大切にしたら良いのか想像力を養い保育士としての質を高める」を掲げている。

危機管理における区との密接な連携と、園独自のマニュアルによる対応

杉並区の庁内LANによる「ヒヤリハット」の共有があり、他施設の状態も含めて共有できるようになっている。危機管理マニュアルは区保育園全体のものが用意されており、これに加えて、園独自で園運営マニュアルになかに「保育中の緊急対応及び保護者対応マニュアル」が明示してある。緊急時の応援体制など、利用者の安全確保のための体制が整備されている。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点( B )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

区との連携による人材の確保と人員配置

区の保育担当部署と連携して人事制度に関する方針を明示している。組織目標・チャレンジプランにより、部・課の目標にあわせて、係の課題・取組計画を明示し、個人のチャレンジプランを作成している。採用については、正規職員は区が採用し、非常勤等職員については、保育課が必要に応じ採用している。各クラス担当の職員配置は、職員会議等により決定している。

各職員の役割の明示と、意思形成過程のボトムアップ化

職員の役割は「園運営マニュアル」や事務所内に掲示している役割分担表に状況ごとに細かく定めている。また、いくつかの行事の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性の向上に努めている。現在、パソコンを活用し自由に職員が感じたこと、疑問に思ったことを自由に提案できる「はてなボックス」を設置している。今後は、会議における議題の提案を含めて職員が積極的に行うよう、「はてなボックス」等のさらなる活用を目指している。

区の人材マネジメントシステムを中心とした体制

「職員人材育成事業実施計画」をもとにした、職員の育成・評価・報酬が連動した人材マネジメントを行っている。これにあわせ、「私のチャレンジプラン」をもとに各職員の就業状況のヒアリングを行っている。また、園としても「なかよし会」を通し、職員の親睦を図ることを目的とする会を設置し、職員のやる気と働きがいの向上に努めている。

7 カテゴリー7		
情報の保護・共有		
サブカテゴリー1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

#### カテゴリ7の講評

##### 区による情報の保護・共有の管理と園の情報管理の工夫

区による情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ対策基準によりアクセス権等の設定をしている。また、保管は区のファイリングシステムに従って分類・整理している。園としても、情報の整理とファイルなど文章を使いやすくする工夫をしている。

##### 杉並区個人情報保護条例による情報の保護・共有

杉並区個人情報保護条例により個人情報の利用目的を明示するとともに、個人情報の保護に関する規程を明示している。また、園独自の個人情報マニュアルも整備し、個人情報の適切な利用・保護を図っている。

##### 写真・ビデオ撮影に際しての同意

写真やビデオ映像の撮影に際しては、保護者に対し説明の上、理解を得ている。それらの利用については、区で定めた「画像データ提供申請書」により使用用途を限定し、撮影された園児の保護者の同意を得た上で対応している。

カテゴリー8

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

A+  A  B  C

改善の成果

月の指導計画における職員の振り返り

月の指導計画のなかに職員が自らの保育を振り返る取り組みを行っていて、子どもへの対応や捉え方に改善が見られてきた。また、職員にも月の指導計画における振り返りが定着してきている。

サブカテゴリー2

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

A+  A  B  C

改善の成果

「はてなボックス」の運用

パソコンを活用し自由に職員が感じたこと、疑問に思ったことを自由に提案できる「はてなボックス」を設置している。パソコン上で互いに意見を話し合える環境を整備したことにより、園全体で保育を考える風土が定着してきている。今後は、会議における議題の提案を含めて職員が積極的に行うよう、「はてなボックス」等のさらなる活用を目指している。

サブカテゴリー3

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

A+  A  B  C

改善の成果

職員や保護者の声を

これまで園からの事務連絡・情報提供のための役割を果たしてきた園だよりについて、今年度から保護者から原稿を募集し、保護者による絵本紹介なども行われるようになった。保護者が読もうと思える内容を意識して取り組んできた一つの成果である。

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善に向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+  A  B  C

改善の成果

行政改革の実行による取り組み

区では行財政改革である「スマートすぎなみ計画」により、計画的に取り組みを進めている。平成20年度から平成22年度の目標としては、①区の事業の6割を共同化・民営化・委託化する、②経常収支比率を80%以下とする、③職員定数を330人削減する、となっている。保育分野に関しては、給食調理・用務の委託や指定管理制度の導入などによるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率向上などの取り組みを進めている。これまでに保育園の指定管理制度を4園に導入、調理・用務業務の委託についても21年度現在で12園で実施している。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+  A  B  C

改善の成果

保護者意向の把握と活用

保護者対応マニュアルの職員への浸透により、職員から積極的に保護者へ声をかけ、保護者とのコミュニケーションが取れてきている。怪我や事故等の際の対応も、その都度保護者と話し合うことで、丁寧に対応になってきている。また、「じむしよだより」「クラスだより」などを通じてこまめにアンケートを実施し、保護者対応の職員全体のレベルが上がってきている。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している		評点( A )
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
サブカテゴリ-1の講評		
<p><b>区ホームページによる園概要の紹介</b></p> <p>区ホームページの「施設案内」により、園の概要について網羅的に紹介している。所在地などの基本情報のほか、最寄の駅からの道順案内、園の見取り図(写真入り)、保育目標、対象年齢や職員体制、主な行事などについて、簡潔に説明している。紹介する項目自体は各園共通であるが、特に「保育園の特色」については、環境や活動の様子など、当園らしさについて具体的に分かりやすく紹介している。</p>		
<p><b>園としての情報の発信</b></p> <p>園のしおりには、園の人員体制や保育時間、園目標、見取り図などの概要のほか、広々とした園庭や園独自の活動など園の魅力を伝える内容となっている。しおり自体は、入園が決定した際に渡すこととしているが、そのほかの見学や園庭開放の際の訪問者に対しては、しおりの内容を要約した概要を渡している。</p>		
<p><b>見学・相談への対応</b></p> <p>問い合わせや見学の要望については、随時応じている。対応については、「子育て支援対応マニュアル」に具体的な留意事項を示し、どの職員でも対応できるような仕組みを構築している。特に「園児の募集」が告知されてからは件数も増えている。園児の活動が盛んな時間帯を中心に見て頂くなど、園での生活の実際を知って頂けるようにしている。</p>		



サブカテゴリ-2

2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリ-2の講評

入園前の説明

入園児健康診断・面接の機会や入園説明会の場において、園での生活に関する基本事項を説明している。保育理念や園生活の概要、必要な持ち物などについては「しおり」を中心に、災害時の対応や保険制度などについては区発行の各種文書により、説明している。平成20年度から「入園説明会 承諾書」を活用し、保護者の同意を明確化している。

個別事情や要望の把握

入園前の面接では、保育時間に関する意向や保育上の留意事項などのほか、健康上の留意事項、慢性疾患、離乳食進度、アレルギー等食物除去などについて、各専門職種立場から情報を収集・確認し、児童票を中心とする個人記録にまとめている。

入園直後の緊張への対応

入園直後の子どもの不安やストレスに対しては、「子どもというのは初めての場所では不安で怖さをおぼえるもの」との認識の下、しっかりと職員で受け止めながらやっていくという姿勢を大事にして対応している。また、「入園までの生活状況」(児童票)で把握した運動遊び、食事、睡眠、排泄、着脱、清潔(歯磨き・入浴)、養育態度などに関する情報を基に、集団生活の開始という環境変化に馴染めるよう配慮している。

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

サブカテゴリ-3の講評

**新たな児童票の活用**

子どもの心身状況の発達状況・家庭状況などは、児童票に記録されている。同票については、区内全園にて今年度から書式の見直しが行われ、子どもの成長過程に対する「評価」ではなく、保護者とともに内容を共有し、方向を探っていくためのものに変更された。

**計画の作成と保護者への説明**

クラスごとに年間の指導計画を作成し、それを基に月案や週案を立案している。計画は、月・期・年ごとに見直しを行っている。特に月案については、振り返りの必要から園として反省欄(「前月の考察及び今月目標」)を設けている。年間計画については保護者会で説明、月案・週案については、園内に掲示している。さらに、園だより、クラスだよりでは、その時期の保育のポイントを説明している。

**子どもに関する情報の共有**

朝夕保育連絡簿に、子どもの様子や保護者の状況などに関する連絡事項を記入し、漏れのないようにしている。また、情報の共有漏れを踏まえ、もう一度、朝夕保育の受け入れや業務の手順を見直していこうと確認した。その上で、保護者への伝え方について、改めて検討していく方針である。今後は、さらに、他人が記入した日誌や連絡帳などを読み合うことを通じて、記録の手法を学び合っていきたいと考えている。

サブカテゴリ-5

**5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重**

**評価項目1**

子どものプライバシー保護を徹底している

**評点( A )**

<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>		

サブカテゴリー5の講評

**プライバシーへの配慮**  
乳児のおむつ替えや幼児のおもらし、プール遊びの着替え、シャワー時など、衝立等で外部の視線から保護している。

**日常的な振り返り**  
区の「服務態度に関する通達」の確認のほか、打ち合わせの機会を利用して、職員間での指摘・助言などを通して、不適切な言動の見直し、より適切な言動の検討を日常的に行っている。

サブカテゴリー6

6 事業所業務の標準化

評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	○非該当
●あり ○なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	○非該当
●あり ○なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>		

<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

<b>評価項目3</b> さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

**サブカテゴリ6の講評**

**独自マニュアルの策定と活用**  
 区で定めたものとは別に、「園運営マニュアル」を策定している。保育の理念・ビジョン・基本・方針・目標を明示した上で、緊急時の対応を始め、園外保育、園庭における安全管理、食事、朝保育・夕保育の流れといった保育に関する各業務の内容を明確化している。さらに、園庭開放や見学その他の子育て支援に関する業務についても、対応手順を明示している。マニュアルは、実際に現場で活用されることを目的に編集している。

**職員や保護者の提案・意向を踏まえた業務内容や手順の見直し**  
 マニュアルは、日常業務の点検にも活用し、年度末に見直しを行っている。職員の声は見直す職員自身の作業を通じて、保護者の意向は保護者会やクラス懇談会、連絡帳、日々の会話を通じて収集した上で、業務改善につなげている。特に職員については、21年度から事務所のパソコン上にフォルダ（「はてなボックス」）を設け、実際に職員からの意見が提起されている。園長としては、気づきを促すこの仕組みを定着させていきたいと考えている。保護者に対しては、事務所前に「うえるかむBOX」を設置し、園に意見を届けられる仕組みを整えている。

**研修機会の提供**  
 東京都社会福祉協議会や特別区、母子保健センターなどの関係機関が主催する研修については、随時案内し職員に周知している。区の主催する研修については、杉並の保育実践方針(案)を始め、子どもの発達に関連した研修が開かれており、園としても参加を奨励し個々のスキルアップを図っている。園内では、カリキュラム検討の中で個別ケースについて検討する場を内部研修と位置づけて、専門性の向上に努めている。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
評価項目1の講評			
<p><b>自主性・自発性の促進</b>                  室内では、各保育室にコーナーを設け、好きな遊びを見つけ熱中できるように配慮している。極力制限を加えず、また、子ども自ら整理ができるよう、絵カードなどで所定の位置が示されている。園庭には、すべり台・鉄棒・のぼり棒・縄ブランコ・マルチパーツ・家(大・小)、ターザンロープ・ウッドブロック・ビッグボウル・タイヤ・築山・パイオクッションなどを配置し、これら豊富な遊具を活用した保育を行っている。</p> <p><b>目的を持った活動の実施</b>                  散歩や園庭での遊びでは、約束事は守らせた上で「危険なものは危険であると認識させる」ことも大切であると考えている。その上で、危険な時は大人がそばにいるようにしつつも、自ら遊びを見つけて発展させていくことを重視している。</p> <p><b>特性を踏まえた保育実践への取り組み</b>                  一人ひとりの特性を踏まえた保育を一層充実させていくために、心理職の巡回相談を活用している。保育者は、日頃の観察に基づく気づきや対応方法について相談し、それを踏まえて一人ひとりの発達過程にあった関わり方を実践している。</p>			

2	<b>評価項目2</b> 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input checked="" type="radio"/> 非該当	
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
<b>評価項目2の講評</b>			
<b>食事を楽しむ工夫</b> 区立保育園共通の献立表に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供できる体制にある。行事の際は、通常の献立を基本としつつ、見た目にもより楽しめるものとなるよう工夫している。お楽しみ会ではバイキング方式を採用したり、園庭で栽培したきゅうりやトマト、なす、ピーマン、かぼちゃ、ゴーヤなどの収穫物を食材を用いた調理を行うなど、食事時間が楽しくするだけでなく、食に対する子どもの関心を高めている。			
<b>アレルギーへの配慮</b> 食物アレルギーのある子どもに対しては、提供する食事内容について個別に配慮している。事前に除去用献立表を保護者に配布し、それを基に調理師と園長が確認し、食事提供時は別トレイで配食している。要所所で職員が確認し連携を取り、誤食の発生を防止している。			
<b>穏やかな雰囲気の中での食事</b> 食事の際は、家庭的な雰囲気が必要であると考え、特に乳児の場合、大きなテーブルに並ばせて機械的に食べさせるのではなく、「おいしいね」「苦いね」といった対話をしながら食事時間を過ごすことを重視している。			
3	<b>評価項目3</b> 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	

評価項目3の講評

定期健診の実施

毎日の視診による健康状態の把握のほか、毎月の身体測定、年2回の健康診断、歯科・眼科・耳鼻科の各健診、ぎょう虫卵検査などの結果を、各園共通の児童票や健康カードに記録している。

健康・衛生管理

乳児クラスについては、乳幼児突然死症候群の発生防止のために、午睡チェック表により定期的に呼吸の確認を行っている。感染症予防の見地から、感染性胃腸炎や新型インフルエンザへの対応マニュアル(保育課作成)を整備している。看護師がいないぶん、職員一人ひとりが子どもの健康や安全に対する意識を強めていきたいと考えており、嘔吐時の対応グッズ(区支給)を各保育室に揃え、遊具や台布巾、お絞りは毎日消毒している。医療的なケアが必要な子どもは現在はいないが、必要な場合には応援看護師や園医と連携して対応できる仕組みがある。

保護者に対する啓発

区役所や保健所などの関係機関から提供されるポスターやチラシ、園の保健だよりなどの掲示・配布などにより、感染症に関する情報を保護者に伝達している。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点( A )

4

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4の講評

年間計画に基づく多彩な行事の実施

年間行事計画に基づき、多彩な行事を実施している。子どもの日会食、七夕(会食)、夏祭り、運動会、芋ほり、焼き芋、遠足、お楽しみ会、新年子ども会、節分、ひなまつり、誕生会、その他幼稚園との交流など、季節や目的に応じて子どもが楽しめる場面を設定している。特に十五夜の月見などの伝承行事を大事にしており、団子やススキを飾り、季節の移り変わりを感じ、伝えていこうと取り組んでいる。

清潔で快適な保育環境の維持

環境係を置き、保育環境の維持・向上に取り組んでいる。園内、特に園庭に危険がないかどうか、遊具の汚れの有無など、常に子どもがやりたいことを出来るように、清潔で安全な環境の確保に努めている。なお、3歳児室は朝夕保育室にもなるので、特に日中の保育室の遊具等は3歳児の発達に伴ったものに帰るなど、利用する子どもに合わせた快適な環境を整備している。

個別状況に応じた午睡時間の設定

「お昼寝」の時間については、園としてはあくまでも「体を休める時間」と考えており、寝つきのよくない子どもは見守り、早めに目覚める子どもは身体を横にして休ませるなど、柔軟に対応している。



5	<b>評価項目5</b> 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		<b>評点( A )</b>
	<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
<b>評価項目5の講評</b>			
<p><b>保育参加・参観の促進</b>          保育参観・参加は、基本的にいつでも可能としている。その上で、特に保育参観の日程を一定期間設定し、面談の日の午前中を保育参加の機会とするなど、保護者の保育参加を積極的に受け入れている。</p> <p><b>迅速な情報提供</b>          毎日日誌を掲示し、お迎え時の保護者に見て頂けるようにしている。園内には、遠足の様子を撮影した写真を掲示している。クラスだよりでは、各種連絡事項のほか、個々の子どもの成果・達成状況、クラスの様子、グループ紹介など、子どもやクラスの様子を丁寧に伝えている。</p> <p><b>園だよりを活用した保護者との双方向の交流</b>          園だよりを、情報の発信だけでなく、保護者との双方向の交流のツールとして活用している。絵本紹介のほか、「知恵袋」と称して、子守のポイントや、子どもが張ったシールのはがし方、料理の工夫、生活の知恵などについて、保護者のアイデアを紹介している。また、「絵本について」として絵本紹介に対する感謝のコメントを連絡帳を引用する形で紹介し、さらに保護者による原稿の掲載にまで発展している。</p>			
6	<b>評価項目6</b> 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		<b>評点( A )</b>
	<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	

評価項目6の講評		
<p><b>虐待に関する意識の涵養</b> 職員は、区主催のもののほか、虐待防止を含む様々なテーマの各種研修に参加している。現在のところ、具体的なケースがないため、早期発見のための観察眼を養う意味でも、園内研修の充実やマニュアルの確認が必要であると考えている。</p>		
<p><b>虐待対応のしくみ</b> 虐待の疑い、あるいは、虐待の事実を把握をした際の対応手順は、区の危機管理マニュアルにより明確に定められている。情報を得た際は、主管課である保育課を通じて子ども家庭支援センターや児童相談所などと連携して対処する体制にある。</p>		
7	<p><b>評価項目7</b> 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている</p>	
	<p>評点( A )</p>	
	<p>評価</p>	<p>標準項目</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>○非該当</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>○非該当</p>
<p>【A+の取り組み】 ○あり ●なし</p>		
<p><b>評価項目7の講評</b></p>		
<p><b>保護者への地域情報の提供</b> 小学校の行事や児童館のお知らせほか、ポスターや広報誌の掲示、パンフレットの設置などにより、地域の様々な情報を保護者に提供している。</p>		
<p><b>子どもと他者とのつながりの創出</b> 地域の親子を対象とした園庭開放は参加者に好評で、リピーターも多い。PTAの方を含む関係者のお誘いにより、近隣の小学校を訪問することもある。特に子ども同士のつながりを作り育てることを重視しており、幼稚園との相互訪問など、幼稚園児と顔見知りになり、関わりを持つ機会を設けている。</p>		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	保育における環境構成と人材育成
	内容	自分の意見を周囲に臆することなく発信できる風土づくりにより、職員の意思形成過程をボトムアップ化している。また、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。保育向上リーダー2名、指導計画担当2名を選任した結果、仕事へのフィードバックが向上した。「環境づくり」を保育向上の重要な一環と捉え、個々の職員の能力や得意分野を活かしながら環境構成の向上を目指している。
2	タイトル	職員集団の問題解決に対する理解と意欲
	内容	プロジェクトの検討において、プロジェクトリーダーが意欲的に機能し、会議も週一回程度の頻度で行われていて、着実に成果を上げられるような取組みを進めている。園運営の流れの合理化と役割分担も実際に機能し、経営層の意思の浸透と職場全体の意思統一の強化もなされ、日常業務以外の計画への取組み意欲が向上した。職場全体に問題解決への意欲と手法が浸透しつつある。また、合理的な意思形成のプロセスが標準化しつつある。
3	タイトル	園だよりを活用した保護者との双方向の交流
	内容	園だよりを、情報の発信だけでなく、保護者との双方向の交流のツールとして活用している。「知恵袋」と称して、子育てのポイントや生活の知恵などについて、保護者のアイデアを紹介している。また、絵本の貸し出しを開始した平成20年度以降、職員による絵本紹介を掲載し、現在では保護者による原稿の掲載にまで発展している。「どうしたら興味の湧く内容になるか」という問題意識からアンケートを実施するなど、園だよりの内容の充実に着実に取り組んできた成果である。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	施設の老朽化への対応
	内容	建物の築年数の経過とともに施設の老朽化も進み、様々な不具合が表出することがある。園としては、職員による工夫により補っているが、それだけでは難しい場面も出てきている。今後とも、保護者の要望を踏まえ、主管課とともに可能な範囲で改善に努めていきたいと考えている。
2	タイトル	継続的な取組みの見直し
	内容	行事内容によっては、特に問題がなければ、同内容で継続することになりがちである。園としても、前年度の行事反省を踏まえて工夫はしているが、ねらいから見直す必要があると考えている。その他、園庭開放や身体測定などの子育て支援を含め、これまで安定的・継続的に実施されてきた様々な取組みについても、それぞれのあり方を改めて検討しようと考えている。
3	タイトル	予防的視野からの虐待への対応能力の向上
	内容	職員は、区主催のもののほか、虐待防止を含む様々なテーマの各種研修に参加している。現在のところ、虐待が疑われる具体的な事例がないため、早期発見のための観察眼を養う意味でも、園内研修の充実やマニュアルの確認が必要であると考えている。

# 西田保育園

---

西  
田  
保  
育  
園

調査対象

複数児利用世帯は最低年齢児1人を対象として実施世帯数を絞り、42世帯から有効回答を得た。

調査方法

アンケート調査票の配付は保育園を通じて保護者へ手渡し、回収は保護者から評価機関へ直接郵送する方法を採用した。

利用者総数

68

共通評価項目による調査対象者数

68

共通評価項目による調査の有効回答者数

42

利用者総数に対する回答者割合(%)

61.8

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想として、「大変満足」が29%、「満足」が45%、合わせて74%という結果となった。最も高い満足度が示されたのは「提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか」および「サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか」についてで、95%の方が「はい」と回答した。これに対し、「外部の相談窓口にも相談できることを知っているか」については、「はい」は29%にとどまり、「いいえ」との回答が61%となった。

## 利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	40	2	0	0
回答者の約95%が「はい」と回答した。栄養バランスや充実したメニュー、必要に応じた個別の配慮などに感謝する声が寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	35	4	3	0
回答者の約83%が「はい」と回答した。園庭遊びや園外活動、地域の方々との交流などに感謝する声のほか、一層の活動の充実を期待する声も寄せられた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	27	12	3	0
回答者の約64%が「はい」と回答した。延長保育に対するニーズをうかがわせる声も寄せられた。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	36	5	1	0
回答者の約86%が「はい」と回答した。連絡するか否かの判断に対する検討を期待する声も寄せられた。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	31	8	2	1
回答者の約74%が「はい」と回答した。必要かつ十分な対策がとられているとする声のほか、一層の徹底を期待する声も寄せられた。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	27	12	3	0
回答者の約64%が「はい」と回答した。曜日設定に関する多様なニーズをうかがわせる声が寄せられた。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	33	7	2	0
回答者の約78%が「はい」と回答した。朝夕の会話や親身な対応、助言などに感謝する声のほか、一層のコミュニケーションを期待する声も寄せられた。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	30	6	4	2
回答者の約71%が「はい」と回答した。一層のコミュニケーションを期待する声も寄せられた。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	31	9	0	2
回答者の約74%が「はい」と回答した。一層の徹底を期待する声のほか、利用と保護のバランスを求める声も寄せられた。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	32	8	0	2
回答者の約76%が「はい」と回答した。一層の配慮を期待する声も寄せられた。				

11. 職員の対応は丁寧か	32	8	0	2
回答者の約76%が「はい」と回答した。丁寧な対応に感謝する声のほか、接遇の一層の標準化を期待する声も寄せられた。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	22	14	4	2
回答者の約52%が「はい」と回答した。直接伝える他、父母会や第三者機関の活用を挙げる声も寄せられた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	27	10	3	2
回答者の約64%が「はい」と回答した。一部区に対する要望も寄せられた。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	12	2	26	2
回答者の約29%が「はい」と回答した。利用開始時の説明を忘れている方が多いことがうかがえる結果となった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	18	1	0	0
回答者の約95%が「はい」と回答した。一層の詳細な説明を期待する声も寄せられた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	



評価項目3

重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点（ A ）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝える	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリ1の講評

杉並区の保育理念と園独自の方針

杉並区の保育理念のほかに園独自で定めた園目標があり、杉並区の保育理念を効果的に具体化できるよう取り組んでいる。また、理念を念頭に置きながらチャレンジプランの目標を設定し、この目標を職員とともに達成すべく、職員会議等の打ち合わせ等を行い、職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行っている。

指導層の役割の明確化と前期終了後評価、反省、後期の見直しの流れ

指導層の役割を園運営マニュアルに「指示・連絡・報告系統」として視覚的に明示している。この上で、園長・主査の指導層の役割と責任を分かりやすく明示している。さらに、目標を実現するために、「前期終了後評価→反省、後期の見直し」という流れを確立し、園長が中心となり園運営に取り組んでいる。

各会議仕様と意思決定手順の明確化

「定例合わせ」「職員会議」等各種会議の参加職員、基本日時、内容を園運営マニュアルに明示しており、意思決定の手順を定めている。保護者に対しては重要案件について、文章や掲示等で周知している。

2 カテゴリー2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリー2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

<b>評価項目2</b> ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○非該当
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

<b>評価項目3</b> 地域の関係機関との連携を図っている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

カテゴリ2の講評

**ふれあい保育等を通じた保育所機能の還元**

ふれあい保育とは、区立保育園で保育園生活を体験する中で、保育士や看護師、調理職員のアドバイスを受けながら、保護者の子育てに対する悩みや不安を解消し、子どもの健やかな成長を支援する制度で、杉並区全体で取り組んでいる。また、園庭が広いことを活かし、園庭開放を積極的に行っている。この園庭開放の機会を利用、園の概要のチラシ等を配布し、地域への透明性を高めている。

**地域子育てネットワークを通じた地域との協働**

地域子育てネットワーク(保育園・児童館・保健センターなど)に参加し、行政連絡会への定期的な参加や秋冬のあそび市への参加を行うとともに、防災・防犯に関する情報交換、交流事業を、園長・主査等が中心となって園として地域での共通課題の解決に協働している。

**区の担当課と連携したボランティアの受け入れ体制の確立**

ボランティアや実習生の受け入れについては、「保育実習に関する留意事項」「杉並区における実習生の受け入れ手順」など、区の担当課との連携のもと受け入れ体制を確立している。今後は、園としてこのシステムを有効に活用して行きたいと考えている。

カテゴリ-3		
3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリ-1		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

### カテゴリ-3の講評

#### 苦情相談員制度の保護者への周知と、保育課との連携

杉並区保育事業全体として、保健福祉サービスの利用者が提供されるサービスに不満があるとき保健福祉サービス苦情調整委員が、申立者とサービス提供事業者の双方から事情を聴き、公正・中立な立場から問題の解決を図る苦情相談員制度があり、周知している。また、区の保育課へ問い合わせ等があった段階で、三日以内に返答するよう迅速な対応ができるよう心がけている。区の担当者と園長の連携により、迅速かつ的確な対応をするよう体制が構築されている。

#### 保護者の意向を踏まえた園運営

運動会の感想を集約して園だよりに掲載し、保護者から好評であった。園長としては、園だよりやクラスだよりの活用だけでなく、日常的なコミュニケーションを大切にしながらその中から保護者の意向を収集したいと考えている。今後は、新たに設置した意見箱の活用を含め、よりきめ細やかな保護者の意向の集約に努めたいと考えている。

#### 地域関係機関を通じた情報収集

子育て支援に関する地域の協議会（地域子育てネットワーク等）、園長会などを通じて地域の福祉ニーズ、福祉事業全体の動向を把握するとともに、区の担当者と連携して情報の整理・分析を行っている。

4 カテゴリー4		
計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリー1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1		評点( A )
取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2		評点( A )
多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3  
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1  
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-4の講評

区と連携した計画策定

区レベルとして「長期計画」「実施計画」「保健福祉計画」を策定し、担当課レベルでは「杉並区の保育実践方針」を策定中である。同方針については、研修等を通じて多くの職員が学んでいる。園としてもチャレンジプランを通じて実践的な計画策定を行い、課題の明確化や手順が職員に周知されている。

チャレンジプランをもとにした計画の効果的実行

チャレンジプランでは「目標→取組計画→評価(中間・年度末)」という流れのもとに計画が効果的に実行できるよう工夫がなされている。この目標のもと取組計画が作成されている。政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の分野ごとに園の目標を掲げ、例えば接客向上の目標を「保護者に保育園での子どもの姿を丁寧に伝えていながら、保育園への理解を深めてもらう」とし、取組計画が詳細に記載され、目標に対し着実に成果を上げられるような仕組みになっている。

危機管理における区との密接な連携と、園独自のマニュアルによる対応

杉並区の庁内LANによる「ヒヤリハット」の共有があり、他施設の状態も含めて共有できるようになっている。危機管理マニュアルは区保育園全体のものが用意されており、これに加えて、園独自で園運営マニュアルになかに様々な状況に対応したマニュアルが用意されている。事故報告書の書式も整備しており、区の担当課による確認も行われている。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点( B )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		



サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

区との連携による人材の確保と人員配置

区の保育担当部署と連携して人事制度に関する方針を明示している。組織目標・チャレンジプランにより、部・課の目標にあわせて、係の課題・取組計画を明示し、個人のチャレンジプランを作成している。採用については、正規職員は区が採用し、非常勤等職員については、保育課が必要に応じ採用している。各歳児担当の職員配置は、職員会議等により決定している。

各職員の役割の明示と、意思形成過程のボトムアップ化

職員の役割は園運営マニュアルにある「各係り・仕事内容」「役割分担表」「職員体制表」「係分担」に状況ごとに細かく定めている。また、いくつかの行事の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性の向上に努めている。日頃のコミュニケーションの中で、気づいたことや気になったことを率直に話し合えるよう、園長が率先してその雰囲気作りに努めている。

区の人材マネジメントシステムを中心とした体制

「職員人材育成事業実施計画」をもとにした、職員の育成・評価・報酬が連動した人材マネジメントを行っている。これにあわせ、「私のチャレンジプラン」をもとに各職員の就業状況のヒアリングを行っている。

7 カテゴリー7		
情報の保護・共有		
サブカテゴリー1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1		
事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2		
個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

#### カテゴリ7の講評

##### 区による情報の保護・共有の管理と園の情報管理の工夫

区による情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ対策基準によりアクセス権等の設定をしている。また、保管は区のファイリングシステムに従って分類・整理している。園としても、情報の整理とファイルなど文章を使いやすくする工夫をしている。

##### 杉並区個人情報保護条例による情報の保護・共有

杉並区個人情報保護条例により個人情報の利用目的を明示するとともに、個人情報の保護に関する規程を明示している。また、園独自の個人情報マニュアルも整備し、個人情報の適切な利用・保護を図っている。

##### 写真・ビデオ撮影に際しての同意

写真やビデオ映像の撮影に際しては、保護者に対し説明の上、理解を得ている。それらの利用については、区で定めた「画像データ提供申請書」により使用用途を限定し、撮影された園児の保護者の同意を得た上で対応している。

カテゴリー8	
8 カテゴリー1～7に関する活動成果	
サブカテゴリー1	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>グループ会議の開催と計画の実行</b> 区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。	
サブカテゴリー2	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>チャレンジプランの活用</b> 園のチャレンジプランと職員のチャレンジプランを有効にリンクさせることにより、効果的に職員と組織の能力向上ができるようになってきた。職員のチャレンジプランでは、園長とのヒアリングで確認、個人の意識が高まるとともに、園のチャレンジプランとリンクさせることにより、園全体の意識が高まるようなシステムが出来ている。	
サブカテゴリー3	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>徹底した衛生管理による感染症の予防</b> 昨年度の感染性胃腸炎の発生事例を踏まえて衛生管理を徹底している。今年度に入ってから、おむつ交換時やトイレ排便時、食事前など、継続的に消毒を行っている。また、区から支給された手袋・マスク・エプロンをボックスに入れ、各クラスに常備している。	

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善に向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+  A  B  C

改善の成果

行政改革の実行による取り組み

区では行財政改革である「スマートすぎなみ計画」により、計画的に取り組みを進めている。平成20年度から平成22年度の目標としては、①区の事業の6割を共同化・民営化・委託化する、②経常収支比率を80%以下とする、③職員定数を330人削減する、となっている。保育分野に関しては、給食調理・用務の委託や指定管理制度の導入などによるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率向上などの取り組みを進めている。これまでに保育園の指定管理制度を4園に導入、調理・用務業務の委託についても21年度現在で12園で実施している。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+  A  B  C

改善の成果

保護者意向の把握と活用

運動会の感想を集約して園だよりに掲載し、保護者から好評であった。園長としては、園だよりやクラスだよりの活用だけでなく、日常的なコミュニケーションを大切にしてその中から保護者の意向を収集したいと考えている。今後は、新たに設置した意見箱の活用を含め、よりきめ細やかな保護者の意向の集約に努めたいと考えている。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している		評点( A )
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
サブカテゴリ1の講評		
<p><b>区ホームページによる園概要の紹介</b></p> <p>区ホームページの「施設案内」により、園の概要について網羅的に紹介している。所在地などの基本情報のほか、最寄の駅からの道順案内、園の見取り図(写真入り)、保育目標、対象年齢や職員体制、主な行事などについて、簡潔に説明している。紹介する項目自体は各園共通であるが、特に「保育園の特色」については、環境や活動の様子など、当園らしさについて具体的に分かりやすく紹介している。</p>		
<p><b>園としての情報の発信</b></p> <p>園のしおりには、園の人員体制や保育時間、見取り図などの概要のほか、保育理念、保育方針、保育目標、活動内容など園の魅力を伝える内容となっている。しおり自体は、入園が決定した際に渡すこととしているが、そのほかの見学や園庭開放の際の訪問者に対しては、しおりの内容を要約した概要を渡している。</p>		
<p><b>見学・相談への対応</b></p> <p>問い合わせや見学の要望については、園長を対応者として随時応じている。感染症など園の状況を伝えた上で、希望の日時に応じられるように調整している。見学時には、特に保護者の誤解を防ぐ意味でも、延長保育の実施園でないことを伝えている。なお、寄せられた見学・問い合わせの要望については、保育課では相談項目・年齢別に集計・把握されている。</p>		

サブカテゴリー2		
2 サービスの開始・終了時の対応		
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点( A )</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している <p style="text-align: right;">評点( A )</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
サブカテゴリー2の講評		
<b>入園前の説明と同意の明確化</b> 入園児健康診断・面接の機会や入園説明会の場において、園での生活に関する基本事項を説明している。保育理念や園生活の概要、必要な持ち物などについては「しおり」を中心に、災害時の対応や保険制度などについては区発行の各種文書により、説明している。		
<b>個別事情や要望の把握</b> 入園前の面接では、保育時間に関する意向や保育上の留意事項などのほか、健康上の留意事項、慢性疾患、離乳食進度、アレルギー等食物除去などについて、各専門職種立場から情報を収集・確認し、児童票を中心とする個人記録にまとめている。		
<b>入園直後の緊張への対応</b> 「入園までの生活状況」(児童票)で把握した運動遊び、食事、睡眠、排泄、着脱、清潔(歯磨き・入浴)、養育態度等に関する情報を基に、集団生活の開始という環境変化に馴染めるよう配慮している。入園内定時には親子で遊びに来ることを勧める、集団生活が初めての親子は入園初日は食事時間まで共に過ごしてもらい、1歳児クラスはベテラン保育士を配置して慎重に対応する、4月は当番を増やして対応する、密な連絡と観察により連絡帳だけでは伝わらない部分を補強したりする、といった丁寧な取り組みにより、緊張の緩和や不安の払拭に努めている。		

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし



<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

サブカテゴリー3の講評

**新たな児童票の活用**

子どもの心身状況や発達状況・家庭状況などは、児童票に記録している。同票については、区内全園にて今年度から書式の見直しが行われ、子どもの成長過程に対する「評価」ではなく、保護者とともに内容を共有し、方向を探っていくためのものに変更された。

**計画の作成と保護者への説明**

クラスごとに年間の指導計画を作成し、それを基に月の指導計画(月案)や週案を立案している。計画は、月・期・年ごとに見直しを行っている。年間計画については保護者会にて今年度から配布した。その他の計画については、月案については掲示に加え、園だよりやクラスだよりでねらいやポイントについて説明している。

**子どもに関する情報の共有**

毎月の指導計画の検討・反省を通じて、計画の内容や子どもに関する記録について、職員間で共有している。子どもや保護者の日々の状況については、園日誌に記録し、皆で共有している。申し送り・引き継ぎという点では、朝・夕保育ノートや土曜保育ノートなどをもとにして伝達事項を記載し、他の職員がそれを踏まえて必要な対応を取り得るようにしている。

サブカテゴリー5

**5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重**

**評価項目1**

子どものプライバシー保護を徹底している

**評点( A )**

<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

<b>評価項目2</b> サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している <p style="text-align: right;">評点( <b>A</b> )</p>	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している <div style="text-align: right;"><input type="radio"/>非該当</div>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している <div style="text-align: right;"><input type="radio"/>非該当</div>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている <div style="text-align: right;"><input type="radio"/>非該当</div>
<b>【A+の取り組み】</b> <span style="float: right;"><input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし</span>	
サブカテゴリー5の講評	
<b>プライバシーへの配慮</b> おむつ交換やプールの際の着替え、お漏らしの際の着替えなどの場合は、衝立を利用する、あるいは、他から見えない場所で行うなど、外部の目から保護している。	
<b>「一人ひとりの尊重」の実践</b> 2年間に渡る臨床心理士による指導を通じて、子どもの行動の裏側にある本当の気持ちを読み取ることができるよう、研鑽を積んできた。言葉かけに対して反応を示さない子どもに対しては、その子に伝わるような言葉で伝えるなど、一人ひとりに応じたコミュニケーションの重要性を学んできた。指導期間が終了した現在でも、その成果を活かし、子どもの視点に立った関わり方を実践している。	
<b>日常的な振り返り</b> 毎月の指導計画の打ち合わせの際に、お互いの実践を検証したり、気になる言動や態度に対しては、気が付いた職員が指摘するなど、日常的に職員相互に意識向上を図っている。	
サブカテゴリー6	
6	<b>事業所業務の標準化</b> <p style="text-align: right;">評点( <b>A</b> )</p>
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている <p style="text-align: right;">評点( <b>A</b> )</p>	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている <div style="text-align: right;"><input type="radio"/>非該当</div>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている <div style="text-align: right;"><input type="radio"/>非該当</div>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している <div style="text-align: right;"><input type="radio"/>非該当</div>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している <div style="text-align: right;"><input type="radio"/>非該当</div>
<b>【A+の取り組み】</b> <span style="float: right;"><input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし</span>	

<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている			<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>			<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
<b>評価項目3</b> さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している			<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている		<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>			<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
<b>サブカテゴリ6の講評</b>			
<b>各種マニュアルの活用</b> 区で定めた「危機管理マニュアル」のほか、園として「事務所マニュアル」を定めている。各会議の内容や各係の仕事内容を始め、各職員の役割分担、不審者対策、かみつき・ひっかきへの対応、散歩の際の留意事項などについて、網羅的に明示している。			
<b>業務内容や手順の見直し</b> 業務内容や手順については、年度末に見直しを行っている。見直しにあたっては、日々の会話や打ち合わせを通じて提案された職員の意見や、連絡帳や保護者会、日々の会話で出された保護者の要望など踏まえ、会議で検討し反映させている。			
<b>研修機会の提供</b> 東京都社会福祉協議会や特別区、母子保健センターなどの関係機関が主催する研修については、随時案内し職員に周知している。区の主催する研修については、杉並の保育実践方針(案)を始め、子どもの発達に関連した研修が開かれており、園としても参加を奨励し個々のスキルアップを図っている。園内では、研修報告やヒヤリハット事例の報告などを通して、その内容の共有化に取り組んでいる。			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	○非該当
	●あり ○なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	○非該当
●あり ○なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	○非該当	
【A+の取り組み】		○あり ●なし	
評価項目1の講評			
<p><b>自主性・自発性の促進</b>                      玩具については、マンネリ化しないよう、発達段階に合わせて設定を工夫している。仕切りを使って食事と遊びの空間を作り、落ち着いて生活できるよう工夫している。衝立を作ってコーナーを設定し、一人で遊べる時間を保障している。園庭には、鉄棒、砂場、木の家、組み立て式プール、滑り台などを配置し、自由に遊べるようにしている。</p> <p><b>表現活動・園外活動の実施</b>                      子ども自身が体験したいと思うことややりたいと思うことを、実際に経験することを大切にしている。また、過程について子どもと相談し、リードしつつ主体性・自主性を引き出すことを心がけている。散歩や園庭遊びの機会を多く設け、自然に触れたり身体を動かしたりする体験を積極的に取り入れている。幼児クラスでは、異年齢交流を通して小さい子どもへの接し方や伝え方について実際の経験を積み重ねさせている。</p> <p><b>特性を踏まえた保育実践への取り組み</b>                      一人ひとりの特性を踏まえた保育を一層充実させていくために、心理職の巡回相談を活用している。保育者は、日頃の観察に基づく気づきや対応方法について相談し、それを踏まえて一人ひとりの発達過程にあった関わり方を実践している。また、職員が製作した視覚カードにより、散歩に行く時は公園の絵を見せる等、行動の目安を示して伝えられる体制がある。</p>			

2	<b>評価項目2</b> 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input type="radio"/> 非該当	
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
<b>評価項目2の講評</b>			
<b>食事を楽しむ工夫</b> 区立保育園共通の献立表に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供できる体制にある。行事の際は、通常の献立を基本としつつ、見た目にもより楽しめるものとなるよう工夫している。検食で味付けや状態を、巡回で喫食状況を把握し、献立作成に反映させている。畑を借りてさつまいも作りや稲作などを体験し、収穫物を食べる機会を設けるなど、楽しみながら食に関する子どもの関心を養っている。			
<b>アレルギーへの配慮</b> 食物アレルギーのある子どもに対しては、提供する食事内容について個別に配慮している。事前に除去用献立表を保護者に配布し、それを基に検討・確認し、食事提供時は別トレーで配食している。要所所で職員が声に出して確認し連携を取り、誤食の発生を防止している。			
<b>快適な食事時間</b> 好き嫌いについては、卒園するまでに徐々になくなれば良いという長期的なスパンで対応している。食事の量については、子どもとしては少な目でも全量食べたいのではないかと園としては考え、事前に調理師と話し合い寮を調節して、完食した喜びを味わえるよう配慮している。年末の「わくわくパーティー」では、異年齢でバイキング形式で会食するなど、楽しい食事を心がけている。			
3	<b>評価項目3</b> 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	

評価項目3の講評

定期健診の実施

毎日の視診による健康状態の把握のほか、毎月の身体測定、年2回の健康診断、歯科・眼科・耳鼻科の各健診、ぎょう虫卵検査などの結果を、各園共通の児童票や健康カードに記録している。

健康・衛生管理

乳児クラスについては、乳幼児突然死症候群の発生防止のために、午睡チェック表により定期的に呼吸および顔つきの確認を行っている。感染症予防の見地から、感染性胃腸炎や新型インフルエンザへの対応マニュアル(保育課作成)を整備している。特に衛生管理については徹底しており、おむつ交換時やトイレ排便時、食事前など、継続的に消毒を行っており、昨年度と比較しても感染症の予防には著しい成果を挙げている。また、区から支給された手袋・マスク・エプロンをボックスに入れ、各クラスに常備している。

保護者に対する情報提供

区役所や保健所などの関係機関から提供されるポスターやチラシ、園の保健だよりなどの掲示・配布などにより、感染症に関する情報を保護者に伝達している。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点( A )

4

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4の講評

年間計画に基づく多彩な行事の実施

年間行事計画に基づき、多彩な行事を実施している。こどもの日集会、七夕、夏祭り、運動会、園外保育、わくわくパーティ、節分、ひな祭りなど、季節や目的に応じて子どもが楽しめる場面を設定している。誕生会は、その子どもの誕生日にみんなで歌を歌い、インタビューにより「主人公」として引き立て、園長がお誕生日ワッペンを付けてあげるなど、思い出となるよう工夫している。

清潔で快適な保育環境の維持

園内は常に清潔を保ち、子どもの手による製作物や散歩で拾ってきた木の実、季節を感じさせる植物など、事務所や廊下に飾っている。子どもが動く経路(動線)の検討を行い、子どもの自然な活動の障害にならないような室内の配置や収納を心掛けている。大人の動きで子どもの落ち着きを邪魔しないよう、必要以上にせわしなくしたり、無駄な動きをしないよう努めている。

午睡時間の設定

子どもの体調や生活リズムなどを考慮して、設定した午睡時間以外でも休息をとることができるよう、個別の状況に応じて対応している。

5	<b>評価項目5</b> 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
<b>評価項目5の講評</b>			
<b>保育参加・参観の促進</b> 保育参観・参加は、基本的にいつでも可能としている。その上で、日常的な呼びかけに加え、都合がよければ面談と保育参加を組み合わせたりするなど、保護者の訪問を促進している。			
<b>日常的な情報提供</b> 園だよりやクラスだよりの発行、園日誌の公開などにより、園での子どもの生活の様子や成長ぶりについて保護者に情報を提供している。また、保護者会では、日常の子どもの様子を伝える写真を見てもらうなど、子どもの育ちについての情報の共有に努めている。			
<b>意見や相談への対応</b> 送迎時の会話や様子の観察、連絡帳のやり取りなど、日常的なコミュニケーションを大切にし、何気ない言葉を受け止め、気持ちを察し、必要な助言ができるように取り組んでいる。今後は、新たに設置した意見箱の活用を含め、よりきめ細やかに対応していきたいと考えている。			
6	<b>評価項目6</b> 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	

評価項目6の講評	
<p><b>虐待に関する意識の涵養</b> 職員は、区主催のもののほか、虐待防止を含む様々なテーマの各種研修に参加している。園内では、研修受講者による報告を通して、職員への意識付けや浸透を図っている。</p>	
<p><b>虐待対応のしくみ</b> 虐待の疑い、あるいは、虐待の事実を把握をした際の対応手順は、区の危機管理マニュアルにより明確に定められている。情報を得た際は、主管課である保育課を通じて子ども家庭支援センターや児童相談所などと連携して対処する体制にある。</p>	
<p><b>評価項目7</b> 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている</p>	
7	評点( A )
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している
●あり ○なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している
<p>【A+の取り組み】 ○あり ●なし</p>	
評価項目7の講評	
<p><b>保護者への地域情報の提供</b> 小学校の行事や児童館のお知らせほか、ポスターや広報誌を掲示したり、パンフレットを設置するなどにより、地域の様々な情報を保護者に提供している。</p>	
<p><b>子どもと他者とのつながりの創出</b> 園庭開放を通じた地域の親子との関わり、絵本の読み聞かせや手品のボランティアとの交流など、地域との連携を活かした取り組みにより、子どもの活動の幅を広げている。特に高校生との交流では、生徒が手作りの玩具で子どもと一緒に遊んだり、紙芝居や読み聞かせ、お茶の点前などを行ったりしている。併設の高齢者施設の利用者とは、伝承遊びを教えてもらったり、運動会の踊りや歌を発表したりするなどの交流がある。幼児クラスの祖父母に敬老の日にちなんだ来園してもらったりすることもある。近隣の方の中には、庭代わりに来てくれる方もいる。</p>	



No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	職員集団の問題解決に対する理解と意欲
	内容	区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。また、経験豊富な職員が多いためバランスの良い園運営が出来ている。
2	タイトル	子どもの安全に配慮した保育の実践
	内容	危険箇所の点検やヒヤリハットの徹底という事故防止の取り組み、準備体操の習慣化など体を動かす体験の積極的な導入による子どもの体力作り、そして衛生管理の徹底による感染症予防の取り組みなど、ソフトやハードの両面を通じて、安全な保育環境の実現に取り組んでいる。
3	タイトル	職員全体が一丸となった保育の実践
	内容	小規模な職員集団である利点を活かして、保育士一人ひとりがお互いにコミュニケーションを図り、共に考え、子どもの状況を把握し、対応している。直営である調理の担当職員との関係も良好で、子どもの発達状況やその日の体調などを踏まえつつ、かつ、園としての考えなど踏まえた食事提供が可能となっている。調理や用務の職員を含め、職員全体で子どものことを考えて、日々の保育に取り組んでいる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	現代の保護者の就労状況を踏まえた対応の検討
	内容	現在は区の施策上、18時30分まで園児を預かることになっているが、実際は19時位まで対応することが日常的になっている。保護者の現代の就労状況を考えると、延長保育を実施していない現状では、保護者のニーズに応じていくことには限界があると考えている。今後とも、担当課との話し合いを継続し、この現状を改善していきたいと考えている。
2	タイトル	施設の老朽化への対応
	内容	建物の築年数の経過とともに施設の老朽化も進み、様々な不具合が表出することがある。園としては、職員による工夫により補っているが、それだけでは難しい場面も出てきている。今後とも、保護者の要望を踏まえ、主管課とともに可能な範囲で改善に努めていきたいと考えている。
3	タイトル	保護者間の交流の促進
	内容	送迎時の会話はもとより、連絡帳や意見箱、個人面談などの機会を利用して保護者の意向の収集に取り組んでいる。特に保護者会は、併設のゆうゆう館(高齢者施設)を借りて実施し、職員と保護者だけでゆったりとできる時間を確保して、コミュニケーションの促進を図っている。今後は、保護者同士の横のつながりの構築を促進し、保護者同士で悩みの解消や意見交換ができるような機会を作っていきたいと考えている。

# 荻窪保育園

---

荻窪  
保育園

調査対象

複数児利用世帯は最低年齢児1人を対象として実施世帯数を絞り、41世帯から有効回答を得た。

調査方法

アンケート調査票の配付は保育園を通じて保護者へ手渡し、回収は保護者から評価機関へ直接郵送する方法を採用した。

利用者総数

60

共通評価項目による調査対象者数

60

共通評価項目による調査の有効回答者数

41

利用者総数に対する回答者割合(%)

68.3

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想として、「大変満足」が34%、「満足」が54%、合わせて88%という結果となった。最も高い満足度が示されたのは「子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分であるか」についてで、96%の方が「はい」と回答した。これに対し、「外部の相談窓口にも相談できることを知っているか」については、「はい」は29%にとどまり、「いいえ」との回答が64%となった。

## 利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	34	7	0	0
回答者の約83%が「はい」と回答した。丁寧、手作り、季節感などに感謝する声が寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	37	2	2	0
回答者の約90%が「はい」と回答した。外遊びや散歩の豊富さに感謝する声のほか、一層の充実を期待する声も寄せられた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	32	8	1	0
回答者の約78%が「はい」と回答した。対応時の気遣いに感謝する声などが寄せられた。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	39	1	1	0
回答者の約96%が「はい」と回答した。丁寧で安心できる対応に感謝する声のほか、一層の徹底を期待する声も寄せられた。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	31	10	0	0
回答者の約76%が「はい」と回答した。一層の対策を期待する声も寄せられた。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	28	9	4	0
回答者の約68%が「はい」と回答した。曜日設定に関する多様なニーズをうかがわせる声が寄せられた。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	38	2	1	0
回答者の約93%が「はい」と回答した。日常的な相談に感謝する声などが寄せられた。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	31	9	0	1
回答者の約76%が「はい」と回答した。対応の一層の標準化を期待する声が寄せられた。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	34	7	0	0
回答者の約83%が「はい」と回答した。さほど気にならないとの声のほか、利用と保護のバランスを求める声も寄せられた。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	35	5	0	1
回答者の約86%が「はい」と回答した。丁寧な関わり方に感謝する声のほか、対応の一層の標準化を期待する声も寄せられた。				

11. 職員の対応は丁寧か	35	5	1	0
回答者の約86%が「はい」と回答した。素晴らしいとの声のほか、対応の一層の標準化を期待する声も寄せられた。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	20	15	6	0
回答者の約48%が「はい」と回答した。保護者側の遠慮をうかがわせる声も寄せられた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	25	14	1	1
回答者の約62%が「はい」と回答した。一層の柔軟な対応を期待する声も寄せられた。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	12	3	26	0
回答者の約29%が「はい」と回答した。利用開始時の説明を忘れている方が多いことがうかがえる結果となった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	14	1	1	0
回答者の約88%が「はい」と回答した。特に明確な声は寄せられなかった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	

評価項目3

重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点（ A ）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝える	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし

カテゴリ1の講評

杉並区の保育理念と園独自の方針

杉並区の保育理念のほかに園独自で定めた園目標があり、杉並区の保育理念を効果的に具体化できるよう取り組んでいる。また、理念を念頭に置きながらチャレンジプランの目標を設定し、この目標を職員とともに達成すべく、職員会議等の打ち合わせ等を行い、職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行っている。

指導層の役割の明確化と前期終了後評価、反省、後期の見直しの流れ

指導層の立場を園運営マニュアルの分担表に視覚的に明示している。その上で、園長・主査の指導層は計画的に行動している。毎月の保育計画と反省を行ったり、プロジェクトチームのメンバー編成を決定して園運営を行っている。さらに、目標を実現するために、「前期終了後評価→反省、後期の見直し」という流れを確立し、指導層が中心となり園運営に取り組んでいる。

各会議仕様と意思決定手順の明確化

各種会議の参加職員、基本日時、内容を園運営マニュアルに明示していて、意思決定の手順を定めている。保護者に対しては重要案件について、文章や掲示等で周知している。

カテゴリ-2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリ-2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		



<b>評価項目2</b> ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している <span style="float: right;">評点( A )</span>	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している <span style="float: right;">○非該当</span>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など) <span style="float: right;">○非該当</span>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている <span style="float: right;">○非該当</span>
<b>【A+の取り組み】</b> <span style="float: right;">○あり ●なし</span>	
<b>評価項目3</b> 地域との関係機関との連携を図っている <span style="float: right;">評点( A )</span>	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域との関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している <span style="float: right;">○非該当</span>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている <span style="float: right;">○非該当</span>
<b>【A+の取り組み】</b> <span style="float: right;">○あり ●なし</span>	

カテゴリ-2の講評

**ふれあい保育等を通じた保育所機能の還元**

ふれあい保育とは、区立保育園で保育園生活を体験する中で、保育士や看護師、調理職員のアドバイスを受けながら、保護者の子育てに対する悩みや不安を解消し、子どもの健やかな成長を支援する制度で、杉並区全体で取り組んでいる。また、園庭開放の機会を利用、園の概要のチラシ等を配布し、地域への透明性を高めている。園独自としても、地域の身体測定を毎月第3木曜日に行い、看護師、栄養士、保育士による育児相談を行っている。

**地域子育てネットワークを通じた地域との協働**

地域子育てネットワーク(保育園・児童館・保健センターなど)に参加し、行政連絡会への定期的な参加やネットワーク通信の作成を行うとともに、防災・防犯に関する情報交換、交流事業を、園長・主査が中心となって園として地域での共通課題の解決に協働している。また、秋祭りへの参加や西荻地域区民センター作品展参加を通じて積極的な地域との連携を図っている。

**区の担当課と連携したボランティアの受け入れ体制の確立**

ボランティアや実習生の受け入れについては、「保育実習に関する留意事項」「杉並区における実習生の受け入れ手順」など、区の担当課との連携のもと受け入れ体制を確立している。

3 カテゴリー3		
利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリー1		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

### カテゴリ-3の講評

#### 苦情相談員制度の保護者への周知と、保育課との連携

杉並区保育事業全体として、保健福祉サービスの利用者が提供されるサービスに不満があるとき保健福祉サービス苦情調整委員が、申立者とサービス提供事業者の双方から事情を聴き、公正・中立な立場から問題の解決を図る苦情相談員制度があり、周知している。また、区の保育課へ問い合わせ等があった段階で、三日以内に返答するよう迅速な対応ができるよう心がけている。区の担当者と園長の連携により、迅速かつ的確な対応をするよう体制が構築されている。

#### 保護者対応マニュアルによる利用者意向の把握

各職員がきめ細やかに保護者の要望等を吸い上げ、問題に対して、職員会議等で把握し、対応している。さらに「保護者対応マニュアル」「苦情・要望等対応マニュアル」を整備し、利用者意向の把握を園全体で確実にできるようにしている。運動会の日程についても諸関係機関との日程調整をもとに、最大限、保護者の意向を斟酌し、開催の日程を調整した。今後とも、保護者の意見・意向の把握に努め、サービス向上に活用していきたい考えている。

#### 地域関係機関を通じた情報収集

子育て支援に関する地域の協議会（地域子育てネットワーク等）、園長会などを通じて地域の福祉ニーズ、福祉事業全体の動向を把握するとともに、区の担当者と連携して情報の整理・分析を行っている。

カテゴリ4		
4 計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリ1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3  
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリー2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1  
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリー4の講評

区と連携した計画策定

区レベルとして「長期計画」「実施計画」「保健福祉計画」を策定し、担当課レベルでは「杉並区の保育実践方針」を策定中である。同方針については、研修等を通じて多くの職員が学んでいる。園としてもチャレンジプランを通じて実践的な計画策定を行い、課題の明確化や手順が職員に周知されている。

チャレンジプランをもとにした計画の効果的実行

チャレンジプランでは「目標→取組計画→評価(中間・年度末)」という流れのもとに計画が効果的に実行できるよう工夫がなされている。この目標のもと取組計画が作成されている。政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の分野ごとに園の目標を掲げ、取組計画が詳細に記載され目標に対し、着実に成果を上げられるような仕組みになっている。

危機管理における区との密接な連携と、園独自のマニュアルによる対応

杉並区の庁内LANによる「ヒヤリハット」の共有があり、他施設の状態も含めて共有できるようになっている。危機管理マニュアルは区保育園全体のものが用意されており、これに加えて、園独自で園運営マニュアルになかに様々な状況に対応したマニュアルが用意されている。事故報告書の書式も整備しており、区の担当課による確認も行われている。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点( B )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

区との連携による人材の確保と人員配置

区の保育担当部署と連携して人事制度に関する方針を明示している。組織目標・チャレンジプランにより、部・課の目標に合わせて、係の課題・取組計画を明示し、個人のチャレンジプランを作成している。採用については、正規職員は区が採用し、非常勤等職員については、保育課が必要に応じ採用している。各クラス担当の職員配置は、職員会議等により決定している。

「保育の向上を考えるリーダー」の選出と職員の能力向上

区全体の取組目として「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。園運営の流れの合理化と役割分担も機能し、経営層の意思の浸透と職場全体の意思統一の強化もなされてきている。個々の職員の能力や得意分野を活かしながらバランスの良い園運営が出来つつある。

区の人材マネジメントシステムを中心とした体制

「職員人材育成事業実施計画」をもとにした、職員の育成・評価・報酬が連動した人材マネジメントを行っている。これに合わせ、「私のチャレンジプラン」をもとに各職員の就業状況のヒアリングを行っている。

7 カテゴリー7		
情報の保護・共有		
サブカテゴリー1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1		
事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2		
個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		



#### カテゴリ7の講評

##### 区による情報の保護・共有の管理と園の情報管理の工夫

区による情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ対策基準によりアクセス権等の設定をしている。また、保管は区のファイリングシステムに従って分類・整理している。園としても、情報の整理とファイルなど文章を使いやすくする工夫をしている。

##### 杉並区個人情報保護条例による情報の保護・共有

杉並区個人情報保護条例により個人情報の利用目的を明示するとともに、個人情報の保護に関する規程を明示している。また、園独自の個人情報マニュアルも整備し、個人情報の適切な利用・保護を図っている。

##### 写真・ビデオ撮影に際しての同意

写真やビデオ映像の撮影に際しては、保護者に対し説明の上、理解を得ている。それらの利用については、区で定めた「画像データ提供申請書」により使用用途を限定し、撮影された園児の保護者の同意を得た上で対応している。

カテゴリー8	
8 カテゴリー1～7に関する活動成果	
サブカテゴリー1	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>グループ会議の開催と計画の実行</b> 区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。	
サブカテゴリー2	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>チャレンジプランの活用</b> 園のチャレンジプランと職員のチャレンジプランを有効にリンクさせることにより、効果的に職員と組織の能力向上ができるようになってきた。職員のチャレンジプランでは、園長とのヒアリングで確認、個人の意識が高まるとともに、園のチャレンジプランとリンクさせることにより、園全体の意識が高まるようなシステムが出来ている。また、区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。園運営の流れの合理化と役割分担も機能し、経営層の意思の浸透と職場全体の意思統一の強化もなされてきている。個々の職員の能力や得意分野を活かしながらバランスの良い園運営が出来つつある。	
サブカテゴリー3	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>栄養士との協力による食育への取り組み</b> 非常勤栄養士との協力により食育について様々な取り組みを行っている。近隣で畑を借りてさつまいもやじゃがいも、落花生、ピーマン、なす、隼人瓜などを栽培し、収穫している。収穫したものを利用して、例えば、さつまいものつるを利用したリースを作成したり、実際に収穫物を食事にしたりしている。また、生の秋刀魚をおろす場面を園児に見せるなど、食育に関する取り組みを行っている。	

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善に向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+  A  B  C

改善の成果

行政改革の実行による取り組み

区では行財政改革である「スマートすぎなみ計画」により、計画的に取り組みを進めている。平成20年度から平成22年度の目標としては、①区の事業の6割を共同化・民営化・委託化する、②経常収支比率を80%以下とする、③職員定数を330人削減する、となっている。保育分野に関しては、給食調理・用務の委託や指定管理制度の導入などによるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率向上などの取り組みを進めている。これまでに保育園の指定管理制度を4園に導入、調理・用務業務の委託についても21年度現在で12園で実施している。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+  A  B  C

改善の成果

保護者意向の把握と活用

各職員がきめ細やかに保護者の要望等を吸い上げ、問題に対して、職員会議等で把握し、対応している。さらに「保護者対応マニュアル」「苦情・要望等対応マニュアル」を整備し、利用者意向の把握を園全体で確実に出来るようにしている。運動会の日程についても諸関係機関との日程調整をもとに、最大限、保護者の意向を斟酌し、開催の日程を調整した。今後とも、保護者の意見・意向の把握に努め、サービス向上に活用していきたいと考えている。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している		評点( A )
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
サブカテゴリ1の講評		
<p><b>区ホームページによる園概要の紹介</b></p> <p>区ホームページの「施設案内」により、園の概要について網羅的に紹介している。所在地などの基本情報のほか、最寄の駅からの道順案内、園の見取り図(写真入り)、保育目標、対象年齢や職員体制、主な行事などについて、簡潔に説明している。紹介する項目自体は各園共通であるが、特に「保育園の特色」については、環境や活動の様子など、当園らしさについて具体的に分かりやすく紹介している。</p>		
<p><b>園としての情報の発信</b></p> <p>園のしおりは、園の人員体制や保育時間、保育目標、見取り図などの概要を簡潔に伝える内容となっている。しおり自体は、入園が決定した際に渡すこととしているが、新入園児の保護者以外の見学者や訪問者には、しおりの内容をまとめた概要を渡している。また、行事案内やポスター等、保育園に関する情報を、学校や児童館に掲示してもらっている。</p>		
<p><b>見学・相談への対応</b></p> <p>問い合わせや見学の要望については、インフルエンザ等の状況を考慮しつつ、園長および主査を対応者として随時応じている。保育士の見学者対応マニュアルも完備していて、日常的に「体制表」に来園者についての記載欄があり、来園者の特性に配慮した対応ができるようになっている。</p>		

サブカテゴリ-2	
2	サービスの開始・終了時の対応
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点( A )</p>	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している
○非該当	
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている
○非該当	
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している
○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している <p style="text-align: right;">評点( A )</p>	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している
○非該当	
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している
○非該当	
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている
○非該当	
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている
○非該当	
【A+の取り組み】 ○あり ●なし	
サブカテゴリ-2の講評	
<b>入園前の説明</b> 入園児健康診断・面接の機会や入園説明会の場において、園での生活に関する基本事項を説明している。保育理念や園生活の概要、必要な持ち物などについては「しおり」を中心に、災害時の対応や保険制度などについては区発行の各種文書により、説明している。	
<b>個別事情や要望の把握</b> 入園前の面接では、保育時間に関する意向や保育上の留意事項などのほか、健康上の留意事項、慢性疾患、離乳食進度、アレルギー等食物除去などについて、各専門職種の立場から情報を収集・確認し、児童票を中心とする個人記録にまとめている。	
<b>入園直後の緊張への対応</b> 「入園までの生活状況」(児童票)で把握した運動遊び、食事、睡眠、排泄、着脱、清潔(歯磨き・入浴)、養育態度などに関する情報を基に、集団生活の開始という環境変化に馴染めるよう配慮している。入園初日は保護者と一緒に過ごすよう配慮したり、二日目以降は子どもの様子と保護者の要望に合わせて慣れ保育をしている。また、食事、午睡などできるだけ家庭と同じように過ごせるように配慮している。	

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している			<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
●あり ○なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している		○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している		○非該当
<b>【A+の取り組み】</b>			○あり ●なし

**サブカテゴリー3の講評**

**新たな児童票の活用**  
 子どもの心身状況や発達状況・家庭状況などは、児童票に記録している。同票については、区内全園にて今年度から書式の見直しが行われ、子どもの成長過程に対する「評価」ではなく、保護者とともに内容を共有し、方向を探っていくためのものに変更された。

**計画の作成と保護者への説明**  
 クラスごとに年間の指導計画を作成し、それを基に月の指導計画(月案)や週案を立案している。計画は、月・期・年ごとに見直しを行っている。年間計画については、保護者会で説明・配布している。その他の計画については、園だよりやクラスだよりでねらいやポイントについて説明している。

**子どもに関する情報の共有**  
 日常的な保育に関する園児の個別の事情については当番表に記載し、職員が確認・把握できるようにしている。この当番表と合わせて体制表を記入し、申し送りや引継ぎの時にも活用している。クラスからの連絡はすぐに報告し対応している。

**サブカテゴリー5**

**5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重**

<b>評価項目1</b> 子どものプライバシー保護を徹底している			<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得ようとしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている		○非該当
<b>【A+の取り組み】</b>			○あり ●なし

<b>評価項目2</b> サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
<b>サブカテゴリ5の講評</b>		
<b>プライバシーへの配慮</b> オムツ替えやお漏らし、プール遊びの着替えの際は、ついでにやかこい等で目隠しをしている。また、ハード面での羞恥心の配慮のみならず、職員が子どもの羞恥心を配慮するよう研修、職員会議で周知・共有化している。		
<b>日常的な振り返り</b> 子どもの声に耳を傾け、子どもの気持ちを汲み取るようにしている。また、半期ごとの反省の中で確認しあっている。さらに、子どもと保護者の価値観生活習慣に配慮し、行事についての名称などを工夫して誰でも参加しやすいものになっている。		
<b>サブカテゴリ6</b>		
<b>6</b>	<b>事業所業務の標準化</b>	
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		



<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
<b>評価項目3</b> さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
<b>サブカテゴリ6の講評</b>		
<b>各種マニュアルの活用</b> 区で定めた「危機管理マニュアル」のほか、園運営に関するマニュアルは、園独自で策定している。「安全」「衛生」、保育と保護者対応を網羅する各分野のマニュアルを作成し、事務所に設置して、職員が自由に見られるようになっている。また、各クラスにも日々の仕事に直結するよう、マニュアルを設置しており、実際に活用している。内容については職員会議、保護者アンケート、職員の個人面談など現場に直結した意見に基づいて作成して、分かりやすく、実際に現場で参照され仕事に活かされることを目的に編集されている。		
<b>業務内容や手順の見直し</b> 業務内容や手順については、年度末に見直しを行っている。見直しにあたっては、各種会議における職員の提案や、保護者会、個人面談、連絡帳、日々の会話を通じて収集した保護者の要望など踏まえ、会議で検討し反映させている。		
<b>研修機会の提供</b> 東京都社会福祉協議会や特別区、母子保健センターなどの関係機関が主催する研修については、随時案内し職員に周知している。区の主催する研修については、杉並の保育実践方針(案)を始め、子どもの発達に関連した研修が開かれており、園としても参加を奨励し個々のスキルアップを図っている。園内では、「チャレンジプランに向けての取り組みプロジェクト及び実施状況」による各種プロジェクトの活動により、組織として業務水準の向上に努めている。		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
評価項目1の講評			
<p><b>自主性・自発性の促進</b>                  小規模園ということで、全体に子どもたちが落ち着いている。その中で個別の配慮・支援を行い、子どもの発達を促す保育を行っている。各保育室にコーナーを設け、子どもが自分の好きな遊びを見つけ遊びに熱中できるように配慮している。定期的に環境を見直し、遊びを保障している。園庭には、登棒やロープブランコ、タイヤ、マット、板など、可動式遊具を豊富に設置し、遊びを発展させられる環境を整えている。</p> <p><b>表現活動・園外活動の実施</b>                  製作やリズム遊び、折り紙など多様な表現活動を行っている。散歩は年齢や目的に合わせて行っている。近隣で畑を借り、さつまいもやじゃがいも、落花生、ピーマン、なす、隼人瓜などを栽培し、収穫している。</p> <p><b>特性を踏まえた保育実践への取り組み</b>                  一人ひとりの特性を踏まえた保育を一層充実させていくために、心理職の巡回相談を活用している。保育者は、日頃の観察に基づく気づきや対応方法について相談し、それを踏まえて一人ひとりの発達過程にあった関わり方を実践している。</p>			

2	<b>評価項目2</b> 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input type="radio"/> 非該当	
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
<b>評価項目2の講評</b>			
<b>食事を楽しむ工夫</b> 区立保育園共通の献立表により、栄養バランスの取れた給食を提供している。行事やお楽しみ献立の時はより楽しいものになるように献立を基本にしながら見た目にもより楽しいものになるように工夫している。保育園で栽培した野菜も給食に出すなど、食事に工夫を凝らしている。また、テーブルには花を飾ったり、テーブルクロスやランチョンマットを使うなど、遊びの時間とは気分の違う食卓の雰囲気を出している。			
<b>アレルギーへの配慮</b> 食物アレルギーのある子どもに対しては、提供する食事内容について個別に配慮している。事前に除去用献立表を保護者に配布し、それを基に担任・栄養士・調理師・調理師会議で検討・確認し、食事提供時は別トレーで配食している。要所要所で職員が確認し連携を取り、誤食の発生を防止している。			
<b>快適な食事時間</b> 子どもが食事がしやすい環境を創出するために、椅子・テーブルに工夫を施している。サイズの異なるテーブルや椅子を用意しており、また、子どもの体格に応じて足台や背当てを使い、安定した姿勢で食事ができるようにしている。特に年齢が低いほど、子どもの体格が異なるため、きめ細かく工夫している			
3	<b>評価項目3</b> 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	

評価項目3の講評			
<p><b>定期健診の実施</b> 毎日の視診による健康状態の把握のほか、毎月の身体測定、年2回の健康診断、歯科・眼科・耳鼻科の各健診、ぎょう虫卵検査などの結果を、各園共通の児童票や健康カードに記録している。</p> <p><b>健康・衛生管理</b> 乳児クラスについては、乳幼児突然死症候群の発生防止のために、午睡チェック表により定期的に呼吸の確認を行っている。感染症予防の見地から、感染性胃腸炎や新型インフルエンザへの対応マニュアル(保育課作成)のほか、独自に衛生マニュアルを整備している。熱性痙攣等の対応については、保護者と密に連絡を取り合い座薬を預かっている。与薬が必要な場合のシステムも確立している。</p> <p><b>保護者に対する情報提供</b> 区役所や保健所などの関係機関から提供されるポスターやチラシ、園の保健だよりなどの掲示・配布などにより、インフルエンザを含む感染症に関する情報を保護者に伝達している。</p>			
4	<p><b>評価項目4</b> 園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている</p> <p style="text-align: right;">評点( A )</p>		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
	●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
	●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当
<p>【A+の取り組み】 ○あり ●なし</p>			
評価項目4の講評			
<p><b>年間計画に基づく多彩な行事の実施</b> 年間行事計画に基づき、多彩な行事を実施している。おもちゃであそぼう、夏祭り、遠足、運動会、荻窪キッズランド、おたのしみ会、新年子ども会、豆まき、ひなまつりなど、季節や目的に応じて子どもが楽しめる場面を設定している。「日本の伝統行事を知らせる」「地域の行事参加。楽しむ。」など、ねらいを明確にして行っている。</p> <p><b>清潔で快適な保育環境の維持</b> 園内で「整備係」を決めて、園内環境の整備を行っている。園内は整理整頓を心がけ、装飾にも季節感が出せるような工夫をしている。玄関や各クラスで子どもの作品の展示や、季節の飾りつけをするなど、子どもたちにとって楽しく快適な空間を創出しようと工夫している。</p> <p><b>午睡時間の設定</b> 長時間保育の子どもが多いので、その子に合わせた休息を十分にとっている。また、園舎のスペースを工夫して活用し、廊下や事務室などを用いて眠れない子どもの保育を行うなど、ハード的な手狭さを職員の工夫により克服し、柔軟な対応をしている。</p>			

5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当
	【A+の取り組み】		○あり ●なし
評価項目5の講評			
<p><b>保護者への情報提供</b>  常時、保育参加と保育参観を受け入れており、都合の良い日に保育園にすることができる。たんに「いつでも」という発信だけでなく、保護者の要望から保育参加の日程を設定したり、個人面談と組み合わせることにより、保育参加を積極的に促している。また、園だよりやクラスだよりの配布、日誌の掲示などにより、食事や行事など子どもが活動している様子を写真により保護者に積極的に見せようなど、様々な形で子どもの様子を伝えている。</p> <p><b>保護者の状況を踏まえた対応</b>  延長保育の受付の対応は、時間的に決まっているが、なるべく柔軟に保護者の事情に応じて対応している。また、年間の行事予定は、早くから職場の都合がつけられるように、年度始めに早々に配布するとともに、運動会は保護者が参加しやすい土曜日に設定している。</p> <p><b>意見や相談への対応</b>  園だよりやクラスだよりには、行事の感想や保護者会を前に要望・意見を記入できるコーナーを設けている。保護者会や個人面談などの場で話し合いや、送迎時の会話などを通じて、育児に悩みを持つ親の相談を受け止め助言を行っている。また、個人面談時には発達の目安を示しながら、親の悩みなどスムーズに聞きだせるよう工夫し、積極的に支援を行っている。</p>			
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
	●あり ○なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	【A+の取り組み】		○あり ●なし

評価項目6の講評		
<p><b>虐待に関する意識の涵養</b> 職員は、区主催のもののほか、虐待防止を含む様々なテーマの各種研修に参加している。園内では、研修受講者による報告を通して、職員への意識付けや浸透を図っている。</p>		
<p><b>虐待対応のしくみ</b> もし子どもの身体にアザがあれば、身体測定や着替えなどの折に子どもに不安を与えないように、身体に傷がついていないか確認するなど、具体的な方策を決めておき、すぐに適切な対応ができるようにしている。虐待を受けている可能性がある子が発見された場合は区の担当課へ連絡し、保健センターや子ども家庭支援センターと協力し合う関係が構築されている。</p>		
7	<p>評価項目7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている</p>	
	<p>評点( A )</p>	
	<p>評価</p>	<p>標準項目</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している</p>
	<p>○非該当</p>	
<p>●あり ○なし</p>	<p>2. 保育所の活動や行事に地域の人々の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している</p>	<p>○非該当</p>
<p>【A+の取り組み】 ○あり ●なし</p>		
評価項目7の講評		
<p><b>保護者への地域情報の提供</b> 小学校の行事や児童館のお知らせほか、ポスターや広報誌を掲示したり、パンフレットを設置するなどにより、地域の様々な情報を保護者に提供している。</p>		
<p><b>子どもと他者とのつながりの創出</b> 園庭開放や身体測定などを利用して、地域の親子との交流を深めている。このほか、地域の連絡会に参加することで地域の小中学校だけでなく、近隣の宮前保育園と交流会を行い、お互いの交流を深めながら小学校につなげていく取り組みを行っている。荻窪小学校とは「桜草まつり」の参加において年長児が参加している。小学校見学も行い、小学校への移行がスムーズに行えるよう、園として積極的に連携を図っている。</p>		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	職員が一体となった子どもの姿を把握
	内容	園と家庭での生活や遊びの様子をもとに、職員複数の視線で子どもの姿を把握し指導計画を立てている。小規模園ということで、幼児が赤ちゃんと触れ合ったり、全体に子どもたちが落ち着いて生活できている。この中で個別の配慮・支援を行い、子どもの発達を促す保育を行っている。園全体が一人の園児を見つめながら、園運営ができています。
2	タイトル	栄養士との協力による食育への取り組み
	内容	非常勤栄養士との協力により食育について様々な取り組みを行っている。近隣で畑を借り、さつまいもやじゃがいも、落花生、ピーマン、なす、隼人瓜などを栽培し、収穫している。また、収穫物を利用して、さつまいものつるを利用したリースを作成したり、実際に収穫物を食事にしたりしている。さらに、生の秋刀魚をおろす場面や、ガラスの鍋でご飯が炊き上がる過程など、食べ物が出来上がるまでの食材の変化の過程や匂いなどを実際に見て感じる機会を設けている。
3	タイトル	職員集団の問題解決に対する理解と意欲
	内容	区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	職員間の情報共有のより一層の徹底
	内容	職員間では、報告・連絡・相談を大事にしており、何かあったときにはすぐクラスリーダーや主査・園長に知らせている。職員会議や「当番表」「体制表」によるやりとりを通じて漏れのない職員間の情報共有の仕組み作りはできている。この点、延長園であるため会議は全員参加が難しいので、全職員の情報共有を徹底し、より一層円滑な園運営につなげていきたいと考えている。
2	タイトル	保育の質向上のための時間を確保するための工夫
	内容	園内での勉強会の充実や打ち合わせ時間の捻出、計画の実行のための職員の就業環境作りの工夫などを進めたいと考えている。現状では、日々の業務に終われ、なかなか話し合いをする時間が持たず、細かいところまで話をする時間が持たない。保育内容について、十分に話し合える時間を持つことにより、真の保育の質向上のための、職員の理解がより深まる取り組みを行いたいと考えている。
3	タイトル	保護者対応における職員のより一層の気遣いによる意見・意向の把握
	内容	各職員がきめ細やかに保護者の要望等を吸い上げ、問題に対して職員会議等で検討し対応している。さらに、「保護者対応マニュアル」「苦情・要望等対応マニュアル」を整備し、利用者意向の把握を園全体で確実にできるようにしている。この点、保護者や子どものサインを見逃さないよう、職員がより一層の気遣いをする必要があり、保護者の意見・意向の把握に努め、サービス向上に活用していきたいと考えている。

# 四宮保育園

---

四宮  
保育園



調査対象

複数児利用世帯は最低年齢児1人を対象として実施世帯数を絞り、40世帯から有効回答を得た。

調査方法

アンケート調査票の配付は保育園を通じて保護者へ手渡し、回収は保護者から評価機関へ直接郵送する方法を採用した。

利用者総数

65

共通評価項目による調査対象者数

65

共通評価項目による調査の有効回答者数

40

利用者総数に対する回答者割合(%)

61.5

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想として、「大変満足」が38%、「満足」が52%、合わせて90%という結果となった。最も高い満足度が示されたのは「保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか」についてで、95%の方が「はい」と回答した。これに対し、「外部の相談窓口にも相談できることを知っているか」については、「はい」は27%にとどまり、「いいえ」との回答が67%となった。

## 利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	34	4	2	0
回答者の約85%が「はい」と回答した。栄養バランスの取れた食事提供に感謝する声のほか、おやつについては多様なニーズをうかがわせる声が寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	38	0	2	0
回答者の約95%が「はい」と回答した。特に明確な声は寄せられなかった。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	22	15	3	0
回答者の約54%が「はい」と回答した。延長保育に感謝する声のほか、利用申込み時の対応に一層の向上を期待する声も寄せられた。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	35	5	0	0
回答者の約87%が「はい」と回答した。連絡については、保護者の就業状況による対応の難しさをうかがわせる声が寄せられた。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	23	15	2	0
回答者の約57%が「はい」と回答した。一層の徹底を期待する声が寄せられた。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	23	14	2	1
回答者の約57%が「はい」と回答した。曜日設定に関する多様なニーズをうかがわせる声が寄せられた。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	31	6	3	0
回答者の約77%が「はい」と回答した。一層のコミュニケーションを期待する声も寄せられた。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	30	9	0	1
回答者の約74%が「はい」と回答した。一層のコミュニケーションを期待する声も寄せられた。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	32	6	0	2
回答者の約80%が「はい」と回答した。具体的な事例がないので分からないとの声が寄せられた。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	35	4	0	1
回答者の約87%が「はい」と回答した。十分との声のほか、一層の徹底を期待する声も寄せられた。				

11. 職員の対応は丁寧か	32	5	1	2
回答者の約79%が「はい」と回答した。対応の一層の標準化を期待する声が寄せられた。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	18	12	8	2
回答者の約45%が「はい」と回答した。不満はないとの声のほか、保護者の側の遠慮をうかがわせる声も寄せられた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	21	15	2	2
回答者の約52%が「はい」と回答した。分からない、どちらとも言えないとの声も寄せられた。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	11	1	27	1
回答者の約27%が「はい」と回答した。利用開始時の説明を忘れている方が多いことがうかがえる結果となった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	13	1	0	0
回答者の約93%が「はい」と回答した。特に具体的な声は寄せられなかった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	

評価項目3

重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点（ A ）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝える	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし

カテゴリ1の講評

杉並区の保育理念と園独自の方針

杉並区の保育理念のほかに園独自で定めた園目標があり、杉並区の保育理念を効果的に具体化できるよう取り組んでいる。また、園の方針（大事にしたいこと）を園内に掲示し、この方針を具現化するため各種の取り組みを行っている。さらに、理念、方針を念頭に置きながらチャレンジプランの目標を設定し、この目標を職員とともに達成すべく、職員会議等の打ち合わせ等を行い、職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行っている。

指導層の役割の明確化と前期終了後評価、反省、後期の見直しの流れ

指導層の役割を園運営マニュアルに「事務分担表」として視覚的に明示している。その上で、園長・主査の指導層の役割と責任を分かりやすく明示している。さらに、目標を実現するために、「前期終了後評価→反省、後期の見直し」という流れを確立し、園長が中心となり園運営に取り組んでいる。

各会議仕様と意思決定手順の明確化

「定例会議」「職場会」「夜会議」等各種会議の参加職員、基本日時、内容を園運営マニュアルに明示しており、意思決定の手順を定めている。また、「指導計画」「朝の連絡会」などの手順について、全てマニュアルに明示している。日誌等の記録方法も明示することにより、組織としての決定手順を明確にするとともに、意思決定の過程の透明性の確保を図っている。

2 カテゴリー2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点( A )		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点( A )		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
サブカテゴリー2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点( A )		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

<b>評価項目2</b> ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している			<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している		○非該当
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)		○非該当
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている		○非該当
<b>【A+の取り組み】</b>			○あり ●なし

<b>評価項目3</b> 地域の関係機関との連携を図っている			<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		○非該当
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		○非該当
<b>【A+の取り組み】</b>			○あり ●なし

**カテゴリ-2の講評**

**園庭開放等を通じた保育所機能の還元**  
園庭開放を通じて園の機能を還元している。「平成21年度園庭開放の予定」のチラシを近隣住民に配布するとともに、毎回の開催ごとに、掲示板に明示している。平成21年度も年に7回の開催を予定しており、インフルエンザ等特別な事情がない限り、開催している。また、チラシにはそのほかの行事として、「お楽しみ集会」(年3回程度)や「しのみやひろば」(運動会)の開催についても記載があり、地域の子どもが参加できるゲーム等を準備している。

**地域子育てネットワークを通じた地域との協働**  
地域子育てネットワーク(図書館・児童館・保健センターなど)に参加し、行政連絡会への定期的な参加やネットワーク通信の作成を行うとともに、防災・防犯に関する情報交換、交流事業を、園長・主査等が中心となって園として地域での共通課題の解決に協働している。

**区の担当課と連携したボランティアの受け入れ体制の確立**  
ボランティアや実習生の受け入れについては、「保育実習に関する留意事項」「杉並区における実習生の受け入れ手順」など、区の担当課との連携のもと受け入れ体制を確立している。また、園としてのボランティアの受け入れ方針も確立しており、園児に悪影響を及ぼすようなケースが想定される場合の受け入れを制限することもあるが、毎年、積極的な受け入れを行っている。

カテゴリ-3		
3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリ-1		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		



### カテゴリー3の講評

#### 苦情相談員制度の保護者への周知と、保育課との連携

杉並区保育事業全体として、保健福祉サービスの利用者が提供されるサービスに不満があるとき保健福祉サービス苦情調整委員が、申立者とサービス提供事業者の双方から事情を聴き、公正・中立な立場から問題の解決を図る苦情相談員制度があり、周知している。また、区の保育課へ問い合わせ等があった段階で、三日以内に返答するよう迅速な対応ができるよう心がけている。区の担当者と園長の連携により、迅速かつ的確な対応をするよう体制が構築されている。

#### 保護者の意向を踏まえた園運営

園だよりなどを通じて必ず保護者の感想・意見を求める一文を挿入している。今まで行ったアンケートとして、例えば「しのみやひろば(運動会)」のアンケートでは「お弁当タイムの継続」について意見を求め、その結果を受けて継続することを決定した。また、日程についても近隣小学校の校庭を借りるため、諸関係機関との日程調整をもとに、最大限、保護者の意向を斟酌し、開催の日程を調整した。今後とも、保護者の意見・意向の把握に努め、サービス向上に活用していきたい考えている。

#### 地域関係機関を通じた情報収集

子育て支援に関する地域の協議会(地域子育てネットワーク等)、園長会などを通じて地域の福祉ニーズ、福祉事業全体の動向を把握するとともに、区の担当者と連携して情報の整理・分析を行っている。

カテゴリ4		
4 計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリ1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

評価項目3  
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1  
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-4の講評

区と連携した計画策定

区レベルとして「長期計画」「実施計画」「保健福祉計画」を策定し、担当課レベルでは「杉並区の保育実践方針」を策定中である。同方針については、研修等を通じて多くの職員が学んでいる。園としてもチャレンジプランを通じて実践的な計画策定を行い、課題の明確化や手順が職員に周知されている。また、四宮保育園では調理師もこの保育実践方針の研修会に出席し、園が一体となって、計画の実行のための取り組みを行っている。

チャレンジプランをもとにした計画の効果的実行

チャレンジプランでは「目標→取組計画→評価(中間・年度末)」という流れのもとに計画が効果的に実行できるよう工夫がなされている。この目標のもと取組計画が作成されている。政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の分野ごとに園の目標を掲げ、取組計画が詳細に記載され目標に対し、着実に成果を上げられるような仕組みになっている。

危機管理における区との密接な連携と、園独自のマニュアルによる対応

杉並区の庁内LANによる「ヒヤリハット」の共有があり、他施設の状態も含めて共有できるようになっている。危機管理マニュアルは区保育園全体のものが用意されており、これに加えて、園独自で園運営マニュアルになかにな様々な状況に対応したマニュアルが用意している。事故報告書の書式も整備しており、区の担当課による確認も行われている。

カテゴリ5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点( B )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

区との連携による人材の確保と人員配置

区の保育担当部署と連携して人事制度に関する方針を明示している。組織目標・チャレンジプランにより、部・課の目標にあわせて、係の課題・取組計画を明示し、個人のチャレンジプランを作成している。採用については、正規職員は区が採用し、非常勤等職員については、保育課が必要に応じ採用している。各クラス担当の職員配置は、職員会議等により決定している。

各職員の役割の明示と、意思形成過程のボトムアップ化

職員の役割は「園運営マニュアル」や事務所内に掲示している役割分担表に状況ごとに細かく定めている。また、いくつかの行事の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性の向上に努めている。また、研修については必要なものと思われるものについては自費であつても参加しており、研修内容を報告し他の職員とも共有することにより、職員と組織の能力の向上に努めている。

区の人材マネジメントシステムを中心とした体制

「職員人材育成事業実施計画」をもとにした、職員の育成・評価・報酬が連動した人材マネジメントを行っている。これに合わせ、「私のチャレンジプラン」をもとに各職員の就業状況のヒアリングを行っている。パート職員についても、園長が5月と8月に面談を行い、園独自で作成した「自己のチェックシート」をもとに保育の質の向上のための意識付けを行っている。

7 カテゴリー7		
情報の保護・共有		
サブカテゴリー1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1		評点( A )
事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2		評点( A )
個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

#### カテゴリ7の講評

##### 区による情報の保護・共有の管理と園の情報管理の工夫

区による情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ対策基準によりアクセス権等の設定をしている。また、保管は区のファイリングシステムに従って分類・整理している。園としても、情報の整理とファイルなど文章を使いやすくする工夫をしている。

##### 杉並区個人情報保護条例による情報の保護・共有

杉並区個人情報保護条例により個人情報の利用目的を明示するとともに、個人情報の保護に関する規程を明示している。また、園独自の個人情報マニュアルも整備し、個人情報の適切な利用・保護を図っている。

##### 写真・ビデオ撮影に際しての同意

写真やビデオ映像の撮影に際しては、保護者に対し説明の上、理解を得ている。それらの利用については、区で定めた「画像データ提供申請書」により使用用途を限定し、撮影された園児の保護者の同意を得た上で対応している。

カテゴリー8	
8	カテゴリー1～7に関する活動成果
サブカテゴリー1	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>グループ会議の開催と計画の実行</b> 区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。	
サブカテゴリー2	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>保育実践方針の職員への浸透</b> 策定中の「杉並区の保育実践方針」については研修等でほとんどの職員に「案」の周知が終了し、園としてもチャレンジプランを通じて実践的な計画策定を行い、課題の明確化や手順が職員に周知されてきている。四宮保育園では調理師もこの保育実践方針の研修会に出席し、園が一体となって、杉並の保育の考え方、方法を学び確認が出来てきた。	
サブカテゴリー3	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>延長保育の開始</b> 保護者の就業状況を含む保育環境の変化を踏まえ、延長保育の指定園となった。今年度より、通常の開園時間にお迎えが間に合わない方を対象に最大で1時間延長して保育を提供している。「残業などやむを得ない時、非常に助かっている」との声が寄せられるなど、多様化する保護者のニーズに応える体制が一層整った。	



サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善に向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+  A  B  C

改善の成果

行政改革の実行によるとりくみ

区では行財政改革である「スマートすぎなみ計画」により、計画的に取り組みを進めている。平成20年度から平成22年度の目標としては、①区の事業の6割を共同化・民営化・委託化する、②経常収支比率を80%以下とする、③職員定数を330人削減する、となっている。保育分野に関しては、給食調理・用務の委託や指定管理制度の導入などによるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率向上などの取り組みを進めている。これまでに保育園の指定管理制度を4園に導入、調理・用務業務の委託についても21年度現在で12園で実施している。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+  A  B  C

改善の成果

保護者意向の把握と活用

園便りなどを通じて必ず保護者の感想・意見を求める一文を挿入している。今まで行ったアンケートとして、例えば「しのみやひろば(運動会)」のアンケートでは「お弁当タイムの継続」について意見を求め、その結果を受けて継続することを決定した。また、日程についても近隣小学校の校庭を借りるため、諸関係機関との日程調整をもとに、最大限、保護者の意向を斟酌し、開催の日程を調整した。今後とも、保護者の意見・意向の把握に努め、サービス向上に活用していきたいと考えている。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している		評点( A )
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
サブカテゴリ1の講評		
<p><b>区ホームページによる園概要の紹介</b></p> <p>区ホームページの「施設案内」により、園の概要について網羅的に紹介している。所在地などの基本情報のほか、最寄の駅からの道順案内、園の見取り図(写真入り)、保育目標、対象年齢や職員体制、主な行事などについて、簡潔に説明している。紹介する項目自体は各園共通であるが、特に「保育園の特色」については、環境や活動の様子など、当園らしさについて具体的に分かりやすく紹介している。</p>		
<p><b>園としての情報の発信</b></p> <p>園のしおりには、園の人員体制や保育時間、保育目標、見取り図などの概要のほか、園独自の活動など園の魅力を伝える内容となっている。しおり自体は、入園が決定した際に渡すこととしているが、その他の見学や園庭開放の際の訪問者に対しては、しおりの内容を要約した概要を渡している。</p>		
<p><b>見学・相談への対応</b></p> <p>問い合わせや見学の要望については、園長を対応者として随時応じている。園としては、子どもの動きや様子を見て頂きたいの思いから午前中の見学を一応勧めるが、見学者の希望する時間帯を優先して時間を設定している。寄せられた見学・問い合わせの要望については、保育課では相談項目・年齢別に集計・把握されている。</p>		

サブカテゴリ-2

2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリ-2の講評

入園前の説明

入園児健康診断・面接の機会や入園説明会の場において、園での生活に関する基本事項を説明している。保育理念や園生活の概要、必要な持ち物などについては「しおり」を中心に、災害時の対応や保険制度などについては区発行の各種文書により、説明している。説明に際しては、気をつけて頂きたいことや年間行事予定についても、必要なポイントに絞ってお知らせしている。

個別事情や要望の把握

入園前の面接では、保育時間に関する意向や保育上の留意事項などのほか、健康上の留意事項、慢性疾患、離乳食進度、アレルギー等食物除去などについて、各専門職種の立場から情報を収集・確認し、児童票を中心とする個人記録にまとめている。園としては、「入園面接記録表」を用いて、児童名・住所・保護者名・勤務先・保育時間・備考(保護者の状況や児童の健康状況・アレルギー、病気)など、児童のデータを一目で把握することができるような仕組みを整えている。

入園直後の緊張への対応

「入園までの生活状況」(児童票)で把握した運動遊び、食事、睡眠、排泄、着脱、清潔(歯磨き・入浴)、養育態度などに関する情報を基に、集団生活の開始という環境変化に馴染めるよう配慮している。特に入園当初は、顔なじみになって頂くのが先決との考えから、前期中は5-6人の担当職員がローテーションで担当するなどし、安心して過ごせるように配慮している。

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

サブカテゴリー3の講評

**新たな児童票の活用**

子どもの心身状況や発達状況・家庭状況などは、児童票に記録している。同票については、区内全園にて今年度から書式の見直しが行われ、子どもの成長過程に対する「評価」ではなく、保護者とともに内容を共有し、方向を探っていくためのものに変更された。

**計画の作成と保護者への説明**

クラスごとに年間の指導計画を作成し、それを基に月の指導計画(月案)や週案を立案している。計画は、月・期・年ごとに見直しを行っている。年間計画については保護者会で発達の目安と合わせて計画の内容について、プロジェクターなどを用いて説明している。その他の計画については、園だよりやクラスだよりでねらいやポイントについて説明している。

**子どもに関する情報の共有**

各種会議や打ち合わせでの検討・反省を通じて、計画の内容や子どもに関する記録について、職員間で共有している。申し送り・引き継ぎの際には、「朝夕引継ぎ簿」を活用して、保護者から聞いた内容や担任の気づき(保護者に伝えること)などについて周知を図っている。

サブカテゴリー5

**5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重**

**評価項目1**

子どものプライバシー保護を徹底している

**評点( A )**

<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

**評価項目2**

サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	○非該当
<b>【A+の取り組み】</b> ○あり ●なし		

サブカテゴリ5の講評

プライバシーへの配慮

シャワーの際はシャワーカーテンをかけ、シャワー後はタオルを巻いて保育室に戻るようするなど、外部の目から保護している。また、おむつ交換の場所には目隠し用の仕切りを設置したり、トイレのドア閉めを習慣づけられるよう声かけを行うなど、羞恥心への配慮を日常的に行っている。

日常的な振り返り

「自己チェックシート」を活用し、子どもに対する言動を始め、業務や組織運営上の留意事項などについて各職員が気をつけていくことを項目立て、毎月確認している。特に子どもとも関わりでは、「名前を呼び捨てにしているませんか」「声の大きさに気をつけて保育をしていますか」「裸のままにいませんか」「大きな声で怒っていませんか」「排泄の始末は決められた場所でしていますか」「傷つける言葉を使っていますか」といった観点から、各自の振り返りを促している。

サブカテゴリ6

6 事業所業務の標準化

**評価項目1**

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	○非該当
●あり ○なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	○非該当
●あり ○なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
<b>【A+の取り組み】</b> ○あり ●なし		

<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
<b>評価項目3</b> さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリ6の講評		
<b>独自マニュアルの策定と活用</b> 区で定めた「危機管理マニュアル」のほか、園として「平成21年度確認事項」を定めている。保育目標・組織目標を明示した上で、「業務マニュアル」として記録の取り扱いや係分担、朝・夕・延長保育職員の動き、ボランティア受け入れ、地域交流、地域支援などの各業務の内容・手順・留意事項を網羅的に明示している。		
<b>職員や保護者の提案・意向を踏まえた業務内容や手順の見直し</b> 業務内容や手順については、年度末および必要に応じて随時見直しを行っている。見直しにあたっては、職員の提案や意見、「ご意見箱」を通じた保護者の要望など踏まえ、会議で検討し反映させている。職員の提案は、散歩マニュアルの作成や散歩ルートの統一化、朝夕引継ぎ簿の作成など、実際の業務内容の見直しに結びついている。		
<b>研修機会の提供</b> 東京都社会福祉協議会や特別区、母子保健センターなどの関係機関が主催する研修については、随時案内し職員に周知している。区の主催する研修については、杉並の保育実践方針(案)を始め、子どもの発達に関連した研修が開かれており、園としても参加を奨励し個々のスキルアップを図っている。		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし			
評価項目1の講評			
<p><b>自主性・自発性の促進</b>                  遊びの中での歩行の完成、見通しの良い環境設定によるかみつきやひっかきの防止、子どもが片付けやすいような置き場所の工夫、継続遊びができる玩具の設定など、自主性や自発性の発揮を促す環境設定や保育の進め方を検討し実施している。園庭には、ブランコ・太鼓橋・登り棒・鉄棒・砂場・お家・ドラム缶・マルチパーツ・タイヤ等を配置している。園内研修を活かし、園庭遊具の配置図に基づき、戸外遊びの充実に取り組んでいる。</p> <p><b>独自マニュアルによる散歩の実施</b>                  散歩については、区の危機管理マニュアルを基に修正を加え、独自マニュアルを整備している。散歩が安全で有意義なものとなるよう、ルートや各散歩先の特徴(遊具・距離・公園紹介・危険箇所)をまとめている。実施の際は、「気分転換を図る」「交代で歩く」「馬を見る」など、その時々でねらいを設定し、取り組んでいる。</p> <p><b>特性を踏まえた保育実践への取り組み</b>                  一人ひとりの特性を踏まえた保育を一層充実させていくために、心理職の巡回相談を活用している。保育者は、日頃の観察に基づく気づきや対応方法について相談し、それを踏まえて一人ひとりの発達過程にあった関わり方を実践している。</p>			



2	<b>評価項目2</b> 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	○非該当
	●あり ○なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	○非該当	
【A+の取り組み】		○あり ●なし	
評価項目2の講評			
<b>食事を楽しむ工夫</b> 区立保育園共通の献立表に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供できる体制にある。誕生日の際はランチ皿を用いたり、行事の際は、通常の献立を基本としつつ、見た目にもより楽しめるものとなるよう工夫している。食育という観点から、秋刀魚を三枚におろす場面を見たり、おにぎり作りを体験したり、栄養士を中心として食材の紹介を行うなど、子どもが食材に触れ、理解する体験ができるようにしている。  <b>アレルギーへの配慮</b> 食物アレルギーのある子どもに対しては、提供する食事内容について個別に配慮している。事前に除去用献立表を保護者に配布し、それを基に確認し、食事提供時は別トレーで配食している。要所所で職員が確認し連携を取り、誤食の発生を防止している。  <b>穏やかな雰囲気の中での食事</b> 食事の際は、落ち着いて食事をとることができるような座席の場所、テーブルメンバー、保育士のつく位置などに配慮している。テーブルに季節の花を飾り、食事の時間が楽しくなるような工夫をしている。			
3	<b>評価項目3</b> 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	○非該当
	●あり ○なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし	

評価項目3の講評

定期健診の実施

毎日の視診による健康状態の把握のほか、毎月の身体測定、年2回の健康診断、歯科・眼科・耳鼻科の各健診、ぎょう虫卵検査などの結果を、各園共通の児童票や健康カードに記録している。週に1度は、園医の巡回による健康診断も行われている。

健康・衛生管理

乳児クラスについては、乳幼児突然死症候群の発生防止のために、午睡チェック表により定期的に呼吸の確認を行っている。感染症予防の見地から、感染性胃腸炎や新型インフルエンザへの対応マニュアル(保育課作成)を整備している。また、各クラスに使い捨てエプロンや手袋を備え、処理の徹底を図っている。年間指導計画に基づき、看護師が手洗いうがいなどの保健指導を行っている。薬の処置が必要な子どもに対しては、与薬申込み書の手順に従って対応している。

保護者に対する情報提供

区役所や保健所などの関係機関から提供されるポスターやチラシ、園の保健だよりなどの掲示・配布などにより、感染症に関する情報を保護者に伝達している。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点( A )

4

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4の講評

年間計画に基づく多彩な行事の実施

年間行事計画に基づき、多彩な行事を実施している。プラネタリウム見学、笹送り、運動会、交通安全教室、しまいの会、節分、ひな祭り会など、季節や目的に応じて子どもが楽しめる場面を設定している。誕生日には、写真や保護者・担任のメッセージの載せた誕生カードとともに、園長からバッジをプレゼントしている

清潔で快適な保育環境の維持

たたみコーナーや寛げる空間の設定を始め、5才保育室とホールの使い方について、「どのような使い方が子どもたちにとって良いと思いますか」と題して各職員から意見や提案を募って検討するなど、子どもにとって望ましい保育環境の実現に取り組んでいる。

個別状況に応じた午睡時間の設定

1・2歳児クラスについては、落ち着いて眠ることができるよう場所を固定している。午前睡が必要な場合は、個別に対応している。幼児クラスについては、年齢に合わせた場所に布団を敷くなど配慮している。子どもの状況に応じて午前睡や夕方寝にも対応している。

5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目5の講評			
<p><b>保育参加・参観の促進</b>          保育参観・参加は、基本的にいつでも可能としている。その上で、面談と保育参加を同日で行うなど、保護者の訪問を促進している。日程については、保護者の都合を踏まえながら設定している。</p> <p><b>貼り出し日誌の積極的な活用</b>          園だより、クラスだよりなどにより、園での子どもの生活の様子や成長ぶりについて保護者に情報を提供している。リアルタイムの情報提供という点では、貼り出し日誌を積極的に活用している。写真を取り入れたり園児の名前を記載するなど、保護者が関心を示し、楽しんで読んでもらえるような内容にしており、実際に保護者との会話のきっかけになったりするなど、保護者の側にも日誌を見る習慣が出来てきている。</p> <p><b>意見や相談への対応</b>          朝夕の送迎時の対話を大事にしつつ、そこでの対応が難しい場合は、別の日程を設けてじっくりと対応している。相談の内容により、緊急性を要する場合は、クラスに応援職員が入り担当が抜け、迅速に面談を実施するようにしている。寄せられた相談内容については、全職員に周知し、共有している。また、乳児の連絡帳とは別に、幼児についても、特に朝夕会えない方を対象に家庭連絡用のノートを活用している。「会話は苦手だか文章なら」という方の利用もある。</p>			
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
	●あり ○なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目6の講評		
<p><b>虐待に関する意識の向上</b> 職員は、区主催のもののほか、虐待防止を含む様々なテーマの各種研修に参加している。園内では、研修受講者による報告を通して、職員への意識付けや浸透を図っている。</p>		
<p><b>虐待対応のしくみ</b> 虐待の疑い、あるいは、虐待の事実を把握をした際の対応手順は、区の危機管理マニュアルにより明確に定められている。情報を得た際は、主管課である保育課を通じて子ども家庭支援センターや児童相談所などと連携して対処する体制にある。</p>		
7	<p>評価項目7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている</p>	
	<p>評点( A )</p>	
	評価	標準項目
	<p>●あり ○なし</p>	<p>1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している</p>
	<p>○非該当</p>	<p>2. 保育所の活動や行事に地域の人々の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している</p>
<p>●あり ○なし</p>	<p>○非該当</p>	
<p>【A+の取り組み】 ○あり ●なし</p>		
<p>評価項目7の講評</p>		
<p><b>保護者への地域情報の提供</b> 児童館や図書館のお知らせほか、予防接種に関するポスターや各種広報誌の掲示、パンフレットの設置などにより、地域の様々な情報を保護者に提供している。</p>		
<p><b>子どもと他者とのつながりの創出</b> 運動会や園庭解放、お楽しみ集会へ地域の方々の参加を促している。敬老館の利用者や消防訓練時の消防士、交通安全教室の際の警察官、読み聞かせや手品のボランティア、実習生など、地域との連携を活かした取り組みにより、子どもの活動の幅を広げている。</p>		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	広い園庭を活かし園庭開放を通じて、保育所の機能を還元している
	内容	広い園庭を活かし園庭開放を通じて園の機能を還元している。「平成21年度園庭開放の予定」のチラシを近隣住民に配布するとともに、毎回の開催ごとに、掲示板に明示している。平成21年度も年に7回の開催を予定しており、インフルエンザ等特別な事情がない限り、開催している。また、チラシにはその他の行事として、「お楽しみ集会」(年3回程度)や「しのみやひろば」(運動会)の開催についても記載があり、地域の子どもが参加できるゲーム等を準備している。
2	タイトル	職員集団の問題解決に対する理解と意欲
	内容	区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。また、経験豊富な職員が多いためバランスの良い園運営が出来ている。
3	タイトル	貼り出し日誌を活用した積極的な情報提供
	内容	園日より、クラスだよりなどにより、園での子供の生活の様子や成長ぶりについて保護者に情報を提供している。特にリアルタイムの情報提供という点では、貼り出し日誌を積極的に活用している。写真を取り入れたり園児の名前を記載するなど、保護者が関心を示し、楽しんで読んでもらえるような内容にしており、実際に保護者との会話のきっかけになったりするなど、保護者の側にも日誌を見る習慣が出来てきている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	施設の老朽化への対応
	内容	建物の築年数の経過とともに施設の老朽化も進み、様々な不具合が表出することがある。園としては、職員による工夫により補っているが、それだけでは難しい場面も出てきている。今後とも、保護者の要望を踏まえ、主管課とともに可能な範囲で改善に努めていきたいと考えている。
2	タイトル	計画の実行のための職員の就業環境作り
	内容	策定中の「杉並区の保育実践方針」については、職員に周知されてきている。今後は、園の方針を職員ごとに理解が違うというのではなく、共通の理解に立ち、その上で計画の実行を行いたいと考えている。このため、園内での勉強会の充実、打ち合わせ時間の捻出と計画の実行のための職員の就業環境作りを進めたいと考えている。現状では、インフルエンザの対応等の業務に終われ、昼休みも取れない状況がある。保育課と相談し、職員の就業環境のシステム全体の改善を含めた対応を行いたいと考えている。
3	タイトル	現場保育士に対するケア
	内容	問題を抱えた保護者への対応に時間と労力をかける状態が増加傾向にある。そのため、保育の一層の向上に努力したいと思いつつも、時間的にも精神的にもあまりゆとりがなく、現場の保育士が精神的に追い込まれているケースも出てきている。上記2の就業環境作りとも関連するが、保育課と連携し、現場保育士を支える取り組みの充実を図っていきたいと考えている。

# 和泉保育園

---

調査対象

複数児利用世帯は最低年齢児1人を対象として実施世帯数を絞り、49帯から有効回答を得た。

調査方法

アンケート調査票の配付は保育園を通じて保護者へ手渡し、回収は保護者から評価機関へ直接郵送する方法を採用した。

利用者総数

62

共通評価項目による調査対象者数

62

共通評価項目による調査の有効回答者数

49

利用者総数に対する回答者割合(%)

79.0

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想として、「大変満足」が57%、「満足」が39%、合わせて96%という結果となった。最も高い満足度が示されたのは「子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分であるか」についてで、96%の方が「はい」と回答した。これに対し、「外部の相談窓口にも相談できることを知っているか」については、「はい」は49%にとどまり、「いいえ」との回答が41%となった。

## 利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	46	2	1	0
回答者の約94%が「はい」と回答した。アレルギーに対する配慮、食に関心を持たせるための工夫、安全、栄養バランス、完食する喜びを味わわせるための工夫などに感謝する声が寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	45	3	1	0
回答者の約92%が「はい」と回答した。充実した活動に感謝する声が寄せられた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	44	4	1	0
回答者の約90%が「はい」と回答した。土曜日保育や延長保育の実施に感謝する声が寄せられた。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	47	1	1	0
回答者の約96%が「はい」と回答した。早めの連絡、丁寧な対応に感謝する声が寄せられた。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	40	9	0	0
回答者の約82%が「はい」と回答した。目配りや訓練、努力に感謝する声が寄せられた。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	31	15	2	1
回答者の約63%が「はい」と回答した。曜日設定に関する多様なニーズをうかがわせる声が寄せられた。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	45	4	0	0
回答者の約92%が「はい」と回答した。気軽に相談できる関係や連絡帳によるこまめな報告、親身な対応、積極的にコミュニケーションをとる姿勢などに感謝する声が寄せられた。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	45	4	0	0
回答者の約92%が「はい」と回答した。話しやすい機会を作ってくれることに感謝する声などが寄せられた。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	40	7	1	1
回答者の約82%が「はい」と回答した。一層の徹底を期待する声も寄せられた。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	45	4	0	0
回答者の約92%が「はい」と回答した。職員全体で大切にしてくれているとの声も寄せられた。				



11. 職員の対応は丁寧か	42	6	1	0
回答者の約86%が「はい」と回答した。徹底された挨拶や礼儀に感謝する声も寄せられた。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	33	15	1	0
回答者の67%が「はい」と回答した。話しやすい雰囲気作りのお陰で言いやすいとの声のほか、保護者の側の遠慮をうかがわせる声も寄せられた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	38	10	1	0
回答者の約78%が「はい」と回答した。親身で柔軟な対応に感謝する声が寄せられた。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	24	5	20	0
回答者の約49%が「はい」と回答した。利用開始時の説明を忘れている方が多いことがうかがえる結果となった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	19	3	2	0
回答者の約79%が「はい」と回答した。一層の詳細な説明を期待する声も寄せられた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	

<b>評価項目3</b> 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点（ A ）
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝える	○非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
○あり ●なし		
カテゴリー1の講評		
<b>杉並区の保育理念と園独自の方針</b> 杉並区の保育理念の他に園独自で定めた園目標があり、杉並区の保育理念を効果的に具体化できるよう取り組んでいる。また、理念を念頭に置きながらチャレンジプランの目標を設定し、この目標を職員とともに達成すべく、職員会議等の打ち合わせ等を行い、日常的、定期的に言及し、職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行っている。		
<b>指導層の役割の明確化と前期終了後評価、反省、後期の見直しの流れ</b> 指導層の立場を園運営マニュアルの分担表に視覚的に明示している。この上で、園長・主査の指導層は計画的に行動している。毎月の保育計画と反省を行ったり、プロジェクトチームのメンバー編成を決定して園運営を行っている。さらに、目標を実現するために、「前期終了後評価→反省、後期の見直し」という流れを確立し、指導層が中心となり園運営に取り組んでいる。		
<b>各会議仕様と意思決定手順の明確化</b> 各種会議の参加職員、基本日時、内容を園運営マニュアルに明示していて、意思決定の手順を定めている。保護者に対しては重要案件について、文章や掲示等で周知している。また、回覧チェック表を整備し、伝達漏れのないようにチェックを行っている。		

2 カテゴリー2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリー2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

<b>評価項目2</b> ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○非該当
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

<b>評価項目3</b> 地域の関係機関との連携を図っている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

カテゴリ-2の講評

**ふれあい保育等を通じた保育所機能の還元**

ふれあい保育とは、区立保育園で保育園生活を体験する中で、保育士や看護師、調理職員のアドバイスを受けながら、保護者の子育てに対する悩みや不安を解消し、子どもの健やかな成長を支援する制度で、杉並区全体で取り組んでいる。また、園庭開放を積極的に行い、この園庭開放の機会を利用、園の概要のチラシ等を配布し、地域への透明性を高めている。また、園庭開放時に、職員から園庭開放を利用している人々に積極的に声がけを行い、相談に応じている。

**地域との積極的な協働**

ネットワーク会議に参加することで、各自治会長や児童委員、民生委員の方と知り合うことにより地域の行事において乳幼児の遊びの提供や子育て相談等で保育経験の区民への還元ができる。また、各団体や行政連絡会(小・中学校、児童館、保健センター)と連携をとることにより、地域の子育てに貢献できる機会が増えている。

**区の担当課と連携したボランティアの受け入れ体制の確立**

ボランティアや実習生の受け入れについては、「保育実習に関する留意事項」「杉並区における実習生の受け入れ手順」など、区の担当課との連携のもと受け入れ体制を確立している。また、中高生の体験学習やボランティアを積極的に受け入れている。さらに、「おはなしのポケット」(絵本の読み聞かせやお話語り)や「銀の会」(お年寄りとの触れあいタイム)など、地域の方々との交流を大切にしている。

3 カテゴリー3		
利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリー1		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		
<b>評価項目1</b> 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)		<b>評点( A )</b>
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b> <span style="float: right;"><input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし</span>		
<b>評価項目2</b> 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる		<b>評点( A )</b>
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b> <span style="float: right;"><input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし</span>		
<b>評価項目3</b> 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している		<b>評点( A )</b>
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b> <span style="float: right;"><input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし</span>		

### カテゴリー3の講評

#### 苦情相談員制度の保護者への周知と、保育課との連携

杉並区保育事業全体として、保健福祉サービスの利用者が提供されるサービスに不満があるとき保健福祉サービス苦情調整委員が、申立者とサービス提供事業者の双方から事情を聴き、公正・中立な立場から問題の解決を図る苦情相談員制度があり、周知している。また、区の保育課へ問い合わせ等があった段階で、三日以内に返答するよう迅速な対応ができるよう心がけている。区の担当者と園長の連携により、迅速かつ的確な対応をするよう体制が構築されている。

#### 保護者の意向の把握と活用

各職員が保護者の要望等をきめ細やかに吸い上げ、問題に対して職員会議等で把握し、対応している。この他、行事後にはアンケートをとり、随時保護者の声を吸い上げ、その結果を保護者に返している。また、検討の必要な項目に関しては職員会議で話し合い、次年度に活かすようにしている。以前の運動会のアンケートでは、雨天により狭い児童館ホールでの開催になったため、乳児が不参加になった。その後、アンケートから子どもたちにとっての運動会の意義について検討し、近隣小学校の体育館を利用できるようにした。

#### 地域関係機関を通じた情報収集

子育て支援に関する地域の協議会（地域子育てネットワーク等）や園長会などを通じて、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を把握するとともに、区の担当者と連携して情報の整理・分析を行っている。

カテゴリ4		
4 計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリ1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		



評価項目3  
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリー2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1  
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリー4の講評

区と連携した計画策定

区レベルとして「長期計画」「実施計画」「保健福祉計画」を策定し、担当課レベルでは「杉並区の保育実践方針」を策定中である。同方針については、研修等を通じて多くの職員が学んでいる。園としてもチャレンジプランを通じて実践的な計画策定を行い、課題の明確化や手順が職員に周知されている。

チャレンジプランをもとにした計画の効果的実行

チャレンジプランでは「目標→取組計画→評価(中間・年度末)」という流れのもとに計画が効果的に実行できるよう工夫がなされている。この目標のもと取組計画が作成されている。政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の分野ごとに園の目標を掲げ、取組計画が詳細に記載され目標に対し、着実に成果を上げられるような仕組みになっている。

危機管理における区との密接な連携と、園独自のマニュアルによる対応

杉並区の庁内LANにより、他施設の「ヒヤリハット」についても内容を共有している。区の危機管理マニュアルのほか、園独自でも緊急時の対応方法を明示している。事故報告書の書式も整備し、区の担当課による確認も行われている。ヒヤリハットの記録・分析には、従来から「ヒヤリハットノート」を活用してきた。今年度は、新たに「ヒヤリハット報告シート」を活用し、事故につながりやすい事例について、原因や実施した(もしくは考えられる)改善策を各職員に検討させるなど、各職員が一層安全性に配慮した保育を行えるような仕組みを整えている。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点( B )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

区との連携による人材の確保と人員配置

区の保育担当部署と連携して人事制度に関する方針を明示している。組織目標・チャレンジプランにより、部・課の目標にあわせて、係の課題・取組計画を明示し、個人のチャレンジプランを作成している。採用については、正規職員は区が採用し、非常勤等職員については、保育課が必要に応じ採用している。各歳児担当の職員配置は、職員会議等により決定している。

「保育の向上を考えるリーダー」の選出と職員の能力向上

保育課を中心とする取組目として「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。園運営の流れの合理化と役割分担も機能し、経営層の意思の浸透と職場全体の意思統一の強化もなされてきている。個々の職員の能力や得意分野を活かしながらバランスの良い園運営が出来つつある。

区の人材マネジメントシステムを中心とした体制

「職員人材育成事業実施計画」をもとにした、職員の育成・評価・報酬が連動した人材マネジメントを行っている。これにあわせ、「私のチャレンジプラン」をもとに各職員の就業状況のヒアリングを行っている。

7 カテゴリー7		
情報の保護・共有		
サブカテゴリー1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
<b>評価項目1</b> 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		<b>評点( A )</b>
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
<b>評価項目2</b> 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		<b>評点( A )</b>
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし

#### カテゴリ7の講評

##### 区による情報の保護・共有の管理と園の情報管理の工夫

区による情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ対策基準によりアクセス権等の設定をしている。また、保管は区のファイリングシステムに従って分類・整理している。園としても、情報の整理とファイルなど文章を使いやすくする工夫をしている。

##### 杉並区個人情報保護条例による情報の保護・共有

杉並区個人情報保護条例により個人情報の利用目的を明示するとともに、個人情報の保護に関する規程を明示している。また、園独自の個人情報マニュアルも整備し、個人情報の適切な利用・保護を図っている。

##### 写真・ビデオ撮影に際しての同意

写真やビデオ映像の撮影に際しては、保護者に対し説明の上、理解を得ている。それらの利用については、区で定めた「画像データ提供申請書」により使用用途を限定し、撮影された園児の保護者の同意を得た上で対応している。

カテゴリー8	
8 カテゴリー1～7に関する活動成果	
サブカテゴリー1	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>グループ会議の開催と計画の実行</b> 保育課を中心とする取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。	
サブカテゴリー2	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>チャレンジプランの活用</b> 園のチャレンジプランと職員のチャレンジプランを有効にリンクさせることにより、効果的に職員と組織の能力向上ができるようになってきた。職員のチャレンジプランでは、園長とのヒアリングで確認、個人の意識が高まるとともに、園のチャレンジプランとリンクさせることにより、園全体の意識が高まるようなシステムが出来ている。このなかで、「子ども達により良い環境」を実現すべく「笑顔とお花いっぱい保育園」を目指し、職員の挨拶や環境設定づくりがレベルアップし定着するなど、職員の能力向上が進んでいる。	
サブカテゴリー3	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>安全の確保・向上に向けた取り組み</b> 事故につながりやすい事例が発生した場合の記録・分析は、従来から「ヒヤリハットノート」を活用して行ってきた。今年度は、各職員が一層安全性に配慮した保育を行えるよう、「ヒヤリハット報告シート」を採用し活用している。同シートは、事故につながりやすい事例について、原因や実施した(もしくは考えられる)改善策を各人に考えさせる内容となっている。	

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善に向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+  A  B  C

改善の成果

行政改革の実行による取り組み

区では行財政改革である「スマートすぎなみ計画」により、計画的に取り組みを進めている。平成20年度から平成22年度の目標としては、①区の事業の6割を共同化・民営化・委託化する、②経常収支比率を80%以下とする、③職員定数を330人削減する、となっている。保育分野に関しては、給食調理・用務の委託や指定管理制度の導入などによるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率向上などの取り組みを進めている。これまでに保育園の指定管理制度を4園に導入、調理・用務業務の委託についても21年度現在で12園で実施している。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+  A  B  C

改善の成果

「挨拶にひとこと添えて」という考えをもとにした保護者意向の把握

「挨拶にひとこと添えて」という考えのもと、保護者とのコミュニケーションを日々深めることで情報を掴んだり、大きな行事のたびにアンケートをとり、保護者の意向を把握している。子どものことばかりでなく、保護者や子育ての中の地域の人の思いや要望を把握できたり、情報交換が出来るようになった。そのような交流の成果として、園に対する保護者への評価が、アンケートからも分かるように非常に高いものになっている。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している		評点( A )
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
サブカテゴリ1の講評		
<p><b>区ホームページによる園概要の紹介</b></p> <p>区ホームページの「施設案内」により、園の概要について網羅的に紹介している。所在地などの基本情報のほか、最寄の駅からの道順案内、園の見取り図(写真入り)、保育目標、対象年齢や職員体制、主な行事などについて、簡潔に説明している。紹介する項目自体は各園共通であるが、特に「保育園の特色」については、環境や活動の様子など、当園らしさについて具体的に分かりやすく紹介している。</p>		
<p><b>園としての情報の発信</b></p> <p>園のしおりは、人員体制や保育時間、保育目標、見取り図などの概要のほか、ボランティアの受け入れや地域の方々との交流など園独自の活動紹介を織り交ぜ、園の特徴を簡潔に伝える内容となっている。しおり自体は、入園内定者のみに渡すこととしているが、その他の見学や園庭開放の際の訪問者に対しては、しおりの内容を要約した施設概要を渡している。</p>		
<p><b>見学・相談への対応</b></p> <p>問い合わせや見学の要望については、希望日を聞いた上で、園長および主査を対応者として随時応じている。対応時は、園のしおりをもとに、園舎や園庭を案内している。寄せられた見学・問い合わせの要望については、保育課では相談項目・年齢別に集計・把握されている。</p>		



サブカテゴリ-2		
2 サービスの開始・終了時の対応		
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリ-2の講評		
<b>入園前の説明</b> 入園児健康診断・面接の機会や入園説明会の場において、園での生活に関する基本事項を説明している。保育理念や園生活の概要、年間行事計画のほか、必要な持ち物などについては「しおり」を中心に、災害時の対応や保険制度などについては区発行の各種文書により、説明している。		
<b>個別事情や要望の把握</b> 入園前の面接では、保育時間に関する意向や保育上の留意事項などのほか、健康上の留意事項、慢性疾患、離乳食進度、アレルギー等食物除去などについて、各専門職種立場から情報を収集・確認し、児童票を中心とする個人記録にまとめている。		
<b>入園直後の緊張への対応</b> 「入園までの生活状況」(児童票)で把握した運動遊び、食事、睡眠、排泄、着脱、清潔(歯磨き・入浴)、養育態度などに関する情報を基に、集団生活の開始という環境変化に馴染めるよう配慮している。特に入園当初は他人の中での生活に不安になることもあるので、各家庭の就労状況や集団保育の経験の有無などを考慮しつつ、担当保育士や主査、フリーの保育士など体制に厚みを持たせて対応している。また、入園初日から数日間は親子で数時間過ごして徐々に通常の保育時間に順応できるよう、配慮している。		

## サブカテゴリ-3

## 3 個別状況に応じた計画策定・記録

## 評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

## 評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

## 評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

サブカテゴリー3の講評

**新たな児童票の活用**

子どもの心身状況の発達状況・家庭状況などは、児童票に記録されている。同票については、区内全園にて今年度から書式の見直しが行われ、子どもの成長過程に対する「評価」ではなく、保護者とともに内容を共有し、方向を探っていくためのものに変更された。

**計画の作成と保護者への説明**

クラスごとに年間の指導計画を作成し、それを基に月の指導計画(月案)や週案を立案している。計画は、月・期・年ごとに見直しを行っている。年間計画については保護者会で配布・説明し、その他の計画については、園だよりやクラスだよりでその時期の保育のポイントを説明している。個人の計画については、直接内容を説明している。

**子どもに関する情報の共有**

朝夕保育時の申し送りや引継ぎには、「職員体制ノート」や会議録を用いて伝達事項の共有化を図っている。毎日の会議である「体制打ち合わせ」にはクラスの代表者が出席し、打ち合わせの内容を各クラスに伝達している。欠席者を含む全員への連絡事項の周知という意味では、「回覧シート」を活用して会議録を3日以内に確認することが習慣化している。

サブカテゴリー5

**5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重**

**評価項目1**

子どものプライバシー保護を徹底している

**評点( A )**

<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

<b>評価項目2</b> サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している			<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<b>【A+の取り組み】</b>			<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし

サブカテゴリ5の講評

**プライバシーへの配慮**  
 子どもの情報を他機関との間でやり取りする場合は、原則として保護者の同意を得ている。オムツ替えやお漏らし、プール遊びなどの着替えの際は、衝立やよしずなどで目隠しをしている。

**日常的な振り返り**  
 児童憲章や保育理念をもとに保育目標を立て、指導計画を作成している。新保育指針が出た段階で読み合わせを行い、今後どんなことを行っていかなければならないのかを内部で検討し、確認した。月の指導計画を検討する際、日常の保育のあり方や職員の言動・関わり方を振り返るなど、子どもの尊厳を守っているか相互に確認し、より良い対応方法を検討している。今後、より一層プライバシーの保護や人権に関する意識を高め合えるよう、提案、話し合い、検討、実践という過程を継続していきたいと考えている。

サブカテゴリ6

**6 事業所業務の標準化**

<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている			<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
<b>【A+の取り組み】</b>			<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし

<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
<b>評価項目3</b> さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
<b>サブカテゴリ6の講評</b>		
<b>独自マニュアルの策定と活用</b> 区で定めたものとは別に、「保育マニュアル」を策定している。保育の理念やビジョン、基本、方針、目標、園の目指す子どもの姿などを明示した上で、保育者の配慮、保育中の緊急対応、保護者対応、散歩などといった保育に関する各業務の内容を明確化している。マニュアルには分かりやすい目次を設け、実際に現場で活用されることを想定した編集をしている。		
<b>職員や保護者の提案・意向を踏まえた業務内容や手順の見直し</b> マニュアルは、日常業務の点検にも活用し、半期や年度末の反省時に見直しを行っている。職員の声は各種会議での意見・提案を踏まえて、保護者の意向は保護者会やアンケートのほか、連絡帳や日々の会話などを通じて収集した上で、業務の改善につなげている。		
<b>研修機会の提供</b> 東京都社会福祉協議会や特別区、母子保健センターなどの関係機関が主催する研修については、随時案内し職員に周知している。区の主催する研修については、杉並の保育実践方針(案)を始め、子どもの発達に関連した研修が開かれており、園としても参加を奨励し個々のスキルアップを図っている。園内では、特に各職員が安全性に配慮した保育を行えるよう、「ヒヤリハット報告シート」を活用している。安全管理の充実に向けて、応急手当や救急法の研修を受けている。固定遊具の安全な使い方についても、会議で検討している。		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
評価項目1の講評			
<p><b>自主性・自発性の促進</b>                  室内では、各保育室にコーナーを設け、好きな遊びを見つけ熱中できるように配慮している。園庭には、創造性が育まれる可動遊具や固定遊具を配置している。子ども自身が何をしたいのか考え、自発的に取り組めるよう遊具の検討を行い、環境設定に力を入れている。</p> <p><b>表現活動・園外活動の実施</b>                  個々の発達状況やクラス年齢に合わせて、様々な表現活動を行ったり、遊びの中で自由に描いたり作ったりして表現できるようにしている。活動は目的を明確にして取り組んでおり、リズム運動で反射神経を培ったり、活動の中で四肢の力を鍛えたりしている。異年齢交流を通して思いやりの心を育てている。散歩は、「外気浴」「四季の移り変わりを楽しむ」「手をつないで歩く」「交通ルールを知る」など、ねらいを明確にした上で、日常の中で随時実施している。</p> <p><b>特性を踏まえた保育実践への取り組み</b>                  一人ひとりの特性を踏まえた保育を一層充実させていくために、心理職の巡回相談を活用している。保育者は、日頃の観察に基づく気づきや対応方法について相談し、それを踏まえて一人ひとりの発達過程にあった関わり方を実践している。</p>			

2	<b>評価項目2</b> 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input type="radio"/> 非該当	
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
<b>評価項目2の講評</b>			
<b>食事を楽しむ工夫</b> 区立保育園共通の献立表に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供できる体制にある。かつお節や昆布などから出汁をとって調理を行うなど、素材を活かした給食となっている。季節や園の行事に合わせて行事食を実施している。今年度より調理業務を民間委託したが、日々味わう子どもにも、保護者会で試食した保護者にも好評である。			
<b>アレルギーへの配慮</b> 食物アレルギーのある子どもに対しては、提供する食事内容について個別に配慮している。事前に除去用献立表を保護者に配布してアレルギーチェックをしてもらい、それを基に園で再確認し、食事提供時は別トレーで配食している。要所要所で職員が口頭で確認し連携を取り、誤食の発生を防止している。			
<b>食育活動</b> 年度初めに「食育の取り組み年間計画」を策定している。各年齢に応じたねらいや必要な配慮を定め、ソラマメのさやむきやたまねぎの皮むき、おにぎり作りなどを行う体験を通して、子どもが食材に触れ、理解し、食に対する関心を育んでいる。			
3	<b>評価項目3</b> 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	

評価項目3の講評

定期健診の実施

毎日の視診による健康状態の把握のほか、毎月の身体測定、年2回の健康診断、歯科・眼科・耳鼻科の各健診、ぎょう虫卵検査などの結果を、各園共通の児童票や健康カードに記録している。

健康・衛生管理

乳児クラスについては、乳幼児突然死症候群の発生防止のために、午睡チェック表により定期的に呼吸の確認を行っている。感染症予防の見地から、感染性胃腸炎や新型インフルエンザへの対応マニュアル(保育課作成)を整備している。薬の処置が必要な子どもに対しては、与薬申込書に従って対応している。

保護者に対する情報提供

区役所や保健所などの関係機関から提供されるポスターやチラシ、園の保健だよりなどの掲示・配布などにより、感染症に関する情報を保護者に伝達している。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点( A )

4

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4の講評

年間計画に基づく多彩な行事の実施

年間行事計画に基づき、多彩な行事を実施している。プール遊び、夏祭り、運動会、節分など、季節や目的に応じて子どもが楽しめる場面を設定している。その他、「手品のおじさん」「おもちゃであそぼう」「ひなまつりお茶会」など、ボランティアの協力を得て実施している。お茶会では、年長クラスの子がお茶運びや畳の上に座ってお辞儀するなどの体験をしている。

清潔で快適な保育環境の維持

長時間保育の子どもが増えているので、穏やかに安心して過ごせるよう各クラスにコーナーを設け、分散して遊ぶことができるよう工夫している。常に清潔を保ち、保護者や子どもが目にしやすいところに花を飾るなど、快適な環境作りに日々取り組んでいる。花植え、栽培管理、花摘みなどを行うボランティアの方の協力もあり、園は花に溢れている。

午睡時間の設定

静かで落ち着け、程よい暗さの環境を整え、自然に午睡できるようにしている。午睡から早く目覚めた子どもについては、落ち着ける場所でゆったりと遊べるように工夫している。



5	<b>評価項目5</b> 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		<b>評点( A+ )</b>
	<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当	
<b>【A+の取り組み】</b>		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	
<b>■子育ての共有化を図るための実践的な取り組み■</b> 子どもの発達の捉え方について、園と保護者との間で共有化を図っていくために、「保護者と保育園との子育て記録」を作成し活用している。「主な発達のあらわれ」の項目をもとにして、健康生活・情緒社会・言語・運動・興味認識などの項目に分類し、それぞれについて家庭での様子と園での様子を記入し、面談時にも活用している。園と保護者が発達段階を確認し合う良い機会となり、共に考えていくための基盤が整った。			
<b>評価項目5の講評</b>			
<b>保育参加・参観の促進</b> 保育参観・参加は、基本的にいつでも可能としている。その上で、参観と面談を組み合わせたり、積極的に声をかけるなど、保護者の訪問を促進している。 春秋の保護者会の日程についても年度当初に案内し、保護者が都合をつけやすいように配慮している。			
<b>日常的な情報提供</b> 園だよりやクラスだよりなどにより、各時期の子どもの様子を伝えている。3ヶ月に2回程度発行するクラスだよりでは、保護者から提供して頂いた子どもの様子や保育園での個々の様子を掲載し、個々の子どもの様子などを年間通じて発信している。子どもの名前は太字にて注意をひくようにするなど、読んで頂けるための工夫をしている。その他、日常の子どもの様子を伝える写真や製作物などを展示し、タイムリーに子どもの様子を保護者に伝えている。			
<b>意見や相談への対応</b> 保護者との子育ての共有という観点から、園として、話しやすい雰囲気作りや保護者の話をよく聞くこと、子どもの育ちをともに考えていけるようにすることを目指している。特に、プラスのメッセージを発しながら子育ての共有につなげることを心掛けて対応しており、まずは保護者自身に関する事柄についても聞き、受け止め、共有し、そこから真摯な対応につなげている。			
6	<b>評価項目6</b> 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		<b>評点( A )</b>
	<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	

評価項目6の講評		
<p><b>虐待に関する意識の涵養</b></p> <p>職員は、区主催のもののほか、虐待防止を含む様々なテーマの各種研修に参加している。研修受講者による報告により、職員全体で内容を共有している。園が参加している子育てネットワーク会議には、小学校校長や児童委員、民生委員などの参加もあり、子どもをめぐる状況について情報交換が行えており、アドバイスも得られている。園に様子を見に来てくれることもある。</p>		
<p><b>虐待対応のしくみ</b></p> <p>虐待の疑い、あるいは、虐待の事実を把握をした際の対応手順は、区の危機管理マニュアルにより明確に定められている。情報を得た際は、主管課である保育課を通じて子ども家庭支援センターや児童相談所などと連携して対処する体制にある。虐待という極端な例に限らず、保護者をめぐる様々な事情を踏まえ、園としては職員のカウンセリング力やコーチング力の向上について、今後の課題として認識している。</p>		
7	<p>評価項目7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている</p>	
	<p>評点( A )</p>	
	<p>評価</p>	<p>標準項目</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している</p>
	<p>○非該当</p>	<p>2. 保育所の活動や行事に地域の人々の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している</p>
<p>●あり ○なし</p>	<p>○非該当</p>	
<p>【A+の取り組み】 ○あり ●なし</p>		
評価項目7の講評		
<p><b>保護者への地域情報の提供</b></p> <p>地域の関係機関によるイベントのチラシやポスターを掲示したり、広報誌やパンフレットを設置するなど、地域の様々な情報を保護者に提供している。</p>		
<p><b>子どもと他者とのつながりの創出</b></p> <p>園庭開放や行事への地域の方々の参加、地域ネットワークのイベントへの参加、敬老館との交流などにより、子どもが地域の方々と触れ合える機会を創出している。小学校3校では、5歳児が1年生の行事に参加したり授業の様子を見ることで、就学への不安をなくすことにも役立っている。絵本の読み聞かせや手品などのボランティアや園の花の手入れをして下さるボランティアの存在など、日常的にごく身近に園外の人々の存在がある。</p>		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子育ての共有化を図るための実践的な取り組み
	内容	子どもの発達の捉え方について、園と保護者との間で共有化を図っていくために、「保護者と保育園との子育て記録」を作成し活用している。「主な発達のあらわれ」の項目をもとにして、健康生活・情緒社会・言語・運動・興味認識などの項目に分類し、それぞれについて家庭での様子と園での様子を記入し、児童票に組み込んでいる。これを面談時に活用することで、園と保護者が発達段階を確認し合う良い機会となるなど、共に考えていくための基盤が整った。
2	タイトル	一年を通じて花が溢れる保育環境
	内容	笑顔と花が溢れた保育園を目指し、日々の保育や環境整備に取り組んでいる。花植え、栽培管理、花摘みなどを行うボランティア(花ボランティア)の協力を得ながら、花壇やプランターで花を栽培し、一年を通して絶えず花に囲まれた保育環境を実現している。各保育室を含め室内のいたるところに摘んだ花を飾ることで、室内の美化はもとより、季節の移り変わりを感じられ、穏やかな心を育み、子どもの情操教育にも役立っている。
3	タイトル	職員の連携による個別対応の充実
	内容	各種会議や打ち合わせ、日頃のコミュニケーションなどを通じて、職員間の連携・協力体制が整っている。また、「挨拶に一言添えて」の徹底により、保護者との関係でも話しやすい雰囲気を作られており、特に子どもや保護者にとって最も近い存在である担任保育士は、子どもや保護者の事情やニーズをしっかりと把握している。これにより、配慮の必要な子どもへのフォローについて、職員全体で行うことが出来ている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	遊びの環境の一層の充実
	内容	園庭には、滑り台、鉄棒、ブランコ、砂場、ジャングルジム、登り棒、たいこ橋、木の家などを配置している。子ども自身が何をしたいのか考え、自発的に取り組めるよう、遊具の検討を行い、環境設定に力を入れている。園としては、遊びの環境の充実、遊びを広げられる空間の保障、職員のスキルアップなどについて、向上意欲を持っている。今後は、養護と教育の一体性という観点からも、学びを念頭に置いた環境整備を図っていきたいと考えている。
2	タイトル	保護者対応力の向上
	内容	保護者との子育ての共有という観点から、話しやすい雰囲気作りや保護者の話をよく聞くこと、子どもの育ちをともに考えていけるようにすることを目指して取り組んでいる。保護者自身に関する事柄についても聞き、受け止め、共有し、そこから真摯な対応につなげている。今後は、保護者の安定こそが子どもの安定につながるの考えのもと、複雑化する保護者の事情により一層適切な対応ができるよう、各職員がカウンセリングやコーチングの力を身につけていくことを課題として認識している。
3	タイトル	保育の質向上のための時間を確保するための工夫
	内容	園内での勉強会の充実、打ち合わせ時間の捻出と計画の実行のための職員の就業環境づくりの工夫を進めたいと考えている。職員に伝達した資料などは、説明、報告後に回覧の形式をとっているが、職員の意識にばらつきがあるので、意識改革を引き続き行っていきたい。現状では、日々の業務に終われているので、時間を有効に使えるようより一層の取り組みが必要と考えている。

# 上井草保育園

---

調査対象

複数児利用世帯は最低年齢児1人を対象として実施世帯数を絞り、54世帯から有効回答を得た。

調査方法

アンケート調査票の配付は保育園を通じて保護者へ手渡し、回収は保護者から評価機関へ直接郵送する方法を採用した。

利用者総数

91

共通評価項目による調査対象者数

91

共通評価項目による調査の有効回答者数

54

利用者総数に対する回答者割合(%)

59.3

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想として、「大変満足」が22%、「満足」が64%、合わせて86%という結果となった。最も高い満足度が示されたのは「一人ひとりの子どもは大切にされているか」についてで、92%の方が「はい」と回答した。これに対し、「外部の相談窓口にも相談できることを知っているか」については、「はい」は43%にとどまり、「いいえ」との回答が46%となった。

## 利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	49	5	0	0
回答者の約91%が「はい」と回答した。季節の食材の利用や苦手な食材でも食べられるための工夫などに感謝する声が寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	47	7	0	0
回答者の約87%が「はい」と回答した。充実した園庭遊びや散歩に感謝する声が寄せられた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	41	13	0	0
回答者の約76%が「はい」と回答した。延長保育が利用できることに対する感謝の声のほか、申込み時の対応や定員に関する要望も寄せられた。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	49	4	1	0
回答者の約91%が「はい」と回答した。こまめな対応に感謝する声のほか、一層の対応の徹底を期待する声も寄せられた。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	40	11	3	0
回答者の約74%が「はい」と回答した。一層の徹底を期待する声も寄せられた。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	40	13	1	0
回答者の約74%が「はい」と回答した。参加しやすさに感謝する声のほか、曜日設定に関する多様なニーズをうかがわせる声が寄せられた。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	45	8	1	0
回答者の約83%が「はい」と回答した。相談のしやすさや良好なコミュニケーションをうかがわせる声のほか、一層の丁寧な対応を期待する声や忙しい職員の様子を前にした遠慮などをうかがわせる声も寄せられた。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	44	8	1	1
回答者の約81%が「はい」と回答した。対応の早さに感謝する声のほか、対応の一層の標準化を期待する声が寄せられた。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	48	5	0	1
回答者の約89%が「はい」と回答した。連絡帳の厳重な保管ぶりに感謝する声が寄せられた。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	50	3	0	1
回答者の約92%が「はい」と回答した。子どもの様子や担任以外を含めた全職員の関わり方などから「大切にされている」と感じるとの声が寄せられた。				

11. 職員の対応は丁寧か	48	5	0	1
回答者の約89%が「はい」と回答した。丁寧な言葉遣いや明るくさわやかな対応に感謝する声のほか、一層の徹底を期待する声も寄せられた。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	31	16	6	1
回答者の約57%が「はい」と回答した。子どもを預けている立場としての保護者の側の遠慮をうかがわせる声も寄せられた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	32	18	2	2
回答者の約59%が「はい」と回答した。一層の徹底を期待する声も寄せられた。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	23	5	25	1
回答者の約43%が「はい」と回答した。利用開始時の説明を忘れている方が多いことがうかがえる結果となった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	16	3	1	0
回答者の約80%が「はい」と回答した。特に具体的な声は寄せられなかった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	



評価項目3

重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点（ A ）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝える	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリ1の講評

杉並区の保育理念と園独自の方針

杉並区の保育理念の他に園独自で定めた『子どもが「いっぱい遊べるよ」、保護者の方が「あずけて良かった！」と思う保育園をめざします！』という園目標があり、杉並区の保育理念を効果的に具体化できるよう取り組んでいる。また、理念を念頭に置きながらチャレンジプランの目標を設定し、この目標を職員とともに達成すべく、全職員会議、昼のミーティング等を行い、職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行っている。

指導層の役割の明確化と前期終了後評価、反省、後期の見直しの流れ

指導層の役割を園運営マニュアルに「担任表」として視覚的に明示している。さらに、目標を実現するために、「前期終了後評価→反省、後期の見直し」という流れを確立し、園長が中心となり園運営に取り組んでいる。

昼のミーティングを活用し、情報共有

年度末反省等の各種会議の担当者を園運営マニュアルに明示していて、意思決定の方法を定めている。保護者に対しては重要案件について、文章や掲示等で周知している。特に、昼のミーティングの活用により情報共有がスムーズに行えるようになり、「体制ノート」を全職員で確認し、職員に対し組織運営の透明性を図っている。

カテゴリ-2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリ-2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

評価項目2

ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○非該当
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3

地域の関係機関との連携を図っている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリ-2の講評

ふれあい保育等を通じた保育所機能の還元

ふれあい保育とは、区立保育園で保育園生活を体験する中で、保育士や看護師、調理職員のアドバイスを受けながら、保護者の子育てに対する悩みや不安を解消し、子どもの健やかな成長を支援する制度で、杉並区全体で取り組んでいる。また、園庭開放を積極的に行い、地域への透明性を高めている。

園長による積極的な地域参加と地域子育てネットワークを通じた地域との協働

園長が近隣にある農芸高校の評議員に選任されており、評議会の折に出席している。地域の一員として積極的に地域社会に貢献するという園長の思いにより実現している。今後は、園の地域社会への透明性を高めるため、園だよりを地域の保健センター、児童館等に配布できるよう検討している。地域子育てネットワーク(保育園・児童館・小学校・保健センターなど)に参加し、園長・主査等が中心となって園として地域での共通課題の解決に協働している。

あそびの広場の開催

5月～1月(7・8月を除く)の水曜日に行われている「あそびの広場」では、「上井草保育園の子ども達と一緒にあそびませんか？」をテーマにして、イベントを開催している。このなかには、栄養士による離乳食の相談等も行われている。また、「あそびの広場」の開催のチラシには、上井草保育園の行事予定も記載されており、「お楽しみ会」「夏まつり」「運動会」「新年こども会」の行事予定も記載されており、地域社会に専門性をいかした取り組みをしている。

カテゴリー3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリー1

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

### カテゴリ-3の講評

#### 苦情相談員制度の保護者への周知と、保育課との連携

杉並区保育事業全体として、保健福祉サービスの利用者が提供されるサービスに不満があるとき、保健福祉サービス苦情調整委員が、申立者とサービス提供事業者の双方から事情を聴き、公正・中立な立場から問題の解決を図る苦情相談員制度があり、周知している。また、区の保育課へ問い合わせ等があった段階で、三日以内に返答するなど迅速な対応ができるよう心がけている。区の担当者と園長の連携により、迅速かつ的確な対応をするよう体制が構築されている。

#### 各イベント後のアンケートご意見箱の設置

保護者会に向けてアンケートを収集し、職員間で問題の解釈を話し合い、共通の認識を持つようになっている。特に、父母会と共催である夏まつりは詳細なアンケート結果があり、次年度の活動の参考資料として活用している。また、事務所近くにご意見箱を設置し、父母からの意見を積極的に吸収する取り組みをするとともに、「苦情・意見・要望等」に関する書式を整備し、集約・分析してサービス向上に活用している。

#### 地域関係機関を通じた情報収集

子育て支援に関する地域の協議会（地域子育てネットワーク等）、園長会などを通じて地域の福祉ニーズ、福祉事業全体の動向を把握するとともに、区の担当者と連携して情報の整理・分析を行っている。

カテゴリ4		
4 計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリ1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

評価項目3  
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリー2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1  
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリー4の講評

区と連携した計画策定

区レベルとして「長期計画」「実施計画」「保健福祉計画」を策定し、担当課レベルでは「杉並区の保育実践方針」を策定中である。同方針については、研修等を通じて多くの職員が学んでいる。園としてもチャレンジプランを通じて実践的な計画策定を行い、課題の明確化や手順が職員に周知されている。

チャレンジプランをもとにした計画の効果的実行

チャレンジプランでは「目標→取組計画→評価(中間・年度末)」という流れのもとに計画が効果的に実行できるよう工夫がなされている。この目標のもと取組計画が作成されている。政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の分野ごとに園の目標を掲げ、例えば接客向上の目標を「保護者に保育園での子どもの姿を丁寧に伝えていながら、保育園への理解を深めてもらう」とし、取組計画が詳細に記載され目標に対し、着実に成果を上げられるような仕組みになっている。

危機管理における区との密接な連携と、園独自のマニュアルによる対応

杉並区の庁内LANによる「ヒヤリハット」の共有があり、他施設の状態も含めて共有できるようになっている。危機管理マニュアルは区保育園全体のものが用意されており、これに加えて、園独自で園運営マニュアルになかに様々な状況に対応したマニュアルが用意されている。事故報告書の書式も整備しており、区の担当課による確認も行われている。また、園長が自ら率先し、園長が気づいたヒヤリハットの事例集を作成し、職員会議の議題にしている。

カテゴリ5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点( B )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		



サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

区との連携による人材の確保と人員配置

区の保育担当部署と連携して人事制度に関する方針を明示している。組織目標・チャレンジプランにより、部・課の目標にあわせて、係の課題・取組計画を明示し、個人のチャレンジプランを作成している。採用については、正規職員は区が採用し、非常勤等職員については、保育課が必要に応じ採用している。各歳児担当の職員配置は、職員会議等により決定している。

各職員の役割の明示と、意思形成過程のボトムアップ化

職員の役割は園運営マニュアルに記載している担当表に細かく定めている。「年間行事予定(職員)」にも時間軸で各担当が分かるようになっており、会議における司会・記録担当も明示している。このように、いくつかの行事の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性の向上に努めている。また、区全体の取組目として「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し職員の能力向上に努めている。

区の人材マネジメントシステムを中心とした体制

「職員人材育成事業実施計画」をもとにした、職員の育成・評価・報酬が連動した人材マネジメントを行っている。これにあわせ、「私のチャレンジプラン」をもとに各職員の就業状況のヒアリングを行っている。園としては、職員が昼休みをきちんと取得できるよう、ホワイトボードに昼休み取得の状況が目で見えるように工夫するなどの対応を行っている。

7 カテゴリー7		
情報の保護・共有		
サブカテゴリー1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし
評価項目2 個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし

#### カテゴリ7の講評

##### 区による情報の保護・共有の管理と園の情報管理の工夫

区による情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ対策基準によりアクセス権等の設定をしている。また、保管は区のファイリングシステムに従って分類・整理している。園としても、情報の整理とファイルなど文章を使いやすくする工夫をしている。

##### 杉並区個人情報保護条例による情報の保護・共有

杉並区個人情報保護条例により個人情報の利用目的を明示するとともに、個人情報の保護に関する規程を明示している。また、園独自の個人情報マニュアルも整備し、個人情報の適切な利用・保護を図っている。

##### 写真・ビデオ撮影に際しての同意

写真やビデオ映像の撮影に際しては、保護者に対し説明の上、理解を得ている。それらの利用については、区で定めた「画像データ提供申請書」により使用用途を限定し、撮影された園児の保護者の同意を得た上で対応している。

カテゴリー8	
8	カテゴリー1～7に関する活動成果
サブカテゴリー1	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>グループ会議の開催と計画の実行</b> 区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。	
サブカテゴリー2	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>チャレンジプランの活用</b> 園のチャレンジプランと職員のチャレンジプランを有効にリンクさせることにより、効果的に職員と組織の能力向上ができるようになってきた。職員のチャレンジプランでは、園長とのヒアリングで確認、個人の意識が高まるとともに、園のチャレンジプランとリンクさせることにより、園全体の意識が高まるようなシステムが出来ている。	
サブカテゴリー3	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>ミーティングノートの改定による情報漏れの減少</b> 職員間の伝達事項については、昼の打ち合わせノートの書式を変更して、連絡事項の欄を大きくした。受けた人やその結果(経過)・対処が他の人にも分かるようになり、組織間での情報の共有化の仕組みが一層強化された。	

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善に向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+  A  B  C

改善の成果

行政改革の実行による取り組み

区では行財政改革である「スマートすぎなみ計画」により、計画的に取り組みを進めている。平成20年度から平成22年度の目標としては、①区の事業の6割を共同化・民営化・委託化する、②経常収支比率を80%以下とする、③職員定数を330人削減する、となっている。保育分野に関しては、給食調理・用務の委託や指定管理制度の導入などによるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率向上などの取り組みを進めている。これまでに保育園の指定管理制度を4園に導入、調理・用務業務の委託についても21年度現在で12園で実施している。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+  A  B  C

改善の成果

「苦情・意見・要望等」に関する書式を整備

「苦情・意見・要望等」に関する書式を整備し、集約・分析してサービス向上に活用している。保護者等からの苦情・意見・要望を、「日時」「クラス」「内容」「クラス・全体で話合った事」「保護者対応」ごとに整理して、ひとつの事例に対する一連の分析を行えるように書式を整備し、利用者の意向の把握と活用に努めている。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している		評点( A )
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
サブカテゴリ1の講評		
<p><b>区ホームページによる園概要の紹介</b></p> <p>区ホームページの「施設案内」により、園の概要について網羅的に紹介している。所在地などの基本情報のほか、最寄の駅からの道順案内、園の見取り図(写真入り)、保育目標、対象年齢や職員体制、主な行事などについて、簡潔に説明している。紹介する項目自体は各園共通であるが、特に「保育園の特色」については、環境や活動の様子など、当園らしさについて具体的に分かりやすく紹介している。</p>		
<p><b>園としての情報の発信</b></p> <p>園のしおりは、人員体制や保育時間、園目標、見取り図などの概要のほか、地域における園の役割を明示するなど、園独自の活動など園の魅力を伝える内容となっている。しおり自体は、入園が決定した際に渡すこととしているが、その他の見学や園庭開放の際の訪問者に対しては、しおりの内容を要約した概要を渡している。</p>		
<p><b>見学・相談への対応</b></p> <p>問い合わせや見学の要望については、随時応じている。当園を第一希望にしつつも、区内の他園に興味のある方に、区発行の「入園のご案内」により、他園に関する情報を提供している。見学希望者に対しては、遊んでいる様子を見たいのか、施設だけが見たいのかなど、希望を踏まえた上で対応している。</p>		

サブカテゴリ-2

2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリ-2の講評

入園前の説明

入園児健康診断・面接の機会や入園説明会の場において、園での生活に関する基本事項を説明している。保育理念や園生活の概要、必要な持ち物などについては「しおり」を中心に、災害時の対応や保険制度などについては区発行の各種文書により、説明している。園としては、特に、保護者に安心して預けて欲しいとの思いから、「預けてよかったと思える園でありたい」ことを特に強調している。

個別事情や要望の把握

入園前の面接では、保育時間に関する意向や保育上の留意事項などのほか、健康上の留意事項、慢性疾患、離乳食進度、アレルギー等食物除去などについて、各専門職種の立場から情報を収集・確認し、児童票を中心とする個人記録にまとめている。

入園直後の緊張への対応

入園直後の子どもの不安やストレスに対しては、慣れるまでは職員も担当制で対応し、入園初日は親子で同じ時間を過ごしてもらったり、説明会ではいつでも見学が可能であることを伝えるなど、親子共々を受け入れる姿勢で対応している。また、「入園までの生活状況」(児童票)で把握した運動遊び、食事、睡眠、排泄、着脱、清潔(歯磨き・入浴)、養育態度などに関する情報を基に、集団生活の開始という環境変化に馴染めるよう配慮している。

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし



<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

サブカテゴリー3の講評

**新たな児童票の活用**

子どもの心身状況の発達状況・家庭状況などは、児童票に記録されている。同票については、区内全園にて今年度から書式の見直しが行われ、子どもの成長過程に対する「評価」ではなく、保護者とともに内容を共有し、方向を探っていくためのものに変更された。

**計画の作成と保護者への説明**

新保育指針に関する自主勉強会の成果を踏まえ、保育課程を作成した。これに基づいて保育を展開していくためにクラスごとに年間の指導計画を作成し、さらにそれを基に月の指導計画や週案を立案している。計画は、月・期・年ごとに見直しを行っている。年間計画については保護者会で説明し、園便り、クラス便りでは、各時期の保育のポイントを説明している。

**子どもに関する情報の共有**

各種会議を通して、子どもに関する情報の共有化を図っている。職員間の伝達事項については、屋の打ち合わせノートの書式を変更して、連絡事項の欄を大きくした。受けた人やその結果(経過)・対処が他の人にも分かるようになり、組織間での情報の共有化の仕組みが一層強化された。

サブカテゴリー5

**5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重**

**評価項目1**

子どものプライバシー保護を徹底している

**評点( A )**

<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

<b>評価項目2</b> サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		<b>評点( A )</b>
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	○非該当
<b>【A+の取り組み】</b> ○あり ●なし		

サブカテゴリ5の講評

**プライバシーへの配慮**  
 プールやシャワーの際は、門扉やプール柵にすだれを設置するなど、外部の目から保護している。また、おむつ交換は部屋の隅で行い、他者の目に触れないようにしている。

**日常的な振り返り**  
 主に打ち合わせの機会を利用して、園長による指導や職員間での指摘・助言などを行い、不適切な言動の見直しを図るなど、より適切な言動の検討を日常的に行っている。

サブカテゴリ6

**6 事業所業務の標準化**

<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		<b>評点( A )</b>
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	○非該当
●あり ○なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	○非該当
●あり ○なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
<b>【A+の取り組み】</b> ○あり ●なし		

<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
<b>評価項目3</b> さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリ6の講評		
<b>独自マニュアルの策定と活用</b> 区で定めたものとは別に、「上井草保育園マニュアル」を策定している。園の目標や理念、大切にしたいことなどを明記した上で、各クラスのデイリープログラムの流れや、延長保育プログラムのねらいや配慮、対応方法のほか、職員の心得、保護者対応、実習生受入れ、事故や災害など緊急時の対応などについて、それらの手順や留意事項などについて網羅的に定めている。		
<b>研修機会の提供</b> 東京都社会福祉協議会や特別区、母子保健センターなどの関係機関が主催する研修については、随時案内し職員に周知している。また、子どもの発達に関連した専門知識の向上や人材育成を図るための保育課実務研修が位置付けられている。		
<b>園内研修の実施</b> 今年度は環境についての園内での検討に力を入れている。園庭あそびや室内環境の整備について各クラスで検討・発表し、それらを踏まえて全体会議で発表した。これらの自主的・継続的な取り組みにより、組織としてのまとまりも強化され、一人ひとりの意識や専門性の向上にも結びついている。		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	○非該当
	●あり ○なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	○非該当
●あり ○なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	○非該当	
【A+の取り組み】		○あり ●なし	
評価項目1の講評			
<p><b>自主性・自発性の促進</b>          室内では、乳児クラスではグループ別保育を実施したり、2歳児クラスは1日同じ部屋で過ごすので1日の中で少人数で遊べるスペースを作ったり、ホールを活用したり、あるいは外に出かけたりするなど、様々な工夫をしている。その他のクラスでは、ほっとできるスペースを確保するために、グループ分けしてホールで遊んだりするなど、それぞれに合った時間の過ごし方、遊び方ができるように配慮している。園庭には、鉄棒、太鼓橋、砂場、プール、マルチパーツ、風呂マット、ロープブランコ、三輪車などを配置している。</p> <p><b>発達を促すための環境整備</b>          子どもの自主性、自発性の発揮、遊び込める時間の保障という意味では、保育環境の整備に力を入れている。遊びの中でも子どもがほっとできるスペースを確保するために、グループに分かれてホールで遊んだりするなどの工夫をしている。職員会議において、観察した子どもの姿からタイムリーに提供すべき玩具類について検討している。特に自主性や自信の涵養という意味では、自分で出来た喜びが得られるよう、さりげない手助けや励ましの言葉で気持ちを盛りたてていけるよう取り組んでいる。</p> <p><b>特性を踏まえた保育実践への取り組み</b>          一人ひとりの特性を踏まえた保育を一層充実させていくために、心理職の巡回相談を活用している。保育者は、日頃の観察に基づく気づきや対応方法について相談し、それを踏まえて一人ひとりの発達過程にあった関わり方を実践している。家庭との関係では、コミュニケーションを大事して連携を図り、育ちの保障を図っていきたいと考えている。</p>			

2	<b>評価項目2</b> 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input type="radio"/> 非該当	
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
<b>評価項目2の講評</b>			
<b>食事を楽しむ工夫</b> 区立保育園共通の献立表に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供できる体制にある。区の献立作成会へ要望を伝え、出来る限り園の考える献立になるように取り組んでいる。調理については委託業者が行っている。非常勤栄養士による指導や子どもが食べている様子の観察などを含め、調理担当者に対し必要な情報を提供し、より一層良質で安定的な食事提供が行えるよう、委託業者と連携を図っていきたくと考えている。  <b>アレルギーへの配慮</b> 食物アレルギーのある子どもに対しては、提供する食事内容について個別に配慮している。事前に除去用献立表を保護者に配布し、それを基に内容を確認し、食事提供時は別トレーで配食している。要所所で職員が確認し連携を取り、誤食の発生を防止している。アレルギー除去食については、マニュアルにおいても対応手順や留意事項を明記している。  <b>食育活動</b> 園内では、「食育に関する年間計画」を基に、クラス別に目標を掲げ、食育教育や栽培活動、調理活動を計画的に実施し、食に対する興味や関心を育んでいる。食事の出来る過程を実際に見せるべく、クラスで混ぜご飯を作り、子ども自身でおにぎりを握ったりするなどの活動により、実際に食が進むなどの成果も見られている。			
3	<b>評価項目3</b> 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	

評価項目3の講評

定期健診の実施

毎日の視診による健康状態の把握のほか、毎月の身体測定、年2回の健康診断、歯科・眼科・耳鼻科の各健診、ぎょう虫卵検査などの結果を、各園共通の児童票や健康カードに記録している。前日とは異なる様子や気になることなどについては、保健日誌に記録している。

健康・衛生管理

乳児クラスについては、乳幼児突然死症候群の発生防止のために、午睡チェック表により定期的に呼吸の確認を行っている。感染症予防の見地から、感染性胃腸炎や新型インフルエンザへの対応マニュアル(保育課作成)を整備している。園医や看護師を始め、保育課と連携した区の病後児保育制度の活用など、医療的なケアに対するニーズにも応える体制にある。

保護者に対する情報提供

区役所や保健所などの関係機関から提供されるポスターやチラシ、園の保健だよりなどの掲示・配布などにより、感染症に関する情報を保護者に伝達している。新型インフルエンザの発生時には、クラスと人数を掲示し、口頭でも説明し、症状や原因、家庭での注意事項などを文書で伝えている。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点( A )

4

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4の講評

年間計画に基づく多彩な行事の実施

年間行事計画に基づき、多彩な行事を実施している。こどもの日や七夕、プラネタリウム、夏祭り(父母会共催)、お菓子作り、お茶会、節分、ひな祭りなど、季節や目的に応じて子どもが楽しめる場面を設定している。普段の活動を発展させて、大人の思いと子どもの発想を合わせてお化け屋敷やお店屋さんごっこにつなげるなど、子ども自身の自由な発想を大切にしている。ごみの分別やリサイクルなど環境について学ぶ「エコ教室」を開催している。4・5歳児を対象に実施し、寸劇を交えるなどごみや環境について考える機会とし、子どもの意識にも変化が見られた。

清潔で快適な保育環境の維持

子どもにとってより快適で過ごしやすい環境を実現するべく、日常的に検討を重ねている。各クラスの保育室や廊下、玄関などに植物を飾ったり、廊下にベンチを設置して絵本を読んだり寛いだりできるような環境を演出している。

個別状況に応じた午睡時間の設定

午睡時間については、子どもの状態を見ながら、個別に対応している。2歳児クラスまでは各クラスの保育室でお昼寝をし、布団を置く位置を固定している。5歳児になると、就学前ということもあり、午睡をしない日を設定している。

5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目5の講評			
<p><b>保育参加・参観の促進</b> 保育参観・参加は、基本的にいつでも可能とし、保護者に配布する年間行事予定表にもその旨を記載している。また、保護者会等の場を通じて、参加のための呼びかけを行っている。</p> <p><b>日常的な情報提供</b> 園だより、クラスだより、延長保育だよりなどにより、園での子どもの生活の様子や成長ぶりについて保護者に情報を提供している。また、保護者会やグループ面談、個人面談でも子どもの様子を伝え、子どもの育ちについて情報を共有し、情報交換、不安の解消などにも努めている。</p> <p><b>意見や相談への対応</b> 2歳児クラスについては、保護者の希望を踏まえてグループ分けを行い、個別にグループ面談を実施している。意見交換がしやすく、保護者の思いの把握にも役立っている。また、特に苦情・要望の収集には限定せず、何か話すきっかけ作りになればよいと考え、事務所窓側の下駄箱上に「ご意見箱」を設置している。寄せられた保護者の悩みや意見・要望については、まずは各クラスでその解消を図っている。</p>			
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
	●あり ○なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目6の講評		
<p><b>虐待に関する意識の向上</b> 職員は、区主催のもののほか、虐待防止を含む様々なテーマの各種研修に参加している。園内では、巡回指導を活用して具体的な事例を通して、職員への意識付けや浸透を図っている。</p>		
<p><b>虐待対応のしくみ</b> 虐待の疑い、あるいは、虐待の事実を把握をした際の対応手順は、区の危機管理マニュアルにより明確に定められている。情報を得た際は、主管課である保育課を通じて子ども家庭支援センターや児童相談所などと連携して対処する体制にある。</p>		
7	<p>評価項目7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている</p>	
	<p>評点( A )</p>	
	評価	標準項目
	<p>●あり ○なし</p>	<p>1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している</p>
	<p>○非該当</p>	<p>2. 保育所の活動や行事に地域の人参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している</p>
<p>●あり ○なし</p>	<p>○非該当</p>	
<p>【A+の取り組み】 ○あり ●なし</p>		
評価項目7の講評		
<p><b>保護者への地域情報の提供</b> 小学校の行事や児童館のお知らせほか、ポスターや広報誌の掲示、パンフレットの設置などにより、地域の様々な情報を保護者に提供している。年長児の保護者に対しては、教育委員会提供の「学校紹介」などをもとに必要な情報提供を行っている。要望に応じて、「医療機関一覧」をもとに病院に関する情報提供もしている。</p>		
<p><b>子どもと他者とのつながりの創出</b> あそぼう会や夏祭り、運動会の開催時には、保健センターや児童館など地域の関係機関にチラシを配り、外部の方々の参加を促している。学校公開時には、年長児の一部が授業参観に参加するなど、地域との連携を活かした取り組みにより、子どもの活動の幅を広げている。年長組については、毎月地域の方によるお話を聞く会が催されている。</p>		



No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	あそびの広場の開催や園長による積極的な地域参加
	内容	5月～1月(7・8月を除く)の水曜日に行われている「あそびの広場」では、「上井草保育園の子ども達と一緒にあそびませんか?」をテーマにして、イベントを開催し、地域社会に専門性をいかした取り組みをしている。園長が近隣にある農芸高校の評議員に選任されており評議会の折に出席している。地域の一員として積極的に地域社会に貢献するという園長の思いにより実現している。
2	タイトル	職員集団の問題解決に対する理解と意欲
	内容	区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。また、経験豊富な職員が多いためバランスの良い園運営が出来ている。
3	タイトル	新保育指針を踏まえた迅速かつ積極的な取り組み
	内容	新保育指針を踏まえた保育実践を行うため、外部から講師を招いて同指針に関する自主勉強会を実施した。他園職員の参加もあり、当園職員の向上意欲が他園を含むレベルアップに結びついている。また、勉強会やその後の園内での検討の成果を踏まえて保育課程を作成し、それに基づく保育計画の作成と実施を行っている。「良い保育につなげるためには良いものを」との思いから今の形のものを作成されたが、その作成過程を通じて各職員の保育観の共有化も図られ、皆で育て合えるための基盤が整った。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	施設の老朽化への対応
	内容	建物の築年数の経過とともに施設の老朽化も進み、様々な不具合が表出することがある。園としては、職員による工夫により補っているが、それだけでは難しい場面も出てきている。今後とも、保護者の要望を踏まえ、主管課とともに可能な範囲で改善に努めていきたいと考えている。
2	タイトル	勤務体制の見直し
	内容	定められた人員配置により、安全で快適な保育の実施に努めてきた。ただし、最近では、朝保育・夕保育の利用人数が増え、特に夕方の子どものいる時間帯については、当番職員だけでは見ることが難しい場面もでてきている。シフトの見直しを含め、子どもや保護者にとって今後とも安心できる保育を継続していけるよう取り組んでいく方針である。
3	タイトル	関係機関への一層の情報提供
	内容	近隣の保育園や児童館、敬老館、保健センター、小学校、中学校、高等学校などとの関係では、訪問や職場体験・ボランティアの受け入れ、学校見学などを通じて、相互交流や協力関係の構築に取り組んでいる。現在では、一部の関係機関に園庭開放のパンフレットの配布は行ってきたが、今後はより一層の園の概要や日常の様子が見えるような情報の提供について検討したいと考えている。

# 堀ノ内東保育園

調査対象

複数児利用世帯は最低年齢児1人を対象として実施世帯数を絞り、54世帯から有効回答を得た。

調査方法

アンケート調査票の配付は保育園を通じて保護者へ手渡し、回収は保護者から評価機関へ直接郵送する方法を採用した。

利用者総数

83

共通評価項目による調査対象者数

83

共通評価項目による調査の有効回答者数

54

利用者総数に対する回答者割合(%)

65.1

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想として、「大変満足」が48%、「満足」が42%、合わせて90%という結果となった。最も高い満足度が示されたのは「保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか」についてで、96%の方が「はい」と回答した。これに対し、「外部の相談窓口にも相談できることを知っているか」については、「はい」は19%にとどまり、「いいえ」との回答が74%となった。

## 利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	49	5	0	0
回答者の約91%が「はい」と回答した。体調やアレルギーなど個別の事情に応じた対応に感謝する声が寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	52	2	0	0
回答者の約96%が「はい」と回答した。充実した外遊びや目的に応じた園外活動などに感謝する声が寄せられた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	44	9	1	0
回答者の約81%が「はい」と回答した。延長保育利用時の柔軟な対応に感謝する声が寄せられた。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	47	6	1	0
回答者の約87%が「はい」と回答した。迅速な連絡に感謝する声のほか、一層の徹底を期待する声も寄せられた。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	39	12	3	0
回答者の約72%が「はい」と回答した。目配りや侵入者対策の一層の充実を期待する声も寄せられた。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	27	24	2	1
回答者の約50%が「はい」と回答した。時間を含め保護者の事情への配慮には感謝しつつも、曜日設定に関する多様なニーズをうかがわせる声が寄せられた。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	44	9	1	0
回答者の約81%が「はい」と回答した。一層のコミュニケーションを期待する声も寄せられた。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	46	8	0	0
回答者の約85%が「はい」と回答した。日常的な対話に感謝する声が寄せられた。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	44	10	0	0
回答者の約81%が「はい」と回答した。一層の徹底を期待する声も寄せられた。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	49	5	0	0
回答者の約91%が「はい」と回答した。適切な関わり方に感謝する声が寄せられた。				

11. 職員の対応は丁寧か	44	10	0	0
回答者の約81%が「はい」と回答した。明るく気持ちの良い挨拶に感謝する声のほか、対応の一層の向上を期待する声も寄せられた。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	37	13	4	0
回答者の約69%が「はい」と回答した。担任との信頼関係をうかがわせる声のほか、職員の忙しい様子を前にした遠慮をうかがわせる声も寄せられた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	43	10	1	0
回答者の約79%が「はい」と回答した。職員間の伝達の正確さと早さ、対応の迅速さ、園だよりなどによる経過報告などに感謝する声が寄せられた。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	10	4	40	0
回答者の約19%が「はい」と回答した。利用開始時の説明を忘れている方が多いことがうかがえる結果となった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	22	6	0	0
回答者の約79%が「はい」と回答した。特に具体的な声は寄せられなかった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	

<b>評価項目3</b> 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点（ A ）
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝える	○非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
カテゴリー1の講評		
<b>杉並区の保育理念と園独自の方針</b> 杉並区の保育理念の他に園独自で定めた園目標があり、杉並区の保育理念を効果的に具体化できるよう取り組んでいる。また、理念を念頭に置きながらチャレンジプランの目標を設定し、この目標を職員とともに達成すべく、職員会議等の打ち合わせ等を行い、職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行っている。		
<b>指導層の役割の明確化と前期終了後評価、反省、後期の見直しの流れ</b> 指導層の立場を園運営マニュアルに分担表に視覚的に明示している。その上で、園長・主査の指導層は計画的に行動している。毎月の保育計画と反省を行ったり、プロジェクトチームのメンバー編成を決定して園運営を行っている。さらに、目標を実現するために、「前期終了後評価→反省、後期の見直し」という流れを確立し、指導層が中心となり園運営に取り組んでいる。		
<b>各会議仕様と意思決定手順の明確化</b> 各種会議の参加職員、基本日時、内容を会議資料に明示していて、意思決定の手順を定めている。保護者に対しては重要案件について、文章や掲示等で周知している。		

2 カテゴリー2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリー2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		



<b>評価項目2</b> ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○非該当
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

<b>評価項目3</b> 地域の関係機関との連携を図っている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

カテゴリ-2の講評

**ふれあい保育等を通じた保育所機能の還元**

ふれあい保育とは、区立保育園で保育園生活を体験する中で、保育士や看護師、調理職員のアドバイスを受けながら、保護者の子育てに対する悩みや不安を解消し、子どもの健やかな成長を支援する制度で、杉並区全体で取り組んでいる。また、「すくすくタイム」(児童館開催)や「いつでもどうぞ」(園庭開放)を積極的に参加、開催している。この機会を利用し、園の概要のチラシ等を配布し、地域への透明性を高めている。また、園庭開放では、随時、身体測定や、保育相談等を行っている。

**地域子育てネットワークを通じた地域との協働**

地域子育てネットワーク(保育園・児童館・保健センターなど)に参加し、行政連絡会への定期的な参加やネットワーク通信の作成を行うとともに、防災・防犯に関する情報交換、交流事業を、園長・主査等が中心となって園として地域での共通課題の解決に協働している。また、児童館に看護師、栄養士、保育士を定期的に派遣し、さらに、近隣の高齢者施設に赴き園児たちの遊戯を高齢者に披露したりするなど、地域に積極的に貢献している。

**区の担当課と連携したボランティアの受け入れ体制の確立**

ボランティアや実習生の受け入れについては、「保育実習に関する留意事項」「杉並区における実習生の受け入れ手順」など、区の担当課との連携のもと受け入れ体制を確立している。また、園としても独自のマニュアルを用意し、受け入れ体制を整えている。

カテゴリー3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリー1

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

### カテゴリー3の講評

#### 苦情相談員制度の保護者への周知と、保育課との連携

杉並区保育事業全体として、保健福祉サービスの利用者が提供されるサービスに不満があるとき保健福祉サービス苦情調整委員が、申立者とサービス提供事業者の双方から事情を聴き、公正・中立な立場から問題の解決を図る苦情相談員制度があり、周知している。また、区の保育課へ問い合わせ等があった段階で、三日以内に返答するよう迅速な対応ができるよう心がけている。区の担当者と園長の連携により、迅速かつ的確な対応をするよう体制が構築されている。

#### 保護者の意向を踏まえた園運営

各職員がきめ細やかに保護者の要望等を吸い上げ、問題に対して、職員会議等で把握し、対応している。この他、「保護者会計画書及び報告書」において「今後に向けての反省と課題」のなかで、保護者会を土曜日に開催するなど、保護者の意向を取り入れている。また、保護者との信頼関係を密にするためにも、保護者会の前のお茶会や「ホッとタイム」の時間を作り、保護者同士、職員と保護者の交流をはかり、保護者の意向把握に努めている。

#### 地域関係機関を通じた情報収集

子育て支援に関する地域の協議会（地域子育てネットワーク等）、園長会などを通じて地域の福祉ニーズ、福祉事業全体の動向を把握するとともに、区の担当者と連携して情報の整理・分析を行っている。

4 カテゴリー4		
計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリー1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3  
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリー2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1  
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリー4の講評

区と連携した計画策定

区レベルとして「長期計画」「実施計画」「保健福祉計画」を策定し、担当課レベルでは「杉並区の保育実践方針」を策定中である。同方針については、研修等を通じて多くの職員が学んでいる。園としてもチャレンジプランを通じて実践的な計画策定を行い、課題の明確化や手順が職員に周知されている。

チャレンジプランをもとにした計画の効果的実行

チャレンジプランでは「目標→取組計画→評価(中間・年度末)」という流れのもとに計画が効果的に実行できるよう工夫がなされている。この目標のもと取組計画が作成されている。政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の分野ごとに園の目標を掲げ、取組計画が詳細に記載され目標に対し、着実に成果を上げられるような仕組みになっている。

危機管理における区との密接な連携と、園独自のマニュアルによる対応

杉並区の庁内LANによる「ヒヤリハット」の共有があり、他施設の状態も含めて共有できるようになっている。危機管理マニュアルは区保育園全体のものが用意されており、これに加えて、園独自で園運営マニュアルになかに様々な状況に対応したマニュアルが用意されている。事故報告書の書式も整備しており、区の担当課による確認も行われている。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点( B )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

区との連携による人材の確保と人員配置

区の保育担当部署と連携して人事制度に関する方針を明示している。組織目標・チャレンジプランにより、部・課の目標にあわせて、係の課題・取組計画を明示し、個人のチャレンジプランを作成している。採用については、正規職員は区が採用し、非常勤等職員については、保育課が必要に応じ採用している。各クラス担当の職員配置は、定例会議により決定している。

「保育の向上を目指すリーダー」の選出と職員の能力向上

区全体の取組みとして「保育の向上を目指すリーダー」の選出を行い、園内にリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。園運営の流れの合理化と役割分担も機能し、経営層の意思の浸透と職場全体の意思統一の強化もなされてきている。個々の職員の能力や得意分野を活かしながらバランスの良い園運営が出来つつある。

区の人材マネジメントシステムを中心とした体制

「職員人材育成事業実施計画」をもとにした、職員の育成・評価・報酬が連動した人材マネジメントを行っている。これに合わせ、「私のチャレンジプラン」をもとに各職員の就業状況のヒアリングを行っている。

7			カテゴリー7		
情報の保護・共有			サブカテゴリー1		
情報の保護・共有に取り組んでいる					
<b>評価項目1</b> 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる			<b>評点( A )</b>		
評価	標準項目				
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している		○非該当		
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している		○非該当		
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している		○非該当		
【A+の取り組み】			○あり ●なし		
<b>評価項目2</b> 個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している			<b>評点( A )</b>		
評価	標準項目				
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している		○非該当		
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している		○非該当		
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している		○非該当		
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている		○非該当		
【A+の取り組み】			○あり ●なし		



#### カテゴリ7の講評

##### 区による情報の保護・共有の管理と園の情報管理の工夫

区による情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ対策基準によりアクセス権等の設定をしている。また、保管は区のファイリングシステムに従って分類・整理している。園としても、情報の整理とファイルなど文章を使いやすくする工夫をしている。

##### 杉並区個人情報保護条例による情報の保護・共有

杉並区個人情報保護条例により個人情報の利用目的を明示するとともに、個人情報の保護に関する規程を明示している。また、園独自の個人情報マニュアルも整備し、個人情報の適切な利用・保護を図っている。

##### 写真・ビデオ撮影に際しての同意

写真やビデオ映像の撮影に際しては、保護者に対し説明の上、理解を得ている。それらの利用については、区で定めた「画像データ提供申請書」により使用用途を限定し、撮影された園児の保護者の同意を得た上で対応している。

カテゴリ-8	
8	カテゴリ-1〜7に関する活動成果
サブカテゴリ-1	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>グループ会議の開催と計画の実行</b> 区全体の取り組みとして「保育の向上を目指すリーダー」の選出を行い、さらに、園長・主査、他園内から2名(合計6名)の構成で拡大リーダーが構成され、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。	
サブカテゴリ-2	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>チャレンジプランの活用</b> 園のチャレンジプランと職員のチャレンジプランを有効にリンクさせることにより、効果的に職員と組織の能力向上ができるようになってきた。職員のチャレンジプランでは、園長とのヒアリングで確認、個人の意識が高まるとともに、園のチャレンジプランとリンクさせることにより、園全体の意識が高まるようなシステムが出来ている。また、区全体の取り組みとして「保育の向上を目指すリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。園運営の流れの合理化と役割分担も機能し、経営層の意思の浸透と職場全体の意思統一の強化もなされてきている。リーダーを中心に前向きに保育討議が活発になってきた。さらに、若い保育士たちが園運営に積極的に関わるようになってきており、発言しやすい環境もできてきている。個々の職員の能力や得意分野を活かしながらバランスの良い園運営が出来つつある。	
サブカテゴリ-3	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>新指針を踏まえた対応</b> 新保育指針や区の保育実践方針を踏まえて、情緒の安定や五感と四肢発達の促進など各クラスで重点項目を決定して取り組んでいる。また、「保護者とのコミュニケーションを向上させるには」などをテーマに検討するなど、保護者支援に力をいれている。	

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善に向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+  A  B  C

改善の成果

行政改革の実行による取り組み

区では行財政改革である「スマートすぎなみ計画」により、計画的に取り組みを進めている。平成20年度から平成22年度の目標としては、①区の事業の6割を共同化・民営化・委託化する、②経常収支比率を80%以下とする、③職員定数を330人削減する、となっている。保育分野に関しては、給食調理・用務の委託や指定管理制度の導入などによるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率向上などの取り組みを進めている。これまでに保育園の指定管理制度を4園に導入、調理・用務業務の委託についても21年度現在で12園で実施している。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+  A  B  C

改善の成果

保護者意向の把握と活用

各職員がきめ細やかに保護者の要望等を吸い上げ、問題に対して、職員会議等で把握し、対応している。この他、「保護者会計画書及び報告書」において「今後に向けての反省と課題」のなかで、保護者会を土曜日に開催するなど、保護者の意向を取り入れている。また、保護者との信頼関係を密にするためにも、保護者会の前のお茶会や「ホットタイム」の時間を作り、保護者同士、職員と保護者の交流をはかり、保護者の意向把握に努めている。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している		評点( A )
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
サブカテゴリ1の講評		
<p><b>区ホームページによる園概要の紹介</b></p> <p>区ホームページの「施設案内」により、園の概要について網羅的に紹介している。所在地などの基本情報のほか、最寄の駅からの道順案内、園の見取り図(写真入り)、保育目標、対象年齢や職員体制、主な行事などについて、簡潔に説明している。紹介する項目自体は各園共通であるが、特に「保育園の特色」については、環境や活動の様子など、当園らしさについて具体的に分かりやすく紹介している。</p>		
<p><b>園としての情報の発信</b></p> <p>園のしおりには、園の人員体制や保育時間、保育目標、見取り図などのほか、保育事業の概要や園生活について簡潔に伝える内容となっている。しおり自体は、入園が決定した際に渡すこととしているが、その他の見学や園庭開放の際の訪問者に対しては、しおりの内容を要約した概要を渡している。</p>		
<p><b>見学・相談への対応</b></p> <p>問い合わせや見学の要望については、主に園長を対応者として随時応じている。見学したい日時や場面など、当日の体制を踏まえつつ、見学希望者の要望に沿えるよう調整している。土曜日も、保育に支障がない範囲で対応している。寄せられた見学・問い合わせの要望については、保育課では相談項目・年齢別に集計・把握されている。</p>		

サブカテゴリー2		
2 サービスの開始・終了時の対応		
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリー2の講評		
<b>入園前の説明</b> 入園児健康診断・面接の機会や入園説明会の場において、園での生活に関する基本事項を説明している。保育理念や園生活の概要、必要な持ち物などについては「しおり」や映像資料を中心に、災害時の対応や保険制度などについては区発行の各種文書により、説明している。		
<b>個別事情や要望の把握</b> 入園前の面接では、保育時間に関する意向や保育上の留意事項などのほか、健康上の留意事項、慢性疾患、離乳食進度、アレルギー等食物除去などについて、各専門職種立場から情報を収集・確認し、児童票を中心とする個人記録にまとめている。		
<b>入園直後の緊張への対応</b> 「入園までの生活状況」(児童票)で把握した運動遊び、食事、睡眠、排泄、着脱、清潔(歯磨き・入浴)、養育態度などに関する情報を基に、集団生活の開始という環境変化に馴染めるよう配慮している。入園初日は親子で半日過ごしたり、担当保育士がついてこまめにケアしている。家庭状況や就業状況、子どもの慣れ状況などを踏まえながら、徐々に通常の保育につなげている。		

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

サブカテゴリー3の講評

**新たな児童票の活用**

子どもの心身状況や発達状況・家庭状況などは、児童票に記録している。同票については、区内全園にて今年度から書式の見直しが行われ、子どもの成長過程に対する「評価」ではなく、保護者とともに内容を共有し、方向を探っていくためのものに変更された。

**計画の作成と保護者への説明**

クラスごとに年間の指導計画を作成し、それを基に月の指導計画(月案)や週案を立案している。計画は、月・期・年ごとに見直しを行っている。年間計画については、保護者会にてより分かりやすくしたものを配布・説明し、その他のクラスについては保育のポイントをまとめて説明している。その他の計画については、園だよりやクラスだよりでねらいやポイントについて説明している。

**子どもに関する情報の共有**

カリキュラムの検討を含む日々の会議を通して子どもの状況や変化について全体で把握している。申し送りや引継ぎには職員連絡ノートを活用し、各クラスを含め職員全体に周知し共有している。

サブカテゴリー5

**5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重**

**評価項目1**

子どものプライバシー保護を徹底している

**評点( A )**

<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

<b>評価項目2</b> サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している			<b>評点( A )</b>
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている		○非該当
【A+の取り組み】			○あり ●なし
サブカテゴリ5の講評			
<b>プライバシーへの配慮</b> 夏にはフェンスによしずを立てかけたり、プール遊びの着替えの際は衝立や布で目隠しを行なうなど、外部の目から保護している。1、2歳児のおむつ交換や幼児のお漏らしの際も、コーナーや衝立などで他者の目に触れないよう配慮している。  <b>日常的な振り返り</b> 子どもの人権を尊重する保育のあり方を確認し、共通認識の下で実践している。日々、振り返りノートを記録し、一人ひとりの職員が自らの保育を振り返り反省している。職員会議において事例検討を行い、職員としての望ましい姿を探ることも行っている。			
サブカテゴリ6			
6	事業所業務の標準化		
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている			<b>評点( A )</b>
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		○非該当
●あり ○なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている		○非該当
●あり ○なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している		○非該当
●あり ○なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		○非該当
【A+の取り組み】			○あり ●なし



評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリ6の講評

各種マニュアルの活用

区で定めた「危機管理マニュアル」とは別に、園としても、痙攣時の対応手順やアレルギー児の給食に関する対応マニュアル、不祥事マニュアル(かみつき、熱中症など)、散歩先での留意点(各公園ごとの留意事項)、散歩マニュアルなどを作成・活用している。マニュアルは、実際に現場で参照され、仕事に活かされることを目的に作成している。

業務内容や手順の見直し

業務内容や手順については、年度末に見直しを行っている。見直しにあたっては、会議における職員の提案や、保護者会や父母会アンケートなどを通じて把握する保護者の要望など踏まえ、会議で検討し反映させている。

一定の業務水準確保のための取り組み

東京都社会福祉協議会や特別区、母子保健センターなどの関係機関が主催する研修については、随時案内し職員に周知している。区の主催する研修については、杉並の保育実践方針(案)を始め、子どもの発達に関連した研修が開かれており、園としても参加を奨励し個々のスキルアップを図っている。園内では、実務研修の内容を踏まえて、子どもの自己肯定感や環境の充実、保育者の専門性などについて、研修を実施している。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	○非該当
	●あり ○なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	○非該当
	●あり ○なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 200px;">○あり ●なし</span>			
評価項目1の講評			
<p><b>自主性・自発性の促進</b>          成長発達にあった環境設定を行っている。保育室にはコーナーを設け、子どもが自分の好きな遊びを見つけ遊びに熱中できるように配慮している。構成遊びに集中できる部屋が3、4歳児室の中間にあり、活用されている。園舎は広く、廊下を使用したコーナー遊びができる環境にある。園庭には、タイヤ、ドラム缶、マルチパーツ、のぼり棒、のぼりロープ、砂場、お家、テーブルなどの遊具を設置し、活用している。</p> <p><b>表現活動・園外活動の実施</b>          個々の発達に合わせて歌を歌ったり、体操をするなどの表現活動を計画的に実施している。散歩についても、計画に基づきねらいを明確にした上で、実施している。</p> <p><b>特性を踏まえた保育実践への取り組み</b>          一人ひとりの特性を踏まえた保育を一層充実させていくために、心理職の巡回相談を活用している。保育者は、日頃の観察に基づく気づきや対応方法について相談し、それを踏まえて一人ひとりの発達過程にあった関わり方を実践している。</p>			

2	<b>評価項目2</b> 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input type="radio"/> 非該当	
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
<b>評価項目2の講評</b>			
<b>食事を楽しむ工夫</b> 区立保育園共通の献立表により栄養バランスの取れた給食を提供する体制になっている。誕生会や行事の時は、より楽しいものになるように献立を基本としながらも、見た目にもより楽しいものになるように工夫している。			
<b>アレルギーへの配慮</b> 食物アレルギーのある子どもに対しては、提供する食事内容について個別に配慮している。事前に除去用献立表を保護者に配布し、それを基に検討・確認し、食事提供時は別トレーで配食している。要所所で職員が声に出して確認し連携を取り、誤食の発生を防止している。			
<b>快適な食事時間</b> 気持ちよく食事できるようにテーブルは清潔を保ち、時には花を飾ったり、テーブルクロスやランチョンマットを使用するなど、遊びの時間とは異なる食卓の雰囲気作りをしている。サイズの異なるテーブルや椅子を用意しており、子どもの体格に応じて足台や背当てを使い、安定した姿勢で食事できるようにしている。			
3	<b>評価項目3</b> 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	

評価項目3の講評

定期健診の実施

毎日の視診による健康状態の把握のほか、毎月の身体測定、年2回の健康診断、歯科・眼科・耳鼻科の各健診、ぎょう虫卵検査などの結果を、各園共通の児童票や健康カードに記録している。

健康・衛生管理

乳児クラスについては、乳幼児突然死症候群の発生防止のために、午睡チェック表により定期的に呼吸の確認を行っている。独自書式により、上向き、伏せ(みぎひだり)、咳、喘鳴、鼻汁、鼻閉などの項目に従って、より丁寧に様子を観察し記録している。感染症予防の見地から、感染性胃腸炎や新型インフルエンザへの対応マニュアル(保育課作成)を整備している。薬の処置が必要な子どもに対しては、与薬申込み書の手順に従って対応している。

保護者に対する情報提供

区役所や保健所などの関係機関から提供されるポスターやチラシ、園の保健だよりなどの掲示・配布などにより、感染症に関する情報を保護者に伝達している。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点( A )

4

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし

評価項目4の講評

年間計画に基づく多彩な行事の実施

年間行事計画に基づき、多彩な行事を実施している。プール遊び、夏祭り、運動会、遠足、芋ほり、焼き芋会、お楽しみ会、節分、ひなまつりなど、季節や目的に応じて子どもが楽しめる場面を設定している。誕生日にはカードを送り、クラスでお祝いしている。年長児は事務所で園長と共におやつを食べている。今年度はアイロンビーズで作品を作ったりしている。

清潔で快適な保育環境の維持

常に清潔を保ち、毎月、玄関や各クラスにおいて、季節の飾りつけを施したりしている。保育環境は月の指導計画の検討の中で話し合い、段階的に快適で落ち着ける環境や空間作りに取り組んでいる。

午睡時間の設定

早く起きてしまった子どもは、まだ眠っている子どもの睡眠を妨げることなく静かに過ごせるよう、テラスなどに移動したり、廊下のコーナーで遊ぶなど工夫している。0歳児は、必要に応じて午前睡を取れるようにしている。

5	<b>評価項目5</b> 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている			<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	○非該当	
	●あり ○なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当	
	●あり ○なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	○非該当	
	●あり ○なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	○非該当	
	●あり ○なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当	
	<b>【A+の取り組み】</b> <span style="margin-left: 100px;">○あり</span> <span style="margin-left: 20px;">●なし</span>			
<b>評価項目5の講評</b>				
<b>日常的な情報提供</b> 園だより、クラスだより、延長保育だよりなどにより、園での子どもの生活の様子や成長ぶりについて保護者に情報を提供している。日誌や月案を掲示し、日々の様子や一週間の見通しについてもお知らせしている。				
<b>意見や相談への対応</b> 面談では、家庭や園での様子を話し合い、成長につなげるよう取り組んでいる。どの職員も保護者からの相談を受ける力量を身につけられるよう、ロールプレーなどを通して対応力の向上に努めている。新保育指針を踏まえて、「保護者とのコミュニケーションを向上させるには」をテーマに検討するなど、保護者支援に力をいれている。「ホッとタイム」では保護者向けにホールを開放し、お茶やお菓子を楽しみながら保護者間の交流を図る機会を設けている。				
6	<b>評価項目6</b> 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている			<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
	●あり ○なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	○非該当	
	●あり ○なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当	
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当	
	<b>【A+の取り組み】</b> <span style="margin-left: 100px;">○あり</span> <span style="margin-left: 20px;">●なし</span>			

評価項目6の講評		
<p><b>虐待に関する意識の涵養</b> 職員は、区主催のもののほか、虐待防止を含む様々なテーマの各種研修に参加している。園内では、研修受講者による報告を通して、職員への意識付けや浸透を図っている。</p>		
<p><b>虐待対応のしくみ</b> 虐待の疑い、あるいは、虐待の事実を把握をした際の対応手順は、区の危機管理マニュアルにより明確に定められている。情報を得た際は、主管課である保育課を通じて子ども家庭支援センターや児童相談所などと連携して対処する体制にある。</p>		
7	<p>評価項目7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている</p>	
	<p>評点( A )</p>	
	<p>評価</p>	<p>標準項目</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している</p>
	<p>○非該当</p>	<p>2. 保育所の活動や行事に地域の人参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している</p>
<p>●あり ○なし</p>	<p>○非該当</p>	
<p>【A+の取り組み】 ○あり ●なし</p>		
<p>評価項目7の講評</p>		
<p><b>保護者への地域情報の提供</b> 児童館や図書館のお知らせほか、予防接種に関するポスターや各種広報誌、パンフレット、地域で行われている様々なイベントなどの情報は、一ヶ所の掲示板にまとめ、保護者に提供している。杉並区の子育て応援券が利用可能なものについては明示している。</p>		
<p><b>子どもと他者とのつながりの創出</b> 園庭開放や運動会への地域の子どもの参加、高齢者施設や児童館との交流など、地域との連携を活かした取り組みにより、子どもの活動の幅を広げている。</p>		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	グループ会議の開催と計画の実行
	内容	区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、さらに、園長・主査、他園内から2名(合計6名)の構成で拡大リーダーが構成され、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。
2	タイトル	リーダー、若手層の積極的な園運営への参加とバランスのよい園運営
	内容	園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。園運営の流れの合理化と役割分担も機能し、経営層の意思の浸透と職場全体の意思統一の強化もなされてきている。リーダーを中心に前向きに保育討議が活発になってきた。さらに、若い保育士たちが園運営に積極的にかかわるようになってきており、発言しやすい環境もできてきている。個々の職員の能力や得意分野を活かしながらバランスの良い園運営が出来つつある。
3	タイトル	保護者の意向の収集と活用
	内容	各職員がきめ細やかに保護者の要望等を吸い上げ、問題に対して、職員会議等で把握し、対応している。この他、「保護者会計画書及び報告書」において「今後に向けての反省と課題」のなかで、保護者会を土曜日に開催するなど、保護者の意向を取り入れている。また、保護者との信頼関係を密にするためにも、保護者会の前のお茶会や「ホットタイム」の時間を作り、保護者同士、職員と保護者の交流をはかり、保護者の意向把握に努めている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保育の質向上のための時間を確保するための工夫
	内容	園内での勉強会の充実、打ち合わせ時間の捻出と計画の実行のための職員の働きやすい環境作りの工夫を進めたいと考えている。現状では、日々の業務に終われ、なかなか話し合いをする時間が持てず、細かいところまで話をする時間が持てていない。保育内容について、十分に話し合える時間を持つことにより、真の保育の質向上のための、職員の理解がより深まる取り組みを行いたいと考えている。
2	タイトル	子どものサインを読み取る力の向上
	内容	目に見える危険への対応も大事ではあるが、ひっかきや手だしなど、口より先に手が出る場合、行動そのものへの対応だけでなく、子どもが何を言いたかったのか、サインの意味を知ることが大切であると考えている。今後は、子どもの状況を観察し把握するための目を養う意味でも、まずは記録を充実させていきたいと考えている。
3	タイトル	保護者対応の更なる発展としての保護者間の連携への取り組み
	内容	保護者対応マニュアルの職員への浸透により、保護者とのコミュニケーションが安定的に取れてきている。チャレンジプランにおいても「接客向上」は重要な構成要素であり、園としても積極的に取り組んでいる。今後は、より丁寧な保護者対応を行いたいと思っている。今回の評価の保護者アンケート部分において、保護者の意見に応じ切れていない部分があると、指導層は認識しており、どうしたら聞き入れることができるか、より一層の検討を行いたいと考えている。

# 西 荻 北 保 育 園

---



調査対象

複数児利用世帯は最低年齢児1人を対象として実施世帯数を絞り、57世帯から有効回答を得た。

調査方法

アンケート調査票の配付は保育園を通じて保護者へ手渡し、回収は保護者から評価機関へ直接郵送する方法を採用した。

利用者総数

80

共通評価項目による調査対象者数

80

共通評価項目による調査の有効回答者数

57

利用者総数に対する回答者割合(%)

71.3

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想として、「大変満足」が39%、「満足」が57%、合わせて96%という結果となった。最も高い満足度が示されたのは「一人ひとりの子どもは大切にされているか」についてで、95%の方が「はい」と回答した。これに対し、「外部の相談窓口にも相談できることを知っているか」においては、「はい」は26%にとどまり、「いいえ」との回答が63%となった。

## 利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	51	6	0	0
回答者の約89%が「はい」と回答した。体調やアレルギーなど個別の事情に応じた対応に感謝する声が寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	46	7	4	0
回答者の約81%が「はい」と回答した。散歩や公園、園庭での活動に感謝する声のほか、一層の充実を期待する声も寄せられた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	43	13	1	0
回答者の約75%が「はい」と回答した。延長保育の存在に感謝する声のほか、一層利用しやすくなる改善を期待する声も寄せられた。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	52	4	1	0
回答者の約91%が「はい」と回答した。十分な説明や迅速な判断、看護師の存在に感謝する声が寄せられた。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	42	13	2	0
回答者の約73%が「はい」と回答した。建物の老朽化や地震対策についての一層の説明を期待する声も寄せられた。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	42	13	2	0
回答者の73%が「はい」と回答した。曜日設定に関する多様なニーズをうかがわせる声が寄せられた。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	52	4	1	0
回答者の約91%が「はい」と回答した。朝夕の対話や相談に対する助言などに感謝する声が寄せられた。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	51	6	0	0
回答者の約89%が「はい」と回答した。話しやすさや保育のプロとしての視点からの助言に感謝する声のほか、一層のコミュニケーションを期待する声も寄せられた。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	44	13	0	0
回答者の約77%が「はい」と回答した。質問内容の趣旨(判断する基準)に対する戸惑いをうかがわせる声が寄せられた。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	53	3	0	1
回答者の約95%が「はい」と回答した。家庭以上のレベルの対応や目配りに感謝する声が寄せられた。				

11. 職員の対応は丁寧か	53	3	0	1
回答者の約93%が「はい」と回答した。概ね丁寧であるとの声が寄せられた。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	32	21	4	0
回答者の約56%が「はい」と回答した。不満はないとの声のほか、保護者の側の遠慮をうかがわせる声も寄せられた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	38	17	0	2
回答者の約66%が「はい」と回答した。問12と同様、不満はないとの声のほか、保護者の側の遠慮をうかがわせる声も寄せられた。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	15	6	36	0
回答者の約26%が「はい」と回答した。利用開始時の説明を忘れている方が多いことがうかがえる結果となった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	17	5	0	0
回答者の約77%が「はい」と回答した。一層の詳細な説明を期待する声も寄せられた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	

評価項目3

重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点（ A ）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝える	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリ1の講評

杉並区の保育理念と園独自の方針

杉並区の保育理念の他に園独自で定めた園目標があり、杉並区の保育理念を効果的に具体化できるよう取り組んでいる。また、理念を念頭に置きながらチャレンジプランの目標を設定し、園の理念として「あいのクローバー」を作成した。四葉のクローバーを背景に「ふれあい」「たすけあい」「そだちあい」「みとめあい」を掲げ、保育園らしいやさしいイメージのもと、分かりやすく目標を明示している。この目標を職員とともに達成すべく、職員会議等の打ち合わせ等を行い、職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行っている。

指導層の役割の明確化と前期終了後評価、反省、後期の見直しの流れ

指導層の立場を園運営マニュアルに「係り分担表」に視覚的に明示している。この上で、園長・主査の指導層は計画的に行動している。毎月の保育計画と反省を行ったり、プロジェクトチームのメンバー編成を決定して園運営を行っている。さらに、目標を実現するために、「前期終了後評価→反省、後期の見直し」という流れを確立し、指導層が中心となり園運営に取り組んでいる。

各会議仕様と意思決定手順の明確化

園運営マニュアルに「会議の持ち方」を明示し、開催頻度、時期、内容、出席対象者など明示して、意思決定の手順を定めている。保護者に対しては重要案件について、文章や掲示等で周知している。

2 カテゴリー2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリー2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

評価項目2

ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○非該当
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3

地域の関係機関との連携を図っている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリ-2の講評

「ともだちひろば」等を通じた保育所機能の還元

西荻北保育園では近隣の0歳から就学前の子どもと家族を対象に、保育園を開放し、交流を持つ機会を設けている。内容としては、ホールや園庭での遊びのほか、看護師が身体測定をしたり、健康についての相談を行ったり、栄養士が離乳食、食事に関する相談を行ったしている。子育て相談や園内見学もすることが出来る。区で行っている「ふれあい保育」のように予約が必要でないため、「ともだちひろば」が広く使われている。

地域子育てネットワークを通じた地域との協働

地域子育てネットワークに参加し、様々な交流事業を園長・主査等が中心となって園として地域での共通課題の解決に協働している。また、「地域子育てネットワーク誌 桃三」を発行し、近隣の小学校、幼稚園、商店等に掲示してもらい、地域に対する情報発信に努めている。さらに、「幼小連携事業」の指定園であり、近隣小学校との交流を積極的に行うことにより、園児や保護者がスムーズに小学校生活への移行が可能になるとともに、年長者としての自覚を促すことなどに役立っている。近隣小学校と共通の課題の解決に協働している。

区の担当課と連携したボランティアの受け入れ体制の確立

ボランティアや実習生の受け入れについては、「保育実習に関する留意事項」「杉並区における実習生の受け入れ手順」など、区の担当課との連携のもと受け入れ体制を確立している。また、園独自でも、「中学生職場体験・ボランティア活動に参加される方へ」といった書面を用意して体制を整備している。

カテゴリ-3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリ-1

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし



### カテゴリー3の講評

#### 園独自でも苦情対応の仕組みを確立している

苦情相談員制度、区の保育課の苦情対応のほかにも、園独自で苦情対応の仕組みを作っている。園では日頃から担任が保護者の意向を把握することを始めとして、報告などにより園長が把握した要望等について、即日に返答するなど迅速な対応をしてる。特に、園独自で「苦情解決シート」を作成しており、「内容→意向→原因→解決策→保護者対応」という項目をたて、苦情解決を書式の中で意識できるようにするとともに、記録の保持も出来ように工夫している。

#### 保護者の意向を踏まえた園運営

あそぼう会(運動会)後、保護者にアンケートをとったところ、「遊び」的な側面が大きくなっていた部分を、運動会のように「かけっこ競争」(競技的)側面があったほうが良いという要望が保護者からあがった。このアンケートを踏まえ、「かけっこ競争」などのプログラムを加え会を開催したところ、開催後のアンケート結果の感想は好意的なものが多かった。園長としても、今後とも保護者の要望・意向の把握をより一層積極的に行い、サービスの向上につなげたいと考えている。

#### 地域関係機関を通じた情報収集

子育て支援に関する地域の協議会(地域子育てネットワーク等)、園長会などを通じて地域の福祉ニーズ、福祉事業全体の動向を把握するとともに、区の担当者と連携して情報の整理・分析を行っている。

カテゴリ4		
4 計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリ1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

<b>評価項目3</b> 着実な計画の実行に取り組んでいる		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることの取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b> <span style="float: right;"><input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし</span>		
<b>サブカテゴリー2</b>		
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
<b>評価項目1</b> 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b> <span style="float: right;"><input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし</span>		
<b>カテゴリー4の講評</b>		
<b>区と連携した計画策定</b> 区レベルとして「長期計画」「実施計画」「保健福祉計画」を策定し、担当課レベルでは「杉並区の保育実践方針」を策定中である。同方針については、研修等を通じて多くの職員が学んでいる。園としてもチャレンジプランを通じて実践的な計画策定を行い、課題の明確化や手順が職員に周知されている。		
<b>チャレンジプランをもとにした計画の効果的実行</b> チャレンジプランでは「目標→取組計画→評価(中間・年度末)」という流れのもとに計画が効果的に実行できるよう工夫がなされている。この目標のもと取組計画が作成されている。政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の分野ごとに園の目標を掲げ、例えば「安心して過ごせる室内外の環境整備の向上」という目標に対して、「室内を考えるプロジェクト」「室外プロジェクト」の各プロジェクトが設置され、計画に基づき効果的な実行が行われている。取組計画が詳細に記載され目標に対し、着実に成果を上げられるような仕組みになっている。		
<b>危機管理における区との密接な連携と、園独自のマニュアルによる対応</b> 杉並区の庁内LANによる「ヒヤリハット」の共有があり、他施設の状態も含めて共有できるようになっている。危機管理マニュアルは区保育園全体のものが用意されており、これに加えて、園独自で園運営マニュアルや「災害時における具体的な職務分担」に様々な状況に対応したマニュアルが用意してある。事故報告書の書式も整備しており、区の担当課による確認も行われている。ヒヤリハットでは、指導層が中心となり、園独自で書式の完備が出来ており、よりきめ細やかなリスクマネジメントを行えるよう心がけている。		

カテゴリ-5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ-1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点( B )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

区との連携による人材の確保と人員配置

区の保育担当部署と連携して人事制度に関する方針を明示している。組織目標・チャレンジプランにより、部・課の目標にあわせて、係の課題・取組計画を明示し、個人のチャレンジプランを作成している。採用については、正規職員は区が採用し、非常勤等職員については、保育課が必要に応じ採用している。各クラス担当の職員配置は、職員会議等により決定している。

「保育の向上を考えるリーダー」の選出と職員の能力向上

区全体の取組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。園運営の流れの合理化と役割分担も機能し、経営層の意思の浸透と職場全体の意思統一の強化もなされてきている。個々の職員の能力や得意分野を活かしながらバランスの良い園運営が出来つつある。

区の人材マネジメントシステムと園独自の研修計画の作成

「職員人材育成事業実施計画」をもとにした、職員の育成・評価・報酬が連動した人材マネジメントを行っている。これに合わせ、「私のチャレンジプラン」をもとに各職員の就業状況のヒアリングを行っている。加えて、園の指導層が園独自の研修計画を作成している。「平成21年度西荻北保育園実務研修及び園内研修計画書」には園内研修の「ねらい」も明確に記載され、「内容」「方法」「流れ」の方向性も記載されている。受動的な研修受講ではなく、園の「ねらい」に基づいた計画書が作成されている。

7 カテゴリー7		
情報の保護・共有		
サブカテゴリー1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1		評点( A )
事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2		評点( A )
個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

#### カテゴリ7の講評

##### 区による情報の保護・共有の管理と園の情報管理の工夫

区による情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ対策基準によりアクセス権等の設定をしている。また、保管は区のファイリングシステムに従って分類・整理している。園としても、情報の整理とファイルなど文章を使いやすくする工夫をしている。

##### 杉並区個人情報保護条例による情報の保護・共有

杉並区個人情報保護条例により個人情報の利用目的を明示するとともに、個人情報の保護に関する規程を明示している。「保育情報の共有で子育てのことを何でも伝えあえる保育園」という区の担当課作成のお知らせを、入園時に配布している。また、「保育記録の閲覧等申出書」で児童票等の情報を閲覧できるようになっている。さらに、園独自の個人情報マニュアルも整備し、個人情報の適切な利用・保護を図っている。

##### 写真・ビデオ撮影に際しての同意

写真やビデオ映像の撮影に際しては、保護者に対し説明の上、理解を得ている。それらの利用については、区で定めた「画像データ提供申請書」により使用用途を限定し、撮影された園児の保護者の同意を得た上で対応している。

カテゴリー8	
8	カテゴリー1～7に関する活動成果
サブカテゴリー1	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>グループ会議の開催と計画の実行</b> 区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。	
サブカテゴリー2	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>「保育の向上を考えるリーダー」の選出と職員の能力向上</b> 区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出をおこない、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。園運営の流れの合理化と役割分担も機能し、経営層の意思の浸透と職場全体の意思統一の強化もなされてきている。個々の職員の能力や得意分野を活かしながらバランスの良い園運営が出来つつある。	
サブカテゴリー3	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>しおりの文書化</b> 保護者に提供する情報をより確実に浸透させるべく、入園時を始めこれまでに説明してきた内容を「しおり」として文書化し、平成21年9月に改めて保護者にも配布した。四葉のクローバーを背景に「ふれあい」「たすけあい」「そだちあい」「みとめあい」という「あいのクローバー」を表紙に掲げ、進むべき方向を明確にしている。	



サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善に向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+  A  B  C

改善の成果

行政改革の実行による取り組み

区では行財政改革である「スマートすぎなみ計画」により、計画的に取り組みを進めている。平成20年度から平成22年度の目標としては、①区の事業の6割を共同化・民営化・委託化する、②経常収支比率を80%以下とする、③職員定数を330人削減する、となっている。保育分野に関しては、給食調理・用務の委託や指定管理制度の導入などによるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率向上などの取り組みを進めている。これまでに保育園の指定管理制度を4園に導入、調理・用務業務の委託についても21年度現在で12園で実施している。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+  A  B  C

改善の成果

保護者意向の把握と活用

あそぼう会(運動会)後、保護者にアンケートをとったところ、「遊び」的な側面が大きくなっていた部分を、運動会のように「かけっこ競争」(「競技的」側面)があったほうが良いという要望が保護者からあがった。このアンケートを踏まえ、「かけっこ競争」などのプログラムを加え会を開催したところ、開催後のアンケート結果の感想は好意的なものが多かった。園運営に保護者の意向を活かし、目に見える形で成果が出てきている。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
サブカテゴリ1の講評		
<p><b>区ホームページによる園概要の紹介</b></p> <p>区ホームページの「施設案内」により、園の概要について網羅的に紹介している。所在地などの基本情報のほか、最寄の駅からの道順案内、園の見取り図(写真入り)、保育目標、対象年齢や職員体制、主な行事などについて、簡潔に説明している。紹介する項目自体は各園共通であるが、特に「保育園の特色」については、環境や活動の様子など、当園らしさについて具体的に分かりやすく紹介している。</p>		
<p><b>園としての情報の発信</b></p> <p>園のしおりには、園の人員体制や保育時間、保育目標、見取り図などのほか、保育事業の概要や園生活について簡潔に伝える内容となっている。しおり自体は、入園が決定した際に渡すこととしているが、その他の見学や園庭開放の際の訪問者に対しては、しおりの内容を要約した概要を渡している。</p>		
<p><b>見学・相談への対応</b></p> <p>問い合わせや見学の要望については、園長・主査を対応者として随時応じている。在園児の保育に支障のない範囲で、見学希望者の要望に沿えるよう調整している。寄せられた見学・問い合わせの要望については、保育課では相談項目・年齢別に集計・把握されている。</p>		

サブカテゴリ-2		
2 サービスの開始・終了時の対応		
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点( A )</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している <p style="text-align: right;">評点( A )</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
サブカテゴリ-2の講評		
<b>入園前の説明</b> 入園児健康診断・面接の機会や入園説明会の場において、基本事項について説明している。園の特徴や生活上の留意点などについては映像資料を用いながら、災害時の対応や保険制度などについては区発行の各種文書により、説明している。なお、提供する情報をより確実に浸透させるべく、これまで説明してきた内容を「しおり」として文書化し、平成21年9月に改めて保護者にも配布した。四葉のクローバーを背景に「ふれあい」「たすけあい」「そだちあい」「みとめあい」という「あいのクローバー」を表紙に掲げ、進むべき方向を明確にしている。		
<b>個別事情や要望の把握</b> 入園前の面接では、保育時間に関する意向や保育上の留意事項などのほか、健康上の留意事項、慢性疾患、離乳食進度、アレルギー等食物除去などについて、各専門職種の立場から情報を収集・確認し、児童票を中心とする個人記録にまとめている。		
<b>入園直後の緊張への対応</b> 「入園までの生活状況」(児童票)で把握した運動遊び、食事、睡眠、排泄、着脱、清潔(歯磨き・入浴)、養育態度などに関する情報を基に、集団生活の開始という環境変化に馴染めるよう配慮している。特に初めて親子で別れる経験をする子どももいるので、しばらくは親子で共に過ごす時間を設けたり、希望があれば保育時間を短縮するなど、個別の状況に応じて対応している。		

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

サブカテゴリー3の講評

**新たな児童票の活用**  
 子どもの心身状況や発達状況・家庭状況などは、児童票に記録している。同票については、区内全園にて今年度から書式の見直しが行われ、子どもの成長過程に対する「評価」ではなく、保護者とともに内容を共有し、方向を探っていくためのものに変更された。

**計画の作成と保護者への説明**  
 クラスごとに年間の指導計画を作成し、それを基に月の指導計画(月案)や週案を立案している。計画は、月・期・年ごとに見直しを行っている。年間計画については、保護者会で配布・説明し、その他のクラスについては、園だよりやクラスだよりでねらいやポイントについて説明している。

**子どもに関する情報の共有**  
 子ども一人ひとりの目標や頑張りを記録していこうと取り組んでいる。朝夕保育など、担任以外の職員も関わる部分が多いので、全員で共有化を図っている。連絡事項については、より一層の浸透を図るべく、連絡ノートなどの書面による確認と口頭での確認ができるよう、取り組んでいる。

サブカテゴリー5

**5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重**

<b>評価項目1</b> 子どものプライバシー保護を徹底している		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

<b>評価項目2</b> サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b> <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
<b>サブカテゴリ5の講評</b>		
<b>プライバシーへの配慮</b> プールの際は、外ではなくシャワールームで脱いだり、全裸で歩き回らないよう働きかけるなど、外からの視線から守りつつ、子ども自身の自覚を促している。室内でのおむつ交換の際は、衝立を立てるなどしてなるべく他者の目に触れないようにしている。		
<b>日常的な振り返り</b> 子ども一人ひとりの思いを受け止め、出来るだけ受け入れつつ、出来ない時は分かるようにじっくりと説明している。否定的な言葉を使わないことを、皆で意識している。「ふれあい」「たすけあい」「そだちあい」「みとめあい」という「あいのクローバー」を毎年確認している。研修報告をもとに、発達に応じた褒め方や叱り方、注意の仕方などについて確認している。		
<b>サブカテゴリ6</b>		
<b>6</b>	<b>事業所業務の標準化</b>	
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b> <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている			<b>評点( A )</b>
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
<b>【A+の取り組み】</b>			<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
<b>評価項目3</b> さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している			<b>評点( A )</b>
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当	
<b>【A+の取り組み】</b>			<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
<b>サブカテゴリ6の講評</b>			
<b>各種マニュアルの活用</b> 区で定めた「危機管理マニュアル」とは別に、「21年度の計画及び20年度の反省資料」を作成している。保育の理念や方針、目標、望ましい子ども像などを明示した上で、各々の仕事内容や会議の持ち方、アレルギー食提供児の確認事項、防犯に関する留意事項等、園運営や保育に関するポイントを明確化している。各プロジェクトチームや係ごとの、次年度に向けた課題としての反省資料なども含めてあり、実際の業務に活かされることを前提とした生きた内容となっている。			
<b>業務内容や手順の見直し</b> 業務内容や手順については、年度末に見直しを行っている。見直しにあたっては、職員による検討・提案や保護者の意見などを参考にし、次年度の計画に反映させている。上記の通り、計画自体に前年度の反省資料を組み込み、振り返りに基づく業務水準の改善を実践している。			
<b>一定の業務水準確保のための取り組み</b> 東京都社会福祉協議会や特別区、母子保健センターなどの関係機関が主催する研修については、随時案内し職員に周知している。区の主催する研修については、杉並の保育実践方針(案)を始め、子どもの発達に関連した研修が開かれており、園としても参加を奨励し個々のスキルアップを図っている。園内では、保育方針「あいのクローバー」の構成要素である「ふれあい」「たすけあい」「そだちあい」「みとめあい」のそれぞれについて、具体的な事例の検討を通じた理解、内容の共有化に取り組んでいる。			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
評価項目1の講評			
<p><b>自主性・自発性の促進</b>                  長時間保育を必要とする子どもが多いので、室内のコーナーや廊下などの空間の利用して、少人数で過ごしたり、遊びを継続できるようにしたりしている。また、発達に合った遊具や手作りのままごと素材、積み木などを揃えている。朝夕保育の玩具については、子どもが順次帰っても残った子どもが継続できるようなものを工夫している。園庭には、ブランコ、鉄棒、砂場、築山などを配置し、これらを活用した保育を行っている。</p> <p><b>表現活動・園外活動の実施</b>                  小学校や幼稚園、高齢者施設など地域の関係機関との交流も折り込みながら、日々の保育に無理のない形で様々な経験ができるよう取り組んでいる。散歩については、外に出る目的を各クラスで明確にした上で、目的地や遊び方などを吟味して計画的に実施している。</p> <p><b>特性を踏まえた保育実践への取り組み</b>                  一人ひとりの特性を踏まえた保育を一層充実させていくために、心理職の巡回相談を活用している。保育者は、日頃の観察に基づく気づきや対応方法について相談し、それを踏まえて一人ひとりの発達過程にあった関わり方を実践している。</p>			



2	<b>評価項目2</b> 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input type="radio"/> 非該当	
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
<b>評価項目2の講評</b>			
<b>食事を楽しむ工夫</b> 区立保育園共通の献立表に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供できる体制にある。子どものリクエストに基づくおやつ提供や、子どもが育てた野菜の活用など、食事を楽しむための工夫をしている。			
<b>アレルギーへの配慮</b> 食物アレルギーのある子どもに対しては、提供する食事内容について個別に配慮している。事前に除去用献立表を保護者に配布し、それを基に園長・担任・看護師・調理師で検討・確認し、食事提供時は別トレーで配食している。要所所で職員が確認し連携を取り、誤食の発生を防止している。0歳時については、喫食状況の確認や誤食の防止のために、看護師が食事指導に入ることもある。			
<b>快適な食事時間</b> 野菜の皮むきやテーブル拭きなど、食事に関わる場面で役割を担うことで、意欲的に食事ができるようにしている。食べられない子どもは、量を調節している。会食時には、テーブルに花を飾ったり、ランチョンマットを使用したりするなど、楽しい食卓作りに努めている。テーブルや椅子には、子どもの体格に応じて足台や背当てを使い、安定した姿勢で食事ができるようにしている。			
3	<b>評価項目3</b> 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	

評価項目3の講評

定期健診の実施

毎日の視診による健康状態の把握のほか、毎月の身体測定、年2回の健康診断、歯科・眼科・耳鼻科の各健診、ぎょう虫卵検査などの結果を、各園共通の児童票や健康カードに記録している。

健康・衛生管理

乳児クラスについては、乳幼児突然死症候群の発生防止のために、午睡チェック表により定期的に呼吸の確認を行っている。感染症予防の見地から、感染性胃腸炎や新型インフルエンザへの対応マニュアル(保育課作成)を整備している。また、乳児の排便処理について、ノロウイルスやアデノウイルス等の感染を防ぐための処理方法を確認し、周知している。なお、薬の処置が必要な子どもに対しては、与薬申込み書の手順に従って対応している。

保護者に対する情報提供

区役所や保健所などの関係機関から提供されるポスターやチラシ、園の保健だよりなどの掲示・配布などにより、感染症に関する情報を保護者に伝達している。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点( A )

4

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし

評価項目4の講評

年間計画に基づく多彩な行事の実施

年間行事計画に基づき、多彩な行事を実施している。遠足、夏まつり、みんなであそぼう会、秋の遠足(幼児)、いもほり、やきいも、節分、お楽しみ会、ひな祭りお茶会、など、季節や目的に応じて子どもが楽しめる場面を設定している。

清潔で快適な保育環境の維持

玄関や廊下には自然物を用いて季節にあった装飾を行っている。環境の整備には、プロジェクトを組織して継続的に取り組んでいる。室内については、各クラスに相応しい環境の検討・整備、玩具の製作・購入などを行っている。室外については、特に、遊具の見直しや点検、時期を踏まえた、あるいは、子どもが分かりやすいような設定の仕方を検討し実施している。

午睡時間の設定

一人ひとりが落ち着いて眠ることができるよう、場所を固定している。子どもの状況に合わせて、時間を考慮して対応している。

5	<b>評価項目5</b> 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている			<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	○非該当	
	●あり ○なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当	
	●あり ○なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	○非該当	
	●あり ○なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	○非該当	
	●あり ○なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当	
	<b>【A+の取り組み】</b> <span style="margin-left: 100px;">○あり</span> <span style="margin-left: 20px;">●なし</span>			
<b>評価項目5の講評</b>				
<b>保育参加・参観の促進</b> 保護者による参観や参加については、保育に支障のない範囲で、希望に沿えるよう対応している。特に面談が可能な日程を掲示したり、面談の午後に保育参加の機会を設けるなど、保護者の訪問を促進している。				
<b>日常的な情報提供</b> 園だより、クラスだよりなどの配布、日誌や月案などの掲示により、日々の子どもの生活の様子や成長ぶりについて保護者に情報を提供している。保護者会では、ビデオ映像を活用するなど、一層視覚的にも伝わりやすい工夫をしている。				
<b>意見や相談への対応</b> 保護者から相談の希望が寄せられた際には、できるだけ早期に対応している。担任を通して園長への相談の希望があった場合は、可能な限り当日のお迎えの際に、無理な場合は翌日に対応するなど、保護者の希望に添えるようにしている。現在は、保護者が自身の困難な状況を包み隠さず話してくれる信頼関係が出来ており、園としても担任を窓口としつつ園内や専門機関との連携により、スムーズな支援が行えている。				
6	<b>評価項目6</b> 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている			<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
	●あり ○なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	○非該当	
	●あり ○なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当	
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当	
	<b>【A+の取り組み】</b> <span style="margin-left: 100px;">○あり</span> <span style="margin-left: 20px;">●なし</span>			

評価項目6の講評		
<p><b>虐待に関する意識の涵養</b> 職員は、区主催のもののほか、虐待防止を含む様々なテーマの各種研修に参加している。現在のところ、疑われるケースが少ないため、早期発見のための観察眼を養う意味でも、特化した園内研修の実施が必要であると考えている。</p>		
<p><b>虐待対応のしくみ</b> 虐待の疑い、あるいは、虐待の事実を把握をした際の対応手順は、区の危機管理マニュアルにより明確に定められている。情報を得た際は、主管課である保育課を通じて子ども家庭支援センターや児童相談所などと連携して対処する体制にある。</p>		
7	<p><b>評価項目7</b> 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている</p>	
	<p>評点( A )</p>	
	<p>評価</p>	<p>標準項目</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している</p>
	<p>○非該当</p>	
<p>●あり ○なし</p>	<p>2. 保育所の活動や行事に地域の人参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している</p>	<p>○非該当</p>
<p>【A+の取り組み】 ○あり ●なし</p>		
評価項目7の講評		
<p><b>保護者への地域情報の提供</b> 児童館や小学校の行事のお知らせほか、予防接種に関するポスターや各種広報誌、パンフレットの設置など、地域の様々な情報を保護者に提供している。</p>		
<p><b>子どもと他者とのつながりの創出</b> 平成20年度まで幼少連携モデル事業の指定園であったことから、事業終了後の現在でも交流を継続している。小学生による保育園の見学、年長クラスによる小学校の見学、合同の写生会、園での絵本の読み聞かせなど、特に年長児を中心に交流を図っている。園庭開放の参加者も多く、児童館や高齢者施設との交流を含め、地域の方々と触れ合う機会が充実している。</p>		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	「ともだちひろば」の開催と「幼小連携事業」等による地域社会との積極的な関わり
	内容	西荻北保育園では「ともだちひろば」として、近隣の0歳から就学前の子どもと家族を対象に保育園を開放し、交流を持つ機会を設けている。内容としては、ホールや園庭での遊びのほか、看護師が身体測定をしたり、健康についての相談を行ったり、栄養士が離乳食、食事に関する相談を行ったりしている。子育て相談や園内見学もすることが出来る。また、「幼小連携事業」の指定園であり、近隣小学校との交流を積極的に行うことにより、近隣小学校と共通の課題の解決に協働している。地域の一員として積極的な活動を行っている。
2	タイトル	職員集団の問題解決に対する理解と意欲
	内容	区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。また、経験豊富な職員が多いためバランスの良い園運営が出来ている。
3	タイトル	環境構成の充実にに向けた継続的な取り組み
	内容	環境構成の充実にむけて、職員でプロジェクトを組織して継続的に向上に向けて取り組んでいる。室内については、少人数で過ごしたり遊びを継続できるようなコーナー設定や空間の利用など、各クラスに相応しい環境を検討・整備し、また、発達段階に合った遊具や玩具の製作・購入などを行っている。室外については、特に、遊具の見直しや点検・補修、時期を踏まえ、あるいは、子どもが分かりやすいような設定の仕方を実施している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	施設の老朽化への対応
	内容	建物の築年数の経過とともに施設の老朽化も進み、様々な不具合が表出することがある。園としては、職員による工夫により補っているが、それだけでは難しい場面も出てきている。今後とも、保護者の要望を踏まえ、主管課とともに可能な範囲で改善に努めていきたいと考えている。
2	タイトル	予防的視野からの虐待への対応能力の向上
	内容	職員は、区主催のもののほか、虐待防止を含む様々なテーマの各種研修に参加している。現在のところ、疑われるケースは少ないが、巡回指導の専門家への相談や送迎時の観察などを行っている。今後は、より一層の意識付けや観察眼の涵養という意味でも、このテーマに特化した園内研修の実施が必要であると考えている。
3	タイトル	保護者支援の充実
	内容	日常の保育の中で子どもの発達や課題について、保護者と情報を共有するように努めている。ただ、気になる部分を含め子どもの姿を保護者に伝え、理解を得ていくことには、苦慮している。保護者と共通の理解の上に立った保育を一層進めていくためにも、より良い支援方法を検討したいと考えている。

# 上 荻 保 育 園

---

調査対象

複数児利用世帯は最低年齢児1人を対象として実施世帯数を絞り、51世帯から有効回答を得た。

調査方法

アンケート調査票の配付は保育園を通じて保護者へ手渡し、回収は保護者から評価機関へ直接郵送する方法を採用した。

利用者総数

92

共通評価項目による調査対象者数

92

共通評価項目による調査の有効回答者数

51

利用者総数に対する回答者割合(%)

55.4

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想として、「大変満足」が35%、「満足」が45%、合わせて80%という結果となった。最も高い満足度が示されたのは「一人ひとりの子どもは大切にされているか」についてで、94%の方が「はい」と回答した。これに対し、「外部の相談窓口にも相談できることを知っているか」については、「はい」は43%にとどまった。

## 利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	40	10	0	1
回答者の約78%が「はい」と回答した。食材の豊富さや栄養のバランスに感謝する声のほか、一層の充実を期待する声も寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	43	7	0	1
回答者の約84%が「はい」と回答した。園庭の狭さに理解を示した上で、自然に触れる機会の創出や体調に応じた遊びの内容の変更などに感謝する声が寄せられた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	40	8	2	1
回答者の約78%が「はい」と回答した。延長保育の存在に感謝する声のほか、一層利用しやすくなるための改善を期待する声も寄せられた。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	44	6	0	1
回答者の約86%が「はい」と回答した。適切な対応や看護師による迅速な処置に感謝する声が寄せられた。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	38	8	4	1
回答者の約74%が「はい」と回答した。十分な対策がとられていると感謝する声のほか、一層の充実を期待する声も寄せられた。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	32	14	3	2
回答者の約63%が「はい」と回答した。早めのお知らせに感謝する声のほか、曜日設定に関する多様なニーズをうかがわせる声が寄せられた。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	43	6	1	1
回答者の約84%が「はい」と回答した。朝夕の対話や相談に対する助言などに感謝する声のほか、一層のコミュニケーションを期待する声も寄せられた。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	46	3	1	1
回答者の約90%が「はい」と回答した。いつでも相談できるとの声のほか、一層のコミュニケーションや説明を期待する声も寄せられた。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	45	5	0	1
回答者の約88%が「はい」と回答した。園に対する信頼をうかがわせる声のほか、利用と保護のバランスを求める声も寄せられた。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	48	2	0	1
回答者の約94%が「はい」と回答した。子どもの様子から、可愛がられているのが良く分かるとの声が寄せられた。				



11. 職員の対応は丁寧か	46	4	0	1
回答者の約90%が「はい」と回答した。挨拶や助言に感謝する声が寄せられた。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	34	13	3	1
回答者の約67%が「はい」と回答した。言いやすい雰囲気であるとの声のほか、保護者の側の遠慮をうかがわせる声も寄せられた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	39	9	1	2
回答者の約76%が「はい」と回答した。迅速な対応、保護者会での説明、園だよりによる回答などに感謝する声が寄せられた。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	22	6	22	1
回答者の約43%が「はい」と回答した。利用開始時の説明を忘れている方が多いことがうかがえる結果となった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	14	3	0	0
回答者の約82%が「はい」と回答した。特に具体的な声は寄せられなかった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	

<b>評価項目3</b> 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点（ A ）
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
○あり ●なし		
カテゴリー1の講評		
<b>杉並区の保育理念と園独自の方針</b> 杉並区の保育理念の他に園独自で定めた園目標があり、杉並区の保育理念を効果的に具体化できるよう取り組んでいる。また、理念を念頭に置きながらチャレンジプランの目標を設定し、この目標を職員とともに達成すべく、職員会議等の打ち合わせ等を行い、職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行っている。さらに、園のしおりに各クラスの保育目標を掲げより具体的に、園の考えを明示している。		
<b>指導層の役割の明確化と前期終了後評価、反省、後期の見直しの流れ</b> 指導層の立場を園運営マニュアルの分担表に視覚的に明示している。その上で、園長・主査の指導層は計画的に行動している。毎月の保育計画と反省を行ったり、プロジェクトチームのメンバー編成を決定して園運営を行っている。さらに、目標を実現するために、「前期終了後評価→反省、後期の見直し」という流れを確立し、指導層が中心となり園運営に取り組んでいる。		
<b>各会議仕様と意思決定手順の明確化</b> 各種会議の参加職員、基本日時、内容を園運営マニュアルに明示し、意思決定の手順を定めている。保護者に対しては重要案件について、文章や掲示等で周知している。		

2 カテゴリー2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点( A )		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点( A )		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
サブカテゴリー2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点( A )		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

<b>評価項目2</b> ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○非該当
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		○あり ●なし

<b>評価項目3</b> 地域の関係機関との連携を図っている		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		○あり ●なし

カテゴリ2の講評

**ふれあい保育等を通じた保育所の機能の還元**

ふれあい保育とは、区立保育園で保育園生活を体験する中で、保育士や看護師、調理職員のアドバイスを受けながら、保護者の子育てに対する悩みや不安を解消し、子供の健やかな成長を支援する制度で、杉並区全体で取り組んでいる。園としては「すくすくひろば」(園庭開放)により広く地域の人たちに園を開放しており、利用した子どもには、身体測定を行い「すくすくおおきくなったかなカード」を配布し、必要に応じて保護者向けに看護師や保育士による育児相談も行っている。夏祭りは、保護者や地域の人々に協力を得て園が主体となって開催している。

**地域子育てネットワークを通じた地域との協働**

地域子育てネットワーク(保育園・児童館・保健センターなど)に参加し、行政連絡会への定期的な参加やネットワーク通信の作成を行うとともに、防災・防犯に関する情報交換、交流事業を、園長・主査等が中心となって園として地域での共通課題の解決に協働している。また、併設の児童館との交流として看護師を派遣したり、児童館の行事に参加したりしている。

**区の担当課と連携したボランティアの受け入れ体制の確立**

ボランティアや実習生の受け入れについては、「保育実習に関する留意事項」「杉並区における実習生の受け入れ手順」など、区の担当課との連携のもと受け入れ体制を確立している。園独自でも、受け入れの「意義と方針」を園マニュアルに明示し、受け入れに当たっての担当も園長、主査を中心に園マニュアルに明示し受け入れ体制を確立している。

3 カテゴリー3		
利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリー1		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

### カテゴリ-3の講評

#### 苦情相談員制度の保護者への周知と、保育課との連携

杉並区保育事業全体として、保健福祉サービスの利用者が提供されるサービスに不満があるとき保健福祉サービス苦情調整委員が、申立者とサービス提供事業者の双方から事情を聴き、公正・中立な立場から問題の解決を図る苦情相談員制度があり、周知している。また、区の保育課へ問い合わせ等があった段階で、三日以内に返答するよう迅速な対応ができるよう心がけている。区の担当者と園長の連携により、迅速かつ的確な対応をするよう体制が構築されている。

#### 保護者対応マニュアルによる利用者意向の把握

保護者対応マニュアルの職員への浸透により、保護者とのコミュニケーションが安定的に取れてきている。チャレンジプランにおいても「保護者とささいな事でも言い合える信頼関係を築く」ことを目標に掲げている。今後は、要望・苦情への園の回答を、保護者側にきちんと伝達できているか確認し、より丁寧な保護者対応を行いたいと考えている。また、駅から近い園という事で様々な地域からの利用があり、各家庭の地域との結びつきが希薄であるため、父母会などの運用が今はないが、今後保護者の結びつきが強くなるような園の働きかけを行っていきたい。

#### 地域関係機関を通じた情報収集

子育て支援に関する地域の協議会（地域子育てネットワーク等）、園長会などを通じて地域の福祉ニーズ、福祉事業全体の動向を把握するとともに、区の担当者と連携して情報の整理・分析を行っている。

カテゴリ4		
4 計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリ1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		



評価項目3  
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリー2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1  
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリー4の講評

区と連携した計画策定

区レベルとして「長期計画」「実施計画」「保健福祉計画」を策定し、担当課レベルでは「杉並区の保育実践方針」を策定中である。同方針については、研修等を通じて多くの職員が学んでいる。園としてもチャレンジプランを通じて実践的な計画策定を行い、課題の明確化や手順が職員に周知されている。

チャレンジプランをもとにした計画の効果的実行

チャレンジプランでは「目標→取組計画→評価(中間・年度末)」という流れのもとに計画が効果的に実行できるよう工夫がなされている。この目標のもと取組計画が作成されている。政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の分野ごとに園の目標を掲げ、取組計画が詳細に記載され目標に対し、着実に成果を上げられるような仕組みになっている。

危機管理における区との密接な連携と、園独自のマニュアルによる対応

杉並区の庁内LANによる「ヒヤリハット」の共有があり、他施設の状態も含めて共有できるようになっている。危機管理マニュアルは区保育園全体のものが用意されており、これに加えて、園独自で園運営マニュアルになかに様々な状況に対応したマニュアルが用意してある。事故報告書の書式も整備しており、区の担当課による確認も行われている。さらに、駅や繁華街が近いという事情もあり、園内に防犯カメラが設置してある。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点( B )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

区との連携による人材の確保と人員配置

区の保育担当部署と連携して人事制度に関する方針を明示している。組織目標・チャレンジプランにより、部・課の目標にあわせて、係の課題・取組計画を明示し、個人のチャレンジプランを作成している。採用については、正規職員は区が採用し、非常勤等職員については、保育課が必要に応じ採用している。各歳児担当の職員配置は、職員会議等により決定している。

「保育の向上を考えるリーダー」の選出と職員の能力向上

区全体の取組目として「保育の向上を考えるリーダー」の選出をおこない、園内にリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。園運営の流れの合理化と役割分担も機能し、経営層の意思の浸透と職場全体の意思統一の強化もなされてきている。個々の職員の能力や得意分野を活かしながらバランスの良い園運営が出来つつある。

区の人材マネジメントシステムを中心とした体制

「職員人材育成事業実施計画」をもとにした、職員の育成・評価・報酬が連動した人材マネジメントを行っている。これにあわせ、「私のチャレンジプラン」をもとに各職員の就業状況のヒアリングを行っている。

7		カテゴリー7	
情報の保護・共有			
サブカテゴリー1			
情報の保護・共有に取り組んでいる			
評価項目1		事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	
		評点( A )	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当	
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当	
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当	
【A+の取り組み】		○あり ●なし	
評価項目2		個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	
		評点( A )	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当	
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当	
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当	
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当	
【A+の取り組み】		○あり ●なし	

#### カテゴリ7の講評

##### 区による情報の保護・共有の管理と園の情報管理の工夫

区による情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ対策基準によりアクセス権等の設定をしている。また、保管は区のファイリングシステムに従って分類・整理している。園としても、情報の整理とファイルなど文章を使いやすくする工夫をしている。

##### 杉並区個人情報保護条例による情報の保護・共有

杉並区個人情報保護条例により個人情報の利用目的を明示するとともに、個人情報の保護に関する規程を明示している。また、園独自の個人情報マニュアルも整備し、個人情報の適切な利用・保護を図っている。

##### 写真・ビデオ撮影に際しての同意

写真やビデオ映像の撮影に際しては、保護者に対し説明の上、理解を得ている。それらの利用については、区で定めた「画像データ提供申請書」により使用用途を限定し、撮影された園児の保護者の同意を得た上で対応している。

カテゴリー8	
8 カテゴリー1～7に関する活動成果	
サブカテゴリー1	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>グループ会議の開催と計画の実行</b> 区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。	
サブカテゴリー2	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>チャレンジプランの活用</b> 園のチャレンジプランと職員のチャレンジプランを有効にリンクさせることにより、効果的に職員と組織の能力向上ができるようになってきた。職員のチャレンジプランでは、園長とのヒアリングで確認、個人の意識が高まるとともに、園のチャレンジプランとリンクさせることにより、園全体の意識が高まるようなシステムが出来ている。	
サブカテゴリー3	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>外部講師を招いた研修の実施</b> 傷を早く治し、傷痕が残りにくいモイストヒーリング(湿潤療法)の認識を高めるため、外部から講師を招いて学習会を実施した。当園職員のみならず近隣保育園の職員や看護師も参加した。擦り傷や切り傷、かみ傷、刺し傷、裂け傷など、様々な具体例を踏まえて傷の正しい対応方法を学び、個々の職員の対応能力の向上を図った。	

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善に向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+  A  B  C

改善の成果

行政改革の実行による取り組み

区では行財政改革である「スマートすぎなみ計画」により、計画的に取り組みを進めている。平成20年度から平成22年度の目標としては、①区の事業の6割を共同化・民営化・委託化する、②経常収支比率を80%以下とする、③職員定数を330人削減する、となっている。保育分野に関しては、給食調理・用務の委託や指定管理制度の導入などによるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率向上などの取り組みを進めている。これまでに保育園の指定管理制度を4園に導入、調理・用務業務の委託についても21年度現在で12園で実施している。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+  A  B  C

改善の成果

保護者会、個人面談の開催

各職員がきめ細やかに保護者の要望等を吸い上げ、問題に対して、職員会議等で把握し、対応している。また、保護者対応マニュアルの職員への浸透により、保護者とのコミュニケーションが安定的に取れてきている。チャレンジプランにおいても「保護者とささいな事でも言い合える信頼関係を築く」ことを目標に掲げている。成果としては個人面談や保護者会などは土曜日や迎え時間などにも設定し、それができる体制を整えたため、保護者の利便性が高まった。さらに、3歳児クラスの保護者から出た苦情などをきっかけにクラス懇談会で子どもの育ちについて話げできた。また、開催時間を迎え時間にしたことで参加しやすくなったことなどが挙げられる。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している		評点( A )
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
サブカテゴリ1の講評		
<p><b>区ホームページによる園概要の紹介</b></p> <p>区ホームページの「施設案内」により、園の概要について網羅的に紹介している。所在地などの基本情報のほか、最寄の駅からの道順案内、園の見取り図(写真入り)、保育目標、対象年齢や職員体制、主な行事などについて、簡潔に説明している。紹介する項目自体は各園共通であるが、特に「保育園の特色」については、環境や活動の様子など、当園らしさについて具体的に分かりやすく紹介している。</p>		
<p><b>園としての情報の発信</b></p> <p>園のしおりは、保育目標や基本理念のほか、各クラスの目標や散歩マップを紹介するなど、園の特徴を簡潔に伝える内容となっている。しおり自体は、入園内定者のみに渡すこととしているが、その他の見学や園庭開放の際の訪問者に対しては、しおりの内容を要約した施設概要を渡している。</p>		
<p><b>見学・相談への対応</b></p> <p>問い合わせや見学の要望については、希望日を聞いた上で、園長および主査を対応者として随時応じている。見学時には、離乳食や健康についてや、入園を念頭に置いた相談を受けることもあり、必要に応じて栄養士や看護師も対応している。寄せられた見学・問い合わせの要望については、保育課では相談項目・年齢別に集計・把握されている。</p>		



サブカテゴリー2		
2 サービスの開始・終了時の対応		
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点( A )</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している <p style="text-align: right;">評点( A )</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
サブカテゴリー2の講評		
<b>入園前の説明</b> 入園児健康診断・面接の機会や入園説明会の場において、園での生活に関する基本事項を説明している。保育理念や園生活の概要、年間行事計画のほか、必要な持ち物などについては「しおり」を中心に、災害時の対応や保険制度などについては区発行の各種文書により、説明している。		
<b>個別事情や要望の把握</b> 入園前の面接では、保育時間に関する意向や保育上の留意事項などのほか、健康上の留意事項、慢性疾患、離乳食進度、アレルギー等食物除去などについて、各専門職種立場から情報を収集・確認し、児童票を中心とする個人記録にまとめている。		
<b>入園直後の緊張への対応</b> 「入園までの生活状況」(児童票)で把握した運動遊び、食事、睡眠、排泄、着脱、清潔(歯磨き・入浴)、養育態度などに関する情報を基に、集団生活の開始という環境変化に馴染めるよう配慮している。特に0歳児の場合、初めての園生活に不安感を抱くこともある。保護者が多忙で授乳が難しく、離乳食もほとんど進んでいないケースも多い。そこで、乳児クラスには担当制で対応したり、看護師が家庭と連携をとってじっくりと取り組んでいくことを心がけている。それでも不安な保護者には、担当がじっくりと話を聞き、出来る限りの対応をしている。		

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

サブカテゴリー3の講評

**新たな児童票の活用**

子どもの心身状況の発達状況・家庭状況などは、児童票に記録されている。同票については、区内全園にて今年度から書式の見直しが行われ、子どもの成長過程に対する「評価」ではなく、保護者とともに内容を共有し、方向を探っていくためのものに変更された。

**計画の作成と保護者への説明**

クラスごとに年間の指導計画を作成し、それを基に月の指導計画(月案)や週案を立案している。計画は、月・期・年ごとに見直しを行っている。年間計画については保護者会で配布・説明し、その他の計画については、園だよりやクラスだよりでその時期の保育のポイントを説明している。

**子どもに関する情報の共有**

朝・夕保育の引継ぎ時には、該当する子どもの登園時間や家庭からの連絡、園での様子及び家庭への連絡、降園時間などの連絡事項について、連絡版を活用して共有化を図っている。昼の打ち合わせ時の連絡事項については体制表(日誌)に記入し、全体に周知している。今後は、議事録を含む記録物を各自が確認する習慣をさらにつけるべく、工夫していきたいと考えている。

サブカテゴリー5

**5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重**

**評価項目1**

子どものプライバシー保護を徹底している

**評点( A )**

<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

<b>評価項目2</b> サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
<b>サブカテゴリ-5の講評</b>		
<b>プライバシーへの配慮</b> 繁華街に隣接する立地条件を踏まえ、近隣のビルから園を見渡し、目隠しなどの必要性を検討している。プールやシャワーの使用時は、外から見えないように目隠しをしている。おねしょによる着替えなどの場合は、子どもの気持ちに配慮して個室で取り換えている。乳児のおむつ換えの際も、他者の目にさらされないよう環境を整えている。		
<b>日常的な振り返り</b> 子ども一人ひとりを尊重することとはどういうことか、職員同士で話し合い、意識を高めている。個々の職員が自分の保育を振り返るために「振り返りノート」を活用している。ノートを積極的に活用する職員の取り組みの継続により、振り返りの視点や子どもを見る視点が高まってきている。子どもに対する言葉がけや働きかけについては、具体的事例の検討を通して、一層の見直しと実践を図っていききたいと考えている。		
<b>サブカテゴリ-6</b>		
<b>6</b>	<b>事業所業務の標準化</b>	
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリ6の講評

独自マニュアルの策定と活用

区で定めたものとは別に、園としてのマニュアルを策定している。保育目標や目標に対する取り組み計画であるチャレンジプラン、会議や職員間の連絡のほか、地域との関わり、プライバシー、虐待、アレルギー児、園庭、保護者、かみつき・ひっかき、苦情・要望、実習生などの受け入れ、危機管理など多岐に渡るテーマについて、留意事項や手順、対応方法などを明示している。

職員や保護者の提案・意向を踏まえた業務内容や手順の見直し

マニュアルは、年度末に内容を確認し、必要に応じて見直しを行っている。職員から出された意見・提案、保護者会や面談、日常的な会話を通じて把握した保護者の要望は、会議で検討し、必要に応じて見直し、その結果を周知している。特に保護者対応や業務の手順など、日常的に行っていることに潜む改善要素の見直しについては、個々の職員の気づきによるところが大きいので、意見を出しやすい関係作りを心掛けながら業務の改善を図っている。

内部研修の実施

東京都社会福祉協議会や特別区、母子保健センターなどの関係機関のほか、区の主催する様々な研修については、情報を提供している。園内では、傷を早く治し、傷痕が残りにくいモイストヒーリング(湿潤療法)の認識を高めるため、外部から講師を招いて学習会を実施した。当園職員のみならず近隣保育園の職員や看護師も参加し、擦り傷や切り傷、かみ傷、刺し傷、裂け傷など、様々な具体例を踏まえて傷の正しい対応方法を学び、個々の職員の対応能力の向上を図った。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	○非該当
	●あり ○なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	○非該当
●あり ○なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	○非該当	
【A+の取り組み】		○あり ●なし	
評価項目1の講評			
<p><b>自主性・自発性の促進</b> 室内では、各保育室に遊びや生活のコーナーを設け、子ども一人ひとりが関心を持てるような環境作りをしている。ゆとりをもった日課の見通しの中で、一人ひとりがじっくりと自分の遊びが出来るよう、子どもの状況を見ながら必要な対応をしている。園庭には、滑り台、鉄棒、砂場、ロープブランコ、ネットなどを配置している。</p> <p><b>表現活動・園外活動の実施</b> 様々な素材を用いて描いたり、自由に製作したり、歌を歌うほか、泥遊びなど水・砂・泥と関わる遊びを取り入れている。比較的自然が少ない環境の中で、散歩では自然に触れる体験を意識的に設けている。電車を利用して井の頭公園まで出向くこともあり、この体験を通して、人をよけて道を歩く、物を触りながら歩かないなどといったことを理解させている。園内では、虫と触れ合えるように植物を植え、実際に蝶々が卵を産んだ。子どもが驚きや楽しみと共に発見したものには、じっくりと付き合っている。</p> <p><b>特性を踏まえた保育実践への取り組み</b> 一人ひとりの特性を踏まえた保育を一層充実させていくために、心理職の巡回相談を活用している。保育者は、日頃の観察に基づく気づきや対応方法について相談し、それを踏まえて一人ひとりの発達過程にあった関わり方を実践している。</p>			

2	<b>評価項目2</b> 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input type="radio"/> 非該当	
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
<b>評価項目2の講評</b>			
<b>食事を楽しむ工夫</b> 区立保育園共通の献立表に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供できる体制にある。調理業務は民間業者が担っており、栄養士と連携して食事を楽しむ様々な工夫をしている。行事の際は子どもの要望を取り入れてメニューを考えたり、ランチ皿に盛り付けるなどしている。子どもと共ににぎりやクッキー、シソジュースなどを作る体験も設けている。			
<b>アレルギーへの配慮</b> 食物アレルギーのある子どもに対しては、提供する食事内容について個別に配慮している。事前に除去用献立表を保護者に配布し、それを基に園で確認し、食事提供時は別トレーで配食している。要所所で職員が口頭で確認し連携を取り、誤食の発生を防止している。			
<b>快適な食事時間</b> クラスごとに落ち着いた雰囲気の中で食事が出来るよう、保育士の声のかけ方や動線にも注意している。テーブルには季節の花や散歩時に摘んだ草花を飾ったり、会食時にはテーブルクロスやランチョンマットを使用するなどしている。園庭の藤の花を見ながらの会食は恒例となっている。			
3	<b>評価項目3</b> 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	

評価項目3の講評

定期健診の実施

毎日の視診による健康状態の把握のほか、毎月の身体測定、年2回の健康診断、歯科・眼科・耳鼻科の各健診、ぎょう虫卵検査などの結果を、各園共通の児童票や健康カードに記録している。

健康・衛生管理

乳児クラスについては、乳幼児突然死症候群の発生防止のために、午睡チェック表により15分おきに呼吸の確認を行っている。個別に配慮が必要な場合は、別の書式で10分おきに確認している。感染症予防の見地から、感染性胃腸炎や新型インフルエンザへの対応マニュアル(保育課作成)を整備している。薬の処置が必要な子どもに対しては、与薬申込書に従って対応している。

保護者に対する情報提供

区役所や保健所などの関係機関から提供されるポスターやチラシ、園の保健だよりなどの掲示・配布などにより、感染症に関する情報を保護者に伝達している。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点( A )

4

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4の講評

年間計画に基づく多彩な行事の実施

年間行事計画に基づき、多彩な行事を実施している。プラネタリウム、七夕会食、夏祭り、遠足、運動会、芋掘り、お芋パーティー、わくわくおたのしみ会、新年子ども会、節分、ひなまつり会食など、季節や目的に応じて子どもが楽しめる場面を設定している。

清潔で快適な保育環境の維持

園が幼い子どもが長い時間過ごす場所であることから、清潔はもとより、落ち着いた雰囲気になるよう、草花や自然の物を飾っている。玄関付近にはベンチを設置し、お迎え時に腰をおろしたり、ほっとできる空間を確保している。園としては、手作りのおもちゃや遊具をもつと取り入れ、必要なときに必要なものを提供できる体制を作っていきたいと考えている。

午睡時間の設定

乳児クラスは、子どもによっては午前睡が必要な場合もあり、個別に対応している。幼児クラスは、寝付けない子どももいるので、様子を見ながら部屋で静かに過ごしたり、体調が悪い場合には早く寝かせるなど、状況に応じて対応している。夜の睡眠に支障が出ないよう、3時には起こしている。



5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目5の講評			
<p><b>保育参加・参観の促進</b> 保育参観・参加は、基本的にいつでも可能としている。その上で、参観と面談を組み合わせたり、積極的に声をかけるなど、保護者の訪問を促進している。</p> <p><b>日常的な情報提供</b> 園だよりやクラスだより、事務室だより、日誌などにより、各時期の子どもの様子を伝えている。保護者会では、日常の子どもの様子を伝える写真やビデオ映像を見てもらうなど、子どもの姿を伝えている。掲示する日誌やクラスだよりには子どもの名前を載せ、食育活動や保健教育、誕生会などの場合は写真を載せるなど、視覚的にもより分かりやすい内容にしている。</p> <p><b>意見や相談への対応</b> 保護者からの相談については、いつでも受け止める体制にある。その場で対応できない場合は、保護者の都合に合わせて時間をとり、相談を受けている。相談内容については、保護者対応ノートにまとめ、相談後の声かけを含め、その後のフォローにつなげている。</p>			
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
	●あり ○なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目6の講評		
<p><b>虐待に関する意識の涵養</b></p> <p>職員は、区主催のもののほか、虐待防止を含む様々なテーマの各種研修に参加している。研修受講者による報告により、職員全体で内容を共有している。必要に応じて、子ども家庭支援センターや保育課と連携してカンファレンスを受け、専門的なケアが必要な子どもへの対応について学ぶ機会を設けている。</p>		
<p><b>虐待対応のしくみ</b></p> <p>虐待の疑い、あるいは、虐待の事実を把握をした際の対応手順は、区の危機管理マニュアルにより明確に定められている。情報を得た際は、主管課である保育課を通じて子ども家庭支援センターや児童相談所などと連携して対処する体制にある。</p>		
7	<p>評価項目7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている</p>	
	<p>評点( A )</p>	
	<p>評価</p>	<p>標準項目</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している</p>
	<p>○非該当</p>	
<p>●あり ○なし</p>	<p>2. 保育所の活動や行事に地域の方の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している</p>	<p>○非該当</p>
<p>【A+の取り組み】 ○あり ●なし</p>		
評価項目7の講評		
<p><b>保護者への地域情報の提供</b></p> <p>地域の関係機関によるイベントのチラシやポスターを、どの保護者も見ることができる掲示板に掲示したり、広報誌やパンフレットを設置するなど、地域の様々な情報を保護者に提供している。また、学校紹介や子育て応援券ハンドブックなども手にとることが出来るようにしている。</p>		
<p><b>子どもと他者とのつながりの創出</b></p> <p>園庭開放や夏まつり、運動会への地域の方々の参加などにより、子どもが地域の方々と触れ合える機会を創出している。夏祭りについては、地域の方に盆踊りを教えて頂き、当日も参加して頂いた。子どもが園周辺を回る神輿巡業では、地域の方にも歓迎されている。また、小中学校の職場体験を受け入れ、異世代交流を図っている。児童館で行われるボランティアによる「おはなしバスケット」にも参加している。</p>		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	「保育の向上を考えるリーダー」の選出と職員の能力向上
	内容	区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。園運営の流れの合理化と役割分担も機能し、経営層の意思の浸透と職場全体の意思統一の強化もなされてきている。個々の職員の能力や得意分野を活かしながらバランスの良い園運営が出来つつある。また、職員が外部研修を自ら積極的に受講し、子どものために保育技術を高めようとする意欲が高い。
2	タイトル	一括した情報提供
	内容	全クラスの登降園口を一本化したことで、保護者に対し提供する様々な情報の掲示場所も一ヶ所にまとめられ、子どもの様子や園からの連絡事項などを伝えやすくなった。保護者にとっても、確認が容易になった。また、出入りが一カ所であることにより、目を配りやすいなど、安全面での利点も出てきている。さらに、登降園時の何気ない声のかけないなど、保護者間のコミュニケーションの促進にも功を奏している。
3	タイトル	特性を踏まえた保育実践への独自の取り組み
	内容	一人ひとりの特性を踏まえた保育を一層充実させていくために、心理職の巡回相談を活用している。保育者は、日頃の観察に基づく気づきや対応方法について相談し、それを踏まえて一人ひとりの発達過程にあった関わり方を実践している。さらに当園では、相談内容を踏まえた「実施経過記録」を残している。心理職による助言を踏まえた各職員の実践を記録していくことにより、対応の振り返りや助言内容の理解も深まり、保育全体の質の向上につなげている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保護者対応の更なる発展としての保護者間の連携への取り組み
	内容	チャレンジプランにおいても「保護者とささいな事でも言い合える信頼関係を築く」ことを目標に掲げ、日々取り組んでいる。今後は、要望・苦情への園の回答が、保護者側にきちんと捉えられているかについて確認していくことを、課題として認識している。また、駅から近い園という事で様々な地域からの利用があり、各家庭の地域との結びつきが希薄であるため、父母会などの運用が今はない。今後、保護者の結びつきが強くなるような働きかけについて、検討していきたいと考えている。
2	タイトル	保育の質向上のための時間を確保するための工夫
	内容	園内での勉強会の充実、打ち合わせ時間の捻出と計画の実行のための職員の就業環境づくりの工夫を進めたいと考えている。現状では、日々の業務に追われ、なかなか話し合いをする時間が持てず、細かいところまで話をする時間が持てていない。保育内容について、十分に話し合える時間を持つことにより、真の保育の質向上のための、職員の理解がより深まる取り組みを行いたいと考えている。
3	タイトル	保護者対応力の向上
	内容	保育課を始め、発達支援センターなどの専門機関との関係では、特に配慮の必要な保護者への対応について相談し必要なバックアップを受けている。しかし、複雑化する保護者の事情を前に対応に苦慮しつつ、なんとか対応しているという現実がある。必要な場合には、今後とも専門機関による対応につなげていくが、園としても保護者の多様な事情の理解やそれを踏まえた対応に力を入れていきたいと考えている。

# 井草保育園

---

調査対象

複数児利用世帯は最低年齢児1人を対象として実施世帯数を絞り、50世帯から有効回答を得た。

調査方法

アンケート調査票の配付は保育園を通じて保護者へ手渡し、回収は保護者から評価機関へ直接郵送する方法を採用した。

利用者総数

89

共通評価項目による調査対象者数

89

共通評価項目による調査の有効回答者数

50

利用者総数に対する回答者割合(%)

56.2

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想として、「大変満足」が42%、「満足」が48%、合わせて90%という結果となった。最も高い満足度が示されたのは「提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか」および「保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか」についてで、96%の方が「はい」と回答した。これに対し、「外部の相談窓口にも相談できることを知っているか」については、「はい」は36%にとどまり、「いいえ」との回答が56%となった。

## 利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	48	2	0	0
回答者の約96%が「はい」と回答した。体調やアレルギーなど個別の事情に応じた対応や、衛生面への気配り、苦手なものが少しずつ食べられるようになったことなどに感謝する声が寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	48	1	0	1
回答者の約96%が「はい」と回答した。充実した園庭遊びや散歩、それらを通して自然や季節を感じられることなどに感謝する声が寄せられた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	42	8	0	0
回答者の約84%が「はい」と回答した。延長保育の存在や申込み時の対応に感謝する声のほか、一層利用しやすくなるための改善を期待する声も寄せられた。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	42	6	2	0
回答者の約84%が「はい」と回答した。丁寧な対応に感謝する声が寄せられた。連絡については、保護者の就業状況による対応の難しさをうかがわせる声が寄せられた。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	32	17	1	0
回答者の約64%が「はい」と回答した。玄関の施錠や避難訓練の実施などを踏まえて安心できるとする声のほか、「十分な安全」の実現の難しさに理解を示す声や一層の充実を期待する声も寄せられた。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	33	16	1	0
回答者の約66%が「はい」と回答した。早めのお知らせに感謝する声のほか、曜日設定に関する多様なニーズをうかがわせる声が寄せられた。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	42	7	1	0
回答者の約84%が「はい」と回答した。話しやすさや親身な対応に感謝する声のほか、一層のコミュニケーションを期待する声も寄せられた。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	39	10	1	0
回答者の約78%が「はい」と回答した。今後のコミュニケーションの一層の充実を期待する声も寄せられた。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	41	7	0	2
回答者の約82%が「はい」と回答した。特に明確な声は寄せられなかった。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	46	4	0	0
回答者の約92%が「はい」と回答した。子どもが通園を楽しみにしている様子や職員による適切な関わり方に感謝する声が寄せられた。				

11. 職員の対応は丁寧か	44	6	0	0
回答者の約88%が「はい」と回答した。挨拶や話しやすさを挙げる声のほか、対応の一層の向上を期待する声も寄せられた。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	28	18	4	0
回答者の約56%が「はい」と回答した。保護者の側の遠慮をうかがわせる声も寄せられた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	36	14	0	0
回答者の約72%が「はい」と回答した。特に具体的な声は寄せられなかった。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	18	3	28	1
回答者の約36%が「はい」と回答した。利用開始時の説明を忘れている方が多いことがうかがえる結果となった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	21	4	0	0
回答者の約84%が「はい」と回答した。きめ細かな説明に感謝する声が寄せられた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	



評価項目3

重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点（ A ）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝える	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリ1の講評

杉並区の保育理念と園独自の方針

杉並区の保育理念の他に園独自で定めた園目標があり、杉並区の保育理念を効果的に具体化できるよう取り組んでいる。また、理念を念頭に置きながらチャレンジプランの目標を設定し、この目標を職員とともに達成すべく、職員会議等の打ち合わせ等を行い、職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行っている。

指導層の役割の明確化と前期終了後評価、反省、後期の見直しの流れ

指導層の立場を園運営マニュアルに分担表に視覚的に明示している。この上で、園長・主査の指導層は計画的に行動している。毎月の保育計画と反省を行ったり、プロジェクトチームのメンバー編成を決定して園運営を行っている。さらに、目標を実現するために、「前期終了後評価→反省、後期の見直し」という流れを確立し、指導層が中心となり園運営に取り組んでいる。

各会議仕様と意思決定手順の明確化

各種会議の参加職員、基本日時、内容を園運営マニュアルに明示していて、意思決定の手順を定めている。保護者に対しては重要案件について、文章や掲示等で周知している。

2 カテゴリー2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点( A )		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点( A )		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
サブカテゴリー2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点( A )		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2

ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○非該当
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3

地域の関係機関との連携を図っている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリ2の講評

ふれあい保育等を通じた保育所の機能の還元

ふれあい保育とは、区立保育園で保育園生活を体験する中で、保育士や看護師、調理職員のアドバイスを受けながら、保護者の子育てに対する悩みや不安を解消し、子どもの健やかな成長を支援する制度で、杉並区全体で取り組んでいる。また、園庭が広いことを活かし、園庭開放(遊ぼう会)を積極的に行っている。この園庭開放の機会を利用して園の概要のチラシ等を配布し、地域への透明性を高めている。また、「遊ぼう会」では身体測定や泥んこ遊びを行っている。

地域子育てネットワークを通じた地域との協働

地域子育てネットワーク(保育園・児童館・保健センターなど)に参加し、定期的な行政連絡会への参加やネットワーク通信の作成を行うとともに、防災・防犯に関する情報交換、交流事業を、園長・主査等が中心となって園として地域での共通課題の解決に協働している。また、「ゆうゆう館交流会」では同建物併設の「ゆうゆう館」へ敬老のためダンス・歌を披露した。さらに近隣児童館からの依頼により、離乳食相談のため栄養士を講師として派遣し、地域との交流を積極的に行っている。

区の担当課と連携したボランティアの受け入れ体制の確立

ボランティアや実習生の受け入れについては、「保育実習に関する留意事項」「杉並区における実習生の受入れ手順」など、区の担当課との連携のもと受け入れ体制を確立している。

3 カテゴリー3		
利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリー1		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		
<b>評価項目1</b> 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)		<b>評点( A )</b>
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b> <span style="float: right;"><input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし</span>		
<b>評価項目2</b> 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる		<b>評点( A )</b>
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b> <span style="float: right;"><input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし</span>		
<b>評価項目3</b> 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している		<b>評点( A )</b>
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b> <span style="float: right;"><input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし</span>		

### カテゴリ-3の講評

#### 苦情相談員制度の保護者への周知と、保育課との連携

杉並区保育事業全体として、保健福祉サービスの利用者が提供されるサービスに不満があるとき保健福祉サービス苦情調整委員が、申立者とサービス提供事業者の双方から事情を聴き、公正・中立な立場から問題の解決を図る苦情相談員制度があり、周知している。また、区の保育課へ問い合わせ等があった段階で、三日以内に返答するよう迅速な対応ができるよう心がけている。区の担当者と園長の連携により、迅速かつ的確な対応をするよう体制が構築されている。

#### 保護者の意向を踏まえた園運営

各職員がきめ細やかに保護者の要望等を吸い上げ、問題に対して職員会議等で把握し、対応している。その他、保護者会の運営方法に工夫を凝らし、保護者の積極的な意見の把握に努めている。保護者会では、保護者の方々を複数グループに分けて意見が言いやすい環境を作るとともに、保育士はあえて口を挟まず、意見の収集に努めている。今後とも、保護者の意見・意向の把握に努め、サービス向上に活用していきたい考えている。

#### 地域関係機関を通じた情報収集

子育て支援に関する地域の協議会（地域子育てネットワーク等）、園長会などを通じて地域の福祉ニーズ、福祉事業全体の動向を把握するとともに、区の担当者と連携して情報の整理・分析を行っている。

カテゴリ4		
4 計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリ1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3  
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリー2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1  
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリー4の講評

区と連携した計画策定

区レベルとして「長期計画」「実施計画」「保健福祉計画」を策定し、担当課レベルでは「杉並区の保育実践方針」を策定中である。同方針については、研修等を通じて多くの職員が学んでいる。園としてもチャレンジプランを通じて実践的な計画策定を行い、課題の明確化や手順が職員に周知されている。

チャレンジプランをもとにした計画の効果的実行

チャレンジプランでは「目標→取組計画→評価(中間・年度末)」という流れのもとに計画が効果的に実行できるよう工夫がなされている。この目標のもと取組計画が作成されている。政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の分野ごとに園の目標を掲げ、取組計画が詳細に記載され目標に対し、着実に成果を上げられるような仕組みになっている。

危機管理における区との密接な連携と、園独自のマニュアルによる対応

杉並区の庁内LANによる「ヒヤリハット」の共有があり、他施設の状態も含めて共有できるようになっている。危機管理マニュアルは区保育園全体のものが用意されており、これに加えて、園独自で園運営マニュアルになかに様々な状況に対応したマニュアルが用意されている。事故報告書の書式も整備しており、区の担当課による確認も行われている。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点( B )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		



サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

区との連携による人材の確保と人員配置

区の保育担当部署と連携して人事制度に関する方針を明示している。組織目標・チャレンジプランにより、部・課の目標にあわせて、係の課題・取組計画を明示し、個人のチャレンジプランを作成している。採用については、正規職員は区が採用し、非常勤等職員については、保育課が必要に応じ採用している。各歳児担当の職員配置は、職員会議等により決定している。

「保育の向上を考えるリーダー」の選出と職員の能力向上

保育課程作成のプロジェクトを年齢層で2つに分け、各グループで話し合いをさせるなど、進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。「保育の向上を考えるリーダー」選出等もあり、園運営の流れの合理化と役割分担も機能し、職場全体の意思統一の強化もなされてきている。個々の職員の能力や得意分野を活かしながらバランスの良い園運営が出来つつある。さらに、昼休みを確実に取得できるよう、園長が工夫し、園長・主査がシフトに入ることにより、各保育士が昼休みを使いリラックスした雰囲気の中でコミュニケーションが取れている。

区の人材マネジメントシステムを中心とした体制

「職員人材育成事業実施計画」をもとにした、職員の育成・評価・報酬が連動した人材マネジメントを行っている。これに合わせ、「私のチャレンジプラン」をもとに各職員の就業状況のヒアリングを行っている。

7 カテゴリー7		
情報の保護・共有		
サブカテゴリー1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1		評点( A )
事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2		評点( A )
個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

#### カテゴリ7の講評

##### 区による情報の保護・共有の管理と園の情報管理の工夫

区による情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ対策基準によりアクセス権等の設定をしている。また、保管は区のファイリングシステムに従って分類・整理している。園としても、情報の整理とファイルなど文章を使いやすくする工夫をしている。

##### 杉並区個人情報保護条例による情報の保護・共有

杉並区個人情報保護条例により個人情報の利用目的を明示するとともに、個人情報の保護に関する規程を明示している。また、園独自の個人情報マニュアルも整備し、個人情報の適切な利用・保護を図っている。

##### 写真・ビデオ撮影に際しての同意

写真やビデオ映像の撮影に際しては、保護者に対し説明の上、理解を得ている。それらの利用については、区で定めた「画像データ提供申請書」により使用用途を限定し、撮影された園児の保護者の同意を得た上で対応している。

カテゴリー8	
8 カテゴリー1～7に関する活動成果	
サブカテゴリー1	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>グループ会議の開催と計画の実行</b> 区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。	
サブカテゴリー2	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>チャレンジプランの活用と園長によるシフトの工夫</b> 園のチャレンジプランと職員のチャレンジプランを有効にリンクさせることにより、効果的に職員と組織の能力向上ができるようになってきた。職員のチャレンジプランでは、園長とのヒアリングで確認、個人の意識が高まるとともに、園のチャレンジプランとリンクさせることにより、園全体の意識が高まるようなシステムが出来ている。また、昼休みを確実に取得できるよう園長が工夫し、園長・主査がシフトに入ることにより、各保育士が昼休みを使いリラックスした雰囲気でのコミュニケーションが取れ、園内での情報共有に役に立つとともに、職員間のやる気向上につながっている。職員が楽しく仕事を行えば、子どもたちにとってもよい影響がでるとい、園長の考えに基づく工夫が根付いてきている。	
サブカテゴリー3	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>一括した情報提供</b> 園から発信する情報のほか、地域の関係機関から寄せられるイベント情報、保健衛生に関するお知らせなど、保護者に対して提供する情報を、1ヶ所の掲示板にまとめて掲示するようになった。これにより、保護者に対する周知がしやすくなった。	

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善に向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+  A  B  C

改善の成果

行政改革の実行による取り組み

区では行財政改革である「スマートすぎなみ計画」により、計画的に取り組みを進めている。平成20年度から平成22年度の目標としては、①区の事業の6割を共同化・民営化・委託化する、②経常収支比率を80%以下とする、③職員定数を330人削減する、となっている。保育分野に関しては、給食調理・用務の委託や指定管理制度の導入などによるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率向上などの取り組みを進めている。これまでに保育園の指定管理制度を4園に導入、調理・用務業務の委託についても21年度現在で12園で実施している。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+  A  B  C

改善の成果

保護者意向の把握と活用

各職員がきめ細やかに保護者の要望等を吸い上げ、問題に対して職員会議等で把握し、対応している。この他、保護者会の運営方法に工夫を凝らし、保護者の積極的な意見の把握に努めている。保護者会では、保護者の方々を複数グループに分けて意見が言いやすい環境を作るとともに、保育士はあえて口を挟まず、意見の収集に努めている。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
サブカテゴリ-1の講評		
<p><b>区ホームページによる園概要の紹介</b></p> <p>区ホームページの「施設案内」により、園の概要について網羅的に紹介している。所在地などの基本情報のほか、最寄の駅からの道順案内、園の見取り図(写真入り)、保育目標、対象年齢や職員体制、主な行事などについて、簡潔に説明している。紹介する項目自体は各園共通であるが、特に「保育園の特色」については、環境や活動の様子など、当園らしさについて具体的に分かりやすく紹介している。</p>		
<p><b>園としての情報の発信</b></p> <p>園のしおりには、園の人員体制や保育時間、保育目標、見取り図などの概要のほか、行事予定や園独自の活動など園の魅力を伝える内容となっている。しおり自体は、入園が決定した際に渡すこととしているが、そのほかの見学や園庭開放の際の訪問者に対しては、しおりの内容を要約した概要を渡している。また、訪問者のうちで関心ある方には月の献立表を提供し、喜ばれている。</p>		
<p><b>見学・相談への対応</b></p> <p>問い合わせや見学の要望については、園長・主査を対応者として随時応じている。建物の見学を希望する場合は午睡の時間帯を、遊びや活動の様子を見学を希望する場合はその時間帯を案内するなど、見学希望者の要望に出来る限り応じられるように調整している。寄せられた見学・問い合わせの要望については、保育課では相談項目・年齢別に集計・把握されている。</p>		

サブカテゴリ-2		
2 サービスの開始・終了時の対応		
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリ-2の講評		
<b>入園前の説明と同意</b> 入園児健康診断・面接の機会や入園説明会の場において、園での生活に関する基本事項を説明している。保育理念や園生活の概要、必要な持ち物などについては「しおり」を中心に、災害時の対応や保険制度などについては区発行の各種文書により、説明している。		
<b>個別事情や要望の把握</b> 入園前の面接では、保育時間に関する意向や保育上の留意事項などのほか、健康上の留意事項、慢性疾患、離乳食進度、アレルギー等食物除去などについて、各専門職種の立場から情報を収集・確認し、児童票を中心とする個人記録にまとめている。		
<b>入園直後の緊張への対応</b> 「入園までの生活状況」(児童票)で把握した運動遊び、食事、睡眠、排泄、着脱、清潔(歯磨き・入浴)、養育態度などに関する情報を基に、集団生活の開始という環境変化に馴染めるよう配慮している。慣らし保育については、1週間を目処にしつつも、特に小さい子どもは慣れた頃に発熱したりすることもあるので、終了期間は保護者の選択に委ねている。愛玩具の持ち込みも認め、初日は都合つけば保護者もともに食事をとって頂くなどしている。		

## サブカテゴリ-3

## 3 個別状況に応じた計画策定・記録

## 評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

## 評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

## 評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし



<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

サブカテゴリー3の講評

**新たな児童票の活用**

子どもの心身状況や発達状況・家庭状況などは、児童票に記録している。同票については、区内全園にて今年度から書式の見直しが行われ、子どもの成長過程に対する「評価」ではなく、保護者とともに内容を共有し、方向を探っていくためのものに変更された。

**計画の作成と保護者への説明**

クラスごとに年間の指導計画を作成し、それを基に月の指導計画(月案)や週案を立案している。計画は、月・期・年ごとに見直しを行っている。年間計画については、0歳児クラスについては配布し、その他のクラスについては保育のポイントをまとめて説明している。その他の計画については、園だよりやクラスだよりでねらいやポイントについて説明している。

**子どもに関する情報の共有**

毎月の指導計画の検討・反省を通じて、計画の内容や子どもに関する記録について、職員間で共有している。その日の状況は「打ち合わせノート」を通して、朝夕保育時の状況についてはそれぞれの日誌に記録し、皆で共有している。申し送り・引き継ぎという点では、延長保育時に起こったこと(微熱)や伝達事項(朝、視診をして欲しいなど)については「朝夕保育ノート」に記載し、翌朝職員がそれを踏まえて必要な対応をしている。今後は、朝受けたこと・日中起こったこと・夕方すること、一本化したものを使用する予定である。

サブカテゴリー5

**5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重**

**評価項目1**

子どものプライバシー保護を徹底している

**評点( A )**

<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		



<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
<b>評価項目3</b> さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリ6の講評		
<b>各種マニュアルの活用</b> 区で定めた「危機管理マニュアル」を中心に、一般的な業務内容のほか、散歩などの園外活動、感染症対策、災害時の対応などについて、その手順を明らかにしている。		
<b>業務内容や手順の見直し</b> 業務内容や手順については、年度末に見直しを行っている。見直しにあたっては、職員の提案や保護者の要望など踏まえ、会議で検討し反映させている。安全性に配慮した保育という点では、事故報告書の内容の共有し、全職員が一定水準の安全性を確保できるように取り組んでいる。		
<b>研修機会の提供</b> 東京都社会福祉協議会や特別区、母子保健センターなどの関係機関が主催する研修については、随時案内し職員に周知している。区の主催する研修については、杉並の保育実践方針(案)を始め、子どもの発達に関連した研修が開かれており、園としても参加を奨励し個々のスキルアップを図っている。		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 150px;"><input type="radio"/>あり</span> <span style="margin-left: 20px;"><input checked="" type="radio"/>なし</span>			
評価項目1の講評			
<p><b>自主性・自発性の促進</b>                  指導計画の検討の際に、自主性や自発性の発揮を促す環境設定や保育の進め方を検討している。子どもが遊びこめるよう、室内ではコーナーの設定を工夫し、一人ひとりの遊びを保障している。園庭には、滑り台、鉄棒、ブランコ、登り棒、築山、木の家、砂場、マルチパーツ、ドラム缶などを配置し、これらを活用した保育を行っている。</p> <p><b>表現活動・園外活動の実施</b>                  4・5歳クラスは共にリズム遊びをしたりして、敏捷性を養っている。園にいる間は体を動かすことを大事にし、散歩も目的をもって実施している。大きい子どもがやって小さな子どもが憧れるもの、「一緒にやろう」という参加を大事にし、運動会でのソーラン節の踊りなどを実施している。</p> <p><b>特性を踏まえた保育実践への取り組み</b>                  一人ひとりの特性を踏まえた保育を一層充実させていくために、心理職の巡回相談を活用している。保育者は、日頃の観察に基づく気づきや対応方法について相談し、それを踏まえて一人ひとりの発達過程にあった関わり方を実践している。</p>			

2	<b>評価項目2</b> 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	○非該当
	●あり ○なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	○非該当	
【A+の取り組み】		○あり ●なし	
評価項目2の講評			
<b>食事を楽しむ工夫</b> 区立保育園共通の献立表に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供できる体制にある。行事の際は、通常の献立を基本としつつ、見た目にもより楽しめるものとなるよう工夫している。検食で味付けや状態を、巡回で喫食状況を把握し、献立作成に反映させている。			
<b>アレルギーへの配慮</b> 食物アレルギーのある子どもに対しては、提供する食事内容について個別に配慮している。事前に除去用献立表を保護者に配布し、それを基に担任・栄養士・調理師で検討・確認し、食事提供時は別トレーで配食している。要所所で職員が声に出して確認し連携を取り、誤食の発生を防止している。			
<b>食育活動</b> 「食育の取り組み年間計画」に基づき、楽しく食べて心と体を育むことを目指している。子ども自身でおにぎりを握る際は、「食事作りや準備に関わり、日頃おやつを提供している調理職員や保護者への感謝の気持ちを醸成するとともに、ご飯の握り方・量・大きさを知らせる」などとねらいを設定し、実行している。			
3	<b>評価項目3</b> 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	○非該当
	●あり ○なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし	

評価項目3の講評			
<p><b>定期健診の実施</b> 毎日の視診による健康状態の把握のほか、毎月の身体測定、年2回の健康診断、歯科・眼科・耳鼻科の各健診、ぎょう虫卵検査などの結果を、各園共通の児童票や健康カードに記録している。</p> <p><b>健康・衛生管理</b> 乳児クラスについては、乳幼児突然死症候群の発生防止のために、午睡チェック表により定期的に呼吸の確認を行っている。感染症予防の見地から、感染性胃腸炎や新型インフルエンザへの対応マニュアル(保育課作成)を整備している。薬の処置が必要な子どもに対しては、与薬申込み書の手順に従って対応している。</p> <p><b>保護者に対する情報提供</b> 区役所や保健所などの関係機関から提供されるポスターやチラシ、園の保健だよりなどの掲示・配布などにより、感染症に関する情報を保護者に伝達している。</p>			
4	<p>評価項目4 園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている</p> <p style="text-align: right;">評点( A )</p>		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
	●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
	●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし			
評価項目4の講評			
<p><b>年間計画に基づく多彩な行事の実施</b> 年間行事計画に基づき、多彩な行事を実施している。七夕集会、プラネタリウム、運動会、遠足、芋ほり、焼き芋、お店やさんごっこ、お楽しみ会、節分、ひなまつり集会など、季節や目的に応じて子どもが楽しめる場面を設定している。</p> <p><b>清潔で快適な保育環境の維持</b> 子どもにとってより快適で過ごしやすい環境を実現するべく、日常的に検討を重ねている。時期に応じて室内の模様替えを行ったり、配置換えを行ったりするなど、快適な環境の整備に取り組んでいる。</p> <p><b>午睡時間の設定</b> 午睡時の睡眠は自然入眠に任せている。体調の悪い場合は、医務室を活用するなど、個別の状況に応じて対応している。</p>			

5	<b>評価項目5</b> 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<b>【A+の取り組み】</b>		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
<b>評価項目5の講評</b>			
<b>保育参加・参観の促進</b> 保育参観・参加は、基本的にいつでも可能としている。その上で、面談と保育参加を組み合わせたたり、一定の参観期間を設けたりするなど、保護者の訪問を促進している。			
<b>日常的な情報提供</b> 園だより、クラスだよりなどにより、園での子どもの生活の様子や成長ぶりについて保護者に情報を提供している。保護者会では、ビデオ映像を活用するなど、一層視覚的にも伝わりやすい工夫をしている。			
<b>意見や相談への対応</b> 子育てなどに関する保護者からの相談については、朝夕の送迎時の対話を大事にしつつ、申し出があれば開園時間内で対応している。			
6	<b>評価項目6</b> 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<b>【A+の取り組み】</b>		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし

評価項目6の講評		
<p><b>虐待に関する意識の涵養</b> 職員は、区主催のもののほか、虐待防止を含む様々なテーマの各種研修に参加している。園内では、研修受講者による報告を通して、職員への意識付けや浸透を図っている。</p>		
<p><b>虐待対応のしくみ</b> 虐待の疑い、あるいは、虐待の事実を把握をした際の対応手順は、区の危機管理マニュアルにより明確に定められている。情報を得た際は、主管課である保育課を通じて子ども家庭支援センターや児童相談所などと連携して対処する体制にある。</p>		
7	<p>評価項目7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている</p>	
	<p>評点( A )</p>	
	<p>評価</p>	<p>標準項目</p>
	<p>●あり ○なし</p>	<p>1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している</p>
	<p>○非該当</p>	<p>2. 保育所の活動や行事に地域の人々の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している</p>
<p>●あり ○なし</p>	<p>○非該当</p>	
<p>【A+の取り組み】 ○あり ●なし</p>		
<p>評価項目7の講評</p>		
<p><b>保護者への地域情報の提供</b> 児童館や図書館のお知らせほか、予防接種に関するポスターや各種広報誌、パンフレット、地域で行われている様々なイベントなどの情報は、一ヶ所の掲示板にまとめ、保護者に提供している。杉並区の子育て応援券が利用可能なものについては明示している。</p>		
<p><b>子どもと他者とのつながりの創出</b> 園庭開放や運動会への地域の子どもの参加、敬老館や児童館との交流、ボランティアの受け入れ、保護者が学校で主催するクラブの発表会への参加など、地域との連携を活かした取り組みにより、子どもの活動の幅を広げている。</p>		



No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	職員集団の問題解決に対する理解と意欲
	内容	区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。また、経験豊富な職員が多いためバランスの良い園運営が出来ている。
2	タイトル	チャレンジプランの活用と園長によるシフトの工夫
	内容	園のチャレンジプランと職員のチャレンジプランを有効にリンクさせることにより、効果的に職員と組織の能力向上ができるようになってきた。また、昼休みを確実に取得できるよう園長が工夫し、園長・主査がシフトに入ることにより、各保育士が昼休みを使いリラックスした雰囲気でのコミュニケーションが取れ、園内での情報共有に役に立つとともに、職員間のやる気向上につながっている。職員が楽しく仕事を行えば、子どもたちにとってよい影響がでるといふ、園長の考えに基づく工夫が根付いてきている。
3	タイトル	体験を通じた成長の重視
	内容	成長をあせらず、見守り、任せ、できたことを褒め、自信をつかんでいく体験を大事にしている。喧嘩の解決や食事の好き嫌いなどについても、大人の立場で指示したり代わりにやってしまったりとその場は収まるが、大人がいなくてももしっかりと考えられる子どもに育てて欲しい、本当の力を身につけて欲しいとの思いから、言葉かけにも配慮し、反応を見守っている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	新任職員の育成
	内容	新任職員を育成するという事は、先輩保育士にとっても刺激になり、スキルアップの機会とも捉えられる。子どもの保育にも同様だが、「見守り」「任せてみる」「良いところを認める」「思いやる」の姿勢が大切と考えている。園長としては、「らしさをつぶさない」「ゆっくり勉強してほしい」という思いのもと、クラスの担任編成等において新人育成の工夫等はしている。今後とも、指導層、ベテラン、中堅の職員がよりいっそう協力して、新人の育成を行っていきたくと考えている。
2	タイトル	業務効率を良くするための合理化への工夫
	内容	日常の業務の忙しさに追われ、業務遂行の過程において無駄なことが多いと思いつつも、対策が取れていない。サービス提供上に起こる非効率の是正を始めとして、この非効率を全体的な視点から整理する、組織的な仕組み作りについても検討したいと考えている。
3	タイトル	卒園後の見通しに基づく保育の実践
	内容	成長をあせらず、見守り、子どもに任せてみることを大切にしている。また、義務教育への就学前までの子どもの発達を担う保育園として、就学後の新たな環境にスムーズに移行していける力をつけられるよう、日々取り組んでいる。そこで、子どもには、自分で考えられる力を育ててあげられるよう、また、そのためにも、園としては、子どもが最終的にどこに向かうのかという見通しを立てた上の保育を心がけていきたいと考えている。

# 善福寺保育園

---

調査対象

複数児利用世帯は最低年齢児1人を対象として実施世帯数を絞り、52世帯から有効回答を得た。

調査方法

アンケート調査票の配付は保育園を通じて保護者へ手渡し、回収は保護者から評価機関へ直接郵送する方法を採用した。

利用者総数

82

共通評価項目による調査対象者数

82

共通評価項目による調査の有効回答者数

52

利用者総数に対する回答者割合(%)

63.4

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想として、「大変満足」が44%、「満足」が48%、合わせて92%という結果となった。最も高い満足度が示されたのは「提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか」についてで、98%の方が「はい」と回答した。これに対し、「外部の相談窓口にも相談できることを知っているか」については、「はい」は35%にとどまり、「いいえ」との回答が59%となった。

## 利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	51	1	0	0
回答者の約98%が「はい」と回答した。体調やアレルギーなど個別の事情に応じた対応に感謝する声が寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	47	4	1	0
回答者の約90%が「はい」と回答した。散歩や公園、園庭での活動に感謝する声のほか、一層の充実を期待する声も寄せられた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	47	3	0	2
回答者の約90%が「はい」と回答した。延長保育の存在や申込み時の対応に感謝する声が寄せられた。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	44	6	1	1
回答者の約84%が「はい」と回答した。説明を含めて対応の一層の充実を期待する声も寄せられた。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	36	14	2	0
回答者の約69%が「はい」と回答した。一層の徹底を期待する声も寄せられた。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	38	11	3	0
回答者の約73%が「はい」と回答した。曜日設定に関する多様なニーズをうかがわせる声が寄せられた。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	46	6	0	0
回答者の約88%が「はい」と回答した。保護者会などの定期的な意見交換の場や相談しやすい雰囲気に感謝する声が寄せられた。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	44	6	1	1
回答者の約84%が「はい」と回答した。担任との良好な関係をうかがわせる声も寄せられた。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	41	9	1	1
回答者の約79%が「はい」と回答した。特に具体的な事例がないとの声のほか、一層の徹底を期待する声も寄せられた。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	48	3	0	1
回答者の約92%が「はい」と回答した。特に具体的な声は寄せられなかった。				

11. 職員の対応は丁寧か	48	3	0	1
回答者の約92%が「はい」と回答した。感じの良さを挙げる声も寄せられた。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	29	19	3	1
回答者の約55%が「はい」と回答した。保護者の側の遠慮をうかがわせる声も寄せられた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	41	10	0	1
回答者の約79%が「はい」と回答した。細かな配慮に感謝する声のほか、具体的な要望も寄せられた。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	18	2	31	1
回答者の約35%が「はい」と回答した。利用開始時の説明を忘れている方が多いことがうかがえる結果となった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	18	1	0	0
回答者の約95%が「はい」と回答した。特に具体的な声は寄せられなかった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	

<b>評価項目3</b> 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点（ A ）
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝える	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし
カテゴリー1の講評		
<p><b>杉並区の保育理念と園独自の方針</b></p> <p>杉並区の保育理念の園内での掲示、毎月発行される「園だより」の冒頭ページでの明記をしている。さらに、園独自で定めた方針がある。①子どもを守ること②子どもを愛すること③子どもの発達を援助し共感すること④保護者との連携⑤道理の通った意思形成過程、という方針のもと、杉並区の保育理念を効果的に具体化できるよう取り組んでいる。並行して策定中である「杉並の保育実践方針」の成立を契機に、形骸化しつつある理念・基本方針の見直しの作業をより効果的にやりたいと考えている。</p> <p><b>「計画・反省・見直し」の浸透と理念の実現</b></p> <p>年間計画・上半期反省・年間反省の年3回にわたり、園運営に当たっての計画や反省、次への見直しを文章化して職員に配布している。園長、主査が作成し、計画の冒頭には理念を明示するとともに、園長・主査の役割と園の責任を職員に分かりやすく伝えている。</p> <p><b>保護者の意向の把握と活用</b></p> <p>重要な案件について、保護者にアンケートし、保護者と連携し園運営を行っている。例えば、「安全管理に関するお知らせと調査」では、園の施設について「利便性を重視しチェーン施設を行うか、安全性を重視し行わないか」と保護者にアンケートを行い、保護者の意向を確認してから意思決定を行い、透明性の高い園運営を行うよう心掛けている。</p>		

2 カテゴリー2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリー2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		



評価項目2

ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○非該当
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3

地域の関係機関との連携を図っている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリ2の講評

ふれあい保育等を通じた保育所の機能の還元

ふれあい保育とは、区立保育園で保育園生活を体験する中で、保育士や看護師、調理職員のアドバイスを受けながら、保護者の子育てに対する悩みや不安を解消し、子どもの健やかな成長を支援する制度で、杉並区全体で取り組んでいる。この他に、近隣の児童館や小学校と連携し、地域子育てネットワークの活動として講演会への託児要員の派遣、児童館への看護師派遣などを行っている。

地域子育てネットワークを通じた地域との協働

地域子育てネットワーク(保育園・児童館・小学校・保健センター)に参加し、行政連絡会への定期的な参加やネットワーク通信の作成を行うとともに、防災・防犯に関する情報交換、交流事業を、園長・主査等が中心となって園として地域での共通課題の解決に協働している。今後は、地域子育てネットワークの目指すべき方向性をより明確化し、効果的な活動が行えるよう工夫したいと考えている。

ボランティアの受け入れ手順の明示

ボランティアや実習生の受け入れについては、「保育実習に関する留意事項」「杉並区における実習生の受け入れ手順」など、区の担当課との連携のもと受け入れ体制を確立している。ボランティア受け入れの場合は必ず事前にオリエンテーションを実施し、対象に応じ理解しやすい説明をすることを心掛けている。保育園の概要の説明、服装・持ち物についての説明等、職員が認知できるようマニュアル化している。

3 カテゴリー3		
利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリー1		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

### カテゴリ-3の講評

#### 苦情相談員制度の保護者への周知と、保育課との連携

杉並区保育事業全体として、保健福祉サービスの利用者が提供されるサービスに不満があるとき保健福祉サービス苦情調整委員が、申立者とサービス提供事業者の双方から事情を聴き、公正・中立な立場から問題の解決を図る苦情相談員制度があり周知している。また、区の保育課へ問い合わせ等があった段階で、三日以内に返答するような迅速な対応ができるよう心がけている。区の担当者と園長の連携により、迅速かつ的確な対応をするよう体制が構築されている。

#### 保護者の意向を踏まえた園運営

「施錠に関するアンケート」「傷の処置に関するアンケート」「虫除け剤に関するアンケート調査」「写真・ビデオ撮影に関するアンケート調査」など各種アンケートを実施し、結果を報告している。また、父母会からの「ふりかえりアンケート」内容および回答文書の職員への周知を行うとともに、アンケート結果を踏まえ、合議が必要なものは議題化し、改善できる部分は改善した。保護者からの要望の多い施設改修などは、杉並区全体の予算の関係等で速やかな改善に結びつかず、園としても対応に苦慮している。

#### 地域関係機関を通じた情報収集

子育て支援に関する地域の協議会（要保護児童対策地域協議会・地域子育てネットワーク行政連絡会等）、園長会などを通じて地域の福祉ニーズ、福祉事業全体の動向を把握するとともに、区の担当者と連携して情報の整理・分析を行っている。

カテゴリ4		
4 計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリ1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

評価項目3  
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリー2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1  
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリー4の講評

区と連携した計画策定

区レベルとして「長期計画」「実施計画」「保健福祉計画」を策定し、担当課レベルでは「杉並区の保育実践方針」を策定中である。同方針については、研修等を通じて多くの職員が学んでいる。「現場の意見集約→必要な修正→実践方針の策定」という流れになっている。園としてもチャレンジプランの一環として「保育の質向上」「専門性向上」のための中期的な取り組みに着手している。また、「運動機能の発達」プロジェクト、「言葉の発達」プロジェクトが検討作業中であり、実践的な計画策定をしている。

チャレンジプランをもとにした計画の効果的実行

チャレンジプランでは「目標→取組計画→評価(中間・年度末)」という流れのもとに計画が効果的に実行できるよう工夫がなされている。取組計画のなかで目標に対するプロジェクトの検討を行っている。「プロジェクトの検討→たたき台の提示→質疑応答→見直し修正→再提示」というプロセスを、プロジェクトリーダーが行っている。プロジェクトリーダーが意欲的に機能し、会議も週一回程度の頻度で行われていて、着実に成果を上げられるような取組みを進めている。

危機管理における区との密接な連携と、園独自のマニュアルによる対応

杉並区の庁内LANによる「ヒヤリハット」の共有があり、他施設の状態も含めて共有できるようになっている。危機管理マニュアルは区保育園全体のものに加えて、より厳密なリスクマネジメントの一環として園独自でも「危機管理マニュアル」を作成している。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点( B )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

区との連携による人材の確保と人員配置

区の保育担当部署と連携して人事制度に関する方針を明示している。組織目標・チャレンジプランにより、部・課の目標にあわせて、係の課題・取組計画を明示し、個人のチャレンジプランを作成している。採用については、正規職員は区が採用し、非常勤等職員については、保育課が必要に応じ採用している。各歳児担当の職員配置は、職員会議等により決定している。

各職員の役割の明示と、意思形成過程のボトムアップ化

職員の役割は「事業マニュアル」と「危機管理マニュアル」に状況ごとに細かく定めている。さらに、自分の意見を周囲に臆することなく発信できる風土づくりにより、職員の意思形成過程をボトムアップ化している。また、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性を向上させた。保育向上リーダー2名、指導計画担当2名を選任した結果、仕事へのフィードバックが向上した。職員同士の学びについては「指導計画会議」の中で、問題提起→「拡大化カリキュラム会議」などで具体事例を具体的に多角的に検討している。

区の人材マネジメントシステムを中心とした体制

「職員人材育成事業実施計画」をもとにした、職員の育成・評価・報酬が連動した人材マネジメントを行っている。これにあわせ、「私のチャレンジプラン」をもとに各職員の就業状況のヒアリングを年2回行っている。また、園としても休憩時間の完全取得のためのシフト表を「事業マニュアル」に作成している。さらに、時期ごとに最低必要職員数を全体で確認し、休暇取得が出来るような配慮を行っている。

7 カテゴリー7		
情報の保護・共有		
サブカテゴリー1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
<b>評価項目1</b> 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		<b>評点( A )</b>
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし
<b>評価項目2</b> 個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		<b>評点( A )</b>
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし



## カテゴリ7の講評

### 区による情報の保護・共有の管理と園の情報管理の工夫

区による情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ対策基準によりアクセス権等の設定をしている。また、保育課内については情報セキュリティマネジメントにより情報の管理を行っている。園としても、情報の整理とファイルなど文章を使いやすくする工夫をしている。なお、画像データの取り扱いなど、以前定められた規定の想定外のケースが発生した場合には、迅速かつ的確な対応ができるよう検討している。

### 杉並区個人情報保護条例による情報の保護・共有

杉並区個人情報保護条例により個人情報の利用目的を明示するとともに、個人情報の保護に関する規程を明示している。開示請求に対する対応も区の条例によるほか、園独自で児童票の情報を保護者がいつでも開示請求できるような対応書式を作成している。

### 写真・ビデオ撮影に際しての同意

写真やビデオ映像の撮影に際しては、保護者に対し説明の上、理解を得ている。それらの利用については、区で定めた「画像データ提供申請書」により使用用途を限定し、撮影された園児の保護者の同意を得た上で対応している。

カテゴリ-8	
8	カテゴリ-1〜7に関する活動成果
サブカテゴリ-1	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<p><b>プロジェクトリーダーの選任と計画取り組みの意欲向上</b></p> <p>プロジェクトの検討において「プロジェクトの検討→たたき台の提示→質疑応答→見直し修正→再提示」というプロセスを、プロジェクトリーダーが行っている。プロジェクトリーダーが意欲的に機能し、会議も週一回程度の頻度で行われていて、着実に成果を上げられるような取組みを進めている。園運営の流れの合理化と役割分担も実際に機能し、経営層の意思の浸透と職場全体の意思統一の強化もなされ、日常業務以外の計画への取り組み意欲が向上した。</p>	
サブカテゴリ-2	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<p><b>保育向上リーダーと指導計画担当の選任</b></p> <p>いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。保育向上リーダー2名、指導計画担当2名を選任した結果、仕事へのフィードバックが向上した。自分の意見を周囲に臆することなく発信できる風土づくりにより、職員の意思形成過程がボトムアップ化してきている。</p>	
サブカテゴリ-3	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<p><b>視覚情報を豊富に取り入れた情報提供</b></p> <p>園だより、クラスだよりの定期的な発行に加え、デジカメで撮影した毎日の保育の様子や日誌の掲示、保護者会でのビデオ映像の上映など、子どもの状況を知って頂くための取組みに、視覚情報を豊富に取り入れるようにした。受け手の立場に立ったより分かりやすい情報の提供という意味だけでなく、職員の側の取組みの成果の顕在化という意味でも、功を奏している。</p>	

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善に向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+  A  B  C

改善の成果

行政改革の実行による取り組み

区では行財政改革である「スマートすぎなみ計画」により、計画的に取り組みを進めている。平成20年度から平成22年度の目標としては、①区の事業の6割を共同化・民営化・委託化する、②経常収支比率を80%以下とする、③職員定数を330人削減する、となっている。保育分野に関しては、給食調理・用務の委託や指定管理制度の導入などによるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率向上などの取り組みを進めている。これまでに保育園の指定管理制度を4園に導入、調理・用務業務の委託についても21年度現在で12園で実施している。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+  A  B  C

改善の成果

アンケート実施によるサービス改善

施錠・傷の処理・虫除け剤・写真ビデオ撮影などに関する各種アンケートを実施した。この結果を踏まえ、おしぼり・タオルの私費負担、乳児エプロンの廃止、園庭通用門の施錠、園庭入り口のモルタル補修、ホール内装の塗装など実施の成果があった。また、要望に対して対応種別付の回答文書を題して保護者に理解を得ることが出来た。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
【A+の取り組み】 <span style="float: right;"><input type="radio"/>あり <input checked="" type="radio"/>なし</span>		
サブカテゴリ-1の講評		
<b>区ホームページによる園概要の紹介</b> 区ホームページの「施設案内」により、園の概要について網羅的に紹介している。所在地などの基本情報のほか、最寄の駅からの道順案内、園の見取り図(写真入り)、保育目標、対象年齢や職員体制、主な行事などについて、簡潔に説明している。紹介する項目自体は各園共通であるが、特に「保育園の特色」については、環境や活動の様子など、当園らしさについて具体的に分かりやすく紹介している。		
<b>園としての情報の発信</b> 園から発信する情報については、受け手の立場を踏まえて、「見やすい」「分かりやすい」「楽しい」内容とすることを心掛けている。園で発行・配布する「ぜんぶくじほいくえんのしおり」では、園の概要、目標、特徴のほか、保育時間や延長保育の詳細、一日の過ごし方について簡潔にまとめている。また、園内外での様々な遊びや行事の風景、持ち物などについてもカラー写真入りで紹介・説明している。		
<b>問い合わせや見学への対応</b> 見学者や地域住民に対しては、「気軽に立ち寄れる雰囲気」「気持ちよく体験して頂く」ことを基本姿勢として対応している。その上で、心を込めた接遇という意味で丁寧な対応を心掛けている。特に地域の親子に対しては、毎月1回、身体測定と看護師や保育士による育児相談を行っている。なお、寄せられた相談については、保育課で相談項目・年齢別に集計・把握されている。		

サブカテゴリ-2

2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリ-2の講評

入園前の説明

入園児健康診断・面接の機会や入園説明会の場において、園での生活に関する基本事項を説明している。保育理念や園生活の概要、必要な持ち物などについては「しおり」を中心に、災害時の対応や保険制度などについては区発行の各種文書により、説明している。寄せられた質問に対しては、助言を含め適宜対応している。

個別事情や要望の把握

入園前の面接では、保育時間に関する意向や保育上の留意事項などのほか、健康上の留意事項、慢性疾患、離乳食進度、アレルギー等食物除去などについて、各専門職種の立場から情報を収集・確認し、児童票を中心とする個人記録にまとめている。

入園直後の緊張への対応

入園年齢に応じた慣れ保育プログラムを設定している。親子で過ごす時間を、昼食前まで、昼食時間まで、午睡前まで、などと段階を設け、保護者の事情が許す範囲内で無理なく保育時間を設定できるようにしている。なお、子どもの心理的安定は特に母親の安心感にあると考え、通常の保育時間に至るまでの期間では母子関係をよく観察し、支援につなげている。

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

サブカテゴリー3の講評

**新たな児童票の活用**

子どもの心身状況や発達状況・家庭状況などは、児童票に記録している。同票については、区内全園にて今年度から書式の見直しが行われ、子どもの成長過程に対する「評価」ではなく、保護者とともに内容を共有し、方向を探っていくためのものに変更された。

**計画の作成と保護者への説明**

クラスごとに年間の指導計画を作成し、それを基に月の指導計画や週案を立案している。計画は、月・期・年ごとに見直しを行っている。年間計画については保護者会で説明、月の指導計画については保育室入り口に掲示している。さらに、園だより、クラスだよりでは、その時期の保育のポイントを説明している。

**子どもに関する情報の共有**

保育時間や送迎時間の変更、健康状態の変化など緊急の案件については、夕礼時の報告を起点として速やかに全職員に伝達している。昼の定例会議で把握しきれない、個人の育ちや対応方法に関すること、配慮の必要なケースなどの保育上の重要な案件については、「拡大カリキュラム」会議において検討している。担当クラスや勤務時間の異なる職員間での申し送り・引継ぎについては、クラスノートの活用やロッカーへのメモの添付が習慣化している。

サブカテゴリー5

**5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重**

**評価項目1**

子どものプライバシー保護を徹底している

**評点( A )**

<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		





<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
<b>評価項目3</b> さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
<b>サブカテゴリ6の講評</b>		
<b>独自マニュアルの策定と活用</b> 区で定めたものとは別に、「事業マニュアル」および「危機管理マニュアル」を策定している。前者により、組織運営一般に関することのほか、園庭遊具の安全管理、留意事項などを、後者により、事故やクレーム、個人情報の取り扱い、衛生管理としての便の処理方法、個人記録の作成上の留意事項などを、それぞれ明らかにしている。各職員にも配布されているこれらのマニュアルは、年に2回見直しが行われており、常に園の実情に即したものとなるようにしている。		
<b>職員や保護者の提案・意向を踏まえた手順の見直し</b> 職員の合議により作成したマニュアルは、年に2回見直し作業を行っている。見直しにあたっては、アンケート調査や父母会で行う振り返りアンケートなどの検討結果や、職員からの問題提起などを踏まえて、改定する内容に反映している。		
<b>研修機会の提供</b> 東京都社会福祉協議会や特別区、母子保健センターなどの関係機関が主催する研修については、随時案内し職員に周知している。区の主催する研修については、杉並の保育実践方針(案)を始め、子どもの発達に関連した研修が開かれており、園としても参加を奨励し個々のスキルアップを図っている。		



2	<b>評価項目2</b> 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input type="radio"/> 非該当	
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
<b>評価項目2の講評</b>			
<b>食事を楽しむ工夫</b> 区立保育園共通の献立表に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供できる体制にある。行事の際は、通常の献立を基本としつつ、見た目にもより楽しめるものとなるよう工夫している。季節や天気により、食事の場所や机の配置を変えて、様々な食事の場面を設定している。食育という観点から、栄養士を中心として、食材の紹介や収穫物を用いた調理などを行い、子どもが食材に触れ、理解する体験ができるようにしている。			
<b>アレルギーへの配慮</b> 食物アレルギーのある子どもに対しては、提供する食事内容について個別に配慮している。事前に除去用献立表を保護者に配布し、それを基に看護師・栄養士・担当クラスで検討・確認し、食事提供時は別トレーで配食している。食物除去の打ち合わせの実施により、誤食の危険性は軽減している。なお、園として誤食対応マニュアルを整備し、食物除去が一層安定的になされる体制を整えている。			
<b>乳児への食事対応</b> 「離乳食進度表」を作成し、必要に応じて保護者と担任・栄養士との合議により、個々の発育進度に合わせた離乳食の進度管理を行っている。保護者の要望に応じて、冷凍母乳を預かるなどの対応をしている。下痢など体調の変化に合わせて、献立を調整している。			
3	<b>評価項目3</b> 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	

評価項目3の講評

定期健診の実施

毎日の視診による健康状態の把握のほか、毎月の身体測定、年2回の健康診断、歯科・眼科・耳鼻科の各健診、ぎょう虫卵検査などの結果を、各園共通の児童票や健康カードに記録している。

健康・衛生管理

乳児クラスについては、乳幼児突然死症候群の発生防止のために、午睡チェック表により定期的に呼吸の確認を行っている。感染症予防の見地から、感染性胃腸炎や新型インフルエンザへの対応マニュアル(保育課作成)を整備している。看護師を中心に園内の衛生管理や手洗いうがいの励行を進めている。便の処理方法についても、マニュアルにより手順を明確にしている。各種既往歴のある児童に対しては、必要に応じて与薬申込書により預かった薬を処置する仕組みがある。

保護者に対する情報提供

区役所や保健所などの関係機関から提供されるポスターやチラシ、園の保健だよりなどの掲示・配布などにより、感染症に関する情報を保護者に伝達している。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4の講評

年間計画に基づく多彩な行事の実施

年間行事計画に基づき、多彩な行事を実施している。プラネタリウム見学、七夕集会、夏まつり(父母会共催)、敬老の日の集い、運動会、芋ほり、園外保育、焼き芋会、おたのしみ会、新年子ども会、人形劇や音楽会(父母会主催) 節分、ひな祭りなど、季節や目的に応じて子どもが楽しめる場面を設定している。誕生日には、児童一人ひとりの誕生日にサプライズ形式でお祝いしている。

創意工夫に溢れた環境構成

室内・園庭には、工夫を凝らした遊具を多く備えている。室内は、スイッチ遊びのための「スイッチボード」、引っ張って感触を楽しむ「ひっぱり遊び」、多様な遊びが可能な「室内用マルチパーツ」「小屋と簡易ジム」、多様な感触を楽しむ「感触パット」、「ままごとコーナー」など、職員の創意工夫に溢れた環境構成がなされている。園庭には、6-4-1で述べた豊富な遊具を設置している。

個別状況に応じた午睡時間の設定

クラスごとに午睡の時間帯を設定しつつも、子どもの年齢や体調、前日の睡眠状況などに応じて柔軟に対応している。特に2歳児クラスについては、早く目覚めた子どもは別室や園庭で保育を実施するなど配慮している。3歳児クラスについては、保護者の意向なども踏まえて一定時間以上の休息が必要であると認識しているが、それ以上の午睡時間については現在対応を検討中である。

5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目5の講評			
<p><b>保育参加・参観の促進</b>          保育参観については常時受け付けており、実際に参観できる仕組みがある。園としては、個別参観ウィークを設けたり、個人面談と保育参観を組み合わせたり、子どもと共に散歩したりする保育参加を実施するなど、保護者が園での子どもの様子を目にすることができる機会の創出に取り組んでいる。</p> <p><b>紙媒体や映像を駆使した情報発信</b>          園から発信する情報については、「見やすい」「分かりやすい」「楽しい」内容とすることを心掛けている。園だより、クラスだよりの定期的な発行による情報提供に加え、毎日の保育の様子をデジカメで撮影し、掲示用の日誌と合わせて園内に掲示している。保護者会では、職員の撮影によるビデオ映像を流すなど、現在の子どもの状況を知って頂くための取り組みを行っている。</p> <p><b>保護者の状況に応じた多様な保育期間の設定</b>          保護者の状況に応じて、朝保育・夕保育・土曜日保育など多様な要望に柔軟に対応している。現在は、延長スポット保育の枠に余裕があるため、要望に対しフルに応えられる状況にあり、急な要望にも柔軟に対応している。</p>			
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
	●あり ○なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○あり ●なし		



No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	保育における環境構成と人材育成
	内容	自分の意見を周囲に臆することなく発信できる風土づくりにより、職員の意思形成過程をボトムアップ化している。また、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで、主体性・自発性が向上した。保育向上リーダー2名、指導計画担当2名を選任した結果、仕事へのフィードバックが向上した。「環境づくり」を保育向上の重要な一環と捉え、個々の職員の能力や得意分野を活かしながら環境構成の向上を目指している。
2	タイトル	職員集団の問題解決に対する理解と意欲
	内容	プロジェクトの検討において、プロジェクトリーダーが意欲的に機能し、会議も週一回程度の頻度で行われていて、着実に成果を上げられるような取組みを進めている。園運営の流れの合理化と役割分担も実際に機能し、経営層の意思の浸透と職場全体の意思統一の強化もなされ、日常業務以外の計画への取り組み意欲が向上した。職場全体に問題解決への意欲と手法が浸透しつつある。また、合理的な意思形成のプロセスが標準化しつつある。
3	タイトル	子ども・保護者・保育園の相互補完関係
	内容	保護者と保育園との関係を、子どもを間に挟んだ対極の関係と捉えるのではなく、子ども・保護者・保育園が三角形につながり合う関係を目指している。互いに補完し合うこの関係により、園としては子どもの保育と保護者支援という両機能を効果的に果たすことができ、個々のケースの問題解決について有効に対処できている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	施設の老朽化への対応
	内容	建物の築年数の経過とともに施設の老朽化も進み、様々な不具合が表出することがある。園としては、職員による工夫により補っているが、それだけでは難しい場面も出てきている。今後とも、保護者の要望を踏まえ、主管課とともに可能な範囲で改善に努めていきたいと考えている。
2	タイトル	危機管理の精度の向上
	内容	看護師を始めとする専門職や現場職員の知見を総合して、園庭遊具の安全管理、事故やクレームへの対応、個人情報取り扱い、感染症対策・衛生管理などについて、どの職員も統一的な対応を取り得る体制を整えている。また、食物除去の打ち合わせの実施や誤食対応マニュアルの整備により、誤食の危険性の軽減を図り、かつ、成果を挙げている。園としては、現在まだ想定していないリスクの発掘を始めとした更なる安全対策の検討やマニュアルの充実を含め、危機管理の精度をより一層向上させていきたいと考えている。
3	タイトル	情報の発信と受信との不均衡の解消
	内容	園だより、クラスだよりの定期的な発行、デジカメで撮影した毎日の保育の様子や日誌の掲示、保護者会でのビデオ映像の上映など、子どもの状況を知って頂くための積極的な取り組みを行っている。このような情報発信の充実ぶりに対し、園としては、保護者の意向の吸い上げについて、まだ取り組みの余地を残していると考えている。これまでも折に触れてアンケートを実施するなど意向の収集に努めてきたが、職員一人ひとりによる気づきを含め、保護者の考えを一層収集するシステムの構築を検討したいと考えている。

# 永福北保育園

---



調査対象

複数児利用世帯は最低年齢児1人を対象として実施世帯数を絞り、63世帯から有効回答を得た。

調査方法

アンケート調査票の配付は保育園を通じて保護者へ手渡し、回収は保護者から評価機関へ直接郵送する方法を採用した。

利用者総数

86

共通評価項目による調査対象者数

86

共通評価項目による調査の有効回答者数

63

利用者総数に対する回答者割合(%)

73.3

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想として、「大変満足」が22%、「満足」が58%、合わせて80%という結果となった。最も高い満足度が示されたのは「提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか」についてで、94%の方が「はい」と回答した。これに対し、「外部の相談窓口にも相談できることを知っているか」については、「はい」は41%にとどまり、「いいえ」との回答が47%となった。

## 利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	59	2	2	0
回答者の約94%が「はい」と回答した。豊富なメニューや栄養のバランス、好き嫌いへの対応、体調やアレルギーなど個別の事情に応じた対応などに感謝する声が寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	47	12	3	1
回答者の約74%が「はい」と回答した。散歩や公園、園庭での活動に感謝する声のほか、一層の充実を期待する声も寄せられた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	42	18	3	0
回答者の約66%が「はい」と回答した。延長保育の存在に感謝する声のほか、一層利用しやすくなるための改善を期待する声も寄せられた。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	52	9	2	0
回答者の約83%が「はい」と回答した。看護師の存在や適切な処置に感謝する声のほか、一層の詳細な説明を期待する声も寄せられた。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	46	14	3	0
回答者の約73%が「はい」と回答した。一層の徹底を期待する声も寄せられた。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	31	21	11	0
回答者の約50%が「はい」と回答した。曜日設定に関する多様なニーズをうかがわせる声が寄せられた。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	45	15	3	0
回答者の約71%が「はい」と回答した。日常的なやり取りに感謝する声のほか、一層のコミュニケーションを期待する声も寄せられた。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	40	17	4	2
回答者の約64%が「はい」と回答した。担任との良好な関係をうかがわせる声のほか、一層のコミュニケーションを期待する声も寄せられた。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	53	7	1	2
回答者の約84%が「はい」と回答した。質問内容の趣旨(判断する基準)に対する戸惑いをうかがわせる声が寄せられた。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	53	8	0	2
回答者の約84%が「はい」と回答した。園に対する信頼をうかがわせる声のほか、対応の一層の充実を期待する声も寄せられた。				

11. 職員の対応は丁寧か	50	9	2	2
回答者の約80%が「はい」と回答した。きちんとした挨拶を挙げる声のほか、対応の一層の標準化を期待する声が寄せられた。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	28	18	16	1
回答者の約44%が「はい」と回答した。保護者の側の遠慮をうかがわせる声も寄せられた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	31	24	6	2
回答者の約49%が「はい」と回答した。丁寧な対応に感謝する声のほか、対応の一層の充実を期待する声も寄せられた。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	26	6	30	1
回答者の約41%が「はい」と回答した。利用開始時の説明を忘れている方が多いことがうかがえる結果となった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	19	8	4	0
回答者の約61%が「はい」と回答した。一層の詳細な説明を期待する声も寄せられた。				

**I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)**

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	

評価項目3

重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点（ A ）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝える	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリ-1の講評

杉並区の保育理念と園独自の方針

杉並区の保育理念の他に園独自で定めた園目標があり、杉並区の保育理念を効果的に具体化できるよう取り組んでいる。また、理念を念頭に置きながらチャレンジプランの目標を設定し、この目標を職員とともに達成すべく、職員会議等の打ち合わせ等を行い、職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行っている。

指導層の役割の明確化と前期終了後評価、反省、後期の見直しの流れ

指導層の立場を園運営マニュアルに「係り分担表」に視覚的に明示している。この上で、園長・主査の指導層は計画的に行動している。毎月の保育計画と反省を行ったり、プロジェクトチームのメンバー編成を決定して園運営を行っている。さらに、目標を実現するために、「前期終了後評価→反省、後期の見直し」という流れを確立し、指導層が中心となり園運営に取り組んでいる。

各会議仕様と意思決定手順の明確化

各種会議の参加職員、基本日時、内容を園運営マニュアルに明示していて、意思決定の手順を定めている。保護者に対しては重要案件について、文章や掲示等で周知している。

2 カテゴリー2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
<b>評価項目1</b> 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
<b>評価項目2</b> 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリー2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
<b>評価項目1</b> 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

評価項目2

ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○非該当
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3

地域の関係機関との連携を図っている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

カテゴリ2の講評

ふれあい保育等を通じた保育所の機能の還元

ふれあい保育とは、区立保育園で保育園生活を体験する中で、保育士や看護師、調理職員のアドバイスを受けながら、保護者の子育てに対する悩みや不安を解消し、子どもの健やかな成長を支援する制度で、杉並区全体で取り組んでいる。また、「ほいくえんであそぼう！」を開催し、園庭開放を積極的に行っている。特に火曜日は、身体測定を行うとともに、結果をカードサイズのデザインされた紙に記入し渡している。また、栄養相談・育児相談も行っている。

地域子育てネットワークを通じた地域との協働

地域子育てネットワーク(保育園・児童館・保健センターなど)に参加し、行政連絡会への定期的な参加やネットワーク通信の作成を行うとともに、防災・防犯に関する情報交換、交流事業を、園長・主査等が中心となって園として地域での共通課題の解決に協働している。また、「松ノ木小学校赤ちゃんふれあい授業」に参加し、地域の子育て支援機能の向上へとつなげる取り組みを行っている。

区の担当課と連携したボランティアの受け入れ体制の確立

ボランティアや実習生の受け入れについては、「保育実習に関する留意事項」「杉並区における実習生の受け入れ手順」など、区の担当課との連携のもと受け入れ体制を確立している。

3 カテゴリー3		
利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリー1		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		



### カテゴリ-3の講評

#### 苦情相談員制度の保護者への周知と、保育課との連携

杉並区保育事業全体として、保健福祉サービスの利用者が提供されるサービスに不満があるとき保健福祉サービス苦情調整委員が、申立者とサービス提供事業者の双方から事情を聴き、公正・中立な立場から問題の解決を図る苦情相談員制度があり周知している。また、区の保育課へ問い合わせ等があった段階で、三日以内に返答するよう迅速な対応ができるよう心がけている。区の担当者と園長の連携により、迅速かつ的確な対応をするよう体制が構築されている。

#### 保護者の意向を踏まえた園運営

父母会が積極的に開催されており、開催後、園長がこの結果を踏まえ、父母会と話し合いを行っている。イベントや「ひまわり組DVD作成」なども父母会と園が協力して行っている。現在、意見箱を設置するなど、保護者の意見収集に努めているが、有効に利用されているとはいえない。今後とも、保護者の意見・意向の把握に努め、サービス向上に活用していきたいと考えている。

#### 地域関係機関を通じた情報収集

子育て支援に関する地域の協議会（地域子育てネットワーク等）、園長会などを通じて地域の福祉ニーズ、福祉事業全体の動向を把握するとともに、区の担当者と連携して情報の整理・分析を行っている。

カテゴリ4		
4 計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリ1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3  
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリ-2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1  
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-4の講評

区と連携した計画策定

区レベルとして「長期計画」「実施計画」「保健福祉計画」を策定し、担当課レベルでは「杉並区の保育実践方針」を策定中である。同方針については、研修等を通じて多くの職員が学んでいる。園としてもチャレンジプランを通じて実践的な計画策定を行い、課題の明確化や手順が職員に周知されている。

チャレンジプランをもとにした計画の効果的実行

チャレンジプランでは「目標→取組計画→評価(中間・年度末)」という流れのもとに計画が効果的に実行できるよう工夫がなされている。この目標のもと取組計画が作成されている。政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の分野ごとに園の目標を掲げ、取組計画が詳細に記載され目標に対し、着実に成果を上げられるような仕組みになっている。

危機管理における区との密接な連携と、園独自のマニュアルによる対応

杉並区の庁内LANによる「ヒヤリハット」の共有があり、他施設の状態も含めて共有できるようになっている。危機管理マニュアルは区保育園全体のものが用意されており、これに加えて、園独自で園運営マニュアルになかに様々な状況に対応したマニュアルが用意されている。事故報告書の書式も整備しており、区の担当課による確認も行われている。ハード面についても「安全点検チェック表」が整備され毎月、「共有場付近」「園庭付近」「保育室・調理室付近」のチェックが行われ、改善点の指摘が行われている。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点( B )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

区との連携による人材の確保と人員配置

区の保育担当部署と連携して人事制度に関する方針を明示している。組織目標・チャレンジプランにより、部・課の目標にあわせて、係の課題・取組計画を明示し、個人のチャレンジプランを作成している。採用については、正規職員は区が採用し、非常勤等職員については、保育課が必要に応じ採用している。各歳児担当の職員配置は、職員会議等により決定している。

「保育の向上を考えるリーダー」の選出と職員の能力向上

区全体の取組目として「保育の向上を考えるリーダー」の選出をおこない、園内にリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。園運営の流れの合理化と役割分担も機能し、経営層の意思の浸透と職場全体の意思統一の強化もなされてきている。個々の職員の能力や得意分野を活かしながらバランスの良い園運営が出来つつある。

区の人材マネジメントシステムを中心とした体制

「職員人材育成事業実施計画」をもとにした、職員の育成・評価・報酬が連動した人材マネジメントを行っている。これにあわせ、「私のチャレンジプラン」をもとに各職員の就業状況のヒアリングを行っている。

7 カテゴリー7		
情報の保護・共有		
サブカテゴリー1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1		
事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2		
個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

#### カテゴリ7の講評

##### 区による情報の保護・共有の管理と園の情報管理の工夫

区による情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ対策基準によりアクセス権等の設定をしている。また、保管は区のファイリングシステムに従って分類・整理している。園としても、情報の整理とファイルなど文章を使いやすくする工夫をしている。

##### 杉並区個人情報保護条例による情報の保護・共有

杉並区個人情報保護条例により個人情報の利用目的を明示するとともに、個人情報の保護に関する規程を明示している。また、園独自の個人情報マニュアルも整備し、個人情報の適切な利用・保護を図っている。

##### 写真・ビデオ撮影に際しての同意

写真やビデオ映像の撮影に際しては、保護者に対し説明の上、理解を得ている。それらの利用については、区で定めた「画像データ提供申請書」により使用用途を限定し、撮影された園児の保護者の同意を得た上で対応している。

カテゴリー8	
8 カテゴリー1～7に関する活動成果	
サブカテゴリー1	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>グループ会議の開催と計画の実行</b> 区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。	
サブカテゴリー2	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>チャレンジプランの活用</b> 園のチャレンジプランと職員のチャレンジプランを有効にリンクさせることにより、効果的に職員と組織の能力向上ができるようになってきた。職員のチャレンジプランでは、園長とのヒアリングで確認、個人の意識が高まるとともに、園のチャレンジプランとリンクさせることにより、園全体の意識が高まるようなシステムが出来ている。	
サブカテゴリー3	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>変化をもたせた行事の実施</b> 行事については、計画、実行、反省、見直し、より良い形での実行というプロセスのもと、マンネリ化を避けて常に向上に努めている。一例として、今年度は、収穫した芋をそのまま焼き芋として楽しむという例年通りの展開ではなく、現場職員のアイデアを活かしてスイートポテトを作るなど、積極的に調理保育に取り組むことが出来た。	



サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善に向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+  A  B  C

改善の成果

行政改革の実行による取り組み

区では行財政改革である「スマートすぎなみ計画」により、計画的に取り組みを進めている。平成20年度から平成22年度の目標としては、①区の事業の6割を共同化・民営化・委託化する、②経常収支比率を80%以下とする、③職員定数を330人削減する、となっている。保育分野に関しては、給食調理・用務の委託や指定管理制度の導入などによるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率向上などの取り組みを進めている。これまでに保育園の指定管理制度を4園に導入、調理・用務業務の委託についても21年度現在で12園で実施している。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+  A  B  C

改善の成果

保護者意向の把握と活用

保護者対応マニュアルの職員への浸透により、職員から積極的に保護者へ声をかけ、保護者とのコミュニケーションが取れてきている。怪我や事故等の際の対応も、その都度保護者と話し合うことで、丁寧に対応になってきている。また、園からのお知らせやクラスだよりなどを通じてこまめに意向を収集し、保護者対応の職員全体のレベルが上がってきている。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している		評点( A )
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
サブカテゴリ-1の講評		
<p><b>区ホームページによる園概要の紹介</b></p> <p>区ホームページの「施設案内」により、園の概要について網羅的に紹介している。所在地などの基本情報のほか、最寄の駅からの道順案内、園の見取り図(写真入り)、保育目標、対象年齢や職員体制、主な行事などについて、簡潔に説明している。紹介する項目自体は各園共通であるが、特に「保育園の特色」については、環境や活動の様子など、当園らしさについて具体的に分かりやすく紹介している。</p>		
<p><b>園としての情報の発信</b></p> <p>園のしおりには、園の目標を明示した上で、人員体制や保育時間、見取り図などの概要のほか、規則正しい生活のポイントなどを分かりやすく説明している。しおり自体は、入園が決定した際に渡すこととしているが、そのほかの見学や園庭開放の際の訪問者に対しては、概要を渡している。図書館や児童館、小学校、保健センターといった地域の親子も利用する機関でも、個人情報に配慮した地域版の園だよりを手にするようにし、行事日程や園庭開放・栄養相談の日程などを知ることができるようにしている。</p>		
<p><b>見学・相談への対応</b></p> <p>見学希望者に対しては、子どもの年齢や見学したい場面などを確認した上で、主査もしくは園長が対応している。緊急一時保育や栄養、発達などに関する地域の保護者からの相談にも応じている。園庭開放をきっかけにして、見学やその後の入園に結びつく例もある。なお、寄せられた相談については、保育課で相談項目・年齢別に集計・把握されている。</p>		

サブカテゴリー2		
2 サービスの開始・終了時の対応		
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点( A )</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している <p style="text-align: right;">評点( A )</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
サブカテゴリー2の講評		
<b>入園前の説明</b> 入園説明会の場や入園児健康診断・面接の機会において、園での生活に関する基本事項を説明している。保育理念や園生活の概要、必要な持ち物などについては「しおり」を中心に、災害時の対応や保険制度などについては区発行の各種文書により、説明している。入園が内定した時点で必要書類を持参して各家庭を訪問し、不安の解消や信頼関係の構築につながるよう取り組んでいる。		
<b>個別事情や要望の把握</b> 入園前の面接では、保育時間に関する意向や保育上の留意事項などのほか、健康上の留意事項、慢性疾患、離乳食進度、アレルギー等食物除去などについて、各専門職種立場から情報を収集・確認し、児童票を中心とする個人記録にまとめている。		
<b>入園直後の緊張への対応</b> 「入園までの生活状況」(児童票)で把握した運動遊び、食事、睡眠、排泄、着脱、清潔(歯磨き・入浴)、養育態度などに関する情報を基に、集団生活の開始という環境変化に馴染めるよう配慮している。特に0歳児については担任保育士がつき、保護者と共に食事時間を過ごす機会を設けるなどし、可能な限り子どもが心理的に安定するよう配慮している。他のクラスについても、集団生活の経験の有無や離乳状況など入園前の生活状況を十分に踏まえた上で、個別に配慮している。		

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし





<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている			<b>評点( A )</b>
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
<b>【A+の取り組み】</b>			<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
<b>評価項目3</b> さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している			<b>評点( A )</b>
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当	
<b>【A+の取り組み】</b>			<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
<b>サブカテゴリ6の講評</b>			
<b>各種マニュアルの活用</b> 区で定めた「危機管理マニュアル」のほか、園として「食育」「安全」「衛生」など、保育と保護者対応を網羅する各分野のマニュアルを作成している。事務所に設置して、職員が自由に見られるようにしている。分かりやすい目次をつけ、実際に現場で参照され仕事に活かされることを目的に編集している。			
<b>業務内容や手順の見直し</b> 業務内容や手順については、年度末に見直しを行っている。見直しにあたっては、各種会議における職員の提案や、保護者会、クラス懇談会、連絡帳、日々の会話を通じて収集した保護者の要望など踏まえ、会議で検討し反映させている。			
<b>一定の業務水準確保のための取り組み</b> 東京都社会福祉協議会や特別区、母子保健センターなどの関係機関が主催する研修については、随時案内し職員に周知している。区の主催する研修については、杉並の保育実践方針(案)を始め、子どもの発達に関連した研修が開かれており、園としても参加を奨励し個々のスキルアップを図っている。研修参加者は、全体会議の場で報告して内容の共有化を図っている。園内では、新保育指針の読み合わせなどを行っている。			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
評価項目1の講評			
<p><b>自主性・自発性の促進</b>                  各保育室にコーナーを設け、子どもが自分の好きな遊びを見つけ遊びに熱中できるように配慮している。朝夕保育や延長保育の時間などでは、異年齢の子ども同士で遊びが継続できるようにしている。園庭には、滑り台、鉄棒、ログハウス、砂場などを配置して活用している。</p> <p><b>表現活動・園外活動の実施</b>                  1歳からリズム遊び、構成遊びなど、個々の発達段階に合わせて様々な遊びや表現活動を取り入れている。幼児については、図書館を利用して、自分で本を選ぶという主体的な行動をとる機会を設けている。散歩についても、ねらいを設定した上で日常的に実施している。</p> <p><b>特性を踏まえた保育実践への取り組み</b>                  一人ひとりの特性を踏まえた保育を一層充実させていくために、心理職の巡回相談を活用している。保育者は、日頃の観察に基づく気づきや対応方法について相談し、それを踏まえて一人ひとりの発達過程にあった関わり方を実践している。</p>			



2	評価項目2 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	○非該当
	●あり ○なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	○非該当	
【A+の取り組み】		○あり ●なし	
評価項目2の講評			
<p><b>食事を楽しむ工夫</b> 区立保育園共通の献立表に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供できる体制にある。行事やお楽しみ献立の時はより楽しいものになるように献立を基本にしながらかも見た目にもより楽しいものになるように工夫している。また、調理活動などを体験することで、食べ物と身体の関係について子どもが感心を持てるよう、年間計画を立てて食育を実施している。</p> <p><b>アレルギーへの配慮</b> 食物アレルギーのある子どもに対しては、提供する食事内容について個別に配慮している。事前に除去用献立表を保護者に配布し、それを基に園内で検討・確認し、食事提供時は別トレーで配食している。要所所で職員が確認し連携を取り、誤食の発生を防止している。</p> <p><b>快適な食事時間</b> 子どもの体格に応じて椅子に足台や背当てを使い、安定した姿勢で食事ができるようにしてる。テーブルには花を飾ったり、テーブルクロスやランチョンマットを使うなど食事時間に相応しい雰囲気になるようにしている。</p>			
3	評価項目3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	○非該当
	●あり ○なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし	

評価項目3の講評

定期健診の実施

毎日の視診による健康状態の把握のほか、毎月の身体測定、年2回の健康診断、歯科・眼科・耳鼻科の各健診、ぎょう虫卵検査などの結果を、各園共通の児童票や健康カードに記録している。

健康・衛生管理

乳児クラスについては、乳幼児突然死症候群の発生防止のために、午睡チェック表により定期的に呼吸の確認を行っている。感染症予防の見地から、感染性胃腸炎や新型インフルエンザへの対応マニュアル(保育課作成)を整備している。薬の処置が必要な子どもに対しては、与薬申込み書に基づいて対応している。年間計画に基づき、体の仕組みや手洗い、歯磨きなどについて健康指導を行っている。

保護者に対する情報提供

区役所や保健所などの関係機関から提供されるポスターやチラシ、園の保健だよりなどの掲示・配布などにより、しらみやO-157、インフルエンザなどに関する情報を保護者に伝達している。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点( A )

4

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4の講評

年間計画に基づく多彩な行事の実施

年間行事計画に基づき、多彩な行事を実施している。プラネタリウム、七夕、夏まつり、運動会、遠足、節分、ひな祭りなど、季節や目的に応じて子どもが楽しめる場面を設定している。園の裏庭にあるあんずの木にちなんで、「あんずの会」と称してお楽しみ行事を行っている。敬老の日には、「おじいちゃんおばあちゃんと遊ぶ会」を開催し、子どもと祖父母が集う機会を設けている。

清潔で快適な保育環境の維持

常に清潔を保ち、室内にも季節の飾りつけを施したりしている。一人ひとりの子どもが寛いだり、ゆっくり遊びこめる工夫をしている。玩具については毎月点検し、カプラ(造形遊具)などを中心に創造性を高めていくための環境構成を図っている。

午睡時間の設定

お昼寝に入る前に、絵本の読み聞かせやお話など、入眠しやすい雰囲気作りをしている。5歳児については、体調や状況を見ながらお昼寝の時間を設定している。午睡時間以外でも、状況に応じて午前睡をとるなど、個別に対応している。

5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目5の講評			
<p><b>保護者への情報提供</b>          保育参観・参加は、基本的にいつでも可能としている。日常的に声をかけ、保育参観・参加を積極的に促している。園だよりやクラスだよりの発行、日誌の公開などにより、シャワーや水遊び、園庭あそび、散歩、ソラマメのさやむきなどの活動場面で見られた子どもの様子や成長ぶりについて、保護者に情報を提供している。</p> <p><b>意見や相談への対応</b>          保護者会や個人面談などの場で話し合いや、送迎時の会話などを通じて、育児に悩みを持つ親の相談を受け止め助言を行っている。どの職員も保護者の事情を踏まえた相談対応ができるよう、努めている。</p>			
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
	●あり ○なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目6の講評	
<p><b>虐待に関する意識の涵養</b> 職員は、区主催のもののほか、虐待防止を含む様々なテーマの各種研修に参加している。園内では、研修受講者による報告を通して、職員への意識付けや浸透を図っている。</p>	
<p><b>虐待対応のしくみ</b> 虐待の疑い、あるいは、虐待の事実を把握をした際の対応手順は、区の危機管理マニュアルにより明確に定められている。情報を得た際は、主管課である保育課を通じて子ども家庭支援センターや児童相談所などと連携して対処する体制にある。</p>	
<p><b>評価項目7</b> 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている</p>	
7	評点( A )
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している
●あり ○なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している
<p>【A+の取り組み】 ○あり ●なし</p>	
<p style="text-align: center;">○非該当</p>	
<p style="text-align: center;">○非該当</p>	
評価項目7の講評	
<p><b>保護者への地域情報の提供</b> 小学校の行事や児童館のお知らせほか、ポスターや広報誌を掲示したり、パンフレットを設置するなどにより、地域の様々な情報を保護者に提供している。</p>	
<p><b>子どもと他者とのつながりの創出</b> 園庭開放や運動会への地域の子どもの参加、児童館や他の保育園との交流、ボランティアによる手品など、地域との連携を活かした取り組みにより、子どもの活動の幅を広げている。また、小学2年生による園の見学や中高生による職場体験も行われている。</p>	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	職員集団の問題解決に対する理解と意欲
	内容	区立保育園全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行を行ってきている。また、経験豊富な職員が多いためバランスの良い園運営が出来ている。
2	タイトル	地域との積極的なかわり
	内容	「ほいくえんであそぼう！」を開催し、園庭開放を積極的に行っている。特に火曜日は、身体測定を行うとともに、結果をカードサイズのデザインされた紙に記入し渡している。また、栄養相談・育児相談も行っている。さらに、「松ノ木小学校赤ちゃんふれあい授業」に参加し、地域の子育て支援機能の向上へとつなげる取り組みを行い、地域の人々に専門性を活かした支援を行っている。
3	タイトル	環境構成の工夫や体験の重視
	内容	コーナー設定により遊びを保障したり、朝夕保育や延長保育の時間において異年齢の子ども同士で遊びが継続できるように工夫している。玩具については毎月点検し、カプラ(造形遊具)などを中心に創造性を高めていくための環境構成を図っている。1歳からリズム遊び、構成遊びなど、個々の発達段階に合わせて様々な遊びや表現活動を取り入れている。幼児については、図書館を利用して、自分で本を選ぶという主体的な行動をとる機会を設けている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保護者の意向の把握のためのより一層の工夫
	内容	父母会が積極的に開催されており、開催後、園長がこの結果を踏まえ、父母会と話し合いを行っている。イベントや「ひまわり組DVD作成」なども、父母会と園が協力して行っている。現在、意見箱を設置するなど、保護者の意見収集に努めているが、有効に利用されているとはいえない。今後とも、保護者の意見・意向の把握に努め、サービス向上に活用していきたいと考えている。
2	タイトル	計画の実行のための職員の就業環境づくり
	内容	策定中の「杉並区の保育実践方針」については、職員に周知されてきている。今後は、区や園の方針について、より一層共通理解の上で、計画の実行を行いたいと考えている。このため、園内での勉強会の充実、打ち合わせ時間の捻出と計画の実行のための職員の就業環境づくりを進めたいと考えている。現状では、日々の業務に終われ、余裕がない状況がある。保育課と連携して、さらに働きやすい環境作りに取り組んでいきたいと考えている。
3	タイトル	施設の老朽化への対応
	内容	建物の築年数の経過とともに施設の老朽化も進み、様々な不具合が表出することがある。園としては、職員による工夫により補っているが、それだけでは難しい場面も出てきている。今後とも、保護者の要望を踏まえ、主管課とともに可能な範囲で改善に努めていきたいと考えている。

# 高円寺東保育園

---

調査対象

複数児利用世帯は最低年齢児1人を対象として実施世帯数を絞り、53世帯から有効回答を得た。

調査方法

アンケート調査票の配付は保育園を通じて保護者へ手渡し、回収は保護者から評価機関へ直接郵送する方法を採用した。

利用者総数

92

共通評価項目による調査対象者数

92

共通評価項目による調査の有効回答者数

53

利用者総数に対する回答者割合(%)

57.6

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想として、「大変満足」が43%、「満足」が47%、合わせて90%という結果となった。最も高い満足度が示されたのは「子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分かであるか」についてで、94%の方が「はい」と回答した。これに対し、「外部の相談窓口にも相談できることを知っているか」については、「はい」は32%にとどまり、「いいえ」との回答が60%となった。

## 利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	46	5	0	2
回答者の約87%が「はい」と回答した。体調やアレルギーなど個別の事情に応じた対応に感謝する声が寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	46	5	1	1
回答者の約87%が「はい」と回答した。散歩や公園、園庭での活動、雨の日の工夫などに感謝する声のほか、一層の充実を期待する声も寄せられた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	42	9	1	1
回答者の約79%が「はい」と回答した。延長保育の存在や申込み時の対応に感謝する声が寄せられた。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	50	2	0	1
回答者の約94%が「はい」と回答した。十分な気配り、配慮、原因や処置についての説明などに感謝する声が寄せられた。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	46	5	1	1
回答者の約87%が「はい」と回答した。ジャングルジムの色分けや定期的な避難訓練・防犯訓練に感謝する声が寄せられた。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	33	12	6	2
回答者の約62%が「はい」と回答した。要望を踏まえた対応に感謝する声のほか、曜日設定に関する多様なニーズをうかがわせる声が寄せられた。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	45	6	1	1
回答者の約85%が「はい」と回答した。日常的な対話や相談に対する助言に感謝する声のほか、一層のコミュニケーションを期待する声も寄せられた。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	46	6	0	1
回答者の約87%が「はい」と回答した。親身な対応や助言に感謝する声のほか、一層のコミュニケーションを期待する声も寄せられた。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	48	2	1	2
回答者の約90%が「はい」と回答した。よく分からないとの声のほか、一層の徹底を期待する声も寄せられた。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	49	3	0	1
回答者の約92%が「はい」と回答した。どの子どもも大切にされている、よく性格を把握しているなどの声が寄せられた。				



11. 職員の対応は丁寧か	47	4	0	2
回答者の約88%が「はい」と回答した。きちんとした挨拶や程よい礼儀正しさに感謝する声のほか、対応の一層の標準化を期待する声が寄せられた。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	34	13	5	1
回答者の約64%が「はい」と回答した。不満はないとの声のほか、保護者の側の遠慮をうかがわせる声も寄せられた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	36	14	1	2
回答者の約68%が「はい」と回答した。問12と同様、不満はないとの声のほか、保護者の側の遠慮をうかがわせる声も寄せられた。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	17	3	32	1
回答者の約32%が「はい」と回答した。利用開始時の説明を忘れている方が多いことがうかがえる結果となった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	21	1	1	0
回答者の約92%が「はい」と回答した。特に具体的な声は寄せられなかった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	



カテゴリ2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点( A )		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点( A )		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
サブカテゴリ2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点( A )		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

<b>評価項目2</b> ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している			<b>評点 ( A )</b>
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○非該当	
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○非該当	
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○非該当	
【A+の取り組み】			○あり ●なし
<b>評価項目3</b> 地域の関係機関との連携を図っている			<b>評点 ( A )</b>
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○非該当	
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○非該当	
【A+の取り組み】			○あり ●なし
<b>カテゴリ2の講評</b>			
<b>ふれあい保育等を通じた保育所機能の還元</b> ふれあい保育とは、区立保育園で保育園生活を体験する中で、保育士や看護師、調理職員のアドバイスを受けながら、保護者の子育てに対する悩みや不安を解消し、子どもの健やかな成長を支援する制度で、杉並区全体で取り組んでいる。園庭開放を積極的に行っている。この園庭開放の機会を利用、園を知ってもらい、地域への透明性を高めている。その他、「お楽しみ会」(劇などの集まりへの地域の親子の招待)、「行事参加」(地域の子どもの運動会への参加)など地域の方を対象に各種イベントを行っている。			
<b>地域子育てネットワークを通じた地域との協働</b> 地域子育てネットワーク(保育園・児童館・保健センターなど)に参加し、行政連絡会への定期的な参加やネットワーク通信の作成を行うとともに、防災・防犯に関する情報交換、交流事業を、園長・主査等が中心となって園として地域での共通課題の解決に協働している。また、児童館へ看護師を派遣し、夏・冬の健康をテーマにしたイベントを行うとともに、職員が児童館を訪問し、手遊びの紹介や育児相談等を行っている。さらに、幼少モデル事業の指定園であり、小学生が保育園を見学したり、年長が小学校を見学するなど、交流を活発に行っている。			
<b>区の担当課と連携したボランティアの受け入れ体制の確立</b> ボランティアや実習生の受け入れについては、「保育実習に関する留意事項」「杉並区における実習生の受入れ手順」など、区の担当課との連携のもと受け入れ体制を確立している。また、園独自でも、園マニュアルに「実習生の受け入れについて」を記載し、受け入れ体制における雰囲気づくりなど記載し、体制をきめ細やかに整備している。			

カテゴリ3		
3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリ1		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

### カテゴリー3の講評

#### 苦情相談員制度の保護者への周知と、保育課との連携

杉並区保育事業全体として、保健福祉サービスの利用者が提供されるサービスに不満があるとき保健福祉サービス苦情調整委員が、申立者とサービス提供事業者の双方から事情を聴き、公正・中立な立場から問題の解決を図る苦情相談員制度があり、周知している。また、区の保育課へ問い合わせ等があった段階で、三日以内に返答するよう迅速な対応ができるよう心がけている。区の担当者と園長の連携により、迅速かつ的確な対応をするよう体制が構築されている。

#### 保護者の意向を踏まえた園運営

各職員がきめ細やかに保護者の要望等を吸い上げ、問題に対して、職員会議等で把握し、対応している。この他、運動会に関するアンケートを行い、結果を受けて行事の内容等検討し、運動会アンケートの結果報告をしている。日程についても諸関係機関との日程調整をもとに、最大限、保護者の意向を斟酌し、開催の日程を調整した。今後とも、保護者の意見・意向の把握に努め、サービス向上に活用していきたいと考えている。

#### 地域関係機関を通じた情報収集

子育て支援に関する地域の協議会（地域子育てネットワーク等）、園長会などを通じて地域の福祉ニーズ、福祉事業全体の動向を把握するとともに、区の担当者と連携して情報の整理・分析を行っている。

カテゴリ4		
4 計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリ1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>		



<b>評価項目3</b> 着実な計画の実行に取り組んでいる		<b>評点 ( A )</b>
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
<b>【A+の取り組み】</b> <span style="margin-left: 100px;">○あり</span> <span style="margin-left: 20px;">●なし</span>		
サブカテゴリー2		
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
<b>評価項目1</b> 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		<b>評点 ( A )</b>
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
<b>【A+の取り組み】</b> <span style="margin-left: 100px;">○あり</span> <span style="margin-left: 20px;">●なし</span>		
<b>カテゴリ4の講評</b>		
<b>区と連携した計画策定</b> 区レベルとして「長期計画」「実施計画」「保健福祉計画」を策定し、担当課レベルでは「杉並区の保育実践方針」を策定中である。同方針については、研修等を通じて多くの職員が学んでいる。園としてもチャレンジプランを通じて実践的な計画策定を行い、課題の明確化や手順が職員に周知されている。		
<b>チャレンジプランをもとにした計画の効果的実行</b> チャレンジプランでは「目標→取組計画→評価(中間・年度末)」という流れのもとに計画が効果的に実行できるよう工夫がなされている。この目標のもと取組計画が作成されている。政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の分野ごとに園の目標を掲げ、例えば接客向上の目標を「保護者に保育園での子どもの姿を丁寧に伝えていながら、保育園への理解を深めてもらう」とし、取組計画が詳細に記載され目標に対し、着実に成果を上げられるような仕組みになっている。		
<b>危機管理における区との密接な連携と、園独自のマニュアルによる対応</b> 杉並区の庁内LANIによる「ヒヤリハット」の共有があり、他施設の状況も含めて共有できるようになっている。危機管理マニュアルは区保育園全体のもので用意されており、これに加えて、園独自で園運営マニュアルになかに様々な状況に対応したマニュアルが用意してある。事故報告書の書式も整備しており、区の担当課による確認も行われている。		

カテゴリ5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ1		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		
評点( A )		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		
評点( B )		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

区との連携による人材の確保と人員配置

区の保育担当部署と連携して人事制度に関する方針を明示している。組織目標・チャレンジプランにより、部・課の目標にあわせて、係の課題・取組計画を明示し、個人のチャレンジプランを作成している。採用については、正規職員は区が採用し、非常勤等職員については、保育課が必要に応じ採用している。各歳児担当の職員配置は、職員会議等により決定している。

「保育の向上を考えるリーダー」の選出と職員の能力向上

区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。園運営の流れの合理化と役割分担も機能し、経営層の意思の浸透と職場全体の意思統一の強化もなされてきている。個々の職員の能力や得意分野を活かしながらバランスの良い園運営が出来つつある。

区の人材マネジメントシステムを中心とした体制

「職員人材育成事業実施計画」をもとにした、職員の育成・評価・報酬が連動した人材マネジメントを行っている。これに合わせ、「私のチャレンジプラン」をもとに各職員の就業状況のヒアリングを行っている。

7			カテゴリー7		
情報の保護・共有			サブカテゴリー1		
情報の保護・共有に取り組んでいる					
<b>評価項目1</b> 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる			<b>評点( A )</b>		
評価	標準項目				
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している		○非該当		
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している		○非該当		
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している		○非該当		
【A+の取り組み】			○あり ●なし		
<b>評価項目2</b> 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している			<b>評点( A )</b>		
評価	標準項目				
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している		○非該当		
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している		○非該当		
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している		○非該当		
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている		○非該当		
【A+の取り組み】			○あり ●なし		

#### カテゴリー7の講評

##### 区による情報の保護・共有の管理と園の情報管理の工夫

区による情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ対策基準によりアクセス権等の設定をしている。また、保管は区のファイリングシステムに従って分類・整理している。園としても、情報の整理とファイルなど文章を使いやすくする工夫をしている。

##### 杉並区個人情報保護条例による情報の保護・共有

杉並区個人情報保護条例により個人情報の利用目的を明示するとともに、個人情報の保護に関する規程を明示している。また、園独自の個人情報マニュアルも整備し、個人情報の適切な利用・保護を図っている。

##### 写真・ビデオ撮影に際しての同意

写真やビデオ映像の撮影に際しては、保護者に対し説明の上、理解を得ている。それらの利用については、区で定めた「画像データ提供申請書」により使用用途を限定し、撮影された園児の保護者の同意を得た上で対応している。

カテゴリ-8	
8 カテゴリ-1～7に関する活動成果	
サブカテゴリ-1	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>グループ会議の開催と計画の実行</b> 区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。また、全体的にも職員の意見を受け入れる雰囲気が発言を活発にし、各会議にて活発な意見交換ができるようになってきている。	
サブカテゴリ-2	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>「保育の向上を考えるリーダー」の選出と職員の能力向上</b> 区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。園運営の流れの合理化と役割分担も機能し、経営層の意思の浸透と職場全体の意思統一の強化もなされてきている。個々の職員の能力や得意分野を活かしながらバランスの良い園運営が出来つつある。特に、他の公立認可園に比べ年齢層の若い職員が多く、若い職員の経営への参加意識が、園の活動の盛り上がり後押ししていると考えている。	
サブカテゴリ-3	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>貼り出し日誌の掲示方法や内容の変更</b> 貼り出し日誌の掲示方法や内容の変更し、実施したことだけでなく、なぜ実施したのかという職員の意識も盛り込むようにした。また、週案(1週間の予定)や各クラスの日誌をまとめて掲示した。これらの取り組みにより、職員が吟味して決定した活動の目的や、他のクラスの様子など、普段見えにくい事柄についても保護者に一層伝えていけるようになった。	

サブカテゴリー4	
事業所の財政等において向上している	
評価項目1	
財政状態や収支バランスの改善に向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>行政改革の実行による取り組み</b> 区では行財政改革である「スマートすぎなみ計画」により、計画的に取り組みを進めている。平成20年度から平成22年度の目標としては、①区の事業の6割を共同化・民営化・委託化する、②経常収支比率を80%以下とする、③職員定数を330人削減する、となっている。保育分野に関しては、給食調理・用務の委託や指定管理制度の導入などによるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率向上などの取り組みを進めている。これまでに保育園の指定管理制度を4園に導入、調理・用務業務の委託についても21年度現在で12園で実施している。	
サブカテゴリー5	
前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している ・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>保護者意向の把握と活用</b> 各職員がきめ細やかに保護者の要望等を吸い上げ、問題に対して職員会議等で検討し、対応している。運動会に関するアンケートを行い、結果を受けて行事の内容等検討し、運動会アンケートの結果報告をしている。日程についても諸関係機関との日程調整をもとに、最大限、保護者の意向を斟酌し、開催の日程を調整した。今後とも、保護者の意見・意向の把握に努め、サービス向上に活用していきたい考えている。	

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
サブカテゴリ-1の講評		
<p><b>区ホームページによる園概要の紹介</b></p> <p>区ホームページの「施設案内」により、園の概要について網羅的に紹介している。所在地などの基本情報のほか、最寄の駅からの道順案内、園の見取り図(写真入り)、保育目標、対象年齢や職員体制、主な行事などについて、簡潔に説明している。紹介する項目自体は各園共通であるが、特に「保育園の特色」については、環境や活動の様子など、当園らしさについて具体的に分かりやすく紹介している。</p>		
<p><b>園としての情報の発信</b></p> <p>園のしおりは、保育目標、理念・方針、定員、人員体制、保育時間、年間行事予定 見取り図など、園の概要を簡潔に説明している。また、実際の保育の様子について、食事風景や玩具・遊具による遊びの様子など、カラー写真入りで紹介し、園での生活がイメージしやすい内容となっている。しおり自体は、入園内定者のみに渡すこととしているが、その他の見学者や園庭開放の参加者、散歩中に出会った親子などに対しては、概要を記載したリーフレットを渡している。</p>		
<p><b>見学・相談への対応</b></p> <p>問い合わせや見学の要望については、土曜日を含め希望日を聞いた上で、園長および主査を対応者として随時応じている。なるべく園の日常を見て頂けるよう、活動の活発な時間帯を勧めている。見学者に対しては、園の機能を十分知って頂き、入園するか否かに関わらず、利用できる部分は利用して頂きたいと考えている。その上で、園庭開放や妊婦を対象とした育児体験を含め、地域住民に対して常に門戸を開いている。</p>		



サブカテゴリ-2

2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリ-2の講評

入園前の説明

入園児健康診断・面接の機会や入園説明会の場において、園での生活に関する基本事項を説明している。保育理念や園生活の概要のほか、必要な持ち物などについては「しおり」を中心に、災害時の対応や保険制度などについては区発行の各種文書により、説明している。特に、園の概略や理念、目指すべき園の姿、エコ教室やクラス紹介などについては、写真を活用して説明し、実際の活動や子どもの様子が伝わりやすくなるよう工夫している。

個別事情や要望の把握

入園前の面接では、保育時間に関する意向や保育上の留意事項などのほか、健康上の留意事項、慢性疾患、離乳食進度、アレルギー等食物除去などについて、各専門職種立場から情報を収集・確認し、児童票を中心とする個人記録にまとめている。そして、子どもにとっての最善の利益とは何かを常に考え、入園に至る保護者の事情を踏まえながらも、いかにして子どもの意向を伝え、子どもと保護者との架け橋としての役割を果たしていくかを、追求している。

入園直後の緊張への対応

「入園までの生活状況」(児童票)で把握した運動遊び、食事、睡眠、排泄、着脱、清潔(歯磨き・入浴)、養育態度などに関する情報を基に、集団生活の開始という環境変化に馴染めるよう配慮している。特に、個々の子どもの特性や性格、癖など、月齢よりもあくまでも入園前までに培われた生活習慣に配慮して対応している。

## サブカテゴリ-3

## 3 個別状況に応じた計画策定・記録

## 評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

## 評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

## 評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

サブカテゴリー3の講評

**新たな児童票の活用**

子どもの心身状況の発達状況・家庭状況などは、児童票に記録されている。同票については、区内全園にて今年度から書式の見直しが行われ、子どもの成長過程に対する「評価」ではなく、保護者とともに内容を共有し、方向を探っていくためのものに変更された。

**計画の作成と保護者への説明**

クラスごとに年間の指導計画を作成し、それを基に月の指導計画(月案)や週案を立案している。計画は、月・期・年ごとに見直しを行っている。年間計画については、目標を分かりやすく説明したものを保護者会で配布している。その他の計画については、園日よりクラス日よりその時期の保育のポイントを説明している。

**子どもに関する情報の共有**

乳児については、日々の変化を個別の日記に記録している。幼児については、今年度から一人ひとりの日々の変化を個別記録ファイルにまとめ、児童票を書く際の補助簿としている。これまで以上に漏れのない記録が整えられている。昼の会議には、各クラスからも出られる範囲で職員が出席し、子どもの怪我や健康状態、家庭に関する事などについて確認している。申し送り・引継ぎには、園日記や朝夕保育名簿、延長保育日誌などを活用しつつ、必要に応じてメモを用いながら連絡漏れのないようにしている。

サブカテゴリー5

**5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重**

**評価項目1**

子どものプライバシー保護を徹底している

**評点( A )**

<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

<b>評価項目2</b> サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリ-5の講評		
<b>プライバシーへの配慮</b> 子どもの情報を他機関との間でやり取りする場合は、原則として保護者の同意を得ている。近隣の公共機関で七夕の飾りを展示する際の個人名の掲示についても、同様に同意を得た上でを行っている。オムツ換えの際は交換台に衝立を設け、プール遊びの際も目隠しをする等、配慮している。快適な生活を送る中で、自然な形で個人が尊重されプライバシーが保護されるように取り組んでいる。		
<b>日常的な振り返り</b> 一人ひとりの尊重という点については、「保育課程」(案)の「保育理念」で謳い、「保育のねらい」の中で具体化している。言動の振り返りについては、互いに忌憚なく意見を言い合い高め合う雰囲気作りに努めている。また、具体的な事例があれば、会議などで検討を加えている。		
サブカテゴリ-6		
6	事業所業務の標準化	
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	○非該当
●あり ○なし	3. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	○非該当
●あり ○なし	4. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

サブカテゴリ6の講評

独自マニュアルの策定と活用

区で定めたものとは別に、独自にマニュアルを策定している。保育理念や組織の目標・課題、運営及び保育に関わる確認事項などを明示した上で、園庭遊びの約束事項、当番の仕事・流れ、事故対応、保護者対応、虐待の早期発見・対応、アレルギー児の食事対応、実習生などの受け入れ、散歩などといった保育に関する各業務の内容・手順・留意事項を明確化している。マニュアルには分かりやすい目次を設け、実際に現場で活用されることを想定して編集している。

職員や保護者の提案・意向を踏まえた業務内容や手順の見直し

マニュアルは、年度末あるいは必要に応じて見直しを行っている。サービスは保護者のニーズに沿う形にしていけることが原則であると考え、日常的に意見や要望が上がった場合は、その対処法も含めマニュアルに反映させている。また、仕事の効率化を常に意識し、新規事業や地域支援に向けた新たな計画の立案に向かって、園全体で取り組んでいる。

一定の業務水準確保のための取り組み

東京都社会福祉協議会や特別区、母子保健センターなどの関係機関が主催する研修については、随時案内し職員に周知している。区の主催する研修については、杉並の保育実践方針(案)を始め、子どもの発達に関連した研修が開かれており、園としても参加を奨励し個々のスキルアップを図っている。園内では、職種や雇用形態の異なる職員が参加する会議を設け、どの職員も同じ水準の業務を担えるようになる仕組みがある。年間10回程度行う夜の会議の機会を利用して園内研修を実施し、事例検討やグループディスカッションを行っている。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

1	評価項目1 子どもの発達を促すための保育を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 多様な表現活動や園外活動を計画している	○非該当
	●あり ○なし	4. 文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	○非該当
●あり ○なし	5. 障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	○非該当	
【A+の取り組み】		○あり ●なし	
評価項目1の講評			
<p><b>自主性・自発性の促進</b>          自主性・自発性については、自分勝手な行動を認めることではなく、いかに子どもが独自の世界観を持って生活や遊びの展開できる環境が用意されているかが重要であると考えている。園庭には、マルチパーツやタイヤなど、子ども自らが考え、工夫して遊びを展開できるような可動遊具を揃え、子どもの活動を生き活きとしたものとしている。環境グループの職員が中心となり、計画、実行、見直しという過程を踏みながら、園庭整備や砂場玩具の入れ替え、砂おこしなど、望ましい環境の実現のために不断に取り組んでいる。</p> <p><b>表現活動・園外活動の実施</b>          屋上でのサツマイモ作りは、畝作りから始め、草取り、収穫を経て、実際に味わい、喜び、季節を感じるまでの体験を大切にしている。ダンボールを用いたカブトムシ製作など、箱や廃材を利用し、子どもの発想を取り上げながら自由製作を行っている。散歩は、「公園で遊ぶ」「たくさん歩く」「異年齢で交流する」「自然に触れる」「手をつないで歩く」など、外に出る目的を各クラスで明確にした上で、「どんぐり拾い」「交通ルールに気をつけ、消防署見学」など、目的地や遊び方などを吟味して計画的に実施している。</p> <p><b>特性を踏まえた保育実践への取り組み</b>          一人ひとりの特性を踏まえた保育を一層充実させていくために、心理職の巡回相談を活用している。保育者は、日頃の観察に基づく気づきや対応方法について相談し、それを踏まえて一人ひとりの発達過程にあった関わり方を実践している。</p>			

2	<b>評価項目2</b> 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	○非該当
	●あり ○なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	○非該当	
【A+の取り組み】		○あり ●なし	
評価項目2の講評			
<b>食事を楽しむ工夫</b> 区立保育園共通の献立表に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供できる体制にある。誕生会や行事の際は、通常の献立を基本としつつ、より食欲をそそり、見た目にもより楽しめるものとなるよう工夫している。			
<b>アレルギーへの配慮</b> 食物アレルギーのある子どもに対しては、提供する食事内容について個別に配慮している。事前に除去用献立表を保護者に配布し、それを基に園で確認し、食事提供時は別トレーで配食している。要所所で職員が口頭で確認し連携を取り、誤食の発生を防止している。			
<b>快適な食事時間</b> 気持ちよく食事できるようにテーブルは清潔を保ち、時には花を飾ったり、テーブルクロスやランチョンマットを使用するなど、遊びの時間とは異なる食卓の雰囲気作りをしている。サイズの異なるテーブルや椅子を用意しており、子どもの体格に応じて足台や背当てを使い、安定した姿勢で食事できるようにしている。			
3	<b>評価項目3</b> 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	○非該当
	●あり ○なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし	

評価項目3の講評

定期健診の実施

毎日の視診による健康状態の把握のほか、毎月の身体測定、年2回の健康診断、歯科・眼科・耳鼻科の各健診、ぎょう虫卵検査などの結果を、各園共通の児童票や健康カードに記録している。乳児の連絡帳とは別に、幼児については、個人別の健康カードを用いて、休み中を含めた家庭での子どもの体調について、保護者から情報を提供して頂いている。

健康・衛生管理

乳児クラスについては、乳幼児突然死症候群の発生防止のために、午睡チェック表により定期的に呼吸の確認を行っている。感染症予防の見地から、感染性胃腸炎や新型インフルエンザへの対応マニュアル(保育課作成)を整備している。薬の処置が必要な子どもに対しては、与薬申込書に従って対応している。

医療的なケアが必要なケースへの支援体制

常に特別な配慮が必要なケースについては、「確認事項および注意点」として対応方法・留意事項をまとめている。散歩や屋上への移動、午睡時、訓練時の移動の際も、医療機器と合わせて常に持参している。身体への危険が発生した場合についても、心音の確認を含め詳細な対応手順を定めるなど、園内での支援体制を確立している。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点( A )

4

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4の講評

年間計画に基づく多彩な行事の実施

年間行事計画に基づき、多彩な行事を実施している。七夕、園外保育、運動会、芋ほり、焼き芋、おたのしみ会、新年子ども会、節分、ひなまつりなど、季節や目的、子どもの成長に応じて様々な楽しめる場面を設定している。実施後は、「昨年度と同じで良い」ではなく、趣旨を確認して反省し、次年度につなげていくことを検討している。誕生日はその日にクラスでお祝いをし、カードやバッジのプレゼントに加え、園長による歌のプレゼントも行っている。

清潔で快適な保育環境の維持

各クラスとも、快適で落ち着くことができる環境や空間作りを心掛けている。日々多忙な毎日ではあるが、今後とも細かい部分の清掃を行き届かせ、安全点検により危険箇所の減少に努め、快適な環境整備に取り組んでいきたいと考えている。

午睡時間の設定

2歳児までは各クラスで、3歳児以上はホールで昼寝をしている。昼寝前には、絵本を読んだり紙芝居を鑑賞したりして、落ち着いた雰囲気の中で睡眠に入れるようにしている。休息をしっかりとることが出来ればそれで良いと考え、眠れない子どもをそのままにしておくことはせず、個別に柔軟に対応している。



5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目5の講評			
<p><b>保育参加・参観の促進</b> 保育参観・参加は、基本的にいつでも可能としている。その上で、参観と面談を組み合わせたり、積極的に声をかけるなど、保護者の訪問を促進している。</p> <p><b>日常的な情報提供</b> 全てのクラスのたよりを1、2階に掲示し、クラスを問わず全ての保護者が園の様子を知ることができるようにしている。貼り出し用の日誌では、食育や行事の場面で子どもが活動している様子を捉えた写真を貼ったり、コメントを加えるなど、見やすい形態で各時期の子どもの様子を伝えている。</p> <p><b>意見や相談への対応</b> 保護者の不安や悩みは、連絡ノートの記述などからも気づくことがある。面談自体は秋の実施としているが、保護者の状況に応じて随時面談を提案し、実施している。また、いつでも面談が可能であると、かえって保護者の側もなかなか踏み出せないこともあるので、普段の関わりの中で様子を観察し、子どもから感じ取ることが出来るサインを含め、何か気づくことがあれば声をかけ、対応できるよう取り組んでいる。</p>			
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
	●あり ○なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目6の講評		
<p><b>虐待に関する意識の涵養</b></p> <p>職員は、区主催のもののほか、虐待防止を含む様々なテーマの各種研修に参加している。研修受講者による報告により、職員全体で内容を共有している。親子関係が気になるケースについて事例検討を行い、経過報告や方針を検討し、気になった姿や必要な配慮などについてグループ討議を実施している。</p>		
<p><b>虐待対応のしくみ</b></p> <p>虐待の疑い、あるいは、虐待の事実を把握をした際の対応手順は、区の危機管理マニュアルにより明確に定められている。情報を得た際は、主管課である保育課を通じて子ども家庭支援センターや児童相談所などと連携して対処する体制にある。</p>		
7	<p>評価項目7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている</p>	
	<p>評点( A )</p>	
	評価	標準項目
	<p>●あり ○なし</p>	<p>1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している</p>
	<p>○非該当</p>	
<p>●あり ○なし</p>	<p>2. 保育所の活動や行事に地域の人々の参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している</p>	
<p>○非該当</p>		
<p>【A+の取り組み】 ○あり ●なし</p>		
評価項目7の講評		
<p><b>保護者への地域情報の提供</b></p> <p>地域の関係機関によるイベントのチラシやポスターを掲示したり、子育て情報誌や杉並区の子育て応援券のパンフレットを設置するなど、地域の様々な情報を保護者に提供している。</p>		
<p><b>子どもと他者とのつながりの創出</b></p> <p>幼少モデル事業の指定園であることから、小学生が保育園を見学したり、年長クラスが小学校を見学するなど、交流を活発に行っている。また、園庭開放、ボランティアによる絵本の読み聞かせ(お話の会)、玩具の専門業者の協力による遊び方のデモンストレーション(おもちゃで遊ぼう会)などを通して、地域の方々と触れ合う機会を持っている。</p>		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	「保育の向上を考えるリーダー」の選出と職員の能力向上
	内容	区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱としたグループごとの会議を開催し、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。園運営の流れの合理化と役割分担も機能し、経営層の意思の浸透と職場全体の意思統一の強化もなされてきている。個々の職員の能力や得意分野を活かしながらバランスの良い園運営が出来つつある。特に、他の公立認可園に比べ年齢層の若い職員が多く、若い職員の運営への参加意識が、園の活動の盛り上がり後押ししている。
2	タイトル	実体験を通じた知識の獲得や情操の涵養
	内容	実際に体験することを通じた成長・発達を重視して、様々な活動を取り入れている。屋上でのサツマイモ作りは、畝作りから始め、草取り、収穫を経て、実際に味わい、喜び、季節を感じるまでの体験を大切にしている。また、ダンボールを用いたカブトムシ製作など、箱や廃材を利用し、子どもの発想を取り上げながら自由製作を行っている。これらの取り組みを通して、好奇心や自信、集中力などを含め、豊かな心を育てている。
3	タイトル	共育を支える保護者との情報共有の仕組み
	内容	日々の活動の目的や様子を伝える貼り出し日誌の掲示、1週間の見通しや他のクラスの様子を伝える週案や各クラスの日誌の掲示など、日常の保育内容について保護者に対し積極的に情報を提供している。また、幼児については、個人別の健康カードを用いて、休み中を含めた家庭での子どもの体調について、保護者から情報を提供して頂いている。保護者と園とがそれぞれ必要な情報を提供し合うことで信頼関係を深め、共に子育てを行っていく関係を強化している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	室内環境の一層の充実
	内容	園庭には、子ども自らが考え、工夫して遊びを展開できるようなマルチパーツを揃え、子どもの活動を生き生きとしたものになっている。また、環境グループの職員が中心となり、計画、実行、見直しという過程を踏みながら、園庭の環境整備を行っている。さらに、畑として活用している屋上は、子どもの実体験のための良き舞台となっている。室内環境については、コーナー設定や手作りの大型遊具、木製の玩具の活用など行ってきたが、今後は、遊具の充実を含め環境の一層の充実のために取り組んでいきたいと考えている。
2	タイトル	職員の能力向上のための環境の整備
	内容	園全体の仕事や目指すものを、職員がもっと意識していけるとよいと考えている。このためには、従来の仕事勤や前例踏襲の考え方を一新し、余力を作り出していくことが必要であり、今後は、職員が園運営について「振り返り→改善」を余裕を持って行えるよう、労働条件の改善等、環境の整備を計画的に行いたいと考えている。
3	タイトル	地域福祉に対する職員の意識向上
	内容	地域の福祉に役立つ取り組みを園では積極的に行っている。ただし、地域におけるイベントなどについて、その他関係機関との連携がスムーズにいかないときがある。地域福祉の観点から縦割りによる無駄を感じるとともに、職権を超えた問題であり、なすべがないという感覚を持つことも多い。今後は、現場の意見や問題を保育課等に取り上げてもらうなど積極的な改善案を出していく必要があると考えている。このため、区全体が目指している地域福祉の原則を徹底させ、自分たちの仕事との関連を更に意識化させていきたいと考えている。

# 荻窪東保育園

---

調査対象

複数児利用世帯は最低年齢児1人を対象として実施世帯数を絞り、45世帯から有効回答を得た。

調査方法

アンケート調査票の配付は保育園を通じて保護者へ手渡し、回収は保護者から評価機関へ直接郵送する方法を採用した。

利用者総数

65

共通評価項目による調査対象者数

65

共通評価項目による調査の有効回答者数

45

利用者総数に対する回答者割合(%)

69.2

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想として、「大変満足」が27%、「満足」が63%、合わせて90%という結果となった。最も高い満足度が示されたのは「一人ひとりの子どもは大切にされているか」についてで、96%の方が「はい」と回答した。これに対し、「外部の相談窓口にも相談できることを知っているか」については、「はい」は29%にとどまり、「いいえ」との回答が62%となった。

## 利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	39	6	0	0
回答者の約87%が「はい」と回答した。メニューの充実ぶりに感謝する声のほか、一層の工夫を期待する声も寄せられた。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	40	4	1	0
回答者の約89%が「はい」と回答した。散歩や公園、園庭での活動に感謝する声が寄せられた。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	33	9	3	0
回答者の約73%が「はい」と回答した。延長保育の存在に感謝する声のほか、一層利用しやすくなるための改善を期待する声も寄せられた。				

4. 子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	38	5	2	0
回答者の約85%が「はい」と回答した。十分すぎる、安心できるとの声のほか、対応の一層の向上を期待する声も寄せられた。				
5. 安全対策が十分取られていると思うか	31	12	2	0
回答者の約69%が「はい」と回答した。十分な配慮に感謝する声のほか、一層の充実を期待する声も寄せられた。				
6. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	34	8	2	1
回答者の約76%が「はい」と回答した。曜日設定に関する多様なニーズをうかがわせる声が寄せられた。				
7. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	32	10	3	0
回答者の約71%が「はい」と回答した。担任との良好な関係をうかがわせる声のほか、一層のコミュニケーションを期待する声も寄せられた。				
8. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	38	6	1	0
回答者の約85%が「はい」と回答した。丁寧な対応に感謝する声のほか、一層のコミュニケーションを期待する声も寄せられた。				
9. サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	39	4	1	1
回答者の約87%が「はい」と回答した。質問内容の趣旨(判断する基準)に対する戸惑いをうかがわせる声が寄せられた。				
10. 一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	43	2	0	0
回答者の約96%が「はい」と回答した。子どもの立場に立った対応に感謝する声のほか、対応の一層の向上を期待する声も寄せられた。				

11. 職員の対応は丁寧か	38	6	0	1
回答者の約85%が「はい」と回答した。挨拶やきちんとした対応に感謝する声のほか、対応の一層の標準化を期待する声が寄せられた。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	26	15	4	0
回答者の約58%が「はい」と回答した。不満はないとの声のほか、保護者の側の遠慮をうかがわせる声も寄せられた。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	27	17	1	0
回答者の約60%が「はい」と回答した。誠実な対応に感謝するのほか、対応の一層の充実を期待する声も寄せられた。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	13	4	28	0
回答者の約29%が「はい」と回答した。利用開始時の説明を忘れている方が多いことがうかがえる結果となった。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	16	1	0	0
回答者の約94%が「はい」と回答した。きちんとした説明があったとの声が寄せられた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点( A )</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float: right;">○非該当</span>
	【A+の取り組み】 <span style="margin-left: 100px;">○あり ●なし</span>	



評価項目3

重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点（ A ）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝える	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし

カテゴリ1の講評

杉並区の保育理念と園独自の方針

杉並区の保育理念のほかに園独自で定めた園目標があり、杉並区の保育理念を効果的に具体化できるよう取り組んでいる。また、理念を念頭に置きながらチャレンジプランの目標を設定し、この目標を職員とともに達成すべく、職員会議等の打ち合わせ等を行い、職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行っている。また、「櫻だより」を園長独自で発行し、園の理念・方針を実現するための取り組みを職員を初め、保護者に伝えている。

指導層の役割の明確化と前期終了後評価、反省、後期の見直しの流れ

指導層の立場を園運営マニュアルに「園長・主査の役割分担」に視覚的に明示している。その上で、園長・主査の指導層は計画的に行動している。毎月の保育計画と反省を行ったり、プロジェクトチームのメンバー編成を決定して園運営を行っている。さらに、目標を実現するために、「前期終了後評価→反省、後期の見直し」という流れを確立し、指導層が中心となり園運営に取り組んでいる。

各会議仕様と意思決定手順の明確化

各種会議の参加職員、基本日時、内容を園運営マニュアルに明示していて、意思決定の手順を定めている。保護者に対しては重要案件について、文章や掲示等で周知している。

カテゴリ-2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリ-2		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	○非該当
●あり ○なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

<b>評価項目2</b> ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	○非該当
●あり ○なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

<b>評価項目3</b> 地域の関係機関との連携を図っている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

カテゴリ-2の講評

**ふれあい保育等を通じた保育所機能の還元**

ふれあい保育とは、区立保育園で保育園生活を体験する中で、保育士や看護師、調理職員のアドバイスを受けながら、保護者の子育てに対する悩みや不安を解消し、子どもの健やかな成長を支援する制度で、杉並区全体で取り組んでいる。また、「おもしろ縁日参加」(赤ちゃんふれあい事業)では、高校生向けに保育を知ってもらうため、体験学習を行えるようになっている。さらに、「年長児体験学習」(近隣小学校との交流)、園庭開放では児童館との交流も行っている。

**地域子育てネットワークを通じた地域との協働**

地域子育てネットワーク(保育園・児童館・保健センターなど)に参加し、行政連絡会への定期的な参加やネットワーク通信の作成を行うとともに、防災・防犯に関する情報交換、交流事業を、園長・主査等が中心となって園として地域での共通課題の解決に協働している。また、保健センターとの交流では「遊イング」へ保育士を派遣し、さらに、母親学級妊婦さんの見学を行うなど、地域の一員として、積極的に連携を図っている。

**区の担当課と連携したボランティアの受け入れ体制の確立**

ボランティアや実習生の受け入れについては、「保育実習に関する留意事項」「杉並区における実習生の受け入れ手順」など、区の担当課との連携のもと受け入れ体制を確立している。また、「実習・体験保育・ボランティアをするにあたって」や職員向けには「実習・体験保育・ボランティアの受け入れ」についての書式を用意し、この中で「意義と方針」を明示し、園独自としての対応も確立している。

カテゴリ-3		
3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリ-1		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

### カテゴリー3の講評

#### 苦情相談員制度の保護者への周知と、保育課との連携

杉並区保育事業全体として、保健福祉サービスの利用者が提供されるサービスに不満があるとき保健福祉サービス苦情調整委員が、申立者とサービス提供事業者の双方から事情を聴き、公正・中立な立場から問題の解決を図る苦情相談員制度があり、周知している。また、区の保育課へ問い合わせ等があった段階で、三日以内に返答するよう迅速な対応ができるよう心がけている。区の担当者と園長の連携により、迅速かつ的確な対応をするよう体制が構築されている。

#### 保護者の意向を踏まえた園運営

各職員がきめ細やかに保護者の要望等を吸い上げ、問題に対して、職員会議等で把握し、対応している。このほか、運動会に関するアンケートを行い、結果を受けて行事の内容等検討し、運動会アンケートの結果報告をしている。日程についても諸関係機関との日程調整をもとに、最大限、保護者の意向を斟酌し、開催の日程を調整した。また、年度末には、一年間を通して感じたこと等についてアンケートを行うなど、多様な方法で把握して、園運営に活かしている。

#### 地域関係機関を通じた情報収集

子育て支援に関する地域の協議会（地域子育てネットワーク等）、園長会などを通じて地域の福祉ニーズ、福祉事業全体の動向を把握するとともに、区の担当者と連携して情報の整理・分析を行っている。

4 カテゴリー4		
計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリー1		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
評価項目1		評点( A )
取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目2		評点( A )
多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目3  
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

サブカテゴリー2

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目1  
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリー4の講評

区と連携した計画策定

区レベルとして「長期計画」「実施計画」「保健福祉計画」を策定し、担当課レベルでは「杉並区の保育実践方針」を策定中である。同方針については、研修等を通じて多くの職員が学んでいる。園としてもチャレンジプランを通じて実践的な計画策定を行い、課題の明確化や手順が職員に周知されている。

チャレンジプランをもとにした計画の効果的実行

チャレンジプランでは「目標→取組計画→評価(中間・年度末)」という流れのもとに計画が効果的に実行できるよう工夫がなされている。この目標のもと取組計画が作成されている。政策実行・業務改善、接客向上、人材育成の分野ごとに園の目標を掲げ、取組計画が詳細に記載され目標に対し、着実に成果を上げられるような仕組みになっている。

危機管理における区との密接な連携と、園独自のマニュアルによる対応

杉並区の庁内LANによる「ヒヤリハット」の共有があり、他施設の状況も含めて共有できるようになっている。危機管理マニュアルは区保育園全体のものが用意されており、これに加えて、園独自で園運営マニュアルになかに様々な状況に対応したマニュアルが用意されている。事故報告書の書式も整備しており、区の担当課による確認も行われている。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点( B )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当
【A+の取り組み】 ○あり ●なし		



サブカテゴリ-2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリ-5の講評

区との連携による人材の確保と人員配置

区の保育担当部署と連携して人事制度に関する方針を明示している。組織目標・チャレンジプランにより、部・課の目標にあわせて、係の課題・取組計画を明示し、個人のチャレンジプランを作成している。採用については、正規職員は区が採用し、非常勤等職員については、保育課が必要に応じ採用している。各クラス担当の職員配置は、職員会議等により決定している。

「保育の向上を考えるリーダー」の選出と職員の能力向上

区全体の取組目として「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱とした4つのグループ討議を開催し、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。園運営の流れの合理化と役割分担も機能し、経営層の意思の浸透と職場全体の意思統一の強化もなされてきている。個々の職員の能力や得意分野を活かしながらバランスの良い園運営が出来つつある。今後は、職員一人ひとりが各人の「振り返りノート」をより一層活用し、保育士としての意識向上ができるように運用していきたいと考えている。

区の人材マネジメントシステムを中心とした体制

「職員人材育成事業実施計画」をもとにした、職員の育成・評価・報酬が連動した人材マネジメントを行っている。これにあわせ、「私のチャレンジプラン」をもとに各職員の就業状況のヒアリングを行っている。

7 カテゴリー7		
情報の保護・共有		
サブカテゴリー1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし
評価項目2 個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点( A )
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】		○あり ●なし

#### カテゴリ7の講評

##### 区による情報の保護・共有の管理と園の情報管理の工夫

区による情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ対策基準によりアクセス権等の設定をしている。また、保管は区のファイリングシステムに従って分類・整理している。園としても、情報の整理とファイルなど文章を使いやすくする工夫をしている。

##### 杉並区個人情報保護条例による情報の保護・共有

杉並区個人情報保護条例により個人情報の利用目的を明示するとともに、個人情報の保護に関する規程を明示している。また、園独自の個人情報マニュアルも整備し、個人情報の適切な利用・保護を図っている。

##### 写真・ビデオ撮影に際しての同意

写真やビデオ映像の撮影に際しては、保護者に対し説明の上、理解を得ている。それらの利用については、区で定めた「画像データ提供申請書」により使用用途を限定し、撮影された園児の保護者の同意を得た上で対応している。

カテゴリー8	
8 カテゴリー1～7に関する活動成果	
サブカテゴリー1	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>グループ会議の開催と計画の実行</b> 区全体の取り組みとして「保育の向上を考えるリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱とした4つのグループ討議を開催し、いくつかの計画の進行管理を職員に任せることで主体性・自発性が向上した。園運営の流れの合理化と役割分担も機能し、経営層の意思の浸透と職場全体の意思統一の強化もなされてきている。個々の職員の能力や得意分野を活かしながらバランスの良い園運営が出来る。	
サブカテゴリー2	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>チャレンジプランの活用</b> 園のチャレンジプランと職員のチャレンジプランを有効にリンクさせることにより、効果的に職員と組織の能力向上ができるようになってきた。職員のチャレンジプランでは、園長とのヒアリングで確認、個人の意識が高まるとともに、園のチャレンジプランとリンクさせることにより、園全体の意識が高まるようなシステムが出来ている。	
サブカテゴリー3	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」	○ A+   ● A   ○ B   ○ C
改善の成果	
<b>園だよりによる情報提供の充実</b> 園だよりには、「パパママエッセイコーナー」を設け、保護者からの原稿を掲載している。他の家庭の日々の子育ての様子を垣間見ることが出来るので、保護者からも好評を得ている。また、月の行事予定や各クラスの保育目標、子どもの様子などを載せ、保育内容をどのように進めていくか、園としての考えや姿勢を保護者に対し積極的に発信している。	

サブカテゴリ-4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善に向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+  A  B  C

改善の成果

行政改革の実行による取り組み

区では行財政改革である「スマートすぎなみ計画」により、計画的に取り組みを進めている。平成20年度から平成22年度の目標としては、①区の事業の6割を共同化・民営化・委託化する、②経常収支比率を80%以下とする、③職員定数を330人削減する、となっている。保育分野に関しては、給食調理・用務の委託や指定管理制度の導入などによるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率向上などの取り組みを進めている。これまでに保育園の指定管理制度を4園に導入、調理・用務業務の委託についても21年度現在で12園で実施している。

サブカテゴリ-5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+  A  B  C

改善の成果

事故防止のためのマニュアルの見直し

利用者の苦情・要望を把握し、迅速に対応した結果、事故防止のためのマニュアルの見直しを行った。このため、散歩時の事故が減少し、不審者侵入防止のため、施錠の意識が職員の中に高まった。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	
評価項目1 保護者等に対してサービスの情報を提供している		評点( A )
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
サブカテゴリ1の講評		
<p><b>区ホームページによる園概要の紹介</b></p> <p>区ホームページの「施設案内」により、園の概要について網羅的に紹介している。所在地などの基本情報のほか、最寄の駅からの道順案内、園の見取り図(写真入り)、保育目標、対象年齢や職員体制、主な行事などについて、簡潔に説明している。紹介する項目自体は各園共通であるが、特に「保育園の特色」については、環境や活動の様子など、当園らしさについて具体的に分かりやすく紹介している。</p>		
<p><b>園としての情報の発信</b></p> <p>園のしおりには保育目標を明示した上で、人員体制や保育時間、見取り図などの概要のほか、園での一日の生活の流れをカラーのイラストを交えて分かりやすく紹介している。しおり自体は、入園が決定した際に渡すこととしているが、そのほかの見学や園庭開放の際の訪問者に対しては、しおりの内容を要約した概要を渡している。</p>		
<p><b>見学・相談への対応</b></p> <p>問い合わせや見学の要望については、園長および主査を対応者として随時応じている。土曜日の見学も可能である。寄せられた見学・問い合わせの要望については、保育課では相談項目・年齢別に集計・把握されている。</p>		

サブカテゴリー2		
2 サービスの開始・終了時の対応		
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時(就学を除く)には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
サブカテゴリー2の講評		
<b>入園前の説明</b> 入園児健康診断・面接の機会や入園説明会の場において、園での生活に関する基本事項を説明している。保育理念や園生活の概要、必要な持ち物などについては「しおり」を中心に、災害時の対応や保険制度などについては区発行の各種文書により、説明している。		
<b>個別事情や要望の把握</b> 入園前の面接では、保育時間に関する意向や保育上の留意事項などのほか、健康上の留意事項、慢性疾患、離乳食進度、アレルギー等食物除去などについて、各専門職種立場から情報を収集・確認し、児童票を中心とする個人記録にまとめている。		
<b>入園直後の緊張への対応</b> 「入園までの生活状況」(児童票)で把握した運動遊び、食事、睡眠、排泄、着脱、清潔(歯磨き・入浴)、養育態度などに関する情報を基に、集団生活の開始という環境変化に馴染めるよう配慮している。入園初日には、登園した保護者と共に半日過ごすなどしている。個々の癖や入園前に培われた習慣を受け入れ、個別に柔軟に対応している。		

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目1

必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目3

必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし



<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点( A )</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		

サブカテゴリ-3の講評

**新たな児童票の活用**

子どもの心身状況や発達状況・家庭状況などは、児童票に記録している。同票については、区内全園にて今年度から書式の見直しが行われ、子どもの成長過程に対する「評価」ではなく、保護者とともに内容を共有し、方向を探っていくためのものに変更された。

**計画の作成と保護者への説明**

クラスごとに年間の指導計画を作成し、それを基に月の指導計画(月案)や週案を立案している。計画は、月・期・年ごとに見直しを行っている。年間計画については保護者会で配布・説明し、その他の計画については、園だよりやクラスだよりでねらいやポイントについて説明している。

サブカテゴリ-5

**5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重**

**評価項目1**

子どものプライバシー保護を徹底している

**評点( A )**

<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>【A+の取り組み】</b>		
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		



<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
<b>評価項目3</b> さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○非該当
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
<b>サブカテゴリー6の講評</b>		
<b>各種マニュアルの活用</b> 区で定めた「危機管理マニュアル」のほか、園としても運営や保育に関する留意事項や対应手順をまとめている。冒頭で保育士の倫理綱領を掲げ、保育理念、児童憲章、園としての理念・方針、保育目標を明示した上で、子どもとの関わり方や職員としての心得、園長・主査不在時の緊急対応、プライバシーの取り扱い、散歩の実施手順などについて明確に定めている。		
<b>業務内容や手順の見直し</b> 業務内容や手順については、年度末に見直しを行っている。見直しにあたっては、各種会議における職員の提案や、メッセージボックス、クラス懇談会、連絡帳、日々の会話を通じて収集した保護者の要望など踏まえ、会議で検討し反映させている。		
<b>一定の業務水準確保のための取り組み</b> 東京都社会福祉協議会や特別区、母子保健センターなどの関係機関が主催する研修については、随時案内し職員に周知している。区の主催する研修については、杉並の保育実践方針(案)を始め、子どもの発達に関連した研修が開かれており、園としても参加を奨励し個々のスキルアップを図っている。園内では、グループを組織してテーマ別に討議を行っている。食事の進め方や働きかけ、0歳児の食事指導、園庭の環境設定、園庭遊具や玩具の使用状況や過不足の確認など、討議を踏まえて全体で発表し、各テーマに基づく組織としての業務水準の向上を図っている。		



2	<b>評価項目2</b> 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0歳児を受け入れている保育所のみ】 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	<input type="radio"/> 非該当	
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
<b>評価項目2の講評</b>			
<b>食事を楽しむ工夫</b> 区立保育園共通の献立表に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供できる体制にある。行事やお楽しみ献立の時はより楽しいものになるように献立を基本にしながらか見た目にもより楽しいものになるように工夫している。保育園で栽培した野菜も給食に出すなど、食事に工夫を凝らしている。			
<b>アレルギーへの配慮</b> 食物アレルギーのある子どもに対しては、提供する食事内容について個別に配慮している。事前に、除去用献立表を保護者に配布し、それを基に担任・栄養士・調理師・看護師で検討・確認し、食事提供時は別トレーで配食している。要所所で職員が確認し連携を取り、誤食の発生を防止している。			
<b>快適な食事時間</b> 子どもの体格に応じて椅子に足台や背当てを使い、安定した姿勢で食事ができるようにして。特に年齢が低いほど、子どもの体格が異なるため、きめ細やかな工夫をしている。行事や誕生会など食事の際は特に雰囲気を変え、皆で楽しく食事ができるようにしている。			
3	<b>評価項目3</b> 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている		<b>評点( A )</b>
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 乳幼児突然死症候群(SIDS)、感染症等を予防をするしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
【A+の取り組み】		<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	

評価項目3の講評

定期健診の実施

毎日の視診による健康状態の把握のほか、毎月の身体測定、年2回の健康診断、歯科・眼科・耳鼻科の各健診、ぎょう虫卵検査などの結果を、各園共通の児童票や健康カードに記録している。

健康・衛生管理

乳児クラスについては、乳幼児突然死症候群の発生防止のために、午睡チェック表により定期的に呼吸の確認を行っている。感染症予防の見地から、感染性胃腸炎や新型インフルエンザへの対応マニュアル(保育課作成)を整備している。薬の処置が必要な子どもに対しては、与薬申込み書に基づいて対応している。

保護者に対する情報提供

区役所や保健所などの関係機関から提供されるポスターやチラシ、園の保健だよりなどの掲示・配布などにより、しらみやO-157、インフルエンザなどに関する情報を保護者に伝達している。

評価項目4

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

評点( A )

4

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている(誕生会、季節の行事など)	○非該当
●あり ○なし	2. 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	○非該当
●あり ○なし	3. お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目4の講評

年間計画に基づく多彩な行事の実施

年間行事計画に基づき、多彩な行事を実施している。七夕会食、運動会、園外保育、芋ほり、節分集会、ひなまつり会食など、季節や目的に応じて子どもが楽しめる場面を設定している。ボランティアとの関わりから、園の向かいにある公園の茶室でお茶会が行われており、年長児が参加している。

清潔で快適な保育環境の維持

広いスペースを利用し、廊下にマットを設け、図書館の本や園の本のコーナーを作り、親子で寛ぐことができる場を設定している。散歩の際に子どもが発見した落ち葉や枝、花、松ぼっくり、どんぐりなどの自然の物を室内に飾りつけ、子どもと喜びを共有しながら楽しく快適な空間を創出しようと工夫している。園庭の環境設定、園庭遊具や玩具の使用状況や過不足の確認など、グループ討議を行い、個々の発達段階に合った環境の整備に取り組んでいる。

午睡時間の設定

お昼寝に入る前に、絵本の読み聞かせやお話など、入眠しやすい雰囲気作りをしている。5歳児については、状況を見ながらお昼寝の時間を設定している。余裕があれば、寝られない子どものフォローができる環境作りに取り組んでいきたいと考えている。

5	評価項目5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者などが常時参観できるしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	2. 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	○非該当
	●あり ○なし	3. 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者からの相談に応じる体制を整えている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○あり ●なし		
評価項目5の講評			
<p><b>保護者への情報提供</b> 月案や週案を掲示し、保護者が園での子どもの生活について見通しを持てるようにしている。園だより、クラス便りなどにより、その時々の子どもの様子を保護者に伝えている。デジカメの活用や掲示用の日誌の公開など、様々な場面での子どもの表情や成長ぶりについてより分かりやすく伝えるための取り組みを行っている。</p> <p><b>保育への関心を高める工夫</b> 園だよりには、「パパママエッセイコーナー」を設け、保護者からの原稿を掲載している。子育てに関する体験や想いのほか、日常のつづきやきなどが主なテーマとなっている。他の家庭の日々の子育ての様子を垣間見ることが出来るので、保護者からも好評を得ている。また、本の貸し出しに積極的に取り組んでいる。園の本に加え、親子で読んで欲しい本を図書館から借りて、いつでも手にして読めるようにしている。</p> <p><b>意見や相談への対応</b> 保護者会や個人面談などの場で話し合いや、送迎時の会話などを通じて、育児に悩みを持つ親の相談を受け止め助言を行っている。どの職員も保護者の事情を踏まえた相談対応ができるよう、努めている。</p>			
6	評価項目6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている		評点( A )
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
	●あり ○なし	2. 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	3. 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	【A+の取り組み】 ○あり ●なし		

評価項目6の講評		
<p><b>虐待に関する意識の涵養</b> 職員は、区主催のもののほか、虐待防止を含む様々なテーマの各種研修に参加している。園内では、研修受講者による報告を通して、職員への意識付けや浸透を図っている。</p>		
<p><b>虐待対応のしくみ</b> 虐待の疑い、あるいは、虐待の事実を把握をした際の対応手順は、区の危機管理マニュアルにより明確に定められている。情報を得た際は、主管課である保育課を通じて子ども家庭支援センターや児童相談所などと連携して対処する体制にある。</p>		
7	<p><b>評価項目7</b> 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている</p>	
	<p>評点( A )</p>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 保育所の活動や行事に地域の人参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している
○非該当		
<p>【A+の取り組み】 ○あり ●なし</p>		
評価項目7の講評		
<p><b>保護者への地域情報の提供</b> 小学校の行事や児童館のお知らせほか、ポスターや広報誌を掲示したり、パンフレットを設置するなどにより、地域の様々な情報を保護者に提供している。</p>		
<p><b>子どもと他者とのつながりの創出</b> 園庭開放や運動会への地域の子どもの参加、児童館との交流、読み聞かせボランティアの来園など、地域との連携を活かした取り組みにより、子どもの活動の幅を広げている。敬老館との関係では、落語や手遊び、紙芝居、絵本の読み聞かせ、ダンスなどをして頂いている。園側のお返しとして、歌や運動会の踊りの発表を行っている。近隣の高校生を対象に、保育体験の機会を提供しており、子どもにとっては交流の機会ともなっている。</p>		



No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	職員集団の問題解決に対する理解と意欲
	内容	区全体の取り組みとして「保育の向上を目指すリーダー」の選出を行い、園内にてリーダーを柱とした4つのグループ討議を開催し、職員の手による着実な計画実行のプロセスが確立しつつある。リーダー会議にて各保育園の取り組みの情報収集と当該園の取り組みの発信を着実に行うとともに、計画における課題の明示と共通認識の検討が行えるようになり、計画の着実な実行が行えるようになってきている。また、経験豊富な職員が多いためバランスの良い園運営が出来ている。
2	タイトル	保育課程の作成による職員全体の共通基盤の整備
	内容	保育指針の改定を踏まえて、園としてこれから展開していく保育内容について、保育目標に基づいて再編成し、保育の全体像を保育課程としてまとめあげた。この作業を通じて、保育目標についての共通認識を職員全体で得ることができた。また、各クラスで保育を進めていく職員それぞれが、踏まえるべき組織としての共通基盤が整った。
3	タイトル	自然や子どもの発想を活かした環境整備
	内容	玄関や廊下、各保育室などの環境を整備し、四季を感じられるものになっている。散歩の際に子どもが発見した落ち葉や枝、花、松ぼっくり、どんぐりなどの自然の物を室内に飾りつけ、子どもと喜びを共有しながら楽しく快適な空間を創出しようと工夫している。また、廊下にマットを設け、図書館の本や園の本のコーナーを作り、親子で寛ぐことができる場を設定している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保育の質向上のための時間を確保するための工夫
	内容	園内での勉強会の充実、打ち合わせ時間の捻出と計画の実行のための職員の就業環境づくりの工夫を進めたいと考えている。現状では、日々の業務に終われ、なかなか話し合いをする時間が持てず、細かいところまで話をする時間が持てていない。保育内容について、十分に話し合える時間を持つことにより、真の保育の質向上のための、職員の理解がより深まる取り組みを行いたいと考えている。
2	タイトル	「振り返りノート」のより一層の活用
	内容	保育士自身が、自分の保育を見て、反省・課題点の発見・取り組みを行うため、「振り返りノート」を記入する仕組みを作った。保育に携わる人間が成長しなければ、よい保育はできない、という園長の理念へ向けた取り組みである。現状では、仕組みづくりはできたが、日常的に記載する職員の意識の向上がもう一押し必要と考えている。職員一人ひとりが各人の「振り返りノート」をより一層活用し、保育士としての意識向上ができるように運用していきたいと考えている。
3	タイトル	保育課程に基づく実践の充実
	内容	作成した保育課程に基づき、実際の指導計画の立案と保育の実施に取り組んでいる。取り組みを通じて、月の指導計画の書式の見直しや全体での討議の実施などを行っている。今後は、これまでの実践を点検した上で、保育課程に基づく諸計画の実践の充実を図っていきたいと考えている。

# 巻末 付属資料

付属資料1:杉並区立保育園 利用者調査 調査票

付属資料2:経営層合議シート(事業プロフィール・組織マネジメント・サービス分析)

付属資料3:職員用シート(組織マネジメント・サービス分析)



平成21年9月

保護者の皆様へ

杉並区立〇〇保育園

第三者評価の実施にともなうアンケート調査ご協力をお願い

平素よりお世話になっております。

このたび当保育園では、日頃の業務や保育内容をより一層充実していくために、東京都の「福祉サービス第三者評価」を実施することになりました。今回は、東京都福祉サービス評価推進機構によって認証されている評価機関「株式会社ほんの福祉ネット」がその実施を担当いたします。

この第三者評価の実施にあたり、保護者の皆様が、当園における日頃の保育内容や職員の対応などについて、どのように感じていらっしゃるかを把握するため、アンケート調査を実施いたします。この調査結果は、当保育園のサービスの評価をするために使用し、定められた項目については、インターネットを通じて公表されることになっています。

なお、調査結果は統計的に処理し、記入者を特定したり調査結果の内容を上記目的以外に使用したりすることは絶対にいたしません。

ご多忙の折恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、皆様にとっての理想の保育園像と照らし合わせて、当園の現状についてご意見を頂けると幸いです。

この調査に関してのお問い合わせは、下記にお願いします。

※アンケートは無記名で、別添の封筒をご利用のうえ、9月30日(水)

までにご返送願います。

<問合せ先>

株式会社ほんの福祉ネット

第三者評価事業部事務局・担当 三谷（みたに）

〒156-0043 東京都世田谷区松原3-38-16-107

電話 03-3323-8368

現在ご利用の保育園についておたずねします

あなたの気持ちに最も近いものを1つだけ選び、○印をお付けください。

※ 複数のお子さんがいらっしゃる場合は、一番年齢の低いお子さんの例でご回答ください。

<毎日の保育サービスについてお聞きします>

問1. 食事（給食）・おやつなどのメニューは、子どもの状態に配慮された工夫がありますか  (自由意見)	はい	どちらとも いえない	いいえ
問2. 戸外遊びの機会は十分ですか  (自由意見)	はい	どちらとも いえない	いいえ
問3. 保護者の急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれますか  (自由意見)	はい	どちらとも いえない	いいえ
問4. 保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡等の体調変化への対応は十分ですか  (自由意見)	はい	どちらとも いえない	いいえ
問5. 安全対策が十分取られていると思いますか  (自由意見)	はい	どちらとも いえない	いいえ
問6. 保護者が参加しやすいように行事日程の配慮は十分ですか  (自由意見)	はい	どちらとも いえない	いいえ
問7. お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができますか  (自由意見)	はい	どちらとも いえない	いいえ

問8. 保護者が大切に考えていることについて、職員は話を聞く姿勢がありますか	はい	どちらとも いえない	いいえ
(自由意見)			
問9. 友達とのふれあいなど、人とのかかわり方の基礎が育てられていると思いますか。	はい	どちらとも いえない	いいえ
(自由意見)			

<お子さんや保護者の尊重についてお聞きします>

問10. 職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー(秘密)を守っていますか	はい	どちらとも いえない	いいえ
(自由意見)			
問11. お子さんは保育所で大切にされていると思いますか	はい	どちらとも いえない	いいえ
(自由意見)			
問12. 職員は礼儀正しく丁寧に対応していますか	はい	どちらとも いえない	いいえ
(自由意見)			

<要望・意見や不満・トラブルへの対応についてお聞きします>

問13. 要望や不満は、保育所に対して言いやすいですか	はい	どちらとも いえない	いいえ
(自由意見)			
問14. 保育所は、要望や不満などに、きちんと対応していますか	はい	どちらとも いえない	いいえ
(自由意見)			
問15. 要望や不満があったとき、第三者委員(保育所外の苦情解決相談員)などにも相談できることを知っていますか	はい	どちらとも いえない	いいえ
(自由意見)			

<利用前の保育園の対応についてお聞きします>

【過去1年以内に当園の利用を開始した方へ】  
問16. 入園に際し保育所から受けた説明は、わかりやすかったですか

はい

どちらとも  
いえない

いいえ

(自由意見)

<総合的な感想についてお聞きします>

〔1〕現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか。  
(1つに○)

1.大変満足 ・ 2. 満足 ・ 3. どちらともいえぬ ・ 4. 不満 ・ 5. 大変不満

〔2〕日頃お感じになっている園に対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。





事業プロフィール I

付 属 資 料 2

- 1 事業所名（サービス種別）： ( )
- 2 (1) 運営主体（法人名等）：  
 (2) 設 置 主 体：
- 3 事業所所在地：
- 4 事業所の長の氏名（施設長等）：
- 5 連 絡 先

T e l		F a x	
Eメール		ホ-ム-ジ	

- 6 同一運営主体が同じ敷地内で連携して実施している主な福祉・医療サービスを利用者数からみて上位5つ以内（例.特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスなど、評価対象事業を含む。）
- (1)  
(2)  
(3)  
(4)  
(5)

7 定員および現在の利用者  
 ※内訳は別紙のとおり

8 職員の状況

(1) 職員数

職 員 数	計	男性	女性
常 勤 職 員 数			
非 常 勤 職 員 数			
計			

(常勤換算 \_\_\_\_\_ 人)  
 (計算式：非常勤職員のそれぞれの勤務延べ時間数の総数÷当該事業所の常勤職員が勤務すべき時間数)

(2) 専門職員の人数

専門職の名称	人数	専門職の名称	人数	専門職の名称	人数

(3) 非常勤職員の勤務形態と業務内容 \*職員種別は、パート、アルバイト、派遣、契約等、施設で通常使用している呼称でご記入ください。

職員種別	人数	勤務形態 (勤務時間、シフト)	業務内容

(4) 前年度採用・退職の状況

	計	常勤	非常勤
採用			
退職			
計			

- (5) 常勤職員の平均年齢
- (6) 常勤職員の平均在職年数 \_\_\_\_\_ 年 (現在の事業所での在職年数とする)
- (7) 直接支援に携わっている職員 (非常勤は常勤換算) 1人当たりの利用者数 \_\_\_\_\_ 人  
 (計算式：定員÷直接支援に携わっている職員数)

9 平面図等施設の状況がわかるものを添付

事業プロフィール I (7 定員及び現在の利用者 内訳) 認可保育所

7 定員及び現在の利用者 ( 年 月 現在)

※下記の利用者の状況が分かる表を添付するか、下の空白部分に書き込んでください。

(1) 一般保育

	定員 (人)	利用者児 (人)
0歳児		
1歳児		
2歳児		
3歳児		
4歳児		
5歳児		
計		

(2) 多様な保育サービス

	定員 (人)	利用者児 (人)	料金 (円)	備考
産休明け保育				
延長保育				( ) 時間延長
夜間保育				
障害児保育				
休日保育				
学童児童受け入れ				
一時・特定保育				
子育て広場※1				事業内容番号
在宅子育て支援※2				事業内容番号
その他 (				
計				

※1 子育て広場には、つどいの広場を含む。

※2 「在宅子育て支援」欄は、在宅子育て家庭を対象とした子育て支援事業を実施している場合に、備考欄に下記の事業内容番号を記入すること。

- ①育児相談 ②育児講座 ③保育所体験 ④出産を迎える親の体験学習  
 ⑤子育てサークル支援 ⑥子育て情報誌の発行 ⑦家庭訪問 ⑧出前保育

## 事業プロフィールⅡ

### 1 理念・方針

事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン・使命など)のうち、特に重要なもの(上位5つ程度)を簡潔に記述(関連 カテゴリー1リーダーシップと意思決定)

1)
2)
3)
4)
5)

### 2 サービス提供の考え方について記述

日々の業務の考え方、利用者ニーズに合わせた事業者独自の取組、利用者や家族との関係、地域との関係を含む(関連 カテゴリー6サービス提供のプロセス)

--

### 3 期待する職員像(関連 カテゴリー5職員と組織の能力向上)

(1) 職員に求めている人材像や役割

--

(2) 職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)

--

### 4 現在のサービス提供能力と利用者数(関連 カテゴリー5職員と組織の能力向上)

(以下のどれかに○をつける)

- 1) サービスを希望しながら待っている人(事業所に登録している待機者)がかなりいる
- 2) ほぼサービス提供能力に見合った利用者数で、待っている人はほとんどいない(ほぼ定員を満たしている)
- 3) サービス提供能力に余力があり、希望者があれば受け入れたい

### 5 3年後の見通し(関連 カテゴリー3利用者の意向や地域・事業環境などの把握と活用、カテゴリー4計画の策定と着実な実行)

〔措置など契約以外による利用〕

- 1) 施設規模の拡大または新たなサービス提供を行う計画がある
- 2) 現在の施設規模、サービス提供能力を維持する方向で考えている
- 3) 現在のサービス提供能力を維持するのは、経営改善・サービス改善をしていかないとかなり難しい情勢になっているのではないかと思う
- 4) その他( )

6 評価対象としているサービス事業に関して事業者として力を入れて取り組んでいる点を、人的サービス面と設備面に分けて、重要な順に各3つ以内で記述（関連 カテゴリー4計画の策定と着実な実行）

〈人的サービス面〉

1)
2)
3)

〈設備・環境面〉

1)
2)
3)

7 当該事業の開始時から現在までの重要な変遷（制度改正に基づくもの含む）

1) 開始時期                      年        月

2) 重要な変遷

--

8 経営に影響を与えていると考えている事業環境の変化を記述（制度改正を含む）（関連 カテゴリー3利用者の意向や地域・事業環境などの把握と活用、カテゴリー4計画の策定と着実な実行）

--

9 評価対象としているサービス事業を維持・向上させていくためにこれから何をしていかなければならないかについて、重要な順に3つ以内で記述（関連 カテゴリー4計画の策定と着実な実行）

1)
2)
3)

10 評価を実施するにあたり、評価機関に知っていて欲しいこと（経営層が考えていること、利用者の状況、職員の状況など）を自由に記述

--

11 実習生の受け入れ状況

前年度の実習生受け入れ人数                      \_\_\_\_\_人

【内訳】

実習生の紹介元	受け入れ人数

〔平成21年度〕

# 組織マネジメント分析シート 【自己評価用】

## 経営層合議用

作成日 (完成日)	平成	年	月	日
施設・事業所名				
作成関係者	(役職名)	(氏名)		

カテゴリー
1.リーダーシップと意思決定
2.経営における社会的責任
3.利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
4.計画の策定と着実な実行
5.職員と組織の能力向上
6.サービス提供のプロセス
7.情報の保護・共有
8.1～7に関する活動成果

網掛け部が組織マネジメント分析シートに該当します

### ■組織マネジメント分析シートを用いた自己評価を実施するにあたっての記入手順

- 1 評点は「評価項目」ごとにつけます。「標準項目」にはどんな事象が該当するのか、〔ねらい〕を確認のうえ「カテゴリー」及び「サブカテゴリー」の趣旨から外れないように合議します。
- 2 「標準項目」に該当するあなたの事業所における実践例を「私たちの実践例」欄に、その取り組みの記録等に当たるものを「その実践の記録等」欄にそれぞれ記入します。記録等と実践例が同じである場合、「その実践の記録等」欄は省略できます。
- 3 「標準項目」ができていないと確認するための要件は、次の1、2、3をすべてを満たした場合です。  
(1 事業者が当該事項を実施していること 2 その実施が継続的(必要性を認識し、計画的)であること  
⇒「私たちの実践例」欄に記入する内容です。  
3 その根拠が示せること  
⇒「その実践の記録等」欄に記入する内容です。)

- 4 評価項目ごとに、すべての「標準項目」を上記2により記入後、上記3により評点をつけてください。評価項目の評点は、次のとおりです。該当する評点を記入してください。

カテゴリー1～7

- A：標準項目をすべて満たした状態      B：標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態  
C：標準項目をひとつも満たしていない状態

カテゴリー8

- A：改善傾向が確認できる状態      B：取り組んでいるが改善結果は確認できない状態  
C：取り組んでいない状態

- 5 すべての評価項目を記入した後に「カテゴリー」全体を通じて、「良いと思う点」「改善する必要があると思う点」を記述します。

### ※参考

「A+の取り組み」とは、標準項目をすべて満たしたうえで、下記のすべてを満たした取り組みです。A+は自己評価では使いません。

- (ア 当該評価項目のねらいに合致していること      イ 事業所の理念・方針に合致していること  
ウ 事業所の独自性または現状を改善するプロセスが認められること)

\*標準項目を満たしたうえでの取り組みを対象としますので、標準項目に含まれる取り組みはA+の対象にはなりません。

カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

評価項目 1-1-1		評点 ( )
事業所が目指していること（理念、基本方針）を明確化・周知している [ねらい] ・理念、基本方針を達成するためにそれをわかるように示しているか ・それを職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行なっているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を明示している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を思い起こすことができる取り組みを行っている（会議中に確認できるなど）	
実践例		
記録		

評価項目 1-1-2		評点 ( )
経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている [ねらい] ・経営層は、理念等を実現するため、自らの役割と責任を職員にわかりやすく伝えているか ・経営層は、理念、基本方針を実現するために、自ら率先垂範しているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	
実践例		
記録		
評価項目 1-1-3		評点 ( )
重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している [ねらい] ・重要な案件については、組織として決定する手順をあらかじめ定めているか ・職員に意思決定過程の透明性を図っているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	
実践例		
記録		
カテゴリー1 について リーダーシップと意思決定 良いと思う点・改善したい点		

カテゴリー2 経営における社会的責任

サブカテゴリー1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

評価項目 2-1-1		評点 ( )
社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している [ねらい] ・組織の社会的責任として遵守すべき法・規範・倫理などについて明確にしているか ・さらにそれを遵守できるように理解を深めているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などを明示している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などの理解が深まるように取り組んでいる	
実践例		
記録		
評価項目 2-1-2		評点 ( )
第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている [ねらい] ・組織の社会的責任として、透明性の確保のために外部の目を活用しているか ・地域社会に情報発信することで透明性を高めているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法（事業者便り・会報など）で地域社会に事業所に関する情報を開示している	
実践例		
記録		



サブカテゴリー2 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

評価項目 2-2-1		評点 ( )
事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある [ねらい] ・組織の社会的責任として、地域の一人として事業所の機能を還元しているか ・地域社会に専門性をいかした取り組みをしているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している（施設・備品等の開放、個別相談など）	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動（研修会の開催、講師派遣など）を行っている	
実践例		
記録		
評価項目 2-2-2		評点 ( )
ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している [ねらい] ・組織の社会的責任として、ボランティアを受入れるための考え方をはっきりさせているか ・そのための体制を整備しているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	ボランティアの受け入れ体制を整備している（担当者の配置、手引き書の作成など）	
<input type="checkbox"/>	ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	
実践例		
記録		

評価項目 2-2-3	評点 ( )
地域の関係機関との連携を図っている [ねらい] ・地域の一員として関係機関とのネットワーク化に貢献しているか ・地域の一員として、地域での共通課題の解決に協働しているか	
標準項目	
<input type="checkbox"/>	地域の関係機関のネットワーク（事業者連絡会など）に参画している
実践例	
記録	
<input type="checkbox"/>	地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている
実践例	
記録	
カテゴリー2 について 経営における社会的責任 良いと思う点・改善したい点	

カテゴリー3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリー1 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

評価項目 3-1-1	評点 ( )
利用者一人ひとりの意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応している（苦情解決制度を含む） [ねらい] ・事業所のサービスの利用者一人ひとりの苦情等についてどのように把握しているのか ・その苦情等についてどのように解決に取り組んでいるのか	
標準項目	
<input type="checkbox"/>	苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている
実践例	
記録	
<input type="checkbox"/>	利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる
実践例	
記録	

評価項目 3-1-2		評点 ( )
利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる [ねらい] ・利用者意向をどのように集約・分析しているのか ・その結果をサービス向上に活用しているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	
実践例		
記録		
評価項目 3-1-3		評点 ( )
地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している [ねらい] ・サービス・経営改善のために地域の福祉ニーズについてどのように把握分析しているのか ・また福祉事業の動向についてどのように把握分析しているのか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	地域の福祉ニーズの収集（地域での聞き取り、地域懇談会など）に取り組んでいる	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）の収集に取り組んでいる	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	
実践例		
記録		
カテゴリー3について 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用 良いと思う点・改善したい点		

カテゴリー4 計画の策定と着実な実行

サブカテゴリー1 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる

評価項目 4-1-1		評点 ( )
取り組み期間に応じた課題・計画を策定している [ねらい] ・理念、基本方針実現のため実践的な課題・計画を策定しているか ・計画の立て方も取り組み期間に応じているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	年度単位の計画を策定している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	短期の活動についても、計画的（担当者・スケジュールの設定など）に取り組んでいる	
実践例		
記録		
評価項目 4-1-2		評点 ( )
多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している [ねらい] ・理念、基本方針実現のため、課題の明確化、計画策定の時期や手順が定められているか ・その計画は現場の意向や利用者の意向等を踏まえたものとなっているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	計画は、サービスの現状（利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など）を踏まえて策定している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	計画は、想定されるリスク（利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など）を踏まえて策定している	
実践例		
記録		

評価項目 4-1-3		評点 ( )
着実な計画の実行に取り組んでいる [ねらい] ・理念、基本方針実現のため、計画に基づき効果的に実行しているか ・進捗状況に応じ、見直ししながら、着実に成果を上げられるような取り組みを進めているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	計画推進の方法（体制、職員の役割や活動内容など）を明示している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	
実践例		
記録		

サブカテゴリー2 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評価項目 4-2-1		評点 ( )
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる [ねらい] ・利用者の安全確保のための体制は整備されているか ・組織的に再発防止・予防対策やその徹底が図られているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	
実践例		
記録		

カテゴリー4 について 計画の策定と着実な実行  
 良いと思う点・改善したい点

カテゴリー5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目 5-1-1		評点 ( )
事業所にとって必要な人材構成にしている [ねらい] ・理念、基本方針を実現するのに適した人事制度が定められているか ・それに基づき、人材の確保や配置が行われているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	事業所の人事制度に関する方針（人材像、職員育成・評価の考え方）を明示している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	適材適所の人員配置に取り組んでいる	
実践例		
記録		
評価項目 5-1-2		評点 ( )
職員の質の向上に取り組んでいる [ねらい] ・理念、基本方針実現のため、職員一人ひとりの意向を把握し育成計画を策定しているか ・その計画に基づき、職員が研修等育成に向けての取り組みが行われているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成（研修）計画を策定している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	個人別の育成（研修）計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	職員の研修成果を確認し（研修時・研修直後・研修数ヶ月後など）、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	
実践例		
記録		

サブカテゴリ-2 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		評価項目 5-2-1	評点 ( )
職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる [ねらい] ・職員一人ひとりの力と組織力の発揮、理念等実現のため、どのように取り組んでいるか ・そのために職員一人ひとりが学びに取り組むようにしているか			
標準項目			
<input type="checkbox"/>	職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	実践例	
		記録	
<input type="checkbox"/>	職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	実践例	
		記録	
<input type="checkbox"/>	職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	実践例	
		記録	
評価項目 5-2-2		評点 ( )	
職員のやる気向上に取り組んでいる [ねらい] ・理念、基本方針実現のため、職員の意識や就業状況を的確に把握しているか ・把握した上で、職員のやる気と働きがいの満足に影響を及ぼす要因改善に取り組んでいるか			
標準項目			
<input type="checkbox"/>	事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬（賃金、昇進・昇格、賞賛など）が連動した人材マネジメントを行っている	実践例	
		記録	
<input type="checkbox"/>	就業状況（勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど）を把握し、改善に取り組んでいる	実践例	
		記録	
<input type="checkbox"/>	職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	実践例	
		記録	
<input type="checkbox"/>	福利厚生制度の充実に取り組んでいる	実践例	
		記録	
カテゴリ-5 について 職員と組織の能力向上 良いと思う点・改善したい点			

カテゴリ7 情報の保護・共有

サブカテゴリ1 情報の保護・共有に取り組んでいる

評価項目 7-1-1		評点 ( )
事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる [ねらい] ・事業所をより良くするためにどのような情報が必要であるかの検討がなされているか ・経営に関して必要な情報が適切に収集・整理・分析された上で、保護・共有されているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	
実践例		
記録		
評価項目 7-1-2		評点 ( )
個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している [ねらい] ・保護法の基本的概念等を踏まえ、事業所が有する個人情報の保護方法を定めているか ・その方法が行き渡るようにしているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	個人情報の保護に関する規定を明示している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	開示請求に対する対応方法を明示している	
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	個人情報の保護について職員（実習生やボランティアを含む）が理解し行動できるための取り組みを行っている	
実践例		
記録		
カテゴリ7について 情報の保護・共有 良いと思う点・改善したい点		



カテゴリ-8 カテゴリ-1～7に関する活動成果

サブカテゴリ-1 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目 1 前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-1：「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ-2：「経営における社会的責任」 ・カテゴリ-4：「計画の策定と着実な実行」 [ねらい] ・前年度と比べて成果を上げることができたか			評点 ( )
【自由記述】	成果のあった取り組み	具体的な成果	その成果の記録等

サブカテゴリ-2 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目 1 前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-5：「職員と組織の能力向上」 [ねらい] ・前年度と比べて成果を上げることができたか			評点 ( )
【自由記述】	成果のあった取り組み	具体的な成果	その成果の記録等

サブカテゴリ-3 前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目 1 前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ-6：「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ-7：「情報の保護・共有」 [ねらい] ・前年度と比べて成果を上げることができたか			評点 ( )
【自由記述】	成果のあった取り組み	具体的な成果	その成果の記録等

サブカテゴリ-4 事業所の財政等において向上している

評価項目 1  財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている [ねらい] ・主体的な取り組みにより財政等で成果を上げることができたか			評点 ( )
【自由記述】	改善に向けて取り組んでいること	取り組んだ成果	その成果の記録等

サブカテゴリ-5 前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目 1  前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している ・カテゴリ-3：「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」 [ねらい] ・前年度と比べて成果を上げることができたか			評点 ( )
【自由記述】	成果のあった取り組み	具体的な成果	その成果の記録等

事業所の特に良いと思う点 特に改善したいと思う点

特に良いと思う点	特に改善したいと思う点

注) これは「サービス分析シート（カテゴリ6 サービス提供のプロセス）」の評価結果を含めて記述してください。

〔平成21年度〕  
認可保育所

サービス分析シート  
(6. サービス提供のプロセス)  
【自己評価用】

経営層合議用

作成日 (完成日)	平成	年	月	日
施設・事業所名				
作成関係者 (役職名) (氏名)				

カテゴリー
1.リーダーシップと意思決定
2.経営における社会的責任
3.利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
4.計画の策定と着実な実行
5.職員と組織の能力向上
6.サービス提供のプロセス
7.情報の保護・共有
8.1～7に関する活動成果

網掛け部がサービス分析シートに該当します

■サービス分析シートを用いた自己評価を実施するにあたっての記入手順

- 1 評点は「評価項目」ごとにつけます。「標準項目」にはどんな事象が該当するのか、〔ねらい〕を確認のうえ「サブカテゴリー」の趣旨から外れないように合議します。
- 2 「標準項目」に該当するあなたの事業所における実践例を「私たちの実践例」欄に、その取り組みの記録等に当たるものを「その実践の記録等」欄にそれぞれ記入します。記録等と実践例が同じである場合、「その実践の記録等」欄は省略できます。
- 3 「標準項目」ができていると確認するための要件は、次の1、2、3をすべてを満たした場合です。  
(1 事業者が当該事項を実施していること 2 その実施が継続的(必要性を認識し、計画的)であること  
⇒「私たちの実践例」欄に記入する内容です。  
3 その根拠が示せること  
⇒「その実践の記録等」欄に記入する内容です。)
- 4 評価項目ごとに、すべての「標準項目」を上記2により記入後、上記3により評点をつけてください。  
評価項目の評点は、次のとおりです。該当する評点を記入してください。  
A: 標準項目をすべて満たした状態 B: 標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態  
C: 標準項目をひとつも満たしていない状態
- 5 すべての評価項目を記入した後に、「良いと思う点」「改善する必要があると思う点」を記述します。  
・サブカテゴリー1～3及び5、6は、サブカテゴリーごとに記述します。  
・サブカテゴリー4「サービスの実施」は、評価項目ごとに記述します。

※参考

「A+の取り組み」とは、標準項目をすべて満たしたうえで、下記のすべてを満たした取り組みです。A+は自己評価では使いません。

- (ア 当該評価項目のねらいに合致していること イ 事業所の理念・方針に合致していること  
ウ 事業所の独自性または現状を改善するプロセスが認められること)

\* 標準項目を満たしたうえでの取り組みを対象としますので、標準項目に含まれる取り組みはA+の対象にはなりません。

カテゴリー6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリー1 サービス情報の提供

評価項目 6-1-1		評点 ( )
保護者等に対してサービスの情報を提供している [ねらい] ・サービス状況に関する情報を、閲覧する利用者の特性に配慮して提供しているか ・パンフレットやホームページ等の存在のみを評価するものではない		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	1	保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	2	事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	3	保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
実践例		
記録		
サブカテゴリー1 サービス情報の提供 について		
良いと思う点・改善したい点		

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目 6-2-1		評点 ( )
サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている [ねらい] ・サービス開始時に、保護者の状況に応じたサービス内容の説明をしているか ・十分な説明をしたうえで、保護者の意向を確認し、納得を得ているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	1	サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	2	サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	3	サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している
実践例		
記録		

評価項目 6-2-2

評点 ( )

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

- [ねらい] ・サービス開始時の環境変化による影響を緩和する取り組みをしているか  
 ・子どもがサービスを終了する場合、子どもや保護者の不安を軽減するための取り組みをしているか

標準項目

1 サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している

実践例

記録

2 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している

実践例

記録

3 サービス利用前の生活をふまえた支援をしている

実践例

記録

4 サービスの終了時（就学を除く）には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている

実践例

記録

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応 について

良いと思う点・改善したい点

サブカテゴリー3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目 6-3-1		評点 ( )
必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している [ねらい] ・支援をするうえで必要な子ども個人の情報をどのように把握しているか ・子どもの状況に応じたアセスメントの手順や改訂基準が確立しているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	1	子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	2	子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	3	アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている
実践例		
記録		
評価項目 6-3-2		評点 ( )
必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している [ねらい] ・子どもの様子や保護者の希望をどのように取り入れ、計画を作成しているか ・個人の状況に応じた計画となるよう作成し、見直しをしているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	1	計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	2	計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	3	計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	4	計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している
実践例		
記録		

評価項目 6-3-3		評点 ( )	
必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している [ねらい] ・職員が、子どもの状況の変化等をどのように記録しているか ・具体的な支援の内容や子どもの変化等が適切に記録されているか			
標準項目			
<input type="checkbox"/>	1	子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	
実践例			
記録			
<input type="checkbox"/>	2	計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	
実践例			
記録			
評価項目 6-3-4		評点 ( )	
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している [ねらい] ・子どもに関わる情報を職員間でどのように共有化しているか ・日々の子どもの変化等をどのような方策で共有化しているか			
標準項目			
<input type="checkbox"/>	1	計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	
実践例			
記録			
<input type="checkbox"/>	2	申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	
実践例			
記録			
サブカテゴリ-3 個別状況に応じた計画策定・記録 について			
良いと思う点・改善したい点			



サブカテゴリー4 サービスの実施

評価項目 6-4-1		評点 ( )
子どもの発達を促すための保育を行っている [ねらい] ・一人ひとりの子どもの発達の過程をどのように把握しているか ・発達過程に配慮した保育がされているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	1	子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	2	子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	3	多様な表現活動や園外活動を計画している
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	4	文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	5	障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している
実践例		
記録		
評価項目 6-4-1 について		
良いと思う点・改善したい点		

評価項目 6-4-2

評点 ( )

栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している

[ねらい] ・子どもの状態や意向に配慮した食事提供がされているか  
 ・子どもが食事を楽しむことができるか

標準項目

1 メニューや味付けなどに工夫を凝らしている

実践例

記録

2 子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している

実践例

記録

3 食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している

実践例

記録

4 快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている

実践例

記録

5 【0歳児を受け入れている保育所のみ】  
 乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている

実践例

記録

評価項目 6-4-2 について

良いと思う点・改善したい点

評価項目 6-4-3

評点 ( )

子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている

[ねらい] ・子どもの日々の健康状態をどのように把握しているか  
 ・医療機関との連携を基に、子どもの健康維持策を講じているか

標準項目

1 子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している

実践例

記録

2 乳幼児突然死症候群（SIDS）、感染症等を予防をするしくみがある

実践例

記録

3 医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している

実践例

記録

4 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群（SIDS）等に関する情報を提供し、予防に努めている

実践例

記録

評価項目 6-4-3 について

良いと思う点・改善したい点

評価項目 6-4-4

評点 ( )

園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

- [ねらい] ・子どもの意向をどのように引き出しているか  
 ・子どもにとっての望ましい環境が整備されているか

標準項目

1 子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている（誕生会、季節の行事など）

実践例

記録

2 園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている

実践例

記録

3 お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている

実践例

記録

評価項目 6-4-4 について

良いと思う点・改善したい点

評価項目 6-4-5

評点 ( )

保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている

[ねらい] ・家庭との連絡を緊密に取っているか  
 ・家庭との信頼関係を構築しているか

標準項目

1 保護者などが常時参観できるしくみがある

実践例

記録

2 便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している

実践例

記録

3 保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている

実践例

記録

4 保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている

実践例

記録

5 保護者からの相談に応じる体制を整えている

実践例

記録

評価項目 6-4-5 について

良いと思う点・改善したい点

評価項目 6-4-6

評点 ( )

虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている

[ねらい] ・虐待の早期発見・未然防止に取り組んでいるか  
 ・育児困難家庭への支援を行っているか

標準項目

1 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている

実践例

記録

2 職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている

実践例

記録

3 虐待を受けている疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会、通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている

実践例

記録

4 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている

実践例

記録

評価項目 6-4-6 について

良いと思う点・改善したい点

評価項目 6-4-7		評点 ( )
地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている [ねらい] ・地域との交流により、子どもの生活の幅を広げているか ・家庭と地域との関係作りについても支援しているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	1	保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	2	保育所の活動や行事に地域の人参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している
実践例		
記録		
評価項目 6-4-7 について		
良いと思う点・改善したい点		

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目 6-5-1		評点 ( )	
子どものプライバシー保護を徹底している			
[ねらい] ・日常の中で、どのように子どものプライバシーの保護をしているのか ・組織としての規定やしぐみに則って行動しており、属人的な対応になっていないか			
標準項目			
<input type="checkbox"/>	1	子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	
実践例			
記録			
<input type="checkbox"/>	2	子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	
実践例			
記録			
評価項目 6-5-2		評点 ( )	
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している			
[ [ねらい] ・日常の中で、子どもの権利を擁護し、不適切な対応を排除しているか ・保護者の価値観等による子どもの生活習慣を考慮したうえで保育をしているか			
標準項目			
<input type="checkbox"/>	1	日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	
実践例			
記録			
<input type="checkbox"/>	2	子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している	
実践例			
記録			
<input type="checkbox"/>	3	子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	
実践例			
記録			
サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 について			
良いと思う点・改善したい点			



サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

評価項目 6-6-1		評点 ( )
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている [ねらい] ・業務の一定水準を確保するための手引書等を整備し、実施しているか ・業務の標準化は、対人援助の単純化や画一化をめざすものではない		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	1	手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	2	手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	3	提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	4	職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している
実践例		
記録		

評価項目 6-6-2		評点 ( )
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		
[ねらい] ・業務の標準レベルを見直す仕組みを確立しているか ・よりよいサービスをめざし、どのようなタイミングで見直しているか		
標準項目		
<input type="checkbox"/>	1	提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	2	提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案を反映するようにしている
実践例		
記録		
<input type="checkbox"/>	3	職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる
実践例		
記録		

評価項目 6-6-3

評点 ( )

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

- [ねらい] ・職員全体が、一定のサービス水準を確保する取り組みをしているか
- ・業務の標準化を図るためのOJT等多様な手段を評価する

標準項目

1 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている

実践例

記録

2 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している

実践例

記録

3 職員全員が、利用者の安全性に配慮した支援ができるようにしている

実践例

記録

4 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している

実践例

記録

5 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている

実践例

記録

サブカテゴリ-6 事業所業務の標準化 について

良いと思う点・改善したい点

○構成（※下記全てが質問用紙と回答用紙を兼ねています）

組織マネジメント（両面印刷1枚） / サービス（両面印刷1枚） / 自由記述（片面印刷1枚）

○記入方法

① 最終ページ末の欄に、「園名」を記入の上、「回答者属性」を選択して下さい。

※回答者属性については、園長先生からの指示に従って下さい。

② 各質問項目に対し、それぞれ「はい」「いいえ」「分からない」を選択します。

③ 主語のない質問項目への回答に際しては、「園として行われているか否か」という視点から判断して下さい。

※「自分が関与しているか否か」は問いません。

④ 「経営層」が主語となっている項目（1-1-2）については、以下のようにお答え下さい。

・「経営層」に含まれる方々は、自己評価としてお答え下さい。

・「経営層」以外の一般職員の方々は、上司に対する評価としてお答え下さい。

⑤ 全ての用紙（組織マネジメント、サービス、自由記述）を返送して下さい。

カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

1-1-1 事業所が目指していること（理念、基本方針）を明確化・周知している

ア	事業所が目指していること（理念や基本方針など）を明示している	はい	いいえ	分からない
イ	事業所が目指していること（理念や基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	はい	いいえ	分からない
ウ	事業所が目指していること（理念や基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	はい	いいえ	分からない
エ	重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること（理念や基本方針など）を思い起こすことができる取り組みを行っている（会議中に確認できるなど）	はい	いいえ	分からない

1-1-2 経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

ア	経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	はい	いいえ	分からない
イ	経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	はい	いいえ	分からない

1-1-3 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

ア	重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	はい	いいえ	分からない
イ	重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	はい	いいえ	分からない
ウ	利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	はい	いいえ	分からない

カテゴリー2 経営における社会的責任

サブカテゴリー1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

2-1-1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している

ア	福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などを明示している	はい	いいえ	分からない
イ	全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などの理解が深まるように取り組んでいる	はい	いいえ	分からない

2-1-2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている

ア	第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	はい	いいえ	分からない
イ	透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法（事業者便り・会報など）で地域社会に事業所に関する情報を開示している	はい	いいえ	分からない

サブカテゴリー2 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

2-2-1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある

ア	事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している（施設・備品等の開放、個別相談など）	はい	いいえ	分からない
イ	地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動（研修会の開催、講師派遣など）を行っている	はい	いいえ	分からない

2-2-2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

ア	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	はい	いいえ	分からない
イ	ボランティアの受け入れ体制を整備している（担当者の配置、手引き書の作成など）	はい	いいえ	分からない
ウ	ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	はい	いいえ	分からない

2-2-3 地域の関係機関との連携を図っている

ア	地域の関係機関のネットワーク（事業者連絡会など）に参画している	はい	いいえ	分からない
イ	地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	はい	いいえ	分からない

カテゴリー3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリー1 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

3-1-1 利用者一人ひとりの意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応している（苦情解決制度を含む）

ア	苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	はい	いいえ	分からない
イ	利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	はい	いいえ	分からない

3-1-2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

ア	利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	はい	いいえ	分からない
イ	事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	はい	いいえ	分からない
ウ	利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	はい	いいえ	分からない

3-1-3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

ア	地域の福祉ニーズの収集（地域での聞き取り、地域懇談会など）に取り組んでいる	はい	いいえ	分からない
イ	福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）の収集に取り組んでいる	はい	いいえ	分からない
ウ	事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	はい	いいえ	分からない

カテゴリー4 計画の策定と着実な実行

サブカテゴリー1 サブカテゴリー1 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる

4-1-1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

ア	理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	はい	いいえ	分からない
イ	年度単位の計画を策定している	はい	いいえ	分からない
ウ	短期の活動についても、計画的（担当者・スケジュールの設定など）に取り組んでいる	はい	いいえ	分からない

4-1-2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

ア	課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	はい	いいえ	分からない
イ	課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	はい	いいえ	分からない
ウ	計画は、サービスの現状（利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など）を踏まえて策定している	はい	いいえ	分からない
エ	計画は、想定されるリスク（利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など）を踏まえて策定している	はい	いいえ	分からない

4-1-3 着実な計画の実行に取り組んでいる

ア	計画推進の方法（体制、職員の役割や活動内容など）を明示している	はい	いいえ	分からない
イ	計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている	はい	いいえ	分からない
ウ	計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	はい	いいえ	分からない
エ	計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	はい	いいえ	分からない

サブカテゴリー2 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

4-2-1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

ア	利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	はい	いいえ	分からない
イ	発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	はい	いいえ	分からない
ウ	再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	はい	いいえ	分からない

カテゴリー5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

5-1-1 事業所にとって必要な人材構成にしている

ア	事業所の人事制度に関する方針（人材像・職員育成・評価の考え方）を明示している	はい	いいえ	分からない
イ	事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	はい	いいえ	分からない
ウ	適材適所の人員配置に取り組んでいる	はい	いいえ	分からない

5-1-2 職員の質の向上に取り組んでいる

ア	職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	はい	いいえ	分からない
イ	職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成（研修）計画を策定している	はい	いいえ	分からない
ウ	個人別の育成（研修）計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	はい	いいえ	分からない
エ	職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	はい	いいえ	分からない
オ	職員の研修成果を確認し（研修時・研修直後・研修数ヶ月後など）、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	はい	いいえ	分からない

サブカテゴリー2 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

5-2-1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

ア	職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	はい	いいえ	分からない
イ	職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	はい	いいえ	分からない
ウ	職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	はい	いいえ	分からない

5-2-2 職員のやる気向上に取り組んでいる

ア	事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬（賃金・昇進・昇格・賞賛など）が連動した人材マネジメントを行っている	はい	いいえ	分からない
イ	就業状況（勤務時間・休暇取得・疲労・ストレスなど）を把握し、改善に取り組んでいる	はい	いいえ	分からない
ウ	職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	はい	いいえ	分からない
エ	福利厚生制度の充実に取り組んでいる	はい	いいえ	分からない

カテゴリー7 情報の保護・共有

サブカテゴリー1 情報の保護・共有に取り組んでいる

7-1-1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる

ア	情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	はい	いいえ	分からない
イ	収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	はい	いいえ	分からない
ウ	保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	はい	いいえ	分からない

7-1-2 個人情報、 「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している

ア	事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	はい	いいえ	分からない
イ	個人情報の保護に関する規定を明示している	はい	いいえ	分からない
ウ	開示請求に対する対応方法を明示している	はい	いいえ	分からない
エ	個人情報の保護について職員（実習生・ボランティアを含む）が理解し行動できるための取り組みを行っている	はい	いいえ	分からない



## サブカテゴリー1 サービス情報の提供（認可保育）

## 6-1-1 保護者等に対してサービスの情報を提供している

ア	保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	はい	いいえ	分からない
イ	事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	はい	いいえ	分からない
ウ	保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	はい	いいえ	分からない

## サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応

## 6-2-1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

ア	サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	はい	いいえ	分からない
イ	サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	はい	いいえ	分からない
ウ	サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	はい	いいえ	分からない

## 6-2-2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

ア	サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	はい	いいえ	分からない
イ	利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している	はい	いいえ	分からない
ウ	サービス利用前の生活をふまえた支援をしている	はい	いいえ	分からない
エ	サービスの終了時（就学を除く）には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている	はい	いいえ	分からない

## サブカテゴリー3 個別状況に応じた計画策定・記録

## 6-3-1 必要に応じて、定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

ア	子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	はい	いいえ	分からない
イ	子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	はい	いいえ	分からない
ウ	アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	はい	いいえ	分からない

## 6-3-2 必要に応じて、子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している

ア	計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	はい	いいえ	分からない
イ	計画を保護者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている	はい	いいえ	分からない
ウ	計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	はい	いいえ	分からない
エ	計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	はい	いいえ	分からない

## 6-3-3 必要に応じて、子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

ア	子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	はい	いいえ	分からない
イ	計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	はい	いいえ	分からない

## 6-3-4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

ア	計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	はい	いいえ	分からない
イ	申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	はい	いいえ	分からない

## サブカテゴリー4 サービスの実施

## 6-4-1 子どもの発達を促すための保育を行っている

ア	子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	はい	いいえ	分からない
イ	子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間の配慮をしている	はい	いいえ	分からない
ウ	多様な表現活動や園外活動を計画している	はい	いいえ	分からない
エ	文化や習慣の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている	はい	いいえ	分からない
オ	障害のある子どもの保育にあたっては、一人ひとりの障害の種類、特性に応じた保育ができるように配慮している	はい	いいえ	分からない

## 6-4-2 栄養バランスを考慮したうえで、おいしい食事を出している

ア	メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	はい	いいえ	分からない
イ	子どもの状態にあった椅子・テーブル等を用意している	はい	いいえ	分からない
ウ	食物アレルギーや文化・習慣の違いなど、個別に配慮した食事を提供している	はい	いいえ	分からない
エ	快適に食事ができるように環境面でも配慮をしている	はい	いいえ	分からない
オ	【0歳児を受け入れている保育所のみ】乳児の授乳や食事に関しては、乳児一人ひとりの状況やリズムに合わせて行っている	はい	いいえ	分からない

## 6-4-3 子どもが心身の健康を回復・維持するための支援を行っている

ア	子どもの健康状態を定期的に記録し、把握している	はい	いいえ	分からない
イ	乳幼児突然死症候群（SIDS）、感染症等を予防をするしくみがある	はい	いいえ	分からない
ウ	医療的なケアが必要な子どもに対し、支援できる体制を確保している	はい	いいえ	分からない
エ	保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群（SIDS）等に関する情報を提供し、予防に努めている	はい	いいえ	分からない

## 6-4-4 園内の生活が、子どもたちにとって楽しく快適なものになる工夫を行っている

ア	子どもが保育所の生活を楽しめる工夫をしている（誕生会、季節の行事など）	はい	いいえ	分からない
イ	園内は快適で落ち着ける環境・空間にしている	はい	いいえ	分からない
ウ	お昼寝は子どもの状況に合わせる工夫をしている	はい	いいえ	分からない

## 6-4-5 保育所と家庭との交流・連携を緊密に行っている

ア	保護者などが常時参観できるしくみがある	はい	いいえ	分からない
イ	便り、クラス別保護者会などを活用し、子どもの保育所での生活ぶりを家庭に紹介している	はい	いいえ	分からない
ウ	保護者の事情に応じて、柔軟な対応をしている	はい	いいえ	分からない
エ	保護者が保育所の行事などに参加しやすい工夫を行っている	はい	いいえ	分からない
オ	保護者からの相談に応じる体制を整えている	はい	いいえ	分からない

## 6-4-6 虐待防止の取り組みや育児困難家庭への支援を行っている

ア	虐待防止・育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	はい	いいえ	分からない
イ	職員が、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや虐待の事実を把握をした際には、組織としての速やかな対応を決定する体制を整えている	はい	いいえ	分からない
ウ	虐待被害の疑いのある子どもと保護者の情報は、児童相談所、子ども家庭支援センターなど関係機関に照会・通告を行い、その後も連携できるような体制を整えている	はい	いいえ	分からない
エ	子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	はい	いいえ	分からない

## 6-4-7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

ア	保護者が要望する地域の情報を利用しやすいかたちで提供している	はい	いいえ	分からない
イ	保育所の活動や行事に地域の人参加を呼びかける等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	はい	いいえ	分からない

## サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

## 6-5-1 子どものプライバシー保護を徹底している

ア	子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	はい	いいえ	分からない
イ	子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	はい	いいえ	分からない

## 6-5-2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している

ア	日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	はい	いいえ	分からない
イ	子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動・放任・虐待・無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し対応している	はい	いいえ	分からない
ウ	子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	はい	いいえ	分からない

## サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

## 6-6-1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

ア	手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	はい	いいえ	分からない
イ	手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている	はい	いいえ	分からない
ウ	提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	はい	いいえ	分からない
エ	職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	はい	いいえ	分からない

## 6-6-2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

ア	提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	はい	いいえ	分からない
イ	提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案を反映するようにしている	はい	いいえ	分からない
ウ	職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	はい	いいえ	分からない

## 6-6-3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

ア	打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	はい	いいえ	分からない
イ	職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	はい	いいえ	分からない
ウ	職員全員が、利用者の安全性に配慮した支援ができるようにしている	はい	いいえ	分からない
エ	職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	はい	いいえ	分からない
オ	職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	はい	いいえ	分からない

昨年と比べてよくなったと思う点をご記入下さい。

--

○組織運営およびサービス提供の両面を踏まえて、貴事業所の特に良いと思う点、特に改善したいと思う点を、それぞれ3つ以内でご自由にお答え下さい。

特に良いと思う点

1	
2	
3	

特に改善したいと思う点

1	
2	
3	

ご協力ありがとうございました。本紙は、別添えの  
返信用封筒をご利用の上、締切までにご返送下さい。

※ 必ずご記入下さい

事業所名 :

回答者属性 : リーダー層 / 一般

平成21年度 保育園サービス第三者評価事業  
報告書

登録印刷物番号
21-0126

平成22年3月発行

発行 杉並区 保健福祉部保育課  
〒166-8570 東京都杉並区阿佐谷南1丁目15番1号  
電話 03-3312-2111(代表)

調査 株式会社 にほんの福祉ネット  
(東京都福祉サービス第三者評価機関 認証番号:06-168)  
〒156-0043 東京都世田谷区松原3丁目38番16-107号  
電話 03-3323-8368

※区のホームページでもご覧になれます。<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>